# 令和７年度

# 33期生探究レポート集録

新潟県立国際情報高等学校33期２年生

# 目　　次


| | | ページ |
|---|---|---|
| 1 | ダイエットの持続可能性 | 4 |
| 2 | 紙の本の持続可能性～紙の本と電子書籍のどちらが記憶に定着するのか～ | 10 |
| 3 | 日本の観光の持続可能性～オーバーツーリズムが進む観光業の雇用問題～ | 16 |
| 4 | 観光の持続可能性 | 22 |
| 5 | 季節感の持続可能性～昔と今で感性の本質は変化しているのか～ | 27 |
| 6 | アニメ漫画の持続可能性について | 33 |
| 7 | 東京ディズニーリゾートの持続可能性～ウォルト・ディズニーが望んだ"すべての人のための場所"で生まれた差～ | 38 |
| 8 | ゲームの持続可能性について | 49 |
| 9 | 亀田製菓におけるマーケティング・持続可能性について考える | 55 |
| 10 | 地域アートイベントの持続可能性 | 59 |
| 11 | 日本語の持続可能性 | 71 |
| 12 | 日本の教育格差解消のためにできることの持続可能性 | 79 |
| 13 | 経営戦略から焼肉食べ放題事業の持続可能性について考える | 87 |
| 14 | ロングセラー商品の持続可能性 | 94 |
| 15 | 金融資本主義は持続可能か？ | 105 |
| 16 | 学校教育の持続可能性について | 113 |
| 17 | 自炊の持続可能性 | 118 |
| 18 | 運動と地域の持続可能性 | 122 |
| 19 | 地域祭りの持続可能性 | 128 |
| 20 | SNS時代の地方観光の持続可能性 | 137 |
| 21 | 障害をもつ子どもともたない子どもが共に教育を受ける方法について | 149 |
| 22 | 国際情報高等学校の生徒が考えるこれからのゲーム業界に求めるものとは? | 154 |
| 23 | ファストファッションの持続可能性 | 160 |
| 24 | 貧困の対策・改善の持続可能性について | 169 |
| 25 | 少年漫画における主人公像の持続可能性−『鬼滅の刃』における内面的成長と関係性の変容に着目して− | 176 |
| 26 | ファストファッションの持続可能性 | 181 |
| 27 | 客室乗務員の持続可能性～労働時間や労働環境を改善するための対策は～ | 186 |
| 28 | 学習への意識が「やりたい」に変わる瞬間～リアルな体験が生徒に与える影響～ | 196 |
| 29 | そのBGM、集中できてるつもり説 | 203 |
| 30 | 老舗の持続可能性における後継者問題　～老舗を未来に繋げる～ | 221 |
| 31 | マクドナルドから考える持続可能な経営 | 229 |
| 32 | 桃太郎の生存戦略　～昔話を語り継ぐためにどのようなアプローチが必要か～ | 239 |
| 33 | テニスの持続可能性について | 246 |
| 34 | ボーイスカウトの持続可能性 | 251 |
| 35 | 犯罪減少の持続可能性について | 258 |
| 36 | 音楽プラットフォームの持続可能性 | 264 |
| 37 | 見た目やテーマからジェットコースターの持続可能性を考える | 276 |


＊個人情報保護の観点から、生徒の氏名は公開せず、テーマのみの掲載となります。

38 農業の持続可能性 280
39 フェイクニュースの持続可能性 285
40 薬剤師の持続可能性 290
41 医療現場におけるAIの医師代替可能性に関する探究 296
42 現代人のテレビ視聴減少に対する考察 299
43 生活習慣病予防から考える医療費の持続可能性ー健康的な食習慣が医療費に与える影響ー 307
44 ヴィーガン、ベジタリアンの持続可能性 327
45 地域社会から考える環境対策の持続可能性 333
46 リニア型経済から循環型経済への持続可能性 337
47 読書の持続可能性 343
48 モチベーションの持続可能性 348
49 日本漫画の海外進出の持続可能性 353
50 フェアトレードの理想と現実ー日本の企業と当事者に近い立場から考えるー 357
51 仮面ライダーのバイク 365
52 塩沢紬の持続可能性-観光資源化への展望 369
53 自家風力発電機 380
54 同音異義語から考える漢字の持続可能性 383
55 中華料理の持続可能性 389
56 宇宙研究・技術発展の持続可能性 396
57 野良猫と地域共生の持続可能性 401
58 観光産業 407
59 薬局薬剤師の地域偏在の原因と解決策の提案 415
60 水族館来館者の学習を促す展示の条件は何か 418
61 堆肥化リサイクルの持続可能性について 424
62 住宅の持続可能性 431
63 有機農業の持続可能性 444
64 地域医療の持続可能性-南魚沼市における安定した医療を提供するためには- 450
65 治安維持の持続可能性 458
66 南魚沼市の持続可能性 464
67 咀嚼の持続可能性-主食で見る咀嚼- 472
68 教育の持続可能性～教師の理想の労働環境とは～ 481
69 睡眠の持続可能性 490

＊個人情報保護の観点から、生徒の氏名は公開せず、テーマのみの掲載となります。

「ダイエットの持続可能性について」

【実験背景】

本研究のテーマを「ダイエットの持続可能性」とした理由は、我が国には多様なダイエット方法が存在する一方で、その中には科学的根拠が不明確なものや、情報の真偽を判断することが難しいものも少なくないという現状があるためである。(朝日新聞,2023) 例えば、「痩せるゼリー」などと称して「ダイエットに効く」とうたい、国の承認を受けていない医薬品成分「シブトラミン」を含む製品を販売目的で保管していたとして、医薬品医療機器法違反の疑いで逮捕者が出た事例がある。同ブランドとみられる固形チョコレートからも同成分が検出された。(withnews,2022) そして、シブトラミンには食欲抑制効果がある一方で、血圧上昇や心拍数増加などの副作用があり、海外では服用後に死亡した事例も報告されている。(厚生労働省,2020) このように、不適切なダイエット関連商品が健康被害につながる可能性は否定できない。さらに、日本の女性は無理な食事制限や置き換え、断食などを経験する人が多く、一時的に痩せたとしても、その後リバウンドを経験する人が多数存在するというアンケート結果が報告されている。(Belle Life Style教会,2021) 誤った情報に基づく過度な食事制限は、短期間での体重減少とその後のリバウンドを招き、結果として肥満の悪化につながる可能性がある。

以上のような現状を踏まえ、本研究では自ら実践を通して検証を行い、無理なく継続できる持続可能なダイエット方法を探究することを目的として、本テーマを設定した。

本研究で扱う重要な用語として「PFCバランス」がある。PFCバランスとは、三大栄養素であるP（Protein：タンパク質）、F（Fat：脂質）、C（Carbohydrate：炭水化物）の摂取割合のことである。ダイエットにおいては、この栄養バランスの調整が重要であるとされている。

【実験テーマ】

「食事内容によってダイエットの結果は変化するのか。」

本研究では、ダイエットにおける様々な方法の中でも、特に食事内容に着目する。具体的には、異なるPFCバランスの食事を実践し、それぞれの体重変化や体調の良し悪しを比較することで、どの方法が最も効果的であるかを検証することを目的とする。PFCバランスに着目した理由として、同一のカロリー条件下において炭水化物の割合を30%と50%のグループに分けて比較した場合、体重減少に有意な差は認められなかったと報告されている。(日本スポーツ栄養学, 2024) この結果から、PFCバランスの違いによる影響は限定的である可能性があると考えられるため、本研究では自分自身を対象として実際に検証を行うこととした。

本来であれば複数人を対象として実施し、より多くのデータを収集することが望ましい。しかし、食事内容を長期間にわたり正確に管理することは他者にとって負担が大きく、協力を得ることが困難であると判断した。そのため、本研究では研究者自身を被験者として実験を実施することとした。

【仮説】

食事のPFCバランスを変化させたとしても、短期間では体重変化に大きな差は生まれないのではないかと考える。

【実験方法】

本研究では、代表的な三種類のPFCバランスをそれぞれ一週間ずつ実施し、体重および体調の変化を比較する。一つ目は、P25%・F25%・C50%の標準型である。この割合は一般的にバランスの取れた食事とされており、基準として設定した。二つ目は、P30%・F40%・C30%の低炭水化物型である。この方法は炭水化物の摂取量を抑え、その不足分を脂質およびタンパク質で補う方法であり、近年ダイエット方法の一つとして注目されている。三つ目は、P30%・F20%・C50%のローファット型である。この方法は脂質の摂取量を抑えることで総摂取カロリーを調整する方法であり、日本国内において比較的多く実践されている方法である。

本来は各方法を一か月ずつ実施することが望ましいが、実施期間および継続の現実性を考慮し、本研究では各方法を一週間ずつ実施することとした。また、正確な検証を行うため、毎日の食事内容を記録し、アプリケーションを用いて摂取カロリーおよびPFCバランスを管理する。さらに、毎日同一条件下で体重を測定し記録する。



完成図は比較的質素な見た目であるが、ここに白米を加えたものが基本的な昼食および夕食である。詳しいメニューや使用した食材については後述する。

私は、毎日異なる料理でPFCバランスを細かく調整することは継続が難しいと判断したため、一週間ごとに食事メニューを固定し、その範囲内でPFCバランスのみを調整する方法を採用した。朝食の摂取はパフォーマンスの向上に寄与することが示されている。(PubMet,2013) そのため、本研究では朝食を十分に摂取することを原則とした。

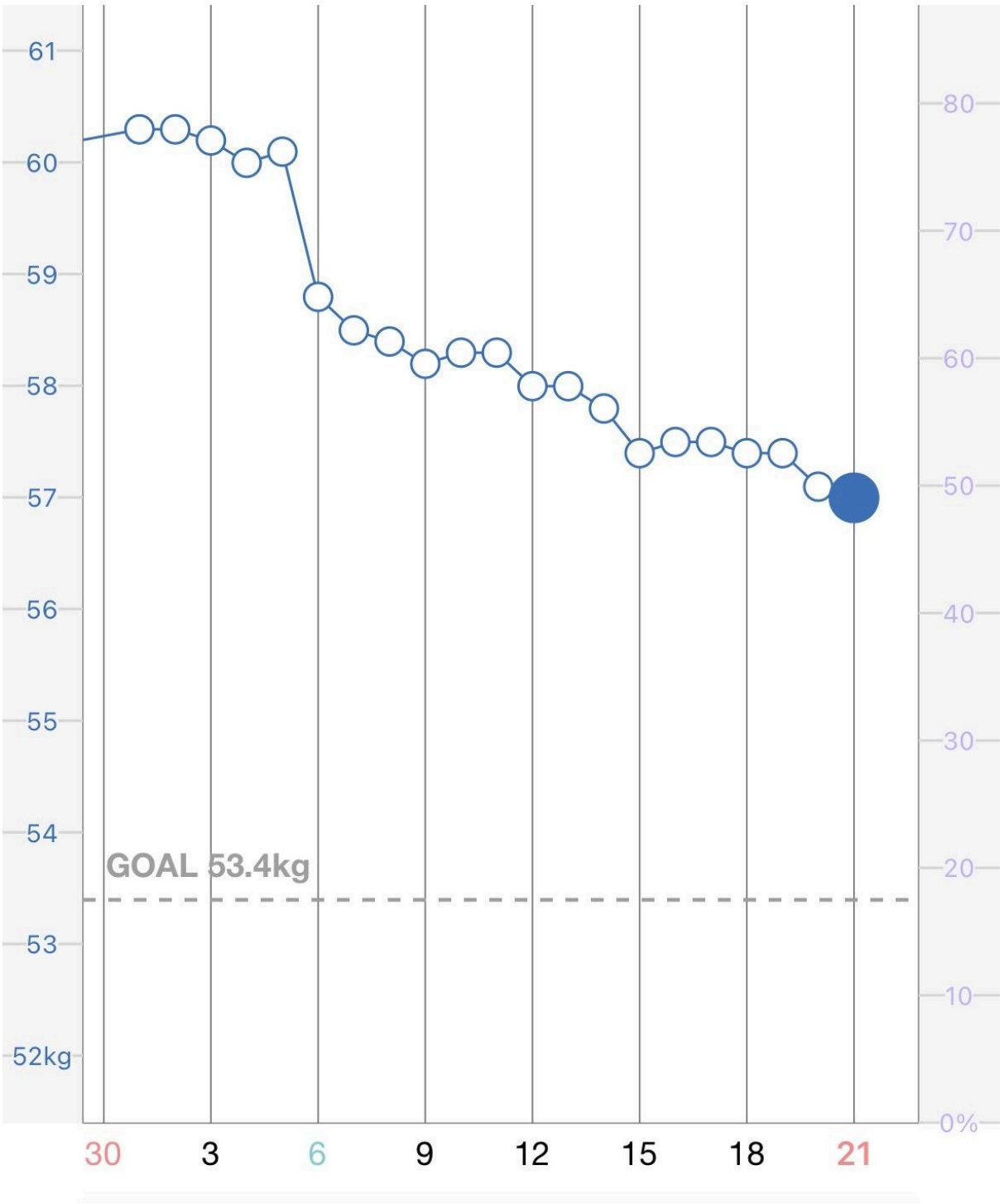
基本となる食事メニューは以下の通りである。白米、卵、鶏ムネ肉、ブロッコリー、納豆、鯖缶、ギリシャヨーグルト、ブルーベリー、バナナ、キウイ、ココアパウダー、プロテイン。

どのPFCバランスにおいても、基本的には上記メニューを土台として構成する。

【このメニューを選択した理由】

上記のメニューを採用した理由は、三大栄養素（タンパク質・脂質・炭水化物）を比較的バランスよく、かつ日常的に確保できる点にある。一般にダイエット食として「ご飯と鶏むね肉」が挙げられることが多いが、この組み合わせのみでは食物繊維やビタミン、ミネラルが不足しやすい。そこで、食物繊維や微量栄養素を補う目的でブロッコリーや納豆を取り入れた。また、魚（主に鯖缶）を採用した理由として、魚に含まれる脂質であるEPAやDHAは、生物学的に重要な脂質であり、心血管疾患の予防や脳の発達、記憶学習能力に関与することが報告されている。(鈴木平光, 1999)脂質はしばしば「悪」と見なされがちであるが、人体にとって必須の役割を果たす栄養素である。例えば、脳は大部分が脂質で構成され、細胞膜の構成やホルモン合成、神経機能の維持に寄与することが示されている。(理化学研究所,2025) そのため、脂質を極端に制限すると思考力や集中力、全身の体調維持に悪影響を及ぼす可能性がある。さらに調理油については、サラダ油ではなくオリーブオイルを使用するよう配慮した。オリーブオイルは一価不飽和脂肪酸を豊富に含み、悪玉コレステロール低下に寄与する可能性が指摘されている。(日清オイリオグループ株式会社,2024) 以上を踏まえ、本メニューは持続性と栄養バランスの両面を重視して選定したものである。

【結果】




グラフに示した通り、1週間目は−0.8kg、2週間目は−0.7kg、3週間目は−0.8kgと、いずれの期間においても同程度の体重減少が確認された。この結果から、実験テーマである「食事内容によってダイエットの結果は変化するのか」という問いに対しては、本実験の範囲においてPFCバランスの違いによる体重減少量に大きな差は認められなかったと考えられる。一方で、満腹感や食事の満足度といった主観的な側面には違いが見られた。特に、PFCバランスが比較的均等に配分されたバランス型の食事では満足度が高く、空腹感や食事への不満を感じにくい傾向があった。そのため、精神的な負担が少なく、継続しやすいと感じられた。一方で、脂質や炭水化物を制限した食事では、空腹感や食事制限によるストレスを感じる場面があり、継続することに対す

る負担が大きいと感じられた。このような食事制限を長期間続けた場合、食事に対するストレスが蓄積し、日常生活に影響を及ぼす可能性もあると考えられる。

以上の結果から、ダイエットにおいては体重減少量のみを指標とするのではなく、満足度や継続のしやすさ、生活への影響といった要素も重要であることが示唆された。したがって、自分自身の生活スタイルや体調に適した方法を選択し、無理のない範囲で長期間継続することが、ダイエットの持続可能性を高めるうえで重要であると考えられる。本研究では対象が筆者一人に限られていたため、日本の女性における無理な食事制限や置き換え、断食などによるリバウンドの影響については、今後より多くの対象者を設定し、さらなる検討を行う必要がある。

【参考文献】

1.スポーツ栄養web（2024).『低炭水化物ダイエットの長期的な減量効果を調査　米国の12万人を4年間追跡』https://sndj-web.jp/news/002597.php?utm_source=chatgpt.com 2026年2月8日

2.理化学研究所 (2025).『ヒトiPS細胞を用いて神経細胞における脂質の役割を解明』https://www.riken.jp/press/2025/20250519_1/index.html?utm_source=chatgpt.com2026年2月8日

3.鈴木 平光 (1999).『魚油の健康機能』[日本油化学会誌]1017-1022 2026年2月8日

4.日清オイリオグループ株式会社（2024).『日本人におけるオリーブオイルポリフェノールの健康性が明らかに』https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000178.000076174.html?utm_source=chatgpt.com2026年2月8日

5.Angelos Vlahoyiannis,George Aphamis,Eleni Andreou, George Samoutis,Giorgio's K Sakkas,christoforos D Giannaki.  (2018). Effects of High vs. Low Glycemic Index of Post-Exercise Meals on Sleep and Exercise Performance: A Randomized, Double-Blind, Counterbalanced Polysomnographic Study. PubMed.https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30453682/2026年2月9日

6.Jeroen Van Cutsem,Samuele Marcora,Kevin De Pauw,Stephen Bailey,Romain Meeusen,Bart Roelands. (2017). The Effects of Mental Fatigue on Physical Performance: A Systematic Review. PubMed.https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28044281/2026年2月9日

7.Heather J Leidey,Laura C Ortinau,Steve M Douglas Heather A Hoertel  (2013). Beneficial effects of a higher-protein breakfast on the appetitive, hormonal, and neural signals controlling energy intake regulation in overweight/obese, "breakfast-skipping," late-adolescent girls.  PubMed. https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/23446906/2026年2月9日

8.withnews（2022).『健康被害「やせるゼリー」根拠なし「着るだけ筋トレ」近道 狙う罠』https://withnews.jp/article/f0220619001qq000000000000000W0bx10701qq000024849A2026年2月10日

9.Belle Life Style協会（2021).『女性の98.6%がダイエット経験者！ しかし…50%以上が「リバウンドした」という現実　10月7日は「大人のダイエットの日」コロナ太りからの脱却を目指して Belle Life Style協会が調査発表』https://www.atpress.ne.jp/news/282321 2026年2月10日

10.厚生労働省 (2020).『インターネット等で購入した未承認医薬品等・健康商品(非医薬品成分含む)の健康被害情報』https://www.mhlw.go.jp/stf/kinkyu/diet/musyounin_00005.html2026年2月10日

11.渡會 涼子、安友 裕子、北川 元二 (2018).『若年女性のやせ願望と心理的ストレスが食行動に及ぼす影響』[名古屋学芸大学健康・栄養研究所年報 第10号]46-53 2026年2月10日

12.片山 靖富、中垣内 真樹、中田 由夫、沼尾 成晴 、大河原 一憲 、堀米 仁志、田中 喜代次 (2009).『原料を目的とした有酸素性運動の実践および食事制限が肥満者の血液流動特性に及ぼす影響』[健康医科学研究助成論文集]38-42 2026年2月10日

13.朝日新聞 (2013).『ダイエット法、健康食品…信頼できる？東大チーム、ネット情報に懸念』https://www.asahi.com/articles/ASRCK7HDGRCJULBH001.html

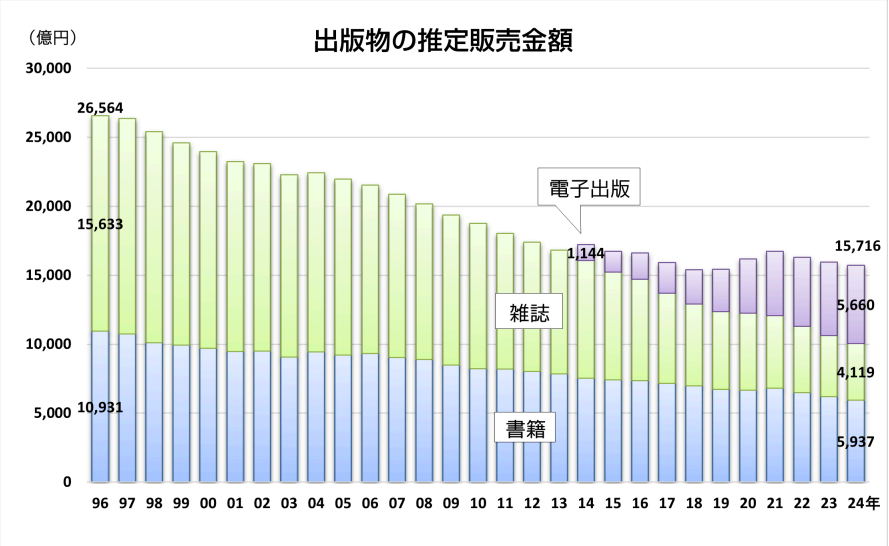
# 紙の本の持続可能性について
# ～紙の本と電子書籍のどちらが記憶に定着するのか～

## 1. 研究背景

近年、電子書籍は多く出版されている。日本電子出版協会（2025）によると、出版科学研究所の電子コミック市場（推定販売金額）推移調査では「電子コミック市場は2020年のコロナ以降、急激に伸びて2024年には前年比6.0%増の5,122億円になり、2019年と比較すると倍増している」とあった。

また、出版科学研究所によると「出版業界の売り上げはピークとなった1996年までは上り坂一辺倒で来たものの、消費税が3%から5%に増税した1997年に初の前年割れとなり、以降、下降の一途をたどることとなった。特に雑誌市場は、少子高齢化に加え、インターネット、スマートフォンの普及などから、需要が激減し、休刊誌も相次ぎ、加速度的に下降していった」とある。（図1）

（図1）




出版物の推定販売金額 出版科学研究会(2025) https://shuppankagaku.com/statistics/japan/

## 2. 研究目的・意義

先行研究調査により、紙の本のメリットとして、紙の本で読んだものは電子媒体で読んだものよりも記憶に残りやすい、というものがあげられていた論文が多数あった。

そこで、紙の本の持続可能性というテーマに沿って、紙の本と電子書籍のどちらが記憶に定着するのかというリサーチクエスチョンを立てた。実際にどちらが記憶に定着しやすいのか紙媒体と電子媒体で実験を行い、比較する。そして、改めて紙の本のメリットを認識することで、紙の本はこれからも持続していくのではないかと考える。

## 3. 研究方法

紙の本の方が記憶の定着が良いかどうかを調べるために、紙の本と電子書籍で、実際に実験を行った。

まず、同程度の文量、難易度の文章をチャットGPTに作成させた。作成した文章をA、Bとする。それぞれ、紙に印刷、PDFのファイルにすることで、紙の本と電子書籍の比較とすることにする。

実験対象者はKJ生六名である。 全員が長文Aを同じ媒体（紙または電子）で読んだ場合、長文Bは必然的にもう一方の媒体でしか読まれなくなり、結果が媒体の違いではなく、文章内容の違いによって左右される可能性があると考えた。そこで、長文A・Bの両方を紙と電子の両媒体で読めるようにするため、実験対象者を三人ずつのニつのグループに分けて実験を行った。また、全員が紙と電子の両方で読書を行うよう、一回目と二回目で媒体の入れ替えを行った。一つ目のグループの三人には、先にAの紙を読んでもらい、他の 三人には、Aの電子の方を読んでもらった。なお、文章の読み方はいつも自分が読んでいる読み方で行ってもらった。
その三日後に文章を読まずに記憶だけで、テストを解いてもらった。なお、この問題をチャットGPTにAとBのテスト問題が同程度の難易度になるように作成させた。テストは全部で七問で、それを解いてもらい、 同じ文章を読んでもらった三人のまとまりごとに正答の平均を出して、その正答率の高さで記憶の定着を比較を行う。

問題を解いて、一週間が経過した後、Aの紙を読んでもらった人はBの電子の文章を、Aの電子を読んでもらった人にはBの紙の文章を読んでもらった。そして、文章を読んでもらった後、三日後にテストを解いてもらった。

実験終了後に、実験対象者6名に普段の読書についてのアンケートを行った。アンケート内容として、（1）月に何冊本を読むか。また、紙媒体と電子媒体のどちらで読むか。（2）本を読む時にメモをしたり、下線を引いたりすることはあるか。今回の実験で行ったのか。（3）紙媒体と電子媒体のどちらが読みやすいと感じるか。これら三つの項目でアンケートを行った。アンケート項目設定の理由として、（1）は、普段の読書習慣と読書を行う媒体として、紙と電子のどちらに慣れているかを調べるためである。そして、（2）は、読書を行っている時、読むという行為以外に行う行動があるかを調べるためである。これは、メモをしたり、下線を引いたりすることで、元々の印刷された文章からは異なる状態になることから、これらの行為を行った人とそうでない人の実験後のテストの正答率に変わりがあるのか結果から考察しようと思ったからである。（3）は、実験対象者が、どちらの媒体が読みやすいと感じるかによって実験結果が変わるのかどうかを考察しようと思ったからである。

## 4. 仮説

小林（2012）によると、「文学的文章と説明的文章からなる2種類の文章タイプで読みを行わせ、読み速度・記憶テスト・理解テストを定量的に分析した結果、（1）読み速度について、説明的文章ではiPadの方が紙よりも早く読むことができる、（2）逐語的記憶について、説明的文章では紙の方がiPadよりも記憶成績がよい、（3）内容理解について、文学的文章と説明的文書のいずれにおいても、紙の方がiPadよりも理解成績がよくなることがわかった。以上から、文字情報のみからなるコンテンツの場合、読み速度や逐語的記憶では文章タイプによる有意差が認められ、文章理解のしやすさではタブレット端末よりも紙媒体に優位性があることが明らかになった。」とある。

この論文でも実際に実験が行われ、（2）のように実際に紙の方が記憶成績が良いという実験結果が得られているため、仮説として、今回の実験でも紙媒体の方が電子媒体のよりも、記憶の定着に良く、実験後のテストの正答率も高いと考える。

以下が実験に使用した文章である。

【長文A：空き家の時計と三つの手紙】

海沿いの町に、長いあいだ誰も住んでいない空き家があった。かつて旅行作家として名を知られた菅原透が暮らしていた家で、彼が突然旅先で消息を絶ってから20年、家はそのまま残されていた。高校2年の玲奈は、町の郷土研究クラブの調査で、この空き家を訪れることになった。家の中は埃っぽいが、物はきちんと並んでおり、人が急にいなくなったような雰囲気だった。特に目を引いたのは壁にかかった大きな振り子時計で、何十年も止まったままのはずなのに、かすかに揺れているように見えた。玲奈は不思議に思い、時計の裏側を見ようと手を伸ばした。その瞬間、裏板が外れ、中から茶色く変色した封筒が三通、落ちてきた。封筒にはそれぞれ「北へ」「西へ」「戻る場所へ」と書かれていた。差出人は菅原透本人。受取人の名前はなく、代わりに旅先の地名が記されていた。玲奈はクラブの顧問教師に報告し、内容を確認することになった。封を開けると、どの手紙にも旅の途中で出会った人々への感謝と、帰る場所を探しているという言葉が綴られていた。だが、最後の手紙「戻る場所へ」には、短い文章が書かれていた。「ここに帰るつもりだった。けれど、旅は終わらない。もしこれを読む人がいるなら、時計を直してほしい。動き続ける時間だけが、僕の旅の足跡を証明してくれる。」　玲奈は胸が熱くなった。時計がわずかに揺れて見えた理由はわからないが、菅原が手紙を隠したときに何か細工をしたのかもしれない。翌週、玲奈は地域の時計職人・桐原を訪ね、空き家の時計を持ち込んだ。桐原は時計を開けると、「これは手をかけた人の想いが残りやすい作りだ」と言い、部品のひとつに小さな傷が刻まれていることを見つけた。それは地図のような形をしており、点が三つ連なっていた。「旅の行き先かもしれないですね」と玲奈が言うと、桐原は頷き、慎重に修理を進めた。数日後、時計はゆっくりとだが確実に振り子を刻み始めた。玲奈が空き家へ戻すと、家の中に微かな風が流れた気がした。手紙は町の資料室に保管され、人々は菅原が最後に残した「帰る場所」に思いを馳せるようになった。玲奈は時計の音を聞きながら、「止まったように見えても、記憶は動き続けているのかもしれない」と感じた。それは、彼女が初めて“時間”というものの重さを考えた瞬間だった。

---

【長文B：廃線トンネルと白いリュック】

山間の町にある旧・朝霧線は、10年前に廃線となったローカル鉄道だ。線路は錆び、駅舎も取り壊されたが、ひとつだけトンネルだけが今も残され、地元では「記憶が声を返す場所」と呼ばれていた。中で音を出すと、その反響がまるで言葉のように聞こえることがあるからだ。中学3年の悠斗は、夏の自由研究でこのトンネルの響きを調べることにした。町の歴史を知る祖父から、昔このトンネルで白いリュックを持った青年がよく列車を待っていたという話を聞いた。青年は旅の途中で迷い、目的地を決められず、同じ場所を何度も行き来していたらしい。調査の日、悠斗は友人の紗耶を連れてトンネルに入った。光は弱く、ひんやりとした空気が漂う。二人が手を叩くと、反響は単なる音ではなく、人の声のようにゆっくりと返ってきた。驚いた紗耶は「誰かがいるみたい」と言ったが、悠斗は「音の角度と距離の問題だよ」と笑った。しかし、二人が出口へ向かおうとしたとき、足元に白いリュックが置かれていることに気づいた。古びているが、最近誰かが持ち歩いていたような形だ。リュックのポケットにはノートが入っており、「道を選ぶのがこわい人へ」と書かれた紙が挟まっていた。ノートには、10年前にこの町を訪れた青年の記録が残されていた。進学・就職・旅の続きを決められず、悩み、迷い、同じ場所に戻ってしまう自分への問いかけが綴られていた。最後のページにはこうあった。「誰かに拾ってほしい。誰かがこれを読んで、選ばなかった道を誰かが歩いてくれるなら、それでいい。」悠斗は息をのんだ。祖父の話に出てきた青年が、このノートを書いた人物なのだろうか。紗耶は「戻ってきたかったんだね」とつぶやいた。二人はノートとリュックを町の資料館に届けることにした。館長は驚きながらも受け取り、「これは町の歴史をつなぐ貴重な資料だ」と言った。トンネルは単なる廃線の残骸ではなく、多くの人の迷いと選択の記憶が集まる場所だったのかもしれない。帰り道、トンネルの出口から風が吹き、再び音が返ってきた。今度はまるで「進め」と言っているようだった。悠斗はその声に少し背中を押された気がした。

以下が使用したテストの問題である。

【長文A】
1. 菅原透は、どのような職業の人物として描かれていましたか。
2. 振り子時計の中から見つかった封筒の数を答えなさい。
3. 見つかった手紙にはそれぞれどのような行き先を示す言葉が書かれていましたか。
4. 玲奈が訪ねた時計職人の名前を答えなさい。
5. 見つかった手紙の中で、特に強く依頼が書かれていた内容は何でしたか。
6. 時計の部品に残されていた傷は、どのようなものを連想させる形でしたか。
7. 物語の終盤で玲奈は「記憶」についてどのように捉えるようになりましたか。

【長文B】
1. 廃線となった鉄道の名前は何ですか。
2. 悠斗が自由研究で調べようとしたものは何ですか。
3. 祖父の話に出てきた青年が持っていたものは何でしたか。
4. トンネルの中で悠斗と紗那が見つけたものは何でしたか。
5. ノートの最初のページに書かれていた宛名（メッセージ）は何でしたか。
6. ノートの最後に青年が望んでいたことは何ですか。
7. 悠斗が最後に感じた「進め」という声は何を象徴していると思われますか。

## **5**. 結果
問題は全部で7問

Aの紙媒体　　平均　3点
Aの電子媒体　平均　1. 3点

Bの紙媒体　　平均　3.3点
Bの電子媒体　平均　1.3点

結果として、紙媒体で読んだ文章の方が、正答率が高いという結果を得ることができた。
また、同じ実験対象者の、紙媒体で読んだ文章の問題の正答率と、電子媒体で読んだ文章の正答率を比べたが、全員が紙媒体の正答率が電子媒体の正答率を上回っていた。

## **6**. 考察
今回の実験で紙媒体で読んだ文章の方が、正答率が高いという結果を得た理由を、実験後に行った実験対象者へのアンケート結果と実験結果を比較しながら考察を行う。

【アンケート結果】

（1）月に何冊本を読むか。また、紙媒体と電子媒体のどちらで読むか。
回答として、月に二冊読む人が二人、月に一冊読む人が一人、読まないと答えた人が 3人だった。ただ、読まないと答えた人の中に、現在読書をする習慣がないものの、これまではあったと答える人が一人いた。

また、どちらの媒体で読むか、の返答として月に二冊読書を行う二人と月に一冊読書を行う一人は紙媒体で読書を行うと答えた。読書を行わない実験対象者には、もし読書を行うとしたらという問いかけに変更し、二人は紙媒体、一人はどちらの媒体でも読むと回答した。

（2）本を読む時にメモをしたり、下線を引いたりすることはあるか。今回の実験で行ったのか。
これらの行為を行うことがあると回答した人は、3人であった。理由として、わからない単語に印をつけて調べるためや好きな言葉や印象に残った言葉がある時に印をつけるためと挙げられた。
しかし、今回の実験では、行った人はいなかった。

（3）紙媒体と電子媒体のどちらが読みやすいと感じるか。
六人全員が紙媒体の方が読みやすいと感じると回答した。

これらのアンケート結果から、なぜ紙媒体の方が記憶の定着に良い（正答率が高い）という結果が得られたのかを次のように考察した。
①実験対象者の中では、紙媒体で読書を行う人の方が多いから。
②紙媒体の方が読みやすいと感じる人しかいなかったから。

①について、普段から読書をおこなう習慣がある人とない人も、どちらも読書を行う時は紙媒体で行う人がほとんど、というアンケート結果を得られたことから、慣れ親しんでいる媒体が紙だから、紙媒体の方が正答率が高くなったと考える。

②について、①とも関係が深そうであるが、紙媒体の方が読みやすいと六人全員が回答し、紙の方が読みやすいという認識を全員が持っているため、紙媒体と電子媒体で読書を行う際も、その認識が記憶の定着のしやすさや、しにくさに関係したのではないかと考える。

## 7. 結論および今後の展望

今回の実験では、紙媒体の方が電子媒体よりもテストの正答率が高かったことから、記憶の定着に優れているのは紙媒体、つまり紙の本と言うことができる。そして、読書をする習慣の有無に関わらず、全員が紙で読んだ方の正答率が高かったことからも、紙の本の方が記憶の定着にいいと言えることができると考える。
しかし、実験では、印刷した紙を紙の本、PDFのファイルにしたものを電子書籍としたため、実際の書籍の文量とは大きく異なったものとなってしまった。また、実験の対象者の中で普段から電子書籍を読む人がいなかったこと、全員が紙媒体の本の方が読みやすいと感じている点から、紙の本の方に有利に働いてしまったのではないかと考える。
これらのことから、実験の対象者の中に電子書籍を読む人と、紙の書籍を読む人が等しくいるようにすること、読書をする習慣がある人やない人、KJ生以外の人など様々な人がいる中での実験を行うことで、より正確で、正しい結果が得ることができると考える。
また、私は将来、教員になりたいと考えている。
今回の実験の結果から、紙の教科書の方が、電子の教科書よりも、内容の把握や記憶の定着を助ける点で優れていると言うことができるのではないかと考えた。
よって、教員になった際には、この結果を踏まえ、指導方法を工夫して効果的な学習環境づくりに活かしていきたい。

## 参考文献

[1]天沢逸里（2020）「電子書籍端末が変える読書の環境負荷」
[2]尾鍋史彦（2010）「学術論文を紙メディアから読まなければならない理由」
[3]菅谷克行（2016 ）「読書媒体の違いが読解方略に及ぼす影響」
[4]小林亮太（2012）「表示媒体が文章の理解と記憶に及ぼす影響-電子書籍端末と紙媒　体の比較-」

[5]柴田博仁、大村賢悟（2016）「答えを探す読みにおける紙の書籍と電子書籍の比較」
[6]酒井邦嘉（2018）「読書は脳の想像力を高める-なぜ「紙の本」が必要なのか-」
[7]後藤清宏（2017）「電子書籍における”違和感”原因の解明」
[8]松本拓也 「視線計測を用いた電子書籍端末と紙媒体の比較」
[9]谷上亜紀（2019）「文章の書体が読みやすさと記憶に及ぼす影響」
[10]指澤竜也、川本健太、樋口みなみ、友居柊也、佐久間史也、松崎たお、飯尾淳（2022）「紙媒体と電子媒体の資料と読み取りにおける効率等の比較～各媒体の利用状況での分析～」
[11]日本電子出版協会（2025）「電子コミック市場崩壊の危機」https://www.jepa.or.jp/keyperson_message/202508_7222/
[12]出版化学研究所（2025）「日本の出版販売額」https://shuppankagaku.com/statistics/japan/

# 日本の観光の持続可能性

## ～序論～

近年、日本の観光業はインバウンド需要の急速な回復と拡大により、大きな転換期を迎えている。特に都市部や有名観光地では、訪日外国人観光客の集中によって、交通混雑、生活環境の悪化、地域住民との摩擦など、いわゆる「オーバーツーリズム」が深刻な社会問題となっている（崔,2023）。一方で、観光業を支える人材不足は解消されておらず、宿泊業・飲食業・交通・観光案内など幅広い分野で慢性的な労働力不足が続いている（崔,2023）。

これまでの日本の観光業における雇用は、短期的・低賃金・非正規中心という特徴を持ち、労働環境の厳しさから人材の定着率が低いことが課題とされてきた（九里・小林,2006）。加えて、オーバーツーリズムの進行は、単なる人手不足の問題にとどまらず、「どのような人材が必要なのか」「量だけでなく質の面での雇用をどう確保すべきか」という新たな課題を生み出している（九里・小林,2006）。

本研究では、オーバーツーリズムが進む観光業において、従来型の労働力確保だけでは不十分であり（高尾,2021）、地域社会との調和、観光の質の向上、持続可能性を支える人材が求められているという仮説を立てる。その上で、観光業において今後必要とされる人材の特徴と、雇用の方向性について明らかにすることを本研究の目的とする。

実際に、観光業界を対象とした調査によれば、回答企業の約46％が「接客」人材の不足を挙げており、「営業・渉外」「調理」「事務」など幅広い職種で人材不足が深刻化していることが明らかになっている（トラベルボイス，2023）。このことから、観光業における人手不足は特定職種に限らず、産業全体に及ぶ構造的課題であるといえる。




図1　観光業における不足職種（152社回答）

（出典:トラベルボイス「観光業界の人手不足調査」2023年8月18日

https://www.travelvoice.jp/20230818-154038）

## ～研究方法～

本研究では、主に文献調査を用いた分析を行う。具体的には、以下の3つの観点から先行研究や統計資料、政策文書を整理した。

第一に、日本における観光業の雇用構造と人材不足に関する研究である。地方観光地を中心とした労働力確保の実態、非正規雇用の割合、若年層の就職に対する意識などを扱った論文を参照し、観光業が抱える構造的問題を整理した。

第二に、オーバーツーリズムに関する研究である。観光客の集中が地域社会や住民生活に与える影響、行政や観光事業者による対策、観光の質の低下に関する議論を通じて、オーバーツーリズムが雇用にどのような変化を求めているのかを分析した。

第三に、持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）や地域共生型観光に関する研究である。観光を「消費」ではなく「地域との関係性」として捉える視点から、求められる役割や能力について整理した。

## ～研究方法の補足～

分析にあたっては、以下の視点を重視した。一つ目は「量から質への転換」である。単純な人手確保ではなく、観光体験全体を管理・調整できる人材の必要性に注目した。

二つ目は「地域との関係性」である。観光客対応だけでなく、地域住民との調整役としての人材の役割を重視した。

三つ目は「長期的雇用」である。短期雇用や使い捨て型労働ではなく、観光業を職業として継続できる雇用のあり方に着目した。

# ～結果～

本研究では、オーバーツーリズムが進行する地域において求められる人材について、先行研究の整理および関連文献の分析を通して検討した。

まず、観光客の増加による地域社会への影響については、観光による便益がある一方で、地域住民との摩擦や生活環境の悪化などの社会的影響が生じることが指摘されている（崔,2023）。特に、オーバーツーリズムの「過剰性」は立場によって認識が異なり、住民・観光事業者・観光客の間で感じ方に差があることが明らかにされている(鋼川,　2021)。また、持続可能な観光の実現には、環境・社会・経済の三つの側面を統合的に考慮する必要があるとされている(

九里・小林,2006）。観光は地域経済に貢献する一方で、資源の過剰利用や環境負荷を引き起こす可能性があり、市場の失敗を防ぐ仕組みづくりが重要である（高尾,2021）。さらに、地方観光地では慢性的な労働力不足が生じており、繁忙期と閑散期の労働需要の変動、通勤圏の制約、人的ネットワークへの依存などの特徴が見られる（鋼川,2021）。このことから、単純な人員増加ではなく、柔軟な雇用体制や外部人材の活用が課題であることが分かる。加えて、日本社会全体では非正規雇用の増加や若年層の不安定就労といった雇用問題が存在している（竹部,2011）。観光業においても同様に、不安定な雇用構造が人材定着を妨げる要因となっている可能性がある。

以上より、オーバーツーリズムが進行する地域では、単なる接客能力だけでなく、地域調整力、環境配慮意識、マネジメント能力を兼ね備えた人材が必要とされていることが明らかになった。

## ～考察～

本研究の結果から、オーバーツーリズム問題は「観光客が多すぎる」という単純な現象ではなく、利害関係者間の認識の差や市場メカニズムのバランスが崩れる事によって生じる構造的問題であることが示唆された。

まず、観光による影響の受け止め方は立場によって異なるため、観光政策や人材育成において、多様な利害関係者の視点を踏まえる必要がある。特に、住民の生活満足度を維持しながら観光を発展させるためには、地域との対話を担える人材の育成が重要である。次に、持続可能な観光の実現には、短期的な経済効果だけでなく、長期的な資源保全を考慮するマネジメントが求められる。観光市場には外部性や市場の失敗が存在するため、データ分析能力や政策理解を備えた人材の必要性がある。さらに、地方観光地の労働力確保の問題を踏まえると、観光業の雇用環境改善も重要な課題である。不安定雇用が続く限り、専門性の高い人材の定着は困難である。そのため、人材育成と雇用制度改革は並行して進める必要があると考える。

以上より、オーバーツーリズムに対応するためには、

・地域社会との調整能力

・持続可能性への理解

・デジタル・マネジメント能力

・安定的な雇用環境の整備

が不可欠であると考えられる。

# ～参考文献～


トラベルボイス（2023）「京都市観光協会、観光事業者の人手不足の実態調査、接客職で不足が顕著、限られた労働力での試行錯誤続く」
https://www.travelvoice.jp/20230818-154038

崔載弦　（2023）「観光の構造的問題とオーバーツーリズムの概念に関する研究」
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jafit/30/0/30_103/_article/-char/ja/

佐々木土師二　（2006）「ツーリズムのインパクトと地域住民の態度」
https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/record/9391/files/KU-1100-20060330-07.pdf

鋼川雄大（2021）「地方観光地の宿泊業における労働確保の特徴」
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jaeg/67/2/67_84/_pdf

福岡昌子・趙康英　（2012）「グローバル人材育成と企業の留学生雇用に関する研究」 https://mie-u.repo.nii.ac.jp/record/6689/files/63C16254.pdf

竹部伊織　（2011）「日本が抱える雇用問題と諸政策」
https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no7/Takebe.pdf

高尾美鈴　（2021）「観光アクティビティと持続可能性－市場の失敗回避と観光資源管理の在り方をめぐって」
https://chuo-u.repo.nii.ac.jp/record/12994/files/ECDK00122_thesis.pdf

九里徳泰・小林裕和　（2006）「持続可能な観光論－歴史・理論・戦略」
http://hirokazukobayashi.travel.coocan.jp/ronbun/ronbun2006c.pdf

阿部大輔　（2019）「オーバーツーリズムの概念整理と日本における課題」
https://scholar.google.co.jp/

石森秀三（2019）「観光公害と地域社会」https://jush.jpPDF

大橋昭一（2016）「地域活性化と観光まちづくり」
https://narapu.repo.nii.ac.jp/record/1275/

西村幸夫（2004）「歴史的環境保全と観光」
http://u.repo.nii.ac.jp/record/3488/files/

観光庁（2023）「持続可能な観光推進に向けた有識者会議報告書」
https://www.mlit.go.jp

山口誠（2015）「観光産業における人材育成の課題」
https://scholar.google.co.jp/

森重昌之（2017）「観光人材の専門性と地域連携」https://www.nochuri.co.jppdf
観光まちづくり組織による複数の

日本観光研究学会（複数年）学会誌『観光研究』掲載論文
http://ndlsearch.ndl.go.jp

# 観光の持続可能性

## 1、研究背景

近年、日本を含む世界各地の観光地では、観光客の増加による混雑、自然環境への負荷、地域住民の生活への影響といった問題が顕在化している。これらの問題は「オーバーツーリズム」と呼ばれ、観光地の魅力を低下させるだけでなく、地域社会との対立を生む要因にもなっている。（観光庁、観光白書、2025）

観光は地域経済に利益をもたらす一方で、短期的な利益を優先した観光開発は、自然環境や文化の破壊につながる危険性を持っている。そのため、観光を持続的に発展させるためには、経済性だけでなく、環境面や社会面にも配慮した「観光の持続可能性」が求められている。

観光庁は、持続可能な観光を「観光地の自然、文化、地域社会を守りながら、将来にわたって観光を継続していくこと」と定義している（観光庁、持続可能な観光ガイドライン）。また、UNWTO、世界観光機関　も、観光の持続可能性においては、観光客・地域住民・観光事業者の三者のバランスが重要であると指摘している（UNWTO、世界観光機関、2025）。

こうした背景の中で近年注目されているのが、「リピーター」を重視した観光のあり方である。リピーターは一度訪れた経験をもとに観光地をより深く理解し、文化や地域のルールを尊重する傾向があるとされている（日本観光研究学会 、2020）。

京都は、日本を代表する観光都市であり、国内外から多くの観光客が訪れる一方で、観光客の集中による混雑や住民生活への影響が問題となってきた。しかし、京都には四季の移り変わり、歴史的建造物、伝統文化、体験型観光など、一度の訪問では体験しきれない多様な魅力が存在している。このような特徴は、リピーターを生み出す可能性を持ち、観光の持続可能性を考える上で重要な事例である。

## 2、研究目的・意義

本研究の目的は、京都を事例として、観光客の満足度を高め、何度も訪れたくなる観光地にするための工夫を明らかにすることである。特に、京都が持つ季節ごとの変化や、寺社仏閣の見学にとどまらない体験型観光、歴史や文化を学ぶ要素に注目し、それらが観光客の満足度や再訪意欲にどのように影響しているのかを整理する。また、観光客の満足度が高まることで、観光が一時的な流行に左右されるのではなく、安定した形で継続される可能性についても考察する。観光客が地域の文化や価値を理解し、何度も訪れたいと感じることは、観光地にとって長期的な発展につながると考えられる。

以上を踏まえ、本研究では「何度も行きたくなる観光地づくり」が、京都における観光の持続可能性にどのように寄与しているのかを明らかにし、今後の観光地づくりに対する一つの視点を提示することを目的とする。

## 3、研究方法

本研究では、アンケート調査および文献調査の二つの方法を用いた。アンケート調査は、国際情報高校生を中心に家族にも実施した。対象は京都に行ったことがある人と、行ったことがない人の両方とし、それぞれに応じた質問を設定した。

質問内容は、訪問経験の有無、訪問回数、満足度、京都の魅力だと感じた点、再訪意欲、再訪したい理由、リピーター観光の重要性に対する意識などである。また、京都を訪れたことがない人に対しては、京都のイメージや将来の訪問意欲について質問を行った。文献調査では、観光庁の観光白書や持続可能な観光に関するガイドライン、京都市の観光調査、UNWTOの報告書などを参考にし、観光の持続可能性やリピーター観光に関する理論的背景を整理した。これらの文献とアンケート結果を比較しながら分析を行った。

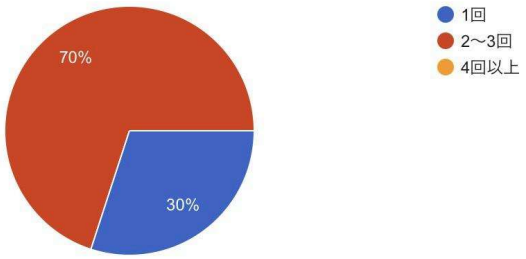
## 4、研究結果・考察

観光の持続可能性について、観光庁は、観光地の自然環境や文化、地域社会を守りながら観光を継続していくことが重要であると指摘している。また、UNWTO（世界観光機関）も、持続可能な観光においては、短期的な観光客数の増加ではなく、長期的な関係の構築が重要であるとしている。

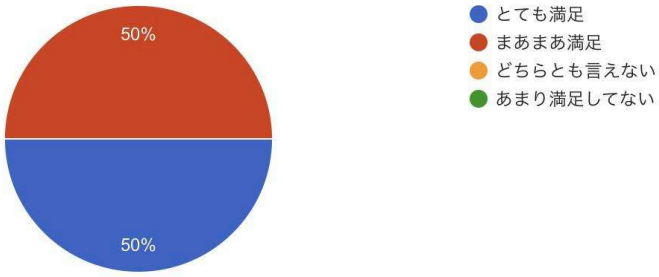
このような観点から注目されているのが、リピーター観光である。日本観光研究学会によれば、リピーターは観光地への理解や愛着が深まりやすく、地域文化を尊重する行動を取りやすいとされている。また、リピーターの存在は観光地の安定的な発展にも寄与すると指摘されている。

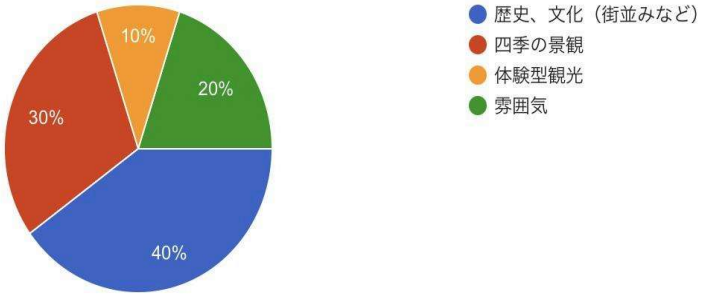
さらに、観光地における再訪意欲の要因については、「多様な魅力」や「時間的な変化」が重要であるとされている。特に、四季の変化や体験型観光など、一度の訪問では体験しきれない要素がある観光地は、再訪意欲が高まりやすいとされている。

アンケート調査の結果、回答者の90%が京都を訪れた経験を持っていることが分かった。訪問回数については、初めて訪れた人が30%であったのに対し、複数回訪れているリピーターが70%を占めており、京都には多くのリピーターが存在することが明らかとなった。

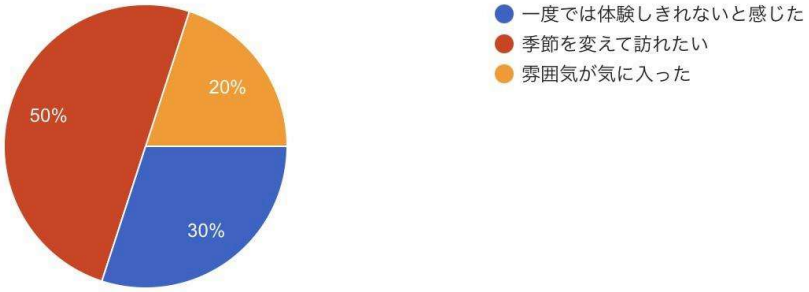


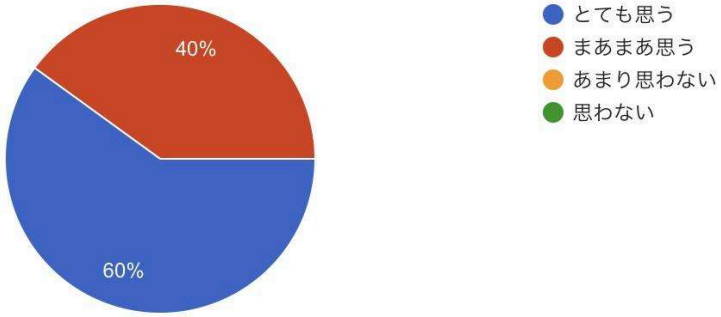

満足度については、「とても満足している」と回答した人が50%を占め、多くの観光客が高い満足感を得ていることが分かった。京都の魅力としては、「歴史・街並み・文化」が40%と最も多く、次いで「四季の景観」が30%、「京都の雰囲気」が20%、「体験型観光」が10%であった。



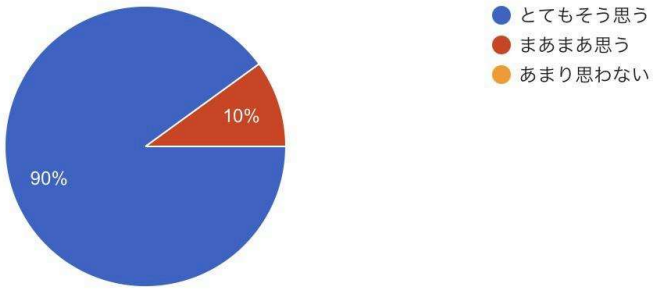




再訪意欲については、「とても行きたい」と回答した人が60%を占めた。再訪したい理由としては、「季節を変えて訪れたい」が50%、「一度では体験しきれない」が30%、「京都の雰囲気が気に入った」が20%であった。これらの結果から、京都観光は一度の訪問で完結するものではなく、時間をかけて楽しむ観光地であることが分かる。



また、「観光地では何度も訪れてもらう観光が大切だと思うか」という質問に対しては、90%が「とても思う」と回答しており、リピーター観光の重要性が広く認識されていることが明らかとなった。




京都を訪れたことがない人に対する質問では、71%が京都を「有名」とイメージしており、80%が「将来訪れてみたい」と回答した。この結果から、京都は高い知名度と強い観光イメージを持つ都市であることが分かる。




これらの結果を文献調査と照らし合わせると、リピーターは観光地への理解や愛着が深まり、地域文化を尊重する行動を取りやすいという先行研究の指摘（世界観光機関、UNWTO）と一致していると考えられる。京都のように、一度では体験しきれない魅力を持つ観光地は、持続可能な観光に適しているといえる。観光客自身も持続可能な観光のあり方としてリピーター観光を支持していることが明らかとなった。

また、京都の魅力として「歴史・文化」や「四季の景観」が多く挙げられた点についても、京都市の観光調査において同様の結果が示されており、京都が持つ伝統的な観光資源が再訪意欲に影響を与えていると考えられる。

以上のことから、文献調査およびアンケート調査の結果を総合すると、何度も行きたくなる観光地には、「多様な魅力」「時間的変化」「文化的価値」といった要素が存在し、それらがリピーターを生み出す要因となっていると考えられる。そして、リピーターの存在は観光地との長期的な関係を生み出し、観光の持続可能性を高めることにつながるといえる。

## 5、結論および今後の展望

本研究から、何度も行きたくなる観光地には、季節ごとの変化や歴史・文化、雰囲気など、一度の訪問では体験しきれない魅力が存在することが明らかとなった。京都の事例から、観光客の満足度を高め、再訪意欲を促すことは、観光の持続可能性に寄与する可能性が高いと結論づけられる。

今後の展望としては、観光客だけでなく地域住民の意識調査を行うことや、具体的な観光施策との関係を分析することが課題として挙げられる。また、他の観光地と比較することで、より一般性のある結論を導くことが期待される。これらの要素は、観光客がその土地への理解や関心を深めるきっかけとなり、観光の質を高めることにつながっている。観光の持続可能性の観点から見ると、リピーターを重視した観光は重要である。一度きりの観光客を大量に集めるのではなく、満足度の高い体験を通して再訪を促すことで、観光客の集中を緩和し、地域文化や環境への配慮につながる可能性がある。

本研究の結果からも、再訪意欲の高さは持続可能な観光の実現に寄与していると考えられる。以上より、何度も行きたくなる観光地にするためには、季節ごとの変化や体験型観光、学びの要素などを取り入れ、一度では体験しきれない魅力をつくることが重要であると結論づけられる。京都の事例は、観光客の満足度と再訪意欲を高めることが、観光の持続可能性につながることを示す一例である。

## 6、参考文献・参考引用


国土交通省 観光庁観光白書（2025年）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/

加藤梨香子（2023年）香川大学経済政策研究「インバウンドによる観光公害から考える持続可能な観光」
https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no18/kato.pdf

観光庁「持続可能な観光ガイドライン」
https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkeikaku/jizoku_kankochi/jizokukano_torikumi.html

京都市産業観光局「京都観光総合調査」

https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki_list.html

日本観光研究学会 編「観光学入門」
https://jitr.jp

「リピーター観光が地域に与える影響」京都市公式観光サイト
https://ja.kyoto.travel/news/format.php?id=497

リピーターを作りに役立つ5つの重要ポイント（2024年）https://compass.ntmg.jp/repeaters/13592/

岡村薫、福重 元嗣（2007年）「リピーター観光客育成に向けた観光プロモーション策」
https://www.apir.or.jp/uploads/files/203.pdf

世界観光機関（2025年）
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/page22_000759.html

高坂晶子（2020）「オーバーツーリズム 観光に消費されないまちのつくり方」学芸出版社.

日本マーケティング学会（2020年）

九州産業大学　大方優子、五十嵐正毅「旅行先へのリピーターの行動特性に関する研究」

京都大学経営管理大学院（2019年）「京都のオーバーツーリズムの現状と観光地のデ・マーケティング」

京都府観光連盟公式サイト「京都府観光ガイド」
https://www.kyoto-kankou.or.jp

崔 載弦　東海大学観光学部 「観光の構造的問題とオーバーツーリズムの概念に関する研究」

季節感の持続可能性～昔と今で感性の本質は変化しているのか～

# 1．研究背景

外国にはない日本の特徴として、日本には四季があり、日本人は季節感が豊かであると言われる。しかし、現代の都市生活では、慌ただしい生活での心のゆとりの減少や街の都市化により季節を感じることがなくなってきている。季節を感じるための自然物が、街路樹や人工的に作られた植栽になったり、それ以上に季節を感じさせるのがコンビニエンスストアで見かける節分の恵方巻きやバレンタイン、クリスマスなどの行事関連のものになっている。(松井，2021)

そこから考えられる問題点は、日本人が本来持ってきた自然に基づく季節感の希薄化である。従来、日本の季節感は、気温や匂い、植物の変化、空の色など、五感を通じて自然の中から受け取られてきた。しかし現代の都市生活においては、自然との接点が減少し、季節の変化を身体的・感覚的に実感する機会が失われつつある。(岩本，2019)その結果、季節が「感じ取るもの」ではなく、「知識として認識するもの」へと変化している可能性がある。(高本，2003)

# 2．研究目的

現在の日本は、日本人の感性が形成・成熟したとされる平安時代と比べ、自然環境および生活環境の両面において大きく変化している。(吉野，2011)そこで本研究では、「本当に昔と現代とで日本人の感性の本質は変化していないのか」という問いをリサーチクエスチョンとして設定し、日本人の感性がどの程度変化してきたのかを明らかにすることを目的とする。

本研究を通して、現代日本人においては、自然の移ろいや季節の変化といった自然的要素から得られる感情や感性が、過去と比べて減少している可能性を明らかにすることができると考えられる。これは、都市化や生活様式の変化によって、人々が自然と接する機会が減少していることと深く関係していると推測される。

以上を踏まえ、本研究の最終的な目的は、現代の日本人が自然物をより大切にし、過去の日本人が育んできた感性や伝統的な美意識について理解を深めることにある。また、その理解を通して、日本独自の感性や美意識を今後どのように継承していくべきかについて考察することを目指す。

# 3．研究方法

本研究では、現代日本人の季節感および伝統的な美意識の変化を明らかにするため、アンケート調査を実施した。本調査は、現代の日本人が季節の変化をどのような要素から感じ取っているのか、また、自然や季節に対する感情的反応が現在どの程度保たれているのかを把握することを目的としている。

調査は2025年12月にGoogleフォームを用いて実施し、新潟県立国際情報高等学校の生徒計26名を対象とした。対象者の居住地域は、南魚沼市、長岡市、十日町市、魚沼市、新潟市、三条市などであり、主に豪雪地域およびその周辺地域の生活者によって構成されている。

アンケートでは、季節の変化を感じる要因として、自然景観、行事・イベント、季節限定の商品といった複数の要素を提示し、現代における季節感が自然由来のものか、あるいは人工的・商業的な要素によるものかを比較できるように設計した。

また、近年の気候変動を踏まえ、回答者が季節のずれを実感しているかどうか、さらにその具体的な経験についても調査を行った。これにより、季節に対する認識の変化や違和感の有無を明らかにすることを試みた。

さらに、季節や自然にまつわる出来事によって感情が動いた経験の有無と、その内容について自由記述で回答を求め、自然的な季節要素が感性に与える影響を質的に分析できるようにした。

加えて、日本が古くから大切にしてきた日本独自の美意識を自身の中に感じているかを段階的に回答させることで、伝統的な感性や美意識の継承意識の程度を把握した。

以上の調査結果を総合的に分析し、現代日本人の季節感の特徴と、その変化の背景について考察する。

# 4. 結果

Q1. 季節の変化を最も強く感じる要因

| 季節を感じる要因 | 人数 |
|---|---|
| 周りの景色（桜・紅葉・雪など） | 13 |
| 行事やイベント（夏祭り・クリスマスなど） | 10 |
| 季節限定の商品 | 2 |
| 気温の変化（暑い・寒い） | 1 |
| **合計** | **26** |

Q2(1)季節のずれを感じるか

| 回答 | 人数 |
|---|---|
| はい | 17 |
| いいえ | 4 |
| わからない | 5 |
| **合計** | **26** |

Q2(2)季節のずれとして挙げられた内容
*(1)ではいと答えた人のみ　*自由回答

| 内容の分類 | 主な記述例 |
|---|---|
| 秋の短縮・消失 | 「秋が短い」「秋がほとんどない」 |
| 気温の異常 | 「10月でも暑い」「寒暖差が激しい」 |
| 雪の減少・冬の変化 | 「12月でも雪が積もらない」 |
| その他（梅雨の消失など） | 「梅雨がなかった」 |

Q3(1)季節や自然によって気持ちが動いた経験の有無

| 回答 | 人数 |
| --- | --- |
| はい | 11 |
| いいえ | 15 |
| **合計** | **26** |

Q3(2)気持ちが動いた具体的な内容
*(1)ではいと答えた人のみ　*自由回答

| 内容の分類 | 具体例 |
| --- | --- |
| 空・光景 | 星空、夕暮れの空 |
| 雪 | 雪景色、雪が降る様子 |
| 植物 | 桜の満開・散る様子 |
| 生き物 | 田んぼにいる白鳥 |

Q4. 日本的美意識を自分の中に感じるか
＊日本的美意識をはっきりした形や派手さよりも、静けさ、儚さ、不完全さの中に美を見いだす感性とした。

| 回答 | 人数 |
| --- | --- |
| よく感じる | 2 |
| たまに感じる | 11 |
| あまり感じない | 7 |
| 感じない | 6 |
| **合計** | **26** |

Q1より、回答者の半数が自然景観から季節を感じている一方で、行事やイベントといった社会的・人工的要素から季節を感じている者も多いことが分かる。

また、Q2より、多くの回答者が季節のずれを実感しており、特に秋の短縮や異常気象といった変化が強く認識されている。

一方で、Q3に示されるように、季節や自然によって感情が動いた経験を持たない回答者も過半数を占めている。

Q4からは、日本的美意識を「強く自覚している」回答者は少なく、多くが「たまに感じる」といった曖昧な認識にとどまっていることが明らかとなった。

# 5. 考察

本調査の結果から、現代日本人は依然として自然景観を通して季節を感じている一方で、行事やイベントといった人工的・社会的要素への依存も大きいことが明らかになった。これは、都市化や生活様式の変化により、日常的に自然と接する機会が減少している現代社会の特徴を反映していると考えられる。

また、多くの回答者が季節のずれを実感しており、特に「秋の短縮」や「気象の異常」といった指摘が多かった点は注目に値する。これは気候変動の影響だけでなく、かつての季節感が記憶や経験として共有されているからこそ生じる違和感であり、季節の変化に対する感受性が完全に失われているわけではないことを示している。

一方で、季節や自然によって「気持ちが動いた経験」がないと回答した者が約半数存在したことから、自然が感情に直接作用する機会は減少傾向にあると考えられる。自由記述で挙げられた感動体験は、雪、桜、星空など、平安時代の和歌や随筆においても多く扱われてきた題材と重なっており、日本人の感性の「型」自体は現在も残存している可能性が高い。

しかし、日本的美意識を「よく感じる」と自覚している回答者が少数にとどまった点から、その感性は無意識的・断片的に存在しているものの、意識的に認識・継承されているとは言い難い状況にあると考えられる。

# 6. 結論

本研究では、「昔と現代で日本人の感性の本質は変化していないのか」という問いをリサーチクエスチョンとして設定し、アンケート調査を通して現代日本人の季節感および美意識の在り方を明らかにすることを目的とした。

調査の結果、現代日本人は依然として自然景観を通じて季節を感じているものの、行事やイベント、季節限定の商品といった人工的・社会的要素に依存する傾向も強まっていることが明らかになった。また、多くの回答者が季節のずれを実感しており、特に秋の短縮や異常気象など、従来の季節の在り方との違いに違和感を抱いていることが確認された。

一方で、季節や自然にまつわる出来事によって感情が動いた経験を持たない回答者が半数以上を占めたことから、自然が感情に直接作用する機会は減少していると考えられる。しかし、星空、雪、桜といった自然現象に心を動かされたという記述は、平安時代の文学作品にも共通して見られる題材であり、日本人の感性の本質そのものは現在も完全には失われていない可能性が示唆された。

以上より、日本人の感性の本質が大きく変化したとは言い切れないものの、自然と日常的に関わる機会の減少により、季節を通して感情を深める体験は弱まり、感性の表れ方は質的に変容していると結論づけられる。

そのため今後は、自然物を意識的に大切にし、過去の日本人が育んできた感性や伝統的な美意識を学び、再認識することが、日本文化の継承において重要であると考えられる。

# 7. 参考文献

吉野正敏(2011)，『季節感・季節観と季節学の歴史』
https://www.airies.or.jp/attach.php/6a6f75726e616c5f31372d316a706e/save/0/0/17_1-02.pdf
.2025年6月.
国土交通省(2019)『日本人の感性(美意識)の変化』
https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h30/hakusho/r01/pdf/np101300.pdf .2025年6月.
松井貴子(2021)『日本の季節感-生活文化と伝統工芸-』
https://ishcc.stars.ne.jp/bulletin/29/b046_matsui_seasonalpaper.pdf .2025年7月.
吉田美苗(2023)『日本の文様における季節感の表現に関する研究』

https://hju.repo.nii.ac.jp/record/1186/files/masteryoshida.pdf .2025年8月.
諸井彩子(2006)『源氏物語の自然観』
https://teapot.lib.ocha.ac.jp/record/7607/files/63_261-266.pdf .2025年8月.
入江恵美(1944)『万葉集の季節感-夏の季を中心として-』
https://cir.nii.ac.jp/crid/1050845763828484352 .2025年10月.
高本愛(2003)『四季の認知』
https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/kernel/81000559/81000559.pdf .2025年11月.
岩本英之(2019)『東京における気温季節区分と長期変動』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jishwr/32/4/32_182/_article/-char/ja/ 2026年.1月.
藤後悦子(2014)『海の囲まれて育った子ども達の「自然への感受性」』
https://www.tokyomirai.ac.jp/info/research/bulletin/pdf/07/togo.pdf 2026年.1月.
渡辺隆一(1986)『季節感を測る』
http://www.shinshu-u.ac.jp/group/env-sci/Backnumber/Vol08/08-19.pdf 2026年.1月.

# アニメ漫画の持続可能性について

1研究目的

日本のアニメ漫画は現代生活の一部になってきているがアニメや漫画の影響は賛否両論である。どちらも未来を担う子ども達に関わることであり、社会全体で考える事が必要なのである。日本のアニメ・漫画産業が、日本国内においてどのような経済効果を生み出しているのかが気になった。アニメ視聴の増加によって、動画配信サービスの利用やサブスクリプション型ビジネスがどのように発展しているのかを考察する。そこで、。アニメ映画の興行収入の推移や動画配信サービスの加入者数の増加といった市場データをもとに、その経済的規模と成長性を明らかにする。さらに、関連商品の販売、海外展開、本研究ではアニメや漫画が観光産業、サブスク産業に与える影響、観光需要への波及などの間接的効果を知りたいと思った。

2アニメの具体的な影響について

「2018 年 11 月 30 日、熊本県の県庁に『ONE PIECE』「ルフィ」像が設置された。これは 2016 年 4 月の熊本地震被災に対し、同県出身の漫画家である尾田栄一郎の支援を受けた熊本県の「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」を象徴する出来事であった。このプロジェクトはもともとは『ONE PIECE』の作者である尾田の地元への熱い思いから始まったもので、熊本城をバックにする「麦わらの一味」のイラストが復興支援を物語っている。1997 年から『少年ジャンプ』で連載が開始された『ONE PIECE』はその後全国的な人気作品として躍進し、2021 年には単行1 1997 年から『週刊少年ジャンプ』（集英社）に連載されている尾田栄一郎原作のマンガ作品。テレビアニメ、劇場アニメなど幅広く展開され、全国的に絶大な人気を博する。ルフィ（モンキー・D・ルフィ）はその主人公。本国内累計発行部数が 4 億冊を突破するなど、その勢いは現在もなお続いている。これは、人気を博するマンガ（漫画）のキャラクターが人々の気持ちを和ませ、同時に奮い立たせる役割を担うことを意味する。熊本県内に設置された「麦わらの一味」たちの銅像は、着実にその「使命」を果たしている。他方、日本中を「国民的イベント」に巻き込んだ『滅の刃』にしても、2020 年 10 月～12月に JR 東日本などとの連携によるイベント「鬼滅の刃×SL ぐんま、無限列車大作戦」が実施されている。これは、大人気マンガの勢いを鉄道旅行者確保と地域観光活性化に活用した企画である。この企画はマンガ・アニメの他分野への商業利用であるが、その白熱ぶりを考えると、多くの人々の期待と満足に貢献したことがうかがえる。『鬼滅の刃』の列車とのコラボは九州 JR でも実施されている。また、以下の例はアニメ映画の宣伝であるが、フランス、マルセイユにおいて『鬼滅の刃』のトラム6が運行されたことが伝えられ、YouTube などで話題になっている。(吉田欣吾・ペグサム マナシシャー・平野葉一、2022)

3、研究方法

アニメ漫画に関する論文や文献やアンケート調査などを実施して本研究を進めた。アンケートではGoogleフォームを用いて国際情報高校の生徒38人に一日どのくらいアニメ漫画を見るのかさらにアニメを見るためにサブスクリプションに入っているのかを目的として実施した。

4、仮説

日本のアニメ・漫画は、技術の発展やスマートフォンの普及、サブスクリプションサービスの拡大によって視聴者が増え、サブスク産業や地域観光産業は儲かるのでないか。

5結果

アニメ漫画の映画化による経済影響が大きいことがわかった。

| 順位 | 作品タイトル | 配給会社 | 興収(億円) | 公開日 | 邦画 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 千と千尋の神隠し | 東宝 | 308.0 | 2001/07/20 | ● |
| 2 | タイタニック | FOX | 262.0 | 1997/12/20 | |
| 3 | アナと雪の女王 | ディズニー | 255.0 | 2014/03/14 | |
| 4 | 君の名は。 | 東宝 | 250.3 | 2016/08/26 | ● |
| 5 | ハリー・ポッターと賢者の石 | ワーナー | 203.0 | 2001/12/01 | |
| 6 | ハウルの動く城 | 東宝 | 196.0 | 2004/11/20 | ● |
| 7 | もののけ姫 | 東宝 | 193.0 | 1997/07/12 | ● |
| 8 | 踊る大捜査線 THE MOVIE2 レインボーブリッジを封鎖せよ！ | 東宝 | 173.5 | 2003/07/19 | ● |
| 9 | ハリー・ポッターと秘密の部屋 | ワーナー | 173.0 | 2002/11/23 | |
| 10 | アバター | FOX | 156.0 | 2009/12/23 | |

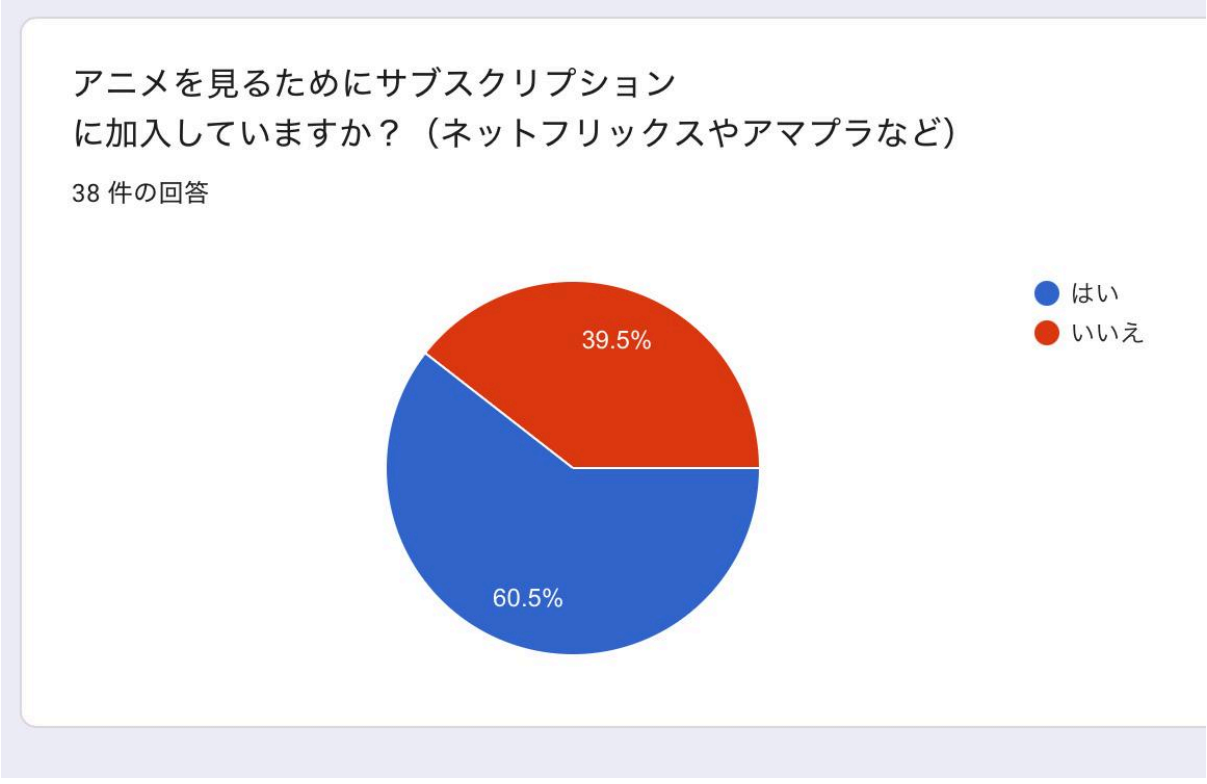
出所)http://www.kogyotsushin.com/archives/alltime 2016 年 8 月 26 日参照

「この上の画像を見ると一位の君の名は公開してたった 4 ヶ月でここまで興行収入を残せるのはまれであり、日本では 15 年ぶりの快挙である。」(木暮 峻也、2014)国内のドラマの映画化を抑えてのアニメ漫画の映画化の収入が一番高いことから大きく経済に影響してるといえる。

さらに年々国内のアニメ産業市場が増加している。(下の図を参照) アニメ産業市場とはアニメの制作、販売などを総括した経済活動のことであり、これは年々アニメ漫画が多くのユーザーに受け入れらてきていることを意味する。




(一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2024」より明治安田総研作成)




この結果から半分以上の人がアニメのためにサブスクリプションに登録していることがわかった。これは月々のお金を払ってアニメを見るために登録しているため経済に良い影響を与えていることを示唆している。

考察

経済的にアニメ漫画がいい影響を与える理由として日本の聖地巡礼を目的とした観光客によるものが大きいのではないかとも考えた。

次に海外ファンの日本へのアニメ漫画を目的とした旅行や海外への日本アニメ漫画のグッズの輸出が大きく影響をもたらしているとも思う。アニメ漫画が多くの人の受け入れらてきていることにより若者だけでなく多くの世代に広がっている理由として、アニメ漫画だけの影響だけでなくインターネットの普及、時代の変化が日本のアニメ漫画普及の理由の一つであると思う。アニメや漫画は、単なる娯楽ではなく、日本の重要な輸出産業の一つであると考えられる。特に海外市場の拡大により、日本にいながら世界中から収益を得ることができる点は大きな強みである。また、関連グッズや観光など他の産業にも波及効果をもたらしている。しかし一方で、今円安による影響から制作現場の長時間労働や低賃金といった問題もある。そのため、産業として持続的に成長するためには、労働環境の改善や人材育成が重要であると考えられる。日本のアニメの映画化は、興行収入だけでなく、関連産業やサブスクリプション市場の拡大を通じて、日本経済に多面的な影響を与えている。特にアニメは、継続的な消費を生むコンテンツとして、現代のデジタル経済において重要な役割を果たしている。サブスクでの日本のアニメの配信は海外上映・配信によって外貨を獲得している。日本のアニメ漫画は「文化」であると同時に「国際ビジネス」でもあるのではと思った。

## 6まとめ

本研究はアニメ漫画が経済的に大きく影響しているのではないかという疑問を元に調査をしてきたが、やはり昔の日本のアニメ漫画より年々技術が進んでいくうちに影響が大きくなってきていると分かった。今は昔と違いスマホ一つで移動中などの隙間時間に気軽にアニメ漫画を見れる時代になってきているためこれからも多くの人にアニメ漫画が受け入れらるだろう。アニメ漫画が多く受け入れられる理由として時代の変化も大きく関わっていることであろう。さらに、アニメを視聴するためにサブスクリプションサービスへ加入する人が増えていることから、アニメは継続的な収益を生み出す重要なコンテンツになっているといえる。

アニメをサブスクに多く取り入れたり、映画化することが大きな影響力を持っている。アニメ漫画は経済面でも大きな役割を担っているので、持続可能なものである。アニメ・漫画産業は日本経済に大きく貢献しているが、制作現場の労働環境や海外依存、海賊版問題などの課題も抱えている。

今後この産業を持続的に発展させるためには、クリエイターへの適切な報酬や国際競争への対応が重要である。さらに日本のアニメの映画化は、興行収入だけでなく、グッズ販売や観光、原作漫画の売上など多くの関連産業に波及効果をもたらし、経済に大きな影響を与えている。

## 7参考文献

1、「社会へのアニメ・漫画の影響」(2022年、9月)

東海大学・吉田欣吾、ペグサム マナシシャー、平野葉一
https://www.u-tokai.ac.jp/uploads/sites/8/2022/09/d8c254f943b2ec15ff0ea3dbd8c364c4.pdf()
2、「アニメ視聴による心理学的体験の構造化」(2020年、2月25日)大阪大学2020・藪田 拓哉、佐々木 淳
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjas/21/2/21_210203/_pdf

3、「マンガ批判に関する再考」(2018年4月27)城西大学・堤 大 和　浅原知恵
https://libir.josai.ac.jp/il/user_contents/02/G0000284repository/pdf/JOS-2433541X-0413.pdf

4、「日本のアニメ経済について～日本のアニメは何がすごいのか 日本の経済を変えた文化～」(2014年3月14日)木暮 峻也
https://activecenter.cgu.ac.jp/ec-cube/html/template/default/img/common/academia/1601kogu.pdf

5、「アニメ・マンガが変える！聖地巡礼と経済～全国に広がる聖地巡礼、地域活性化とインバウンド効果に期待～」(2025年5月13日)経済調査部 エコノミスト藤田 敬史
httpsz://www.myri.co.jp/viewpdf.php?id=f2a82cf1cf0e76c1f4cfba86717e98fd13826388a87123b7b52cc57ec29fa21cf6a629f981537fc5ac8ab4d3752183eb4a9327c3bc3235a8eb7087769691e84ae4ea34a097496ac7afcdebdc212a90f41c86648fa97370e6bc799122c5c8a54df2a82aa79c0277dbe79de8c77e729bf510906dd8fe7f6064058f1db1481b5892741fb72079a7a6762b1a0d6da69b30f61ed362b323c4d46219af10ac561a6395b9ec7fa5d80138&tmp=1747333294

6、「マンガ・アニメの及ぼす影響に関する心理学的研究」(2024年)山口大学教育学部・野村卓志、春日由美https://cspa.hiroshima-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/03/2024_U009.

7、「思春期の心理療法プロセスにおける漫画アニメの作用に関する研究臨床心理学における漫画アニメに関する文献研究から」(2021年3月29日)京都大学大学院教育学研究科 学校臨床研究会・大澤 尚也、水野 鮎子、渡部 智行、小畠 純一、長谷 雄太、境 明穂、嶋見 優希、星野 春香https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/bitstream/2433/262683/1/prccpe24_40.pdf

# 東京ディズニーリゾートの持続可能性

## ～ウォルト・ディズニーの望んだ“すべての人のための場所”で生まれた差～

### 1.研究背景

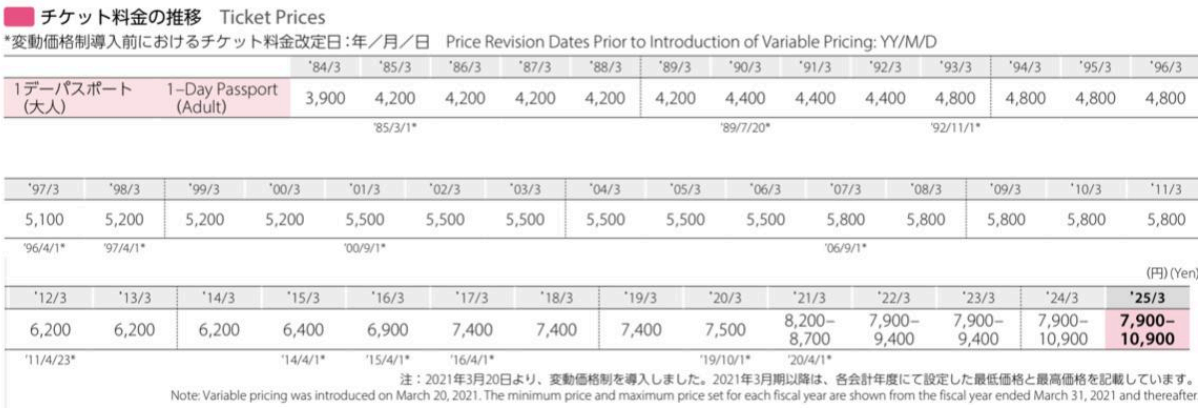
東京ディズニーリゾート（以下TDR）の運営会社である株式会社オリエンタルランドは、創設者ウォルト・ディズニー（以下ウォルト）がカリフォルニアにディズニーランドを建設した際に掲げた「あらゆる世代が共に楽しめるファミリー・エンターテイメントを実現したい」という理念が、TDRの原点であり基本コンセプトであるとして、東京ディズニーランド（以下TDL）および東京ディズニーシー（以下TDS）を運営している（OLC GROUP公式サイト）。また、オリエンタルランドの公式サイトでは、ファミリー・エンターテイメントについて「世代を超え、国境をこえ、あらゆる人々が共通の体験を通してともに笑い、驚き、発見し、そして楽しむことができる世界」だと記している（新井克弥, 2016）。

しかし、TDRを取り巻く環境は開園当初から大きく変化している。開園当初3900円であった大人1人のワンデーパスポートの価格は上昇し続け、2025年3月時点では7900円～10900円となっている。さらに、2021年には価格変動制が導入され、混雑状況などに応じて日によってチケット価格が異なるようになった。（図1）

加えて、2022年5月19日から東京ディズニーリゾート新サービス「ディズニー・プレミアアクセス」が始まり、パークチケットとは別料金を支払うことで施設を時間指定で予約できるようになった（舞浜新聞, 2022）。また、東京ディズニーリゾート・アプリの導入により、レストランの予約やパスの購入などをスマートフォン上で行うことが一般的となった（TOKYO Disney RESORT公式サイト）。

これらの変化は利便性の向上をもたらす一方で、理念とのギャップを生んでいるのではないかと考えた。まず、チケット価格の上昇や有料パスの導入により、家族で来園する際の金銭的負担は大きくなってしまう。さらに追加料金を支払える富裕層とそうでない人々との間で、パーク内で得られる体験に差が生じてしまうだろう。このような状況は、ウォルトが掲げた「ディズニーランドはすべての人のための場所である」という理念から離れているように感じられる。また、金銭面だけでなく、デジタル面での格差も存在する。ディズニー・プレミアアクセスは発行数に限りがあり、人気のアトラクションのパスについては入園直後にアプリを起動して操作を行わなければ取得することが困難である。スマートフォンの操作に慣れていない人や通信環境の影響を受ける人にとっては不利な状況となり、体験の差が生じる要因となり得る。

以上のことから、現在のTDRは、ウォルトが当初掲げた理念から離脱しつつあり、「家族で楽しめる場所」や「すべての人のための場所」ではなくなっているのではないかという疑問を持った。



チケット料金の推移　Ticket Prices

*変動価格制導入前におけるチケット料金改定日：年／月／日　Price Revision Dates Prior to Introduction of Variable Pricing: YY/M/D

| | '84/3 | '85/3 | '86/3 | '87/3 | '88/3 | '89/3 | '90/3 | '91/3 | '92/3 | '93/3 | '94/3 | '95/3 | '96/3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1デーパスポート（大人） 1-Day Passport (Adult) | 3,900 | 4,200 | 4,200 | 4,200 | 4,200 | 4,200 | 4,400 | 4,400 | 4,400 | 4,800 | 4,800 | 4,800 | 4,800 |
| | | '85/3/1* | | | | | '89/7/20* | | | '92/11/1* | | | |

| '97/3 | '98/3 | '99/3 | '00/3 | '01/3 | '02/3 | '03/3 | '04/3 | '05/3 | '06/3 | '07/3 | '08/3 | '09/3 | '10/3 | '11/3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5,100 | 5,200 | 5,200 | 5,200 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,500 | 5,800 | 5,800 | 5,800 | 5,800 | 5,800 |
| '96/4/1* | '97/4/1* | | | '00/9/1* | | | | | | '06/9/1* | | | | |

(円) (Yen)

| '12/3 | '13/3 | '14/3 | '15/3 | '16/3 | '17/3 | '18/3 | '19/3 | '20/3 | '21/3 | '22/3 | '23/3 | '24/3 | '25/3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6,200 | 6,200 | 6,200 | 6,400 | 6,900 | 7,400 | 7,400 | 7,400 | 7,500 | 8,200–8,700 | 7,900–9,400 | 7,900–9,400 | 7,900–10,900 | **7,900–10,900** |
| '11/4/23* | | | '14/4/1* | '15/4/1* | '16/4/1* | | | '19/10/1* | '20/4/1* | | | | |

注：2021年3月20日より、変動価格制を導入しました。2021年3月期以降は、各会計年度にて設定した最低価格と最高価格を記載しています。

Note: Variable pricing was introduced on March 20, 2021. The minimum price and maximum price set for each fiscal year are shown from the fiscal year ended March 31, 2021 and thereafter.

図1（株式会社オリエンタルランド　FACT BOOK2025）

## 2.研究目的・意義

本研究では、現在のTDRが創設者であるウォルトの理念から徐々に離脱し、ファミリーエンターテイメントを重視しなくなりつつあるのではないかという仮説を立てる。そして、このような変化はディズニーランドの理念に基づく本来の姿の喪失につながり、結果としてパークの持続可能性に影響を及ぼす可能性があるという視点から検討を行う。

本研究の目的は、これからのTDRがウォルトの掲げた「ディズニーランドは全ての人のための場所である」という理念や、オリエンタルランドが示す「あらゆる世代の人々が一緒になって楽しむことができる“ファミリー・エンターテイメント”」というコンセプトを継承し続けることの重要性を示すことである。同時に、物価高騰や円安といった理念継続を困難にしているであろう現代の状況も考慮しながら少しでもパーク内でゲストが格差を感じることなく、夢と魔法の王国に没入できるような方法を模索する。それによってこれから先も千葉浦安の地にTDRが存在し続けられるようにすることを意義とする。

## 3.研究方法

本研究では文献調査、アンケート調査、インタビュー調査の3つを研究方法として実施した。

【1】文献調査

<u>調査内容</u>

①ウォルトがディズニーランドを創設した理由（どのようなパークであることを望んでいたのか）
②パークチケットの価格について
③TDRがディズニー社直営でなくフランチャイズ契約で運営されている理由
④TDRが人気である理由
⑤ディズニー・プレミアアクセス導入について
⑥TDRの顧客満足度について
⑦ウォルトの理念から離脱していると感じさせる要因にはどのようなものがあるのか
⑧当初の理念からの離脱が与える影響

【2】アンケート調査

<u>調査対象</u>

新潟県立国際情報高等学校の生徒、教員、保護者

調査目的
現在のTDRに対するゲストの認識を確認すること
質問内容
①TDRへの訪問頻度
②TDRは誰と訪れる場所であるか
③アトラクションやレストランの待ち時間の長さをどう感じているか
④ディズニー・プレミアアクセスを利用したことがあるか
⑤現在のチケット価格は適切であると考えているか
⑥東京ディズニーリゾート・アプリについてどのように考えているか
※③～⑥の質問に関しては理由の記述も求める。

【3】インタビュー調査（TDR公式ホームページのお問い合わせフォームを通じて実施）
調査対象
株式会社オリエンタルランド
調査目的
文献調査とアンケート調査を踏まえて、実際にオリエンタルランドの意見を得ること
調査内容
①現在のTDRの経営理念について
②ライセンス契約でパークを運営することのメリット・デメリット
③ディズニー・プレミアアクセスで生じる経済的理由による体験の差について
④東京ディズニーリゾート・アプリの導入でスマホの操作や通信環境によって生じる体験の差について

## 4.結果・考察

【1】文献調査
①ウォルトがディズニーランドを創設した理由（どのようなパークであることを望んでいたのか）
　ウォルトがなぜディズニーランドを作ったのか。それは一枚の写真が全てを語っている（図2）。ウォルトにとってディズニーランドはそこへ辿るべき一里塚であった。「実のところ僕の二人の娘が幼い頃、近くの遊園地に遊びに行って回転木馬に乗っている間、僕はピーナッツをかじりながら考えた。大人も一緒に楽しめる遊園地があっても良さそうなものだと。」これがウォルトがカリフォルニア州アナハイムにディズニーランドを作った理由である。ウォルトはアニメに求めた「接点」の物理的・心理的三次元の世界から、無限大の空間づくりへと進んだ。そしてこの空間に世界中の人々を喜ばせる理想と夢を託した。（亀田忠男，1992）



図2（東京ディズニーリゾート公式サイト）

②パークのチケット価格について

TDL・TDS両パークでは、長らく一律のチケット料金（基本的には平日・休日どちらも同額）が設定されてきた。しかしコロナ禍が続いていた2020年12月にオリエンタルランドは価格変動制の導入を発表、2021年3月から導入を開始した。初めは二段階であった価格区分であるが半年後には四段階となり、日によって料金も細分化された。これと同時に大人1日券の最大料金も8700円から9400円に8%引き上げられた。オリエンタルランドは「休日に予約が集中する状況を変えるため」と回答したが、いくら平日が安くても休日から平日に流れる範囲は限定的であるため、料金改定は混雑緩和により客単価の向上が目的であると考えられる。この制度が導入された背景には新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休園や、入場者数の制限の影響でオリエンタルランドのグループ全体の連結最終損益が2020年度、株式を上場して以来初めて赤字に転落したこと、海外にある他のパークとは違い、TDRはオリエンタルランドがディズニー社との間に資本・業務提携や株式の打ち合いなどが一切関与しないライセンス契約に基づいて運営しているため、収益が悪化した場合、純粋にパークやホテルで収益を上げなければ経営破綻してしまうということがある。（舞浜新聞，2021）

③TDRがディズニー社直営でなくフランチャイズ契約である理由

オリエンタルランドはディズニー社に対して日本でのディズニーランド建設を働きかけるが、ディズニー社はこれに消極的だった。その理由の一つとして、当時実業家だった松尾國三氏がアナハイムのディズニーランドを稚拙に模倣した「奈良ドリームランド」（図3）を開園させ、ディズニー社が日本に対して強い不信感を持っていたことがある。その後、ディズニー社の方針が変わり、日本へのディズニーランド誘致が動き出したが、ディズニー社は当時、カリフォルニアとフロリダにディズニーパークを持っており、海外進出も考えていたが、資金的余裕がなく、また亡きウォルトの置き土産ともいえるエプコットセンター（現在のエプコット）（図4・図5）の建設に取り掛かったいてこともあり、建設費を抑えリスクも減らせる「フランチャイズ契約」で日本に進出しようと考えた。（舞浜新聞，2015）



図3（Wikipedia）

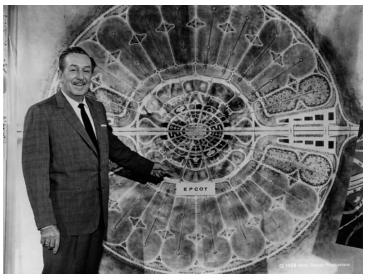


図4（舞浜新聞）



図5現在のエプコット（講談社コクリコ）

④TDRが人気である理由

TDRは、「夢と魔法の王国」というコンセプトのもとで入園者が非日常を楽しめる工夫を施している。まず、園内と園外を視覚的に完全に遮断している。園内から外は樹木とアトラクション施設で見えない。また外側からも内側が見えないような設計になっている。次に、TDLには荷物運搬と従業員用の総長600m地下通路がある。園内での荷物運搬という現実的・日常的な姿を入場者に晒す必要がないようにしている。次に、園内の清潔を保っている。カストーディアルと呼ばれるキャストがほうきとゴミ入れを両手に持ち、常に園内を歩き回っている。その際決して腰を折らないのも家で

掃除をする日常生活を思い出させないようにするためである。次に、日本的情景の排除がある。パーク内のコンセプトは日本ではないため日本の遊園地の定番的なものはない。※現在はおにぎりサンドやペッパーポーク麺などの日本食も販売している（TOKYO Disney RESORT公式サイト）。最後に、心理学を応用した待ち時間の工夫がある。人間は単調な直線で長時間待つことに強いストレスを感じるため、幾重にも折り曲がった形を採用している。音や光も利用し、期待感を刺激している。（岩田隆一，2006）

⑤ディズニー・プレミアアクセス導入について

コロナ前までは、通常の待ち列に並ぶか、 基本的に開園から発行され、先着順に利用時間が決まる無料のファストパスを取得する2種類の方法があった。アトラクションの利用方法が大きく変化したのは新型コロナウイルスの流行だった。 コロナウイルスによる臨時休園以降、TDRではファストパスの発行をやめ、代わりにスタンバイパスとエントリー受付を導入した。しかし、混雑状況によってはパスを持っていないとそもそも列に並ぶことすらできないこともあり、ゲストは不満を持っていた。そこでディズニー・プレミアアクセスを導入したが、お金を支払わなければ体験価値がどんどん制約されるようになり、「時間をお金で買う」という選択が生まれてしまった（舞浜新聞，2022）。

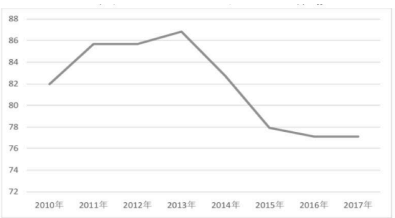
また、優先パスを持っていない人たちの待ち時間はその分長くなってしまう。そして、人気アトラクションを訪れることを諦めてしまうことで、ある意味混雑は緩和される。優先パスの有無は不公平を生むが、ディズニーのパスの配布方法は公平であるため、優先パスの導入は公平性を担保しつつ効率性を上げる賢い方法である。地獄の沙汰も金次第というのは夢がないかもしれないが、効率性はいい（増田靖）

⑥TDRの顧客満足度について

TDRは世界でもトップクラスの入場者数を誇っていて（図6）、TDRのリピート率は90％以上である。ブランドジャパンの総合ランキングでも「ディズニー」は12位。TDRのCS（顧客満足度）は、JCSI調査（日本版顧客満足度指数）が導入された2009年以降、業界内ひいては調査対象となっている30前後の業種の中で常に高いCSを保っていて、国内で絶対的な地位を確立した。しかし、2013年の86.8をピークに82.7、2015年には77.9とCSが急激に低下している（図7）。業界で他の追随を許さなかったTDRのCSが数年で急激に低下したことには原因がある。CSを高めるためには、高い顧客期待とその期待に見合う知覚品質が必要であるがJCSI調査の結果、TDRは顧客期待が高いのに対して、知覚品質ではやや低い値が出ている。スタンバイの長さを感じやすいこと、価格の高さ、ゲストのマナー悪化による楽しい気持ちの低下がTDRのCSの低下に少なからず関与している。（髙橋夏乃，2018）

| | 名称 | 入場者数 |
|---|---|---|
| 1 | マジックキングダム | 2045万人 |
| 2 | ディズニーランド（アナハイム） | 1830万人 |
| 3 | 東京ディズニーランド | 1660万人 |
| 4 | ユニバーサル・スタジオ・ジャパン | 1494万人 |
| 5 | 東京ディズニーシー | 1350万人 |

図6世界のテーマパーク入園者数2017年（髙橋夏乃,2018）




（出典）JCSI調査結果より筆者作成

図7TDLにおけるCSの推移（髙橋夏乃,2018）

⑦ウォルトの理念から離脱していると感じさせる要因にはどのようなものがあるのか

家族連れがメインターゲットであるはずのディズニーランドで、本家アメリカの二つのディズニーランドはいずれも家族連れがメインであるが、日本だけは事情が異なっている。2014年度のデータによると年代別来園比率で大人（18歳以上）が69.9%、子供の比率は16.6%で成人の割合が圧倒的に高く、さらに子供の比率は漸減傾向が続いている。つまりTDRはウォルトが志向した世界が想定していたものとは異なった客層が増えつつある。次に、パークに訪れるゲストの変化がある。Dオタと呼ばれる人々、コスプレ・ゲストは共通してパークをゆっくり楽しむのではなく、ある明確な目的を持って突き進むのである。彼らには家族、あるいは訪れた者同士が語り合い、楽しみ合うというファミリー・エンターテインメントとしての風情は見られない。他にも、コンセプトを揺るがす運営の変化がある。当初パーク内ではマシンなどを介さず、キャストが直接ゲストにサービスするという基本方針があったが、いまやパーク内の数カ所にドリンクの自動販売機を設置している。また、強引なテーマのすり合わせによって、典型的なアメリカの田舎町がテーマのパーク内で和食店やおにぎりや肉まんを販売する店が存在している。これらの理由でパーク内は年々テーマとしての一貫性を失い、おもちゃ箱をひっくり返したような無秩序な状態となりつつあり、パークもゲストもウォルト的なものをどんどん失いつつある。（新井克弥, 2016）

⑧当初の理念からの離脱が与える影響

組織が当初のミッションから逸脱する「ミッション・ドリフト」は、組織のアイデンティティを弱体化させ、競争優位性の低下やブランド価値の希薄化を引き起こす可能性がある（Journal of Business Research, 2021）。

【2】アンケート調査

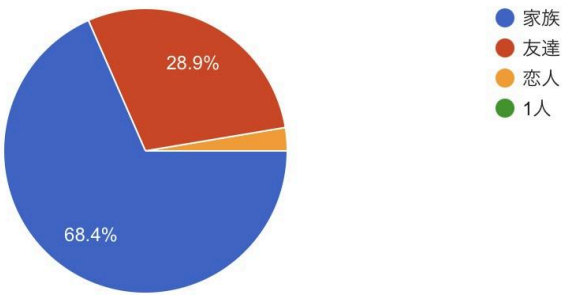
今回のアンケート調査では、国際情報高校生徒19人、教員5人、保護者3人の計38人から回答を得ることができた。

①TDRへの訪問頻度

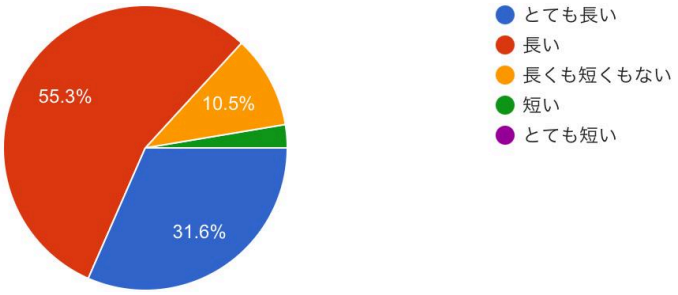



この結果から、このアンケートに回答した人のうち94.7%が一回以上はTDRに訪れていることがわかり、以後の質問にも多くの意見を得ることができた。

②TDRは誰と訪れる場所であるか



③アトラクションやレストランの待ち時間の長さをどう感じているか



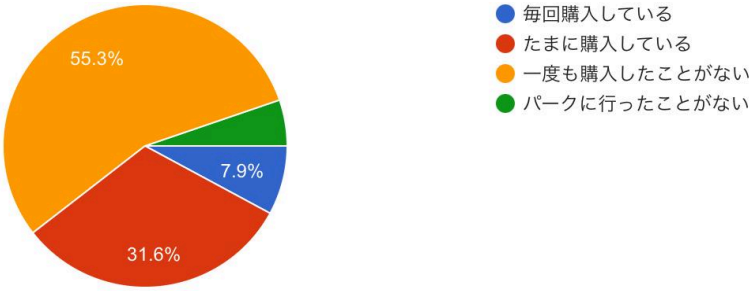

長いと感じる理由

・外で立ったまま待つアトラクションもあり、夏の暑い時期は特に大変だと感じるから。
・並んでいる時に特にすること、楽しいことがなく暇、つまらない、退屈と感じるから。
・長蛇の列を見ると萎えて、夢の国から現実を感じてしまうから。
・長い時間並んでも、アトラクションがあっという間に終わるから。
・小さな子供がいると待ち時間が短い方がありがたいから。
・仕方がないと覚悟しているが、幼い子供にはかわいそうだと感じるから。
・子供のトイレの心配があったから。

長いと感じない理由

・たくさんの人が利用するからしょうがないから。
・同行者と話していると楽しいから。
・ファストパスを利用しながら回れば待つことができるから。
・たとえ長く感じても楽しいんだから当たり前であると感じるから。

④ディズニー・プレミアアクセスを利用したことがあるか




購入した理由

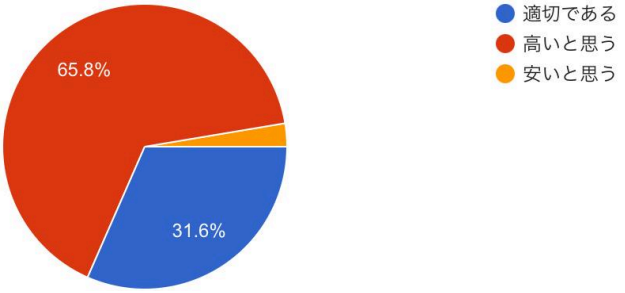
・アトラクションに並ぶ必要がなく楽だから。
・せっかく行くならお金を払ってでもたくさんのアトラクションを回りたいから。
・絶対に乗りたいアトラクションがあったから。
・人気のアトラクションは待ち時間が長いから。
・待ち時間が長すぎるから。

一度も購入したことがない理由

・チケットとは別でさらにお金がかかるのは躊躇ってしまうから。
・値段が高いから。
・待ち時間も楽しいから。
・買い方がわからないから。

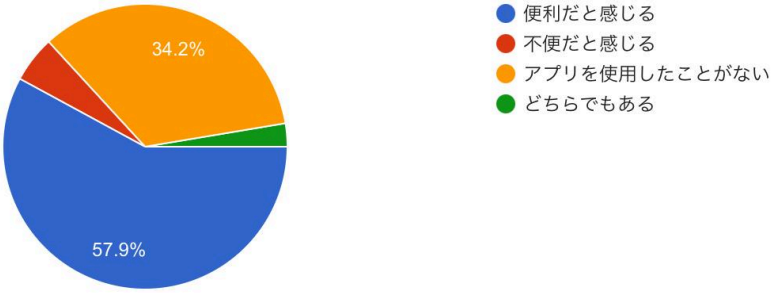
・パスの存在を知らなかったから。

⑤現在のパークチケットの価格は適切であると考えているか




高いと感じる理由
・以前はもっと安かったこともあり、つい昔と比べてしまうから。
・交通費とチケット代を合わせると高額になってしまうから。
・他の遊園地・テーマパークはここまで高くはないから。
・チケットが高いと、年に何回も行こうとは思えないから。
・家族で言ったら数万円かかってしまうから。
・パーク内の食べ物やお土産も高いから。
・ディズニーの魅力を知りきれてないから。
・待ち時間も長く十分に楽しめないから。
適切であると感じる理由
・物価高だから仕方がないと思うから。
・ゲストへの対応や掃除が徹底されていることなどのサービス内容を考えたら妥当だと思うから。
・他のテーマパークも同じようなものだから。
・ディズニーはその分楽しめる価値があるから。
・いい思い出を作れるから。
安いと感じる理由
・パークにいる時間はお金に変えられないくらい楽しいから。

⑥東京ディズニーリゾート・アプリについてどのように考えているか




便利だと感じる理由
・リアルタイムでアトラクションなどの待ち時間を確認できるから。
・モバイルオーダーやパスの取得はアプリがないとどうしようもないから。
・行動の計画を立てやすいから。
・マップ機能でどこを歩いているのかわかりやすいから。

・パンフレットが不要で、荷物が減るから。
不便だと感じる・使用したことがない理由
・通信ができないことがあり、情報格差が出るように感じ、人がたくさん集まるTDRでは適切でないと思うから。
・年齢を重ねるとアプリが疲れるから。
・スマホのバッテリーに応じて使用が制限されてしまうから。
・モバイルバッテリーが必須だから。
・使いこなせる自信がないから。
・遊んでいる時にあまりスマホを使いたくないから。
・いちいちスマホを見るのが面倒だから。

※③～⑥理由は一部省略または合体させている

【3】インタビュー調査
東京ディズニーリゾートオフィシャルウェブサイトと株式会社オリエンタルランドのURLが送られてきたのみで、それ以上の踏み込んだ内容についての返答を得ることはできなかった。

以上の調査結果をもとに、これからのTDRがウォルトの理念のもと運営され続けることの重要性を考察する。またそれを可能にするための方法を「経済的な面」、「情報環境の面」、「待ち時間の面」、「テーマの面」の4つに分けて考察する。

まず、アンケート調査②より、過半数の人がTDRに対して家族で行く場所と回答していた。このことにより、ゲストは今もなおTDRにファミリーエンターテイメントの提供を求めていると推察できる。また、文献調査④より、TDRが人気なのは徹底された日常の排除によって運営されていることが大きな要因であり、他の遊園地やテーマパークとの違いであることが明らかになった。さらに文献調査⑧より、TDRが当初の理念から逸脱することは、ディズニーとしてのアイデンティティを弱める恐れがある。その結果ブランドの価値を低下させる可能性が高いといえる。したがって、ウォルト・ディズニーが掲げた理念のもとファミリーエンターテイメントの提供を目的として運営されることは、いつまでもTDRが多くの人からの人気を保ち、千葉浦安の地にあり続けるために、非常に重要なことであるといえる。

理念を存続したまま運営するための経済面での方法としては、ゲストに過度な金銭負担を意識させる取り組みを用いないことが最も有効であるといえる。アンケート調査④より、ディズニー・プレミアアクセスを利用しない理由として、高額なチケット代を支払っているのにさらに追加料金を支払うことへの抵抗感が挙げられた。パークチケット価格を上げるなら、その日入場できる人数を制限することや、整理券を配布することで本来列に並んで有効活用できなかった時間を他のことに利用できるようにすることなどの取り組みが必要であると考える。そうすることで、物価高騰や円安でチケット価格を下げることができないとしてもゲストに経済的な差を感じさせず、満足感を感じさせることができるといえる。

次に情報の面での方法としては、アンケート調査⑥より、アプリのマップ機能やリアルタイムで待ち時間を確認できる機能を便利だと感じる人が多かった。一方で、パスの取得などの先着順でサービスを受けることができるかが決まる機能に関しては、通信環境の影響を受けることに対する不満が見られた。パスの取得方法が先着順でなく、抽選であればそれらの影響はほとんど受けず

に全てのゲストに公平にパスを取得する権利が与えられ、その面での格差は軽減できると考える。アプリの操作もより簡略化することでスマートフォンの操作が苦手な人もパスを容易に取得しやすくなるといえる。

次に待ち時間の面での方法としては、文献調査④よりTDRではゲストに待ち時間を長く感じさせない様々な工夫を施しているが、アンケート調査③では人気のアトラクションであれば数百分待つこともあり、それはゲストに現実を感じさせるだけでなく、小さい子どもの心配があることや夏の暑い中屋外で待つことに対して苦に感じる人が多くいた。この問題は1日の入場者数を制限することで数百分も並ぶ必要はなくなる可能性が高まり、また立ったままでなく、待ち列に沿って座れるベンチ等の設備があれば、列に並ぶ疲労感は軽減されると考える。

最後にテーマの面での方法としては、文献調査⑦の現在のTDRはテーマの一貫性を失い無秩序な状態になりつつあことをかつて販売されていなかった日本食が現在提供されている事例を取り上げて考えると、テーマを厳密に守るためという本来の理念を軽視し、日本人に馴染みがあり売れるからという商業的利益を優先し販売を決めたのではないかと考えられる。「テーマの統一の徹底が東京ディズニーランドを成功に導いた1つの要因である」（諸井克英 濱口有希子, 2009）ということから、1つ1つのこだわりをもう一度思い出し追求し続けることが必要であるといえる。

以上のことから、TDRが今後も長期的に支持され続けるためには、経済性・情報環境・待ち時間対策・テーマの一貫性の四側面を総合的に改善していく必要があると結論づけられる。

## 5.結論・展望

本研究では、ウォルトがなぜディズニーランドというテーマパークを作り上げたのかという原点から現在のTDRの状況までを調査し、アンケートによってゲストの現在のTDRに対する認識を調査することを通じてTDRの持続可能性について検討した。その結果として、現在のTDRはウォルトの「あらゆる世代が共に楽しめるファミリー・エンターテイメントを実現したい」という理念から離脱した運営がみられると結論づけられた。TDRの持続には、開園当初持っていた「夢と魔法の王国」を作り上げるための強いこだわりを思い出し、物価高騰や円安などの打撃を受ける中でも妥協せずいかに理念を軸とした運営を貫き通すことができるかが課題であるといえるだろう。

また、本研究ではアンケートを行った世代の幅が限定的であったことや、オリエンタルランドから直接意見を得ることができなかったことにより、理念から離脱していると断定することは困難であった。さらに、考察で理念に基づいた運営をするために挙げた方法は、ほとんどその効果を証明できるものがなく、十分な実証性を備えた提案には至らなかった。これからは、より幅広い世代の意見を踏まえ、日本にとどまらず世界中の遊園地やテーマパークの事例をもとにTDRがこの先も持続していける方法の研究を深めていく必要がある。

研究を通して、私は当初掲げた理念や目標から離脱することなく物事を運営し続けることの重要性と、その難しさを実感した。私は将来助産師になるという夢があり、本研究で得た学びは医療の現場においても活かすことができると考える。医療の現場における目的は、人々の命や健康を守ることである。しかし近年では、経済的な状況や情報へのアクセスの差によって、受けられる医療サービスに差が生じている現状も見られる。このような状況の中で、私は本研究を通して学んだ「理念を守り続けることの重要性」を忘れず、患者一人ひとりの立場や背景に寄り添い、誰もが安心して適切なケアを受けられるよう支援できる助産師を目指したい。

## 6.引用文献・参考文献

〔1〕亀田忠男 （1992）.「ディズニーランドにおけるテーマ性 ーウォルト・ディズニーが残したものー」
〔2〕「最大9,400円に！東京ディズニーリゾートはなぜ値上げに踏み切ったのか」（2021年10月1日）. 舞浜新聞
〔3〕「どうして東京ディズニーリゾートは、ディズニー直営じゃないの？」（2015年7月4日）. 舞浜新聞
〔4〕岩田隆一（2006）.「なぜ東京ディズニーリゾートは人気があるのか。サービスマーケティングからの分析」
〔5〕「待ち時間が減らせる？「ディズニー・プレミアアクセス」導入のねらいと今後の展望を探る」（2022年5月23日）. 舞浜新聞
〔6〕愛知学院大学三好ゼミ （2024年11月）.「なぜ東京ディズニーリゾートとユニバーサルスタジオジャパンは日本で大成功を成し遂げることができたのか」
〔7〕髙橋夏乃・会津大学短期大学部産業情報学科経営情報コース（2018）.「東京ディズニーリゾート顧客満足度低下の要因」
〔8〕増田靖・慶應義塾大学理工学部管理工学科教授「ディズニーランドのジレンマ」
〔9〕株式会社オリエンタルランド（2025年3月31日）.「FACT BOOK 2025」. https://www.olc.co.jp/ja/ir/library/factbook/main/00/teaserItems2/0/linkList/07/link/factbook2025 ALL single.pdf 2026年1月1日
〔10〕諸井克英 濱口有希子（2009）.「テーマパークに対する意識と行動 ーユニバーサル・スタジオ・ジャパンと東京ディズニーリゾートの場合ー」『同志社女子大学 学術研究年報』, 60, 51−63
〔11〕新井克弥（2016）.『ディズニーランドの社会学 脱ディズニー化するTDL』. 青弓社
〔12〕東京ディズニーリゾートオフィシャルウェブサイトhttps://www.tokyodisneyresort.jp 2025年12月26日
〔13〕株式会社オリエンタルランド https://www.olc.co.jp/ja/index.html 2025年12月26日
〔14〕Journal of Business Research .「How to stay on the road? A business model perspective on mission drift in social purpose organizations」.（2021年3月）

# ゲームの持続可能性について

## 研究背景

ゲームは昔から様々な世代の人に人気で、今もいろんな世代で男女問わず人気を集めている。(Cross Marketing,2025) また、日本に限らず世界でもゲームは人気である。(あちこちデータ,2026) そして、1番の理由は自分がゲームがとても好きだということだ。将来、ゲーム産業がどのようになるのかや、未来でもたくさんの人がゲームをしているのだろうかということが気になった。また、ゲームは昔から今にかけてどんどん発展して進化していることから将来はどんなゲームが生み出されているのかも気になった。(PC Watch,2018) そのうえでゲームの持続可能性について自分なりに調べてまとめてみたいと思ったからだ。具体的には昔から今に至るまで人気だったゲームなどについて調べて自分なりの仮説を立てて持続可能性について考えてみようと思った。

### 研究方法

アンケートやネットの論文を読み、そこから自分の考えや仮説を立てて持続可能性について考えた。また考えに偏りが出ないようにたくさん論文を読んだ。またグラフなどアンケート調査等の具体的なデータが出ている情報を気にかけて集めたり分析をするようにして調査をした。

### 仮説

ゲームは昔から今に至るまでに進化を重ねているため、これからもどんどん進化して未来では新たなゲームが生み出されていて、依然として様々な幅広い世代から人気を集めているに違いないと思った。

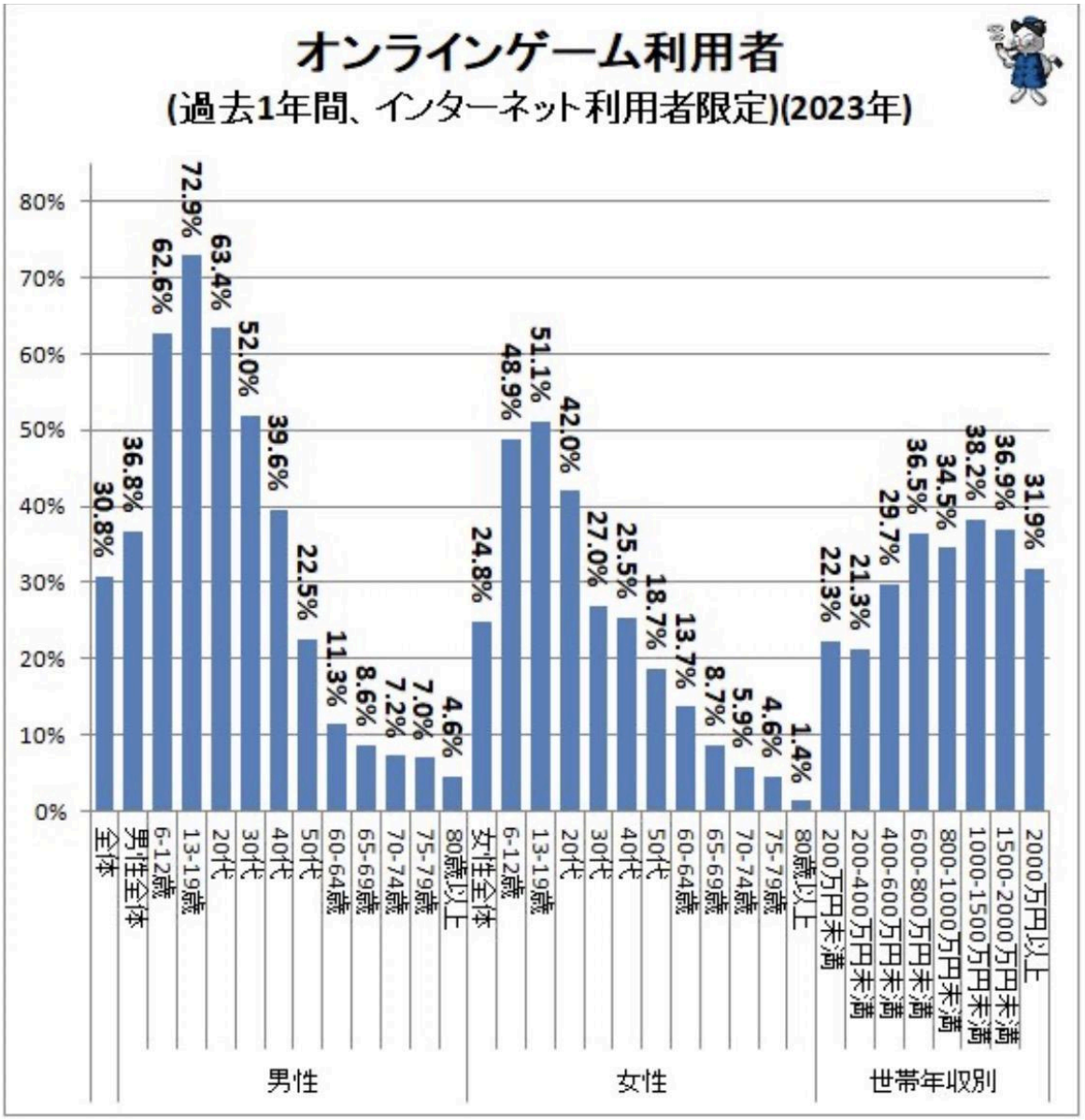
### 結果

実際に調べてみてわかったこと。

・世代別のゲームの人気について→

・オンラインゲームの利用者がどの年代にもいることがわかる　・グラフ

のようにオンラインゲームを利用したことのある人が子供から高齢者まで幅広い世代でいることがわかる。特に1番利用者の多い年齢層は12～19歳の年齢層で逆に1番利用者の少ない年齢層は80歳以上の年齢層ということがわかる。(Yahoo!ニュース,2024) また13～19の年齢層の利用者数に比べて年齢層が上がるにつれて利用者が減っているというところもあるものの、このグラフからはとても幅広い年齢差の人がオンラインゲームを利用していることがわかるため、ゲームは様々な年齢層の人に人気があることがわかる。



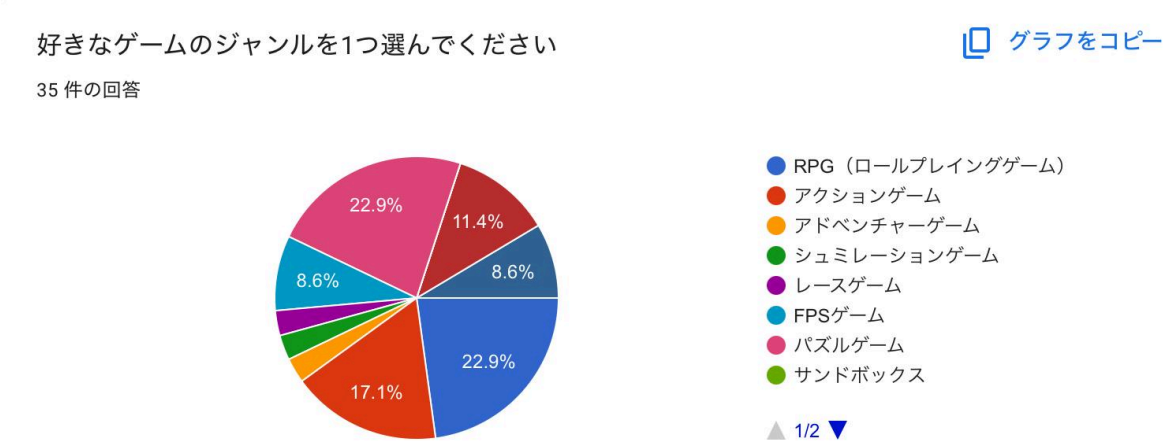

・<u>ゲームのジャンル別人気について</u>

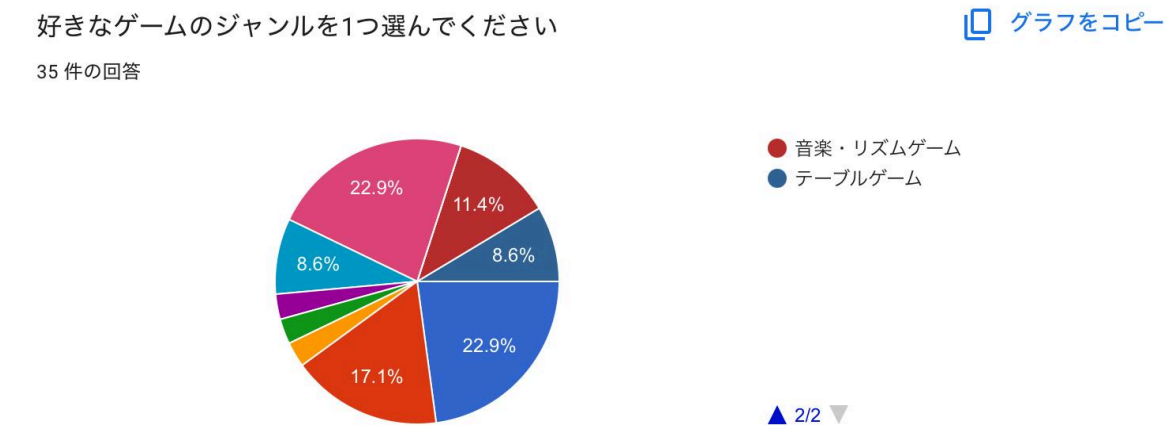
　これは今となってはとてもたくさんのゲームのジャンルがある中でどのゲームジャンルが人気かについて調べた結果である。（アプリハンター,2025 ）1番人気なゲームジャンルはRPGだった。RPGとはロールプレイングゲームの略称で参加者が各自に割り当てられたキャラクターを操作し、一般的にはお互いに協力し合い架空の状況下にて与えられる試練（冒険、難題、探索、戦闘など）を乗り越えて目的の達成を目指すゲームである。

ロールプレイングゲームの例は、原神などがロールプレイングゲームになる（Game With,2026）しかし、RPGだけではなく、他にもさまざまなゲームジャンルが人気を集めていることがわかるため、さまざまなゲームジャンルが人気ということは、さまざまな人需要があることと、人気があることが分析できる。

| 順位 | ゲームジャンル | 得票数 |
| --- | --- | --- |
| 1位 | RPG | 1401 |
| 2位 | アクション | 1127 |
| 3位 | シューティング | 816 |
| 4位 | シミュレーション | 719 |
| 5位 | アドベンチャー | 560 |
| 6位 | スポーツ | 268 |
| 7位 | パズル | 257 |
| 8位 | 音ゲー | 201 |
| 9位 | レース | 144 |
| 番外 | その他 | 282 |

このアンケートは同学年の2年生の男女を対象にどんなゲームジャンルがこの世代から人気を集めているのかを調査するために行なったアンケート調査である。




↪※このアンケートは高校2年生の男女を対象に35人から回答を得た結果である。

このグラフは同学年の人たちに回答してもらったアンケート結果で、今回の結果ではロールプレイングゲーム、アクションゲーム、パズルゲームが人気なことがわかる。このことからやはりゲームをしている世代が多い若い世代に人気なジャンルが全体のグラフでも上位に上がってくることがわかった。

**ゲームが人間の心理に働きかける力について**

脳機能的な原因

ゲームをプレイする上でゲームのクリア、レベルアップ、レアアイテム取得などで、脳内に快楽のドーパミンが放出される。（厚生労働省）そして、これを脳がご褒美と勘違いしてしまい、それを求めて繰り返してしまう回路を依存ともいうものが形成されてしまう。そして依存が進行することで、ドーパミンが枯渇してしまい少ない刺激では満足できなくなり、より強烈な刺激を求めるという悪循環に陥ってしまう。また、衝動や感情をコントロールする脳の部位が働きにくくなることで、「やめたいのに、やめられない」という状態になってしまうからだ。

心理的社会的要因

現実逃避勉強、進路、人間関係、家庭環境などのストレスや不安から逃れるため。また、承認欲求の不足などで、現実世界で認められないと感じる自己肯定感を、ゲーム内での評価や地位、コミュニティで満たしている。そして、居場所の欠如で、現実世界に自分の居場所がない、または孤独感を感じている(日本医師会)。これらの理由が重なることでゲームに対する依存が進みゲームにのめり込むことにつながるということがわかったので、それは未来でも変わらないと思うから、ゲームをしている人はたくさんいると思ったので、持続可能性がある。

最先端のゲームについて

ゲーム業界は常に最新テクノロジーを武器に成長している(study LABO 2020)
最近のゲームはVR(仮想現実)、AR(拡張現実)、ウエラブルとeスポーツの融合が進められている。また近い未来には「装着するデバイス」であるウエアラブル端末が普及するという予測もある。すでにウエアラブル端末を活用したeスポーツが誕生している。ARヘッドセットを装着し、現実世界と仮想世界の両方を見ながらプレイするARスポーツ「HADO」もそのうちの一つだ。フィールドの上で競技者が光線をぶつけ合うHADOは、バスケットボールやフットサルのような室内球技と同じ感覚で観戦することができる。また、VRはゲームだけでなく医療技術としても取り入られ始めている。これは仮想空間でリスクのない上で手術のシュミレーションなどを行うことができ、手術の成功率をあげることにつながっている。(study LABO 2020) これらのことから、自分はこれからのさらにVRやARがさらに進化して没入感の高いゲームに進化していくと思った。そして医療分野でもさらに進化して患者の手術の成功率がさらに上がり、医療分野に対しての質の向上につながると思った。

**結果**

自分が調べたりアンケートを取ってみた結果、ゲームは様々な年代がプレイしていることがわかり、し特に10代の世代が特に多いことがわかり、また同学年の人から得たアンケート結果についても、10代に人気なゲームジャンルと一致していることがわかり、そのことからやはりゲームは人気であることがわかった。そしてゲームをたくさんしてしまう理由は脳機能的な面や心理的な面の影響などさまざまなものが絡み合って、依存につながることがわかった。さらにゲームは昔から今に至るまでにさまざまな進化を遂げて今の形になっていてこれからもさらに進化を続けて次世代の新ゲームも生み出されようとしている。さらには、医療分野でも活躍をしていて、未来ではさらに活躍することが期待されている。

参考文献

Cross Marketing,2025年,「ゲームに関する調査（2025年）スマホゲーム編」
_https://www.cross-m.co.jp/report/20250729game 2026年2月13日
あちこちデータ,2026年,ゲームソフト 全世界売上歴代ランキング
https://achikochi-data.com/game_sales_total_world_ranking_all/ 2026年2月13日
Yahoo! JAPANニュース,2024,全体では25.7%の人が利用、13～19歳なら71.3%も…オンラインゲームの利用実情
https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/a05180fbdd77d9b5e9c2f0ad67468cff720fde84
2026年2月13日
PCwatch,2018,世界の遊びを変えた国産ゲーム機進化の歴史
https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1108868.html 2026年2月13日
アプリハンター,2025,知れば絶対使いたくなる！最新アプリ
https://applihunter.net/favorite-game-genre/#google_vignette 2026年2月13日
ゲームウィズ,2026,RPGおすすめ・新作ゲーム2026年最新版
https://gamewith.jp/gamedb/article/show/19058?from=ios 2026年2月13日

ゲームをする人々の属性に関する世代の視点・男女別の視点からの基礎的研究（2028）
https://www.nakayama-zaidan.or.jp/report/h29/a-5.pdf 2026年1月15日　著者　仲村 敏隆

テレビゲームの産業・技術(2009)https://cir.nii.ac.jp/crid/1390845702294402816 2026年1月10日
著者　**上村 雅之**

スマートフォンゲームのランキングに見える文化的特性に関する考察(2018)
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390564238055271552 2026年1月17日　著者　**内木 哲也　徐 博**

若者のゲームの嗜好性に関する考察
(2024)https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjske/advpub/0/advpub_TJSKE-D-23-00043/_pdf/-char/ja 2026年1月20日　著者　井上 大成，吉田 典正，鳥居塚 崇

大学生のゲーム利用実態(2015)https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205165414784 2026年1月25日
著者　**井口 貴紀**

ゲームの面白さとは何か(2004)http://journal.vrsj.org/9-1/s15-19.pdf 2026年1月27日

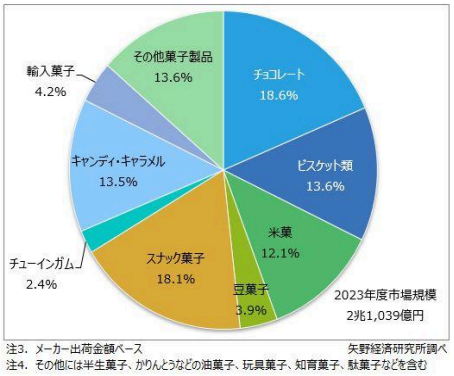
著者　**藤江清隆　馬場章**

study LABO 先進技術で変化し続ける【ゲームの世界】。VRやウエアラブルなどを活用した研究分野は？
(2020)https://studyu.jp/feature/theme/game/ 2026年2月1日
インターネット、ゲーム障害　https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001558282.pdf 2026年2月2日

# 亀田製菓におけるマーケティング・持続可能性について考える

## 1．研究背景

近年、日本の食品業界は大きな変化に直面している。少子高齢化による国内市場の縮小、消費者の嗜好の多様化、健康志向の高まり、さらには環境問題への関心の拡大など、企業を取り巻く環境は複雑化している(豪商　名古屋,2024)。特に米菓業界においては、若年層の米菓離れや洋菓子・スナック菓子との競争激化により、従来のビジネスモデルだけでは成長を維持することが難しくなっている(株式会社越後製菓,2025)。またその一方で、企業には単なる利益追求だけでなく、環境への配慮や地域社会への貢献といった「持続可能性」が求められるようになってきている。



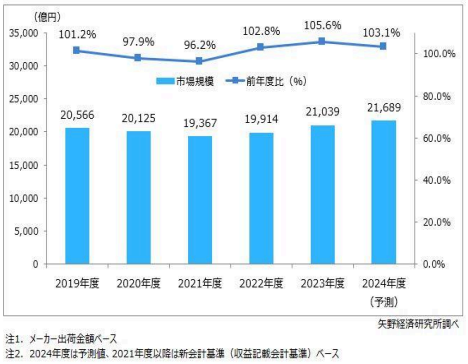




図1.製品カテゴリ別市場(矢野研究所,2024)　図2，流通菓子市場規模推移（矢野研究所,2024)

そのような状況の中で、新潟県に本社を置く亀田製菓は、日本を代表する米菓メーカーとして、伝統的な米菓文化を守りながらも、新しい市場開拓や環境配慮型の取り組みを進めている企業である。地元企業である亀田製菓が、どのようなマーケティング戦略によって変化する社会環境に対応しているのかを明らかにすることは、地域企業の持続可能性を考える上で重要な視点になると考えられる。

## 2．研究目的

本研究では、以下の事項を明らかにする事を目的とする。

[1]亀田製菓が採用しているマーケティング戦略の内容

[2]若年層や海外市場へのアプローチの特徴

[3]環境配慮や地域連携といった取り組みの役割

[4]今後の経営の方針と展望について

これにより、亀田製菓が持続可能な発展を遂げるための条件について考察することを目指した。また、一概に説明するのは難しいが、「主に60代以降の高齢者を中心に商品展開及びマーケティングを行っているのではないか」という仮説を立てる。

# ３．研究方法

(1)文献調査

亀田製菓の公式サイト、統合報告書、CSR報告書、企業紹介資料などを参考にし、同社の事業内容やマーケティング戦略、環境への取り組みについて情報を収集する。また、食品業界やマーケティングに関する書籍・論文・統計資料を参照し、亀田製菓の戦略を業界全体と比較する。

(2)インタビュー調査

メール上で、亀田製菓お客様相談室に「現在の社内の米菓に関するマーケティング戦略は何か。」を問い合わせて、現地の人の直接的なマーケティングに関する見解を知る。単なるインタビューで終わらず、文献調査で得られた情報と比較し、共通している部分がないか確かめる。

# ４．結果・考察

文献調査から、亀田製菓は、日本の米菓市場において長年トップクラスのシェアを持つ企業であり、伝統的な米菓の価値を守りながらも、時代の変化に対応したマーケティング戦略を展開していることが明らかになった（AMBI,2025)。

まず、商品戦略としては、「柿の種」「ハッピーターン」「ぽたぽた焼」などの定番商品を軸にしつつ、期間限定商品やコラボ商品を投入することで、消費者の関心を維持している（株式会社亀田製菓,2025)。

次に、ブランド戦略として、亀田製菓は「米」を中心とした日本文化のイメージを大切にしながら、海外市場への展開も進めている。米菓を日本の伝統的な食品として位置付ける事で、国内だけでなく海外でもブランド価値を高めようとしていることが確認できた。更に、社会的責任を意識した取り組みとして、包装材の削減やリサイクルしやすい素材の導入といった環境への配慮も行われている。また、国産米の活用や農家との連携を通じて、地域農業の持続可能性に貢献しようとする姿勢が見られた（株式会社亀田製菓,2025)。

また、インタビュー調査にて亀田製菓本社の担当部署に、「現在のマーケティング戦略における主なターゲット層」について問い合わせた結果、結論として「40代の夫婦」であるとの回答を得た。その理由として主に3点が挙げられた。

【１】現在の米菓の主要購買層は50～60代であり、高齢層に支えられている現状がある。そのため、将来的な市場維持を見据えて、メインユーザー層の若返りを図る必要があると考えているという点である。

【２】40代の夫婦世帯には小中学生の子供がいる家庭が多く、親子間のコミュニケーションが存在する。そのため、親世代に支持される商品を開発することで、子ども世代にも商品が伝わり、将来的な顧客へと繋がる可能性があると考えている。

【３】40代は50～60代の親世代（現在の米菓の主要購買層）を持つ世代でもある。そのため、親子三世代の会話や日常生活の中で商品が共有されることを想定している。

本調査の結果から、亀田製菓は日本の米菓市場において長年トップクラスのシェアを維持してきた背景に、安定性と革新性を両立させたマーケティング戦略があると考えられる。定番商品である「柿の種」「ハッピーターン」「ぽたぽた焼」を軸にブランドの信頼性を確立しながらも、期間限定商品やコラボレーション商品の展開によって市場に継続的な話題を提供している点は、成熟市場における有効な戦略である(株式会社亀田製菓,2025)。特に米菓市場は高齢層に支えられている現状があるため、既存顧客の維持と若者を中心に新規顧客の獲得を同時に図る必要があり、そのバランスを的確に取っていると評価できる。また、ターゲット層を「40代夫婦」に設定している点は、将来的な市場構造を見据えた戦略的判断である。現在の主要購買層である50～60代よりも若い世代を取り込むことで、市場の若返りを図

ろうとしていると考えられる。さらに、40代は小中学生の子どもを持つ家庭が多く、親子間での商品共有が期待できる世代である。同時に、自身の親世代（50～60代）ともつながりが強いため、三世代にわたるブランド共有が可能である。

このように、個人ではなく「家族単位」での消費を想定している点に、この会社の長期的な視点が表れている。それに加えて、環境配慮や国産米の活用といった社会的責任への取り組みも、企業価値の向上に寄与していると考えられる。近年は価格や味だけでなく、企業の環境への配慮などを主とする姿勢が購買行動に影響を与える傾向が強まっているので(EverGreen,2024)、持続可能性への配慮は競争優位性を高める要素となると考えられる。

今後の展望としては、国内市場における顧客層の若返りをさらに進めるとともに、若年層へのアプローチを強化していく事が重要項目であると考えられる。理由として、今日の社会では、X,TikTok,Instagramを中心に、インフルエンサーが、商品のプロモーション(案件)動画を公開して、それがフォロワーを筆頭にバズり、ハッシュタグや愛称を通じて拡散されて売上が上がるという一連の流れができているからである(デジマギルド, 2026)。例えば、健康志向・機能性を意識した製品や若者向けにSNSで「バズり」やすい商品開発などが挙げられる(産学連携学会,2022)。また、海外市場においては「日本文化」や「米」という独自性を前面に出し、和食ブームや健康志向の高まりを追い風としてブランド価値を高めていく可能性がある(日本貿易振興機構,2024)。より市場が複雑になって、競争率が高まる食品業界の中で、持続性のあるマーケティングやsnsを活用した戦略を見出していきたい。

# 参考文献・引用文献


1.豪商 名古屋(2024) 「日本の食品業界の未来に迫る4つの課題」.
https://www.goushou.nagoya/.2026年1月.

2.株式会社越後製菓(2025)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書」.
https://www.dhrc.co.jp/pdf/PIF-20250325.pdf.2026年1月.

3.株式会社　矢野研究所(2024)
https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3616?utm_source=chatgpt.co
.2026年1月.

4. AMBI(2024)「日本の米菓や米の価値を、世界８０億人へ。亀田製菓がマーケティング、セールス、コーポレート職などで採用強化」.https://en-ambi.com/featured/1422/. 2026年1月.

5.亀田製菓株式会社(2024)「統合報告書」および「サステナビリティ」
.https://www.kamedaseika.co.jp/ .2026年1月.

6.亀田製菓株式会社(2024)「CSR・環境への取り組み」.
https://www.kamedaseika.co.jp/sustainability/.2026年1月.

7.亀田製菓株式会社(2025)「商品情報」.
https://www.kamedaseika.co.jp/product/.2026年1月.

8.EverGreen(2024)「企業に環境問題の取り組みが必要な理由とは」.
https://www.egmkt.co.jp/column/corporation/905/.2026年1月.

9.デジマギルド(2026)「バズマーケティングとは？バズるための手法やメリット・デメリットを徹底解説！」.
https://digimaguild.blam.co.jp/articles/517.

10.産学連携学会(2022)「米菓へ若者の関心を向けるには-岩塚製菓バンザイ山椒から見る大学生の消費行動」.
http://www.b150.j-sip.org/meeting/14th-2022/M14-proc/M14-10.pdf.2026年1月.

11.日本貿易振興機構(2024)「米菓における菓子市場」.
https://www.jetro.go.jp/ext_images/agriportal/platform/us/2024/pf_us_03.pdf.2026年1月.
12.宇都宮大学(2019)「栃木県産米を利用した米菓開発による地域経済の活性化」.2026年1月.
13.キャククル(2024)「日清食品の広告戦略・マーケティングから学べる事とは」.2026年1月.
https://www.shopowner-support.net/glossary/framework/nissinn-ad/.2026年1月.
14.会津大学(2019)「Twitterを活用した企業のマーケティング戦略の有効性」.
15.堀江貴文(2023)「信用2.0」.朝日出版
16.日本都市計画学会中部支部計画発表会論文集(2023)「豊橋市の飲食店におけるSNSの利用実態」.61-64

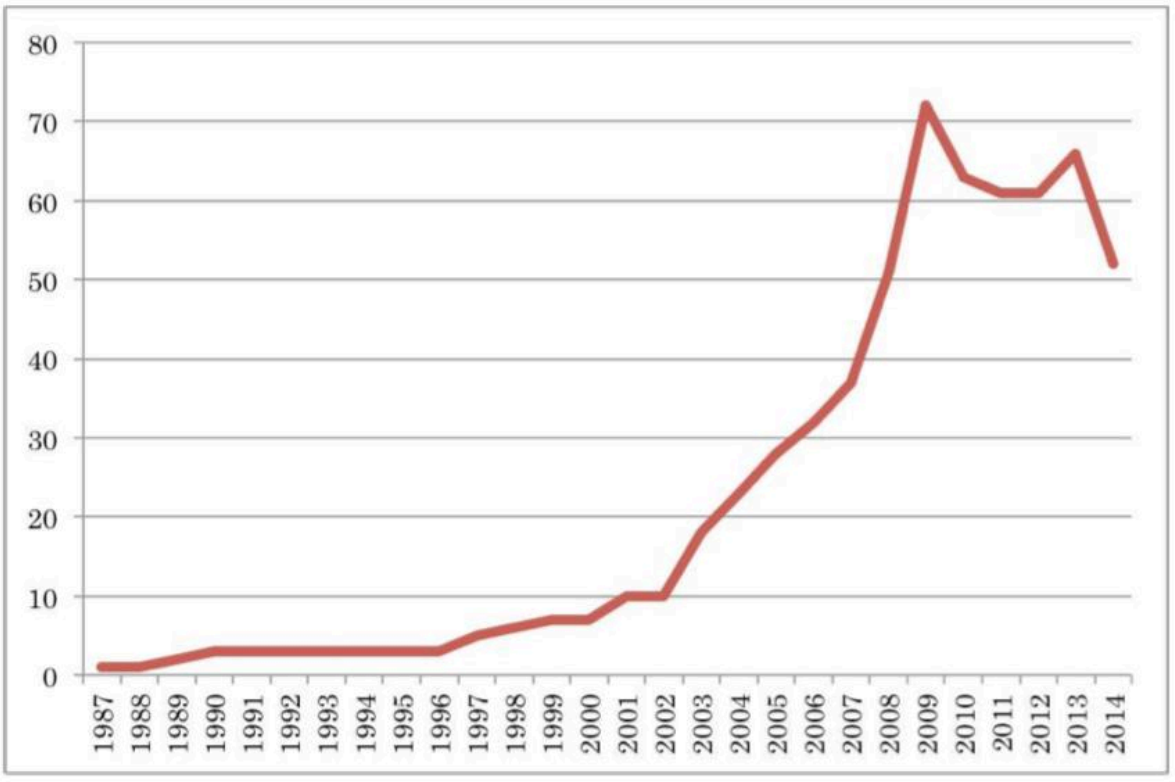
# 地域アートイベントの持続可能性について

**研究背景**

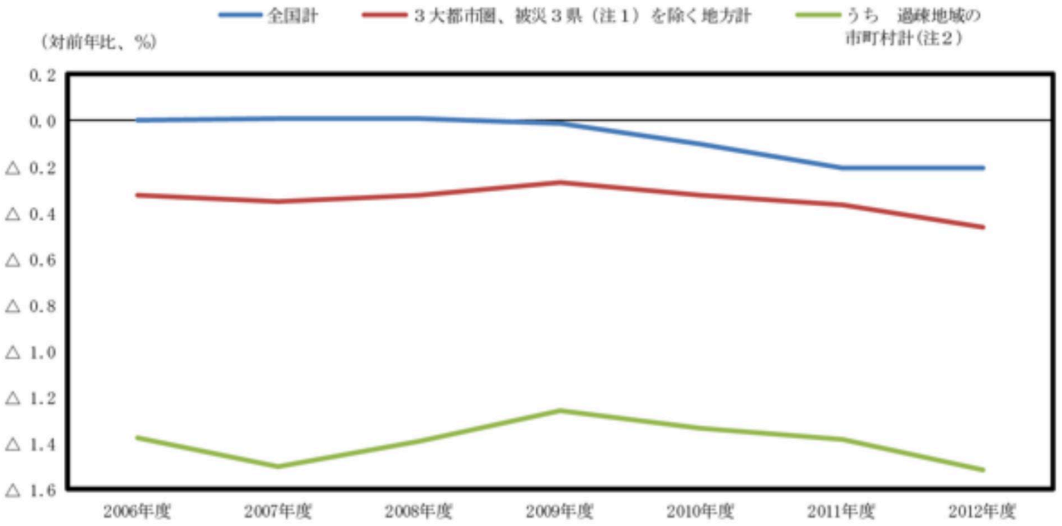
近年、美術館に閉じ込められ社会とのつながりを失いつつあったアートは、新たな表現の可能性を求めている。一方で地域側も、地域開発の軸を博物館や美術館から、人々が触れ合いやすい場へと移り変わった。こうした両者の動きが重なり、地域とアートが融合した「アートプロジェクト・アートイベント」が注目されている。（宮本，2018）また、地域アートイベントは年間予算が約1000万円未満の小規模なものが多い。小規模アートイベントは、予算、地域資産、担い手がいなくても実現可能な地域活性化事業であり、外部からの芸術家やスタッフが自主的に運営している。（田島，2014）

さらに、近年日本では人口減少や高齢化が深刻な課題となっており、従来の開発型政策に関わる新たな地域活性化の手法として、文化や芸術を活用した取り組みが必要である。（宮島，2023）実際に、私の住む地域でも深刻な過疎化が問題になっている。私の母校の小学校では、全校生徒が1番多い時で100人いたのに対し、その年から約10年経った今では全校生徒の人数は40人以上も減ってしまっている。他にも、夏祭りの屋台を取りやめるなど、地域行事の小規模化により行事への参加者が数年で格段に減り、今では地域の人とほとんど関わる機会がなくなってしまった。

そこで、私は地元の赤石地区と隣町の三用地区を対象として地域アートイベントを行い、イベントを通して地域を活性化させることはできないかと考えた。




日本国内の地域アートイベントの件数の推移
（小規模アートイベントの有用性と持続可能性に関する研究，田島悠史，2014）




（注１）３大都市圏は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、被災３県は岩手県、宮城県、福島県。
（注２）過疎地域自立促進特別措置法第２条第１項又は第33条第１項に基づき、2014年４月１日現在で過疎地域とされる市町村（被災３件を除く地方の市町村（539団体））の合計。
（備考）総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より作成。

人口の推移のグラフ（内閣府，2012）

**研究目的**

地域アートイベントを行うことにより生まれるメリットは、「地域の特色を活かすことによって、アートを通し地域の文化や歴史が可視化され、再認識することができる。」ということである。（宮本，2018）しかし、地域側・アート側でそれぞれにリスクも伴う。例を挙げると地域側では、地域住民が得体の知れないアートが生活空間に現れて困惑してしまったり、動員するだけで主体的に関わることができなかったりするというリスクが挙げられる。一方アート側では、アートならではの役割が問われなくなるといったリスクが挙げられる。（宮本，2018）

そこで私は、地域アートイベントで作成するアート作品を地元に馴染みのあるものにすることで、双方のリスクを解消することができると考えた。地域の特色を生かすことによって、地域住民もより気軽に関わりやすくなり、アート側もアートを通して地域住民に地域の文化や歴史を再認識させるというアートならではの役割を担うことができるのではないかと考えた。地域アートイベントにおいて有用性は「緩く広く」繋がろうとする行為によって会得することができる。そのために、「緩く広く繋がる」ツールになり得るような芸術作品や芸術家が小規模地域アートイベントでは重宝される。（田島，2014）

これらの先行研究から、本研究では「地域アートイベントは地域を活性化させることから有用性があり、持続可能性がある。」という仮説を立て、地元の地域を対象にし、実際にアートイベントを実施する。しかし、このイベントは一年目なので持続可能性については地域側とアート側どちらにとっても有用であれば持続可能であるとする。

**持続可能＝有用性であると判断するための具体的な評価基準**

研究結果を出す為には具体的な評価基準を決める必要がある。そこで私は、これらの三つの評価基準を決めた。

①地域アートイベントを通して参加者の内面に地域を思う気持ちやアートに興味を持てるようになったなどの変化が現れたかどうか。

②イベントに参加したことにより、また同じような地域アートイベントに参加したいと感じたか。

③地域・アート側にそれぞれメリットがあるか。

この三つをアンケートで調査し、すべて当てはまったら仮説は正しいとする。

**研究方法**

この研究では地域側の立場の人とアート側の立場の人が必要である。

そこで、地域側の立場として、東地区地域づくり協議会「里山会館ほっか」の大平さんと、アート側の立場では、池田美術館の山室さんのご協力のもとで地域アートイベントを行った。

イベントではペットボトルキャップを使って一つの大きなアート作品づくりを行った。

**イベントのタイトル:『ペットボトルキャップで何ができる？』**

作品のモチーフ:地域に馴染みのある市の観光PRキャラクター「こめつぐくん」



こめつぐくん(ゆるナビ)



↑この自分で描いたイラストを元に制作した。

参加者の対象:東地区(赤石地区と三用地区の総称)に住む人。

作品の制作方法:ペットボトルのキャップを事前に集め、そのペットボトルのキャップを参加者全員で一つずつ並べてグルーガンで土台に貼り付けて一つの大きな作品を作る。

宣伝方法:ポスターを制作し、それを大平さんに東地区のホームページに記載してもらい、小学校と中学校ではお便りとしてチラシを配布した。



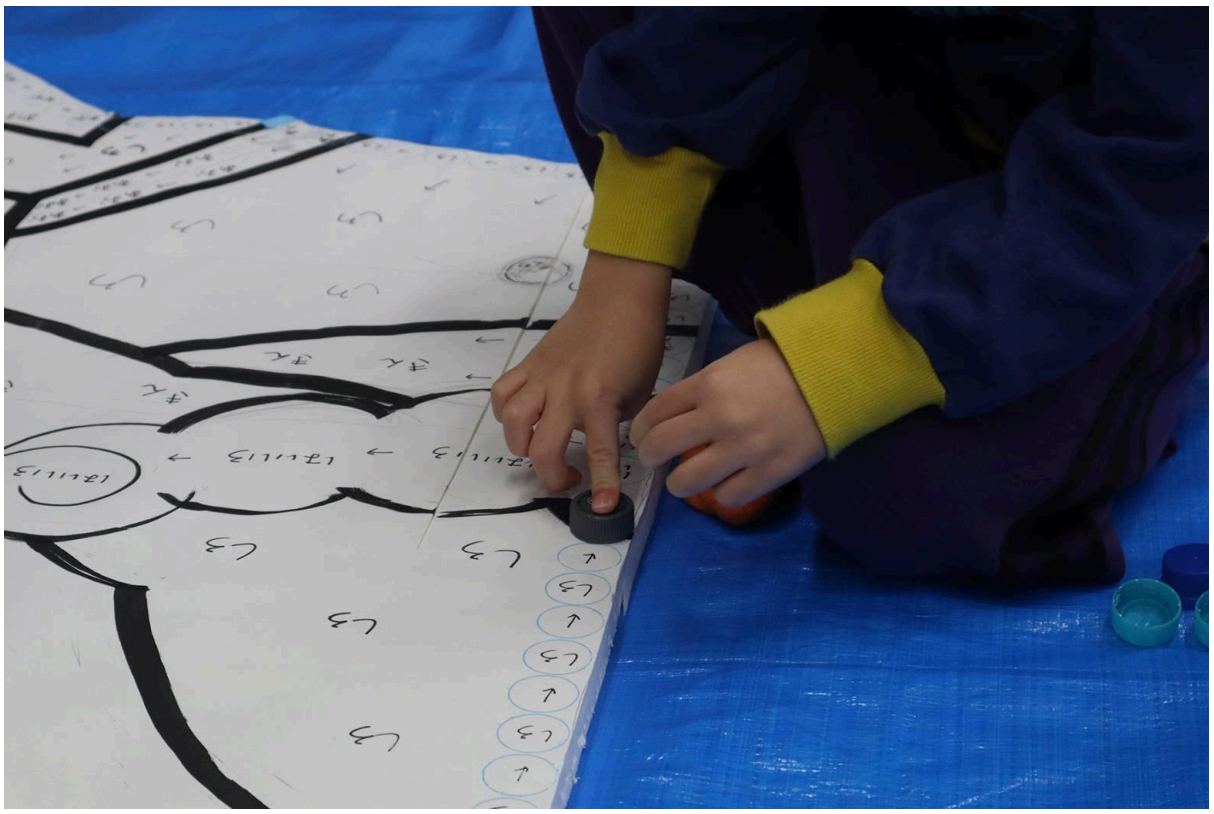
↑実際に使ったポスターの写真

**作品制作のための事前準備**

土台の制作：暑さ20mmの発泡スチロールを縦幅140cm横幅130cmの大きさに切り取り、その表面にケント紙を貼り付け、ケント紙にこめつぐくんの下書きを描き、土台を三分割した。グルーガンは池田美術館から借用し、ペットボトルのキャップは友人や知り合いから寄付してもらい、約2000個集まった。イベントを通していろんな人と関わりを持ってもらうために、参加者を三つにグループ分けし、分割した土台を一グループに一つ用意し、それぞれのグループで制作してもらう。最終的には完成した土台をパズルのように接着し、一つの大きな作品になる。作品完成後には、具体的に決めた評価基準を元に作ったアンケートに答えてもらう。完成したアート作品は地域側の立場として協力してもらった東地区地域づくり協議会の「ほっか」の拠点である里山会館に飾ってもらい、地域の人たちがいつでも作品を見に来れるようにする。

**研究結果**

1月31日に行った地域アートイベントの写真


















イベント当日には3歳から80歳と幅広い年代の東地区に住む25人が参加した。

**アンケート結果**

実施したアンケートをまとめた。

Q1 このイベントに参加しようと思ったのはなぜですか？また、このイベントを知ったきっかけは何ですか？

・大平さんから誘ってもらったから。
・チラシを見て気になった。(6)
・ママ友からの誘い
・ママに行ってこいと言われた。
※括弧内の数値は同一意見の回答者数を示す。

Q2　地域のアートイベントへ気軽に参加しようと思えましたか？それとも勇気が必要でしたか？

<u>気軽に参加できた理由</u>

・楽しそうだったから。
・友達も参加していたから。(4)

<u>参加するのに勇気が必要だった理由</u>

・雪がすごかったし、初めての場所だったから。(2)
・恥ずかしがり屋だから。(5)

Q3　地域の知らない人と一緒に作品を作ることで良かったこと・悪かったことを教えてください。

<u>良かったところ</u>

・子供達が分け隔てなく交流していてとても微笑ましかったです。
・みんなと同じ作業ができること。
・みんなで楽しく参加できて良かった。(2)
・学校の先生がいたから緊張した。
・いろんな人と工作ができた。
・仲良くなれたこと。いっぱい話せたこと。(3)
・馴染みのある人と一緒だったので、気軽に参加できたところ。
・みんなでワイワイしながら作品を作ったことが楽しかった。

<u>悪かったところ</u>

・特になし(4)
・貼り方の説明が不足していて、隙間が空いた部分があった。
・グルーガンが危なかった。

Q4　このイベントを通してどんな気持ちになりましたか？どのような心の変化がありましたか？

・知らない子ばかりだったけど、遊びながらできて楽しかった。
・同じ作業をすると言うことで連帯感が生まれた。
・楽しい気持ちになった。(3)
・みんなで作って達成感を感じた。
・すごく楽しかった。出来上がってくるともっと楽しくなった。

Q5　またこのようなイベントがあったら参加したいですか？
・ぜひとも参加したいです。キャップを集めるのも楽しい。
・参加したいです。（15）
・最後にくっつけた時嬉しかった。

Q6 地域アートイベントはどんなメリットがあると思いますか？また、持続可能性はあると思いますか？
・この活動が認知されるまで、時間がかかると思いますが、参加した人から人へつながって、「ちょっといってみるか」と多くの人が参加してくれると思います。
「みんなで何かにする」ことに苦手意識が無くなっていって、もっとあったかい地域になってほしいです。
・子供から大人まで楽しめるイベントだと思う。不用品を使うことも。
・人とのつながりができること。
・初めてイベントに参加しました。子どもたちは楽しそうでしたし、完成したときの達成感があって良かったと思います。
・また参加したいので、持続可能性があると思います。
・交流の場としてとても良かったです。
・年齢もさまざまな人たちと会話することができてとても良い時間を過ごせた。
・子供たちの発想力やたくさんの人と何かを作り上げる達成感を味わうことができる地域にとって良いイベントだと思った。
・身近に池田美術館もあるのでアート・美術にどんどん触れたくなった。
・段取りにたくさんの協力が必要となることデメリット。
・ただの快楽消化とならず、いろんな人とのつながりが有効にできるかどうかが鍵になると思った。
・人見知りの人が人と交わるきっかけになれる。
・地域の色々な難題の人が集まりものを完成させることで一体感をえられ、色々な話をする良いイベントだと思った。
・交流ができる良いイベント
・定期的に行って欲しい。
・地域に対してさまざまなアプローチが可能である。

　これらのアンケート結果を踏まえて評価基準をもとに仮説は正しいか考える。
①地域アートイベントを通して参加者の内面に地域を思う気持ちやアートに興味を持てるようになったなどの変化が現れたかどうか。
→Q3とQ4の結果から参加者の中には最初は緊張した人も多かったが、地域イベントを通して楽しいと感じた人が多かった。特に、「同じ作業をすることで連帯感が生まれた」「いろいろな年代の人と交流できた」という意見は、地域への関心や他者とのつながりを意識する変化が生じたことを示している。したがって、参加者の内面に一定のポジティブな変化は見られたと考えられる。

②イベントに参加したことにより、また同じような地域アートイベントに参加したいと感じたか。
→Q5から参加者のほとんどが参加したいと答えている。したがって、継続実施への可能性は高いと考えられる。

③地域・アート側にそれぞれメリットがあるか。
→Q6から「交流の場になる」、「美術に興味を持った」、「定期的にやって欲しい」などの『このイベントは有用性がある。』と答えた人が多かったが、イベントを続けることに対して数人がデメリットがあるとも答えていた。これにより、有用性は確認できたが、継続のためには地域とアート側の運営体制の整備が必要だと考えた。

**結論と今後の展望**

本研究では、「地域アートイベントは有用性があり、持続可能性がある」という仮説を立て、実際に地域アートイベントを実施し、アンケート調査を行った。その結果、参加者の多くに「連帯感」や「達成感」,「地域やアートへの関心の高まり」といった内面的な変化が見られ、再参加意欲も高いことが明らかとなった。また、地域側にとっては、「交流の場になる」というメリットがあり、アート側にとっても地域と関わる新たな可能性が示された。以上のことから、本研究の仮説はある程度支持されたと考えられる。地域アートイベントは、小規模であっても地域に新たなつながりを生み出す有効な方法であることが明らかになった。しかし、イベントは一年目の取り組みであり、参加者数も25名と限られていた。そのため、持続可能性をより確実に検証するためには、継続的な実施が必要である。また、アンケート結果からは運営の負担や準備の大変さといった課題も明らかになった。今後またイベントを開催することになったら、その課題についても改善し、持続可能な地域アートイベントを目指していきたい。

**参考文献**

[1]田島悠史(2014)「小規模地域アートイベントの有用性と持続可能性に関する研究:みなとメディアミュージアムを事例として」慶應義塾大学.
[2]額尔敦, 初田隆(2019)感性的側面から環境意識をたかめるための リサイクル工作」の可能性について」大学美術教育学会「美術教育学研究」第51号.
[3]中村和彦(2022)「環境教育の変遷と今後の展望 社会変革への貢献に向けて」環境情報科学51巻.
[4]宮本結佳(2018)「アートと地域づくりの社会学―直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造―」昭和堂.
[5]宗像花草(2023)「対話型アート作品鑑賞手法による大学生の対人コミュニケーション力育成」グローバル・コミュニケーション研究.
[6]赤松直樹、椚沢順、権永詞、吉羽一(2018)「リサーチ＆レビュー地域活性化に対するアートの役割について」赤松プロジェクト.
[7]船山哲郎(2020)「我が国の過疎地域において制作された環境芸術作品に関する研究」札幌市立大学大学院デザイン研究科.
[8]中島正博(2012)「過疎高齢化地域における瀬戸内国際芸術祭と地域づくり：アートプロジェクトによる地域活性化と人びとの生活」,広島国際研究 .

# 日本語の持続可能性について

## 1.研究背景

近年，日本では，「言葉の乱れ」が問題となっている。文化庁による日本語が乱れているかどうかを尋ねた調査では，結果は，「非常に乱れていると思う」を選択した人の割合が 10.5％，「ある程度乱れていると思う」が 55.6％で，この二つを合わせた「乱れていると思う」は 66.1％となっている。一方，「全く乱れていないと思う」は 2.4％，「余り乱れていないと思う」は 27.8％で，この二つを合わせた「乱れていないと思う」は 30.2％となっている。また、年齢別で見ると，「乱れている」の割合は40～60代が7割を超えている(文化庁，2020)。また，2021年度の調査では，「言葉や言葉の使い方について社会全般で課題があると思うか」という問いに対して，「あると思う」と解答した割合は84.6%であった。年齢別では，16～19歳代と，40～70代以上までが「あると思う」と答えた割合が8割を超え，20～30代では下回った。しかし，「言葉や言葉の使い方について自分自身に課題があると思うか」という問いでは，16～50代では「あると思う」と答えた割合が7割であるのに対し，60代では63.7%で，70代以上では54.2％であり，おおむね年代が上がるにつれ「ある」と答えた割合が低くなる傾向にある。そして，日本語の乱れとして特に問題とされているのは，敬語などのの言葉遣い，若者言葉 文中の単語の話を特別の意味もなく疑問のように 尻上がりにのばして発音する奇妙なイントネーションなどである(中條，1999)。しかし，同じ語彙を地域によって異なる使い方をするような場合に，方言によるものと認識されずに，「乱れ」であると受け取られることも多い(坂本，2001)。

## 2，研究目的・意義

以上のことから，現在では言葉の乱れが問題とされていながら，それに対しての認識が世代や地域によって曖昧であると考えられる。そこで，この研究では，言葉の乱れとはどのような物なのかを調査し、言葉の乱れが発生する場面と，その要因は何であるかを明らかにする。これらを明らかにすることで，言葉の変化に対する印象や意識を規範化し，正確な日本語を正しく継承するきっかけになるとともに，今後の言語変化の進行を推察する要素になり得ると考える。

## 3. 先行研究

言葉の乱れとは，言葉の変化である。この言葉の変化というものには様々な層があるが，大まかに三つの分類に分けられる（鈴木，2010）。

1）言語形式に関わる変化

2）言葉に対する意識の変化

3）生活様式の変化

1）は，文法の変化である。日常的に観察される例を挙げると，以下のようになる。

①い抜き言葉「～してる」「V～ている」から「い」が抜けたもの。教科書の会話文にも見られる。

②ら抜き言葉「～れる」「V～られる」から「ら」が抜けたもの。雑誌などの書き言葉にも見られる。このら抜き言葉は、明治時代から方言の範囲内で使用されていたことが明らかになっている(井上，有地，張，1997，2010，2009)。鈴木(1994)は，小説内でのら抜き言葉の最も古い例は大正時代の葛西善蔵の作品であると述べている。このことから，大正末期から明治初期にかけて広がっていったと考えられる。また，第20期国語審議会にて「当面の共通語では、改まった場での使用は認知しかねると結論が出された(1995)

③「を」の多用「水を飲みたいです」，「文字を読めます」

④全然～ない「全然大丈夫です」 現在では肯定的な表現とともに用いられている。

⑤「～ません」から「ないです」への移行 「暑くないです」や「今日は～しなかったです」など，「です」を文末につける言い方。「ありません」と両方が使用され，使い分けがあることが指摘されている。

⑥さ入れ言葉「～らさせていただきます」五段動詞の「書かせて」などの間に余分な「さ」が入り、「書かさせて」のようになる現象。

②の「ら抜き言葉」は言葉の乱れとして槍玉に挙げられることが多々あるが，①の「い抜き言葉」や④の全然の用例は教科書に使用され，日常生活の中でもよく見られることから，変化が世間の中に浸透していっていると考えられる。

2）は、言語形式そのものに変化はないが，使用する人々の感じ方や規範が変化したものである。「ちょっと」という語を例に挙げると，「じゃ、ちょっと行きましょうか。」や，「すみません、その日はちょっと。」のように、文法上では「少量」「少程度」を表しているのにも関わらず，現実の場面での量や程度はそれほど小さくないという矛盾がしばしば確認される。上記の用例は「和らげ」としての「 場面的添加」(間投詞的・潤滑油の役割)で あるとし，使用の場面が分類さ

れている（彰，1990）また，「もうちょっと上」や「ちょっと薄い」など，形容詞・形容動詞や空間、時間にかかる「ちょっと」は程度性に働き，「ちょっとある（いる）」などの存在を表す語には量に働く。実際には現実の程度が小さくないことに「 ちょっと」が使われるのは，程度副詞「ちょっと」が最初から婉曲表現 としての機能や意味を有しているのではなく，程度副詞としてはたらくことを経由して，その結果として文の和らげなど，婉曲的に見えたり聞こえたりするため，結果的に人々の感じ方と本来の意味との間に差が生じ，このような用例が生まれるとされている（秋田，2005）。

3）は、生活様式の変化に合わせて今までにない語彙や表現が発生する変化である。若者言葉の発生や，都市化や標準語での教育による方言の消滅なども生活様式の変化として考える。若者言葉は，「主に若年層の間で仲間内でのコミュニケーションで使用される」「言語規範からの逸脱性を有し，特にメディアを介した伝播などが見られる」といった特徴がある（堀尾，2022）。そして，若者言葉の発生源の一つとしては，「集団語」が挙げられる。また，若者言葉は言葉遊びの娯楽であるとし，たとえ使われなくなっても世間には影響しないとも述べられている。こういった言葉遊びとしての若者言葉は，総じて使用期間は短い(永瀬，米川，1999，2000)。「集団語」とは、ある特定の社会集団，専門分野特有の言葉のことである（業界用語など）。また，若者言葉は「死語」となったり，意味が忘れ去られてしまうことがあるが，世間の間に定着するものもある。その特徴としては，以下の四つが挙げられる（桑本，2002）。

①使用場面が比較的多いこと 「キモい」「うざい」などの相手を貶す，あるいは自身の不快感を表す言葉や，逆に「イケメン」などの自身の快感やその対象を表す言葉は会話の中で複数現れ広範囲に使用でき，また他に代用する言葉も少ないため，定着しやすい。また，「マジ」などの相槌に使用できる語彙も使用頻度が高いため定着しやすいと考えられる。

②形態的派生形が存在すること。「キレる」から「逆ギレ」など。「むずかしい」から「むずい」などの省略も派生の一種だといえる。

③意味の転換 「ヤバい」という語彙は本来「危ない」という意味で使われていたが，最近では，どのような状況でも感情でも表せる単語として使われていると感じる。他にも「いたい」は「自覚がなく見ていて恥ずかしい」という意味や「空気が読めない人」を表す言葉として使われるケースがある。これらは②と同様の派生であるが，③は意味の派生である。

④曖昧な表現 「〜かも」「〜っぽい」「〜とか」などの断言を避ける表現は若者言葉と言わずとも日本語の伝統的な手法であり，表現が楽で使いやすいため，好まれやすいとされる。

逆に，あまりに省略しすぎたり，暗号的すぎる物や，芸能人や有名人が発信したものは定着しづらいとされている。方言に関しては，地域方言と社会方言の二つに分けられる。

地域方言とは主に「～弁」とつく物や，琉球方言，アイヌ語が当てはまる。地域方言の中でも，アイヌ語は極めて深刻，次いで八重山語，与那国語が重大な消滅の危機にあるとされている（文化庁，2009）。このような消滅の危機にある方言を守るための取り組みとして，辞書，文法書，談話資料の作成などが行われている。談話資料には昔話の語りや二人以上の会話の文字起こしが記載されている。（木部，2022）また，2016年の熊本地震に際して，九州方言研究会，筑紫日本語研究会が共同して「方言支援ツール」を作成，配布して，方言の継承や方言教育の発展に向けて被災地に対する地域支援の活動が行われている。（松丸，2018）

社会方言とは社会階層，年齢，性別などの話し手の属性によって生じる言語変化である。日本語の男女差を例に挙げると，同じ表現を使っても女性の方が男性よりも丁寧な言葉遣いをするという先行研究がある。（井出，1997）このような性差が起こる背景としては，女性社会では人と人のつながりを大切にし，合意に達しようと努めるため，優越性を出す表現を控える一方で，男性社会では地位を重んじる社会であり，人は皆違うという非対称性を大切にする社会であるからという見方がある（松村，2001)。

女性にとっての会話は親しい関係を作り維持するための手段であって対立を避ける一方，男性は自身の意見を主張し，注目を集める手段としていると考えられる。また，日本語には女性専用とされる表現「～わ」「～かしら」という表現があるが，実証研究によると，男性専用とされる「ぜ」や「ぞ」といった表現よりも使用されておらず，衰退していっていることが明らかとなっている。（尾崎，1997）また，「かな」「だよね」といった中立的表現が広まっていることから，男女差が縮まっているという結果も出ている。（中島，1997）

また，言葉の誤用も言葉の乱れとしてあげられる。

文化庁の「国語に関する世論調査」では，「手をこまねく」，「敷居が高い」など，三つの慣用句を挙げて，どの意味だと思うかを尋ね場合、尋ねた三つの慣用句のうち，「(1)手をこまねく」，「(2)敷居が高い」，「(3)浮足立つ」全て，辞書等で本来の意味とされてきたものとは異なる方が多く選択されるという結果となっている。他にも，役不足という語は，本来は役目が軽すぎて能力が十分に発揮できないことという意味であったが，近年能力不足で役目が果たせないことあるいは，ある目的を果たすには役職が軽すぎることといった対義的方向への意味変化が指摘されている。(新野，2011)

誤用が生じる要素としては、発音負担や記憶負担を軽減し，簡略化した語形へ変化したり，既有知識から合理的に類推し単純な規則へ整える効率性を重視した結果の経済性の原理と，使い古された表現が新しい表現に塗り替えられる新鮮さを重視した創造性の原理があるとされている。(真田，中山2006，2016)

4. 研究

これまで挙げた言葉の乱れのうち，「ら抜き言葉」として使われる

「見れる」「食べれる」「起きれる」の実際の用例から，どのような場面で言葉の乱れが起こっているのかを現代日本語書き言葉均衡コーパスの書籍，新聞，ブログのカテゴリーで検索し，検索結果の数から比較した。

結果・考察

| | 書籍 | 新聞 | ブログ |
|---|---|---|---|
| 見れる | 34 | 1 | 227 |
| 見られる | 3584 | 56 | 343 |
| 食べれる | 10 | 0 | 87 |
| 食べられる | 552 | 3 | 222 |
| 起きれる | 2 | 0 | 26 |
| 起きられる | 21 | 0 | 8 |

集計した結果からは，書籍や新聞のカテゴリーではら抜き言葉の使用数が少ないが，ブログのカテゴリーでは書籍や新聞のカテゴリーに比べて使用数が圧倒的に多くなっていることが見て取れる。ここから推測できる書籍や新聞上でら抜き言葉の使用率が低くなる理由は、書籍や新聞は出版，発行される前に厳格な校正や校閲が行われるため，本来正しくないとされるら抜き言葉は必然的に少なくなると考える。対して，ブログでは言葉遣いに対する校正が行われづらいため，ら抜き言葉が使われやすくなると考えられる。

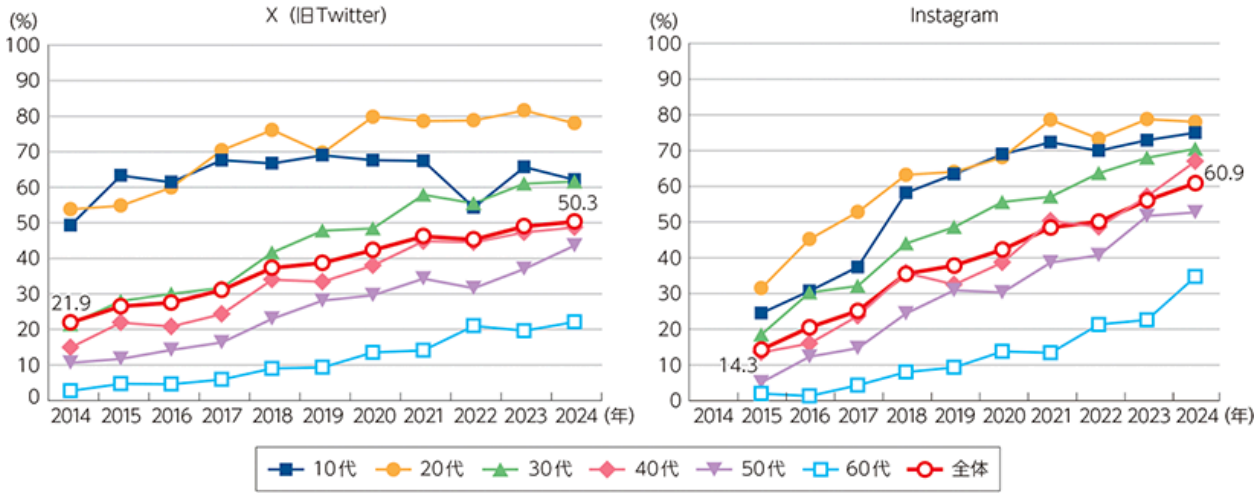
また，書籍内で使われていたら抜き言葉は，

「こんな光景を見れるとは思いませんでした」(峰，2001)

「来年も食べれるといいね...」(栗，1988)

のように，台詞の中で使われる場合が多かった。このことから，ら抜き言葉や言葉の乱れとされる言葉は主に人の話し言葉の中で使われることが多いと考えられる。

そして，ブログでのら抜き言葉の出現率が高かった結果に加えて，SNSの利用者層(図)は10代から20代が多くを占め，それより上の世代は比較的少数である事が，研究背景で示した若い世代の言葉遣いに対する懸念と一致しているため，言葉や言葉遣いに対する課題や言葉の乱れといった問題はSNSの利用が関係していると考えられる。2025年度の国語に関する世論調査でも，「SNSの普及による、社会での文字や語句、言葉の使い方への影響」があると思うかを調査した結果，「あると思う」と答えた割合は89.3%であり9割近くがSNSが日本語に影響を及ぼすと考えている。これは，全ての年代で8割以上が「あると思う」と解答している。これは，世間の中でSNSが日本語に影響を与えるということに対して懸念を持っていることを示している。以上の結果を踏まえて，言葉の乱れや変化は人の話し言葉から発生し，特に，若い世代のSNS利用によって世間へと広まっていると考えられる。




（出典）総務省「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

5，結論

本研究では，言葉の乱れとはどのようなものかについて調査し，コーパスを使用してら抜き言葉の実際の用例を集計してどのような場面で使用されているのかを調査した。その結果，ら抜き言葉といった言葉の乱れは，人が話す日本語の中から発生しており，特に若い世代のSNSの利用によって言葉の乱れが広まっていると考察した。SNSの利用者数は増加しており，2027年には日本国内の利用者が約1億1130万人に上るとされている。(総務省，2024)そのため，SNS利用によって起こる言葉の変化や乱れは今後増加していくと考えられる。また，今回の研

究ではSNS上での言葉の使われ方について調査することができなかった。そのため，SNS上での言葉を調査し，言葉の何が乱れているかを明らかにすることで，正確な日本語を正しく継承していくことにつながると考える。

## 参考文献・参考資料

文化庁 (2020)(2021)(2024)(2025)「国語に関する世論調査」の結果の概要

中條 修 (1999)「『言葉の揺れ』についての考察」静岡産業大学

鈴木 睦（2010）「変わりゆく日本語と日本語教育の今」大阪大学

坂本 恵 (2001)「言葉の乱れ」をどう考えるか」神奈川大学

張 麗 (2009)「話し言葉の表現としてのラ抜き言葉に関する研究概観」東京外国語大学大学院

鈴木 英夫 (1994)「ら抜け言葉−みれる，おきれる−」至文堂

井上 史雄 (1997)「日本語ウォッチング」岩波新書

有地 秀樹 (2010)「『ら抜き言葉』の行方～2年生のアンケートを通して～奈良女子大学附属中等教育学校

秋田 恵美子（2005）「現代日本語の「ちょっと」について」創価大学

彰 飛(1990)「 日本語の『ちょっと』からみた日本人の言語習慣をめぐって」和泉書院

堀尾 佳以（2022）「若者言葉の研究：SNS時代の言語変化」九州大学

米川 昭彦（2000）「集団語にみる言葉あそび」明治書院

石川 泉吹（2025）「現代日本語における若者言葉の通時的変化および共時的特徴」静岡理工科大学

桑本 裕二 （2002）「若者言葉の発生と定着について」秋田工業高等専門学校

永瀬 治郎 (1999)「語の盛衰キャンパス言葉の寿命」明治書院

文化庁 (2009)「消滅の危機にある言語・方言」

木部 暢子 (2022)「危機方言の現状と取り組みの状況」国立国語研究所

松丸 真大 (2018)「地域言語・方言」日本語学会

井出 祥子 (1997)「女性語の社会-女性語研究の新展開を求めて-」明治書院

松村 瑞子 (2001)「日本語の会話に見られる男女差」九州大学

尾崎 義光 (1997)「女性専用の文末形式の今」ひつじ書房

中島 悦子 (1997)「応答詞疑問表現の諸相」現代日本語研究会

新野 直哉 (2011)「現在日本語における進行中の変化の研究『誤用』『気付かない変化』を中心に」ひつじ書房

井上 史雄 (1997)「日本語ウォッチング」岩波新書

中山 英晋 (2016)「原義とは異なる意味で使われる『誤用』例についての考察」 目白大学

真田 信治 (2006)「社会言語学の展望」くろしお出版

峰 隆一郎 (2001)「剣鬼・針ヶ谷夕雲」徳間書店

栗 良平 (1988)「栗良平作品集」第二集 栗っ子の会

総務省 (2025)「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

総務省 (2024)「情報通信に関する現状報告の概要」(第二部第七節)

情報・知識&オピニオン imidas (https://imidas.jp/ryuko/detail/N-05-6-093-97.html)

現代日本語書き言葉均衡コーパス少納言 (https://shonagon.ninjal.ac.jp/search_form)

# 日本の教育格差解消のためにできることの持続可能性

# Sustainability of Measures to Address Educational Inequality in Japan

## 1、研究背景・目的・仮説

### 【研究背景】

近年、世界的に皆が学校に行けるようになってきたが、まだ問題が残っている。それは学ぶ内容の質や学力、進学率に大きな差があること、つまり教育格差だ。日本では、すべての子どもが平等に教育を受ける権利を持っているとされているが、家庭の経済状況や学習環境の違いによって教育格差が生じているのが現状である。(小川　三空,2020)学習内容の理解度には個人差があり、その要因の一つとして家庭学習時間に差があることが挙げられる。しかし、家庭学習の時間は家庭環境や生活状況によって左右されるため、生徒自身の努力だけでは解決が難しい場合もある。Ozguir Tutal and Taha Yazar(,2023)その一方で、授業中に「分かりやすい」「覚えやすい」と感じる経験をした生徒も多く、授業の進め方や内容によって理解度が大きく変わる可能性があると考えられる。(川口　俊明,2006)

### 【研究目的・意義】

本研究では、「家庭学習の環境差を最小限にするために、授業内でできる記憶定着を促す工夫とはなにか」というリサーチクエスチョンのもと、生徒が記憶に残りやすいと感じる授業の特徴や、その理由を考察する。それにより、家庭学習の量に左右されにくい授業の在り方について考察することを目的とする。

### 【仮説】

授業内で体験型の学習や、自分の声を出して学ぶ活動を取り入れることで、学習内容の記憶が定着しやすくなると仮定した。聞くだけの授業に比べ、体を動かしたり発話したりする活動は、生徒が主体的に学習に参加しやすく、理解を深める効果があると考えられる。また、このような授業内での工夫は家庭学習の有無に左右されにくいため、家庭環境による学習の差を小さくすることができると考える。このことから、体験型の授業は教育格差の解消に有効であるという仮説を立てた。

# 2、研究方法

## 【研究協力者】

国際情報高校の全校生徒の中のアンケート回答者（32人）

六日町中学校の全校生徒（277人）

## 【実験方法】

Googleフォームでのアンケート調査

## 【実験手段】

　googleフォームでのアンケートで授業の進め方や学び方に対する生徒の感じ方を調べることで、どのような授業が理解や記憶に残りやすいのかを把握する。調査は無記名で実施し、回答者が率直に意見を述べられるよう配慮する。アンケート内容は、授業内で行われている学習方法と家庭学習についての質問を中心に構成する。具体的には、「話を聞くだけの授業」「ノートに書いて覚える学習」「体験型の学習」「声に出して学ぶ学習」など、授業内で行われることの多い学習方法を例として挙げ、それぞれについて理解のしやすさや記憶への残りやすさを尋ねる。また、複数の学習方法を比較できるようにすることで、生徒がどのような学び方を効果的だと感じているのかを把握しやすくする。さらに、選択式の質問だけでなく、自由記述の質問も設け、印象に残っている授業の例や覚えやすかったと感じた理由について書いてもらう。これにより、数値だけでは分からない生徒一人ひとりの感じ方や考え方が分かるようにする。

## 【評価方法】

　Googleフォームのアンケートで、回答の割合が高い学習方法を有効と判断する。また、アンケート結果と記述による意見の両方を照らし合わせることで、授業内の工夫が学習に与える影響を評価する。

## 3、結果

【国際情報高校の全校生徒の内アンケート回答者（32人）】

**①記憶に残っている授業（複数選択可）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1, | 実験・観察・ロールプレイなど体験型授業 | 24人 | 65.6% |
| 2, | グループで話し合いながら進める授業 | 21人 | 75.0% |
| 3, | ノートをとることが中心の授業 | 5人 | 15.6% |
| 4, | 教科書を使った説明中心の授業 | 2人 | 6.3% |
| 5, | 自習 | 1人 | 3.1% |
| 6, | 実例やイラストなど体系的な説明 | 1人 | 3.1% |

---

**② その授業が記憶に残った理由（複数回答可）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1, | 自分が実際に手を動かしたから | 30人 | 93.8% |
| 2, | 友達と意見を共有できたから | 20人 | 62.5% |
| 3, | 新しい知識を説明してもらえたから | 7人 | 21.9% |
| 4, | 家で復習する必要が少なかったから | 2人 | 6.3% |

---

**③ 家で勉強する時間**

| | | |
|---|---|---|
| 3時間以上 | 6人 | 18.8% |
| 2時間～3時間 | 7人 | 21.9% |
| 1時間～2時間 | 14人 | 43.8% |
| 1時間未満 | 5人 | 15.6% |

---

**④ 家庭学習が少なくても授業だけで理解できた経験はあるか**

| | | |
|---|---|---|
| ある | 25人 | 78.1% |
| ない | 7人 | 21.9% |

【六日町中学校全校生徒（277人）】

**① 記憶に残っている授業（複数選択可）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1, | 実験・観察・ロールプレイ・体験型 | 209人 | 76.3% |
| 2, | グループで話し合いながら進める授業 | 125人 | 45.6% |
| 3, | ノートをとることが中心の授業 | 64人 | 23.4% |
| 4, | 教科書を使った説明中心の授業 | 28人 | 10.2% |
| 5, | 自習 | 1人 | 0.4% |
| 6, | 実例やイラストなど体系的な説明 | 1人 | 0.4% |

---

**② その授業が記憶に残った理由（複数選択可）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1, | 自分が実際に手を動かしたから | 193人 | 70% |
| 2, | 友達と意見を共有できたから | 120人 | 43.8% |
| 3, | 新しい知識を知ることができたから | 84人 | 30.7% |
| 4, | 家で復習する必要がなかったから | 14人 | 5.1% |
| 5, | その他 | 1人 | 0.4% |

---

**③ 家で勉強する時間**

| | | |
|---|---|---|
| 1時間以下 | 146人 | 53.3% |
| 1時間～2時間 | 90人 | 32.8% |
| 2時間～3時間 | 29人 | 10.6% |
| 3時間以上 | 8人 | 3% |

---

**④ 家庭学習が少なくても授業だけで理解できた経験はあるか**

| | | |
|---|---|---|
| ある | 219人 | 79.9% |
| ない | 55人 | 20.1% |

## 【結果のまとめ】

アンケートの結果から、生徒の記憶に最も残っている授業は、実験・観察・ロールプレイなどの体験的な授業や、グループで話し合いながら進める授業であることが分かった。特に、体験的な授業は全体の76.3%、話し合いを取り入れた授業は高い割合を占めていた。また、授業が記憶に残った理由として最も多かったのは、「自分が実際に手を動かしたり体験できたから」次いで「友達と意見を共有できたから」となり、主体的・協働的な学びが印象に残りやすいことが分かった。家庭学習の時間については、1時間以下が最も多くであった。また、家庭学習が少なくても授業だけで理解できた経験があると答えた生徒はに達しており、授業内での学びの質が理解度に大きく影響していることが示された。これらの結果から、生徒が主体的に参加し、他者と関わりながら学ぶ授業は理解しやすく記憶にも残りやすいことが分かった。

## 【考察】

アンケート結果から、記憶に残りやすく理解しやすい授業には生徒が受け身ではなく主体的に参加できることが大きく関わっていると考えられる。特に、実験や観察やロールプレイなどの体験的な授業は、自分で考えたり行動したりしながら学ぶため、知識が一時的な暗記ではなく、定着しやすいと考える。また、グループでの話し合いが記憶に残りやすい授業として多く選ばれたことから、他者との意見交換が理解を深める重要な要素であることが分かる。友達に説明したり、異なる考え方を聞いたりすることで、自分の理解が整理され、曖昧だった部分に気づくことができるためだと考えられる。一方で、教科書を使った説明中心の授業やノートをとることが中心の授業は、記憶に残りにくい傾向が見られた。これは、生徒が受動的になりやすく、内容を「聞く・写す」だけで終わってしまい、学習内容を自分のものとして捉えにくいためだと考えられる。 さらに、家庭学習が少なくても授業だけで理解できた経験がある生徒は、体験型の学習が記憶に残りやすいと回答している率が多かったことから、授業内での理解の深さが学習成果に大きく影響していることが分かる。つまり、分かりやすく工夫された授業は、家庭での学習時間の差による学力差を小さくし、教育格差の解消にもつながる可能性があるといえる。これらのことから、生徒が主体的に考え、体験し、他者と関わりながら学べる授業づくりが、理解度の向上だけでなく、すべての生徒が学びやすい環境をつくる上で重要であると考えられる。

## 【今後の展望】

「生徒が主体的に考え、体験し、他者とかかわりながら学べる授業」を実現するためには、教師が一方的に説明するのではなく、生徒が自ら考える時間や対話の場を積極的に設けることが重要であると考える。今回の調査結果からも、多くの生徒が「実際に手を動かす活動」や「友達と意見を共有する活動」を通して学んだ授業を強く記憶していることが分かった。したがって、私が先生になったら生徒の問いを大切にする授業を行いたい。最初から正解を教えるのではなく、問いかけを行い、生徒同士で意見を交換させる。その後、実験や体験活動を通して自分の考えを確かめる時間を設けたい。また、授業後に授業の感想や質問を書いてもらい、生徒一人ひとりの疑問に親身に寄り添いたい。私が目標とする授業は、「楽しかった」という感想で終わる授業ではなく、自分で考えたことを実感できる授業である。そして、家庭学習に頼らなくても、授業の中で理解が深まるような学びの場をつくることを目標としたい。

【参考文献】


1. 川口　俊明（2006).「学力格差と効果のある学校」.
   https://www.jstage.jst.go.jp/article/eds/80/0/80_187/_pdf
2. 小川　三空（2020).「SDGS時代の教育普遍化と格差の開発研究」.
   https://www.jstage.jst.go.jp/article/jids/29/2/29_5/_article/-char/ja/
3. 高山　啄磨（2016).「学力格差と学校の役割」.
4. 関田　一彦（2020).「アクティブラーニングとしての共同学習の研究」.
   https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282679613042816
5. 浜野　隆　（2009).「教育格差の発生・解消に関する調査研究報告書」.
   https://scholar.google.co.jp/scholar?q=%E6%B5%9C%E9%87%8E%E3%80%80%E9%9A%86%E3%80%80%E3%80%80%EF%BC%882009%EF%BC%89.%E3%80%8C%E6%95%99%E8%82%B2%E6%A0%BC%E5%B7%AE%E3%81%AE%E7%99%BA%E7%94%9F%EF%BD%A5%E8%A7%A3%E6%B6%88%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%8D.&hl=ja&as_sdt=0&as_vis=1&oi=scholart
6. Ozguir Tutal and Taha Yazar (2023).Active Learning Improves Academic Achievement and Learning Retention in k-12.https://eric.ed.gov/?id=EJ1378732
7. 飯塚　圭乃（2018).「授業のめあてに即した振り返りが児童の学習意欲や学習内容の理解に及ぼす影響」.https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205228620160
8. 須藤　幸子（1994).「ゲーム学習の導入による新しい算数学習の創造」.
   https://cir.nii.ac.jp/crid/1390850490584798464
9. 小野寺　泰子（2008).「「日本の教育」から見る標準語教育と方言観の変容」.
10. 松岡　亮ニ（2020).「教育格差是正に向けて地道な道から逃げるな」.
    https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480072375/
11. 寺岡　佐和（2005).「地域高齢者の日常・社会生活の状況と物忘れ自覚症状との関連性」.
    https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282680481548160
12. 柄澤　美佳（2024).「女子学生による朝食内容が注意・集中力および計算・記憶力に及ぼす影響」.https://researchmap.jp/karasawamika/published_papers/44389635
13. 下平　美文（2010).「色記憶と色順応を考慮した画像再現に関する基礎研究」.
    https://researchmap.jp/read0101400
14. 龍上　順也（2020).「学習前の感情経験が記憶力にもたらす効果の検証」.
15. 前川 史彦（2011).「日本における教育格差～プルトップ型教育がもたらしたもの～」.
    https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no7/Maegawa.pdf
16. 西　洋香（2016).「広がる教育格差とその改善に向けて」.
    https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no12/nishi.pdf
17. 文部科学省
    https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab200901/1295628_004.pdf
18. 内閣府ホームページhttps://www5.cao.go.jp/keizai3/2021/0207nk/n21_3_3.html
19. サステナNethttps://susnet.jp/social-issues/17
20. 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンhttps://cfc.or.jp/problem
21. 認定NPO法人キッズドアhttps://kidsdoor.net/issue/education.html
22. ベネッセ教育情報
    https://benesse.jp/berd/shotouchutou/research/detail_3210.html

# 経営戦略から焼肉食べ放題事業の持続可能性について考える

# Exploring the Sustainability of yakiniku All-You-Can-Eat Businesses through Management Strategies

## 1．研究背景

年齢や性別を問わず人気を集めている焼肉店であるが、現在、円安による輸入肉価格の高騰や、人手不足による人件費の増加などの影響により、倒産が相次いでいる（東洋経済ONLINE,2025）。実際、2024年に発生した焼肉店経営事業者の倒産件数は、2023年の同期間(1月～9月)と比べて倍増した（図1）。他の外食メニューに比べて客単価の高い焼肉店では、物価高騰による節約志向の高まりを背景に、客離れを警戒して大幅な価格転嫁が難しい。その結果、倒産した店舗の多くは、個人店や資本金1,000万円未満の企業であった（帝国データバンク,2024）。

以上のように、焼肉業界は厳しい経営環境にある。その一方で、焼肉の食べ放題を展開する大手企業である物語コーポレーションをはじめとする上位5社の売上高は、上昇傾向にある（業界動向サーチ,2023）。このように、企業の規模や業態によって、経営状況に大きな差が生じている。




図１：「焼肉店」倒産件数　推移　（帝国データバンク,2024年）

## ２．研究目的・意義

本研究では、売上を伸ばしている事例が多く見られる大手焼肉食べ放題チェーン店に対象を絞って研究を行う。消費者の評価や先行研究で示されている経営戦略をもとに、焼肉事業の持続可能性について考察する。経営環境が厳しい中で、売上を伸ばしている大手チェーン店では、経営の仕方に特徴があるという仮説を立てる。そこで、消費者の評価や経営戦略が、大手チェーン店の経営にどの程度取り入れられているのかを整理することによって、大手焼肉食べ放題チェーン店の経営方法の特徴について検討する。これにより、企業にとって持続可能な事業の展開や、消費者にとって十分に満足できる店づくりに、少しでも貢献できると考える。

## ３．研究方法

本研究では、研究対象の焼肉食べ放題チェーン店として、牛角と焼肉きんぐを取り上げる。選定理由は以下の通りである。

・牛角（株式会社レインズインターナショナル）

焼肉チェーン店の中で最も店舗数が多く業界を代表するチェーン店であるため（497店舗）（日本ソフト販売株式会社,2025）。

・焼肉きんぐ（株式会社物語コーポレーション）

2023年7月から2024年7月にかけて、焼肉チェーン店舗数上位5社の中で唯一、店舗数を増やしており（306店舗→325店舗）、さらに2025年度も店舗数を増やしているため（325店舗→352店舗）（現代ビジネス,2025;日本ソフト販売株式会社,2025）。

Ⅰ 各企業（牛角・焼肉きんぐ）に関する知識を得るためにインターネットを用いて文献調査を行った。

Ⅱ 焼肉業界や外食産業に関する消費者へのアンケート結果や、先行研究で示されている様々な経営戦略について、インターネットを通じて文献調査を行った。

Ⅲ Ⅱで整理した内容をもとに、選定した2社がどの程度それらの経営戦略（マーケティングを構成する７Ｐ）を取り入れているのかを比較・分析し、持続可能な食べ放題事業について検討する。

## ４.結果・考察

「焼肉店についての意識調査」（株式会社ファンくる,2021）および「焼肉店（2025年度版）/市場調査データ」（J-Net21[中小企業ビジネス支援サイト],2025）から以下の点が明らかになった。

「焼肉店についての意識調査」によると、焼肉店を利用する場面は家族との利用が最も多く、全体の６７％を占めていた（図２）。また、来店時の交通手段は自動車が最も多く４９％、次いで徒歩が２４％であった（図３）。さらに、利用日は平日よりも土日・祝日の方が多く（図４）、利用時間帯については、夜（17時～20時）が最も多かった（図５）。

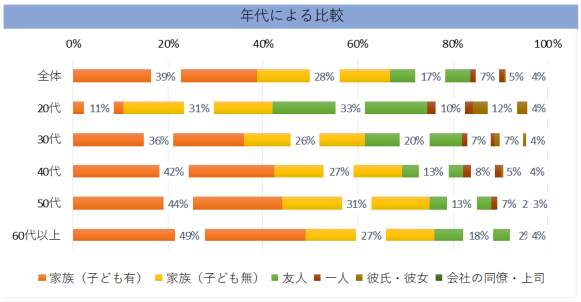



図２

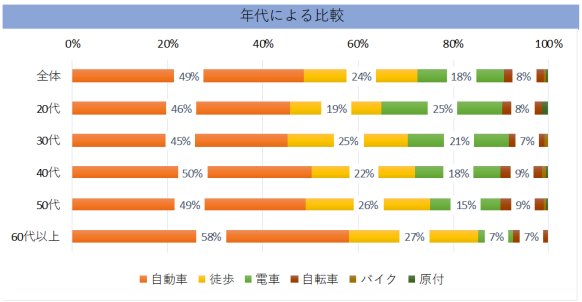



図３

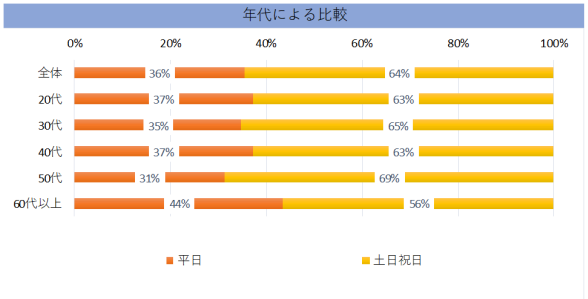



図４

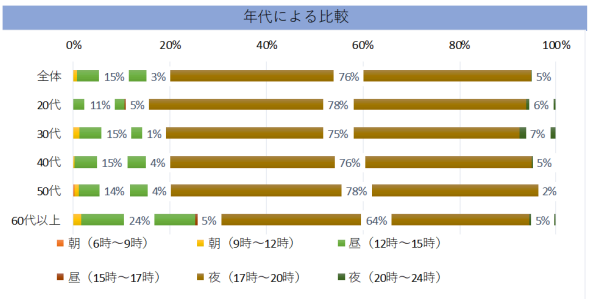



図５

また、「焼肉店（2025年度版）/市場調査データ」によると、焼肉店の利用基準は「提供メニューのおいしさや豊富さ」と答えた人が最も多く、４４．３％を占めていた。次いで「低価格、お得感」が２９．３％であった（図６）。さらに、1回の利用にかける費用は「3,000円～5,000円未満」が最も多く３２．８％、次に「5,000円～1万円未満」が２３．５％であった（図７）。

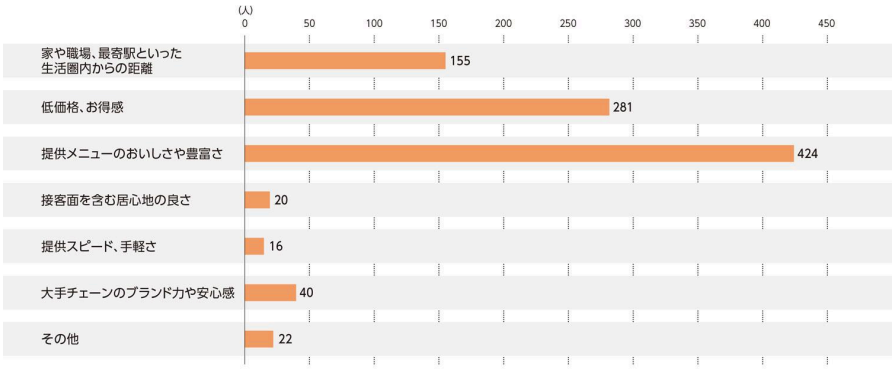



図６：焼肉店の利用判断の基準

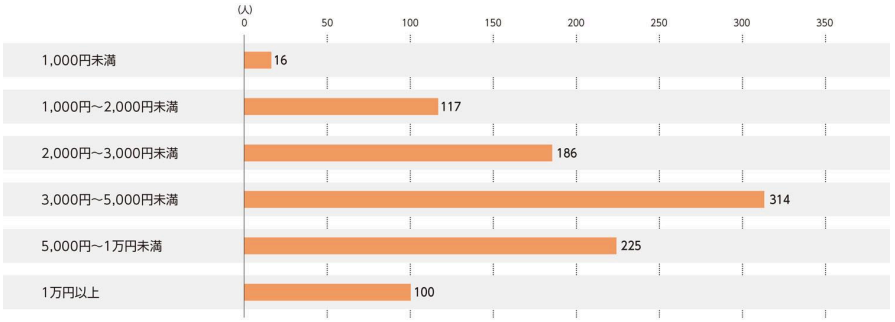



図７：焼肉店1回の利用にかける費用

次に、牛角と焼肉きんぐの特徴について、表にまとめて比較する。比較要素はサービスマーケティングを構成する７Ｐ（Product［製品］、Price［価格］、Place［流通］、Promotion［プロモーション］、People［人々］、Process［プロセス］、Physical Evidence［物的証拠］）を用いることにする。以下の表を[表1]とする。

| | **牛角（レインズインターナショナル）** | **焼肉きんぐ（株式会社物語コーポレーション）** |
|---|---|---|
| **Product** | ①５０品コース（肉とサイドメニュー）<br>②７０品コース（①よりも種類が豊富）<br>③牛角コース（贅沢な部位が追加）<br>④牛タン・上焼肉コース（牛タン、赤身肉、海鮮の追加）<br>⑤黒毛和牛コース（黒毛和牛が食べ放題）<br>⑥学生グループ限定食べ放題（メニューは４０種類）<br>※追加料金で単品メニューや飲み放題を楽しめる<br>※制限時間は９０分<br>※⑥は2人以上からの利用 | ①５８品コース（肉とサイドメニュー）<br>②きんぐコース（①と五大名物、期間限定フェア）<br>③プレミアムコース（①と②と国産牛や特選）<br>※追加料金で単品メニューや飲み放題を楽しめる<br>※制限時間は１００分<br>※ランチ食べ放題コースが別にある |
| | ①３，０５８円<br>②３，７１８円<br>③４，１５８円<br>④５，４７８円 | ①３，２７８円～<br>②３，７１８円～<br>③４，８１８円～ |

| | | |
|---|---|---|
| **Price（税込）** | ⑤6,５７８円<br>⑥2,５００円<br>※全コース<br>小学生未満:無料　小学生:半額<br>65歳以上:500円引き<br>※一人＋550円(税込)で30分延長<br>※公式アプリの会員はクーポンをもらえる | ※全コース<br>乳児:無料　小学生:半額　60歳以上：500円引き<br>※延長制度はなし<br>※公式アプリ（焼肉ポリス手帳）<br>→来店回数に応じて限定商品やクーポンをもらえる |
| **Place** | ビルイン／ロードサイド | 郊外ロードサイド |
| **Promotion** | ・公式ホームページ<br>・公式ＳＮＳ（Instagram、X、YouTube）<br>・ＣＭ<br>・アニメや芸能人とコラボ | ・公式ホームページ<br>・公式ＳＮＳ（Instagram、X、YouTube）<br>・ＣＭ<br>・お菓子メーカーとコラボ |
| **People** | ・スタッフに関する独自の接客制度については、公式に確認できる文献は見られなかった | ・「焼肉ポリス」や「おせっかいマスター」と呼ばれるスタッフが肉の焼き方を教えてくれる |
| **Process** | ・公式アプリ、ホームページから予約できる<br>・タッチパネルでの注文（一部店舗では採用されていない） | ・公式アプリ、ホームページから予約することができる<br>・タッチパネルで注文<br>・通常店:従業員又は配膳ロボが提供<br>特急店:オーダーレーンで提供 |
| **Physical Evidence** | ・子供用に広い席の設備<br>・子供用のイスやエプロン、食器、メニューの用意<br>・ホームページのメニューはジャンルごとに一覧となって全て見ることができる<br>・ホームページに肉の産地の表示<br>・ホームページにアレルギー情報の掲載 | ・子供用の食器、メニューの用意<br>・おむつの交換台やバリアフリートイレの設備（一部店舗では採用されていない）<br>・来店から退店までの流れやタッチパネルの操作方法をホームページに掲載<br>・肉別焼き方をホームページに掲載<br>・ホームページにアレルギー情報の掲載 |

［表１］

利用者のアンケート結果（図２～図７）と、７Ｐ別に整理した表１をもとに、焼肉食べ放題チェーン店の持続可能性について考察する。人気の要因は、以下の５つにまとめることができた。

［１］利用客について

図２のアンケート結果から、利用客は家族連れ、特に子供連れが多いことが示された。牛角と焼肉きんぐの双方において、子供向けの設備や価格設定、メニューが展開されている。また、牛角ではアニメとのコラボレーションを行っており、子供からの人気をより集めていると考えられる。

［２］交通手段について

図３のアンケート結果から、利用者の多くは自動車で来店していることが明らかになった。牛角も焼肉きんぐもロードサイド型の店舗が多く、利用者が自動車で来店しやすい立地であるといえる。

［３］メニューについて

図４、図５、図６のアンケート結果から、土日・祝日、そして夜の時間帯の利用が多いことが明らかになった。一方で、それに対して特別な施策を行っているかについては、今回の調査からは確認できなかった。しかし、図６に示されているように、焼肉店を選ぶ基準として「提供メニューのおいしさや豊富さ」が重視されている。実際に、牛角や焼肉きんぐを選ぶ理由として「肉がおいしい」「肉の種類が充実」といった項目が上位に挙げられており（@DIME,2025）、両店はこの点を満たしていると考えられる。

［４］価格について
図７のアンケートの結果から利用者は「３，０００～５，０００円未満」を一回の焼肉にかけることが明らかになった。そこで表１の「Price」の項目に着目すると牛角の④、⑤以外はこの値段の範囲内の価格設定だった。しかし④、⑤は２番目に多かった、「５，０００～１万円未満」の範囲に入っており、高級な肉を食べたい人からの人気が集まると考えられる。また、両社クーポンの配布によってより安く利用できることが明らかになった。

［５］接客・サービスについて
牛角ではコースの種類が豊富で、幅広い利用者の嗜好に対応した集客を行っていることがうかがえる。一方、焼肉きんぐでは「焼肉ポリス」や「おせっかいマスター」を配置することで、肉を美味しく食べられるようなサポート体制が整えられている。また、公式ホームページには利用方法やサービス内容が細かく記載されており、丁寧な接客を重視していることが読み取れる。

以上の結果から、売上を伸ばし続けている大手焼肉食べ放題チェーン店では、様々な取り組みを行っていることが明らかになった。特に両社に共通していた、子供連れを見込んだサービスや立地、様々な嗜好に対応したメニューや価格の展開は利用者を惹きつける魅力であると考えられる。

## ５.結論および今後の展望
本研究では、焼肉店利用者へのアンケート結果と大手焼肉食べ放題チェーン店の比較を通して、焼肉食べ放題の持続可能性について検討した。その結果、両社はいずれも利用者のニーズと一致した経営が行われていると考えられる。また、焼肉きんぐの運営会社である株式会社物語コーポレーションの代表取締役社長・加藤央之氏は「これから重要になっていくのは、選ばれるお店づくり、ブランド作りであり、差別化ポイントをいかに作り出せるか」であると述べている（物語コーポレーションホームページ）。以上のことから、今後は利用者に愛され続けることに加え、競争が激しくなっていく中で、自社独自の魅力を創り出していくことが重要な課題になると考えられる。また、今回の研究では、牛角と焼肉きんぐの2社のみを比較対象としたため、分析には限界がある。そのため、今後は他のチェーン店や焼肉以外の食べ放題ジャンルとの比較を行うことで、焼肉店経営に新たな視点を得ることができ、より持続可能な店づくりにつながると考える。
私自身、大学では経営学部、特にマーケティング学について学びたいと考えています。円安や物価高など様々な問題がある中でも、企業が発展していけるように、サポートしたり、自分がそのような企画を作ったりできたらと考えています。今回の研究ではこの経営学やマーケティング分野に触れながら、調査を進められたと実感しています。具体的には、マーケティングの7Pをもとに消費者のニーズに合った経営戦略について追求できました。今後さらに、将来の夢の実現に向けて努力を続けたいと思います。

## 参考文献・引用文献
[1]東洋経済ONLINE（2025).「倒産急増の焼肉業界で『焼肉きんぐ』が“一人勝ち”の理由とは？“食べ放題”だけじゃない魅力を現地レポと幹部取材で深掘り！都心出店の真意も聞いた」.
https://toyokeizai.net/articles/-/907155?display=b.2025年12月.
[2]現代ビジネス（2025).「『もう食べ放題は儲からない』焼肉不況時代…それでも『焼肉きんぐ』だけがチェーン店の中で店舗数を増やし続ける『明快な理由』」.https://gendai.media/articles/-/145503.2025年12月.
[3]ベンチャーTV magagine（2025).「牛角、新戦略『定番焼肉コース』を発表-低価格帯で高頻度利用を促進、収益拡大を目指す」.https://venturetv.jp/magazine/business/504/.2025年12月.
[4]Pricing Studio（2025年).「価格戦略(プライシング戦略)とは:7つの戦略と価格の決め方」.
https://pricing.co.jp/Knowledge-Articles/7pricing_strategy-1.2025年12月.
[5]PROFFIT（2022年).「プライシング戦略の基本/知っておくべきアプローチ方法や分析手法」.
https://proffit.jp/column/1/gGPvj3vF.2025年12月.

[6]日本経済新聞（2025年).「街の焼肉店が消える裏事情倒産・廃業が記録的ペース」.
https://bizgate.nikkei.com/article/DGXZQOLM019WY001102025000000.2025年12月.
[7]物語コーポレーション.「トップメッセージ/代表取締役社長 加藤央之」.
https://www.monogatari.co.jp/company_story/.2025年12月.
[8]ぐるなびPRO（2025年).「飲食店の値段の決め方完全ガイド/価格設定の基本と計算式、失敗しない黄金パターン」.
https://pro.gnavi.co.jp/magazine/t_res/cat_1/a_3977/.2025年12月.
[9]TBSテレビ（2021年).「売上額 No.1チェーン店(牛角・ゆで太郎)の昔と今の差」.
https://www.tbs.co.jp/konosa/archive/20210321/.2026年1月.
[10]REDISH（2021年).「ダイニングイノベーション西山知義が語る成功する店づくり6つのポイント コロナ禍を生き抜く戦略とは【リディッシュ松隈が聞く！飲食の未来vol.1】」.https://redish.jp/columns/colum-44/.2026年1月.
[11]@DIME（2025年).「5000人に聞いた『好きな焼肉チェーン』ランキング、3位叙々苑、2位牛角、1位は？」.
https://dime.jp/genre/1951862/.2026年1月.
[12]株式会社ファンくる（2021年).「焼肉店についての意識調査」.
https://www.fancrew.co.jp/news/research/research-yakiniku21-10.html.2026年1月.
[13]J-Net21[中小企業ビジネス支援サイト](2025年).「焼肉店(2025年版)/市場調査データ - J-Net21 - 中小機構」.
https://j-net21.smrj.go.jp/startup/research/restaurant/cons-yakiniku2.html.2026年1月.
[14]がっちりマンデー（2025年).「焼肉きんぐの食べ放題『儲かる仕組み』方程式を完全解説！」.
https://nichijyou-kai.com/yakiniku-king-profit-formula/#toc9.2026年1月.
[15]My Voice Enquete Library（2025年).「外食に関するアンケート調査」.
https://myel.myvoice.jp/products/detail/32608.2026年1月.
[16]楽待不動産投資新聞(2025年).「『焼肉きんぐ』はなぜ強い？郊外で『勝ち続ける』物語コーポレーションの不動産戦略」.
https://www.rakumachi.jp/news/column/388853.2026年1月.
[17]CINC Capital（2025年).「焼肉業界のM&A動向(2025年)メリット/事例/成功のポイントを解説」.
https://cinc-capital.co.jp/column/industry/yakiniku-ma.2026年1月.
[18]JA全中（2025年).「アメリカの牛肉高騰と変わりゆく食卓」.
https://www.zenchu-ja.or.jp/gekkanja/overseasnews/202512_3/.2026年1月.
[19]業界動向サーチ（2023年).「焼肉業界の動向や現状、ランキングなどを分析」.
https://gyokai-search.com/3-yakiniku.html.2026年1月.
[20]帝国データバンク（2024年).「『焼肉店』の倒産動向(2024年1-9月)」.
https://www.tdb.co.jp/report/industry/50vb3ai024/.2026年1月.
[21]楽天モバイル法人（2025年).「4Pとは？マーケティング戦略の基本を解説」.
https://business.mobile.rakuten.co.jp/column/2025/1020-01/.2026年1月.
[22]日本ソフト販売株式会社 （2025年).「『2025年度版』焼肉チェーン店舗数ランキング」.
https://www.nipponsoft.co.jp/blog/analysis/chain-yakiniku2025/.2026年1月.
[23]シナジーマーケティング会社.「『7Pとは？』/マーケティング用語集」.
https://www.synergy-marketing.co.jp/glossary/7p/.2026年1月.
[24]朝日広告社（2025年).「マーケティングミックスとは？4P・4C・7Pを徹底解説/STP戦略との違いと活用法」.
https://www.asakonet.co.jp/asunomikata/branding_academy/2675/marketing_mix_basics/.2026年.1月.
[25]株式会社レインズインターナショナル.「牛角/株式会社レインズインターナショナル」.
https://www.reins.co.jp/fc/brand/gyukaku/.2026年1月.
[26]SORAプロジェクト(2026年).「マーケティング4P・7P完全ガイド/マーケティングミックスの基本と活用法」.
https://soral.jp/blog/4p-7p/.2026年1月.
[27]ぐるなびPRO（2021年).「焼肉きんぐ社長・加藤 央之 氏が語る、勝ち残るための５つの戦略」.
https://pro.gnavi.co.jp/magazine/t_res/cat_2/a_3863/.2026年1月.
[28]日本経済新聞（2025年).「牛角、２人前で５０００円切る焼肉セット 日常使い促す」.
https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC252K60V20C25A5000000/.2026年1月.
[29]ぐるなびPRO（2025年).「【消費者調査】８割が『食べ放題が好き』と回答。魅力の理由として『選ぶ楽しさ』が上位に」.
https://pro.gnavi.co.jp/magazine/t_res/cat_6/a_4461/.2026年1月.
[30]牛角 公式サイト.https://www.gyukaku.ne.jp/.2026年1月.
[31]焼肉きんぐ 公式サイト.https://www.yakiniku-king.jp/.2026年1月.
[32]株式会社レインズインターナショナル 公式サイト.https://www.reins.co.jp/.2026 年1月.
[33]ホットペッパーグルメ（2026年).「そのメニュー、なぜ注文したくなる？外食で選ぶ“惹かれるメニュー名の条件”を分析」.https://www.hotpepper.jp/ggs/20260120.2026年1月.
[34]JMCA web+(2021).「食べ放題業態を高収益化した逆転の発想」.https://plus.jmca.jp/fukayomi/fukayomi93.html.2026年1月.
[35]消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室(2023年).「食品ロス削減関係参考資料」.
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/assets/consumer_education_cms201_20240621_0004.pdf.2026年1月.

[36]小林富雄(2021).『食品ロスはなぜ減らないの？』.岩波書店.
[37]松木知徳・中村潤(2020).「サービスチェーンにおける非正規従業員の働くモチベーションが業績につながるシステム」.『マーケティングレビュー』,1(1),76-84

# ロングセラー商品における持続可能性

## ー株式会社ブルボンのお菓子を事例としてー

Sustainability of long-selling products: Using Bourbon Co., Ltd.'s sweets as an example

### 1, 研究背景

近年、商品のライフサイクルが短くなり、新商品が次々と発売される社会において、長期間にわたって販売され続ける商品の存在が注目されている（Stockmark luc,2023）。長期間にわたって多くの人々に愛され、継続的に販売されている商品は、一般にロングセラー商品と呼ばれ、時代を超えて親しまれる定番商品としての特徴を持つ。これらの商品は、企業にとって安定した利益の源泉となる存在でもある（瀬戸本 浩志, 2017）。本研究では、その中でも菓子商品に着目する。また、長年親しまれている菓子は、単に味がおいしいだけでなく、懐かしさや思い出と結びついている点に特徴があり、消費者にとって特別な価値を持つ商品であると考えられる。

私は、このようなお菓子がどのような工夫によって長期間にわたり愛され続けているのかに感心を持ち、持続可能性の観点から調査を行うことにした。調査を進める中で、菓子業界において多くのロングセラー商品を展開している企業として、株式会社ブルボンに注目した。ブルボンは、ルマンドやアルフォートなど、世代を超えて親しまれている商品を多数持ち、品質の安定や消費者ニーズへの対応を重視している企業である（ブルボン公式ホームページ,2026）。更に地元企業である点も踏まえ、ブルボンを事例として調査することで、ロングセラー商品の持続可能性を具体的に明らかにできると考え、本研究を行うこととした。

### 2, 研究目的・意義

本研究では、長年販売されている菓子商品の継続性に注目し、株式会社ブルボンを事例として、商品の工夫や品質を保つ取り組み、消費者が商品を選ぶ理由、時代に応じた需要への対応が、どのように長期的な販売を支えているのかを明らかにすることを目的とする。文献調査とアンケート調査を通して、企業と消費者の両方の視点から考察を行う。そして意義は、ロングセラーお菓子が長く親しまれている理由を、身近な企業であるブルボンの商品を通して具体的に捉える点にある。消費者の意識と企業の工夫をあわせて考えることで、持続可能な商品づくりへの理解を深めることができると考えられる。

そこで、私はブルボンのロングセラー商品が長く愛され続けている理由は、味や品質を変えずに守り続けることで消費者に安心感を与え、企業と消費者の間に信頼関係を築いてきたからであると考えた。

### 3, 研究方法

本研究では、長年販売され続けている菓子商品の特徴を明らかにするため、株式会社ブルボンを具体的な事例として取り上げた。調査にあたっては、まず企業の取り組みや商品展開の特徴を把握するために文献調査を行った。さらに、消費者が商品を選択する理由や、商品に対してどのような価値を感じているのかを知るためにアンケート調査を実施した。

これら二つの調査結果を比較・整理することで、長期的な販売を可能にしている要因について多角的に考察した。

【文献調査】

本研究ではブルボンの企業活動や商品展開の特徴を明らかにすることを目的として、以下の観点から資料を整理・分析した。

・企業の創業背景や歴史

・企業理念や経営方針

・品質維持への取り組み

・全国展開を支える要因

・ロングセラー商品の特徴

・消費者ニーズに対応した商品戦略

【アンケート調査】

株式会社ブルボンの商品に対する高校生の認識や購買行動を明らかにし、ロングセラー商品が支持される理由を考察するため、高校生20名を対象にアンケート調査を実施した。調査では、以下の内容について質問した。

・ブルボンの商品を購入した経験の有無

・知っている商品および食べたことのある商品

・商品を選ぶ理由や魅力

・初めて食べたブルボン商品の記憶

・今後も購入したいと思うかどうか

**4,結果**

【文献調査】

① 企業の創業背景や歴史

株式会社ブルボンは1924年に新潟県柏崎市で創業された製菓企業である。創業当初は関東大震災をきっかけに新潟県柏崎市で菓子屋「最上屋」の店主をしていた吉田吉造（よしだ　きちぞう）が「地方にも菓子の量産工場を」と、1924年（大正13年）1月、個人経営による北日本製菓商会を創業したのが始まりである（ブルボン公式サイト「沿革」,2026）。

創業当初はビスケットの製造から事業を開始し、その後ドロップやチューインガムなどの菓子類の製造にも取り組むことで商品ラインアップを拡大していった。また、米菓の製造にも進出するなど、時代のニーズに合わせて事業領域を広げながら企業として成長していった。

第二次世界大戦の影響により一時的に生産体制の変化があったものの、戦後は民需向け商品の生産を再開し、育児用ビスケットなど新たな商品開発にも取り組んだ。さらに、生産体制の拡大や商品分野の多角化を進めながら企業としての基盤を強化していった。

その後、企業としての発展に伴い社名の変更などを経て、1989年に現在の社名であるブルボンへと変更された（ブルボン公式サイト「沿革」,2026）。現在ではビスケットやチョコレートを中心とした菓子類に加え、飲料や健康食品など多様な分野へ事業を展開し、全国的に知られる食品メーカーへと成長している（日経クロストレンド,2023）。

② 企業理念や経営方針

株式会社ブルボンは1924年創立の菓子メーカーであり、東京証券取引所スタンダード市場に上場している。従業員数はグループ全体で約5,000名（2023年3月時点）で、ビスケットやチョコレートをはじめとする多様な食品を製造・販売している（ブルボン公式サイト「会社概要」,2026）。

同社は「健康増進総合支援企業」を目標に掲げ、「おいしさ、思いやり、いつもいっしょに。」を合言葉として活動している。心と体の健康づくりの観点から“食”を提供するだけでなく、文化・芸術やスポーツ支援などの社会貢献活動にも取り組んでいる。商品面では、菓子類に加え、生活習慣病予防を目的とした機能性食品や健康食品の開発も進めている。また、省資源などの環境保全活動や、従業員の健康増進を図る健康経営（従業員の健康管理を経営的視点で行う取り組み）にも力を入れている。

さらに、同社は経営理念として「利害相反する人を含めて、集団の生存性を高める」ことを掲げている。これは、自社のみの利益を追求するのではなく、株主・消費者・取引先・地域社会・従業員など多様な関係者とともに発展していくことを基本とする考え方である。また、消費者が求める革新的な商品やサービスを継続的に提供することを使命とし、地方に拠点を置きながらも世界とつながる企業であり続けることを目指している（ブルボン公式サイト「経営方針」,2026）。

加えて、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目標とし、収益力や生産性の向上、資本効率の改善を重視した経営を行っている。業務の効率化や管理体制の強化を進めるとともに、ROE（株主資本当期純利益率）やROIC（投下資本利益率）といった経営指標を重要視し、安定した成長と企業価値の向上を目指している（ブルボン公式サイト 「第149期有価証券報告書」,2026）。

③ 品質維持への取り組み

株式会社ブルボンは、「安全」「安心」「安定」そして「健康」を基にした品質保証体制の構築に取り組んでいる。安全で安心な商品を安定して消費者に届けるため、「品質保証第一主義」を掲げて製造を行っている。

具体的には、マネジメントや標準化、教育訓練などの管理体制に加え、独自の品質保証体制（BQAMS：Bourbon Quality Assurance Management System）を構築し、継続的な改善を進めている。また、この管理体制は、品質マネジメントシステム*ISO9001や食品安全マネジメントシステム*ISO22000、*FSSC22000の認証を取得することで、国際的にも通用する仕組みであることが示されている。さらに、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みとして、環境マネジメントシステム*ISO14001の認証取得を通じた環境改善活動を行うとともに、人と社会の健康に貢献する商品づくりと企業活動を推進している（ブルボン公式サイト「品質保証体制について」,2022）。

*ISO9001とは、製品やサービスの品質向上と顧客満足を目的とした「品質マネジメントシステム（QMS）」に関する国際規格のことで、業務プロセスを標準化し、計画・実施・評価・改善を継続的に行うことで、安定し

た品質確保と組織のパフォーマンス向上を実現する仕組みである（一般財団法人日本品質保証機構,2022）。

*ISO22000とは、国際標準化機構（ISO）が定めた「食品安全マネジメントシステム（FSMS）」の国際規格で、食品の原材料生産から消費までのフードチェーン全体における安全リスクを低減し、安心な食品を供給する仕組みを構築・認証するものである（一般財団法人日本品質保証機構,2023）。

*FSSC22000とは、ISO22000をベースに国際的な食品安全管理をより強固にした認証規格で、食品製造・包装・物流・飼料などの幅広い業界で、ハザード分析、前提条件プログラム、独自追加要求事項を組み合わせた仕組みを構築し、信頼性の高い安全な食品を提供することである（一般財団法人日本品質保証機構,2024）。

*ISO14001とは、企業や組織が環境負荷を低減し、持続可能な事業活動を行うための「環境マネジメントシステム（EMS）」に関する国際規格です。環境パフォーマンスの向上、法規制の順守、リスク低減を継続的に実施する枠組みを定めている（一般財団法人日本品質保証機構,2025）。

また、品質保証方針として、安全で安心な商品やサービスを安定して提供することにより、消費者の要望に応え続けることを掲げている。加えて、法令遵守や適切な情報提供、社員一人一人の行動規範の徹底、品質マネジメントシステムの継続的な改善などを通じて、商品やサービスの品質向上を図っている。

調達基本方針では、安全で安心な原材料の安定調達を重視するとともに、取引先との信頼関係の構築や、人権・健康・環境への配慮を重視した調達活動を行っている。また、サプライチェーン全体で環境問題や社会的課題に取り組み、持続可能な社会の実現につながる活動を推進している（ブルボン公式サイト「ブルボン調達基本方針」,2022）。

④ 全国展開を支える要因

株式会社ブルボンは、自社工場による生産体制と効率的な物流網を整備することで、日本全国への安定した商品供給を実現している。主な製造拠点は本社のある新潟県を中心に配置されており、柏崎市の本社工場をはじめ、上越市、長岡市、新潟市、五泉市、新発田市、村上市、魚沼市などに複数の工場を構えている。また、新潟県外では山形県鶴岡市にも工場を設置しており、複数地域に生産拠点を持つことで安定した生産体制を支えている（ブルボン公式サイト「生産体制について」,2026）。

このように複数の地域に生産拠点を配置することで、生産量を確保するだけでなく、需要の変化や災害などのリスクにも対応できる体制を整えている。また、全国各地に営業拠点や流通網を整備することで、日本全国の消費者へ商品を届ける仕組みを構築している。

さらに、ブルボンは比較的手に取りやすい価格設定を維持することで、多くの消費者が日常的に購入しやすい環境を作り出している。加えて、ビスケットやチョコレートなどの菓子類を中心に多様な商品展開を行うことで、幅広い消費者のニーズに対応している（第四北越リサーチ&コンサルティング,2021）。

このように、生産体制、物流網、価格設定、商品展開といった複数の要因が組み合わさることで、地方に拠点を置く企業でありながら全国的な知名度を獲得し、日本全国での事業展開を可能にしていると考えられる。

⑤ ロングセラー商品の特徴

株式会社ブルボンでは、長期間にわたり販売されるロングセラー商品を維持するために、品質の安定と安全性を重視した商品づくりが行われている。ブルボンは「品質保証第一主義」を掲げ、安全で安心な商品を

安定して提供することを目的とした品質管理体制を整えている。具体的には、自社独自の品質保証システムを構築し、製造工程や原材料管理などを含めた品質管理を継続的に行っている（ブルボン公式サイト「品質保証体制」,2026）。

また、ブルボンには長年販売が続いている商品が多く存在する。代表的な商品である「ルマンド」は1974年に発売され、現在まで販売が続くロングセラー商品である。この商品は独特なクレープ生地の食感を特徴としており、開発の際には大量生産を可能にするための技術開発や試作が繰り返されたとされている（ブルボン公式サイト「ルマンド紹介ページ」2023）。

さらに、ブルボンには、長年販売が続いている商品が多く存在する。これらの商品は、味や品質を大きく変えずに維持する一方で、パッケージデザインの改良や新しいフレーバーの追加などを行うことで、時代の変化にも対応している。また、幅広い世代に受け入れられる味や価格帯であることも、長期間支持される理由の一つである（ブルボン公式サイト「デザイン職」,2026）。

また、ビスケットやチョコレートなど多様なカテゴリーの商品を展開することで、幅広い消費者に対応した商品提供が行われている。

以上のように、品質保証体制の整備、商品の特徴を活かした開発、時代の変化に対応した商品改良、そして幅広い世代に受け入れられる価格や味などが、ブルボンのロングセラー商品を支える要因となっている（ブルボン公式サイト「品質保証体制」,2026）。

⑥ 消費者ニーズに対応した商品戦略

株式会社ブルボンでは、消費者の多様なニーズに対応するために、定番商品だけでなく、さまざまな商品シリーズを展開している。公式サイトの商品情報を見ると、それぞれのシリーズが異なる目的や特徴を持っていることが分かる。

まず、「80kcalシリーズ」は、1袋あたりのカロリーを抑えながらも満足感のある味わいを楽しめるように開発されたビスケットシリーズである。健康や体型を意識する人でも気軽にお菓子を楽しめることを目的としており、健康志向の高まりに対応した商品として展開されている（ブルボン公式サイト「80kcalシリーズ紹介ページ」,2020）。

次に、「カーボバランス」は、糖質を60％も抑えながら食べ応えを感じられるように工夫された商品シリーズである。食生活や栄養バランスを意識する消費者に向けて開発されており、近年の健康意識の高まりに対応した商品である（ブルボン公式サイト「カーボバランス紹介ページ」,2021）。

また、「プレーンクラッカー・バジルクラッカー」は、軽食や食事の一部としても利用できる商品である。シンプルで食べやすい味わいが特徴であり、日常生活の中で手軽に食べられる食品を求める消費者のニーズに対応している（ブルボン公式サイト「プレーンクラッカー紹介ページ」,2024）。

さらに、「WINGRAM（ウィングラム）」は、手軽にエネルギー補給ができることを目的として開発された栄養調整食品シリーズである。忙しい日常の中でも効率よく栄養を補給できる商品として展開されており、勉強や仕事、スポーツなどでエネルギーを必要とする人に向けた商品となっている（ブルボン公式サイト「WINGRAM紹介ページ」,2017）。

加えて、「ココアシリーズ」は飲料として楽しめる商品であり、菓子以外の分野にも商品を展開している例である（ブルボン公式サイト「ココアシリーズ紹介ページ」,2008）。また、「お菓子アイス」などの新しいカテゴ

リーの商品も開発されており、従来のお菓子の枠を広げた商品展開が行われている（ブルボン公式サイト「お菓子アイス紹介ページ」,2016）。

このように、ブルボンでは健康志向の商品、手軽に食べられる商品、エネルギー補給を目的とした商品、さらに新しいカテゴリーの商品など、さまざまなシリーズを展開している。これらの取り組みから、消費者の生活スタイルやニーズの変化に対応した商品開発が行われていることが分かる。

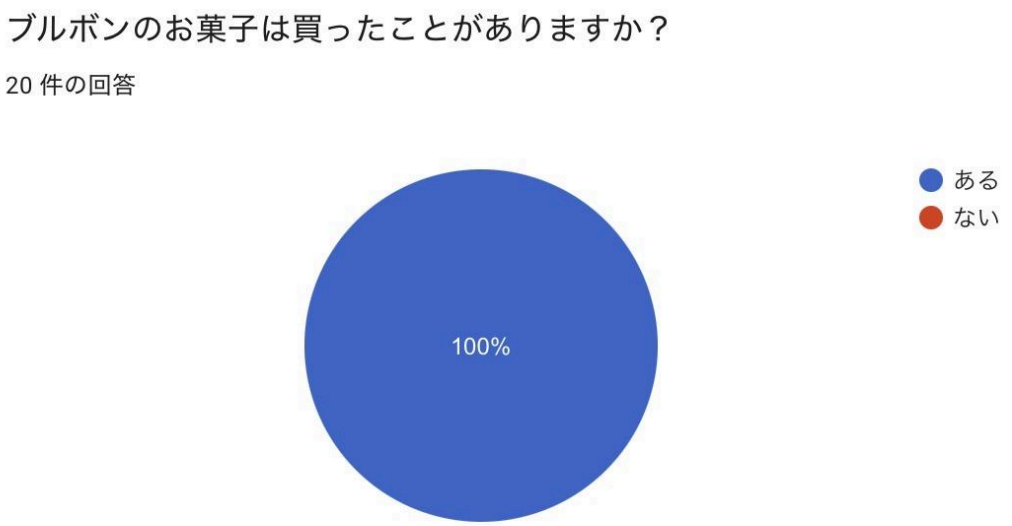
【アンケート調査】

本研究では、消費者の意識を調べるためにアンケート調査を実施した。アンケートは2025年12月23日に実施し、同じ高校に通う高校生20名を対象に行った。身近な世代の意見を集めることで、若い世代がロングセラー商品に対してどのような印象を持っているのかを把握することを目的とした。アンケートでは、ブルボンの商品を知っているか、購入する理由、よく食べる商品などについて質問を行い、その結果を分析した。

アンケート調査を実施したが、回答者数が20人と限られており、調査対象も同年代の高校生が中心であったため、結果がすべての世代の消費者の意見を反映しているとは限らないという課題があった。また、回答は個人の記憶や印象に基づくものであり、正確性に限界がある可能性も考えられる。

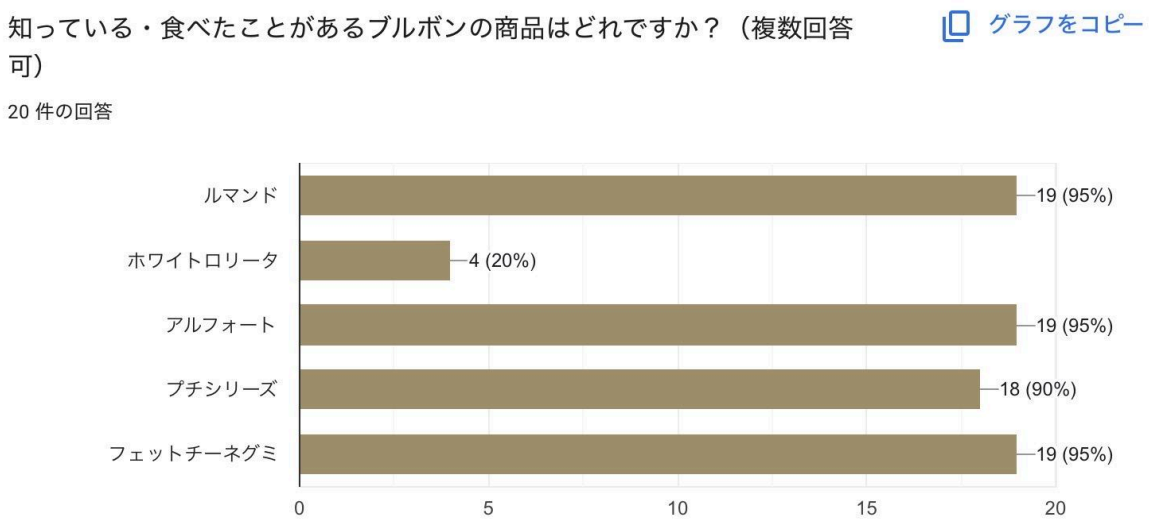
しかし、このような条件の中でもアンケート調査を行った結果、ブルボンの商品に対する認知度や購買経験、商品を選ぶ理由などについて具体的な回答を得ることができた。これにより、消費者がどのような価値を重視して商品を選択しているのかを把握することができた。以上の点を踏まえ、以下にアンケート調査の結果を示す。

Q1, ブルボンの商品を購入した経験の有無



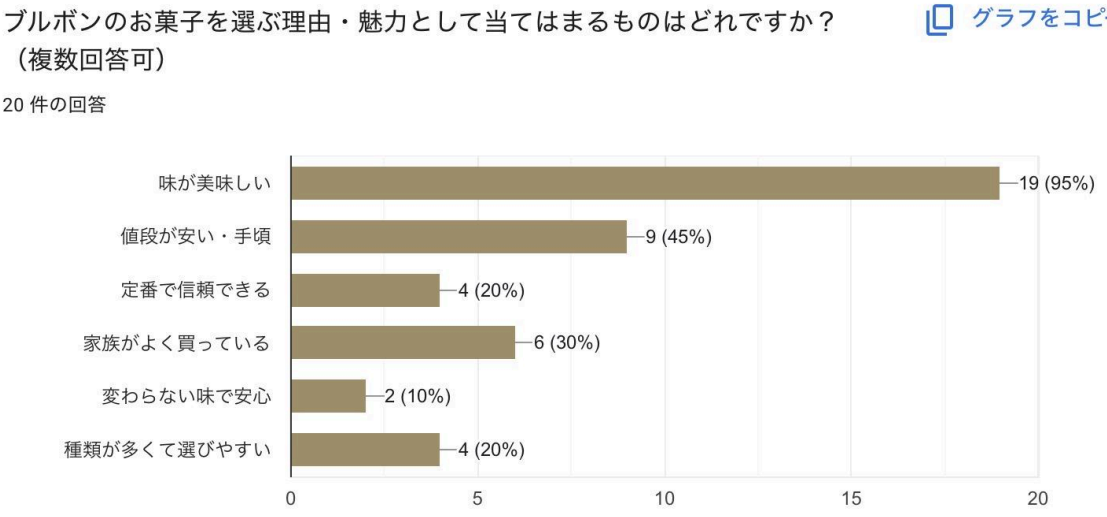

アンケートの結果、回答者20名全員が株式会社ブルボンの商品を購入したことがあると回答した。このことから、ブルボンの商品は高校生にとって非常に身近な存在であり、幅広く認知されていることが分かる。また、購入経験が全員に共通していたことは、商品の流通量や販売機会の多さを示していると考えられる。

Q2, 知っている商品および食べたことのある商品



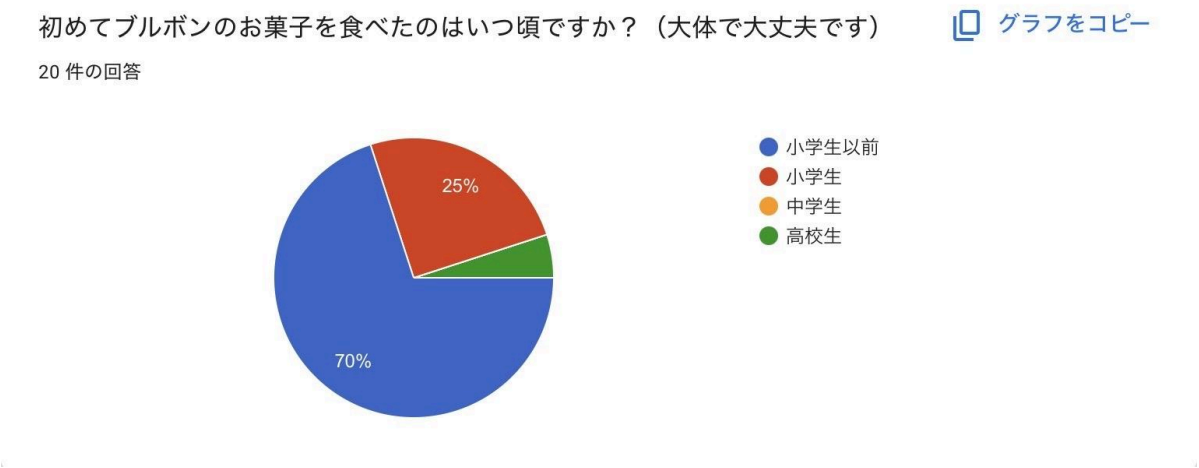

この質問では、複数のロングセラー商品が多くの回答者に認知されていることが確認できた。特にルマンドやアルフォートなどといった定番商品は回答数が集中しており、長期間販売されている商品ほど知名度が高い傾向が見られた。また、「知っている」だけでなく「食べたことがある」と回答した割合も高く、認知度の高さが実際の購買や喫食経験につながっていることが分かった。

Q3，商品を選ぶ理由や魅力




商品を選ぶ理由として最も多かったのは「味が美味しい」であり、多くの回答者が選択していた。次に「値段が手頃」「家族がよく買っている」という理由が多く挙げられた。この結果から、お菓子を選ぶ際には、まず味の良さが重要視されていることが分かる。味に満足できることが、繰り返し購入される大きな理由になっていると考えられる。また、価格が手頃であることは、日常的に購入しやすい点につながっていると考えられる。さらに、「家族がよく買っている」という回答から、家庭での習慣や家族の影響が、商品を選ぶきっかけになっている可能性もある。

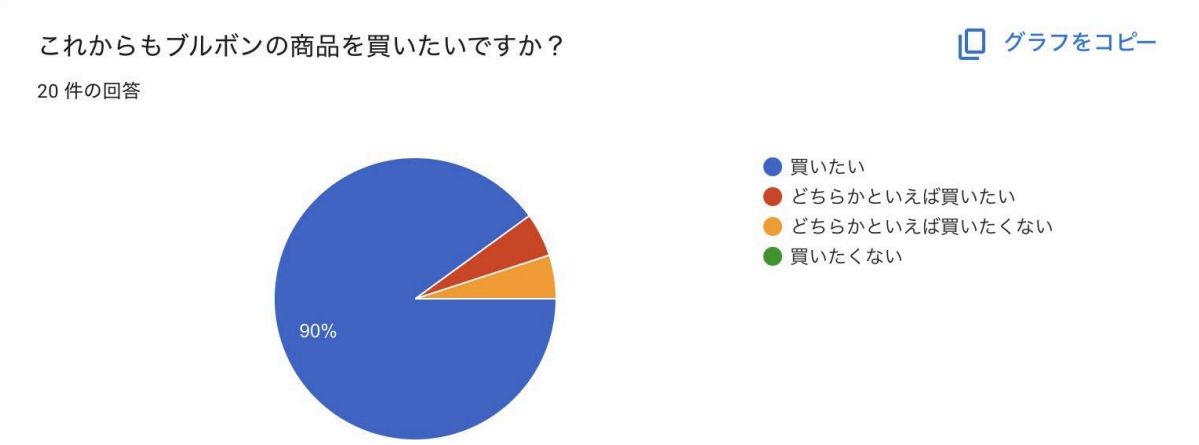
Q4，初めて食べたブルボン商品の記憶




アンケートでは、小学生以前に初めて食べたと答えた人が最も多く、次に小学生の頃と回答した人が続いた。中学生以降に初めて食べたという回答は少数であった。

この結果から、ブルボンの商品は幼い頃から身近なお菓子として親しまれていることが分かる。幼少期の体験は記憶に残りやすく、味や商品に対する好意的な印象が長期間持続する傾向がある。そのため、早い段階で商品に触れる機会が多いことが、長期的なファンの形成につながっていると考えられる。

Q5，今後も購入したいと思うかどうか




アンケートの結果、約9割の回答者が「購入したい」と回答した。また、「どちらかといえば購入したい」と答えた人も一定数存在し、否定的な回答はほとんど見られなかった。

この結果から、ブルボンの商品は現在だけでなく、今後も継続して支持される可能性が高いと考えられる。長期間販売されている商品は、消費者に安心感や信頼感を与える傾向があるため、安定した需要を維持しやすいと推測できる。

**5,考察**

本研究では、株式会社ブルボンのロングセラー商品が長く愛され続けている理由は、味や品質を守り続けることで消費者に安心感を与え、企業と消費者の間に信頼関係を築いてきたためであるという仮説を立てた。

以下では、この仮説をもとに調査結果を踏まえて考察を行う。

文献調査では、ブルボンは創業以来、品質を重視した商品づくりを行い、安定した味や品質を維持していることが明らかになった。また、多様な商品展開を行うことで、幅広い消費者のニーズに対応している点も特徴として挙げられる。これらの取り組みは、消費者に安心感を与え、長期間にわたり支持される基盤になっていると考えられる。

次にアンケート調査の結果から、多くの回答者がブルボンの商品を購入した経験を持ち、身近なお菓子として認識していることが分かった。特に、商品を選ぶ理由として「味がおいしい」という回答が最も多く、商品の品質が高く評価されていることがうかがえる。また、「値段が手頃」「家族がよく買っている」という回答も多く見られ、購入しやすさや家庭内での習慣が購買行動に影響していると考えられる。

さらに、初めてブルボンの商品を食べた時期については幼少期と回答した人が多く、幼い頃から親しみを持つことで、思い出や安心感と結びつき、継続的な購買につながっている可能性がある。

以上のことから、ブルボンのロングセラー商品は、品質の安定性や購入しやすい価格設定に加え、世代を超えて受け継がれる親しみやすさによって支えられていると考えられる。

## 6,結論

本研究では、株式会社ブルボンのロングセラー商品を事例として、長期間にわたって販売され続ける商品の特徴や、その持続可能性について明らかにすることを目的とした。

文献調査の結果、ブルボンは創業以来、品質を重視した商品づくりを続けており、安全で安心できる商品を安定して提供する体制を整えていることが分かった。また、多様な商品展開や健康志向の商品開発などを通して、消費者のニーズに対応している点も特徴である。さらに、自社工場による生産体制や効率的な物流網を整えることで、全国への安定供給を実現していることも確認できた。

アンケート調査の結果からは、多くの回答者がブルボンの商品を購入した経験があり、「味がおいしい」「値段が手頃」「家族がよく買っている」といった理由で商品を選んでいることが分かった。また、幼少期から親しんでいるという回答も多く、長年親しまれてきた商品であることが継続的な購買につながっている可能性が示された。

これらの結果から、ブルボンのロングセラー商品が長く愛され続けている背景には、品質や味を安定して維持していることに加え、手に取りやすい価格設定や幅広い商品展開、そして世代を超えて親しまれるブランドイメージがあると考えられる。さらに、企業が消費者との信頼関係を築いてきたことも、商品の持続的な支持につながっている要因の一つであるといえる。

一方で、本研究は高校生20名を対象とした限られた範囲での調査であり、すべての世代の消費者の傾向を十分に明らかにできたとは言えないという課題がある。今後は、より多くの年代の消費者を対象とした調査や、他のお菓子メーカーとの比較研究を行うことで、ロングセラー商品が長く支持される理由についてさらに詳しく明らかにすることができると考えられる。

本研究を通して、身近なお菓子の背景には企業の長年の努力や工夫があることを知り、長く愛される商品は、消費者の生活や思い出と結びつくことで持続していく存在であることを学んだ。

**参考文献・引用文献**


・株式会社ブルボン公式ホームページ（2026）「沿革、会社概要、経営方針、第149期有価証券報告書、品質保証体制について、ブルボン調達基本方針、生産体制について、ルマンド紹介ページ、デザイン職、80kcalシリーズ紹介ページ、カーボバランス紹介ページ、プレーンクラッカー紹介ページ、WINGRAM紹介ページ、ココアシリーズ紹介ページ、お菓子アイス紹介ページ」
https://www.bourbon.co.jp/
・株式会社ブルボンオンラインショップ（2026）「ルマンド、80kcalシリーズ、カーボバランス、プレーンクラッカー、WINGRAM、ココアシリーズ、お菓子アイス」
https://shop.bourbon.jp/
・Yahoo！ファイナンス（2026）「2008食料品 （株）ブルボンの株価・株式情報」
https://www.google.com/url?q=https://finance.yahoo.co.jp/quote/2208.T&sa=U&ved=2ahUKEwiChujq2vGSAxWksFYBHX5OAzEQFnoECBcQAQ&usg=AOvVaw3BIXsxme4qo_Y2_B-BZgDv
・みんなのランキング（2026）「【人気投票 1~51位】ブルボンお菓子人気ランキング！みんながおすすめする商品は？」https://ranking.net/rankings/best-bourbon-snacks
・日経クロストレンド（2023）「ブルボンが業界「ファン度」1位 社長が語るロングセラーの秘密」
https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00737/00006/
・まぐまぐ（2019）「お菓子界の「おふくろの味」？ダサくてB級なブルボンが人気な訳」
https://www.mag2.com/p/news/406960
・ハフポスト（2015）「ブルボンのお菓子はなぜ美味しい？その秘訣は…」
https://www.huffingtonpost.jp/enhyouban/bourbon_b_8449452.html
・ロケットニュース（2015）「【解明】ドラッグストアで「アルフォート」が常に激安なのはなぜなのか？大手4社に問い合わせてみた」
https://rocketnews24.com/2015/12/18/680687/
・読売新聞オンライン（2023）「ブルボン誕生、きっかけは関東大震災…災害時に「あってよかった」企業でありつづけたい」
https://www.yomiuri.co.jp/economy/20230831-OYT1T50033/
・毎日新聞（2025）「お菓子界の「王朝」ブルボン、関東大震災を機に創業 今も支援手厚く」
https://mainichi.jp/articles/20250120/k00/00m/040/059000c
・ウォーカープラス（2024）「誕生から30周年！「アルフォート」の人気のヒミツは、こだわり続けるチョコレートとビスケットの黄金比率にあり」
https://www.walkerplus.com/article/1224268/
・PigDate（2021）「長く愛される商品作りの秘密は「」にあり！」
https://pig-data.jp/blog_news/blog/social-analyst/aisarerusyouhinn/
・日経デザイン編（2017）「パッケージデザインの教科書」
https://pkgpartner.net/knowledge-book/
・PRESIDENT Online（2025）「ロングセラー商品が売れ続ける「おいしさ」以外の理由」
https://president.jp/articles/-/90464?page=1
・ツギノジダイ（2022）「ロングセラーとは なぜ長寿？お菓子など16商品の開発経緯を紹介」
https://smbiz.asahi.com/article/14708778
・日経ビジネス電子版（2019）「特集 定番の作り方」
https://business.nikkei.com/atcl/NBD/19/mokuji/00027/
・ダイヤモンド・オンライン（2019）「ベストセラー会計士が感動！「利益教」の教祖が書いた経典」
https://diamond.jp/articles/-/306087
・一般財団法人日本品質保証機構（2026）「ISO 9001（食品安全）」

https://www.jqa.jp/service list/management/service/iso9001/
・一般財団法人日本品質保証機構（2026）「ISO 22000（食品安全）」
https://www.jqa.jp/service list/management/service/iso22000/
・一般財団法人日本品質保証機構（2026）「FSSC 22000（食品安全）」
https://www.jqa.jp/service list/management/service/fssc22000/
・一般財団法人日本品質保証機構（2026）「ISO14001（環境）」
https://www.jqa.jp/service list/management/service/iso14001/
・第四北越リサーチ&コンサルティング（2021）「株式会社ブルボン」
https://www.dhrc.co.jp/monthly/pdf/2022-01/Monthly01_searching.pdf
・Stockmark luc（2023）「プロダクトライフサイクル（製品ライフサイクル）とは？活用方法をわかりやすく解説」
https://aconnect.stockmark.co.jp/coevo/product-lifecycle/
・瀬戸本浩志（2017）「ロングセラー商品の軌跡と存在価値」
https://activecenter.cgu.ac.jp/ec-cube/html/template/default/img/common/academia/1302seto.pdf

# 【金融資本主義は持続可能か？】

## 1.研究背景

現代社会において、株式投資や資産運用は、一部の専門家や富裕層に限られた行為ではなくなり、若年層を含む幅広い層に広がりを見せている。金融商品や投資情報へのアクセスが容易になったことで、投資は日常的な行動の一部として位置づけられている。

とりわけ日本では、少額投資非課税制度（NISA）の拡充などにより、家計の金融資産運用が政策的にも促進されている。こうした動きは、社会全体で金融市場への参加が広がっていることを示している。（①日本証券業協会/2024）

1970年代以降、金融部門の規模と影響力が拡大し、資本主義の中心が生産活動から金融活動へと移行したとする見方がある。このように、金融市場が経済や社会において重要性を増していく傾向は「金融化（financialization）」と呼ばれている。

歴史的にみても、金融活動が社会全体に広く浸透した局面では、経済の不安定性が高まる可能性が指摘されてきた。1929年の世界恐慌前には投機熱が社会全体に広がり、「靴磨きの少年ですら株を語っていた」とされる逸話が残されている。この事例は、投資の大衆化が必ずしも経済の安定を意味しないことを示唆している。（②Pitzl Financial/2023）

さらに、成長と利潤拡大を前提とする金融資本主義の構造は、少子高齢化や低成長が進行する現代日本の社会経済状況と必ずしも整合的とはいえない。このような状況のもとで、金融資本主義は持続可能な経済体制であるのかという問いが改めて浮上している。

## 2.問題提起

一見すると、金融資本主義は資産形成の機会を拡大し、経済活動を効率化する仕組みであるように見える。しかしその一方で、成長を前提とするこの経済構造が、低成長と高齢化が進行する現代日本の社会条件に適合し続けるのかという根本的な疑問が生じる。

果たして、現代日本において金融資本主義はどの程度持続可能なのだろうか。また、その前提や限界を踏まえたとき、金融資本主義とは異なる経済のあり方は構想し得るのだろうか。
本研究では、こうした代替的な経済構造を「ポスト資本主義」と呼ぶ。ここでいうポスト資本主義とは、市場原理や利潤最大化を中心としない、新たな価値基準に基づく経済体制を指す。

## 3.研究目的

そこで本レポートでは、現代日本における金融資本主義の特徴とその前提条件を整理し、社会状況との不一致がどのような点に見られるのかを明らかにする。

さらに、それらを踏まえた上で、金融資本主義の限界を検討し、現代日本の社会条件により適合し得る経済のあり方として、ポスト資本主義をどのように位置づけ、模索することが可能であるのかについて考察することを目的とする。

## 4.研究方法

本研究では、文献分析と質問紙調査を組み合わせた実証的検討を行う。まず、金融資本主義に関する先行研究および統計資料を参照し、その構造と前提条件を理論的に整理する。

次に、人々の労働観および所得と労働条件に対する選好を把握するため、学生、社会人、退職者を対象としたアンケート調査を実施する。就労経験の有無による価値判断の差異を測定するため、対象ごとに設問形式を変えた設計とした。

学生には抽象的な労働観を問う形式として、「低所得でホワイト企業」または「高所得でブラック企業」のいずれを選択するかを提示した。一方、社会人および退職者には具体的な労働条件を提示し、「月残業時間10時間・年収400万円」または「月残業時間80時間・年収800万円」のいずれを選択するかを問うた。

抽象的評価と具体的条件という異なる提示方法を用いることで、労働に対する志向（生活安定志向／所得最大化志向）の差異をより明確に把握することを意図した。

得られたデータを比較分析し、世代間の傾向差を明らかにすることで、生活安定志向と所得最大化志向のいずれが優位にあるのかを検討し、その結果が金融資本主義の前提である成長および利潤追求とどのような関係にあるのかを理論的に考察する。

## 5.研究結果

（1）学生調査

学生21名の回答では、「低所得だが労働環境の良い企業」を選択した者が66.7%、「高所得だが労働環境の厳しい企業」を選択した者が33.3%であった。この結果から、学生層においては、所得の高さよりも労働環境の安定を重視する傾向が確認された。

なお、回答者の性別は男性38.1%、女性61.9%であった。

（2）社会人・退職者調査

社会人30名の属性は、正規雇用86.7%、非正規雇用6.7%、自営業6.7%であった。性別は男性60%、女性40%、年齢構成は20～30代54.2%、40～50代45.8%である。

就労条件に関する選択では、「月残業10時間・年収400万円」を選択した者が66.7%、「月残業80時間・年収800万円」を選択した者が33.3%であった。

退職者14名（デイサービス利用者）を対象とした紙面によるシールアンケートにおいても、労働時間が短い選択肢を支持する回答が多数を占めた。

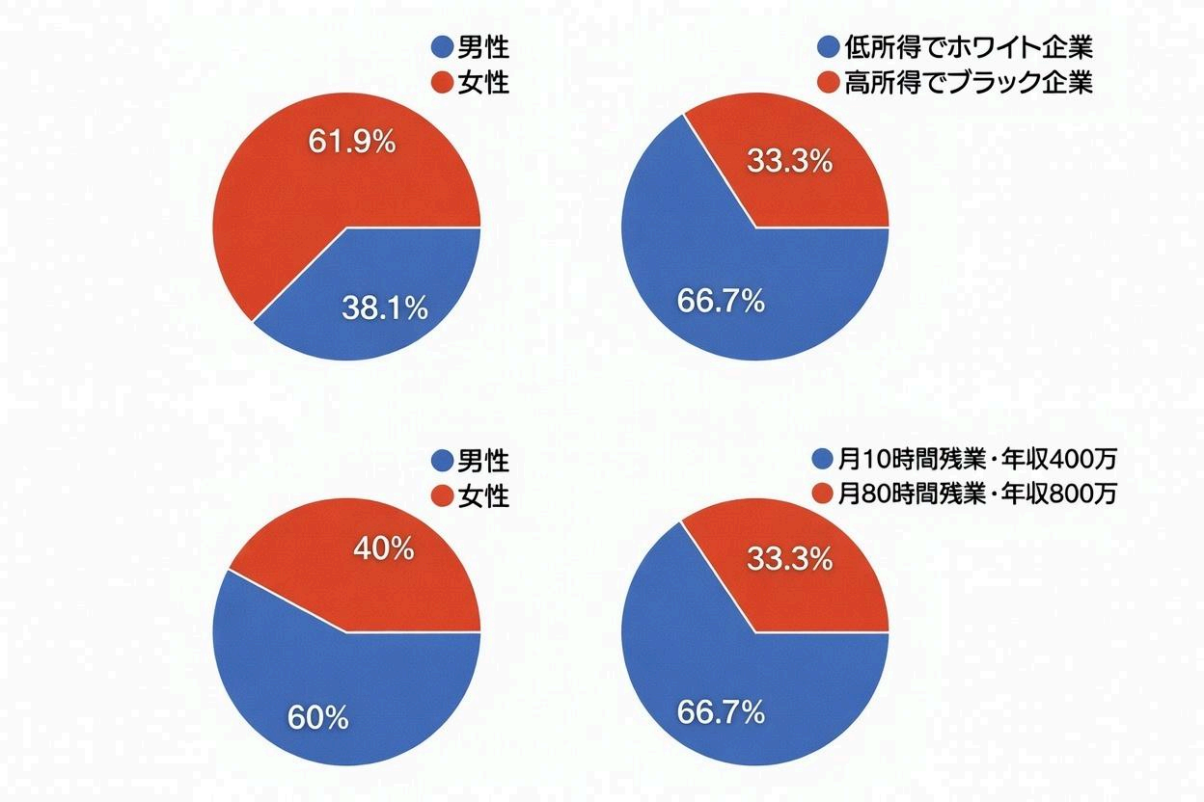
（3）残業時間設定の意味

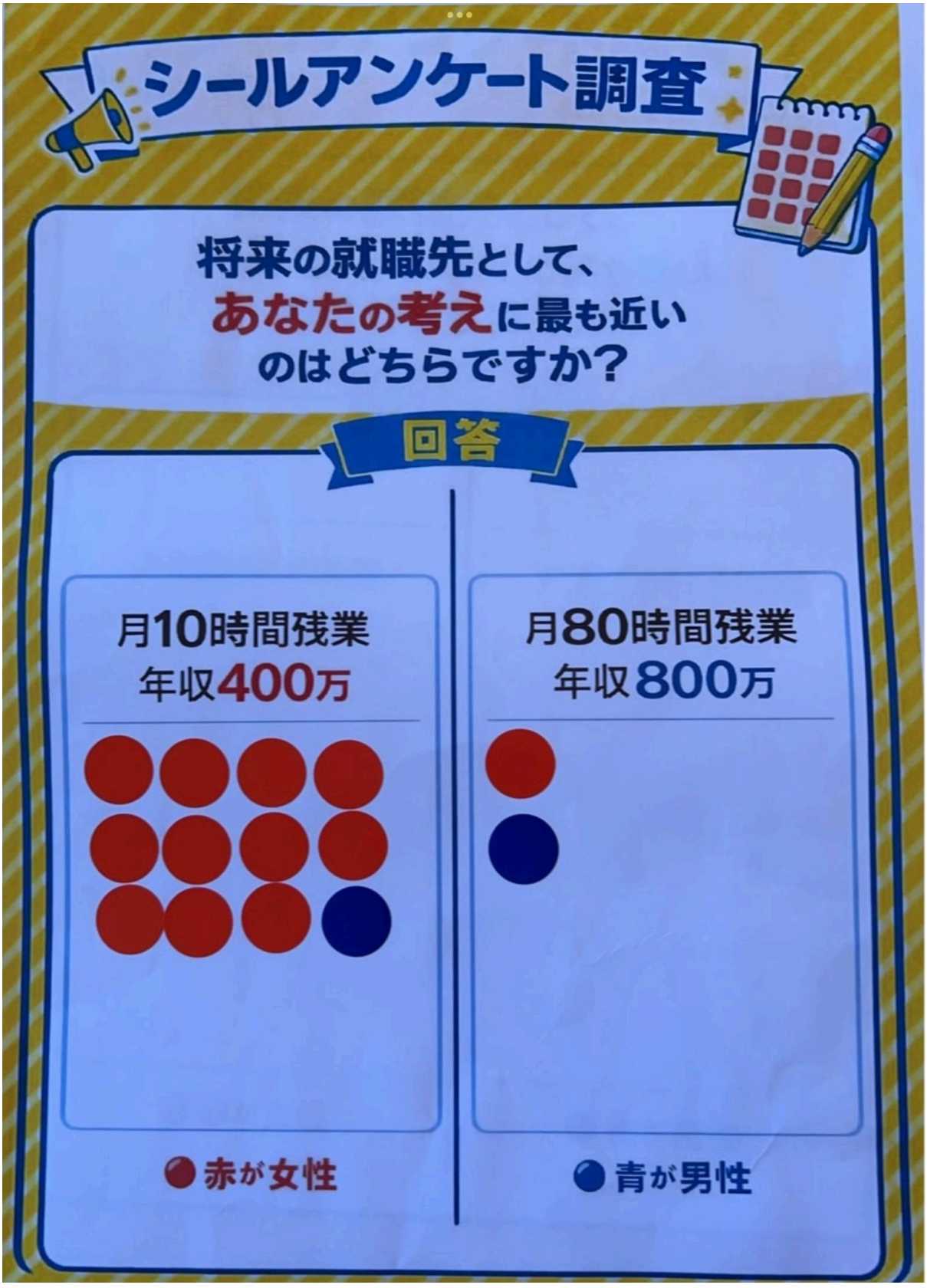
本調査における「月80時間残業」は、日本において過労死リスクが統計的に指摘される水準に相当する長時間労働であるとされている（③厚生労働省、2021）。したがって、本設問は単なる収入水準の比較ではなく、「高所得」と「生活・健康の確保」のいずれを優先するかという価値選択を問う設計であった。

（4）サンプル数と研究の限界

本調査の有効回答数は、学生21名、社会人30名、退職者14名であった。サンプル数は限定的であり、地域的・属性的偏りの可能性があるため、結果を社会全体に一般化することには慎重である必要がある。

以上の結果から、所得最大化よりも生活安定を重視する志向が、世代を超えて一定程度存在する可能性が示唆された。


男性
女性
61.9%
38.1%
低所得でホワイト企業
高所得でブラック企業
33.3%
66.7%
男性
女性
40%
60%
月10時間残業・年収400万
月80時間残業・年収800万
33.3%
66.7%


シールアンケート調査
将来の就職先として、
あなたの考えに最も近い
のはどちらですか?
回答
月10時間残業
年収400万
月80時間残業
年収800万
赤が女性
青が男性

(6)考察

本調査では、学生・社会人・退職者のいずれの層においても、長時間労働を伴う高所得よりも、労働時間が短く安定した条件を支持する回答が多かった。この結果は、人々が必ずしも「所得の最大化」だけを重視しているわけではないことを示している。

金融資本主義は、投資の拡大と利潤の増加を通じて経済成長を続けることを前提としている。しかし、所得と幸福の関係については、「所得が増えるほど幸福も無限に高まるわけではない」ことが指摘されている。(④Sacks, Stevenson & Wolfers(2010))は、所得と主観的幸福には正の関係があるとしつつも、その効果は社会環境など他の要因にも左右されると述べている。

したがって、成長や収入の増加だけを経済の目的とする考え方には限界があるといえる。

また、(③日本証券業協会(2024))の「証券投資に関する全国調査」によれば、投資の目的として「老後資金の準備」や「将来への備え」が多く挙げられている。これは、投資が必ずしも積極的な利潤追求だけでなく、生活の安定を目的として行われていることを示している。

このような状況を踏まえると、金融資本主義の持続可能性は、どれだけ成長できるかという点だけでなく、人々の生活安定志向とどのように両立できるかという点にかかっていると考えられる。

その具体的な方向性の一つとして、鎌倉投信の提唱する「鎌倉資本主義」がある。鎌倉投信は、「投資はまごころであり、金融とはまごころの循環である」とし、社会性と事業性を兼ね備えた企業に長期投資を行う方針を示している(鎌倉投信公式サイト「結い2101コンセプト」)。ここでは、短期的な値上がり益よりも、企業が社会にどのような価値を生み出しているかが重視される。

さらに、(⑤金融庁(2024))の「インパクト投資に関する基本的指針」では、経済的リターンと社会的・環境的効果の両立を目指す投資の重要性が示されている。鎌倉投信の取り組みは、この考え方と方向性を同じくしている。

以上より、本研究の結果が示した生活安定志向は、短期的な利潤追求型の金融よりも、長期的で社会価値を重視する金融のあり方と親和性が高いといえる。その意味で、鎌倉投信の「鎌倉資本主義」は、金融資本主義を修正し、現代日本の社会条件により適合させる一つの現実的なモデルとして評価できる。(⑥鎌倉投信「結い2101 コンセプト」)

もっとも、本研究はサンプル数が少なく、結果を社会全体に一般化することには限界がある。今後は、より多くの対象者による調査や、実際の投資行動との比較分析が必要である。

以上より、金融資本主義の持続可能性は、成長の継続そのものよりも、人々の価値観と調和できるかどうかに左右される。そして、その再設計の一例として、鎌倉投信の提唱する鎌倉資本主義を位置づけることができる。

**参考文献**

①日本証券業協会「2024年度 証券投資に関する全国調査(個人調査)」
https://www.jsda.or.jp/shiryoshitsu/toukei/data/20241007164330.html

②Pitzl Financial. (2023). An Ode to the Shoeshine Boy.
(逸話の物語と投資家ケネディの行動)
https://www.pitzlfinancial.com/blog/ode-shoeshine-boy?utm source=chatgpt.com
③厚生労働省　時間外労働の上限規制　わかりやすい解説 (2021) 2026年2月16日
https://www.mhlw.go.jp/content/000463185.pdf
④Sacks, D. W., Stevenson, B., & Wolfers, J. (2010)
"Subjective well-being, income, economic development and growth."
Brookings Papers on Economic Activity.
https://www.brookings.edu/wp-content/uploads/2016/06/1001 subjective wellbeing wolfers.pdf 2026年2月23日
⑤金融庁(2024)
「インパクト投資に関する基本的指針」
https://www.fsa.go.jp/singi/impact/siryou/20240329/01.pdf 2026年2月23日
⑥鎌倉投信 「結い2101 コンセプト」
https://www.kamakuraim.jp/about-yui2101/concept-yui2101/ 2026年2月23日

**参考資料**

Sacks, D.W., Stevenson, B., & Wolfers, J. (2010).
Subjective well-being, income, economic development and growth (Brookings Institution).
https://www.brookings.edu/articles/subjective-well-being-income-economic-development-and-growth/
Cárcaba, A., & González, E. (2024). The relationship between income and subjective well-being: Evidence from Spain.
https://reunido.uniovi.es/index.php/EBL/article/view/21666
OECD. Income distribution and subjective happiness (working paper discussing happiness measurement).
https://www.oecd.org/en/publications/income-distribution-and-subjective-happiness 218860720683.html
new evidence on the relationship between income and subjective well-being
https://www.semanticscholar.org/paper/New-evidence-on-the-relationship-between-income-and-Cai-Liu/b8681a496789932ce271a34ac9d93998c3876a0d
日本看護科学会誌(2023)高齢者の幸せの構成要素：幸福度・満足度を高める設問に対する自由記述の計量テキスト分析より

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jans/43/0/43 43038/ html/-char/ja
journal of the academy of marketing science
https://link.springer.com/journal/11747
ポスト資本主義 - 科学・人間・社会の未来 / 広井良典・著
https://www.iwanami.co.jp/book/b226337.html
コテンラジオ#233～236資本主義シリーズ
https://note.com/zum ism/n/n5a5116b37a67
鎌倉資本主義 - ジブンゴトとしてまちをつくること / 柳澤大輔・著 / 2018
https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784833423045
金持ち父さん　貧乏父さん　―アメリカの金持ちが教えてくれる-
ロバート・キヨサキ・著　シャロン・レクター・著　白根美保子・訳
https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480863300/
Baveja & Verma (2024) Impact of Financial Literacy on Investment Decisions and Stock Market Participation
https://arxiv.org/abs/2407.03498
Greta Krippner (2005)The Financialization of the American Economy
https://doi.org/10.1093/ser/mwi008
Iiboshi & Ozaki (2022) The Impact of Social Security Reforms on Welfare in Japan
https://arxiv.org/abs/2205.08042

# 学校教育の持続可能性について

## 1.研究背景

近年、生成AIや学習支援AIの急速な発展により学校教育におけるAI活用が注目され、全国の教育機関の約9割が教育現場への関心を示し、4割以上が導入・検討を進めているという結果が出ている（教育家庭新聞,2025）。一方、日本では少子化・人口減少の進行に伴い公立高校を含む学校数が減少しており、全日制・定時制高校数が年々減少傾向にあることが明らかになっている(図1)。

こうした教育需要の変化の中で、AIが教員の役割の一部を代替し得る可能性が議論されているが(教育新聞,2023)、AI活用が学習の効率化や個別最適化にどのような影響を与えるか、さらには思考力・主体性への影響については体系的検討が十分ではないため、本研究を実施するに至った。

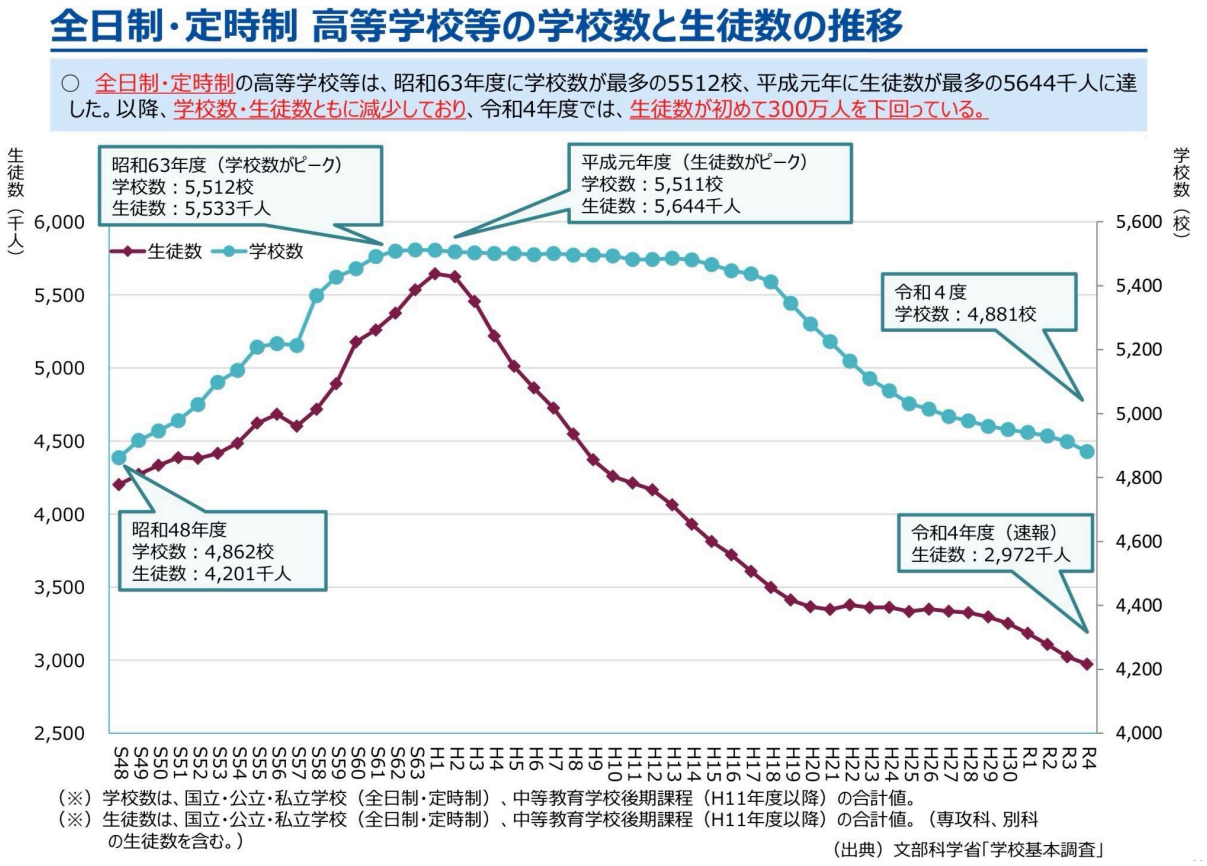



図1:全日制・定時制 高等学校等の学校数と生徒数の推移 （文部科学省,2023年）

## 2-1.研究目的・意義

本研究の目的は、生成AIおよび学習支援AIの教育活用に関する先行研究を整理・分析し、それらが学校教育の持続可能性にどのように関わるのかを明らかにすることである。

特に、①AIによる学習の効率化・個別最適化の効果、②思考力・主体性への影響に関する議論、③教員の役割変容との関係、の三点に着目し、既存研究の成果と課題を体系的に整理することを目的とする。これにより、AIの教育利用における課題を明確にし、教員の負担軽減と教育の質の維持を両立させるための示唆を得ることを目指す。

## 2-2.仮説

本研究では、以下の三つの仮説を立てる。はじめに、AIの可能性が示唆される一方で、教育に利用されないのは、AIは学習効率を上げるわけではないからではないかと考える。次に、学校教育におけるAI利用は、利用者の思考力・主体性を低下させる影響があるのではないかと考える。最後に、AI活用が広がったとしても、教員の役割は変化せず、今まで通り教員が生徒に教えるという形式なのではないかと予想する。以上の仮説が正しいかどうかを、文献調査の結果をもとに検証していく。

## 3.研究方法

本研究で用いた研究方法は以下のとおりである。

・文献調査

文献調査では、CiNii、arXiv、Google Scholar を活用し、「生成AI」「学習支援AI」「教育」「個別最適化」「思考力」「主体性」「教師の役割」などのキーワードで検索を行い、教育分野におけるAI活用に関する先行研究を収集した。収集した文献は、研究目的で示した三つの視点(*①AIによる学習の効率化・個別最適化の効果*、*②AI活用が思考力や主体性に与える影響*、*③AI導入による教員の役割変容や教育運営の変化*)に基づいて整理した。各文献の主張・研究方法・結論を比較し、その成果と課題を整理することで、AI活用が学校教育の持続可能性にどのように関わるのかを理論的に検討した。

## 4.結果

**視点①AIによる学習の効率化・個別最適化の効果**

学習の効率化および個別最適化については、大多数の研究が肯定的な可能性を示している。

藤川(2024)は、生成AIが教材最適化や個別支援を可能にし、学習効率の向上に寄与する可能性を指摘している。同様に、高橋(2023・2024)は、生成AIが認知機能補助として機能し、学習理解の成熟やアイデア生成支援に有効であることを示している。語学教育の分野では、木村(2024)および陳ほか(2025)が、生成AIによる文章生成支援や会話練習支援が学習活動を拡張する可能性を報告している。

海外研究においても同様の傾向が見られる。Sajja et al.(2023)は高等教育における適応型AIアシスタントの可能性を示し、Goal et al.(2025)は学習データの統合による個別化設計を提案している。さらに、Gonnermann-Müller et al.(2025)は多エージェント型大規模言語モデル(LLM)を用いた教材個別化の枠組みを提示している。一方で、Merino-Campos(2025)は体系的レビューにおいて個別最適化の有効性を整理しつつも、倫理・データ保護・教師研修の不足を課題として指摘している。

このように、個別最適化に関する研究は国内外で存在し、その有効性が示唆されているが、実証的検証および制度設備の不足が共通課題として挙げられている。

**視点②思考力・主体性への影響に関する議論**

思考力および主体性への影響については、肯定的評価と懸念の双方が示されている。

Achuthan(2025)はメタ分析を通して、AI介入が自己調整学習および自己主導学習を有意に向上させることを報告している。また、林ほか(2025)は探究学習における生成AI支援が学習過程の可視化と自己調整を促進する可能性を示している。Roe & Perkins(2024)は生成AIが学習者の主体性を強化しうるとしつつも、一部文脈では自律性低下のリスクがあると論じている。Favero et al(2026)も、AIによる負担軽減(認知的オフローディング)が主体性低下につながる可能性を指摘している。

又、国内研究においても藤川(2024)や蔡(2023)は、AI依存や自動翻訳依存が深い思考を阻害する可能性を警告している。

このように、AIは主体性を支援し得る一方で、その効果は業務における技術やAIの活用に依存するという点で研究間に一定の共通理解が見られる。

**視点③AI導入による教員の役割変容や教育運営の変化**

教員の役割変容については、ほぼすべての研究が言及している。

藤川(2024)は、教員が知識伝達者からファシリテーターへと役割転換する必要性を指摘している。Chan & Tsi(2023)は、AIは教員を代替するのではなく、協働関係を構築すべきであると論じている。林ほか(2025)はHuman-in-the-Loop(HITL)設計の重要性を示し、教員がAI出力を承認・調整する役割を担う必要性を述べている。Goal eat al.(2025)は、教師向けダッシュボードを通じてデータに基づく意思決定を支援する設計を提案している。さらに、神崎(2025)は倫理的観点から教員の判断能力の重要性を強調している。

一方で、多くの研究が教員のAIリテラシー不足や研修制度の未整備を課題として挙げている(Merino-Campos,2025;陳ほか,2025;宋ほか,2025)

以上より、AI活用の成否は教員の専門性再構築と制度設計に大きく依存することが示唆される。

## 5.考察

文献を整理すると、多くの研究で学校教育の負担増大が問題として挙げられていた。教員の業務は増え、教育内容は高度化し、個別対応も求められている。その中で、AIは学習の効率化や個別最適化を可能にするといった肯定的な意見が多く示された。しかし一方で、思考力、主体性への影響を懸念する声があるというのも事実である。これらを踏まえ、三つの視点から考察を行った。

**視点①AIによる学習の効率化・個別最適化の効果**

多くの研究が、AIは学習支援を可能にすると示している。そのため、一定の学習支援を維持できる仕組みが広がると考えられる。一方で、学習成果に関する長期的な検証は不十分である。そのため、効率化が直接的に教育の質を向上させるとは言い切ることができないとも考えられる。

**視点②思考力・主体性への影響に関する議論**

AIが自己調整学習を支える可能性があると多くの研究で示されている。しかし、依存が進むことで思考の一部をAIに任せる傾向が強まることも予想される。持続的な教育を考えると、AIの使い方によって、将来の学習者像が変わる可能性があると考えられる。

**視点③AI導入による教員の役割変容や教育運営の変化**

多くの研究は、AIは教員を代替するのではなく補助すると示唆している。この傾向から、今後の教員の役割が「教える人」から「学習を設計する人」へ移り変わることが予想される。しかし、その場合も、教員の負担は単純に減るとは限らず、役割の内容が質的に変わる可能性があると考えられる。

以上の結果から、AIは学校教育の負担軽減や学習支援の拡充に寄与する可能性がある一方で、教育の質や主体性への影響については慎重な検討が必要であり、学校教育の持続可能性はAIの導入そのものではなく、その活用のあり方に左右されるのではないかと考える。

## 6.結論・今後の展望

本研究では、生成AI及び学習支援AIに関する先行研究を整理し、学習の効率化、主体性への影響、教員の役割変化という三つの視点から検討した。その結果、AIは学習支援を広げ、教育の負担を軽減する可能性を持つ一方で、思考力や主体性への影響、長期的な学習効果については十分な検証が行われていないことが明らかとなった。したがって、AIは学校教育の持続可能性を支える可能性を持つが、その効果は、制度やルールの整備に大きく左右されると考えられる。また、単に効率化だけを目的とするのではなく、学習者の成長や主体性を守る観点から、制度面と教育実践の両方を整えていくことが、学校教育の持続可能性につながると考える。

今後は、AI活用の効果を長期的に検証する研究に加え、教育現場での適切な法整備や運用ルールの確立が求められると考えられる。また、私は法学部に進学することを考えており、進学後はまだ明らかでない部分が多いAIに関する法整備を研究したいと考えている。そのため、実際のAI活用における事例などを調べ、個人情報や誤情報などの観点から具体的な部分を明確化し、研究を続けていきたい。

## 7.参考文献


1. 教育家庭新聞,「生成AIの教育活用、教育機関の9割近くが「関心あり」も導入・検討は4割～教育AI活用協会調べ」,(2025年).https://www.kknews.co.jp/news/20250512o02.2026年1月.
2. 文部科学省,「検討を進めるための参考資料」,(2023年)
https://www.mext.go.jp/content/20230721-mxt_koukou01-000031017_05.pdf?utm_source=chatgpt.com.2026年1月.
3. 教育新聞,「生成AIの活用 進まぬ現状に産官学と学校教員が議論」,(2023年)
https://www.kyobun.co.jp/article/2023122005.2026年1月.
4. スタディポケット株式会社,【調査レポート】学校の生成AI活用、トップ5%の教員が全利用の38%を牽引。データ500万件から見えたロングテール構造,(2025年)
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000049664.html.2026年1月.
5. Reseed,「教育現場の生成AI活用、教職員の6割超が前向き…実際の利用は4割未満」,(2025年)
https://reseed.resemom.jp/article/2025/09/24/11760.html.2026年1月.
6. 藤川大祐,『初等中等教育実践における生成AIの活用のあり方―文部科学省「暫定的なガイドライン」前後の状況―』,千葉大学,(2024年).
https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900122358/S13482084-72-P083.pdf.2026年1月.
7. たなかよしこ,『生成AIが問う、教育の在り方の再考』,日本工業大学,(2024年).
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jade/18/0/18_2024.06.01.10/_pdf/-char/ja.2025年7月.
8. 堀田龍也,『AI時代の学校教育の在るべき姿とは』,(2024年).
https://www.jstage.jst.go.jp/article/tits/24/2/24_2_56/_pdf/-char/ja.2026年1月.
9. 髙橋麻衣子,『生成 AI 時代の教育の在り方を再考する』,(2023年).
https://logon.ebsco.zone/api/dispatcher/continue?acr_values=url%20ip.2026年1月.
10. 髙橋麻衣子,『多様化する生成AIと学習支援：学校教育はどのように変革するのか』,(2024年).
https://cir.nii.ac.jp/crid/1520582230695323264.2026年1月.
11. 木村修平,『AIは英語教育を不要にするのか？：プロジェクト発信型英語プログラムの実践から考える』,(2024年).https://ritsumei.repo.nii.ac.jp/record/2000858/files/hes_24_KIMURA.pdf.2026年1月.
12. 林兵馬・久保沙織・登本洋子,『探究学習における生成AI支援システムの実践と評価』,(2025年).
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390869533691359360?lang=en.2026年2月.
13. 蔡薫婕,『AIの進歩による言語学習不要論から考えることばを学ぶ・使う・教えることの意義』,(2023年).https://www.airitilibrary.com/Article/Detail/20787359-N202310120005-00009.2026年2月.
14. 宋赫・若杉祥太・納庄聡,『日韓のAI教育に関する動向と一考察』,(2025年).
https://www.jstage.jst.go.jp/article/ciecspringconference/16/0/16_15/_pdf/-char/ja.2026年2月.
15. 小堀美千代,『生成AIを用いた個別最適な日本語学習の実践と課題』,(2025年).
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jlem/31/2/31_110/_article/-char/ja.2026年2月.
16. 神崎宣次,『AIと教育-倫理の観点から』,(2025年).
https://researchmap.jp/knzknbtg/published_papers/50599067.2026年2月.
17. 應供亮生・緒方思源・小川修史,『生成AIによる物語教材への学習支援の可能性』,(2025年).
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jtsjs/148/0/148_327/_article/-char/ja/.2026年2月.
18. 陳祥・安達万里江・山島一浩,『日本語教師のためのAIの活用方法について』,(2025年).
https://www.japan-iu.ac.jp/library/kiyou/2025/2_Chen_Adachi_Yamashima.pdf.2026年2月.

19. 田中博之,『生成 AI を生徒が探究的な学習において活用する学習方法に関する一考察』,(2024年). https://waseda.repo.nii.ac.jp/record/2001250/files/KyoikugakuKenkyukaKiyo_34_6.pdf.2025年12月.
20. 樋田 有一郎,『人口減少時代の地方郡部の高校教育改革の実践的研究 : 都鄙間高大交流による地域課題解決型学習のアクション・リサーチ』,(2019年). https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R000000004-I029761997 .2025年12月.
21. Jana Gonnermann-Müller et al,『FACET: Teacher-Centred LLM-Based Multi-Agent Systems – Towards Personalized Educational Worksheets』,(2025).https://arxiv.org/abs/2508.11401.2026年1月.
22. Ramteja Sajja et al,『Artificial Intelligence-Enabled Intelligent Assistant for Personalized and Adaptive Learning in Higher Education』,(2023).https://arxiv.org/abs/2309.10892.2026年1月.
23. Ashok Goel et al,『A4L: An Architecture for AI-Augmented Learning』, (2025).https://arxiv.org/abs/2505.06314.2026年1月.
24. Lucile Favero et al,『AI in Education Beyond Learning Outcomes: Cognition, Agency, Emotion, and Ethics』,(2026).https://arxiv.org/abs/2602.04598.2026年2月.
25. Jasper Roe & Mike Perkins,『Generative AI and Agency in Education: A Critical Scoping Review and Thematic Analysis』,(2024).https://arxiv.org/abs/2411.00631.2026年1月.
26. Cecilia Ka Yuk Chan & Louisa H.Y. Tsi,『The AI Revolution in Education: Will AI Replace or Assist Teachers in Higher Education?』,(2023).https://arxiv.org/abs/2305.01185.2026年1月.
27. Carlos Merino-Campos,『The Impact of Artificial Intelligence on Personalized Learning in Higher Education: A Systematic Review』,(2025).https://www.mdpi.com/2813-4346/4/2/17.2026年2月.
28. Krishnashree Achuthan,『Artificial intelligence and learner autonomy: a meta-analysis of self-regulated and self-directed learning』, (2025).https://www.frontiersin.org/journals/education/articles/10.3389/feduc.2025.1738751/full.2026年2月.
29. Sun, Q., Li, Y., Alturki, E., Murthy, S. M. K., & Schuller, B. W.『Towards Friendly AI: A Comprehensive Review and New Perspectives on Human-AI Alignment』, (2024).arXiv.https://arxiv.org/abs/2412.15114 2025年12月.
30. Maity, S., & Deroy, A.『Human-Centric eXplainable AI in Education』,(2024). arXiv.https://arxiv.org/abs/2410.19822.2025年12月.
31. Maity, Subhankar; Deroy, Aniket,『Human-Centric eXplainable AI in Education』, (2024)https://arxiv.org/abs/2410.19822.2025年12月.
32. Steve DiPaola, Liane Gabora, Graeme McCaig, 『Informing artificial intelligence generative techniques using cognitive theories of human creativity』,(2018).https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S187705091832310X.2025年12月.
33. Špela Javornik, Eva Klemenčič Mirazchiyski, 『Factors Contributing to School Effectiveness: A Systematic Literature Review』, (2023).https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10606047/.2026年2月.

# 自炊の持続可能性について

## 1. 研究背景

現代の日本では、社会構造や生活様式の変化に伴い、人々の食生活は大きく変容している。共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化、さらには利便性を重視する価値観の広がりによって、外食や中食（惣菜・弁当など）の利用率は年々増加している。一方で、自宅で食事を作る「自炊」を行う人の割合は減少傾向にあり、この傾向は総務省「家計調査」（**2023**年）からも確認できる。しかし、こ うした食生活の変化は利便性を高める一方で、健康面および環境面において新たな課題を生み出している。

まず健康面では、外食や加工食品への依存が問題視されている。厚生労働省（**2022**年）の 報告によれば、加工食品や外食中心の食生活は、野菜や食物繊維の摂取不足、塩分や脂質の過剰摂取を招 きやすく、栄養バランスの偏りを引き起こす可能性があるとされている。その結果、高血圧、糖尿病、脂質異常 症などの生活習慣病のリスクが高まることが指摘されている。若年層においても食生活の乱れは将来的な健康リスクにつながるため、早期からの改善が重要である。

また、環境面においても食生活は大きな影響を及ぼしている。環境省（**2022**年）の調査によれば、日本では年間約**523**万トンの食品ロスが発生している。その主な要因として、家庭や外食産業における「食べ残し」や「過剰包装」が挙げられている。特に中食や外食では、衛生面や利便性を重視した使い捨て容器の使用が多く、食品ロスだけでなくプラスチックごみの増加にもつながっている。 私は現在、新潟県南魚沼市浦佐に住む高校**2**年生であり、寮生活を送っている。寮生活では、外食の利用やコンビニでの購入など、中食に頼る場面が多い。一方で、簡易的な調理設備を利用して自炊を行うことも可能である。このような環境の中で、自炊と中食のどちらがより持続可能な生活様式なのかという疑問を抱いたことが、本研究の出発点である。身近な生活環境の中で実際に検証することで、自炊の持続可能性を具体的に考察できるのではないかと考えた。

日本では年間約**464**万トンの食品ロスが発生している。

図**1** 日本の食品ロス量 の推移（**2000**～**2023**年度）

| 年 | 食品ロス（万**t**） |
|---|---|
| **2000** | **980** |
| **2015** | **646** |
| **2023** | **464** |

出典：消費者庁「食品ロス量の推移と削減目標」（**2025**）

図**1**より、日本の食品ロス量は減少傾向にあるものの、依然として年間約**460**万トン規模の食品が廃棄されていることが分かる。このことから、個人の食生活の改善が求められているといえる。

# **2**. 研究目的・意義・仮説

本研究の目的は、自炊という日常的な行動が健康および環境にどのような影響をもたらすのかを明らかにすることである。特に、自炊の頻度や内容に着目し、栄養バランスや食品ロスの発生量、プラスチックごみの量との関連性を分析する。 本研究の意義は、自炊という身近な行動を通して、持続可能な社会の実現にどの程度貢献できるのかを検証する点にある。環境問題や生活習慣病は規模が大きく、個人の力 では解決が難しい と感じられがちである。しかし、毎日の食事という身近な行動に注目することで、誰もが主体 的に取り組める課題として再認識できる可能性がある。

以上を踏まえ、以下の仮説を設定した。

仮説**1**（健康面）：自炊を行う人は、外食中心の人に比べて栄養バランスが良く、健康状態が良好である。

仮説**2**（環境面）：自炊を行うことで、食品ロスおよびプラスチックごみの量が削減される。 これらの仮説を

検証することで、自炊が持続可能な生活習慣として有効であるかを明らかにする。

# **3**. 研究方法

本研究では、以下の三つの方法を用いた。

第一に、実態観察および日記調査である。自分自身を対象として、**1**週間の自炊生活を記録した。具体的には、食事内容、使用した食材、発生した食品ロスの量、排出したプラスチックごみの量、体調の変化、調理にかかった時間などを毎日記録した。

第二に、比較分析を行った。自炊を行った週と、主に中食に頼った週のデータを比較し、栄養バランスやごみの量の違いを検証した。また、厚生労働省や環境省の公的統計と照らし合わせることで、結果の妥当性を検討した。

第三に、考察を通して自炊の課題や限界についても分析した。特に寮生活という制約のある環境において、自炊を継続するうえでの問題点を整理し、持続可能性を多角的に評価した。

# **4**. 結果・考察

調査の結果、自炊を行った週では野菜の摂取量が増加し、栄養バランスが改善された。特に、野菜やたんぱく質を意識的に組み合わせることで、食事内容の偏りが減少した。体調面でも、胃もたれや塩分過多による喉の渇きが減少したと感じた。

環境面では、食材を計画的に購入し、使い切ることを意識したことで食品ロスを大きく抑えることができた。また、

まとめ買いやマイバッグの利用により、使い捨て容器やレジ袋の使用も減少した。中食中心の生活と比較すると、プラスチックごみの量は明らかに少なかった。

これらの結果から、自炊は健康面・環境面の双方において一定の効果を持つ可能性が示唆された。特に、自分で食材を選び、調理方法を決めるという過程そのものが、栄養や環境への意識を高めるきっかけになっていると考えられる。中食や外食では成分や包装を細かく意識する機会は少ないが、自炊では自然と食品表示や量を確認するようになり、その積み重ねが行動の変化につながった可能性がある。

また、自炊を通して「どれくらいの量が必要か」「何日で食べ切れるか」といった見通しを立てる力も身についた。これは単に食事の問題にとどまらず、計画性や自己管理能力の向上にもつながる点で意義があると考えられる。

一方で課題も明らかになった。自炊には時間と手間がかかり、学業や部活動で忙しい日には継続が難しい場面もあった。また、食材を一度に使い切れない場合には、逆にロスが発生する可能性もある。特に、安さを重視して多く購入した場合に使い切れないことがあり、必ずしも自炊が常に環境に優しいとは限らないことも分かった。

しかし、作り置きや冷凍保存、簡単な調理法の活用などの工夫によって、負担を軽減できることも分かった。さらに、無理のない頻度で自炊を取り入れるなど、自分の生活リズムに合わせることも重要であると考えられる。つまり、自炊の持続可能性は単に行うか否かではなく、「どのように工夫するか」に大きく左右されると考えられる。

# 5. 結論

本研究から、自炊は健康面および環境面の双方において一定の効果を持つ行動であることが示された。特に、浦佐で寮生活を送る高校生という制約のある環境においても、自炊は工夫次第で持続可能な生活習慣となり得ることが明らかになった。

自炊は単なる節約手段ではなく、健康維持や食品ロス削減を通じて持続可能な社会の実現に貢献し得る行動であるといえる。 今後は、調査対象を自分一人に限定せず、寮生や同年代の生徒にもアンケート調査を行うことで、より客観的なデータを収集する必要がある。また、コスト面や時間 効率の分析も加えることで、自炊の総合的な持続可能性をより詳細に検証していきたい。日々の食事という身近な行動を見直すことは、小さな一歩である。しかし、その積み重ねが個人の健康を守り、環境負荷の軽減につながる可能性がある。本研究を通して、 自炊の価値を改めて認識することができた。

# 『参考文献』


1. 総務省統計局（2023）『家計調査（家計収支編）2023年』
   https://www.stat.go.jp/data/kakei/
2. 厚生労働省（2023）『令和4年 国民健康・栄養調査報告』
   https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekka.htm
3. 環境省（2024）『令和4年度 食品ロス量（速報値）』
   https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/
4. 消費者庁（2023）『食品ロス削減推進に関する資料』
   https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss

/ 5. Harvard T.H. Chan School of Public Health（2023）
“Healthy Eating Plate”
https://www.hsph.harvard.edu/nutritionsource/healthy-eating-plate
/

6. Institute for Global Environmental Strategies（IGES）（2021）
『持続可能な食生活の提案』
https://www.iges.or.jp/jp/pub/sustainablefood-jp

7. 農林水産省（2023）『食品ロスの現状と取組』
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/
8. 内閣府（2023）『食育白書（令和5年版）』
https://www8.cao.go.jp/syokuiku/
9. 文部科学省（2022）『食育・学校給食関連資料』
https://www.mext.go.jp/
10. 国立環境研究所（2022）『食品廃棄と環境負荷に関する研究資料』
https://www.nies.go.jp/
11. FAO（2019）
The State of Food and Agriculture 2019
https://www.fao.org/

# 地域✖スポーツの持続可能性

## 1、研究背景

近年、日本の地域社会は少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの希薄化といった課題を抱えている。これらの問題は、地域の活力低下や地域住民同士の繋がりの弱体化を招いてしまい、地域の持続的な発展を難しくしている。そんな中で地域社会を支える一つの要素として「スポーツ」の役割が注目されている。(ワン・ステップ、2024年)スポーツは、健康の維持・増進だけでなく、世代や立場を超えた交流を生み出し、地域における一体感や仲間意識を高める力を持っている。(スポーツ庁、2022年)特に、学校部活動や地域スポーツクラブ、さらにはプロスポーツチームの存在は、地域住民の協力し合う機会を提供してきた。(香川大学経済学部、2024年)しかしその一方で、指導者不足や財政難、担い手の固定化などにより、スポーツ活動そのものの継続が困難になっている地域も少なくない。(図1)　下記のように中学校の在学者数、部活動数、1部活動あたりの人数が年々減少傾向にある。少子高齢化などの問題が考えられるが、若者のスポーツに対する関心が薄れているのも一つの原因だと思う。また教える側にも問題が起きている。(図2)図2を見てわかるようにほぼすべてのレベルで60～70%が不足している。指導者不足が深刻化している。(スポーツ庁、2023年)




図1：中学校在学者数、1運動部あたりの人数、運動部活動数　推移

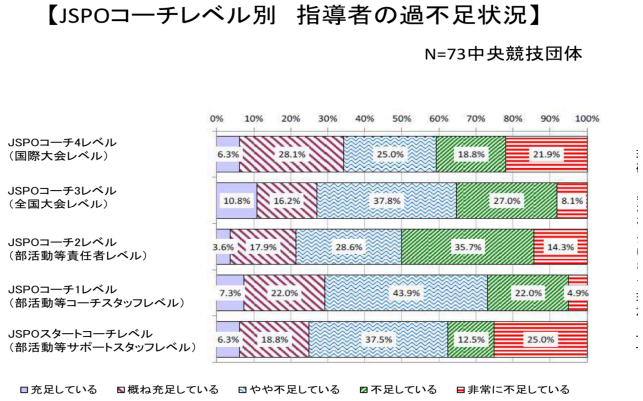



図2：JSPOコーチレベル別指導者の過不足状況

## 2、研究目的・意義

そこで本レポートでは 、地域社会における「スポーツ」の役割を整理した上で、地域とスポーツの関係がどのように持続可能であるべきかを考察する。さらに、具体的な事例を通して課題を明らかにし、今後の地域とスポーツのあり方について考える。地域ごとにおいてある体育館の使用頻度や年層などが施設の充実度や普段から運動への関わりが関係すると仮説を立てる。そこで、地域ごとに置かれている体育館の状態を確認し、体育館の設備の差やどのぐらいの間隔で設置されているのかを整理し、子供から大人、高齢者までもが通いたくなる体育館について検討する。これによって、地域の健康保持やコミュニティの幅を少しでも広くすることに貢献することができる。

# 3、研究方法

本研究では、研究対象の体育館として、長岡市市民体育館と長岡市南部体育館、そして長岡市北部体育館を取り上げて行う。この3つを選んだ理由は、実際に訪問したことがあり、内装や設備を理解しているからである。そこで、この3つの体育館を使い、2つの事を調査する。

1、各体育館を訪れ、係員の人から年齢層や世代別の使用内容、心掛けている事について調査する。

2、各体育館内で実際に使用者に体育館のGoodポイントや改善ポイントを聞き、どんな体育館が有効に働いているかをインタビュー調査し、データ化してグラフにまとめる。

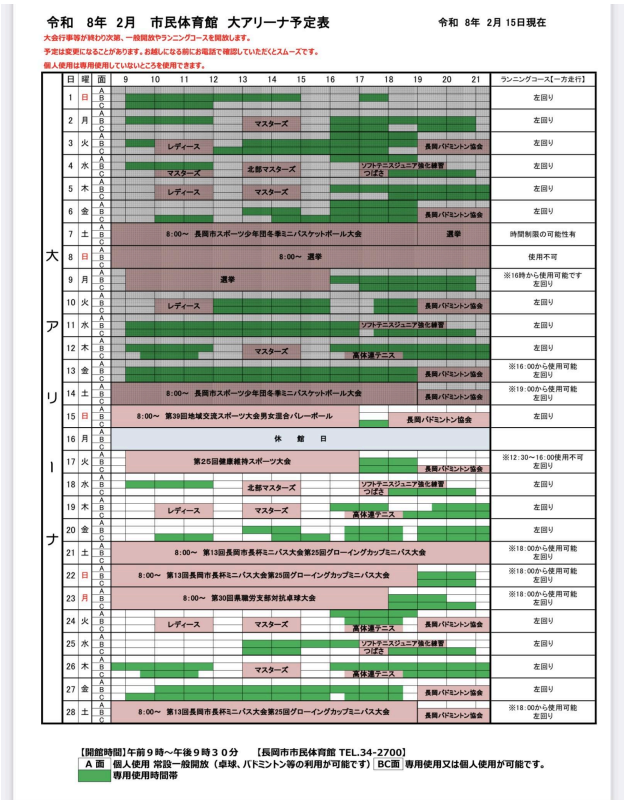
# 4、結果、考察

調査1、

| | 長岡市市民体育館 | 長岡市南部体育館 | 長岡市北部体育館 |
|---|---|---|---|
| 年齢層 | 若年層から高齢層までのすべての世代 | 若年層と中年層 | 若年層と高齢層 |
| 主な使用内容 | 学校の部活動やジムでの筋トレ、ランニング、自由開放、大型大会、クラブチームの練習など | 自由開放、ランニング、筋トレ、スポーツ教室、バスケの大会など | クラブチームなどの練習、自由開放、大会、ヨガ、会議など |
| 係員が心掛けていること | ・ボールの貸し出しと使用時間の確認<br>・空気の循環<br>・予約漏れの確認<br>・内履き所持の確認<br>など | ・1～3階の清潔感<br>・フリースペースであるバスケコートの状況把握<br>・予約漏れの確認<br>など | ・道具の破損チェック<br>・清潔感<br>・ヨガスタジオや会議室の整備<br>など |

協力していただいた方々：市民体育館　前田さん
南部体育館　佐々木さん
北部体育館　小林さん

各体育館によって、年齢層や主な使用内容、心掛けていることが少しずつ違うことがわかった。主な目的としては自由開放、ランニング、大会、学校の部活動として使われている。また、やはり体育館ということもあり、若年層の訪問回数が多いこともわかった。しかし、その一方で中年層が訪れる回数は少ないこともわかった。訪れる年齢層の違いには、仕事や家庭事情、健康意識に差が生まれると思う。実際のスケジュール表を見るとさらに深く理解することが出来た。（表1～3）表1を見ると、全体的に予定が埋まっているが、コートA（自由開放エリア）は比較的、常に空いており誰が来ても使いやすくなっている。しかしたまに、自由開放エリアを使用しての学校などの団体による部活動練習などが入っており、使用できない時間があるのでスケジュールの把握が大事である。(ヤマザキネット、2026年)次に表2を見ると、比較的ずっと同じ団体と思われる予約が入っている。そういうこともあり、表2の下の表を見てみると、大まか同じ時間帯に予約が入っていることがわかり、スケジュール表の傾向を考えることで、すぐに理解することができる。また表2では10日間のスケジュールが公開されており、直前での変更点や予約の取り消しなどに最大限対応できるようになっている。(さくらレンタルサーバ、2026年)最後に表3を見ると、表1、表2に比べ、予約の数自体が少ないこともあるが比較的いつ訪れても待たずに体を動かすことができる。また会議室の使用を重点的に見ていることから表1、表2とは異なり、会議室の利用時間が記載されている。(さくらレンタルサーバ、2026年)それも一つのポイントであるだろう。


令和　8年　2月　市民体育館　大アリーナ予定表　　令和　8年　2月 15日現在

大会行事等が終わり次第、一般開放やランニングコースを開放します。
予定は変更になることがあります。お越しになる前にお電話で確認していただくとスムーズです。
個人使用は専用使用していないところを使用できます。

大アリーナ

| 日 | 曜 | 面 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ランニングコース【一方走行】 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 月 | A | | | | | | マスターズ | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 火 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | レディース | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 水 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | マスターズ | | | | 北部マスターズ | | | | ソフトテニスジュニア強化練習 | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | つばさ | | | | |
| 5 | 木 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | レディース | | | | マスターズ | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 金 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 土 | A | 8:00～ 長岡市スポーツ少年団冬季ミニバスケットボール大会 | | | | | | | | | | | 選挙 | | 時間制限の可能性有 |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 日 | A | 8:00～ 選挙 | | | | | | | | | | | | | 使用不可 |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 月 | A | | | | | | | | | | | | | | ※16時から使用可能です 左回り |
| | | B | 選挙 | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 火 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | レディース | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 水 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | ソフトテニスジュニア強化練習 | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 木 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | マスターズ | | | | 高体連テニス | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 金 | A | | | | | | | | | | | | | | ※16:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 土 | A | 8:00～ 長岡市スポーツ少年団冬季ミニバスケットボール大会 | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | ※19:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 日 | A | 8:00～ 第39回地域交流スポーツ大会男女混合バレーボール | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 月 | A | 休　館　日 | | | | | | | | | | | | | |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 火 | A | | 第25回健康維持スポーツ大会 | | | | | | | | | | | | ※12:30～16:00使用不可 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 水 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | 北部マスターズ | | | | ソフトテニスジュニア強化練習 | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | つばさ | | | | |
| 19 | 木 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | レディース | | | | マスターズ | | | | 高体連テニス | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 金 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 土 | A | 8:00～ 第13回長岡市長杯ミニバス大会第25回グローイングカップミニバス大会 | | | | | | | | | | | | | ※18:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 日 | A | 8:00～ 第13回長岡市長杯ミニバス大会第25回グローイングカップミニバス大会 | | | | | | | | | | | | | ※18:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 月 | A | 8:00～ 第30回県職労支部対抗卓球大会 | | | | | | | | | | | | | ※18:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 火 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | レディース | | | | マスターズ | | | | 高体連テニス | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 水 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | ソフトテニスジュニア強化練習 | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | つばさ | | | | |
| 26 | 木 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | マスターズ | | | | 高体連テニス | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 金 | A | | | | | | | | | | | | | | 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |
| 28 | 土 | A | 8:00～ 第13回長岡市長杯ミニバス大会第25回グローイングカップミニバス大会 | | | | | | | | | | | 長岡バドミントン協会 | | ※18:00から使用可能 左回り |
| | | B | | | | | | | | | | | | | | |
| | | C | | | | | | | | | | | | | | |

【開館時間】午前９時～午後９時３０分　【長岡市市民体育館 TEL.34-2700】
A 面 個人使用 常設一般開放（卓球、バドミントン等の利用が可能です）BC面 専用使用又は個人使用が可能です。
専用使用時間帯

表1：長岡市市民体育館スケジュール (ヤマザキネット、2026年)




表2:長岡市南部体育館スケジュール (さくらレンタルサーバ、2026年)




表3:長岡市北部体育館スケジュール (さくらレンタルサーバ、2026年)

## 調査2、**Good**ポイントと改善ポイント

| | 長岡市市民体育館 | 長岡市南部体育館 | 長岡市北部体育館 |
|---|---|---|---|
| Goodポイント | ・駅から近い<br>・駐車場に止められる車の台数が多い<br>・学校の近くにある<br>・安い<br>・ジムが快適<br>など | ・3階建てなので広く感じる<br>・駅から近い<br>・周りに飲食店がある<br>・浴場施設が隣接している　など | ・天井が高く、広い<br>・駅から近い<br>・とにかく安い<br>・家から近い<br>など |
| 改善ポイント | ・常に混雑してる<br>・高校生未満バスケコートを出してはいけない<br>・トイレがあまり清潔でない<br>など | ・運動スペースとジム施設しかない<br>・借りられるスペースが少ない | ・体育館が一つしかない<br>・ジムがない<br>など |

※実際に訪れていた際に使用されていた各5人へのインタビュー調査でわかったこと

見ての通り、各体育館によってGoodポイントや改善ポイントが全然違うことがわかった。しかし、一つだけ共通しているのがあった。それは、駅から近いことである。実際に調べてみると、市民体育館は長岡駅から車で約6分、徒歩で約15分ほどの距離、南部体育館は宮内駅から車で約5分、徒歩で約11分ほどの距離、北部体育館は車で約3分、徒歩で約10分ほどの距離に位置していた。このように、すべての体育館が駅から近く、アクセスがしやすい場所に設置されていることがわかる。また、すべての体育館の近くにバス停も設置され、雪などで電車が運休になった際もバスで訪れることができる。そのことから体育館というのは、誰でも訪れることのできる位置に置かれることが大切だと考えられる。体育館によって違うGoodポイントや改善ポイントが被らない理由の一つとして、同じものはいらないという考えがあると思う。Goodポイントや改善ポイントがすべて同じだと、人の好みや体育館の特色関係なく、ただ近いからという理由だけで訪れる人には限りがある。そのため、少しでも変化があることで自分に合った体育館を選択することができ、訪れたいきっかけにもなる。
(文部科学省、2015年)

以下のことから、地域とスポーツの持続可能性を考えていく上で体育館の特色、立地、機能などを考えていく必要がある。駅からの距離やその体育館でやるメリット、最先端技術などをうまく地域の人に伝えていくことで、1人でも多くの人がきたいと思う施設になっていくだろう。また、運動にあまり関心がない人などに体験してもらう機会を作り、たくさん触れ合うことで地域の運動意識の底上げが図れる。

# 5、結論　今後の見通し

本研究では、3つの体育館を比較して、訪れる人やGoodポイント、改善ポイントなどから、どのような設備、環境によって、人が通いたくなるかについて検討した。その結果、駅からどのくらいの距離に位置しているかやバス停が近くに設置されているかが大事である。また、体育館ごとに少しずつ違う良さがあることも一つの重要ポイントである。今後の見通しとしては、もう少し幅広い世代にインタビューしたり、違う体育館を訪問し、今回の研究で調査した3つの体育館との差を理解し、地域にどのような角度で貢献しているかを考えていく。

# 6、参考文献、引用文献


（1）スポーツ庁　(2023年) スポーツが健康にもたらす効果等のエビデンスに関する調査研究
https://www.mext.go.jp/sports/content/250630-spt_kensport01-000013744_03.pdf
（2）ワン・ステップ　(2024年) 地方自治体が取り組むスポーツを活用した地域活性化課題と成功事例。
https://onestep-miyazaki.com/blog/machiokoshi-prosports-idea/?srsltid=AfmBOoqI5vJSycf6c0EubG_k8pX9_vP4BAPAGGaEPhslN2YGO6Acwh8a
（3）さくらレンタルサーバ　(2026年)　北部体育館　スケジュール
(https://niigata-bs.sakura.ne.jp/si/hokubu/news
⑷さくらレンタルサーバ　(2026年)　南部体育館　スケジュール
https://niigata-bs.sakura.ne.jp/si/nanbu/news/
⑸市民体育館　ヤマザキネット　(2026年) 長岡市市民体育館　スケジュール
https://www.shimintaiikukan-yamazakinet.jp/schedule/
⑹ 文部科学省　(2021年) スポーツ関係データ
https://www.mext.go.jp/sports/content/20210421-spt_sseisaku01-000014339_8.pdf
⑺スポーツ庁　(2019年) 数字で見る！スポーツで身体に起こる気になる「6」つのデータ
https://sports.go.jp/special/value-sports/post-29.html
⑻文部科学省　(2015年) 公共スポーツ施設における障害者の利用促進・安全確保に関する調査研究
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/suishin/__icsFiles/afieldfile/2015/09/07/1361083_01.pdf
⑼香川大学経済学部　(2024年) 地方再生に向けたスポーツによる地域活性化の可能性
https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no20/nakamura.pdf
⑽スポーツ庁　(2022年) 運動部活動の地域移行について
https://www.mext.go.jp/content/20220727-mxt_kyoiku02-000023590_2-1.pdf

# 地域祭りの持続性について

## The Sustainability of Local Community Events

1:研究背景

地域の祭りは年々衰退する傾向にあり、住民の間でも「祭りを継続すべきだ」という意見と、「もはや実施する必要はない」という意見に分かれている。例えば、宝塚祭りが衰退した際にも、「復活を望む声」と「衰退はやむを得ないとする声」の双方が見られた (ISFJ,2018)

このことから、地域祭りは単なる行事ではなく、地域の活性化や住民同士のつながりを維持するうえで重要な役割を果たしている可能性があると考えられる。実際に、私の住む地域の祭りも、かつては多くの住民が参加し、非常に盛況であったといわれている。しかし現在では、若者の参加者が減少し、高齢者の参加も以前ほど多くは見られない。

このように、かつては繁栄していたにもかかわらず、現在では参加者が減少し、衰退傾向にある祭りは少なくない。こうした祭りの衰退が進行すれば、人の流れや消費活動が減少し、結果として地域経済の縮小につながる可能性があると考えられる。

2:研究目的

本研究では、「なぜ人々にとって祭りは重要なのか」というリサーチクエッションを設定する。祭りの価値を明らかにすることは、人々が地域にどの程度の関心や愛着を持っているのかを理解する手がかりになると考えられる。

先行研究によると、地方都市において祭りやイベントは中心市街地活性化の手段として重要であり、来訪者の消費行動を通じて地域経済にプラスの影響を与えることが示されている。(高秀賢史,2004) このことから、本研究では、「人々は祭りを地域の活性化に必要なものとして捉えている」という仮説を立てた。

また、地域祭りには地域の伝統を守り、人と人とのつながりを深めるという意義がある。

3:研究方法

人々の地域行事に対する意識や関心、また行きたいと思える祭りを明確にするため、以下の調査を行った。表1の内容に基づいたアンケート調査を実施した。

（対象）新潟県立国際情報高校　全校生徒

（期間）2025年12月17日から24日

| |
|---|
| 1 :学年を教えてください。 |
| 2:住んでいる地域を教えてください。 |
| 3: 2で回答した地域で祭りは行われていますか？ |
| 4: 3ではいを選んだ方へ　どのくらいの頻度で参加していますか？ |
| 5: 4の理由を教えてください |
| 6: 地域の方々と良い関係を築けていると思いますか？ |
| 7: どのような祭りに行きたいですか？ |

表1

また上記のアンケートを踏まえ、地域祭りについての文献調査を行った。「祭りの地域活性化の関係」「祭りとコミュニティーの形成」について文献調査をした。

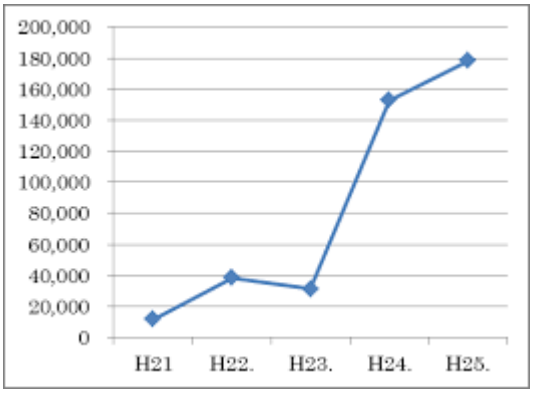
●地方祭礼が地域活性化に与える影響 ―四国の阿波おどりを事例として―

2019年　佐藤　正志

阿波おどりは四国で伝統行事として行われているが、単なる伝統的地方芸能ではなく、常に新しい様式を生み出してきた踊りであるとされている。この柔軟性が人々を惹きつける魅力となり、各地域で受け入れられている。

とりわけ発祥地である徳島県の阿波おどりは重要な観光資源となっており、踊りを目的に多くの観光客が訪れている。また、徳島の観光関係者は「阿波おどりが徳島発祥であることを広く知ってもらい、本場の踊りを見に来てもらいたい」と考えていると述べられている。

また、グラフ1からも分かるように、徳島県の経済は平成23年以降発展傾向にある。( 物産協会POSデータ,2013)




グラフ1　物産協会POS協会

●祭り・地域イベントへの参加が生み出す地域への向き合い方の変化についての予備的考察

2025年　渡部　薫

本研究は、祭りや地域イベントへの参加が、参加者の地域に対する意識や関わり方にどのような変化をもたらすのかを明らかにすることを目的としている。調査の結果、祭りや地域イベントに参加することで、地域への関心や愛着が高まる傾向が見られた。また、参加を通して地域住民同士の交流が増え、新たな人間関係が生まれることで、地域活動への参加意欲が向上する可能性も示された。

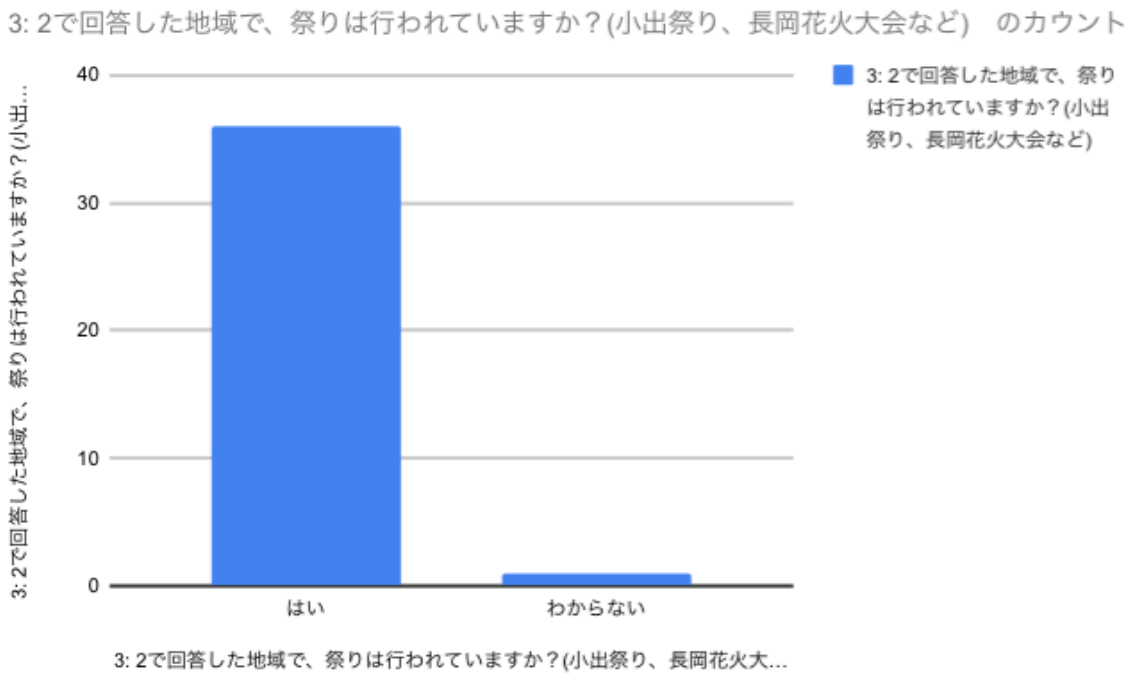
さらに、祭りは世代を超えた交流の場としての役割も果たしており、普段は関わる機会の少ない住民同士がつながるきっかけとなっていることがうかがえる。特に、単なる「見る側」としての参加よりも、「運営や準備に関わる参加」のほうが、地域との結びつきをより強めることが示唆されている。主体的に関わることで、自分が地域の一員であるという意識が高まり、地域社会への責任感や誇りの形成にもつながると考えられる。

4:研究結果

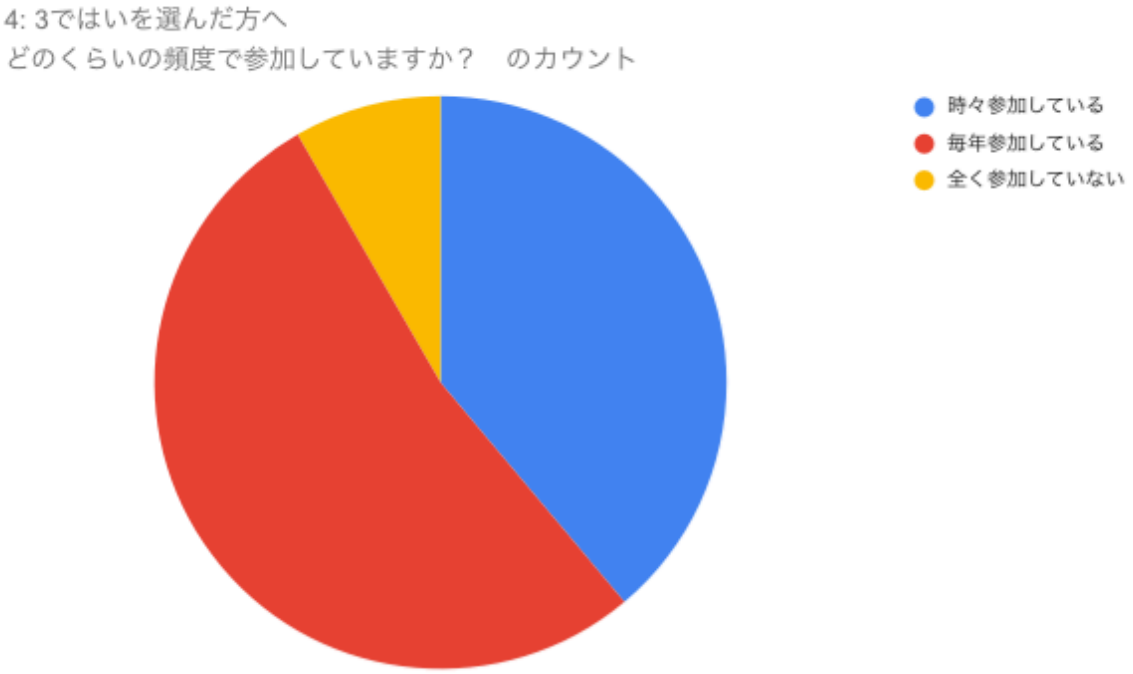
上記のアンケートを実施した結果、次のような傾向が見られた。

項目3「住んでいる地域で祭りが開催されているか」という質問では、「はい」と回答した人が多かった。しかし、全国的には祭りが衰退している地域も少なくないことから、具体的にどのような地域で祭りが衰退しているのかという新たな疑問が生じた。また、項目4・5の「祭りに行く頻度」「なぜその頻度で祭りに行くのか」という質問では、「毎年参加する」「屋台があるから」という回答が多く見られた。一方で、「全く行かない」「めんどくさいから」といった否定的な回答も一定数存在した。項目6「地域の人々と良い関係を築けていると思うか」という質問では、「どちらかというとそう思う」「どちらかというとそう思わない」という回答が多かった。この結果から、祭りに参加している人は多いものの、地域との関係について肯定的に言い切れる人は少ないことが分かる。最後に、項目7「どのような祭りに行きたいか」という質問では、「屋台がたくさんある祭り」や「規模が大きい祭り」という回答が多く、若者は内容や規模の充実した祭りを求めていることが明らかになった。

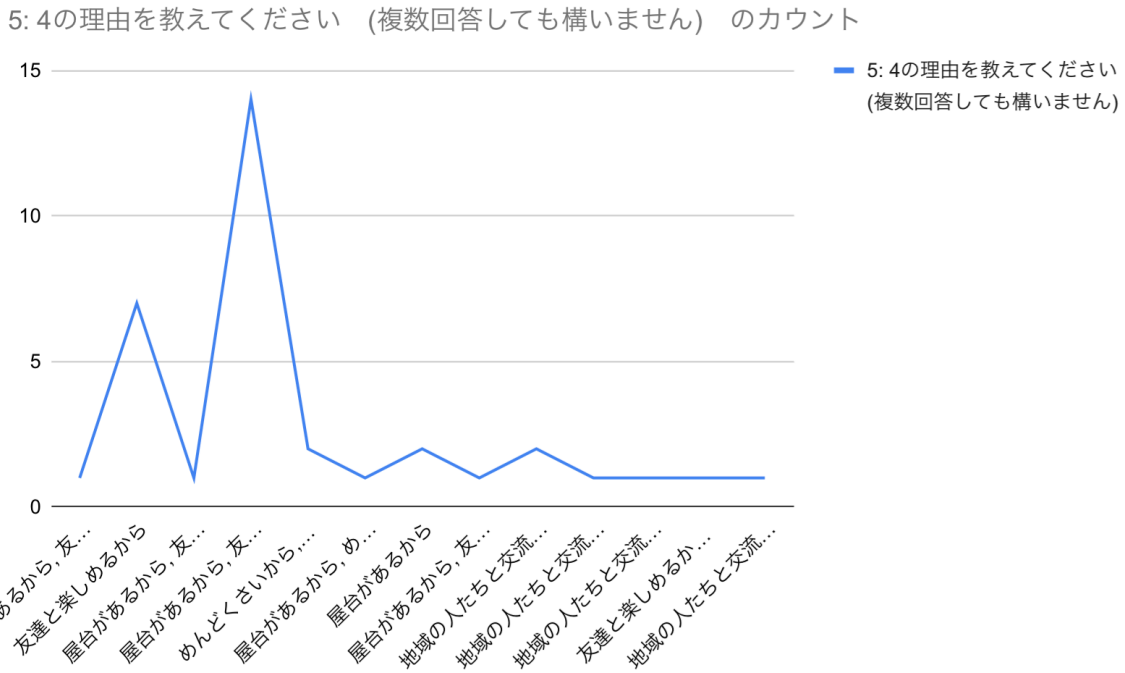
本調査より、地域祭りは現在も一定数開催され、若者の参加も見られる。しかし、その参加理由は娯楽的要素が中心であり、地域との結びつきを強める役割は十分とは言えない可能性が示唆された。



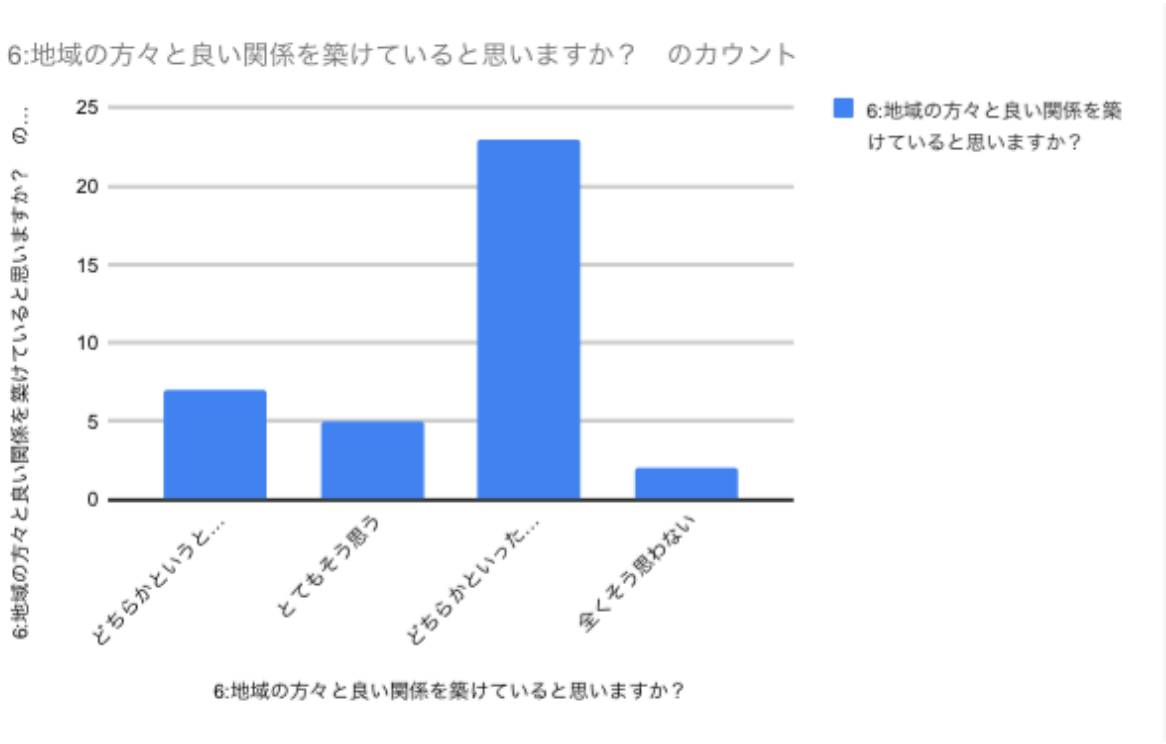

項目3


4: 3ではいを選んだ方へ
どのくらいの頻度で参加していますか？　のカウント
時々参加している
毎年参加している
全く参加していない

項目4


5: 4の理由を教えてください　(複数回答しても構いません)　のカウント
15
10
5
0
5: 4の理由を教えてください
(複数回答しても構いません)
ゴがあるから, 友...
友達と楽しめるから
屋台があるから, 友...
屋台があるから, 友...
めんどくさいから,...
屋台があるから, め...
屋台があるから
屋台があるから, 友...
地域の人たちと交流...
地域の人たちと交流...
地域の人たちと交流...
友達と楽しめるか...
地域の人たちと交流...

項目5




項目6

　また、文献調査の結果、「祭りと地域活性化の関係」については、徳島県の阿波おどりが地域経済に良い影響をもたらしていることが示されている。特に、祭り期間中には観光客の増加に伴い、宿泊業や飲食業、物産販売などの売上が伸びる傾向が見られ、地域経済の活性化に寄与していると考えられる。このことから、祭りは単なる伝統行事ではなく、地域に経済的効果をもたらす重要な観光資源である可能性が示唆された。

　さらに、「祭りとコミュニティ形成」についての研究では、祭りに参加したり運営に関わったりすることによって、地域への愛着や誇りが高まることが明らかにされている。また、準備や運営を通して地域住民同士の交流が増え、世代を超えたつながりが生まれることも指摘されている。このように、祭りは住民同士の結びつきを強め、地域コミュニティの維持や再構築に寄与する役割を果たしていると考えられる。

5:考察

　アンケートの結果から、祭りに参加することが必ずしも地域の人々への関心の向上につながっているわけではないことが分かった。また、祭りに行く主な目的として「屋台や食べ物」が多く挙げられ、地域活性化や伝統文化への関心よりも、娯楽としての側面が強いことが明らかになった。

　しかし、文献調査では異なる視点が示されている。「祭り・地域イベントへの参加が生み出す地域への向き合い方の変化についての予備的考察」では、祭りに参加するだけでなく、運営や準備などに主体的に関わることで地域への愛着や意識が高まる可能性が指摘されている。また、「地域民間芸能の観光資源化と地域復興 —四国の阿波おどりを事例として—」では、阿波おどりを目的として祭りに参加する人々の存在が示されており、屋台ではなく踊りや伝統文化そのものが参加動機となっている場合もあることが明らかになった。

これらの結果を踏まえると、本研究のリサーチクエッションに対する当初の仮説「人々は祭りを地域活性化に必要なものとして捉えている」は必ずしも十分に支持されたとは言えない。むしろ、調査を通して「人々は祭りを自分の興味や楽しみを満たす場として重要視している」という傾向が強いことが分かった。

例えば、新潟県国際情報高校の生徒は、屋台や食べ物への関心から毎年祭りに参加する傾向が見られた。一方で、踊りや音楽に興味を持つ人々は、それらを目的として地域の祭りに参加している。このことから、祭りは必ずしも「地域活性化」という大きな視点で捉えられているわけではなく、まずは個人の興味や楽しみが参加動機となっていることが示唆された。

しかし、文献が示すように、参加の仕方によっては地域への愛着や結びつきが強まる可能性がある。そのため、今後は娯楽としての側面を入口としながらも、より主体的な参加へとつなげる仕組みづくりが重要であると考えられる。

## 6：結論

本研究では、祭りが地域活性化やコミュニティ形成にどのような影響を与えているのかを明らかにすることを目的として、アンケート調査および文献調査を行った。

アンケートの結果から、祭りへの参加目的は屋台や食べ物などの娯楽的要素が中心であり、必ずしも地域活性化を意識して参加しているわけではないことが分かった。一方で、文献調査では、祭りが地域経済に良い影響を与える可能性や、参加・運営を通して地域への愛着や住民同士の結びつきが強まることが示されていた。これらの結果を総合すると、祭りは参加者にとっては主に「楽しみの場」であるが、その活動は結果として地域経済やコミュニティ形成に一定の役割を果たしていると考えられる。つまり、祭りは個人の興味や娯楽を入口としながらも、地域社会に多面的な影響を与える存在であると言える。

今後は、若者がより主体的に祭りの運営や企画に関わる仕組みを整えることで、地域への意識をさらに高め、持続可能な地域祭りの形成につなげていくことが課題である。

●参考文献

佐藤正志　(2019).「地域民間芸能の観光資源化と地域復興 —四国の阿波おどりを事例から—」.

https://cir.nii.ac.jp/crid/1050001202577204224

徳島県物産協会　(2013).「物産協会 POS データにみる平成 25 年度の阿波おどり期間について」.

https://tokushima-bussan.com/file/report/awaodori2013.pdf

渡邊　薫　(2025).「祭り・地域イベントへの参加が生み出す地域への向き合い方の変化についての予備的考察」.
https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900123045/S24364231-50-P056.pdf

ISFJ (国際社会福祉学会)  (2018).「花火大会の経済価値と運営改善」.
https://www.isfj.net/articles/2018/%E3%80%90%E5%9C%B0%E6%96%B9%E5%89%B5%E7%94%9F%E5%88%86%E7%A7%91%E4%BC%9A%E3%80%91%E3%80%90%E9%96%A2%E8%A5%BF%E5%AD%A6%E9%99%A2%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%80%91%E3%80%90%E4%B8%8A%E6%9D%91%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A%E3%80%91%E3%80%90%E5%A6%BB%E9%B3%A5%E5%B9%B9%E5%A4%A7%E3%80%91%EF%BC%88%E8%8A%B1%E7%81%AB%E5%A4%A7%E4%BC%9A%E3%81%AE%E7%B5%8C%E6%B8%88%E7%9A%84%E4%BE%A1%E5%80%A4%E3%81%A8%E9%81%8B%E5%96%B6%E6%94%B9%E5%96%84%EF%BC%89.pdf

広瀬　由依 (2013).「打ち上げ花火の魅力と花火大会の存続」.
https://www.arskiu.net/book/pdf/1400740591.pdf

森島　明日香 (2023).「祭りの工程への参加と地域愛着、世代交流との関係性」.
https://pub-files.atlas.jp/fs/public/annuconfcpij2023/ver_1/abstract/ja/202-g2906.pdf

柳下　祐徳　(2022).「都市部の祭りが抱える課題について」.
http://kosekizemi.net/ronbun/23Lyagishita.pdf

高秀　賢史　(2004).「来訪者からみた祭りの便益に関する比較分析」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalcpij/39.3/0/39.3_241/_article/-char/ja/

清水　健太　(2023).「祭りを通じた地域社会の担い手づくりの可能性」.
https://www.waseda.jp/fsss/iass/assets/uploads/2022/12/socio_vol29_04.pdf

小西 恵美　(2014).「伝統行事を通した地域コミュニティの形成」.
https://www.senshu-u.ac.jp/scapital/pdf/07konishi_jscs5.pdf

中村 太一　(2024).「祭り×地域活性化」.
https://www.jcrd.jp/publications/62966d63b7524277a488425882ce2037a644083f.pdf

王 倚竹　(2014).「地方都市における祭りの維持と地域社会」.

http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~chicho/nenpo/46/1.pdf

篠原　清夫　(2010).「社会調査の基礎」.放送大学教育振興会.

# SNS時代の地方観光の持続可能性

## ～観光客増加につながる効果的なSNS活用とは何か～

## 1.研究背景・目的

### 1. 1 日本における観光の現状

近年、過度な観光地化によって地域住民の生活環境や観光客の体験に悪影響を及ぼす「オーバーツーリズム」が深刻な社会課題となっている。特に世界文化遺産に登録された社寺を有する京都では、観光客の急増により公共交通機関の混雑が常態化し、市民の移動が困難になるほか、舞妓さんや芸妓さんを無断で撮影しようとするなど、一部観光客のマナー違反も問題となっている（朝日新聞SDGs ACTION!, 2024）。一方、自然・歴史・文化資源に恵まれた地方地域では、観光コンテンツの計画的な整備や発信力が不足しており、その魅力が十分に伝わっていない現状がある（自治体公共week,2024)。東京都では宿泊者の約6割が外国人となり、地元生活圏との共存が大きな課題になっている。一方で、地方にはまだまだ空室が目立ち、観光客が足を運んでいないエリアも少なくない。需要が都市部に集中することで、地域間の格差が拡大しているのが現状だ（株式会社TOCORO.）。

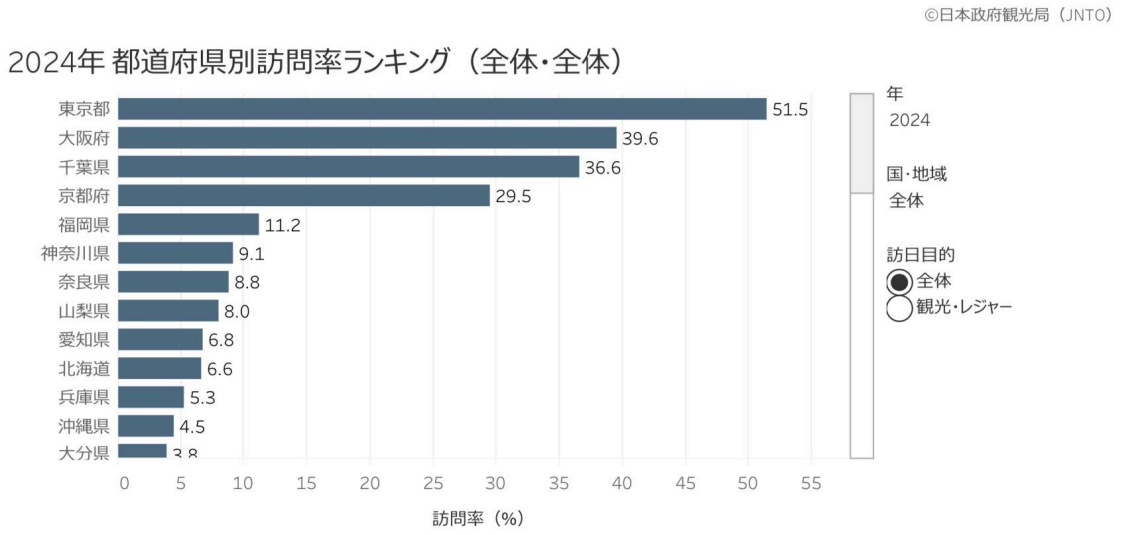



図1. 2024年における都道府県別訪問率ランキング（日本政府観光局より）

### 1.2 本研究の仮説

観光客が多い市町村ほど、行政が多くの情報発信に取り組んでいるため、観光客減少に悩む地域の行政は今まで以上に、大規模なSNS発信が必要である。

# **2.** 研究方法

**2.1** 本研究の構成と分析のアプローチ

SNSとは、Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略称である。インターネット上で利用者同士がプロフィールやリストを登録・公開し、相互にコミュニケーションやネットワークを構築・維持するためのサービスを示し、単純なインターネット検索とは異なる。今回の研究では、「SNS」の対象をInstagram、TikTok、Twitter、YouTube、Facebookとし 、LINEは除くこととする。

本研究では、「インターネット・文献調査」「事例研究（ケーススタディ）」「アンケート調査」の三つの手法を組み合わせて研究を行うことで、SNSが観光行動に与える影響と、それによる地域格差の現状について明らかにする。

**2.2** インターネット・文献調査を用いた現状分析

現代の観光マーケティングにおいて効果的なSNSの利用方法について調べる。

**2.3** 比較事例（ケーススタディ）の選定

SNS上の情報量と地域の観光実態を比較分析するため、性質の異なる二つの地域を対象としてケーススタディを行う。過剰観光の事例としては、富士山の写真や動画の拡散によって観光客が急増し、混雑やマナー違反などが社会問題化している「山梨県富士吉田市」を取り上げる。一方、地方観光の事例としては、独自の自然や文化的資源を有しながらも、集客が十分とは言えない私の地元「新潟県十日町市」を対象とする。これら二地域を比較することで、SNSが観光客の集中や分散に与える影響を多角的に分析する。

**2.4** アンケート調査による実態把握

本研究では、観光におけるSNS利用の実態を把握することを目的として、アンケート調査を実施する。

最終的には、これらの結果を基に、自治体や観光事業者が取り組むべき「地域魅力発信に有効な施策」について考察を行う。

# **3.** 結果・考察

<u>1インターネット・文献調査</u>

インターネット記事や先行研究を調査した結果、現代の観光マーケティングにおいては「すべての人に向けた発信」よりも、「来てほしい対象を明確にした発信」の方が高い効果を持つことが明らかになった。

成功している観光地の多くは、若年層、カップル、シニア層など、ターゲットを具体的に設定し、それぞれに合った体験価値を提示している。たとえば、若いカップルには写真映えするスポットや体験を、シニア層には落ち着いた文化的体験を提供することで、発信内容に一貫性が生まれ、結果として集客効率が向上している。

また、近年の観光集客ではSNSの影響力が非常に大きく、特に観光客自身が投稿する写真や動画、いわゆるUGC（ユーザー生成コンテンツ）が広告以上の効果を持つことが指摘されている。実際の旅行者による投稿は、リアルで信頼性が高く、第三者の口コミとして拡散されやすい特徴がある。

このため、多くの自治体や観光地では、ハッシュタグキャンペーンやフォトコンテストを実施し、UGCの創出を促進している。テーマ性のあるハッシュタグを設定することで、観光地の魅力が「観光客の声」として自然に広がっていく仕組みが作られている。

さらに、SNSはプラットフォームごとに特性が異なる。Instagramは、写真映えを重視した観光地や宿泊施設の魅力発信に適しており、ストーリーズやリールを通じて旅行前の期待感を高めることができる。TikTokは、Z世代へのアプローチに有効で、短くテンポの良い動画によって体験の楽しさを直感的に伝えられる。YouTubeは、地域

の文化や歴史を深く伝える長尺動画に向いており、X（旧Twitter）は、速報性と拡散力を活かしたイベント告知やリアルタイム情報の発信に強みを持つ。

以上の調査結果から、現代の観光集客においてSNSは「補助的な手段」ではなく、「中核となるマーケティングツール」であると考えられる。特に、観光地側が一方的に魅力を発信するのではなく、観光客が「写真を撮りたくなる」「共有したくなる」仕掛けを用意し、その投稿を拡散につなげる仕組みが重要である。

近年、Z世代を中心に自然豊かな場所で心身をリフレッシュし、その体験をSNSで共有する「自然界隈」と呼ばれる動きが広がっている。これは、浅草や鎌倉といった有名観光地の混雑を避けつつ、遠すぎず、過度に観光地化されていない「ちょうどよい非日常」を求める若者の価値観を反映したものだと考えられる。

その具体例として、東京都調布市にある深大寺が挙げられる。テレビやSNSで紹介されたことをきっかけに、若者の来訪が急増し、近年では「原宿化している」と表現されるほど注目を集めている。この事例から、若者の自然志向という社会的トレンドを的確に捉え、ターゲットをZ世代に設定したことが、集客成功の要因の一つであると考えられる。

したがって、今後の観光地戦略においては、流行しているムーブメントを踏まえたうえで、「誰に来てほしいのか」を明確に定め、その層に響く体験とSNS発信を設計することが不可欠である。若者の自然志向を活かし、UGCを促進する施策は、持続可能な観光集客につながる可能性が高いと言える。

## 2 比較事例（ケーススタディ）調査

【十日町市と富士吉田市の比較分析】
以下は、オーバーツーリズムが問題視されている山梨県富士吉田市と、観光客減少に悩む新潟県十日町市を比較、分析し表にまとめたものである。

| 比較項目 | 富士吉田市 | 十日町市 |
|---|---|---|
| 人口（R8.1末） | 45,833人 | 45,907人 |
| 観光客数/月（R7.7） | 252,755人 | 61,872人 |
| ふるさと納税額（R5） | 101.2億円 | 10.2億円 |
| 東京からのアクセスと所要時間 | 鉄道　2~2.5h<br>直通列車　約2h<br>直通高速バス　約2h | 新幹線＋在来線　2~2.5h<br>自動車　約4h |
| 主な観光資源 | 富士山<br>富士急ハイランド | 自然景観、雪、地域文化など複合的 |
| SNS投稿の特徴 | 定番構図の写真多数 | 投稿内容が分散している |
| 拡散力（バズ） | 非常に高い | 低い |
| 行政が運営するSNSのフォロワー数<br>（R8.2時点） | Instagram　5,659人<br>X　5,720人<br>YouTube　1,420人 | Instagram　5,565人<br>X　13,937人<br>YouTube　1,220人 |
| ハッシュタグ数<br>（R8.1時点） | Instagram 13.7万件<br>TikTok 1973件 | Instagram 16.5万件<br>TikTok 1198件 |

| 比較項目 | 富士吉田市 | 十日町市 |
|---|---|---|
| 人口（R8.1末） | 45,833人 | 45,907人 |
| 観光客数/月（R7.7） | 252,755人 | 61,872人 |
| ふるさと納税額（R5） | 101.2億円 | 10.2億円 |
| 東京からのアクセスと<br>所要時間 | 鉄道　　2~2.5h<br>直通列車　約2h<br>直通高速バス　約2h | 新幹線＋在来線　2~2.5h<br>自動車　　約4h |
| | YouTube 1873件 | YouTube 2290件 |
| 観光行動の主な目的 | 写真撮影、象徴的景観の鑑賞 | 自然体験、滞在型観光 |
| 観光による課題 | 混雑、外国人マナー問題 | 認知度不足、集客不足 |
| 季節・アクセス | 通年安定 | 冬季は豪雪による制約有 |

SNS上の投稿を分析すると、TikTokやInstagram、YouTubeなどのSNS上では、両地域ともに絶景スポットの紹介や観光情報の投稿が一定数存在している。特にハッシュタグ数に注目すると、十日町市は富士吉田市と比べて大きな差は見られず、場合によっては十日町市の方が多いことも確認できる。このことから、地域について発信している利用者は一定数存在していると考えられる。しかし、両市は人口規模において大きな差がないにもかかわらず、観光客数やふるさと納税の受入額といった実数においては、富士吉田市が十日町市を大きく上回るという顕著な格差が生じている。

この要因の一つとして、投稿内容の「拡散力」の違いが考えられる。富士吉田市では、富士山という誰もが一目で認識できる象徴的な観光資源が存在し、写真や動画が「映える」だけでなく、模倣されやすい構図としてSNS上で急速に拡散されている。これらの点から、投稿内容やハッシュタグの使い方、発信のタイミングなど、SNSの運用方法に課題がある可能性がある。

また、富士吉田市については、市名を前面に出した投稿が少ないという特徴が見られた。この理由として、富士吉田市そのものを目的地として訪れる観光客よりも、「富士山が見える町」として認識され、周辺地域の一部として消費されていることが影響していると考えられる。つまり、観光客の関心は自治体名よりも、象徴的な景観やイメージに向けられており、それがSNS上の投稿内容にも反映されているといえる。

【十日町市の現状】

十日町市の観光入込客数は、コロナ禍以降大きく変動している。

日本人観光客数は、令和2年度に大きく落ち込んだ後、令和4年度には回復傾向が見られたものの、令和5年度には再び前年を下回り、完全な回復には至っていない。一方、外国人観光客数は、令和4年度以降大幅に増加しており、インバウンド需要の回復が顕著であることが分かる。

図2について、目的別に見ると、温泉や産業観光、自然景観といった従来型の観光資源は比較的安定した入込数を維持している。一方で、「まつり・イベント」は年度による変動が非常に大きく、特定の大型イベントの開催有無が集客数に大きな影響を与えていることが読み取れる。特に令和4年度は、イベント開催により入込客数が急増しており、イベント型観光の集客力の高さがうかがえる。

また、自然景観や登山・キャンプ・ハイキングといったアウトドア系の観光は、コロナ禍以降一定の需要を保っており、自然を求める観光客層の存在が確認できる。これは近年の若年層を中心とした「自然志向」の高まりとも一致している。

しかし、全体として見ると、観光入込客数は依然としてコロナ前（平成30年度）の水準には戻っておらず、十日町市の観光は回復途上にあるといえる。そのため、今後は従来の観光資源を活かしつつ、どの層を主なターゲットとするのかを明確にした戦略的な情報発信が求められる。

十日町市には、富士山のように全国的に認知された絶対的観光資源が存在しないことが、観光客が集まりにくい一因であると考えられる。また、豪雪地帯であるという地理的特性から、アクセスの悪さや移動の不便さが観光のハードルとなっている。
しかし一方で、この「雪」は本来、他地域にはない貴重な観光資源でもある。現状では、その魅力が十分に発信・活用されておらず、SNS上でも雪国ならではの体験価値が効果的に伝えられていない点が課題である。

**4. 目的別 観光客入込数の推移**

| 観光地点名 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 令和2年度 | | 令和1年度 | | 平成30年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 |
| 温泉 | 564,737 | 97.0% | 582,266 | 114.4% | 509,037 | 111.4% | 456,885 | 66.6% | 686,375 | 88.0% | 780,377 | 99.1% |
| 産業観光 | 527,725 | 102.5% | 515,085 | 122.4% | 420,720 | 106.2% | 396,034 | 75.3% | 526,048 | 88.4% | 595,153 | 108.9% |
| まつり・イベント | 119,915 | 18.4% | 650,008 | 19841.5% | 3,276 | 56.1% | 5,844 | 3.3% | 177,368 | 22.0% | 804,966 | 265.8% |
| 文化施設 | 478,428 | 140.4% | 340,709 | 294.9% | 115,551 | 49.7% | 232,486 | 103.6% | 224,410 | 67.3% | 333,469 | 197.2% |
| 自然景観 | 418,973 | 105.0% | 398,835 | 131.4% | 303,464 | 93.7% | 323,972 | 71.1% | 455,925 | 162.9% | 279,961 | 184.8% |
| スキー | 44,339 | 109.6% | 40,443 | 100.4% | 40,297 | 129.9% | 31,011 | 152.2% | 20,371 | 47.7% | 42,663 | 93.3% |
| 名所・旧跡 | 2,081 | 99.5% | 2,092 | 83.0% | 2,520 | 420.0% | 600 | 240.0% | 250 | 3.5% | 7,085 | 93.3% |
| 登山・キャンプ・ハイキング | 12,209 | 108.2% | 11,282 | 642.8% | 1,755 | 131.9% | 1,331 | 83.0% | 1,604 | 22.9% | 7,009 | 155.4% |
| その他レクリエーション施設 | 71,647 | 100.3% | 71,437 | 111.8% | 63,919 | 101.3% | 63,106 | 93.7% | 67,384 | 33.6% | 200,603 | 102.8% |
| 宿泊施設 | 214,992 | 100.7% | 213,438 | 117.5% | 181,708 | 117.6% | 154,539 | 64.2% | 240,579 | - | - | - |
| 計 | 2,455,046 | 86.9% | 2,825,595 | 172.1% | 1,642,247 | 98.6% | 1,665,808 | 69.4% | 2,400,314 | 78.7% | 3,051,286 | 138.1% |

※平成30年度の宿泊施設欄は、一部施設で日帰りと宿泊の区別無いデータだったため、記載しておりません

図2. 十日町市の観光客数推移（十日町市観光協会hpより）

また、図3より日本人・外国人別の集客数を見てみると、「大地の芸術祭」が開催された平成30年、令和4年は日本人観光客が急激に増加していることがわかる。一方で、外国人観光客に焦点を当てると、開催の有無による客数の変動はほとんど見られない。
このことから、同芸術祭は日本人に対しては強い誘客効果を持つものの、外国人観光客にとっては訪問の主要な動機になっていないと判断できる。

**3. 日本人・外国人入込数集計**

| R5.4～R6.3月 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 令和2年度 | | 令和1年度 | | 平成30年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 | 入込数 | 前年比較 |
| 日本人 | 2,395,712 | 86.4% | 2,771,599 | 169.2% | 1,638,106 | 98.5% | 1,662,767 | 69.9% | 2,379,716 | - | 3,042,951 | - |
| 外国人 | 59,334 | 109.9% | 53,996 | 1303.9% | 4,141 | 136.2% | 3,041 | 14.8% | 20,598 | - | 8,335 | - |
| 計 | 2,455,046 | 86.9% | 2,825,595 | 172.1% | 1,642,247 | 98.6% | 1,665,808 | 69.4% | 2,400,314 | 78.7% | 3,051,286 | 138.1% |

特記事項
・令和2年1月、国内コロナ感染者確認
・平成30年、令和4年に大地の芸術祭開催された
・平成30年度は、日本人・外国人別集計を行っていないため記載しておりません

図3. 十日町市の日本人、外国人入込集計（十日町市観光協会hpより引用）

【富士吉田市の現状】

富士吉田市は、世界的に知名度の高い富士山を背景に、国内外から多くの観光客を集める観光地である。東京から約2時間という所要時間で高いアクセス性に加え、高速バスや直通列車など交通手段が充実しており、日帰り観光や短期旅行の目的地として選ばれやすい。また、山梨県内の市町村で第一位の観光客数を誇る。

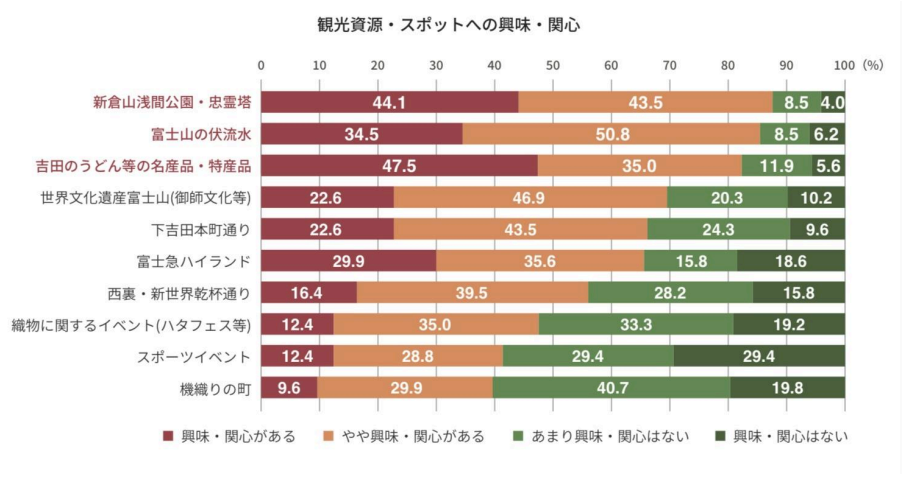
観光の特徴として、自然景観の価値が非常に高く、富士山を望む街並みや神社、周辺の自然環境が写真・動画映えする観光資源として機能している。これらの風景は、SNS上で頻繁に共有され、観光地としての認知拡大に大きく寄与している。

特に近年では、若者や訪日外国人観光客によるSNS投稿が急増しており、「富士山×日常風景」という独自性のあるコンテンツが拡散されている。観光客自身が撮影・投稿した写真や動画がUGCとして機能し、広告に頼らずとも観光地の魅力が広がる好循環が生まれている。

また、富士吉田市では、特定の観光スポットだけでなく、街全体が「撮影対象」となっている点も特徴的である。これにより観光客は回遊しながら滞在時間を延ばし、地域全体の活性化につながっていると考えられる。

このように富士吉田市は、強力な自然資源、優れたアクセス性、そしてSNSとの高い親和性を背景に、安定した集客を実現している観光地であると言える。

また図4より多くの観光資源が存在し、興味・関心が集められていることがわかる。




▲図4 富士吉田市の観光資源・スポットへの興味・関心

各市町村へのインタビューの結果

| 質問事項 | 十日町市役所観光交流課<br>十日町市観光協会 | 富士吉田市在住叔母<br>（観光業経営） |
|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| 1. 観光客の増減について<br><br>特に増えたまたは減ったと感じる時期や、よく見かける年代・国籍の変化はありますか？ | 大地の芸術祭トリエンナーレ、きものまつり、おおまつり、生誕地まつり、雪まつりなど、大規模イベント時に増える傾向。<br><br><u>よく見かける層</u><br><br>・東アジア圏（台湾、中国、香港、韓国） | 2013年富士山が世界文化遺産に登録されて以降急増。<br><br>コロナ後、世界遺産＋円安＋SNSが重なり、再急増。<br><br><u>よく見かける層</u><br><br>・欧米<br><br>・オーストラリア<br><br>・富裕層・長期滞在者 |
| 2. SNSの影響について<br><br>SNSの影響で、急に人が増えたり話題になったりした場所はありますか？ | ・清津峡渓谷トンネル<br>「Tunnel of Light」<br>（R5 入坑者32万人）<br><br>・松之山温泉鷹の湯<br><br>・星峠の棚田<br><br>→いずれもSNSで拡散され話題に。 | •本町通り（富士山とレトロな街並み）<br><br>•踏切×富士山が見えるスポット<br><br>•金鳥居周辺<br><br>•新倉山浅間公園（忠霊塔）<br><br>→TikTok・Instagram Reelsで拡散 |
| 3. 観光客増加によるメリットについて<br><br>地域が活気づいた、経済的に助かったなど、ポジティブな変化はありますか？ | ・地元経済に貢献。<br><br>・来訪者との交流により、市民が活気づく。<br><br>・ふるさと納税や寄付金により市の財政安定。 | ・周辺施設・店舗の売上向上。<br><br>・宿泊施設の“質”が上がった。<br><br>・空き家・空き店舗の活用が進んだ。 |
| 4. 観光客増加によるデメリットについて<br><br>混雑、マナー、騒音、ゴミ問題など、生活面での不安や不便はありますか？ | ・人気観光地で見られるような「オーバーツーリズム」は現段階で見受けられない。<br><br>・地元住民の生活圏と隣接する地域での一部来訪者によるマナー違反<br><br>・冬期間の軽装備車両での移動によるスタック | •SNS映えを目的に、生活道路や住宅地に人が集中<br><br>•路上駐車<br><br>•私有地への無断立ち入り<br><br>•踏切・車道での立ち止まり<br><br>→早朝・深夜でも撮影が行われ、騒音・ゴミ問題につながっている。特に中国人は一般市民の庭に入り込んで撮影することも。 |

| | | |
|---|---|---|
| 5. 受け入れ態勢について<br><br>現在の駐車場・トイレなどの設備で、観光客を十分に迎えられていると思いますか？ | ○平時においては、特に要望などの報告はない。<br><br>誘客イベント開催時には、臨時駐車場の確保や仮設トイレの設置などの対応を取っている。 | ○十分とは言えない、というのが正直な状況。<br><br>駐車場・トイレともに観光客数に対して不足していて、観光用に整備されていない場所へ人が流れやすい。多言語案内や誘導サインもまだ限定的である。 |
| 6. 地域の隠れた魅力について<br><br>観光客にはまだ知られていないけれど、もっと自慢したい「地元の宝」は何ですか？ | ・雪の恵みを存分に味わう「雪国ガストロノミー」<br><br>・雪国ならではの食文化を復活させた「雪見御膳」<br><br>・15倍の温泉成分を含む日本三大薬湯「松之山温泉」<br><br>・アートの原点「きもの文化」と「縄文文化」の体験 | ・富士信仰・織物の町としての歴史 |
| 7. SNS活用の可能性について<br><br>SNSを使って、地域の魅力を発信することに賛成ですか？また、期待することはありますか？ | SNS活用は不可欠。<br><br>SNSは他に比べ、心理的な距離が近く、人の温度感を届けることのできる発信媒体として、その活用は観光新興の重要な要素だと思う。 | SNS活用には賛成。<br><br>世界に向けて魅力を発信できることや、小さな店・地域にもチャンスが生まれること、また若い世代・インバウンドに届きやすいことなどに期待している |
| 8. 理想の観光の形について<br><br>「こんな観光地になってほしい」という、理想の姿を教えてください。 | ○雪国ならではの暮らしや文化が残る街<br><br>○クリエイティブな感性を育む街<br><br>○訪れる人にとって「何度でも訪れたくなる特別な雪国」として認識されている観光地<br><br>○縄文から続くサステナビリティ<br><br>十日町市に共感する人々が世界から訪れ、十日町市の「人」に会いに来ることにより、「本当の豊かな暮らしができる街」になることを、観光地域づくりが目指すイメージ（ブランドビジョン）としている。 | ○写真だけ撮って帰る場所ではなく泊まって、感じて、理解してもらえる街<br><br>○観光と生活が無理なく共存する<br><br>○四季・時間帯・エリアを分散した観光<br><br>○地元の人が誇りを持てる観光地<br><br>○日本人が働いて活躍できる街<br><br>労働者も、ネパールやインドなどの外国人が増えているが、できればにしたい。英語が無理なく伝わる環境やシステムをどんどん導入してみたい。空き家を活用して負担を価値に変えたい。 |

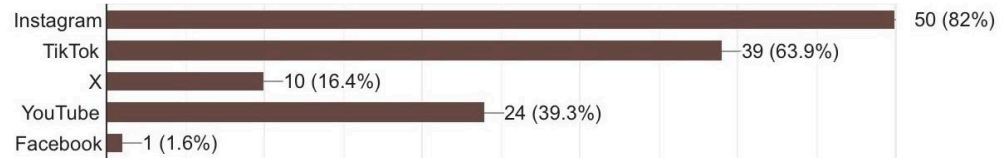
3 アンケート調査

アンケートは市内周辺に住む普段からSNSを利用する10代～60代の男女60人に対して行った。観光情報収集において活用するSNSの種類、SNS上で「訪れてみたい」と感じたコンテンツの特徴などの調査項目を設定する。

さらに、実際にSNS情報をきっかけとして訪問した場所の有無を調査し、投稿内容が行動変容に与える影響を分析する。

【質問1】

観光に関して情報を得る主なSNSを教えてください。（複数選択可）



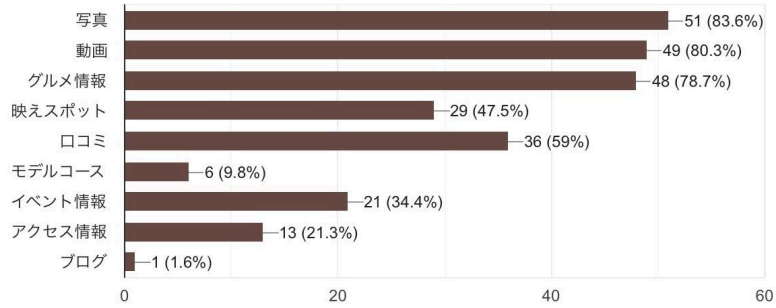

▲グラフ1 観光の情報収集の際に利用するSNS

グラフ1より、観光に関して情報を得る主なSNSは圧倒的にInstagramが多く、次いでTikTokとなっていることがわかった。

反対にFaceBookを利用するという人は全体の1%程度にしかすぎないということが分かった。

【質問2】

具体的にどのようなコンテンツを活用しますか。(複数選択可)



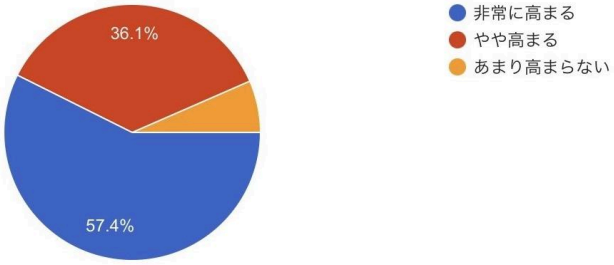

▲グラフ2 観光地選択の際に参考にする(したい)と思うコンテンツ

グラフ2を見ると、グラフ1とは異なり顕著な差は見られなかったが、写真・動画・グルメ情報などが上位を占めていた。

また、モデルコースが全体の10%に満たないということが明らかになった。

【質問3】

SNSの投稿（写真・動画・レビュー）を見て観光地に行く可能性はどれくらい高まりますか。

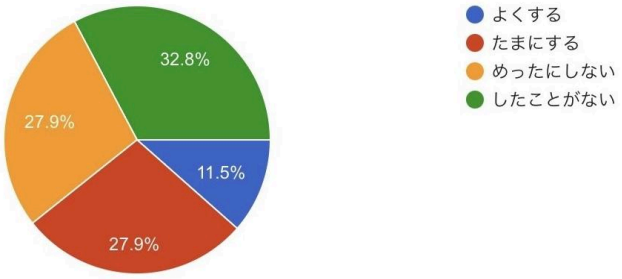



▲グラフ3 SNSの投稿を見てその観光地に訪れる可能性

質問3の結果、全体の半数以上が非常に高まると回答している。しかし、6%の人々はあまり高まらないという回答だった。
全ての人の関心が高まるわけではないということが明らかになった。

【質問4】

自分からSNSで観光地の発信をすることはありますか。（ストーリー投稿など）




▲グラフ4 自分自身で情報発信することがあるか

質問4の結果、全体の7割程度が発信したことがあるとわかった。また、そのうちの4割程度は頻繁または時折、情報を発信していることも明らかになった。
このことから、自分自身が発信の担い手となり、身近な友達や知り合いにも十分情報を伝達することが可能だと考えられる。

## 4 結論・展望

本研究では、SNS時代における地方観光の持続可能性について、「行政が積極的にSNSで発信することが観光客増加につながるのではないか」という仮説を立て、十日町市と富士吉田市の比較を通して検討した。その結果、当初の仮説は必ずしも正しくないことが明らかになった。実際には、SNSのフォロワー数や投稿の積極性は十日町市の方が高いにもかかわらず、観光客数やふるさと納税額には大きな差が見られた。

この比較から、観光客増加において重要なのは「行政の発信量」そのものではなく、「実際に訪れた人にしかわからない口コミ」、そして「どの層にどのように届けているか」であると考えられる。特に富士吉田市では、観光客自

身が撮影した写真や動画がSNS上で拡散され、それを見た人が新たに訪れるという循環が生まれている。いわゆるユーザー生成コンテンツ（UGC）が継続的な集客を支える大きな要因となっているといえる。

また、アンケート結果から、現代の若者はInstagramやTikTokを主に利用していることが分かった。このことから、今後の地方観光では、若年層をターゲットにこれらのプラットフォームを中心とした発信戦略を構築することが有効であると考えられる。特に、自然や風景を活かした写真・動画は拡散されやすく、近年の「自然志向」の若者の傾向とも一致している。

十日町市の代表的な観光資源である「大地の芸術祭」は国内外から一定の評価を得ているが、今後はどの層の観光客を主なターゲットとするのかを明確にした上で、より外国人観光客を意識した多言語対応や、地域の暮らしや自然と結びつけたストーリー性のある発信を強化することが求められる。特に、現代アートに関心を持つ若年層や海外の文化志向の旅行者など、具体的な対象を想定した情報設計が重要である。また、行政が一方的に情報を発信するのではなく、観光客が思わず投稿したくなる体験や空間づくりを進めることで、観光客自身が情報発信の担い手となる仕組みを整えることが重要である。

一方で、富士吉田市の事例からは、SNSによる集客が観光客の集中や住民負担といった課題を生む可能性も示された。したがって、観光客数の増加のみを目的とするのではなく、観光客の分散や滞在型観光の促進など、地域住民と観光が共存できる形を目指すことが、持続可能な観光の実現につながる。

以上より、地方観光の持続可能性を高めるためには、行政主導の発信だけに依存するのではなく、ターゲットを明確にした上で、観光客自身を巻き込むSNS戦略を構築することが不可欠であると結論づけられる。今後は、外国人観光客の具体的ニーズの把握やSNS施策の効果を数値的に検証することで、より実効性の高い観光政策の提案が可能になると考えられる。

## 引用文献・参考文献


・堀野正人•遠藤英樹•寺岡伸悟 (2014).『観光メディア論』. ナカニシヤ出版.

・香坂玲 (2012).『地域再生-逆境から生まれる新たな試み』. 岩波ブックレット.

・草野真一 (2015).『SNSって面白いの？何が便利で何が怖いのか』.ブルーバックス.

・白戸圭一 (2021).『はじめてのニュースリテラシー』.ちくまプリマー新書.

・森達也 (2014).『たった一つの「真実」なんてない メディアは何を伝えているのか』.
ちくまプリマー新書

・渡辺隼矢 (2018).『写真付きSNS投稿データから見た観光地への関心の時系列変化』.
『2018年度日本地理学会春季学術大会』.

・栗原美紀 (2016).「観光対象選択におけるSNSの役割ー台湾・九份を事例としてー」.
『年報社会学論集』, 29, 128-139.

・公益財団法人日本交通公社 (2024).「国内旅行におけるSNS・写真に対する意識／実態〜JTBF旅行実態調査トピックス〜」.
https://www.jtb.or.jp/research/statistics-tourist-statistics-tourist-sns-pictures2022/ .2026年12月.

・Kolr (2025).「観光マーケティングとは？SNSで有名になった観光地や成功させるポイントを解説」.
https://www.kolr.ai/jp/info/tourism-marketing/ 2026年1月.

・富士吉田市 (2023).「富士吉田市-観光推進計画」.
https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/uploaded/attachment/5477.pdf . 2026年2月.

・(一社)十日町市観光協会 (2024).「令和5年度 3月入込のまとめ」.
https://www.tokamachishikankou.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/2e983c65f680e368355f7258c0a764df.pdf
.2026年2月.

・街グラフ.「日本全国のデータを可視化 市町村別の人口推移、ふるさと納税、観光客、平均年収」
https://machi-graph.com .2026年2月.

・@DIME.「Z世代を中心に若い世代の半数以上が「国内旅行」を好む傾向」.
https://dime.jp/genre/2033070/#google_vignette .2026年2月.

・SNS SCHOOL (2025).「2025年最新 観光SNS成功事例｜インスタからXまで全媒体解説」.
https://snsschool.net/2025/10/17/sightseeing_sns_success/ . 2026年2月.

・Digmedia (2025).「自然界隈とは？原宿化する観光地と若者トレンドの関係を探る」.
https://digmee.jp/article/311819 . 2026年2月.

・リゾLAB (2025).「SNSの成功事例10選｜観光業界や自治体の効果的なSNS活用法を解説」.
https://www.resort-lab.com/n/n9a40154404f9 . 2026年2月.

・東京観光NET (2025).「SNS時代における観光地域づくりに有効な、市場の構造に沿った「ブランディング」」.
https://www.tokyo-tourism.net/casestudy/2555/ . 2026年2月.

# 障害を持つ子どもと持たない子どもが共に教育を受ける方法について

## １．研究背景・目的

### **1.1** インクルーシブ教育実現に向けた具体的方策の検討

近年、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学ぶことを目指すインクルーシブ教育の重要性が高まっている。(青山新悟,2025)その一環として、特別支援学校と地域の学校との学校間交流は、障害をもつ子どもと障害をもたない子どもが相互理解を深めるための重要な機会と位置づけられている。

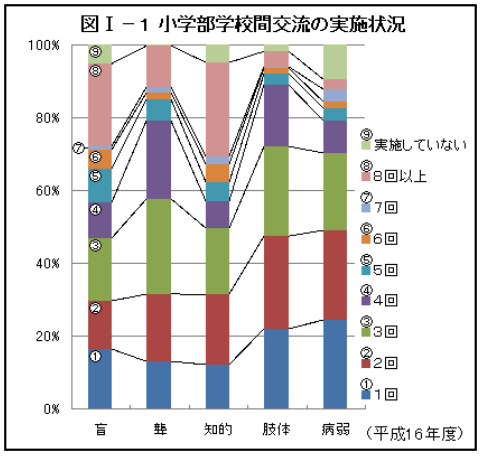
図Ⅰ−1は小学部、図Ⅰ−3は中学部における学校間交流の実施状況を障害種別ごとに示したものである。これらの図から、小学部・中学部ともに交流を「実施していない」とする割合が一定数存在しており、すべての学校で交流が定着しているとは言えない現状が明らかである。

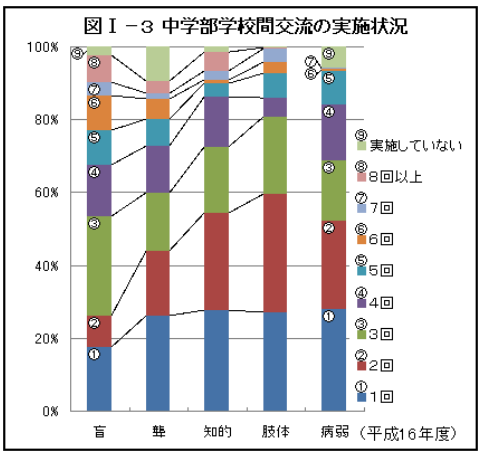
また、交流を実施している場合でも、その回数にはばらつきが見られる。(文部科学省, 2005)小学部では比較的低回数の交流が多く、中学部においては交流回数が増加する傾向が見られるものの、障害種別によって実施状況に差があることが読み取れる。これらの結果から、学校段階や障害の特性によって、共に学ぶ機会の質や量が大きく異なっていることが示唆される。

このように、学校間交流は実施されているものの、その頻度や継続性、内容には課題が残されており、障害をもつ子どもと障害をもたない子どもが日常的に共に教育を受ける環境が十分に整っているとは言い難い状況にある。(文部科学省,2005)

本研究の目的は、図Ⅰ−1および図Ⅰ−3に示される小学部・中学部における学校間交流の実施状況を踏まえ、障害をもつ子どもと障害をもたない子どもが共に教育を受けるための方法について探究することである。

特に、学校段階や障害種別によって交流の実施回数や状況に差が生じている要因に着目し、より継続的で実質的な学びにつながる交流の在り方を明らかにすることを目的とする。これにより、学校間交流を通して、すべての子どもが相互に理解し、共に学び合える教育環境の実現に向けた示唆を得ることを目指す。




## 2. 研究方法

### 2.1 既存資料の分析

文部科学省や各学校・自治体が公表している学校間交流に関する統計資料を用い、小学部および中学部における学校間交流の実施状況を分析する。特に、図Ⅰ-1（小学部）および図Ⅰ-3（中学部）のデータをもとに、学校段階別・障害種別ごとの交流実施回数や「実施していない」割合の違いを整理する。この分析により、交流が十分に行われていない学校段階や障害種別の特徴を把握する。

### 2.2 学校段階別・障害種別の比較分析

小学部と中学部の交流状況を比較し、発達段階の違いが交流の頻度や内容に与える影響を検討する。また、障害種別ごとの交流状況を比較することで、障害特性や教育的配慮の違いが交流の実施状況に与える影響を考察する。

### 2.3 特別支援教育サポートセンターへのインタビュー調査

地域の特別支援教育サポートセンターを対象に半構造化インタビューを実施する。サポートセンターは、複数校の特別支援教育や学校間交流を支援する立場にあり、現場の教員よりも幅広い視点で交流の課題や成功事例を把握している。

インタビュー対象は、サポートセンターで学校間交流や特別支援教育のコーディネートに関わる担当者1～2名程度とする。

しかし、対象機関に対して依頼文書を送付したものの、本研究期間内には回答を得ることができなかった。そのため、当初予定していた質的データの収集は実施できず、分析は既存資料および先行研究を中心とした検討にとどまった。

### 2.4 分析の統合と考察

量的分析から明らかになった交流実施状況の傾向と、サポートセンターへのインタビューから得られた現場の調整・支援の実態を統合的に分析する。これにより、学校段階や障害種別によって交流の実施回数や内容に差が生じるか要因を多角的に検討する。

**2.5** 継続的で実質的な交流の在り方の検討

分析結果をもとに、障害をもつ子どもと障害をもたない子どもが共に学び合える、継続的かつ実質的な学校間交流の在り方について検討する。特に、センターによる支援・調整の役割、教員間の連携、活動内容の工夫などの観点から、交流を効果的に実施する条件を整理する。

## 3. 研究結果

**3.1** 小学部・中学部における交流の実施状況

図Ⅰ−1および図Ⅰ−3の分析から、小学部・中学部ともに一定数の学校で学校間交流が「実施されていない」という回答が確認された。特に小学部では、障害種別によって未実施校の割合が比較的高く、交流が定着しているとは言い難い状況であった。さらに、交流を実施している学校でも「1〜2回」といった低頻度の交流が多い傾向が見られた。

中学部では比較的交流回数が多い傾向が確認されたものの、障害種別による実施状況の差は依然として持続しており、障害の特性や教育的ニーズに応じた交流の実施体制が十分とは言えない結果が得られた。

この結果は、単なる交流機会の提供がインクルーシブ教育の理念の実現には十分でないことを指摘した先行研究とも一致する。研究によれば、交流や共同学習は障害のある児童とない児童の相互理解や社会性の向上に資する一方で、教員の負担増や教育課程上の制約といった課題も内包していると指摘されている。(半澤嘉博,2025)

**3.2** 学校段階と障害種別による比較

小学部と中学部を比較した結果、中学部での交流回数の方が多い傾向がみられた。これは生徒の発達段階や学習内容との結び付きが強く、より計画的に交流活動を組み込める可能性があるためと考えられる。

しかし、障害種別によるばらつきが継続していることも確認された。この点は、交流が障害の特性に応じた支援体制や合理的配慮を前提としていないと十分に機能しないことを示唆しており、先行研究でも教職員の資質や支援体制の整備が重要であると報告されている。

**3.3** 交流の質と持続性に関する議論

本研究の分析結果から、学校間交流は量的には存在するものの質的な展開が限定的である点が課題として浮き彫りになった。

交流活動が単発的なイベントとして終わってしまうケースが多い背景には、年間計画として交流を位置づける仕組みが不足していること、教員間の連携・準備・振り返りの時間が確保されていないことなどが含まれていると考えられる。

この点について、日本のインクルーシブ教育研究においても「単なる交流の機会提供にとどまらず、教育課程に組み込まれた協働的学習のモデルが必要である」と指摘されている。

つまり、学校間交流は単発の交流機会という形式から、協働学習の枠組みとして教育課程全体と結びつけることが求められるという議論が先行研究でも見られる。

**3.4** 研究の意義

本研究により、小学部・中学部における学校間交流の実施状況を定量的に明らかにし、段階別・障害種別の実施差異を具体的に分析できた点が貢献である。また、既存研究の知見を取り入れることで、量的実態だけでなく交流の質的側面の課題も提示できた。

先行研究では、インクルーシブ教育の実証的な実施には教員の協力体制・合理的配慮・教育課程設計が不可欠であるという指摘があることから、本研究の結果はこの議論を支持する形となった。(半澤嘉博,2025)(松田愛理子,2021)

**3.5** まとめ

以上の結果から、学校間交流は一定程度実施されているものの、学校段階や障害種別によってその実施頻度や展開に大きな差異があることが明らかとなった。また、単発的な交流では双方の学習効果・理解促進につながりにくいという構造的課題も示された。

したがって、学校間交流をインクルーシブ教育の実現に資する実践へと発展させるためには、

① 交流を年間の教育計画に組み込むこと

② 教員間の継続的な共有・連携体制を整備すること

③ 障害種別に応じた合理的配慮や支援を設計すること

が必要であると考えられる。

なお、本研究ではインタビュー調査が実施できなかったため、量的分析を中心とした考察に限定されたという制約がある。今後は、実践現場への聞き取り調査を通して、交流の実施を阻む要因や成功事例をより具体的に明らかにすることが求められる。

## 4. 参考文献

半澤 嘉博(2025).「日本のインクルーシブ教育における『交流及び共同学習』のパラドックスと質的転換 ― 国際的示唆に基づく実践的提言 ―」.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/incleedu/14/0/14_77/_article/-char/ja/ .2025年4月20日.

青山 新吾 (2025).「インクルーシブ教育の推進に向けて ―『特別支援教育の視点を取り入れた教育』の検討 ―」『情報学ジャーナル』10(1). 61-68.

花園大学リポジトリ編集部(2024).「インクルーシブ教育を目ざす日本の特別支援教育の現状と課題」.https://hu.repo.nii.ac.jp/record/2000105/files/006_32_02.pdf. 2025年8月1日.

岡田 春奈(2019).「インクルーシブ教育のあり方に関する一考察 ― ある英会話学校における2名の小学生のエスノグラフィより ―」.
https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/73717 .2025年9月10日.

松田 愛理子・高橋 正子(2021).「インクルーシブ教育における『交流及び共同学習』の現状と課題 ― 附属特別支援学校としての教員養成の視点から ―」
https://osaka-kyoiku.ac.jp/Portals/0/files/faculty/kenkyuseika/r2_1/17.2025年10月15日.

伊藤 駿(2019).「インクルーシブ教育研究の論点整理 ― インクルーシブ教育の4つの要素に基づいて ―」『教育文化学年報』14. 22-31.

原田 公人(2022).「本邦における特別支援教育とインクルーシブ教育システム構築」『リハビリテーション連携科学』23(2). 77-86.

松本 みゆき・伊藤 佐奈美・長谷 守紘・本多 祐子(2025).「日本におけるインクルーシブ教育の進展と教員の意識」『中部大学現代教育学部紀要』17. 45-53.

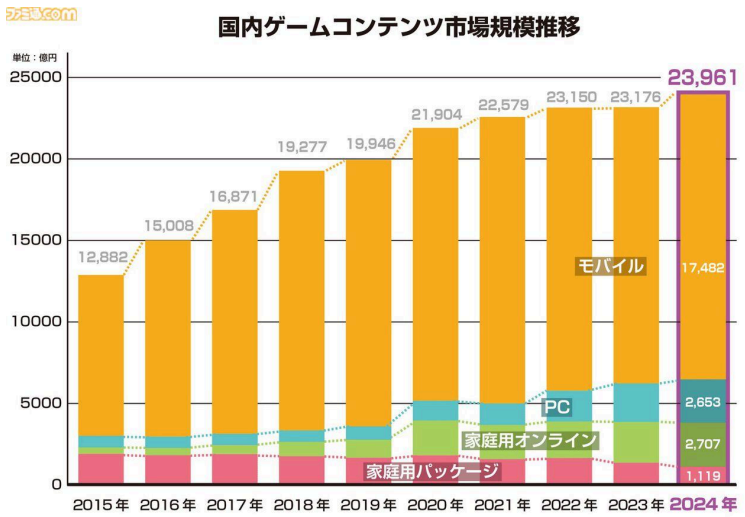
山本 晃輔(2020).「インクルーシブな教育と葛藤 ― 大阪の民族学級の事例から ―」『未来共創』7. 135-151.

Unkel, Monika(2018).「日本語教育の多様性を再考する ― インクルーシブ教育の観点から ―」『外国語教育のフロンティア』1. 171-185.

# 国際情報高等学校の生徒が考えるこれからのゲーム業界に求めるものとは?

## 1.研究背景

現在では、多くの世代でプレイされているゲーム（本稿では、ビデオゲーム・ポータブルゲーム・モバイルゲームなどといった家庭で遊ぶコンピュータゲームのことを指す。ゲーム文化の大衆化やゲーム機の性能の向上、インターネットの普及によるオンラインプレイなどの文化・技術の発展により、ユーザー（本稿では、ゲームを遊んでいる人のことを指す）は年々増加している〔図1〕（ファミ通,2025）。私自身もさまざまなジャンルのゲームをプレイしており、いずれも私にとって面白いものばかりだ。そこで、「なぜゲームは面白いと感じるのか」という疑問から、「ゲーム業界」と「持続可能性」をかけ合わせた本研究に至った。




〔図1〕国内ゲームコンテンツ市場規模推移(週刊ファミ通より)

## 2.研究目的・意義

本研究では、「ゲームを面白くしている要素」に焦点を当てて、ゲームの本質的な面白さからゲーム業界に求められているものについて考察することを目的とする。先行研究調査では、『ゲームクリエータになるには』(西村,2000)『もっとやりたい仕事がある!』(池上,2017)という文献に記載されていたゲーム業界内の職業の種類や1日の仕事の流れから、「ゲームを面白くしている要素」には、ゲームのシステムのほかにも、サウンドやシナリオ、グラフィックなどの要素が関係いるのではないかと仮説を立てた。

## 3.研究方法

研究目的達成のため、文献調査とGoogle Formを用いた国際情報高等学校の1学年・2学年生徒を対象としたアンケート調査を行った。ゲーム業界へのインタビュー調査も行おうと計画を立てていたが、断念した。

## 4.結果・考察

先行研究調査の時点で私が立てた仮説から「ゲームを面白くしている要素」をゲーム制作・サウンド・シナリオ・グラフィックの四つに分類してそれぞれの観点を深掘りするための文献調査を行った。

まず、ゲーム制作において『岩田さん 岩田さんはこんなことを話していた。』(糸井,2019)『桜井政博のゲーム作るには』(桜井,2022～2025)という文献に記載・言及されていたゲーム業界の仕事に対する姿勢や社員との関わりを通した経験から、ゲームクリエイター・ゲームディレクターはゲームの進行を最適化したり、ゲームのシステムをわかりやすいものにしたりとユーザーにできる限りストレスを感じさせないことを念頭に置いてゲームを作っていることが明らかになった。

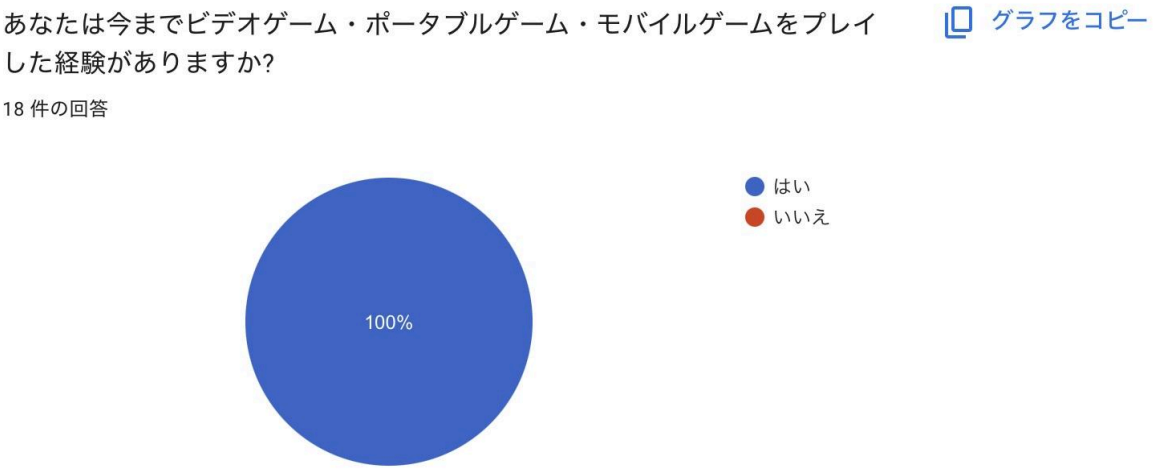
次に、サウンドにおいて『ウケる！作曲入門 心に残る曲を作るテクニック』(上田,2012)という文献に記載されていた音楽の基本的な表現技法や制作する際の起点から、音楽家・サウンドクリエイターはゲームの雰囲気に合う音楽・効果音を作ったり、ユーザーの感情を揺さぶるような演出を効果的にしたりとゲームのストーリー・シチュエーションをより壮大なものに表現していることが明らかになった。

そして、シナリオにおいて『シナリオの書き方』(柏田,2012)という文献に記載されていたシナリオを書くときの注意や魅力的なキャラクターを作るコツから、シナリオライターはストーリーをわかりやすく書いたり、キャラクターの設定を特徴的につけたりとゲーム内の世界観をユーザーに伝えようとしていることが明らかになった。

最後に、グラフィックにおいて『読んで身につくお絵描きの心得』(園田,2012)という文献に記載されていたキャラクターの制作過程や描くときに意識しておくべき点から、芸術家はキャラクターの設定から性格や好みなどを的確に反映させて描いたり、ストーリーの舞台に臨場感を与えたりとユーザーがあたかもゲーム内の世界へと引き込まれるように趣向を凝らしていることが明らかになった。

これらの新しい発見から、ゲームを作る際に「作る」側の立場においては一つのゲーム作品に技術や才能を結集しており、共通して「ユーザー(「遊ぶ」側)を楽しませる」ことを念頭に置きながら開発に臨んでいることが考察される。

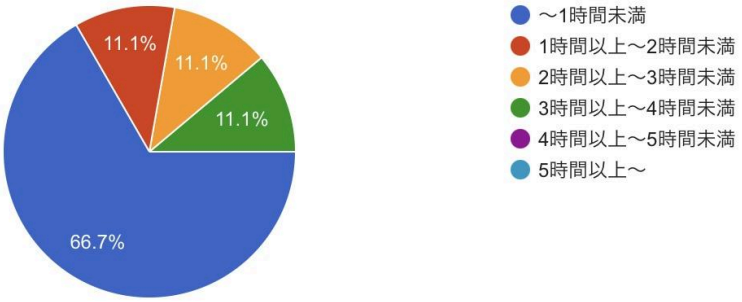
また、これまで挙げてきたそれぞれの観点・発見を基にアンケート調査を行った結果、以下の資料を得ることができた。



あなたは平日に何時間、ゲームをプレイしますか?

グラフをコピー

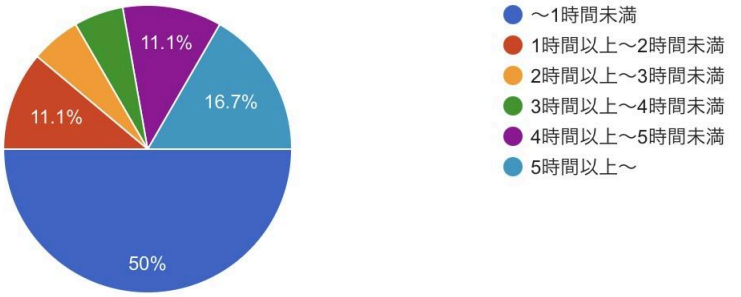
18 件の回答




あなたは休日に何時間、ゲームをプレイしますか?

グラフをコピー

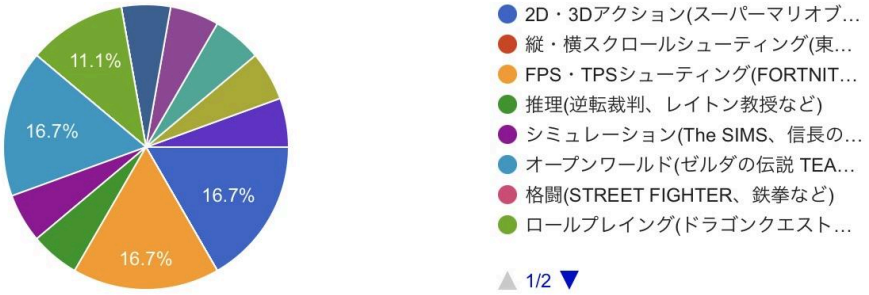
18 件の回答




あなたの**特に**好きなゲームのジャンルを教えてください。

グラフをコピー

18 件の回答



あなたの好きなゲームのタイトルを教えてください。(任意)

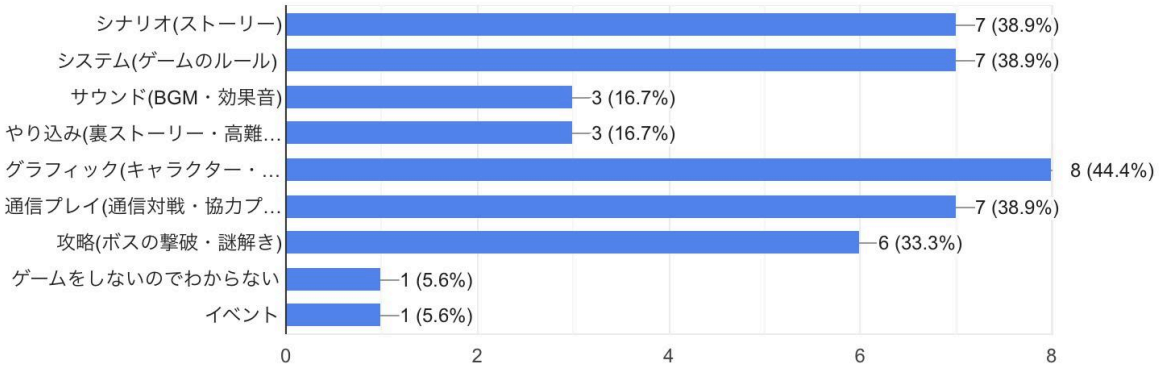
9 件の回答

- モンスターハンター、ゴーストオブツシマ、戦国無双、三國無双
- apex
- 将棋
- フォートナイト
- マイクラ
- WOOD NUTS & BOLTS
- 原神、FGO
- ポケモンユナイト
- 実況パワフルプロ野球

あなたがゲームをプレイしているときに「楽しい」と感じる要素を教えてください。
(最大3個まで)

グラフをコピー

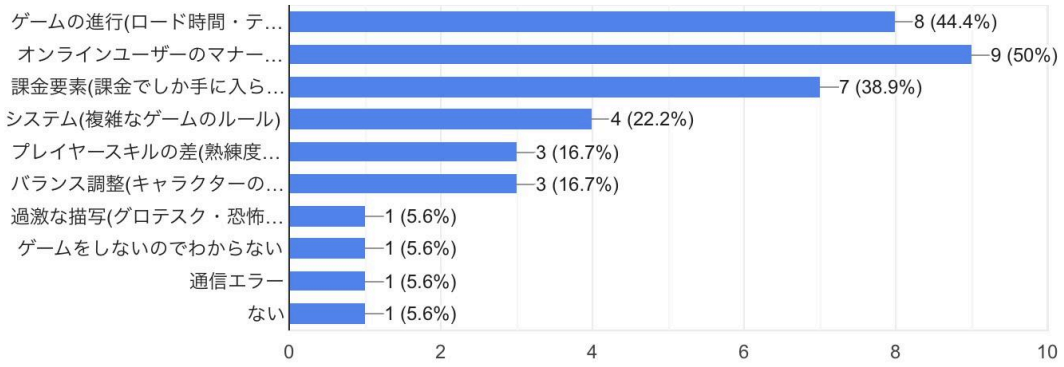
18 件の回答



あなたがゲームをプレイしているときに「ストレス」だと感じる要素を教えてください。
(最大3個まで)

グラフをコピー

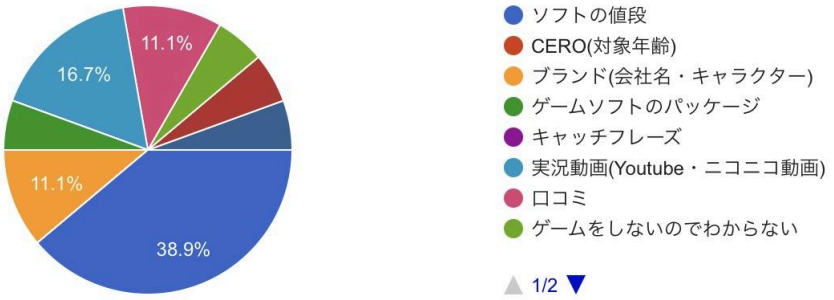
18 件の回答




あなたは新しいゲームソフトを購入する際、**特に**どのような観点から購入を決めますか?

グラフをコピー

18 件の回答




アンケートの結果から、国際情報高等学校の生徒の大多数は「ゲームをプレイしているが、余暇の時間が少ない環境」であることが考察される。さらに、ゲームのシステム・オンライン機能が「ゲームを面白くしている要素」として挙げられていることや、好きなゲームのタイトルの大半がモバイルゲーム(一部クロスプラットフォームあり)を挙げていること、ゲームをプレイする際にかかるお金に対して「ストレス」を感じていることから、多くの生徒は基本プレイ無料・コンテンツが豊富・インターネットへの接続が身近であるスマートフォン・タブレットのアプリからゲームをプレイすることが多いことも考察される。また、キャラクター・背景・エフェクトなどのグラフィックがゲームのジャンルを問わず、「ゲームを面白くしている要素」として挙げる生徒が多いことに意外性を感じた。

## 5.結論・今後の展望

結論として、ゲーム文化は『ゲームを「作る」側の開発にかけた努力・工夫が「遊ぶ」側に納得・満足される』という好循環が続いているからこそ持続できていると言える。しかし、ゲームをシリーズ化することにおいては「マンネリを打破する」と同時に「ユーザーをいい意味で驚かせる」ことが求められるため、ゲーム業界の存続は常に一種の賭けを行わなければならない不安定な環境下に置かれているとも言える。

また、アンケートの結果の考察から国際情報高等学校の生徒が考えるこれからのゲーム業界には主に短時間でも楽しむことができるゲームコンテンツ・オンライン機能の向上・ソフトの値段の削減を求めていることが結論づけられる。しかし、ゲーム文化の発展はより高品質・高額なゲームを生み出すことにも繋がるため、私達「遊ぶ」側は現在、「作る」側に対して「ゲームの品質は下がるがソフトを購入するハードルを下げるか、ソフトの購入するハードルは上がるが高品質なゲームを開発するか」の二者択一を無意識のうちに迫らせているのかもしれない。

今後の展望としては、さらに多くの生徒にアンケート調査を行い、より正確なアンケート結果・全体の傾向を掴みたい。今回のアンケート調査では18名しか結果を集められなかったため、本研究では「一部の傾向」しか得ることができなかった。より多くのサンプルが集まることにより、本研究の結果・考察も大きく変化する可能性があるはずだ。それに加えて、インタビュー調査も可能ならば行いたい。

## 6.参考文献・引用文献


・ファミ通(2025).「ゲーム業界データ年鑑『ファミ通ゲーム白書2025』8月7日発売。創刊20周年特集で過去20年の国内ソフトランキングを掲載、『あつ森』が首位に」.
https://www.famitsu.com/article/202508/49165.2026年1月26日.
・HAL東京(2025).「ゲームクリエイター専門学校とは？学費ややめとけと言われる理由を解説」.
https://www.hal.ac.jp/job2/game/game-creator-school.2025年8月21日.
・ファインマン株式会社(2025).「ゲーム専門学校は闇でやばい？後悔する理由とやめたほうがいい人・進学者の末路」.https://feynman.co.jp/unityforest/game-work/how-to-choose-gameschool/darkness.2025年8月21日.
・株式会社ネオキャリア(2025).「【最新】ゲーム業界とは？仕組み、事業内容、動向などまとめ」.
https://www.neo-career.co.jp/careertrus/gamegyoukai.2026年1月6日.
・みんなのランキング(2026).「【人気投票 1~243位】趣味人気ランキング！みんながおすすめする趣味は？」.
https://ranking.net/rankings/best-hobbies.2026年1月25日.
・Geekly(2025).「ゲーム業界はやめとけと言われる理由4選！向いている人の傾向は」.
https://www.geekly.co.jp/column/cat-technology/gamingindustry_better_to_stop/.2026年1月5日.
・公益社団法人 日本精神神経学会(2023).「樋口進先生に「ゲーム行動症」を訊く」.
https://www.jspn.or.jp/modules/forpublic/index.php?content_id=65.2026年1月5日.
・桜井政博,桜井政博のゲーム作るには.(2022～2025).「桜井政博のゲーム作るには」
[video].YouTube.https://www.youtube.com/channel/UC5CTV3JSdrlo5Pa42QkK8SA.2026年2月20日.
・糸井重里,ほぼ日刊イトイ新聞(2019).『岩田さん 岩田さんはこんなことを話していた。』. 株式会社 ほぼ日.
・池上彰(2017).『もっとやりたい仕事がある!』.小学館.
・西村翠(2000).『ゲームクリエータになるには』.ぺりかん社.
・柏田道夫(2012).『シナリオの書き方』.映人社.
・園田誠(2012).『読んで身につくお絵描きの心得』.秀和システム.
・上田起士(2012).『ウケる！作曲入門 心に残る曲を作るテクニック』.ヤマハミュージックメディア.

# ファストファッションの持続可能性

Sustainability in Fast Fashion

## 1.研究背景・目的

本研究でファストファッションをテーマに選んだきっかけは、近年、服に興味を持つようになったことである。これまでは流行や価格をあまり意識せずに服を購入していたが、服のデザインや着回しを考えるようになる中で、なぜ多くの服が低価格で販売されているのか疑問を抱いた。調べていくうちに、ファストファッションは手軽におしゃれを楽しめるという利点がある一方で、大量生産・大量廃棄による環境負荷などの問題を抱えていることを知った(ELEMINIST,2025)。

特に、日本で手放された衣類の一部が発展途上国へ輸出されているものの、輸出先で需要のない衣類は廃棄され、深刻な環境問題につながっていることに衝撃を受けた(朝日新聞,2022)。それまで、着なくなった服がどのように処理されているのかについて深く考えたことがなかったため、この問題を身近なものとして捉えるようになった。また、参考文献を通して、アパレル産業が環境問題や労働問題など多くの課題を抱えていることを知った。中でも、十分に着用されないまま廃棄される衣類が存在することに強い関心を抱いた(リバー株式会社,2023)。

衣服は日常生活に欠かせない身近な存在であり、この問題は消費者である私たち自身にも深く関係していると考えられる。そこで本研究では、アパレル産業が抱えるさまざまな課題の中でも、消費者にとって最も身近である衣服の廃棄問題に着目する。そして、ファストファッションの現状を調査し、「長く着られる衣服とは何か」「持続可能なファッションとはどのようなものか」を明らかにすることを目的とする。

## 2.仮説

これまでの文献調査および企業比較から、衣服の大量廃棄は企業の生産・販売モデルと消費者の購買行動の両方に影響を受けていると考えられる。本研究では特に、衣服の設計思想や販売方法の違いに着目し、長期間着用を前提とする企業と流行を重視する企業の比較を行った。

長期間の着用を重視するUNIQLOは、流行に左右されにくいデザインや機能性を重視した商品を展開しており、消費者が同じ衣服を長く使用することを可能にしていると考えられる。一方で、流行を迅速に商品化するZARAは、新しい商品を短期間で提供することで消費者の購買意欲を高めているが、その結果として衣服の使用期間が短くなる可能性がある。

以上のことから、本研究では「流行を重視したファストファッションのビジネスモデルは衣服の着用期間を短縮し、大量廃棄を促進する要因となる一方で、長期間の着用を前提とした商品展開は衣服の廃棄量削減につながるのではないか」という仮説を立てる。

## 3.研究方法

本研究では、ファストファッションによる衣服の大量廃棄の原因を明らかにすることを目的として、 文献調査および企業比較を行う。

まず、衣服の廃棄量や環境への影響について、統計資料や先行研究を用いて現状を整理する。これにより、ファストファッションが環境問題としてどの程度影響を与えているのかを把握する。

次に、複数のファッション企業を対象に、販売戦略や生産方法、持続可能性への取り組みについて比較分析を行う。これにより、企業活動が衣服の大量廃棄にどのように関係しているのかを考察する。

さらに、SNSの普及による流行の変化や消費者の購買行動についても調査し、文化的側面から大量廃棄の要因を検討する。

## 4.文献調査

以上の研究方法に基づき、本研究では文献調査を行い、衣服の大量廃棄の現状について整理する。衣服の廃棄問題はさまざまな要因が複雑に関係しているため、まず廃棄量や生産量、消費者の着用状況などのデータをもとに、問題の全体像を明らかにする必要がある。そこで本章では、年間の衣服廃棄量、衣服の生産量、消費者の着用回数、売れ残り問題、リサイクル率の五つの観点から、衣服の大量廃棄の現状を分析する。

### (1)年間の衣服廃棄量

現在、衣服の大量廃棄は世界的な環境問題として注目されている(Greenpeace,2024)。近年、ファッション産業の拡大により衣服の生産量が急増し、それに伴って廃棄量も増加している。世界では年間約9200万トンの繊維廃棄物が発生しているとされており、この量はごみ収集車1台分の衣服が毎秒廃棄されている計算になる。さらに、衣服の需要が拡大し続けていることから、この廃棄量は今後も増加すると予測されている(ボーダーレス・ジャパン,2023)。

廃棄された衣服の多くは再利用されることなく処分されている。衣服の約60％以上が埋め立て処分や焼却処理されており、これにより二酸化炭素などの温室効果ガスが発生し、地球温暖化の原因の一つとなっている。また、化学繊維で作られた衣服は分解されにくいため、土壌や水質汚染にもつながる可能性がある。このように衣服の廃棄問題は、単にごみが増えるだけではなく、地球環境全体に影響を与える深刻な課題となっている(WareX,2021)。

### (2)ファストファッションの生産量

衣服の大量廃棄の背景には、ファッション産業における生産量の増加が大きく関係している。現在、世界では年間1000億点以上の衣服が生産されているとされており、これは世界人口を大きく上回る数である。特にファストファッションの普及により、衣服は短期間で新しい商品が販売されるようになった(ジェトロ,2021)。

従来のファッション産業では、春夏と秋冬の年2回程度のコレクションが主流であった。しかし現在では、短い期間で新商品を販売する仕組みが広がり、年間を通して何度も新作が発表されるようになっている。このような販売方式は消費者に新しい商品を継続的に提供できるという利点がある一方で、生産量の増加を招き、売れ残りを生みやすくする要因となっている。

また、流行の変化が速くなったことにより、衣服は長期間販売されることが少なくなり、販売期間が短くなった商品は在庫として残りやすくなっている。その結果、需要を上回る量の衣服が生産され、廃棄につながるケースが増えていると考えられる(千葉商科大学,2023)。

### (3)消費者の着用回数

衣服の廃棄量が増加している背景には、消費者の衣服の利用方法の変化も関係している。近年、衣服は以前よりも安価で購入できるようになり、消費者が購入する衣服の量は増加している。調査によると、現在の消

費者は約15年前と比較して60％以上多くの衣服を購入しているとされている（UNEP-UN Environment Programmer,2022）。

一方で、衣服が着用される回数は減少している。現在では、1着の衣服が着用される回数は平均7回から10回程度とされており、短期間で着なくなる衣服が増えている。また、SNSの普及により、同じ服を繰り返し着用することを避ける傾向が広がっていると指摘されている。特に若年層では、流行や見た目を重視する消費行動が強く、衣服を長期間使用しない傾向がある（Yahoo!ニュース,2025）。

このような消費行動の変化は、衣服の使用期間を短くし、結果として廃棄量の増加につながっていると考えられる。

（4）売れ残り問題

衣服の大量廃棄は、消費者による廃棄だけでなく、生産・販売の過程でも発生している。ファッション産業では、需要を予測して衣服を生産するが、実際の需要と一致しない場合、売れ残りが発生する。現在では、生産された衣服の約30％が販売されないまま処分されていると指摘されている。

また、衣服の製造過程でも廃棄が発生している。衣服を製造する際には布を裁断する必要があり、その際に約15％の素材が廃棄されるとされている。さらに、近年はオンライン販売の拡大により返品が増加しており、返品された衣服が再販売されず廃棄されるケースも増えている（ELEMINIST,2024）。

このように衣服の廃棄は、製造・販売・消費の各段階で発生しており、産業全体の構造的な問題であると考えられる。

（5）リサイクル率

衣服の廃棄問題を解決するためには、リサイクルや再利用が重要である。しかし、現状では衣服の循環利用は十分に進んでいない。世界では廃棄された衣服の約85％が埋め立てや焼却処理されており、新しい衣服として再利用される割合は1％未満とされている。

この背景には、衣服の素材の問題がある。現在の衣服は複数の素材が組み合わされて作られていることが多く、分解や再利用が難しい。また、リサイクルにはコストや技術的な課題も存在している。そのため、回収された衣服の多くは再資源化されず、最終的に廃棄されてしまう状況にある（株式会社Shoichi,2023）。

このような現状から、衣服のリサイクルを進めるためには、製造段階から再利用を考慮した設計や、消費者の回収への協力が重要であると考えられる。

**5.企業比較**

衣服の大量廃棄の背景には、企業の販売戦略や商品開発の方針が大きく関係していると考えられる。そこで本研究では、長期間の着用を重視する企業と、流行を重視する企業に着目する。具体的には、それぞれ異なる販売戦略を持つユニクロとZARAを比較し、両社の特徴や取り組みが衣服の消費や廃棄にどのような影響を与えているのかを検討する。

**【UNIQLOの企業紹介】**

UNIQLOは、日本のアパレル企業であり、ファーストリテイリングが展開する主要ブランドの一つである。現在では世界各国に店舗を展開しており、シンプルで機能性の高い衣服を提供することで広く支持を得ている。

UNIQLOの特徴は、「LifeWear」という理念に基づき、流行に大きく左右されないベーシックなデザインの商品を中心に展開している点である。また、ヒートテックやエアリズムといった機能性素材を開発し、実用性や快適性を重視した商品づくりを行っている。

ビジネスモデルとしては、定番商品を長期間販売する戦略を採用している。これにより大量生産によるコスト削減と品質の安定を実現し、消費者が長期間着用できる衣服を提供している。このような取り組みは、衣服の使用期間を延ばす可能性があり、廃棄量削減に貢献すると考えられる。

さらに、持続可能性への取り組みとして、店舗で回収した衣服を難民支援などに活用するリサイクル活動や、環境負荷の低い素材の開発、生産工程における環境対策などを進めている。一方で、大量生産を前提とするビジネスであるため、在庫の増加による廃棄の課題も指摘されている。

**【ZARAの企業紹介】**

ZARAはスペイン発のアパレルブランドであり、Inditexが運営している。世界中に多数の店舗を展開し、ファストファッションを代表する企業として知られている。

ZARAの特徴は、最新の流行を迅速に商品へ反映させる点にある。市場や消費者の動向を分析し、短期間で新商品を開発・販売することで、常に新しい商品を提供している。このような販売手法により、消費者の購買意欲を高めている。

ビジネスモデルとしては、トレンドに合わせて少量多品種の商品を短期間で生産し、販売サイクルを高速化している。この仕組みにより、流行の変化に柔軟に対応できる一方で、衣服の流行サイクルを早める要因にもなっている。

持続可能性への取り組みとしては、リサイクル素材の使用拡大や、店舗での衣服回収活動、環境に配慮したコレクションの展開などが行われている。しかし、トレンドを重視した商品展開は消費者の短期間での買い替えを促しやすく、衣服の大量廃棄につながる可能性があると指摘されている。

| 比較項目 | UNIQLO | ZARA |
|---|---|---|
| ブランドコンセプト | シンプルで長く着られる服 | 最新トレンドを重視 |
| 商品の特徴 | 機能性・耐久性重視 | デザイン性・流行性重視 |
| 生産・販売サイクル | 定番商品中心で比較的安定 | 短期間で新商品を投入 |
| 生産方式 | 計画的な大量生産 | 少量多品種生産 |
| 環境への取り組み | 衣服回収や長寿命素材の開発 | 環境配慮素材の導入 |
| 消費者への影響 | 長期期間着用する文化を促す | 流行に合わせて買い替えを促す |

本研究では、衣服の大量廃棄の背景を考えるために、長期間の着用を重視する企業と、流行を重視する企業を比較する。ここでは、長く着られる衣服づくりを掲げるUNIQLOと、トレンドを迅速に商品化することで知られるZARAを対象とする。

まず、商品展開の特徴を見ると、UNIQLOは流行に左右されにくいベーシックなデザインの商品を中心に販売している。機能性や品質を重視した商品開発を行い、消費者が長期間着用できる衣服を提供することを目指している。このような商品は流行の変化に影響を受けにくく、結果として衣服の使用期間が長くなる可能性がある。

一方、ZARAは最新の流行を短期間で商品化し、頻繁に新作を販売することを特徴としている。消費者は常に新しいデザインの商品を購入できるが、流行の変化が速いため、衣服の着用期間が短くなりやすいと考えられる。

また、生産と販売の仕組みにも違いが見られる。UNIQLOは定番商品を長期間販売することで大量生産を可能にし、価格を抑えながら品質の安定を図っている。これに対してZARAは少量多品種の商品を短期間で生産し、市場の変化に柔軟に対応している。この違いは、消費者の購買行動や衣服の使用期間に影響を与えると考えられる。

さらに、両社ともリサイクル活動や環境配慮素材の活用など持続可能性への取り組みを行っている。しかし、企業のビジネスモデルや商品戦略の違いによって、衣服が消費される速度や廃棄される量には差が生まれる可能性がある。

以上のことから、衣服の大量廃棄には企業側の生産・販売の仕組みだけでなく、消費者の購買意識や流行の受け止め方も深く関係していると考えられる。

## 6.考察

本研究では、衣服の大量廃棄の背景について調査を進める中で、データの見方や言葉の定義についても改めて考える必要があると感じた。

まず、世界では年間約9200万トンの繊維廃棄物が発生しているとされているが、この数値について調べてみると、Greenpeaceが独自に調査したというよりも、国際機関や研究機関のデータをもとに紹介されている可能性が高いことが分かった。正直に言うと、最初はこの数字をそのまま受け取っていたが、「誰がどのように調べたのか」まで考えることが重要だと感じた。

また、「廃棄」という言葉の意味についても考え直した。本研究では、最終的に焼却や埋立処分される衣服を「廃棄」と捉えるのが適切だと考える。例えば、私のように古着屋で服を購入し長く着る場合、それは廃棄には含まれないが、最終的に「燃えるごみ」として出した場合は、ごみ処理場で処理されるため廃棄として数えられると考えられる。このように考えると、これまで自分が捨ててきた服も統計の一部になっているのだと実感した。

さらに、衣服の着用回数が平均7回から10回程度であるというデータについては、正直かなり驚いた。私は基本的に着られなくなるまで服を着ることが多いため、この数値には違和感があった。ただ、このデータは主に海外の調査に基づいているとされており、国や文化によって差がある可能性もあると考えられる。一方で、SNSの影響によって同じ服を何度も着ることを避ける傾向があるという点については、自分の周りを見ても少し当てはまると感じた。

また、「リサイクル」という言葉についても整理する必要があると感じた。古着屋で服を再販売することは「リユース（再利用）」であり、素材として再び利用する「リサイクル」とは異なる。私は最初この違いをあまり意識していなかったが、区別して考えることが重要だと分かった。

加えて、消費者の意識についても考えた。確かに衣服を長く着ることは重要であるが、「そうすべきだ」と一方的に求めることには少し疑問も感じた。服の選び方は本来個人の自由であり、意識の変化だけに頼るのには限界があると考えられる。そのため、消費者に負担をかけるのではなく、企業側が自然と廃棄を減らせる仕組みを作ることが重要ではないかと考えた。

実際に調べていく中で、衣服の回収を簡単にする取り組みがあることを知った。例えば、オンラインで服を購入した際に古着の回収用の袋が一緒に送られてきて、不要になった衣服をそのまま返送できる仕組みである。このような方法であれば、消費者が特別な手間をかけずにリサイクルに参加できるため、とても有効だと感じた。個人的には、このように意識を無理に変えさせるのではなく、行動しやすくする仕組みを増やしていくことが重要だと思う。

以上のことから、衣服の大量廃棄の問題は、企業の生産や販売の仕組みだけでなく、データの捉え方や消費者の行動、さらには社会の仕組み全体に関わる問題であると感じた。

## 7.結論

本研究では、ファストファッションの持続可能性について、衣服の大量廃棄という観点から考察を行った。その結果、衣服の廃棄問題は企業のビジネスモデルだけでなく、消費者の行動や社会の仕組みによっても大きく影響を受けていることが分かった。

特に、流行を重視した商品展開は衣服の使用期間を短くする可能性があり、廃棄量の増加につながると考えられる。一方で、長く着られることを前提とした商品は、結果として廃棄を減らすことにつながる可能性がある。

しかし、今回の調査を通して、単に「消費者が意識を変えるべきだ」と結論づけるのは十分ではないと感じた。服の選び方は個人の自由であり、それを一方的に変えることは難しい。そのため、企業側が回収サービスのような仕組みを整え、消費者が無理なく行動を変えられる環境を作ることが重要であると考える。

本研究を通して、自分はこれまで服を「買って着るもの」としてしか考えていなかったが、その後どのように処理されるのかまで意識するようになった。今後は、流行だけでなく、長く着られるかどうかや、その後のことも考えながら服を選びたいと思う。

参考文献

・ELEMINIST ファストファッションとは？深刻な問題と改善に向けての世界的な動き

https://eleminist.com/article/3369

・環境省「サステナブルファッション」https://www.env.go.jp/policy/sustainable fashion/

・朝日新聞　安いファッションが抱える搾取の構造　日本も「他人事ではない」理由
https://www.asahi.com/articles/ASQ4R5VJ3Q4QULEI002.html

・リバー株式会社　衣類の大量廃棄はなぜ起こる？現状と背景について解説/ecoo online

https://www.re-ver.co.jp/ecoo-online/recycling-forefront/20231116.html

・Greenpeace ファストファッション問題とは？環境に与える影響、私たちにできること
https://www.greenpeace.org/japan/news/fast-fashion-environmental-impact/

・ボーダーレス・ジャパン　アパレルの大量廃棄を減らすには？人や環境に配慮した服が当たり前の社会を作るEnter the E

https://www.borderless-japan.com/words/clothing-loss/

・WareX（ウェアエックス）アパレル廃棄はなぜ起こるのか？実際の対策をご紹介！

https://warex.ai/contents/apparel-disposal/

・千葉商科大学　サステナブル・ファッションとは？おしゃれで自分を表現したい人が知っておきたい、アパレル産業のSDGs

https://www.cuc.ac.jp/om miraitimes/column/u0h4tu0000003f7s.html

・UN Environment Program 次回のファッション購入を再考すべき理由

https://www.unep.org/

・Yahoo!ニュース　服の寿命は年々短くなっている？服の寿命を延ばす3つの視点＃流行観測（砂押貴久）

https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/fd4e19f2a64af05dcfe005b3454f968c0a3e6e65

・ELEMINIST_なぜアパレルが「世界2位の汚染産業」なのか？大量生産・大量廃棄が生まれた背景と問題は

https://eleminist.com/article/3985

・株式会社Shoichi 衣類はリサイクルされると何になる？アパレル業界のリサイクルについて解説

https://shoichi.co.jp/sustainable/column/792/

・環境省「ファッションと環境に関する調査」

https://www.env.go.jp/policy/pdf/st fashion and environment r2gaiyo.pdf

・Ellen MacArthur Foundation“A New Textiles Economy: Redesigning Fashion’s Future”

https://www.ellenmacarthurfoundation.org/a-new-textiles-economy

・日本繊維製品消費科学会衣料消費に関する研究資料

https://www.shohikagaku.com/

・UNEP（国連環境計画）ファッション産業の環境影響に関する報告書

https://www.unic.or.jp/news press/features backgrounders/51994/

・ファーストリテイリング「サステナビリティレポート」

https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/

・UNIQLO公式サイト

https://www.uniqlo.com/jp/ja/?srsltid=AfmBOoq14B9KRcz rMMNzFu9CaRQ7nxTN6b-5u-2nFrd4iA4H64VQxtw

・Inditex「サステナビリティレポート」

https://www.inditex.com/

・ZARA公式ブランド説明資料

https://www.zara.com/jp/

・谷本真由美『わたしたちの暮らしは世界とつながっている』

・横田増生（2011）.『ユニクロ帝国の光と影』.文藝春秋.

・齊藤孝浩(2014).『ユニクロ対ZARA』.日本経済新聞出版.

# 貧困の対策・改善の持続可能性について

## 1.研究背景

現在、世界では約9%もの人々が、「絶対的貧困」の状態にある。そのうちの約半数は子どもで、3億3350万人にものぼる。これは、世界の子どもの6人に1人が「極度にまずしい」暮らしをしているという状態になる（日本ユニセフ協会）。ここでいう「絶対的貧困」とは、世界銀行が定めた、1日に2.15ドル未満で生活せざるを得ない状態を指す。この基準は国際貧困ラインとも呼ばれ、世界情勢を踏まえて設定されている。

私はテレビ報道や学校の授業を通して、十分な食料や安全な水、医療へのアクセスさえ確保できず、明日の生存すら保証されない人々が世界に多くいることを知った。私は日常生活において不自由を感じることなく生活しているにもかかわらず、同じ地球上で命の危機に直面している人々が存在するという事実に、強い衝撃を受けた。

また、国際連合が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)では、極度の貧困をふくめ、あらゆる面の貧困をなくすことが1番大きな、解決しなければならない課題である、とされている（日本ユニセフ協会）。しかし、感染症の拡大や紛争、気候変動の影響により、極度の貧困人口は減少傾向が停滞しているとも指摘されている（WORLD BANK GROUP,2025）。

これらの現状を踏まえると、単なる一時的支援だけではなく、長期的かつ持続可能な貧困対策の在り方を検討する必要があると考え、本研究テーマを設定した。

## 2.研究目的・意義

本研究では、貧困問題がこれほどまでに解決されない理由と、絶対的貧困に対する国際機関、政府、民間企業、NGO、個人レベルでの支援策・取り組みを整理し、それらがいかにして持続可能な形で貧困改善につながっているかを検討することと、それぞれの団体や個人が、社会や私たちに対してどのような行動や意識を求めているかを研究の目的とする。

具体的には、国際連合や世界銀行といった国際機関の政策、各国政府の貧困対策制度、民間企業の社会貢献活動（CSR）、NGOによる現地支援活動、さらには個人レベルの寄付・ボランティア活動までの幅広い主体の取り組みを総合的に分析し、それぞれの役割と課題を明らかにする。

本研究は、単なる対象の列挙にとどまらず、支援主体ごとの役割、そして長期的な効果という観点からそれらを比較・評価することに意義がある。

## 3.研究方法

本研究では、世界の貧困問題に対する取り組みを明らかにするため、主に文献調査を用いて研究を行なった。調査対象として、国際機関や非営利団体が実施している事業、ならびに個人による支援

活動を取り上げた。資料には、関連する論文や公式ウェブサイトを用いた。これらの文献から、各事業の目的や内容、特徴を整理した。さらに、それぞれの団体や個人が、社会や私たちに対してどのような行動や意識を求めているのかという点にも注目した。

以上の分析を通して、貧困問題への関わり方について考察した。

## 4.結果

本探究では、貧困問題に対する取り組みの持続可能性について、企業ごとに整理し、考察した。

**「1」. NGOと地域社会の連携**

大学の研究やNGOの活動事例から、地域と連携した支援の重要性が明らかになった。NGOはスラム地域や路上で生活する子どもへの支援、自立支援、教育支援などを行い、現地調査やフィールドワークを通して課題を把握している。NGOの強みは、行政では届きにくい人々へ直接支援できる点や、国境を越えたネットワークを持っている点である。また、地域の学校や住民、企業と協働することで、単発ではなく継続的な支援体制を築いている(上村信幸,2025)。

このことから、貧困対策の持続可能性には「行政だけでなく多様な主体が関わること」が不可欠であるといえる。

**「2」. 生協・地域団体の取り組み**

日本では生活協同組合や地域団体が子ども支援を行っている。「困ったときには助け合える地域づくり」「子どもが安心して過ごせる居場所づくり」を目標に、食料支援、学習支援、居場所づくりなどが進められている。特に食料支援やフードドライブは近年増加しており、寄付された食品を必要な家庭や団体に届ける仕組みが整いつつある。また、学習支援ではNPOへの資金提供や学習場所の提供が行われており、教育格差の縮小に向けた取り組みが広がっている。ただし、活動拠点の数や人材の不足などの課題もあり、地域ごとに支援の質や量に差があることも分かった(堀越優希,2022)。

**「3」. 子ども食堂の役割**

子ども食堂は、食事提供だけでなく「居場所づくり」の役割を持つ。利用した子どもには精神面・身体面の両方で良い影響が見られ、孤立の防止や地域とのつながりの形成に寄与している。資金は寄付や助成金が中心であるが、安定的な運営には継続的な支援が必要である。また、学校やソーシャルワーカーとの連携により、支援が必要な家庭を早期に把握できることが重要だと分かった(萩野友香里、飯塚里恵子、中村由貴子,2023)。

**「4」.イギリスの子どもの貧困対策の現状**

先行研究から、イギリスでは子どもの貧困問題が依然として深刻であり、特に「相対的貧困」の割合が高いことが分かった。全体の約3割近くの子どもが相対的貧困の状態にあるとされ、ひとり親世帯ではその割合がさらに高い。

政府による福祉政策や再分配政策が行われている一方で、近年は財政の制約や政策の変化によって支援が十分に届かない地域もあり、地域差が大きい。

また、Shelter や MIND などの民間団体が住宅問題や精神的な問題にも取り組み、貧困を「生活全体の問題」として捉えている点が特徴である(所道彦,2022)。

このことから、貧困は単なる所得の問題ではなく、教育、健康、住居、社会参加など複数の要因が重なって生じる構造的な問題であると考えられる。

**「5」．企業ごとの取り組み**

貧困対策は行政やNPOだけでなく、企業も重要な役割を担っている。企業は資金提供、雇用創出、社会貢献活動を通して支援に関わっている。

**・トヨタ自動車**

教育支援プログラムや地域の学習支援活動への協力、雇用機会の提供を通じて社会参加の機会を広げている。(トヨタ自動車株式会社)

**・イオン**

フードドライブの実施、子ども食堂への食料提供、地域の寄付活動の拠点としての役割を担っている。(イオン株式会社)

**・セブン＆アイ・ホールディングス**

店舗を活用した寄付活動や災害時の支援、地域福祉団体との連携を進めている。(セブン&アイ・ホールディングス)

**・パナソニック**

教育格差の解消を目的とした支援、ICTを活用した学習支援の提供を行っている。企業の取り組みは、寄付だけでなく「社会全体の課題を企業活動の中で解決する」という視点に変化していることが特徴である。(パナソニック)

## 5.考察

本研究を通して、貧困問題は単一の施策によって解決できるものではなく、複数の主体が相互に補完し合う構造的課題であることが明らかになった。これは所得不足のみならず、教育機会、健康状態、家庭環境、社会的孤立など、多様な要因が複雑に絡み合っているためである。したがって、持続可能な対策とは、一時的な救済にとどまらず、長期的に自立を促す仕組みを伴うものでなければならない。

第一に、行政の役割は基盤整備として不可欠である。社会保障制度や再分配政策は、最低限の生活を保障し、貧困の拡大を防ぐ安全網として機能している。しかし、制度は画一的であるがゆえに、地域差や個別事情に十分対応できないという限界も抱える。したがって行政は単独で完結する存在ではなく、他主体と連携する調整役としての機能を強化する必要がある。

第二に、NGOやNPO、地域団体の存在は、制度の隙間を埋める柔軟な支援として重要である。現場に近い立場から個々の状況に応じた支援を行うことができる点で、行政を補完する役割を担っている。

また、子ども食堂や学習支援活動のような取り組みは、物質的援助にとどまらず、人と人とのつながりを再構築し、孤立を防ぐ効果を持つ。しかし、資金や人材が不安定である場合も多く、継続性の確保が課題となる。

第三に、企業の関与は、貧困対策の持続可能性を大きく左右する要素である。雇用の創出は所得の安定を通じて自立を促すため、構造的な貧困改善に直結する可能性が高い。また、フードロス削減や寄付活動は即効性のある支援として機能する。しかし、企業活動は経済状況に左右されやすく、社会貢献が業績依存となる危険性も否定できない。そのため、企業の取り組みを一過性の慈善活動に終わらせず、行政やNPOとの協働を通して中長期的な仕組みに組み込むことが重要である。

以上の分析から、貧困対策の持続可能性とは、単に支援が継続することだけではなく、「自立を促す構造」と「主体間の連携」が維持されることであると考えられる。行政・企業・NPO・地域・個人がそれぞれの強みを生かし、役割を分担しながら協働することによって初めて、貧困問題の根本的改善が可能になる。

## 6.結論および今後の展望

本研究から、貧困対策の持続可能性を高めるためには、多様な主体が協働する仕組みが必要であることが明らかになった。行政による制度的支援、NGOや地域団体の現場での活動、企業の社会貢献、そして地域住民の参加が互いに補い合うことで、初めて継続的な支援が可能になる。

また、政府は近年、子どもの貧困対策や地域福祉への参加を社会全体に呼びかけている。これは「支援を行政だけに任せるのではなく、社会全体で取り組む課題」であるという認識が広がっていることを示している。私たちはその呼びかけに気づき、自分たちに何ができるのかを考える必要がある。

例えば、

・ボランティア活動への参加

・フードドライブや寄付への協力

・地域活動への関心を持つこと

・将来の職業選択の中で社会課題の解決に関わること

など、日常の中でも関われることは多い。貧困問題は遠い世界の話ではなく、地域や学校、身近な社会の中にも存在する。そのため、私たち一人ひとりが問題を自分事として捉え、「何もできない」と考えるのではなく、「小さくてもできることを考える姿勢」が重要である。

今後は、企業・行政・地域が連携した取り組みがさらに進み、支援が必要な人に継続的に届く社会を目指す必要がある。その中で、次の世代である私たちが問題に関心を持ち、行動し、支える側として関わっていくことが、持続可能な社会づくりにつながると考える。

# 参考文献・引用文献


［1］日本ユニセフ協会.「1.貧困をなくそう/SDGsクラブ」.https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/1-poverty/ 2026年2月.

［2］日本ユニセフ協会.(2023).「ユニセフ・世界銀行 新たな推計公表　世界の子どもの6人に1人が極度の貧困　SDGs達成は困難か　国連総会を前に警鐘」https://www.unicef.or.jp/news/2023/0152.html 2026年2月.

［3］日本ユニセフ協会.「SDGs 持続可能な開発目標」https://www.unicef.or.jp/sdgs/ 2026年2月.

［4］日本ユニセフ協会.「SDGsの前文・宣言」.https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/preamble/ 2026年2月.

［5］WORLD BANK GROUP.(2025).「世界の貧困に関するデータ」
https://www.worldbank.org/ja/news/feature/2014/01/08/open-data-poverty 2026年2月.

［6］United Nations Development Programme.(2024).「多次元貧困層は11億人、うち約5億人は紛争化で生存に苦闘」.
https://www.undp.org/ja/japan/press-releases/2024-global-multidimensional-poverty-index-mpi#:~:text=%E5%A4%9A%E6%AC%A1%E5%85%83%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E5%B1%A4%E3%81%AF11%E5%84%84%E4%BA%BA%E3%80%81%E3%81%86%E3%81%A1%E7%B4%845%E5%84%84%E4%BA%BA%E3%81%AF%E7%B4%9B%E4%BA%89%E4%B8%8B%E3%81%A7%E7%94%9F%E5%AD%98%E3%81%AB%E8%8B%A6%E9%97%98%20%7C%20United%20Nations%20Development%20Programme.2026年2月.

［7］国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン.(2025).「貧困層とは？世界の貧困層の定義と割合を調べよう」.
https://www.worldvision.jp/children/report/20250326-641/index.html#:~:text=%E3%81%93%E3%81%AE%E8%A8%98%E4%BA%8B%E3%81%A7%E3%82%8F%E3%81%8B%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%20%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%A7%E3%81%AF7%E5%84%84%E4%BA%BA%E4%BB%A5%E4%B8%8A%E3%81%8C1%E6%97%A51.90%E3%83%89%E3%83%AB%E6%9C%AA%E6%BA%80%E3%81%A7%E6%9A%AE%E3%82%89%E3%81%99%E6%A5%B5%E5%BA%A6%E3%81%AE%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%81%AB%E3%81%82%E3%82%8A%E3%80%81%E7%89%B9%E3%81%AB%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%9F%E3%81%A1%E3%81%8C%E6%B7%B1%E5%88%BB%E3%81%AA%E5%BD%B1%E9%9F%BF%E3%82%92%E5%8F%97%E3%81%91%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82%20%E5%A4%9A%E6%AC%A1%E5%85%83%E7%9A%84%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%81%A7%E3%81%AF13%E5%84%84%E4%BA%BA%E3%81%8C%E8%A9%B2%E5%BD%93%E3%81%97%E3%80%81%E3%81%9D%E3%81%AE85%EF%BC%85%E3%81%8C%E5%8D%97%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%81%A8%E3%82%B5%E3%83%96%E3%82%B5%E3%83%8F%E3%83%A9%E3%83%BB%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%AA%E3%82%AB%E3%81%AB%E9%9B%86%E4%B8%AD%E3%80%82%20%E6%95%99%E8%82%B2%E3%82%84%E4%BF%9D%E5%81%A5%E3%81%B8%E3%81%AE%E6%94%AF%E6%8F%B4%E3%81%8C%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E8%A7%A3%E6%B1%BA%E3%81%AE%E9%8D%B5%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82. 2026年2月.

［8］YORIDORI.(2024).「絶対的貧困とは？解決方法と私たちにもできること【SDGsの目標1貧困をなくそう】」.
https://www.yoridori.jp/earth-note/extreme-poverty/#:~:text=%E7%B5%B6%E5%AF%BE%E7%9A%84%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%81%A8%E3%81%AF%E3%80%81%E4%BA%BA%E9%96%93%E3%82%89%E3%81%97%E3%81%84%E6%9A%AE%E3%82%89%E3%81%97%E3%81%8C%E9%80%81%E3%82%8C%E3%81%9A%E7%94%9F%E5%91%BD%E3%81%AE%E7%B6%AD%E6%8C%81%E3%81%95%E3%81%88%E9%9B%A3%E3%81%97%E3%81%84%E7%8A%B6%E6%85%8B%E3%82%92%E6%8C%87%E3%81%97%E3%80%81%E4%B8%96%E7%95%8C%E9%8A%80%E8%A1%8C%E3%81%8C%E5%AE%9A%E3%82%81%E3%81%9F%E3%80%8C1%E6%97%A5%E3%81%AB2.15%E3%83%89%E3%83%AB%E6%9C%AA%E6%BA%80%E3%81%AE%E7%94%9F%E6%B4%BB%E3%80%8D%E3%81%8C%E5%AE%9A%E7%BE%A9%E3%81%A8%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%822023%E5%B9%B46%E6%9C%881%E6%97%A5%E6%99%82%E7%82%B9%E3%81%AE%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%A7%E6%8F%9B%E7%AE%97%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%A8%E7%B4%84300%E5%86%86%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%80%811%E3%83%B6%E6%9C%88%E6%8F%9B%E7%AE%97%E3%81%A7%E7%B4%849000%E5%86%86%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82%E3%81%93%E3%81%AE%E9%87%91%E9%A1%8D%E3%81%A7%E4%BD%8F%E5%B1%85%E8%B2%BB%E3%80%81%E5%85%89%E7%86%B1%E8%B2%BB%E3%80%81%E9%A3%9F%E8%B2%BB%E3%80%81%E8%A2%AB%E6%9C%8D%E8%B2%BB%E3%80%81%E5%8C%BB%E7%99%82%E8%B2%BB%E3%80%81%E6%95%99%E8%82%B2%E8%B2%BB%E3%81%AA%E3%81%A9%E3%80%81%E7%94%9F%E3%81%8D%E3%81%A6%E8%A1%8C%E3%81%8F%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E5%87%BA%E8%B2%BB%E5%85%A8%E3%81%A6%E3%82%92%E8%B3%84%E3%82%8F%E3%81%AA%E3%81%8F%E3%81%A6%E3%81%AF%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%9B%E3%82%93%E3%80%82%20%E7%B5%B6%E5%AF%BE%E7%9A%84%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%81%AE%E5%8E%9F%E5%9B%A0%E3%81%AF%E5%A4%9A%E5%B2%90%E3%81%AB%E3%82%8F%E3%81%9F%E3%82%8A%E3%80%81%E5%8C%85%E6%8B%AC%E7%9A%84%E3%81%AA%E5%AF%BE%E7%AD%96%E3%81%8C%E5%BF%85%E8%A6%81%E3%81%A7%E3%81%99%E3%81%8C%E3%80%81%E8%A7%A3%E6%B1%BA%E3%81%AB%E3%81%AF%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%81%AE%E9%80%A3%E9%8E%96%E3%82%92%E6%96%AD%E3%81%A1%E5%88%87%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%8C%E5%A4%A7%E5%88%87%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82%E3%81%9D%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AB%E3%81%AF%E3%80%81%E6%AC%A1%E3%81%AE%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AA%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E3%81%8C%E8%80%83%E3%81%88%E3%82%89%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82%20*%20ODA%E3%82%84NGO%E3%81%AA%E3%81%A9%E3%81%AE%E5%9B%A3%E4%BD%93%E3%81%B8%E3%81%AE%E6%94%AF%E6%8F%B4%20*%20%E3%83%A6%E3%83%8B%E3%82%BB%E3%83%95%E3%82%84NGO%E3%81%B8%E3%81%AE%E5%AF%84%E4%BB%98%20*%20%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A2%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%89%E5%95%86%E5%93%81%E3%81%AE%E8%B3%BC%E5%85%A5%20*%20%E6%B8%A9%E6%9A%96%E5%8C%96%E5%AF%BE%E7%AD%96%E3%82%84%E7%AF%80%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC%20*%20%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%81%AE%E6%8B%A1%E6%95%A3%20%E3%81%BE%E3%81%9F%E3%80%81%E7%B5%B6%E5%AF%BE%E7%9A%84%E8%B2%A7%E5%9B%B0%E3%82%92%E6%AD%A3%E3%81%97%E3%81%8F%E7%90%86%E8%A7%A3%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%82%82%E9%87%8D%E8%A6%81%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82 2026年2月.

［9］森川純(1985).「南部アフリカ飢餓問題と日本」.『平和研究』,10(0),136-153.2025年4月.

［10］所道彦(2022).「イギリスの子どもの貧困対策の現在地」.『生活協同組合研究』,563(0),27-34.2025年12月.

［11］萩野友香里・飯塚里恵子・中村貴子(2023).「こども食堂の取り組み-経済的貧困と関係性貧困-」.66(2),31-38.2025年12月.

［12］堀越優希(2022).「全国の生協による子ども支援の取り組み」.『生活協同組合研究』,563(0),41-46.2025年12月.

「13」上村信幸(2025).「NGOとの連携と地域活動」.119-126.2025年12月.

［14］ELEMINIST.「世界の「貧困率」の現状6人に1人が相対的貧困に直面する日本の事情とは」.
https://eleminist.com/article/1253 2026年2月.

［15］日本ユニセフ協会.「SDGsってなんだろう？」.https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/about/ 2026年2月.

［16］SDGs media.「SDGsとは？17の目標と特徴を解説/政府・企業の取り組み事例」.https://sdgs.media/about/ 2026年2月.

「17」日本ユニセフ協会.「SDGsの実施とモニタリングのための指標-SDGs 持続可能な開発目標」.
https://www.unicef.or.jp/sdgs/implementation.html 2026年2月.

［18］gooddo.「貧しい人とは？どれくらいいる？私たちのできるできることを専門メディアが紹介」.
https://gooddo.jp/magazine/poverty/29901/# 2026年2月.

［19］朝日新聞.(2026).「NGOとは/意味やNPOとの違い、具体的な活動内容を解説」.
https://www.asahi.com/sdgs/article/15001654 2026年2月.

［20］株式会社プロジェクトデザイン.(2024).「SDGs1「貧困をなくそう」の企業の取り組み事例・私たちにできること」.
https://www.projectdesign.co.jp/sdgs/sdgs1/ 2026年2月.

［21］公益財団法人トヨタ法人.(2023).「貧困や困難な状況から抜け出せる人が増えることを目指して/助成対象者からの寄稿」.https://www.toyotafound.or.jp/activity/joint/contribution3/joint41_contribution02.html 2026年2月.

［22］大阪トヨタNorth株式会社.「SDGsに向けた取り組み/トヨタ車のことなら」.
https://n-osaka-toyota.jp/corporate/SDGs#:~:text=%E3%81%8A%E3%81%BF%E3%81%9B%20de%20%E3%83%81%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%83%9C%E3%83%B3%EF%BC%88%E5%8F%A4%E6%9C%AC.%E3%81%93%E3%81%A8%E3%82%92%E9%A1%98%E3%81%A3%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82 2026年2月.

［23］トヨタ自動車株式会社　公式企業サイト.「福祉/TABLE FOR TWOへの参加」.
https://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/volunteer/welfare/v_tft/#:~:text=%E8%BA%AB%E8%BF%91%E3%81%AA%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E8%B2%A2%E7%8C%AE%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%81%AE%E6%A9%9F%E4%BC%9A%E3%82%92%E5%BE%93%E6%A5%AD%E5%93%A1%E3%81%AB%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8A%E3%80%81%E6%97%A5%E9%A0%83%E3%81%8B%E3%82%89%E3%83%9C%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%84%8F%E8%AD%98%E5%90%91%E4%B8%8A%E3%82%92%E5%9B%B3%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%A8%E3%82%82%E3%81%AB%E3%80%81%E9%96%8B%E7%99%BA%E9%80%94%E4%B8%8A%E5%9B%BD%E3%81%AE%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%9F%E3%81%A1%E3%81%AB%E6%B8%A9%E3%81%8B%E3%81%AA%E9%A3%9F%E4%BA%8B%E3%81%A8%E7%AC%91%E9%A1%94%E3%82%92%E5%B1%8A%E3%81%91%E3%82%89%E3%82%8C%E3%82%8B%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E7%B6%99%E7%B6%9A%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82%20*%20%E7%B5%A6%E9%A3%9F%E9%A2%A8%E6%99%AF%EF%BC%88%E3%82%B1%E3%83%8B%E3%82%A2%EF%BC%89%20*%20%E7%B5%A6%E9%A3%9F%E9%A2%A8%E6%99%AF%EF%BC%88%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%B6%E3%83%8B%E3%82%A2%EF%BC%89%20*%20%E7%B5%A6%E9%A3%9F%E9%A2%A8%E6%99%AF%EF%BC%88%E3%83%AB%E3%83%AF%E3%83%B3%E3%83%80%EF%BC%89%20*%20%E5%AF%84%E4%BB%98%E4%BB%98%E3%81%8D%E3%83%98%E3%83%AB%E3%82%B7%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%81 2026年2月.

［24］ウォーカープラス.(2021)「改めてSDGsに本気で取り組む世界の「TOYOTA」に注目」.
https://theme.walkerplus.com/sdgs/article/1058302/#:~:text=%E3%83%88%E3%83%A8%E3%82%BF%E3%81%A7%E3%81%AF%E3%80%81%E5%BE%93%E6%A5%AD%E5%93%A1%E9%A3%9F%E5%A0%82.%E3%81%A6%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%822026年2月.

［25］日本経済新聞.(2013)「トヨタ、アフリカの貧困地域に四駆2台寄贈」.
https://www.nikkei.com/article/DGXNASDD2600W_W3A520C1TJC001/ 2026年2月.

［26］朝日新聞.(2009).「トヨタ労組、期間従業員に賃上げも要求へ-働けど貧困」.
http://www.asahi.com/special/08016/NGY200901290005.html#:~:text=%E6%9C%9F%E9%96%93%E5%BE%93%E6%A5%AD%E5%93%A1%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%97%E3%81%A6%E5%88%9D%E3%82%81%E3%81%A6,%E5%88%86%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B9%EF%BC%92%EF%BC%90%E4%B8%87%E5%86%86%E3%80%8D%E3%80%82 2026年2月.

［27］公益財団法人イオン環境財団.(2022).「未来をつくる-SDGs」.
https://www.aeonkankyozaidan.or.jp/pdf/approach_SDGs/AEON_SDGsBook_2023.pdf 2026年2月.

［28］イオン株式会社.「イオン　こども食堂応援団/社会の取り組み/イオンのサステナビリティ」.
https://www.aeon.info/sustainability/social/kodomoshokudo_ouendan/ 2026年2月.

［29］セブン&アイ・ホールディングス.「重点課題7 パートナーシップwp通じて持続可能な社会を実現する」.
https://www.7andi.com/sustainability/theme/theme7.html 2026年2月.

［30］セブン&アイ・ホールディングス.(2020).「日本政府の推進する子どもの貧困対策への国民運動「子供の未来応援基金」への募金を贈呈　～全530店舗のお会計レジの募金箱で展開～」.
https://www.7andi.com/company/news/release/202005191100_copy_2_copy_copy_copy.html 2026年2月.

［31］Panasonic Holdings.「貧困の解消-企業市民活動-サステナビリティ-パナソニック　ホールディングス」.
https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/ending_poverty.html 2026年2月.

［32］Panasonic Holdings.「NPOの組織基盤の強化-サステナビリティ-」.
https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html 2026年2月.

［33］Panasonic Holdings.「これまでの「組織基盤強化支援プログラムの実績」」.
https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/performance.html 2026年2月.

［34］Panasonic Holdings.(2025).「【国連人口基金　特別対談】支援のあかりが照らす、女性と子ども達の未来への道」.
https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/lutf/akari_activity/report24.html 2026年2月.

［35］Panasonic Holdings.(2025).「新しい命を照らすあかり-アフガニスタン医療施設でのソーラーランタンの役割-」.
https://holdings.panasonic/jp/corporate/sustainability/citizenship/lutf/akari_activity/report23.html 2026年2月.

［36］国際協力NGOワールド・ビジョン・ジャパン.(2025).「発展途上国の貧困問題解決のため私たちにできる3つのこと」.
https://www.worldvision.jp/children/report/20250324-366/index.html#:~:text=%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82-,NGO%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF,%E9%95%B7%E3%81%91%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%AE%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82&text=NGO%E3%82%82%E3%80%8C%E6%8C%81%E7%B6%9A%E5%8F%AF%E8%83%BD%E3%81%AA,%E3%81%AB%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82 2026年2月.

[37]プラン・インターナショナル・ジャパン.「プラン・スポンサーシップ」.
https://www.plan-international.jp/join/sponsor/ 2026年2月.

少年漫画における主人公像の持続可能性

－『鬼滅の刃』における内面的成長と関係性の変容に着目して－

## １．研究背景

少年漫画は日本の大衆文化を代表するメディアの一つであり、多くの読者に影響を与えてきた。従来の少年漫画、特に「週刊少年ジャンプ」の王道作品群において、主人公の成長は身体的能力の向上や、より強力な敵を倒すための「技の習得」として描かれることが通例であった。しかし、物語の長期化に伴い、戦闘能力の過度な上昇（インフレ現象）が物語のリアリティや読者の共感を阻害するという「持続可能性」の課題が指摘されてきた。

また、読者が物語をどのように受け取るのかによって成長の捉え方は大きく異なる。小山（2014）は、「読者が物語世界に没入することで、登場人物の内面や感情を深く理解できることが指摘されている。」[1)] としている。しかし、少年漫画において、内面描写と戦闘描写が読者の成長認識にどのような違いをもたらすのかについては、十分に検討されていない。

近年、社会現象を巻き起こした『鬼滅の刃』は、従来のバトル漫画の枠組みを維持しながらも、読者の情緒に深く訴えかける独自の成長描写を展開した。ここで「注目すべきは、主人公・竈門炭治郎がみせる『内面的な成熟』と『他者との関係性の変容』が、戦闘場面の興奮以上に物語の推進力となっている点である。」[2)] としている（東洋経済ONLINE、2020）。

そこで本研究では、『鬼滅の刃』を通して、炭治郎の成長が他の作品の主人公とは異なり、多くの人に読まれ、受け入れられた理由を考える。具体的には、戦っている場面と心の内面が描かれる場面を比べることで、今の時代の少年漫画に求められている「強さ」とは何かを明らかにしたい。

## ２.研究目的・意義

1）研究目的

本研究の目的は、少年漫画における主人公の「成長」の定義を再考することにある。
具体的には、『鬼滅の刃』を分析対象とし、戦闘中心の場面と、内面や関係性が描かれる場面を比較・分析する。これにより、少年漫画の主人公が「内面や関係性を通して成長するプロセス」を明らかにし、戦闘力のみに依存しない物語の持続可能性のモデルを提示する。本研究は、現代のポピュラー文化における「強さ」の概念の変容を捉える一助となる。

2）研究意義

少年漫画は多くの若者に読まれており、登場人物の生き方や価値観は読者の考え方に少なからず影響を与える。そのため、成長が「強くなること」だけとして理解されるのではなく、他者との関係や内面の変化も重要な成長の形であることを示すことには社会的な意義がある。本研究は、読者が物語をより深く読み取るきっかけを提供し、漫画作品に対する理解を広げることにつながると考えられる。

## ３.先行研究の検討

本研究の理論的支柱として、小山内（2014）による「 物語世界への没入体験 -測定ツールの開発と読解における役割-」[1)] の研究を検討する。

1）物語世界への没入とは何か

小山内は、読者が物語を享受する際に経験する「物語世界に入り込んでいる感覚」を「物語世界への没入」と定義した。

2）没入が読者の理解に与える影響

小山内の研究における重要な知見は、「没入感が高いほど、物語の内容に対する深い読解が促進される」という点である。

読者が物語に没入すると、単に字面を追うだけでなく、登場人物の行動原理や背景にある動機を推論するプロセスが働く。特に「感情的関与」が高い状態では、読者は自らの経験や価値観を物語と照らし合わせるため、物語の内容が単なる知識としてではなく、実感を伴う体験として定着しやすくなる。

3）本研究との関係

本研究において小山内の理論を引用する意義は、少年漫画における「成長」の受け取られ方を分析するためである。もし主人公の成長が「戦闘技術の向上」のみに限定される場合、読者の没入は「注意の集中」に留まる可能性がある。しかし、『鬼滅の刃』に見られるような「内面的な葛藤」や「他者との深い関係性」が描かれる場面では、読者の感情的関与が強く促される。

## ４.仮説

本研究では、少年漫画の主人公が「どうやって成長し、なぜ読者は飽きずに応援し続けられるのか」について、以下の３つの仮説を立てた。

1）「強さ」よりも「共感」が読者を引きつける

ただ修行して技が強くなるだけでは、読者は途中で飽きてしまうのではないか。炭治郎が自分の弱さに悩み、誰かのために涙を流すような「心の成長」があるからこそ、読者は小山内（2014）のいう「感情的関与」を感じ、最後まで物語に引き込まれる。

2）「技」には限界があるが、「想い」は積み重なる

技の威力やスピードを上げるだけの成長には、いつか限界が来る。しかし、誰かの遺志をつなぐという「関係性の中での成長」には限界がない。こうした想いの継承は読者に「なぜ主人公は戦うのか」という理由を深く考えさせ、物語がどれだけ長く続いてもその重みが失われない「持続可能な成長」を可能にしているのではないか。

3）敵を「倒す対象」から「理解する対象」へ

多くの漫画では敵は単に「倒すべき悪」だが、『鬼滅の刃』では炭治郎が敵である鬼の過去に共感する場面が多く見られる。このように敵の内面にまで踏み込む描写は、読者の視点を物語全体へと広げる効果がある。ただの勝利で終わらせず、敵をも救おうとする精神的な成熟を描くことが、他の漫画にはない深い感動を生み出しているのではないか。

## ５.研究方法

本研究では、以下の通りに調査を行った。

1）場面の分類と比較

『鬼滅の刃』全23巻を読み、主人公･炭治郎の「成長」に関わるシーンを2つのグループに分けた。

グループA（身体的成長）：修行で岩を斬る、新しい「型」を覚えるなどの強さの変化。

グループB（内面･関係性の変化）：仲間との対話、家族を思い出す回想、死者の思いを引き継ぐなどの心の変化。

２）没入感の分析

小山内（2014が言うように、深い読解には登場人物への「感情的な関わり」が欠かせない。炭治郎の理論を使い、それぞれのシーンが読者にどのように作用するかを分析した。例えば、派手な技のシーンは「ハラハラして目が離せない」、内面的なシーンは「自分も悲しくなる」といった視点で読み解いた。

## ６.結果

分析の結果、次の３つのポイントが炭治郎の成長の特徴として浮かび上がった。

1）「技」と「心」がセットで強くなる

炭治郎が新しい技を出す時、そこには必ず「誰かを助けたい」という強い願いや、過去の記憶が結びついている。単に修行して力が上がっただけではなく、精神的な強さが技の威力を高めていることがわかった。

例えば、コミックス5巻の下弦の伍･累との戦いでは、炭治郎は絶体絶命のピンチに陥る。ここで炭治郎は、ただ新しい技を思い出すのではなく、走馬灯の中で亡き父が舞っていた「ヒノカミ神楽」と、母から言われた「絆」の言葉を思い出すことで新しい力を発揮している。これは単なる身体的なレベルアップではなく、家族との「内面的な繋がり」が強さに直結していることを示している。

2）敵である鬼を「救うべき存在」と捉える

従来の漫画では、敵を倒せば「すっきりした」で終わることが多い。しかし炭治郎は、倒した鬼が消えゆく際にその悲しみに寄り添い、手を握る。この瞬間、戦闘は単なる殺し合いではなく、相手の魂を救う「対話」になっていることが明らかになった。

また、炭治郎は倒した敵に対しても慈悲の心を見せる。元･十二鬼月の響凱との戦いでは、彼が人間時代に大切にしていた原稿を踏まないように戦い、最後には彼の能力を認める言葉をかけている。このように、敵を単に排除するのではなく、相手の「人間だった頃の心」を尊重して救おうとする姿勢は、従来のバトル漫画にはない精神的な成熟を感じさせる。

3）「一人で強くならない」成長

炭治郎は自分一人の才能で勝つのではなく、煉獄杏寿郎のような先輩の遺志を引き継ぐことで強くなっていく。個人のパワーアップというより、周りの人の想いを取り込んで「自分を広げていく」ような成長の形が見られた。

特に象徴的なのは、無限列車編での煉獄杏寿郎との出会いだ。煉獄杏寿郎の言葉は、その後の炭治郎にとって単なるアドバイス以上の力と重みを持ち、ピンチのたびに彼を支える精神的な柱となっている。炭治郎が煉獄杏寿郎の刀の「鍔」を自分の刀に受け継いだように、他者の遺志を自分の一部にすることが、彼の成長を支える大きな要因になっていると考えられる。

## 7.考察

１）戦闘と内面描写の「掛け算」

戦闘シーンは確かに興奮するが、それだけだと「次はもっと派手な技」へとエスカレートし、読者はいつか飽きてしまう。
鬼のために涙を流すシーンで、読者は「炭治郎は優しい」と心から共感する。この心の揺れがあるからこそ、その後の戦いも「単なるバトル」ではなく、「絶対に勝ってほしい大切な一戦」になり、物語に深くのめり込めるのだと考えられる。

2）少年漫画の「持続可能性」とは
今回の研究で、少年漫画が長く愛され続けるための「持続可能性」の正体が見えてきた。
それは、「強さのインフレ」に頼りすぎないことだ。技の威力には限界があるが、誰かとの「絆」や「心の深まり」はどこまでも広げていくことができる。炭治郎の成長が、自己完結した強さではなく「他者との繋がりの中での強さ」へとシフトしたことが、最後まで読者の興味を惹きつけた1番の理由ではないだろうか。

## 8.結論

本研究を通して、少年漫画の主人公は「戦うこと」以外でも豊かに成長できることがわかった。
炭治郎は、敵を倒すこと以上に、他者の苦しみを知り、思いを受け継ぐことで強くなっていった。この「内面や関係性の成長」こそが、読者を飽きさせない「没入感」を生み出し、物語を最後まで力強く支えていたのだ。
これからの少年漫画の主人公には、ただ負けない強さだけでなく、炭治郎のような「想いを繋ぎ続ける内面の強さ」がより求められていく。
一方で、本研究は特定の作品に基づく研究であり、他の少年漫画にも同様の傾向が見られるかについては今後の検討が必要である。また、読者の受け取り方を実証的に調査することで、内面的成長の認識についてさらに詳しく明らかにできると考えられる。

## 9.引用文献

1）小山内秀和 .(2014). 物語世界への没入体験 -測定ツールの開発と読解における役割-. 京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻.
2）東洋経済ONLINE(2024) .鬼滅の刃が「日本中で愛されまくる」4つの理由 「劇場版公開」の今年こそさらなる飛躍に注目」.https://toyokeizai.net/articles/-/342067.2026年1月.

**10.参考文献**

1）阿部修 .(2022). 少年漫画における好まれる主人公像の歴史的変遷 ー自称詞と年代による分析ー . 金沢大学人間社会区域経済学類社会言語学演習.
2）雨宮俊彦・住山晋一・増田のぞみ.（2002）.マンガ表現の時空（1）ーレイヤー分解・少女マンガのコマ・マンが表現する感性認知記号論一.関西大学「社会学部紀要」.33（2）.1-191.
3）家島明彦 .(2007). 心理学におけるマンガに関する研究の概観と展望. 京都大学大学院教育学研究科紀要.
4）家島明彦.（2006）.理想自己像に影響を与えた人物モデル. 京都大学大学院教育学研究科紀要52 . 280-293.
5）磯貝芳郎.（1964）.漫画の心理学、児童心理18（3）.26-35.

6）今城周造.（1984）.情緒経験におよぼすリアクタンスの効果―漫画評価事態における検討.心理学研究.55（5）.268-274.
7）今村秀雄.（1973）.家庭におけるマンガの指導・児童心理27（9）.67-73.
8）小山内秀和 .(2014). 物語世界への没入体験ー読解過程における位置付けとその機能. 心理学評論刊行会.
9）向後智子、向後千春 .(1998). マンガによる表現が学習内容の理解と保持に及ぼす影響 .富山大学教育金水敏（2003）『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店.
10）金水敏（2010）「現代日本語の「役割語」―ステレオタイプ的話体の研究法の模索―」『役割・キャラクター・言語ーシンポジウム・研究発表会報告―』.pp.48-50. 科学研究費基盤研究（B）研究.課題番号：16320060.研究代表者：金水敏.
11）佐藤公代.（1998）.文章の読解・記憶に及ぼす漫画の役割・日本教育心理学会第40回総会発表論文集.112.
12）佐藤忠男.（1965）.マンガの与え方・読ませ方. 児童心理.19（8）.132-137.
13）佐毅.（1964）.児童文化と漫画・「漫画」の疎外と「漫画」の回復.児童心理.18（3）.36-43.
14）清水勲.（1999.「図説漫画の歴史」.河出新社.
15）清水照.(1964）.週刊誌より読書指導への導入―実践記録―児童心理18（3）.95-101.
16）白井裕美子（2002）.学習教材としてのマンガのあり方～挿入質問の効果と説明文マンガ化の意義～.日本教育心理学会第44回総会発表論文集.356.
17）髙橋彩、橋本紗希 .(2011).アニメ・漫画の影響 .中村学園短期大学部幼稚保育学科 .中村学園短期大学部「幼花」論文集. 58-64.
18）高見友理（2004）.クライエントの「内なる火」に関する一考察―漫画「烈火の炎」から―島根大学教育学部心理臨床・教育相談室紀要.2.25-35.
19）竹内一郎（2006）.「手塚治虫＝ストーリーマンガの起源」.講談社.
20）竹内オサム.（2004）.「マンガの批評と研究＋資料〈改訂版）」（私家版）.
21）全国出版協会（2021）『出版指標年報2021年版』全国出版協会出版科学研究所.
22）曹蓮 .(2022). 中国人と日本人の感情表出と認知. 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科教育造論講座.
23）鄭恵先.（2007）.「日韓対象役割語研究―その可能性を探る―」金水敏（編）『役割語研究の地平』pp.71-.くろしお出版.
24）中川右介（2018）.『サブカル勃興史：すべては 1970年代に始まった』.KADOKAWA.
25）浜田陽太郎（1973）.マンガの教育学―マンガと人間形成―児童心理27（9）.42-49.
26）林文俊.（1978）.相貌と性格の仮定された関連性－3・漫画の登場人物を刺材料として.名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科）.通号25.41-55.
27）廣兼孝信、吉田寿夫 .(1984) .印象形成における手がかりの優位性に関する研究. 広島大学.
28）副田義也.（1973）.子どもにとってのマンガ少年マンガにおける想像力の問題.児童心理27(9）.16-23.
29）藤井秀.（1978）.漫画指導についての一考察.読書科学21（3・4）75-82.
30）Real Sound(2024) インフレしがちなバトル漫画の「数値化」、連載当初から完結まで有効に機能させた作品 https://realsound.jp/book/2024/07/post-1732655.html.2026年1月.

# ファストファッションの持続可能性について

ファストファッションのサプライチェーンにおける労働問題は、なぜ現代社会で改善されにくいのか

## 1. 研究背景・目的

近年、ファストファッションは、低価格かつ流行を反映した衣服を迅速に消費者へ届けることができるビジネスモデルとして世界中に普及している。ファストファッションとは、素早く商品を仕入れ、安価な商品を自社店舗で大量に販売することで多額の利益を稼ぎ出す衣料品産業のビジネスモデルである（岩佐、2022）。
一方で、ファストファッション産業では原材料調達から縫製、輸送・販売まで複数国・企業が関与するグローバルなサプライチェーンが形成されている。このような供給網は多層的な下請け・孫請け構造を特徴としており、ブランド企業がすべての生産段階における労働環境を直接把握・管理することが困難であるという指摘がある（岩佐、2022）。その結果、生産国において低賃金、長時間労働、児童労働などの労働問題が発生しやすい状況が生まれている。国際労働機関（ILO，2021）によると、世界には依然として多くの児童労働者が存在しており、繊維・衣料産業もその一因とされている。

以上の現状を踏まえ、本研究では、ファストファッション産業における労働問題がなぜ現在においても改善されにくいのかに着目した。特に、グローバルで複雑なサプライチェーン構造が、労働環境の改善にどのような影響を与えているのかを明らかにする必要があると考えた。そこで本研究では、「ファストファッションのサプライチェーンにおける労働問題は、なぜ現代社会において改善されにくいのか」というリサーチクエスチョンを設定した。

これまでの先行研究では、アパレル産業の供給網では複雑な構造や多国間の関係が存在し、労働環境や人権リスクを含む実態を十分に把握することが企業にとって困難であるという指摘がある。特に持続可能なサプライチェーンを構築する際には、労働者保護や透明性の確保が継続的な課題として認識されている（森・土肥、2021）。また、グローバルなサプライチェーンにおいては、下請けや孫請け企業の管理が不十分になりやすく、強制労働などの人権リスクへの対応が遅れる傾向があることも報告されている（Business & Human Rights Resource Centre）。一方で、企業が公式に公開している情報だけでは、実際の労働環境の実態や、改善が進みにくい具体的な要因まで十分に明らかにされていないという課題が残されている。
本研究に取り組む意義は、ファストファッションにおける労働問題を、個別企業の努力不足として捉えるのではなく、サプライチェーン全体の構造や社会的要因を含めた問題として捉え直す点にある。本研究を通して、労働問題が改善されにくい背景を構造的に整理することで、今後の企業の取り組みや、消費者・社会全体の関わり方を考えるための視点を提示することができると考えられる。

リサーチクエスチョンに基づき、次の仮説を立てた。ファストファッションの労働問題は、グローバルで多層的なサプライチェーン構造により責任の所在が分散し、企業による管理や是正が困

難になっているため、改善されにくい。この仮説は、サプライチェーンの多層構造や透明性の不足が、企業による労働環境の把握や是正を困難にし、改善を妨げる可能性があると指摘する先行研究に基づいている（森・土肥、2021）。

本研究では、文献調査と企業への質問を通して仮説を検証する。まず、ファストファッション産業のサプライチェーン構造や労働問題に関する先行研究の報告書を調査し、改善が進みにくい要因を整理する。次に、ファストファッション企業に対して労働環境やサプライチェーン管理に関する質問を行い、企業の情報開示や対応の実態を確認する。これらを比較・考察することで、サプライチェーンの多層化による責任の分散が、労働問題の改善を困難にしているという仮説の妥当性を検討する。

## 2. 研究方法

本研究の目的は、ファストファッション産業において労働問題の改善がなぜ現代社会においても進みにくいのかを明らかにすることである。特に、グローバルで多層的なサプライチェーン構造が、企業による労働環境の把握や是正をどのように困難にしているのかに着目し、その構造的要因を検討することを目的とした。

本研究では、文献調査と企業への質問調査を組み合わせた方法を用いた。文献調査では、ファストファッション産業のサプライチェーン構造や労働問題に関する先行研究、国際機関の報告、企業の公開資料を収集・分析した。これにより、すでに明らかにされている課題や、改善が困難とされる要因を整理することができると考えた。また、実際の企業の対応や情報開示の実態を把握するため、ファストファッション企業に対して、労働環境やサプライチェーン管理に関する質問を行った。企業に直接質問することで、文献や公開資料だけでは把握しにくい、企業側の立場や対応の限界を確認できると考え、この方法を選択した。

本研究の研究対象は、ファストファッション産業に関わる企業および、そのサプライチェーン構造である。企業調査では、日本でも広く展開しているファストファッション企業を対象とし、労働環境やサプライチェーン管理に関する質問を行った。また、文献調査においては、国際機関（ILO）などが公表している報告書や、企業の公式ウェブサイトに掲載されている情報を対象とした。

まず、先行研究や企業の公開資料を収集し、ファストファッション産業における労働問題やサプライチェーン構造に関する情報を整理した。次に、ファストファッション企業に対して、労働環境の把握や管理の難しさ、改善に向けた課題などについて質問を行った。その後、企業から得られた回答内容や対応の特徴を、文献調査で得られた内容と照らし合わせ、共通点や相違点を整理した。

本研究では、文献調査によって得られた情報と、企業への質問に対する回答内容を比較しながら分析を行った。特に、企業から具体的な回答が得られにくかった点や、公開情報に依存した対応が中心であった点に注目し、それらをサプライチェーンの多層構造や責任の分散と関連づけて考察した。これにより、労働問題が改善されにくい背景にある構造的要因について結論を導いた。

# 3. 結果、考察

本研究では、文献調査およびファストファッション企業1社への質問調査を行った。まず文献調査の結果、ファストファッション産業ではサプライチェーンが多層化・国際化しており、ブランド企業が生産現場の労働環境を直接把握・管理することが難しい構造にあることが指摘されていることが確認された（森・土肥, 2021）。また、サプライチェーンの透明性が十分に確保されていない場合、強制労働や児童労働などの人権リスクへの対応が遅れる可能性があることも報告されている（Business & Human Rights Resource Centre）。

以上の文献調査の結果を踏まえ、実際に企業側はこれらの課題をどのように認識し、どのように対応しているのかを明らかにする必要があると考えた。特に、サプライチェーンが複雑化する中で、企業自身がその構造的困難をどのように捉えているのか、また改善に向けてどのような具体的課題や限界を認識しているのかを確認することが、仮説を検証する上で重要であると判断した。そのため、①労働環境を把握・管理することが難しい理由、②改善を進める上での課題や限界、③現在特に力を入れている取り組み、④消費者や社会全体に求められること、の4点について質問を設定した。

次に、ファストファッション企業であるユニクロ（株式会社ファーストリテイリング）に対し、電子メールを通じて上記4点について質問を行った。その結果、個別の質問に対する具体的な回答は得られず、企業の公式ウェブサイトやサステナビリティ報告書など、すでに公開されている情報を参照してほしいとの回答であった。

そこで、企業から提示された公式ウェブサイト「サプライチェーンの透明化と生産パートナーリスト」および「UNIQLO and SDGs」の内容を確認した。「サプライチェーンの透明化と生産パートナーリスト」によれば、ファーストリテイリングはサプライチェーン全体の透明性向上および適正な労働環境の実現を目的として、生産パートナーの情報を公開している。2017年の主要縫製工場リスト公開以降、開示対象を段階的に拡大しており、2025年9月時点では、継続取引予定の全縫製工場に加え、一部工程の外注先工場、素材工場、副資材工場まで公開していることが示されている。公開情報には、工場名および所在地のほか、女性労働者比率、移民労働者比率、親会社情報などが含まれている。また、トレーサビリティの確立に向けた取り組みとして、最終商品から原材料レベルまでサプライチェーン全体を可視化することを目標としていることが記載されている。商品の企画段階で原材料の産地や仕様を指定し、必要に応じて原材料を追跡可能とする仕組みの構築が進められている。さらに、生産パートナーに対しては、環境および人権への取り組み状況を含めた評価（スコアリング）を定期的に実施していることが示されている。評価項目には、環境面では$CO_2$排出量や水使用量削減への取り組み、排水基準の遵守状況などが含まれ、人権面では生産パートナー向けコードオブコンダクトの遵守状況が評価対象とされている。また、長期的な取引関係を重視していることも明記されている。

「UNIQLO and SDGs」のページでは、衣服の生産過程において原材料の生産者や縫製工場の労働者など多くの人々が関与していることが示され、これらの人々の権利尊重および安全で健康的な労働環境の確保が重要であると説明されている。加えて、取引先工場の労働環境および人権を守るため、「生産パートナー向けコードオブコンダクト（行動規範）」を策定していることが記載されている。同規範に基づき第三者機関による監査を実施し、指摘事項の改善を求めているほか、取引先工場の従業員が職場の問題を企業へ直接相談できるホットラインの設置も進められている。

以上の公開情報から、同社はサプライチェーンの透明化、人権尊重、労働環境改善に向けた管理体制の整備を進めていることが確認できた。

しかしながら、企業からは個別の質問に対する具体的説明は得られず、外部からは公開情報を通じて実態を把握することに限界があることも明らかとなった。

また、サプライチェーンがグローバルかつ多層的に構成されているという産業構造そのものが、情報の完全な把握や責任の所在の明確化を困難にしている可能性も考えられる。たとえ透明化が進められていたとしても、すべての工程や関係主体を完全に管理することは容易ではない。そのため、ファストファッションにおける労働問題が改善されにくい背景には、企業努力の有無だけでは説明できない構造的要因が存在している可能性があると考えられる。

## 4. 結論および今後の展望

本研究では、文献調査とユニクロ（株式会社ファーストリテイリング）への質問調査を通して、ファストファッション産業における労働問題が改善されにくい背景を明らかにした。文献調査では、サプライチェーンが多層化・国際化しており、ブランド企業が生産現場の労働環境を直接把握・管理することが難しい構造にあることが確認された。また、サプライチェーンの透明性が十分でない場合、強制労働や児童労働などの人権リスクへの対応が遅れる可能性も示された（森・土肥、2021）。

企業への質問調査の結果、個別の具体的な回答は得られなかったものの、公開情報から、ユニクロはサプライチェーンの透明化や生産パートナーの評価制度、労働者が相談できるホットライン設置など、管理体制の整備を進めていることが確認できた。しかし、情報公開のみでは現場の実態を把握するには限界があり、グローバルで複雑なサプライチェーン構造そのものが、改善を難しくしていることも明らかとなった。

これらの結果から、ファストファッションにおける労働問題は、企業努力だけでなく、サプライチェーンの構造的要因が大きく影響していることが示された。私自身、この研究を通して、安価な服の裏に多くの人々の労働環境が関わっていることを理解した。

本研究から得られた知見は、企業だけでなく消費者や社会全体の協力が不可欠であることを示しており、今後も個人としてできる行動を考えながら、持続可能な社会の実現に向けて行動していく必要がある。本研究では構造的要因の「可能性」が示されたにとどまり、今後さらに多角的な検証が必要である。

## 参考文献

[1]Business & Human Rights Resource Centre「アパレル産業における人権リスク・サプライチェーンに関する資料」.https://www.business-humanrights.org.2026年2月22日.

[2]International Labour Organization（ILO）.（2021）.Child Labour: Global estimates 2020. trends and the road forward.https://www.ilo.org.　2026年2月22日.

[3]金満有加（2015）「ファストファッションの光と影―『早い・安い・おしゃれ』がもたらしたもの―」高知工科大学マネジメント学部.
https://www.kochi-tech.ac.jp/library/ron/pdf/2015/03/14/a1160407.pdf.　2026年2月22日.

[4]株式会社ファーストリテイリング「サステナビリティに関する公開情報（企業公式ウェブサイト）」.https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/　2026年2月22日.

[5]濱岡研究会（能勢佳秀）（2017）「ファストファッションの展望」慶應義塾大学商学部.
https://ytkhamaoka.sakura.ne.jp/pages/GRAD_15/4nose.pdf.　2026年2月22日.

[6]「ファストファッションのビジネスモデルに関する研究」高知工科大学 卒業論文.
https://www.kochi-tech.ac.jp/library/ron/pdf/2013/03/14/a1140451.pdf.　2026年2月22日.

[7]公益財団法人 連合総合生活開発研究所（2018）「DIO 2018年4月号」公益財団法人 連合総合生活開発研究所 月刊誌．DIO https://www.rengo-soken.or.jp/dio/dio336-1.pdf .2026年2月22日.

[8]Fast Retailing Co., Ltd.（2025）.「サプライチェーンの透明化と生産パートナーリスト」.
https://www.fastretailing.com/jp/sustainability/labor/list.html.2026年2月22日.

[9]Fast Retailing Co., Ltd.（2025）.「UNIQLO and SDGs」.
https://www.uniqlo.com/jp/ja/special-feature/sustainability/sdgs.2026年2月22日.

[10]森翔人・土肥将敦（2021）「持続可能なサプライチェーンの推進における3つのアプローチとその戦略的活用 ― アパレル業界におけるX社のCSR調達の事例から」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/riim/18/0/18_105/_html/-char/en.2026年2月24日.

# 客室乗務員の持続可能性について

## ～労働環境や労働時間を改善するための対策は～

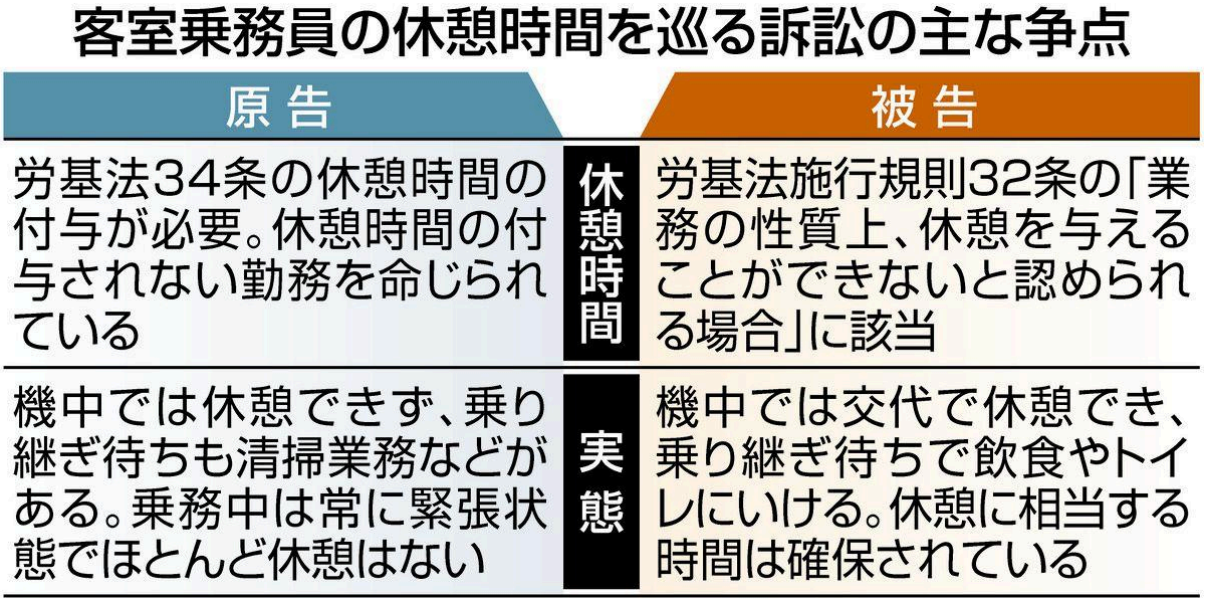
### 1，研究背景

#### 1，1日本における客室乗務員の労働環境・労働時間の現状

日本乗員組合連絡会議（日乗連）のHUPER委員会が発行したニュースで、客室乗務員の疲労リスクに関する重要な課題が取り上げられた。(日本乗員組合連絡会議　HUPER委員会　2025年2月5日）

客室乗務員の長時間労働、機内という特殊な環境での勤務、便と便の合間に十分な休憩が取れないことが問題となってる。また、東京新聞によると、2025年4月22日、航空会社「ジェットスター・ジャパン」の客室乗務員ら35人が、労働基準法に定められた休憩時間が与えられていないとして、休憩時間のない勤務命令の禁止などを求めた訴訟の判決が、東京地裁で言い渡され、客室乗務員の休憩時間を巡る初の司法判断が行われた。【図1】

(東京新聞　2025年4月22日)




**【図1】ジェットスター・ジャパンの裁判内容(2025年4月22日）**

### 2、研究目的・研究意義

1で述べたとおり、日本の客室乗務員の労働環境の現状として、長時間労働や十分な休憩時間が確保できないことが大きな問題となっている。ここで、日本の航空会社の労働環境改善への取り組みが不十分なのではないか？という仮説を立てた。

この問題を解決するため、文献調査を行い、日本航空の労働環境の現状を調べ、インタビュー調査を行い，労働環境に定評のあるエミレーツ航空【図2】と日本航空の労働環境、取り組みを比較し、今の日本の航空業界に必要な対策や解決策を明確にする。




【図2】エミレーツ航空の社員による会社評価スコア

## 3、研究方法

### 3，1文献調査

#### 3，1，1 国際線と国内線で大きく異なる1日の流れ

客室乗務員の勤務スケジュールは、会社によって大きく異なる。

国内線・国際線ともに乗務するエアラインの客室乗務員は、24時間体制である。たとえば羽田／ニューヨーク、羽田／ロンドンなどの長時間国際線では、フライトタイムは14～15時間近くある。客室乗務員は国際線の場合、飛行機が出発する時刻の2時間前ほど前に出社するため、勤務時間は18時間ほどに及ぶ。一方、短距離国内線に乗務する場合は、勤務時間は8時間ほどで終了ということもある。

そこで客室乗務員は、一般企業のように9時から17時までの勤務ではなく、日によって勤務時間が違う「シフト制」で働いている。毎日のように異なる時間に出社し、国内線では1日に2便から4便に、国際線では距離によって片道か往復に乗務する。休日も月によって異なるが、一年に110日以上、一ヶ月に直すと8日から10日ほど休めるというシフトを組んでいる会社が多い。（京極祥江　2023）

### 3，1，2 国際線外資系CAのリアリティ

カナダの航空会社を例にすると、カナダの客室乗務員には大きく分けて3つほどの休暇を取る方法がある。

①有給休暇の制度

日数は年間何日と決められており、カナダや北米では“休暇は労働者の権利”という認識が強いため、その年の有給は必ず年内に消化しなければならない。毎年秋頃に、翌年分の休暇希望月日を申請する必要がある。これはシニオリティという勤続年数の長いクルーからリクエストが通るようになっているため、申請通りになる場合や希望していない時期に休暇が割り振られることがある。

②無給休暇の制度

会社に申請すれば、籍を残したまま休むことができる。この休暇を利用し、大学や専門学校などに通ったり、海外で暮らしたり、母国へ一時帰国するクルーもいる。

③長期休暇の制度

これは、フライトを寄せ集めて働き、長めの休暇を取る方法で、CAは毎日定時で出勤するわけではないため、労働時間は月によって変動するが、基本的には月に80時間のフライトタイムと定められている。

④その他

CAの働き方も人によって様々である。例えば、休みは少ないが、体の負担が少ない短距離路線を飛ぶ人もいれば、できるだけ長距離路線を飛び、その分休みをたくさん取る人もいる。

また、希望フライトを会社に申請できたり、CA同士でフライトを交換することもできるため、ある程度スケジュールを自分で組み立てることも可能である。月の前半にフライトを詰め込み、後半は休むこともできる。

そして、フライト後には必ず何日間休まなければいけないという決まりもあるため、休みなくフライトを入れることはできない。（Ryucrew 2025）

## 3，1，3，労働時間だけでは図れない航空機客室乗務員の疲労の実態

客室乗務員の勤務の主な特徴として以下が挙げられる。

①客室乗務員が働く機内の環境は地上と大きく違い、低気圧、低酸素分圧の状態にあり、富士山の5 合目で働くのと同じ状態である。また、低湿度の問題もある。

②国内線では毎日出社と退社時間が違う不規則勤務・早朝深夜シフト・休憩の全くとれない長時間労働、国際線では長時間労働・深夜労働・時差を伴う勤務を特徴としている。

③また、空中を高速移動するため常に軽い振動と騒音があり、宇宙放射線の影響も受けます。狭いスペースでの立ち仕事で重量物も取り扱います。

④国内線や近距離国際線では労基法に反し休憩時間が全くありません。上空では限られたフライトタイムに詰め込まれた多くの業務（保安、サービス、販売等）があり、8時間を超える勤務でも休憩時間の設定そのものがありません。目的地に到着し乗客が飛行機から降りたあとも、忘れ物や不審物のチェック、次の便の搭載品のチェックや準備などの作業があります。この為、地上でも休む時間がなく、次便の乗客の搭乗が開始され乗務につく事になります。(坂口 真澄　2019）

## 3，1，4 客室乗務員の勤務について

日本の航空会社各社の乗務時間や就業時間に差異があったが、運航規程審査基準が制定されて以来各社の乗務時間の制限は共通して改悪された。

また、時間制限だけでなく、勤務内容も身体への負担が大きくなっている。

例えば、羽田空港の国際線増発に伴い、各社とも深夜の乗務が増え、パリ1泊3日や、シンガポール、バンコクの0泊3日など、負荷の高い勤務もある。時差がある上に、現地での休息が十分に取れていないため、過度な疲労を抱えた状態であり、これは乗務中の任務に影響を与え、安全な運行が確保されていないということである。(宗光美千代　2020）

## 3，1，5 国家ライセンスの有無と疲労

日本の客室乗務員には国際ライセンスが付与されていないため、総務省の職業分類ではサービス業とされている。その為、保安訓練は受けていても業務がサービス中心になり、本来は緊急事態に備え、体力に余裕を残しておかなくてはならない職業でありながら、サービス業務に追われ、疲労困ぱいになる状況がある。

ICAO(国際民間航空条約)では「疲労と安全は直結する」「安全に支障をきたすような疲労を感じた場合は乗務してはならない」として疲労リスク管理(FRM )が規定されているが、日本ではその視点が薄く、疲労が蓄積したり、微熱があったとしても無理して乗務する人が多いのが実態である。

一方、EU，北米，南米，中東の各国、またアジアでも中国，タイ，台湾など多くの国で客室乗務員に国際ライセンスが与えられ、保安要員としての地位が確立している。

※この文章で言う「国際ライセンス」とは、実際の資格ではなく、客室乗務員が法律や制度の上で「保安要員」として認められている状態を指している。（宗光 美千代　2022）

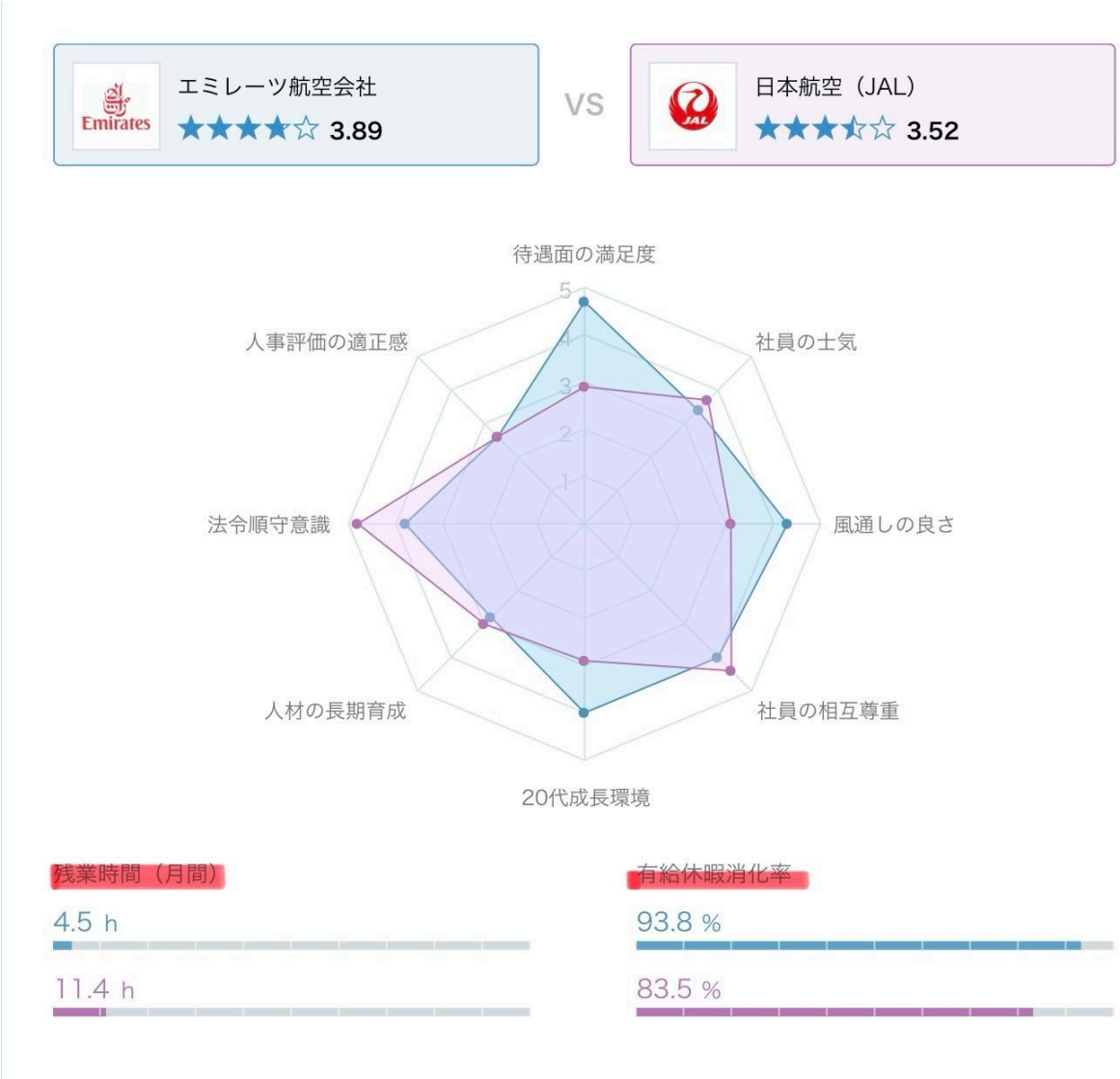
### 3，1，6エミレーツ航空と日本航空（JAL)の労働環境スコア比較

エミレーツ航空と日本航空の労働環境や社員評価を比較し、赤のマーカーペンで引かれたところに着目すると、エミレーツ航空の月間平均残業時間は、4.5時間、日本航空は11.4時間であり、エミレーツ航空の方が約6.9時間少ない傾向が見られる。

また、有給休暇消化率はエミレーツ航空が93.8%、日本航空が83.5%とエミレーツ航空の方が約10.3%高い傾向が見られます。（open work)

このことから日本航空（JAL)の客室乗務員はエミレーツ航空に比べ、十分な休憩時間や休暇が取れていないことが分かる。【図3】

※エミレーツ航空･･･アラブ首長国連邦（UAE）のドバイを本拠地とする世界最大級の国際航空会社である。




【図3】エミレーツ航空と日本航空（JAL）の労働環境比較スコア

### 3，1，7エミレーツ航空の安全管理システムについて

エミレーツ航空では、職員の健康と安全のために、労働安全衛生（WHS戦略）という取り組みを導入している。これはSMSという国際民間航空機関（ICAO）の標準と推奨慣行を基盤とした労働環境管理システムであり、労働安全衛生（WHS）は、従業員の健康維持、傷病の防止、安全で健康的な職場環境の提供を目的としている。(エミレーツ航空）

従業員は、安全に行動し、適切な人身保護具を着用し、指示事項と標準的な運用手順に従うことが推奨されている。全従業員は、各人の責任で、危険な行動や状況を回避することが求められている。【図4】

また、勤務時間は常に10時間以上の国際線を飛ぶため、身体的負担が大きいが、有給休暇が年間約30日取得でき、また、休みは月間約15日あり、毎月スケジュールを調整し、最大5日のオフが取得できる。(エミレーツ航空）




【図4】エミレーツ航空の安全管理システム(SMS)

### 3，1，8 エミレーツ航空の客室乗務員の乗務スケジュール

エミレーツ航空では、9時から5時までの固定の勤務スケジュールではなく、フライトスケジュール、目的地、飛行ルートに応じて昼夜両方のシフトで勤務する。フライトによっては数時間しか続かないこともあるが、長距離便は10時間を超えることがある。エミレーツ航空は、安全と快適性を維持しながら、各乗務員がフライト間の十分な休息と乗り継ぎ時間を確保できるよう配慮している。(エン　カイシャの評判）

また、勤務時間と休息時間のバランスをとるため、国際航空基準を厳格に遵守している。乗務員は、ロンドン、パリ、シンガポール、ニューヨークなど、様々な都市にあるワールドクラスのホテルに宿泊でき、乗り継ぎ時間中は、次のフライトまでの時間を過ごし、街を散策したり、リラックスしたり、レジャーアクティビティを楽しむことができる。

そして、乗り継ぎ期間中の宿泊費、食事代、交通費を負担しているため、安心して乗務できる。(AME CET )

## 3，2，インタビュー調査

### 3，2，1インタビュー調査方法

1月19日月曜日に日本航空へメールを送信し、以下の内容でインタビュー調査を行った。

［客室乗務員の働きやすさに関する質問］

新潟県立国際情報高等学校2年の関友理香です。

将来、客室乗務員になりたいと思っているのですが、学校の探究で客室乗務員の持続可能性について調べています。

JAL では客室乗務員の方の健康の維持や働きやすさを守るために特にどのような対策をしていらっしゃいますか？

お忙しいところ恐れ入りますが、1月23日金曜日までにご返答いただけると幸いです。

### 3，2，2JAL（日本航空）の労働環境改善への取り組み

日本航空では、長時間のフライトや時差のある国際線の勤務が多い為、十分な休息時間の確保や体内リズムを整える支援を行っている。具体的には、勤務スケジュールを組む際に無理のない勤務間隔を設けることや、睡眠の質改善に向けた情報提供を強化している。【図5】(日本航空）

そして、1日単位の深夜業免除措置希望日申請制度があり、深夜業免除措置を適用中、月間のスケジュールにおいて、1日単位で深夜業を免除する希望日を選択できる。深夜免除措置を適用しながら、選択した希望日に宿泊を伴う乗務をすることが可能になる。

また、機内での作業負担軽減や適切な体調管理のために、機器・設備などの改善を検討しており、フライト中の水分補給や栄養バランスの良い食事の提供に配慮し、健康維持を支援している。

加えて、健康管理体制において定期健康診断のほか、メンタルヘルスケアの強化、ストレスチェックの導入、専門カウンセラーとの相談窓口設置による客室乗務員の悩みを早期に相談できる環境を整備している。




【図5】日本航空(JAL)の客室乗務員の月間スケジュール

## 4、結果・考察

文献調査の1，3，4，では、日本の航空会社の国内線と国際線の勤務内容が書かれてあり、国内線の特徴として勤務時間は8時間～10時間ほどであり、休憩時間がとれ、身体への負担が小さいイメージがあったが、10時間を超える勤務であっても休憩時間の設定がなく、実態上もほとんど休憩が取れないことがあり、食事も、飛行機が到着し次便の準備の合間にお弁当を5分で食べたり、時には上空で立ったまま数分で食事を済ませることもあると明記されていた。

文献調査の2 では外資系エアライン（カナダ）の休暇制度について書かれてあり、有給休暇・無給休暇・長期休暇の3つを選択でき、それぞれ個人に合った休暇の取り方ができる環境であると明記されていた。

文献調査の5では、国際ライセンスの有無について書かれてあり、日本の航空会社では、国際ライセンスが採用されていないため、客室乗務員が「保安要員」ではなく、「サービスを提供する職業」と仮定されていることにより、乗務がままならない状況であっても、乗務しなければならない環境であることが問題になっていると明記されていた。

文献調査6，7，8では、エミレーツ航空の労働環境の特徴として、国際法に基づいた業務員の安全対策がとられており、特に有給休暇消化率は9割を超えていた。また、スケジュールを調整でき、最大5日間のオフが取得できるなど、個人に合った休暇の選択方法がある。また、航空会社が国際線乗務の際にかかる食費やホテル代などを負担するため、安心して乗務できると明記されていた。

また、日本航空へ労働環境改善の対策についてインタビューを行った。

日本航空には、具体的な取り組みとして、1日単位の深夜業免除措置希望日申請制度があり、深夜業免除措置を適用中、月間のスケジュールにおいて、1日単位で深夜業を免除する希望日を選択できる。深夜免除措置を適用しながら、選択した希望日に宿泊を伴う乗務をすることが可能である環境が整っていると述べていた。

文献調査の1～5を比較し、国内線と国際線に共通して、休憩時間がとれていないことが問題であり、機内は、低気圧、低酸素という環境もあって、身体への負担が大きいことがわかった。これに対応した取り組みとして外資系エアラインでは、自分に合った休暇を取れる環境や国際ライセンスの取得による「保安要員」としての地位確立など、それぞれ個人に合った働き方があるとわかった。

しかし、日本の航空会社では、健康管理や体調管理に特化した取り組みは多いが、休暇制度や休憩時間確保への取り組みが少ない。

以上から、現在の日本の客室乗務員の労働環境には、休憩時間や休暇が少ないことが最も改善すべき課題であり、この課題を解決するため、それぞれの航空会社で国際ライセンスの導入を行い、「保安要員」としての地位を確立させ、乗務が難しい状態の時、速やかに対応できる環境を整備すること。また、それぞれ個人の事情や環境に適応する休憩時間や休暇を取れる制度を導入することが客室乗務員の労働環境を改善することができる。

また、将来の夢として、客室乗務員になりたいと思っているため、自分が客室乗務員になった時には、労働環境を改善し、航空業界がより働きやすい環境になるよう、今回の探求で学んだことを活かして、自分から率先して行動していきたいと思いました。

## 5、引用文献


・「ジェットスターCAが訴えた『休憩ゼロ』の実態」.(2025年4月22日).東京新聞.
https://www.tokyo-np.co.jp/article/399788

・「客室乗務員の疲労リスク管理について」.（2025年2月5日).日本乗員組合連絡会議.
https://jca-jjp.com/2608-2/

・open work.「就職・転職リサーチ」.
https://www.openwork.jp/company.php?m_id=a0C30000005NhgU

・京極祥江.(2023).「客室乗務員になるには」.ペリカン社.

・Ryucrew.（2025).「国際線外資系CAがシェアしたい自分らしく生きるための人生の羅針盤」.KADOKAWA.

・キャビンクループロジェクト坂口 真澄.（2019）.「労働時間だけでは図れない航空機客室乗務員の疲労の実態」.
https://www.jskr.net/wp-content/uploads/2019/05/SAKAGUCHI_20190526.pdf

・宗光美千代.（2020).「過労死防止学会誌 第1号 客室乗務員の職場の特徴、及びコロナ禍におけるあらたなストレスとパワハラの実態」.
https://www.jskr.net/wp-content/uploads/2023/03/JSKR_J-1_p046_Munemitsu_2021-03.pdf

・宗光 美千代.（2022).「過労死防止学会誌 第3号客室乗務員の現状と国際比較、労災等について」.
https://www.jskr.net/wp-content/uploads/2024/03/JSKR-J-3_p116_Munemitsu_2023-03.pdf

・open work.「エミレーツ航空と日本航空の労働環境スコア比較」.
https://www.openwork.jp/a0C30000005NhgU/compa/a0910000000Hsh1/

・エミレーツ航空.「エミレーツ航空の安全管理システムについて」.
https://www.emirates.com/jp/japanese/about-us/safety/

・エン　カイシャの評判.「エミレーツ航空会社の働き方」.
https://en-hyouban.com/company/10076341608/18/

・AME CET.「エミレーツ航空の乗務スケジュール」.
https://www.amecet.in/questions/what-is-the-work-schedule-in-emirates-airline-air-hostess-career#:~:text=In%20this%20career%20flight%20attendants,balance%20work%20and%20rest%20hours.

・日本航空.「客室乗務員の月間スケジュール」.
https://www.job-jal.com/work-people/jobtype3/

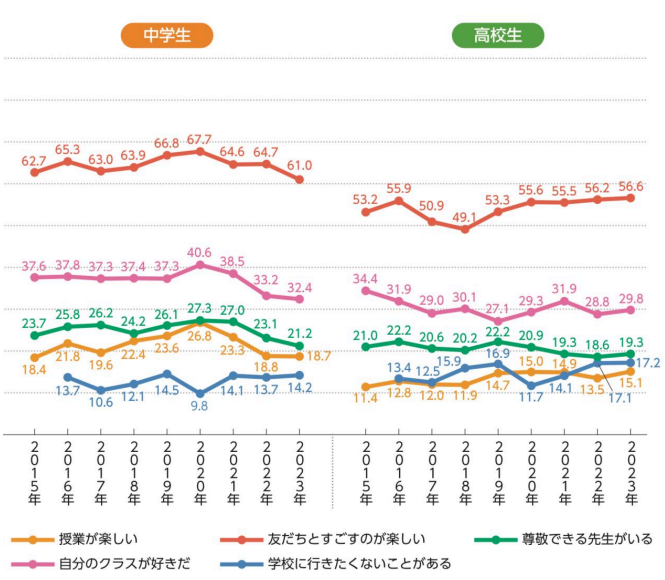
学習への意識が「やりたい」に変わる瞬間　～リアルな体験が生徒に与える影響～

# 1.　研究背景

将来、学校の先生になりたいと考えているが、その中で近年、勉強が嫌いな生徒が多いと感じている。その原因の一つとして、勉強をする楽しさを感じられていないことが挙げられる。（ベネッセ教育総合研究所，2024、図1）。実際に、学校現場では「勉強がつまらない」、「なぜ勉強するのかよくわからない」という生徒の声も多く見られる。

しかし、生徒が勉強を嫌いになる本当の理由や、どのようにすれば生徒が楽しく、主体的に学習に取り組めるのかについては、具体的に明らかになっていない。一方で、教師が生徒に対し、主体性を求めすぎることもかえって生徒の主体性や勉強への楽しさを失わせてしまうということもわかっている。（黒木，2022）そのため、学校現場においても、どのような授業の工夫が生徒の学習意欲を高めるのか判断が難しい状況である。

これらの課題を明らかにすることは、生徒一人一人が主体的になり、学ぶ環境をつくるだけでなく、学び続けられる教育の実現という点からも重要である。生徒が勉強に前向きに向き合える学校づくりは、教育の持続可能性を高める上で欠かせない視点であると考える。




（図1 ベネッセ教育総合研究所）

## 2.　研究目的・意義

本研究では、「なぜ勉強が嫌いな生徒が多いのか」というリサーチクエスチョンに対し、「学ぶ楽しさを感じられる機会が少ないこと」が一因であるという仮説を立てた。

勉強が嫌いな生徒の中には、勉強する意義や目的が分からないと感じている生徒が多いと考えられる。学校現場の教育では、講義形式を中心とした受動的な学びが主流であり、生徒が自ら考えたり体験したりする主体的な学習の機会は十分とは言えない。一方で、体験を伴う学習や教員の工夫によって、生徒がより楽しく学べる可能性が指摘されている。

そこで本研究では、生徒が勉強を楽しいと感じる要因や、授業形態・評価方法が学習意欲に与える影響を明らかにすることを目的とする。さらに、本研究で得られた結果を今後の教育実践に生かすことで、生徒が主体的に学び続けられる学習環境づくりに役立つ手がかりを得ることを意義とする。

## 3. 研究方法

本研究では、生徒の学習への意識や、体験を伴う授業の生徒への影響を明らかにするため、アンケート調査を実施した。

調査対象は、国際情報高校1、2年生26名と六日町中学校1、2、3年生167名の計193名である。Google フォームを用いた無記名アンケートとした。

アンケートは全13問で構成し、アンケートでは、勉強への意欲、体験型授業に対する印象、通知表の評価に対する意識などについて質問した。具体的には、「体験を伴う授業は印象に残りやすいか」、「体験型授業は学習意欲を高めると思うか」などの質問を設定した。特に本研究では、主体的な活動と学習意欲・楽しさとの関係に注目して分析を行った。回答形式は4段階評価および自由記述とした。

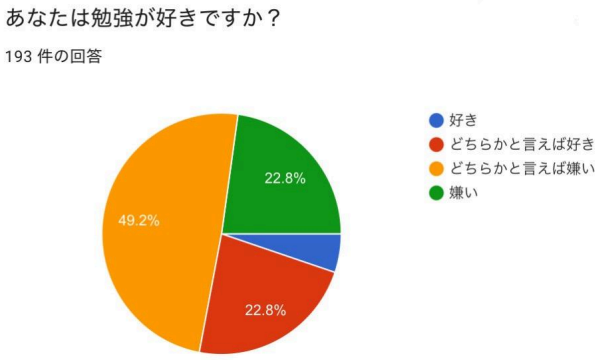
なお、本調査は個人が特定されないように配慮して実施した。

# 4. 結果・考察

本研究では、「勉強への意識の現状」「勉強の楽しさ」「主体的な学習活動の実態」「それらが学習意欲に与える影響」の4点を測定できる質問として、これら8問を分析対象とした。

〈勉強への意識の現状について〉

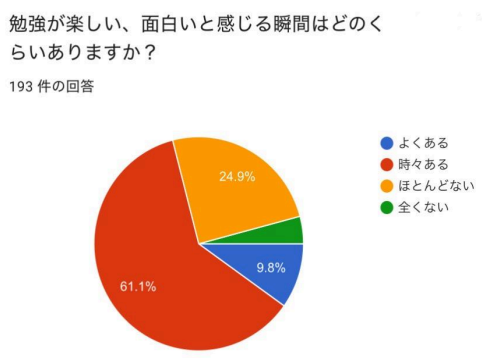
「あなたは勉強が好きですか？」という質問に対し、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と回答した生徒は全体の約70%を占めており、勉強に対してマイナスな意識を持っている生徒の方が多い傾向にあるということがわかった（図2）。



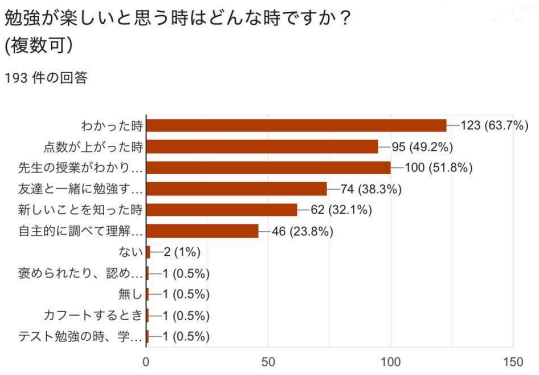

（図2）勉強に対する好感度のアンケート結果

〈勉強の楽しさについて〉

「勉強が楽しい、面白いと感じる瞬間はどのくらいありますか？」という質問に対し、「よくある」、「時々ある」と回答した生徒は、全体の約70%であった（図3）。また、「勉強が楽しいと思う時はどんな時ですか？（複数回答）」という質問に対し、1番多かったのは、「わかった時」、そして、「先生の授業がわかりやすい時」、「点数が上がった時」という回答であった（図4）。



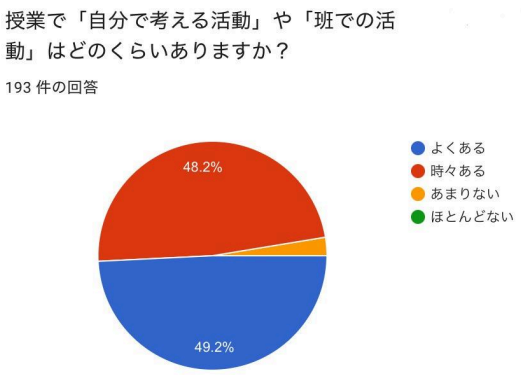

（図3）勉強を楽しいと感じる頻度のアンケート結果




（図4）勉強が楽しいと感じる場面のアンケート結果（複数回答）

〈主体的な学習活動の実態について〉

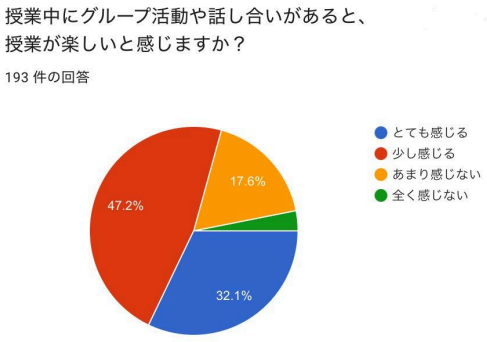
「授業で「自分で考える活動」や「班での活動」はどのくらいありますか？」という質問に対し、約97%の生徒が「よくある」、「時々ある」と回答した。「ほとんどない」と回答した生徒はいなかった（図5）。



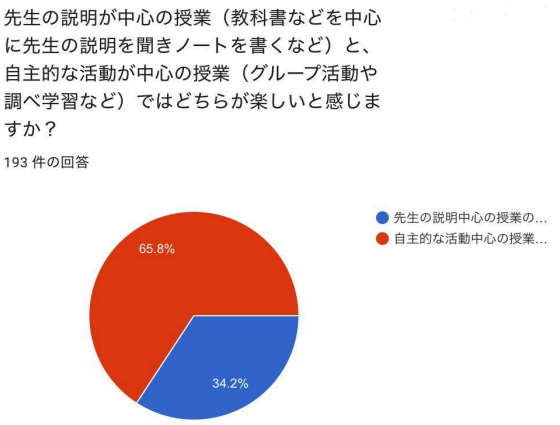

（図5）主体的な授業の頻度についてのアンケート結果

〈それらが学習意欲に与える影響について〉

図6～9は、授業における主体的な活動と、授業の楽しさおよび学習意欲との関係についてのアンケート結果である。まず、「授業中にグループ活動や話し合いがあると、授業が楽しいと感じますか？」という質問に対し、「とても感じる」、「感じる」と回答した生徒が全体の約80%を占めた（図6）。次に、「先生の説明が中心の授業（教科書などを中心に先生の説明を聞きノートを書くなど）と、自主的な活動（グループ活動や調べ学習など）ではどちらの方が楽しいと感じますか？」という質問に対し、先生の説明が中心の授業よりも、自主的な活動が中心の授業の方が楽しいと感じる生徒が多いという結果になった（図7）。

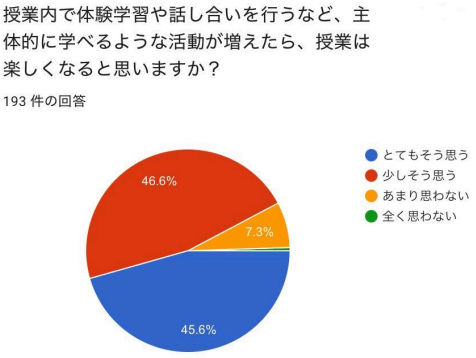



（図6）グループ活動がある授業に対しての印象についてのアンケート結果

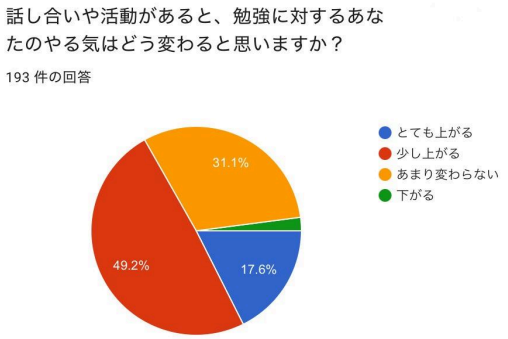



（図7）授業形態の比較についてのアンケート結果

また、「授業内で体験授業や話し合いを行うなど、主体的に学べるような活動が増えたら、授業は楽しくなると思いますか？」という質問に対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」と回答した生徒は全体の約90%を占めた（図8）。さらに、「話し合いや活動があると、勉強に対するあなたのやる気はどう変わると思いますか？」という質問に対して、全体の約65%の生徒が「とても上がる」、「少し上がる」と回答した（図9）。




（図8）授業の改善による授業への印象についてのアンケート結果




（図9）話し合いや活動による学習意欲の変化についてのアンケート結果

本研究の結果から、授業にグループ活動や話し合い活動などの主体的な活動を入れることで、授業を楽しいと感じやすくなり、勉強に対してのやる気や意欲の向上につながることが明らかになった。その理由として、話し合いや体験授業を通して、生徒が「自分で考えてわかった」「理解できた」と感じる機会が増えることが挙げられる。

一方で、授業内で自分で考える活動や班での活動の頻度については「よくある」、「時々ある」と回答した生徒が予想以上に多く、「学ぶ楽しさを感じる機会が少ないため、勉強が嫌いな生徒が多い」という当初の仮説とは一致しない結果が得られた。

これらの結果から、主体的な活動の「量」よりも、その活動がどれだけ生徒の主体性を引き出せる内容であるか、生徒が楽しいと感じられる活動であるかということが重要である。

## 5. 結論・展望

本研究では、学ぶ楽しさを感じる主体的な活動の機会が少ないことが勉強嫌いの原因であるという仮説を立てて調査を行った。しかし、アンケート結果からは、自主的な活動は一定程度行われていることが分かり、仮説とは一部異なる結果となった。一方で、話し合いや体験的な活動がある生徒が主体的に学べる授業の方が楽しいと感じ、勉強に対するやる気が高まる生徒が多いことが明らかになった。これらのことから、勉強嫌いの背景には、主体的な活動の量だけではなく、授業の内容や、活動への参加のしやすさなどの質が関係していると考えられる。

本研究では、アンケートによる調査を行ったため、今後は実際の授業を比較、観察する調査も行うことでより具体的な学習場面での効果について調べたい。また、自主的な活動の質や内容に注目することで、学ぶ楽しさを高める授業の工夫についても調べていきたい。

## 6. 謝辞

本研究を進めるにあたり、アンケートにご協力いただいた生徒の皆さん、様々なご助言・ご協力をいただいた先生方に心より感謝いたします。

## 7. 引用文献

杉山成・辻義人(2014).「アクティブラーニングの学習効果に関する検証：グループワーク中心クラスと講義中心クラスの比較による[1]」.
『小樽商科大学人文研究』, 127, 61−74

河本愛子(2014).「中学・高校における学校行事の発達的意義：大学生の回顧的意味づけに着目して」.
『発達心理学研究』, 25(4), 453−465

寺尾香那子・中谷素之(2019).「教師の内発的動機づけが学習者の期待形成および内発的動機づけに与える影響」.
『日本教育工学会論文誌』, 43(2), 117−125

鈴木雅之(2011).「ルーブリックの提示による評価基準・評価目的の教示が学習者に及ぼす影響」.
『教育心理学研究』, 59(2), 131−143

鈴木高志・櫻井茂男(2011).「内発的および外発的な利用価値が学習動機づけに与える影響の検討」.
『教育心理学研究』, 59, 51−63

佐藤秋杜・安倍二郎(2020).「小学校におけるアクティブ・ラーニングについての検討」.
『北海道教育大学大学院高度教職実践専攻研究紀要：教職大学院研究紀要』, 10, 121−131

日下部達哉(2019).「比較事例研究からみる日本型教育の特徴　ベトナム、ザンビア、バングラデシュ、南アフリカの比較から」.
『教育学研究』, 86(4), 550−564

大鷹幹樹・長谷川颯大・渡邉友萌・岡崎善弘(2024).「勉強の面白さを教えることが児童の学習意欲に与える効果ー「子どもの生活と学びに関する親子調査」のデータを用いた縦断的研究ー」.
『日本教育心理学会総会発表論文集』, 第66回, セッションID：PC024

伊藤貴昭(2016).「学習意欲を高める授業デザインの検討」.
『明治大学教職課程年報』, 38, 55−66

吉澤隆志・藤沢しげ子(2009).「授業形式の違いが学習意欲に及ぼす効果についてー学習意欲を高める授業形式の検討ー」.
『理学療法科学』, 24(1), 35−39

小西尚之(2020).「「深い学び」を実現するためのアクティブ・ラーニング　「協同学習」の視点から」.
『学校教育研究』, 35, 21−34

黒木貴人(2022).「子どもの「主体性」をめぐる理論及び教育方法に関する基礎的考察」.
『福祉健康科学研究』, 17, 133−141

ベネッセ教育総合研究所(2024).「子どもの生活と学びに関する親子調査2023」.
https://benesse.jp/berd/up_images/research/oyako_tyosa_2023_0326.pdf

# そのBGM、集中できてるつもり説

## That BGM—Are You Really Concentrating?

### 1.研究背景

近年、学習や課題に取り組む際に音楽を聴く高校生は増加しており、音楽は学習環境の一部として身近な存在になっている。特にスマートフォンや音楽配信サービスの普及により、個人が好きな音楽をいつでも簡単に再生できるようになったことで、学習中にBGMとして音楽を利用する機会はさらに増えている。また、イヤホンやヘッドホンの性能向上により、周囲の音を遮断しながら自分に合った学習環境を作ることも可能になっている。

このような背景から、多くの生徒が音楽を聴きながら学習するスタイルを取り入れている。音楽を聴くことで気分が向上し、作業効率が高まる可能性があることが指摘されている一方で、音楽が課題遂行に影響を及ぼす可能性も示されている（Effects of background music on phonological short-term memory.Salame & Baddeley, 1989）。この研究では、歌詞を含む音楽が言語的短期記憶に干渉し、課題遂行に影響を与える可能性があることが報告されている。

また、人間は意味のある言語情報を無意識に処理してしまう傾向があることが知られている。この現象は、心理学者のジョン・リドリー・ストループによって報告されたストループ効果によって示されており、言語情報が注意の分散を引き起こす可能性があるとされている（Studies of interference in serial verbal reactions.Stroop, 1935）。このことから、歌詞を含む音楽は学習時の集中力に影響を与える可能性があると考えられる。

さらに、背景音楽が学習や作業に与える影響は個人の特性によって異なることも指摘されている。音楽が集中を助ける場合と妨げる場合の両方が存在し、その影響には個人差があることが報告されている（Music while you work: The differential distraction of background music.Furnham & Bradley, 1997）。このことから、音楽と集中力の関係は単純ではなく、音楽の種類や個人の認知特性など、複数の要因が関係していると考えられる。

また、現代の学習環境では、自宅や学校など様々な場所で学習する必要があり、必ずしも静かな環境が確保できるとは限らない。そのため、自分に合った集中しやすい環境を見つけることは、多くの生徒にとって重要な課題である。

以上のことから、学習中の音楽が集中力にどのような影響を及ぼすのかを、より具体的な条件に分けて検討することは、効果的な学習環境を考える上で重要である。本研究では、音楽の種類および歌詞の有無に着目し、学習時の集中力との関係について明らかにすることを目的とする。

## 2.意義

先行研究では、音楽には気分を安定させたり、作業効率を高めたりする効果がある可能性が示されている。例えば、計算課題時の気分や成績に及ぼすBGMの効果を検討した研究では、適切なBGMは作業効率を向上させる可能性があると報告されている（山崎晃男「計算課題時の気分と成績に及ぼすBGMの効果」）。

一方で、歌詞のある音楽については、言語処理を必要とする学習において注意を分散させる可能性が指摘されている。背景音楽の歌詞が課題遂行に与える影響を検討した研究では、歌詞が存在することで認知的負荷が増加し、課題のパフォーマンスに影響を与える可能性が示されている（吉田拓哉・山中敦子「背景音楽の歌詞が課題遂行に与える影響」）。

しかし、音楽の種類や歌詞の有無といった要因に着目し、高校生という同年代集団を対象として集中力への影響を比較した研究は十分とは言えない。高校生は日常的に音楽に触れる機会が多く、学習スタイルにも音楽が取り入れられている場合が多いため、その影響を明らかにすることは、学習方法の改善や効率的な学習環境の提案につながると考えられる。

## 3.仮説

学習中に音楽を聴く場合、歌詞のない音楽を聴いた場合は、無音および歌詞のある音楽を聴いた場合よりも集中力が高くなると仮定した。

その理由として、歌詞のない音楽は外部の雑音を抑え、心理的な安定感をもたらすことで作業への没入を促す効果が期待できる。一方で、歌詞のある音楽は言語情報を含んでいるため、文章理解や計算処理など言語的・認知的処理を伴う課題において注意資源が分散し、集中力が低下する可能性があると考えられる。また、人間の脳は意味のある言語情報に対して自動的に注意を向けてしまう傾向があるため（Salame, P., & Baddeley, A. Effects of background music on phonological short-term memory.）、歌詞が存在すると課題以外の情報処理が発生しやすいと推測される。

さらに、無音環境は外的刺激が少ないという利点があるものの、逆に周囲の生活音や環境音が気になりやすくなる場合もあり、必ずしも最も集中しやすい環境とは限らない。そのため、本研究では無音、歌詞なし音楽、歌詞あり音楽の三条件を比較し、それぞれが集中力に与える影響の違いを明らかにする。

そこで本研究では、学習中に音楽を聴くことが集中力にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的とし、音楽の種類および歌詞の有無の違いによる集中力の変化について検討する。

## 4.研究方法

1.実験協力者

新潟県立国際情報高等学校の2年2組の女子生徒4名に実験協力者になってもらった。いずれも日常的に学習に取り組んでいる生徒であるが、熱量はそれぞれである。

2.実験条件

学習中の音楽の違いが集中力に与える影響を調べるため、以下の3つの条件を設定した。

1.無音
2.歌詞なし（月の光　クロード・ドビュッシー）
3.歌詞あり（Shape of you　エド・シーラン）

各条件において、同程度の計算問題に取り組んでもらった。

3.使用した課題

簡単な足し算、引き算、掛け算、割り算を使用した。（例: 132÷12＋4、6×9+18など）
各条件で用いる問題は、問題数や難易度ができるだけ等しくなるように作成した。（chatGPTを用いて作成）
また、制限時間内に20問の計算問題に解答してもらう形式とした。

4. 実験手順

実験は以下の手順で行った。

まず、実験協力者に実験内容を説明し、同意を得た。その後、無音、歌詞のない音楽、歌詞のある音楽の順に、音楽を聴きながら、制限時間3分で計算問題に取り組んでもらった。各条件において、指定された音楽環境のもとで同様の計算課題を実施した。条件ごとに短い休憩を挟み、次の課題に影響が出にくいよう配慮した。

5. 評価方法

集中力の指標として、各条件における正答数および解答に要した時間を記録した。また、課題終了後に「どの程度集中できたと感じたか」について簡単なアンケートを実施し、主観的な集中度についても調査した。

6.アンケートについて

実験前と実験後に実験協力者4名に、事前アンケートと事後アンケートに回答してもらった。

事前アンケートでは、性別、年齢、勉強中に音楽を聞く頻度（5段階評価）、普段よく聴く音楽のジャンル、音楽を聴くときに使用する機器、カラオケでの最高点数、最低点数、平均点数、音楽は学習の助けになると思うか（5段階評価）、計算は得意か（4段階評価）、体調、集中状態はどうか（3段階評価）、の11項目に回答してもらった。

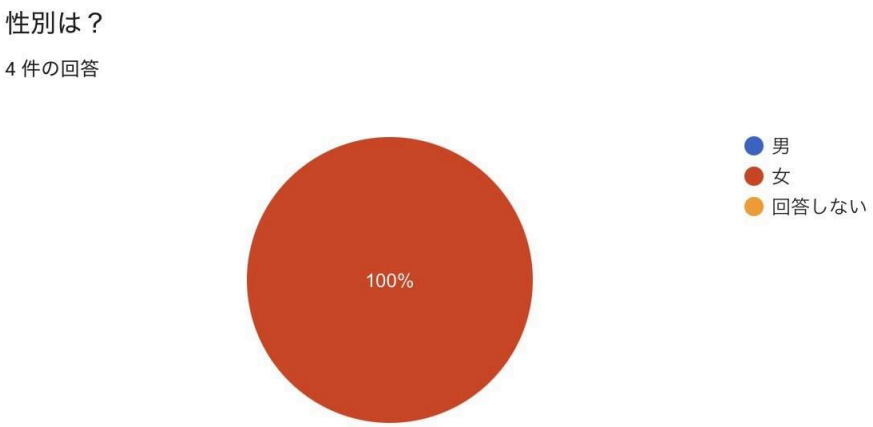
事後アンケートでは、無音、3項目それぞれで、どれくらい集中できたか（5段階評価）、計算中に音楽は気になったか（4段階評価）、作業はやりやすかったか（5段階評価）、気分や状態の変化はあったか（4段階評価）、の4項目に回答してもらった。

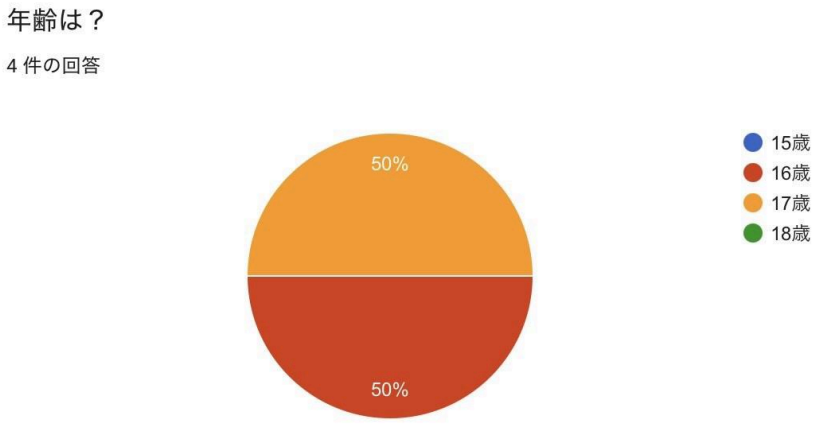
## 5.結果

本研究では、同学年の女子生徒4名を対象に、①無音、②歌詞なし音楽、③歌詞あり音楽の3条件下で計算問題を実施し、正答率を比較した。

そして、実験を行う前に事前アンケート、実験後は事後アンケートをGoogleクラスルームを用いて行った。

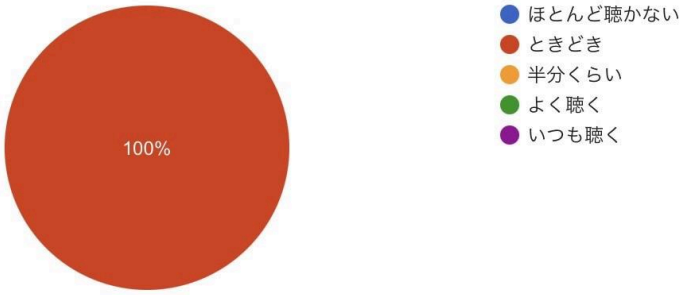
〈事前アンケートの結果〉



## 普段、勉強中に音楽を聴く頻度は？

4 件の回答




## 普段よく聴くジャンルは？

4 件の回答

J-pop

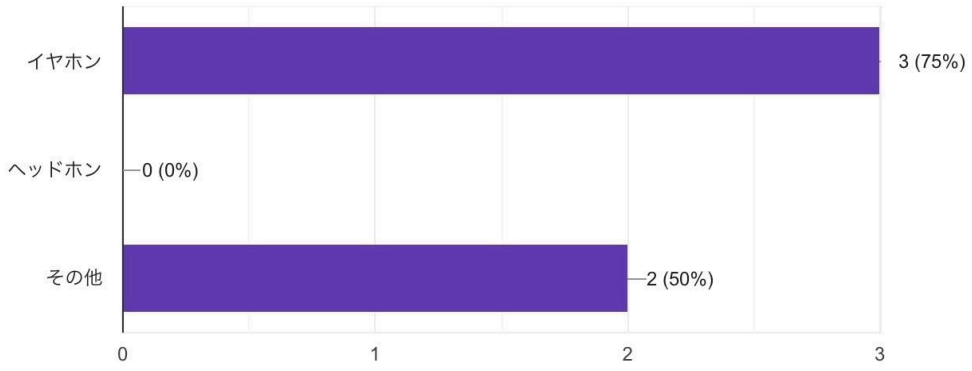
KPOP

Kpop

HIPHOP

## 音楽を聴く時は？

4 件の回答



カラオケでの最高点数は？(だいたい)

4 件の回答

90

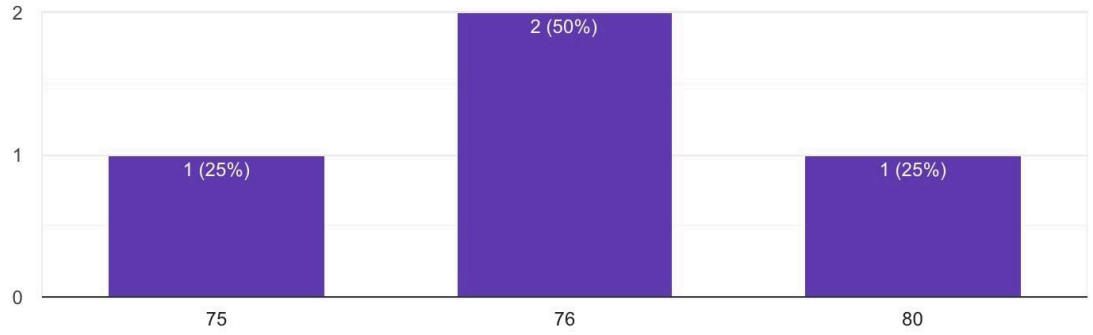
95

94

93

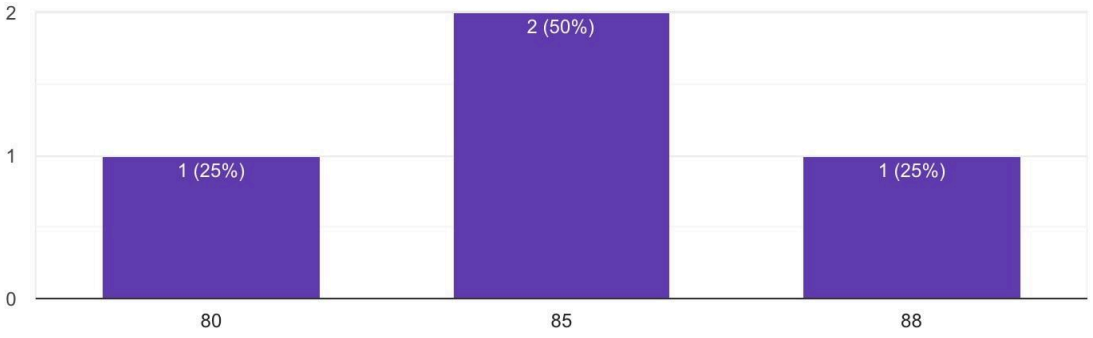
カラオケでの最低点数は？(だいたい)

4 件の回答



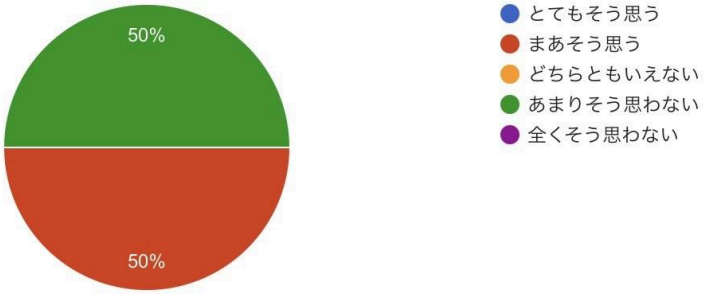

カラオケでの平均点数は？(だいたい)

4 件の回答



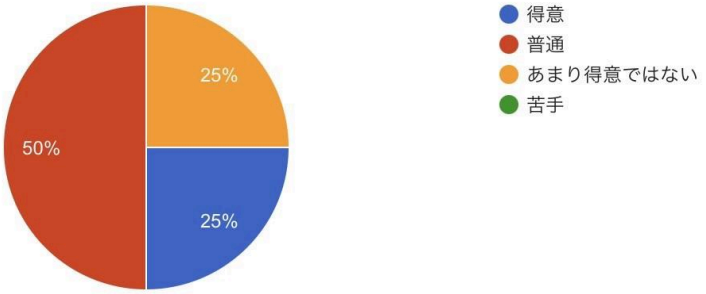
勉強中、音楽は集中の助けになると思いますか？

4 件の回答



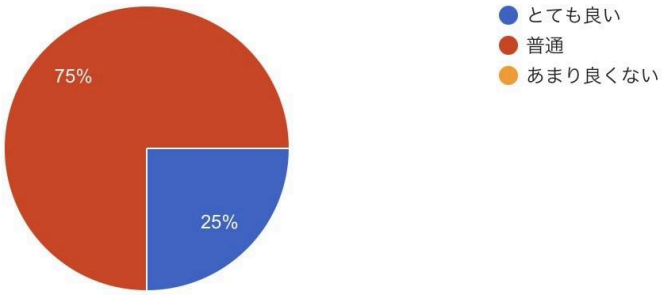

自分は計算が得意だと思いますか？

4 件の回答




体調、集中状態はどうですか？

4 件の回答

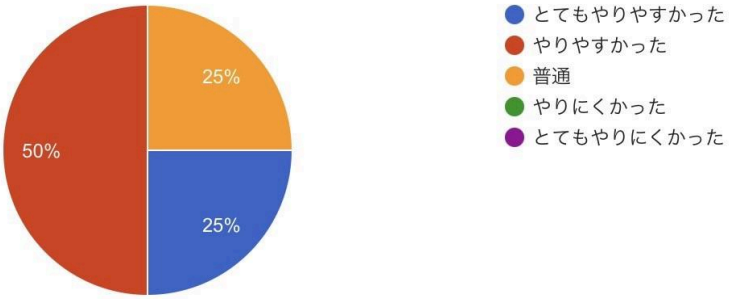


〈事後アンケートの結果〉

**無音**

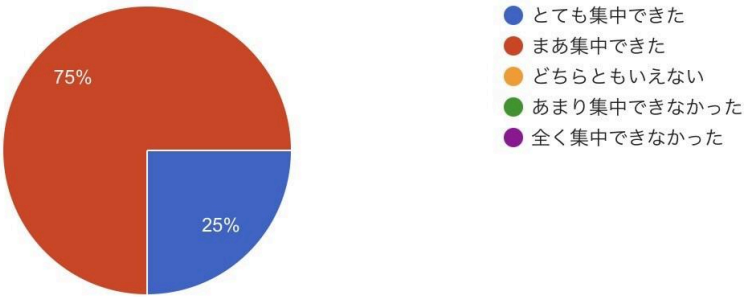
1 作業はやりやすかったですか？

4 件の回答



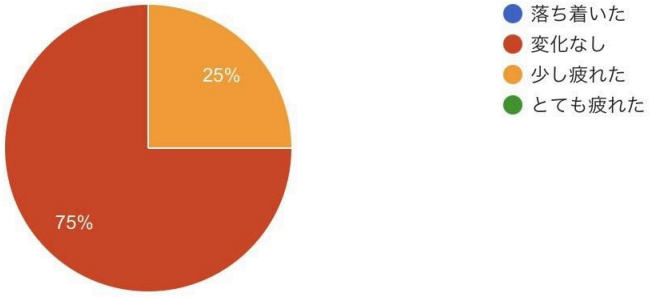

1 どれくらい集中できましたか？(無音)

4 件の回答



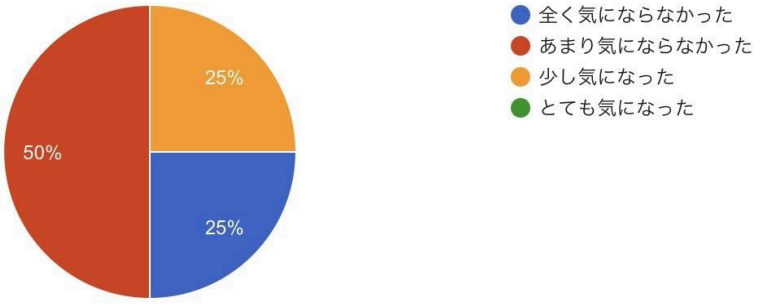
1 気分や状態の変化はありましたか？

4 件の回答




1 計算中、音楽または無音は気になりましたか？

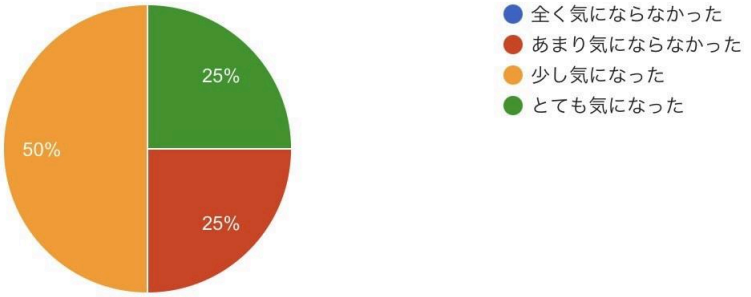
4 件の回答



**歌詞なし音楽(月の光:クロード･ドビュッシー)**

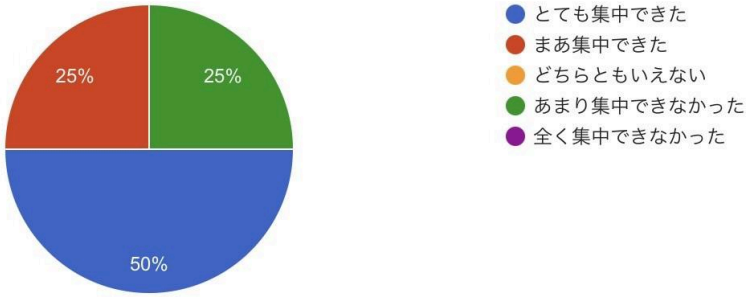
2 計算中、音楽は気になりましたか？

4 件の回答



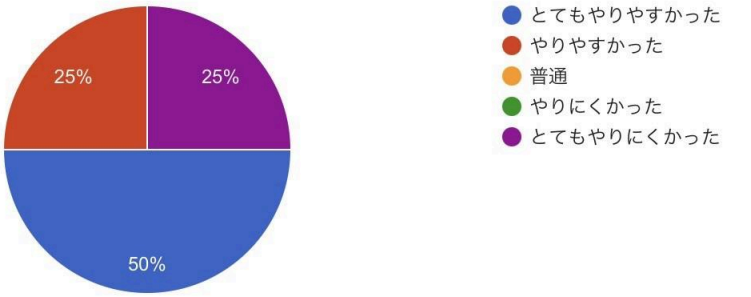

2 どのくらい集中できましたか(歌詞なし)

4 件の回答



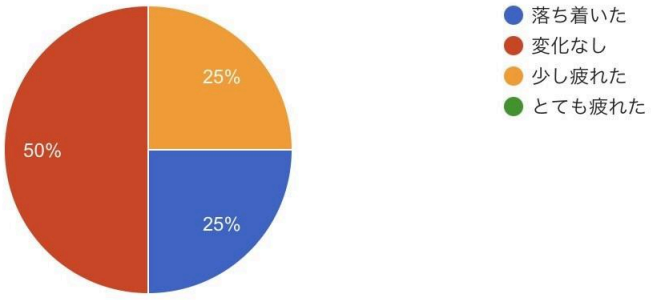

2 作業はやりやすかったですか？

4 件の回答



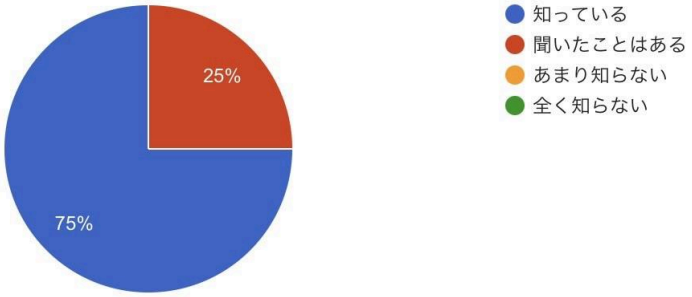
## 2 気分や状態の変化はありましたか？

4 件の回答



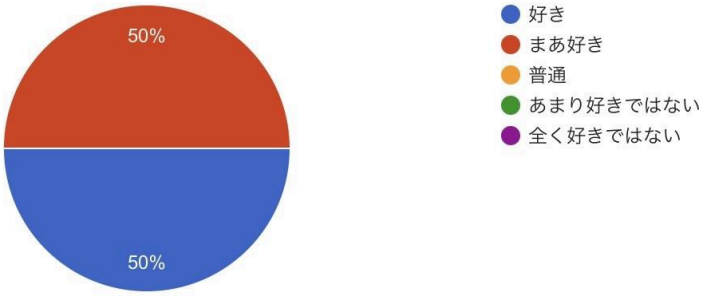

## 2 この音楽を知っていますか？

4 件の回答




## 2 この音楽は好きですか？

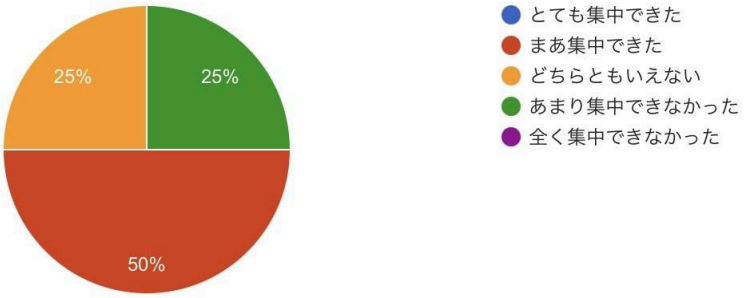
4 件の回答



**歌詞あり音楽(Shape of you:エド･シーラン)**

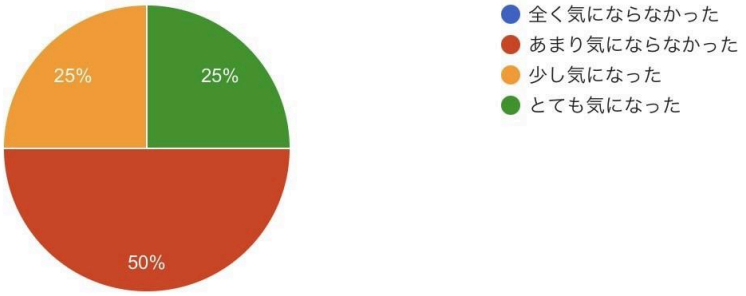
3 どれくらい集中できましたか？

4 件の回答



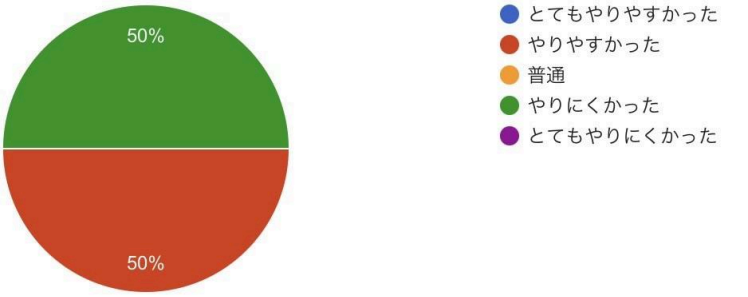

3 計算中、音楽は気になりましたか？

4 件の回答



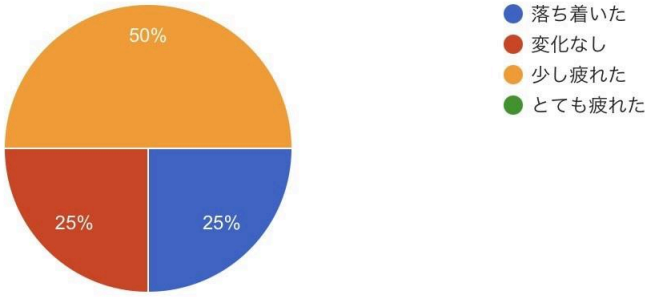

3 作業はやりやすかったですか？

4 件の回答



3 気分や状態の変化はありましたか？

4 件の回答



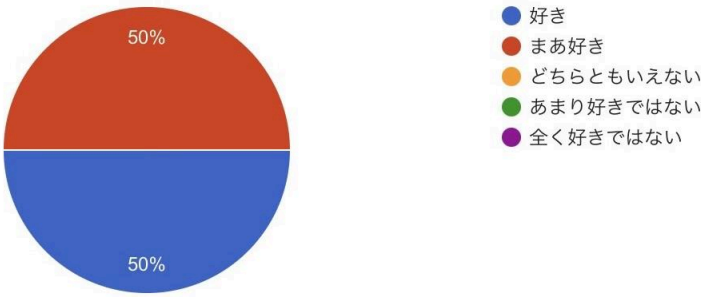

3 この音楽を知っていますか？

4 件の回答




3 この音楽は好きですか？

4 件の回答



① 個人ごとの結果

各実験協力者の条件別正答率を上のグラフに示す。

・実験協力者1では、歌詞なし音楽で正答率が最も高かった。
・実験協力者2および4では、歌詞あり音楽で最も高い正答率が示された。
・実験協力者3では、歌詞なし音楽が最も高かった。
このように、どの条件で最も高い正答率を示すかには個人差が見られた。

② 条件別平均正答率

次に、4名の正答率の平均を条件ごとに算出した。

・無音条件：81.25%
・歌詞なし音楽条件：85.0%
・歌詞あり音楽条件：88.75%
その結果、平均正答率は歌詞あり音楽が最も高く、次いで歌詞なし音楽、無音の順となった。

③ 結果のまとめ

以上の結果から

・無音が常に最も高い正答率を示すとは限らない
・歌詞の有無による影響は一様ではなく、個人差が大きい
・少なくとも本実験では、音楽を聴きながらの方が正答率が高くなる傾向も見られた

## 6.考察

本研究では、無音、歌詞なし音楽、歌詞あり音楽の3条件が計算課題の正答率に与える影響について検討した。その結果、平均正答率は歌詞あり音楽が最も高く、次いで歌詞なし音楽、無音の順となった。一方で、個人ごとの結果を見ると、最も正答率が高くなる条件にはばらつきが見られ、音楽の影響には個人差が存在することが示唆された。

まず、歌詞なし音楽や歌詞あり音楽で正答率が高くなった協力者が多かったことから、音楽には作業中の気分を安定させたり、集中状態を維持したりする効果がある可能性が考えられる。先行研究においても、BGMが作業効率や注意の持続に良い影響を与える場合があることが報告されており、本研究の結果はそれらと一致する点がある。

一方で、歌詞のある音楽は言語処理を必要とする学習において注意を分散させる可能性があるとする研究も存在する。しかし、本研究では計算問題を課題として用いたため、文章理解などの高度な言語処理をあまり必要としなかった。このことが、歌詞あり音楽でも高い正答率が得られた理由の一つであると考えられる。

また、実験協力者2名および4名では歌詞あり音楽で最も高い正答率が示された一方、1名および3名では歌詞なし音楽が最も高かった。この結果から、音楽の好みや普段の学習習慣、音楽に対する慣れなどが集中力に影響している可能性が考えられる。つまり、どの種類の音楽が集中に適しているかは一律には決められず、個人に合った環境が重要であるといえる。

以上のことから、本研究の仮説である「歌詞のない音楽は集中力を高め、無音および歌詞のある音楽は集中を妨げる可能性がある」は、一部では支持されたものの、必ずしも全ての協力者に当てはまるわけではなかった。そのため、音楽と集中力の関係は単純ではなく、課題の種類や個人差を　考慮する必要があることが明らかになった。

ただし、本研究は実験協力者が4名と少なく、計算問題のみを課題としている点に限界がある。今後は協力者の人数を増やしたり、文章読解など異なる種類の課題を用いたりすることで、音楽と集中力の関係をより詳しく検討することができると考えられる。

【参考文献】
　文献名、著者、大学名、出版社、出版年など

1.中村美亜 （2024）.「東日本大震災をめぐる「音楽の力」の諸相」.「九州大学大学院芸術工学研究院コミュニケーションデザイン科学部門」.
https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_detail_md/?reqCode=frombib&lang=0&amode=MD100000&opkey=&bibid=1472537&start=

2.永井純一 （2022）.「音楽フェスティバルと地域社会の関係」.　https://festival-life.com/99918

3.フジロックフェスティバル公式 （2024）.「フジロックの環境への本気度」.
https://24.fujirockfestival.com/news/detail/5d666032ea6203a

4.諏訪部和也 福家健宗 征矢英昭 （2020）.「音楽に合わせた運動で高める前頭前野の実行機能」.
https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202002247090396938

5.市村賢士郎 平井志歩 水野廉也 （2022）.「BGMの自己選択が持続的注意課題の取り組みに及ぼす影響」. https://www.jstage.jst.go.jp/article/cogpsy/2021/0/2021_6/_pdf/-char/ja

6.渡部貴史 小林未来 （2008）.「休憩時の音楽聴取が作業遂行に及ぼす影響」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1050287628959684352

7.渡部真 宍戸道明 (2020).「視覚と聴覚のバイオフィードバックにおける集中力向上効果の比較検討」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1050287628959684352

8.山下利之 近藤真吾 大田安彦 北澤伸二 亀割誉 （2019）.「音楽の反復聴取がポジティブ感情誘導と計算問題遂行に及ぼす効果」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282763126422528

9.山崎晃男 （2024）.「計算課題時の気分と成績に及ぼすBGMの効果」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacjpa/88/0/88_2B-010-PC/_article/-char/ja/

10.吉田拓哉　山中敦子 (2013).「背景音楽の歌詞が課題遂行に与える影響」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282680653692928

11.三宅 浩子 (2008).「即時反応の相互作用性と学習者の注意･集中の関係に関する実践研究」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsdeme/33/0/33_1/_article/-char/ja/

12.吉永早苗 (2012).「幼児期における音感受教育」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1910865335677397248

13.横山真理 (2012).「パフォーマンス課題における音楽的思考過程の質的評価」.
https://scholar.google.co.jp/scholar_url?url=https://osaka-kyoiku.repo

.nii.ac.jp/record/2095494/files/KJ5 6101 059.pdf&hl=ja&sa=X&ei=w DiVafjCE yZ6rQP54fIsQM&scisig=AFtJQiwNnJmn36 gS KlWitGA6ZQ& oi=scholarr

14.松田健　市川誠　矢倉ゆかり (2013).「BGMの音楽的特徴が聴覚的時間推定に与える影響」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205327712512

15.石光俊介 (2024).「ヒトの生理・心理状態と音のデザイン」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1520583647848691 45

16.村田伸　津田彰　中原弘量 (2005).「音楽聴取と精神作業負荷が重心動揺に及ぼす影響」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001204644231040

17.松田憲　一川誠　橘佳奈 (2015).「音楽鑑賞中の心拍数による時間知覚への影響」.
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205327712512

18.Salame & Baddeley (1989). Effects of background music on phonological short-term memory.
https://psycnet.apa.org/record/1989-38927-001

19.Stroop (1935). Studies of interference in serial verbal reactions.
https://psycnet.apa.org/record/1936-01863-001

20.Furnham & Bradley (1997). Music while you work: The differential distraction of background music.
https://psycnet.apa.org/record/1997-43424-005

# 老舗の持続可能性における後継者問題
## ～老舗を未来に繋げる～

## 1. 研究背景と課題

### 1. 日本の老舗企業に見られる後継者不足の現状

世界には業歴100年以上の企業が多数存在し、その半数以上が日本企業である。(帝国データバンク,2024)このように、日本は老舗企業が多く、地域経済や文化を長年支えてきた。また、新潟県は老舗企業数が全国第3位であり、(朝日新聞,2024)老舗出現率も全国第3位と高い水準にある。(帝国データバンク,2024)これは、新潟において老舗が地域社会に深く根ざし、長期的に存続してきたことを示している。しかし近年、老舗企業では後継者不足が深刻化している。2025年の後継者不在率は62.60%に達しており（東京商工リサーチ,2025）、代表者の高齢化が進む中で後継者が決まらないまま廃業に至る企業もある。こうした状況は、新潟における老舗の持続可能性を脅かす要因となっている。本研究では、若者は老舗に対して伝統そのものよりも、働きやすさや人間関係、成長の実感といった労働環境を重視しており、これらが整えられた老舗ほど若者に選ばれやすくなるという仮説を立て、この仮説をアンケート調査およびインタビュー調査によって検証する。

後継者不在率　産業別

| 産業 | 2025年 | | | 2024年 |
|---|---|---|---|---|
| | 不在率 | 有り（社） | 無し（社） | 不在率 |
| 農・林・漁・鉱業 | 57.48% | 858 | 1,160 | 56.29% |
| 建設業 | 63.69% | 10,203 | 17,900 | 62.88% |
| 製造業 | 56.89% | 15,868 | 20,941 | 56.25% |
| 卸売業 | 61.45% | 12,376 | 19,730 | 61.17% |
| 小売業 | 64.90% | 4,835 | 8,942 | 64.18% |
| 金融・保険業 | 54.90% | 790 | 962 | 55.68% |
| 不動産業 | 61.11% | 2,410 | 3,788 | 61.07% |
| 運輸業 | 57.26% | 3,910 | 5,240 | 57.30% |
| 情報通信業 | 77.06% | 1,942 | 6,526 | 77.32% |
| サービス業他 | 67.28% | 10,060 | 20,695 | 66.89% |
| 合計 | 62.60% | 63,252 | 105,884 | 62.15% |

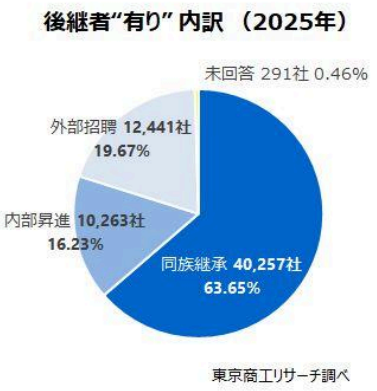



図1　　図2

図1. 10産業別「後継者不在率」

図2.　後継者「有り」の6万3,252社の内訳

(東京商工リサーチ　2025年「後継者不在率」調査より著者作成)

---

## 2. 研究方法

## ２．１ 老舗企業の概念整理と本研究における定義

老舗とは、長年にわたり同一の事業を継続し、伝統や信用、技術を世代を超えて受け継いできた企業を指す。老舗には法的・統一的な年数の定義が存在しないため、本研究では、長年にわたり地域に根ざし、事業を継続してきた企業を老舗と定義する。一般には創業100年以上の企業を老舗とする場合が多いが、本研究では、事業承継の問題をより幅広く捉えることを目的とし、事業継続年数のみならず、地域との関係性や承継上の課題を重視し、創業50年前後の企業も調査対象に含めることとした。

## ２．２ 本研究の目的設定と研究視座

本研究では、日本が誇る老舗企業を未来へと継承していくため、老舗企業における後継者不足の解決策を明らかにすることを目的とする。そのために、老舗企業を取り巻く現状や課題を把握するとともに、若者世代が老舗企業に対してどのような意識や価値観を持っているのかを明らかにする。

## ２．３ 調査設計および調査手法の構成

本研究では、アンケート調査およびインタビュー調査の二つの方法を用いた。アンケート調査は、本校第2学年の高校生を対象に実施し、就職に際して重視する価値観や、老舗企業に対する印象、就職先としての関心の有無などについて調査した。本校の高校生を対象としたのは、将来的に老舗企業の担い手となり得る若者世代の意識を把握するためである。また、インタビュー調査は、新潟県魚沼市小出地域において、長年にわたり地域に根ざして事業を継続してきた老舗企業を対象に実施した。本研究では、研究者自身が生活圏として日常的に関わっている地域を対象とすることで、地域社会と老舗企業との関係性をより具体的に捉えることができると考え、新潟県魚沼市小出地域を調査対象とした。調査では、老舗企業における仕事の魅力や現在の経営状況に加え、長い歴史の中で意図的に変化させてきた点について聞き取った。これら二つの調査結果をもとに、老舗企業の持続可能性について考察する。

# ３．研究結果・考察

## ３．１ 若者世代における就業意識の構造

### ― 高校生アンケート結果の分析 ―

### ３．１．１ 老舗企業に対する関心と認識の実態

図3-1は、老舗の店舗や企業に対する高校生の関心の有無を示したものである。この結果から、老舗は若者にとって必ずしも身近な存在として強く意識されているわけではないものの、過半数の高校生が一定の関心を

示している点は注目に値する。一方で、老舗が身近な地域に数多く存在しているにもかかわらず、必ずしも関心の対象として認識されていない点は重要な課題である。これは、老舗が地域に長く根付くことで「日常の風景の一部」となり、その歴史的価値や仕事としての魅力が若者に十分伝わっていない可能性を示唆している。すなわち、老舗の魅力が存在そのものによって埋没し、意識化されにくくなっている状況があると考えられる。

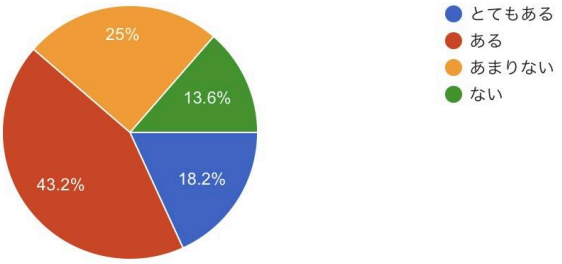



図3−1

## ３．１．２ 高校生が将来の仕事に求める価値観

図3-2は、高校生が将来働く上で重視する要素を示している。最も多かった回答は「安定した収入」で、全体の過半数を占めた。次いで「やりがい・自分の成長」が31.8%となっており、多くの高校生が、まず経済的な安定を重要視していることが分かる。一方で、「スキル習得」「人間関係」「地域とのつながり」といった項目は比較的低い割合にとどまった。この結果から、高校生の仕事観は理想や憧れよりも、将来の不安を踏まえた現実的な判断に基づいていると考えられる。特に、安定を前提としつつ、その上でやりがいや成長を求める姿勢が見られる点が特徴的である。また、「地域とのつながり」があまり重視されていないことは、老舗企業の存続を考える上で重要な示唆を与えている。老舗の強みである地域性が、若者にとって収入や成長と結びついて認識されていない可能性がある。したがって、老舗企業が若者に選ばれるためには、伝統や地域性だけでなく、収入面や将来性といった現実的な魅力を分かりやすく伝える工夫が必要である。

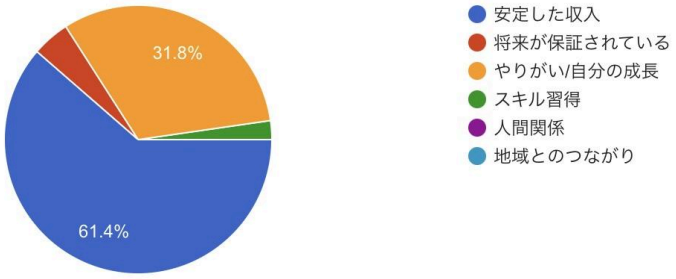
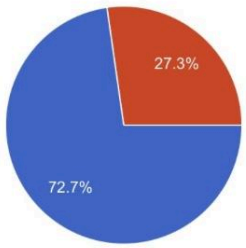
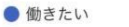


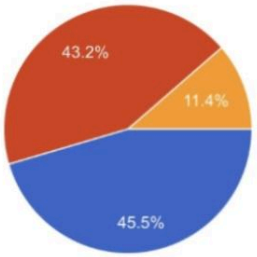

図3-2

## ３．１．３ 老舗企業で働くことに対する地域意識

図3-3は、老舗で働く場合、地元以外の老舗でも働きたいかどうかを示している。「働きたい」と回答した生徒は72.7%にのぼり、多くの高校生が勤務地を地元に限定していないことが分かる。さらに図3-4では、「抵抗がない」「あまり抵抗がない」と回答した生徒が約9割を占めており、地域を越えて働くことへの心理的なハードルは低いといえる。この結果は、高校生が就職先を選ぶ際、「地元かどうか」よりも、自分に合った条件や働き方を重視していることを示している。一方で、この傾向は老舗企業にとって大きな意味を持つ。地域に根ざした歴史は魅力となり得るものの、それだけでは就職先として選ばれる決定的な理由にはなりにくい。老舗は今後、「地元だから選ばれる存在」から、地域を越えて比較される存在へと変化していく必要があると考えられる。



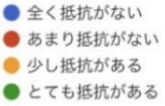




図3-3　　図3-4

## ３．１．４　老舗就業において重視される労働条件の実態

図3-5は、高校生が老舗企業で働く際に重視したい条件を示している。最も多かったのは「休みが取りやすく、働き方が自由」で56.8%であった。次いで「給料や昇給の仕組みが分かりやすい」「会社の将来が安定している」が続いている。一方、「地域との関わり」や「伝統を守ること」といった老舗特有の要素は、重視する割合が低かった。このことから、高校生は老舗であるかどうか以前に、一人の働き手として安心して働ける環境が整っているかを重視しているといえる。この結果は、若者が伝統に価値を感じていないというよりも、その伝統が自分の生活や将来とどのようにつながるのかが見えにくいことに原因があると考えられる。老舗企業が若者に選ばれるためには、理念や歴史を語るだけでなく、それが安定した雇用や働きやすさにつながっていることを具体的に示す必要がある。

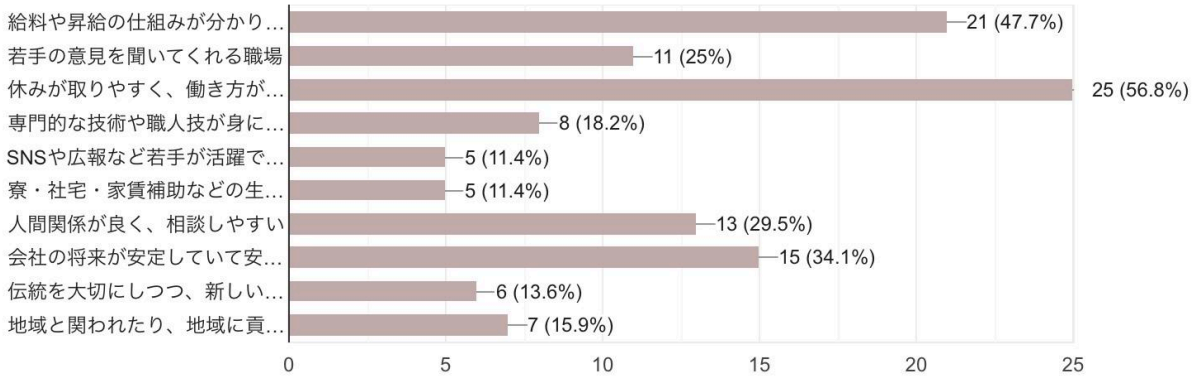



図3-5

## ３．１．５　老舗企業に対する不安意識の焦点

図3-6は、老舗で働く上で高校生が感じている不安を示している。最も多かったのは「将来性（事業が続くかどうか）」で、約半数を占めた。次いで「給料・昇給の仕組み」が挙げられている。この結果から、高校生は老舗を「長く続いてきた企業」として認識しつつも、それが今後も安定して続くとは限らないと捉えていることが分かる。つまり、「歴史がある＝将来も安定している」というイメージは必ずしも共有されていない。また、収入面への不安が挙げられていることから、若者が理念ややりがいだけでなく、生活を支える現実的条件を重視していることがうかがえる。これは老舗に対する否定的評価ではなく、就職先を冷静に比較する現代的な就業意識の表れだと考えられる。

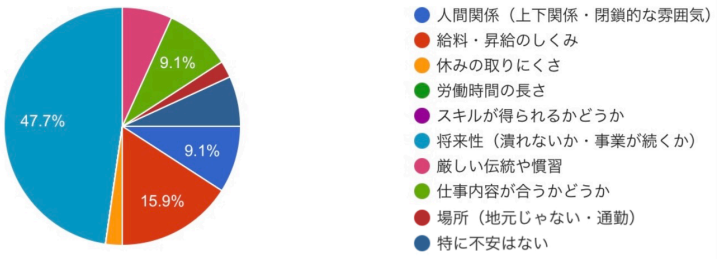



図3-6

### 3．1．6　老舗就業に対する現実的スタンス

図3-7から、「条件が合えば働くのもありだと思う」と回答した生徒が最も多いことが分かる。この結果から、高校生は老舗企業を特別な存在として見るのではなく、他の企業と同じように条件で判断していると考えられる。また、老舗に興味を持つ生徒とそうでない生徒がいるが、これは老舗そのものへの好き嫌いというより、仕事内容や働き方についての情報が十分に伝わっていないことが影響している可能性がある。

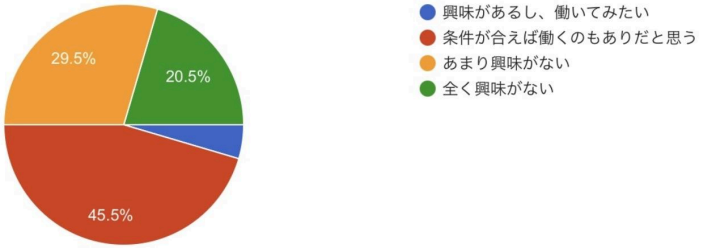



図3-7

### 3．1．7　アンケート結果の総括

本校の高校生を対象に行ったアンケート調査から、老舗企業は若者にとって必ずしも身近な存在ではないものの、「条件が合えば働きたい」と考える生徒が多く、老舗が敬遠されているわけではないことが明らかになった。また、勤務地にとらわれない柔軟な就業意識が見られ、若者は老舗を固定的なイメージではなく、条件次第で評価する存在として捉えていることが分かった。一方で、老舗企業で働く具体的な仕事内容や将来像については、十分に認識されていない可能性がある。そこで次章では、老舗企業へのインタビュー調査を通して、実際の仕事の内容や魅力、長く存続してきた背景を明らかにし、アンケート結果で見えた高校生の意識との接点について考察していく。

## 3．2　老舗企業の仕事観と継続の実態

## ― 老舗企業へのインタビュー調査 ―

### ３．２．１ 表面化していない後継者問題

後継者問題は本当に存在するのかを明らかにするため、老舗4店舗にインタビューを行った。その結果、後継者がはっきりと決まっていない店舗が2件見られた。また、後継者が決まっている2件でも息子が継ぐ予定である店舗もあったが、その先の世代については不透明であるという回答であった。さらに、自分の代までは継ぐことが決まっているものの、その後については未定である店舗もあり、長期的に見ると、後継者が将来まで確実に決まっている店舗は少ないことが明らかになった。以上のことから、後継者問題は単に「後継者がいない」という問題ではなく、「将来まで見通せていない」という形で、多くの老舗が抱えている課題であると考えられる。これは、現在は経営が成り立っていても、次の世代、その次の世代までを考えると不安が残る状況であり、後継者問題が「今すぐ表面化していないだけ」で存在していることを示しているといえる。

次に、老舗企業が長年にわたって営業を続けてきた理由や、その魅力について考察する。インタビューでは、「この仕事を続けていてやっていてよかったと感じる時」と、「働く上で大切にしていること」について質問した。その結果、どの店舗からも共通して聞かれたのは、お客さんとのコミュニケーションを大切にしていることや、味や品質を落とさないことを重視しているという姿勢であった。また、常連客とのつながりや、「美味しかった」という直接的な言葉に加え、他の人に紹介されて新しいお客さんが来店したときにも、大きなやりがいを感じているという声が多く聞かれた。これらのことから、老舗の魅力には二つの側面があると考えられる。一つ目は、お客さんと直接やり取りをする中で感謝や評価を受け取れる点であり、日々の仕事の手応えを実感しやすいことである。二つ目は、紹介や口コミといった形で、自分たちの仕事が間接的に評価され、広がっていくことに喜びを感じられる点である。このように、老舗は目に見える評価と目に見えにくい評価の両方を積み重ねることで、信頼を得てきた存在であると考えられる。

### ３．２．２ 守る伝統、問われる働き方

次に、老舗企業が近年どのような変化を行ってきたのか、また働き方の実態について考察する。これは、老舗の持続可能性を経営面だけでなく、人の働き方という視点からも捉えるためである。インタビューでは、「近年、お店として昔から変えたこと」と「休みは十分に取れていると感じているか」について質問した。その結果、4店舗すべてにおいて、時代の変化に合わせて内容や仕組みを見直してきたことが明らかになった。具体的には、売れ行きの変化を受けて主力商品を変更した店舗や、業態を転換することで経営を続けてきた店舗があった。また、予約方法や支払い方法の見直し、情報発信の手段を増やすなど、利用者の変化に対応する工夫は多くの店で見られた。これらに共通しているのは、伝統を守りながらも、店を続けるために必要な変化を受け入れてきた点であると考えられる。

一方で、休みに関しては、十分に取れていると感じている店舗は少なかった。定休日がない、休みがほとんど取れない、週に1日程度であるなど、一般的な会社員と比べると休みが少ない実態が見られた。ただし、自営業であるため、空いている時間に用事を済ませられるなど、働き方に一定の柔軟性があるという意見もあった。しかし、本校高校2年生を対象に行ったアンケートでは、「老舗で働く際に重視したいこと」として、「休みが取りやすく、働き方が自由であること」を選んだ人が最も多かった。この結果から、老舗はこれまで工夫や努力を重ねて経営を続けてきた一方で、働き方の面では若者の価値観と一致していない部分があることが分かる。このような価値観の違いが、老舗を将来の進路として選びにくくしている要因の一つであると考えられる。以上より、老舗が今後も持続していくためには、商品や仕組みを変える工夫だけでなく、働き方についても若い世代の視点を取り入れていく必要があると考えられる。後継者問題は、後継者そのものの有無だけでなく、「この働き方を将来の自分が続けられるか」という不安とも深く関係している課題であるといえる。

### ３．２．３ 次の時代へ託されたメッセージ

最後に、老舗の方々に「高校生や若い世代へのメッセージ」を聞いた。4店舗すべてに共通していたのは、「将来を急いで決めなくてよい」ということと、「自分が夢中になれるものを大切にしてほしい」という思いであった。「とにかく何でもいいから夢中になれるものを見つけてほしい」「自分がやりたいと思ったことを一生懸命やれば

いい」といった言葉が印象に残っている。進路に悩む高校生の気持ちを理解したうえで話してくださっていることが伝わり、私はその優しさを強く感じた。

特に心に残ったのは、「今、小出の未来を握っているのは中高生だ」という言葉である。その方は、地元を離れることを否定するのではなく、「一度外に出てもいい。でも、いつか地元を思い出してほしい」と話してくださった。そして、「将来一緒に小出を盛り上げられたらうれしい」と笑顔で語っていた。その姿を見て、老舗はただ商売を続けているのではなく、地域の未来そのものを考えている存在なのだと感じた。

今回のインタビューを通して、老舗の方々は単に後継者を求めているのではなく、私たち若い世代が自分の人生を大切にしながら、その先で地域とどう関わるかを考えてほしいと願っているのだと分かった。長年仕事を続けてきた人の言葉だからこそ重みがあり、私自身も「自分は将来この地域とどう関わっていきたいのか」を改めて考えるきっかけになった。

### ３．２．４ インタビュー調査の総括

魚沼市小出の老舗を対象に行ったインタビュー調査から、老舗の持続可能性は単に長い歴史を持つことだけでは成り立たないことが明らかになった。各店舗は、伝統を大切にしながらも、時代や利用者の変化に応じて商品や仕組みを柔軟に見直してきた。一方で、後継者については将来までの見通しが立っていない店舗が多く、後継者問題は「いない」という形ではなく、「見通せていない」という形で存在していると考えられる。また、働き方の面では、経営努力とは別に若い世代の価値観と合わない部分も見られた。以上より、老舗が今後も地域に根づいて続いていくためには、経営の工夫に加え、将来像や働き方を若い世代と共有していくことが重要であると考えられる。

## ５．結論・展望

本研究の結論として、老舗における後継者問題の本質は、後継者の有無そのものではなく、「将来の働き方や生活像が若者にとって具体的に描けないこと」にあるといえる。インタビュー調査から、老舗企業は伝統を守りながら経営を維持する努力を重ねている一方で、次の世代、その先の世代がどのように働き、生活していくのかという将来像を十分に示せていない実態が明らかになった。また、高校生へのアンケート調査からは、老舗に一定の関心を持つ若者が多い一方で、休みの少なさや働き方への不安が、進路として選択する際の大きな障壁となっていることが分かった。これは、老舗が敬遠されているのではなく、働くイメージや生活の実態が見えにくいことによる不安であるといえる。以上を踏まえると、後継者問題の解決には、老舗企業自身の努力に加え、行政・教育機関・制度面が連携した支援が不可欠である。具体的には、第一に、職業体験やインターンシップを通して、老舗の実際の労働環境や仕事のやりがいを若者が体験できる機会を地域全体で整備することが求められる。第二に、老舗に限らずすべての企業を対象とした週休二日制など、働き方に関する制度的な整備を進めることで、若者が感じる将来への不安を軽減する必要がある。第三に、小学校や中学校段階から老舗を題材とした町調べや学習を行い、地域の仕事や歴史を身近なものとして理解させることが重要である。

私は本研究を通して、進路選択において重要なのは、職業の内容だけでなく、「その仕事を通してどのような生活を送るのか」という視点であると考えるようになった。老舗に対して不安が生まれるのは、仕事内容ではなく、働き方や将来の生活像が見えにくいことにあると分かり、これは自分自身の進路選択にも共通する課題であると感じた。そのため、大学入学後は、インターンシップや地域企業との関わりを通して、実際の社会の中での働き方をより深く学び、特に老舗企業のように長く継続するための工夫や課題についても主体的に考えていきたい。また、将来的には、自分自身が働く中で得た経験や情報を発信し、次の世代が将来の働き方を具体的に描けるような社会づくりにも関わっていきたい。老舗は、日本ならではの技術や文化を支えるだけでなく、地域経済を担う重要な存在である。その持続可能性を高めることは、地域社会のみならず日本全体の将来にも関わる課題である。老舗の未来を守ることは、地域の誇りを守り、日本の文化と経済を未来へつなぐことにほかならない。

## 6. 謝辞

本研究を進めるにあたり、ご協力いただいた老舗企業の皆様、アンケートに回答してくださった皆さんに心より感謝申し上げます。また、研究の計画から完成まで丁寧にご指導くださった先生方にも深く御礼申し上げます。本研究で得た学びを、今後に生かしていきたいと考えています。

## 引用文献

中野ゼミ(2020年)『インフルエンサーに対するファン心理がクチコミ広告及び商品・ブランドの評価に与える影響～広告懐疑に着目して～』[駒澤大学]11-18 2025年6月8日

今治加奈子(2015年)『100年SC老舗企業に学ぶ、商業の道』[一般社団法人日本ショッピングセンター協会]第二章13-16 2025年7月6日

神田良(2010年)『老舗企業の強さを読み解く』[東京商工会議所]第二章120-129 133-136 2025年7月21日

入澤裕介(2018年)『老舗戦略の理論的枠組みに向けた考察と事例』[日立システムパワーサービス]167-173 2025年8月19日

石崎尚人(2021年7月)『老舗の新時代』[成城大学]21-34 2025年12月30日

須田屋旅館 (2026年) 須田屋旅館 https://sudayado.com/ 2026年1月18日

東京商エリサーチ (2025年11月10日)『「後継者不在」年々上昇し62.60%に 代表者が高齢の企業ほど、上昇が顕著』https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1201982_1527.html 2026年1月20日

帝国データバンク (2024年10月24日)『全国「老舗企業」分析調査(2024年)』https://www.tdb.co.jp/report/economic/20241024_shinise2024/ 2026年1月23日

fundbook (2023年10月2日)『後継者不在で企業が倒産？後継者不足の原因と解決策とは』https://fundbook.co.jp/column/understanding-ma/bankruptcy/ 2026年1月24日

朝日新聞 (2024年2月26日 11時00分)『老舗企業の割合は全国2位 北前船の商いの伝統に加え、県民性も』https://www.asahi.com/articles/ASS2T7HGSS28UZHB00C.html2026年2月17日

黒川吉隆(2020年)『老舗企業におけるイノベーション創造のメカニズムについて』[慶應義塾大学学術情報リポジトリ]第三章 8-23 2026年2月17日

りそな銀行 (2025年6月27日)『老舗企業が守っている約束とは？』https://www.resona-biz.jp/management-strategy/what-makes-a-company-well-established/ 2026年2月18日

# マクドナルドから考える持続可能な経営

## 1. 研究背景

バブル経済崩壊以降、日本の企業の衰退は1990年代から本格的に始まった。日本の飲食業界では、近年、倒産件数が高水準で推移している(帝国データバンク,2025 )。2025年飲食店経営事業者の倒産は900件となり、前年(894件)から0.7%・6件増加し、過去最多を更新した(図１)。飲食業は参入が比較的容易である一方で、競争が激しく、経営が不安定になりやすい業種であることが倒産件数増加の原因の一つだと言われている。

また近年、日本社会は新型コロナウイルスの流行、少子高齢化、物価高騰といった大きな変化に直面している。2020年、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、緊急事態宣言の発表、外出自粛要請や営業時間短縮などが行われた。これにより飲食業界は大きな影響を受け、売上は減少した(内閣府,2024)。また、少子高齢化により労働人口が減少し、人手不足が深刻化している(帝国データバンク,2024)。さらに、原材料費や光熱費の高騰により、飲食店の経営コストは増加している（株式会社シンクロ・フード,2022 ）。よって新型コロナウイルスや少子高齢化による人手不足、物価高騰などの影響も飲食店経営に大きく関わっていると考えられる。

図１:飲食店の倒産件数推移




（帝国データバンク2026/1/13）

## 2. 研究目的

日本の飲食店は社会環境の大きな変化により、経営が厳しい状況に置かれている。一方で、同じ環境下にありながらも、長期間にわたって安定した経営を続けている飲食店が存在することも事実である。この差は、単なる景気や立地条件の違いだけではなく、各企業や店舗が行っている経営上の工夫や社会への適応の仕方に要因があると考えている。

そこで本研究では、「長期安定して経営できる飲食店は独自の工夫や、社会状況の変化に素早く対応している」という仮説を立て、「なぜ一部の飲食店は社会環境が大きく変わる中でも経営を継続で

きているのか」という点を課題として設定する。特に飲食店の持続可能性がどのような要素によって支えられているのかを明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究方法

### 3. 1 研究対象の選定理由

本研究では、飲食店経営の持続可能性を明らかにするため、マクドナルドを研究対象として選定した。マクドナルドは世界的に展開するファストフードチェーン店である。コロナ感染拡大に伴い2020年4月に緊急事態宣言が発令されて、外出自粛の動きが全国的に広がり、外食業界にも休業や営業時間短縮に要請があり、外食全体では売上高が大幅に落ち込んだ。しかし、マクドナルドでは様々な施策をとり、2025年12月に全店売上高は過去最高を更新した(日経食糧新聞,2026)。そのためマクドナルドの事例を通して、ほかの飲食店にも応用可能な「持続可能な経営」を考察しやすいと考えたため選定した。

### 3. 2 調査・分析方法

本研究では、上記の目的および仮説を検証するため、以下の手順で調査・分析を行う。

①マクドナルドの経営・取り組みに関する調査

マクドナルドの経営戦略や取り組みについて、公式ウェブサイトや公開資料、論文等を用いて調査する。また、口コミなども活用する。

②調査資料の整理・分類

収集した資料をそれぞれ比較し、社会環境の変化に対するマクドナルドの対応、取り組みを明らかにする。

③多角的視点による分析と考察

③で明らかにしたことを経営学・社会学・心理学の3つの視点から分析を行う。具体的には、経営学の視点からは経営戦略に注目し、社会学の視点からは、社会構造や消費者行動の変化との関係を考察する。また、心理学の視点からは顧客や従業員の行動・意識に着目し、なぜその取り組みが実施され、継続的な経営につながっているのかを考える。

④持続可能な飲食店経営の特徴の導出

①～③を踏まえて、マクドナルドが成功、続いている理由を一般化。ほかの飲食店にも共通する持続可能な経営の特徴を導き出す。

## 4. 結果

まず初めに経営の基本について文献調査で調べた。

4.1-1事業戦略

事業戦略は経営戦略における事業領域（ドメイン）を明確化する基本設計図である。どこで戦うのか、市場の構造や特性と整合しているかを具体的に示す。簡単に言うと、“誰と”“どこで”“どのように”戦うのかである。“誰と”が競争相手であり、“どこで”が事業領域（ドメイン）かつ事業戦略、“どのように”が競争戦略となる。複数の事業からなる規模の企業では、全社の事業領域（ドメイン）をどの範囲にするかを全社戦略として定める。そして、複数の事業間で効率的に経営資源を配分し、相乗効果（エナジー）を高めるように最適化を図る。自分で始めた店を大きくして、複数の事業へと拡大した暁には、全社のドメインを明確化する事業戦略が必要となる。

4.1-2競争戦略

競争戦略は競争相手を負かす手段を明確化する設計図である。ライバル相手をいかに有利にし競争を勝ち抜くかを示す。競争戦略を以下の３つのパターンに集約した。(図2)

①コストリーダーシップ戦略
　業界でのシェアが最大のトップ企業は、規模の経済性を活かして低コストで競争相手と同等の物を提供できる。業界トップの企業が採るべき戦略である。
②差別化戦略
　業界トップではない2・3番手の企業は、トップ企業が真似できない差別化したものを提供する。トップ企業と同様のことをしても競争では負ける。
③集中戦略
　トップ企業が参入してこない分野で、差別化できるものに特化して経営資源を集中的に投入する。隙間（ニッチ）で突出した強みを発揮する戦略である。




図2　ポーターの3つの基本戦略図　（sogotcha,2024）

## 4. 2 マクドナルドの事例

ハンバーガーチェーンのトップ企業である日本マクドナルド株式会社をケースに競争戦略を見ていく。

(1) 実績推移

マクドナルドの売上高は近年増加傾向にあり (図3)、2025年12月に全店売上高は過去最高を更新した (日経食糧新聞,2026)

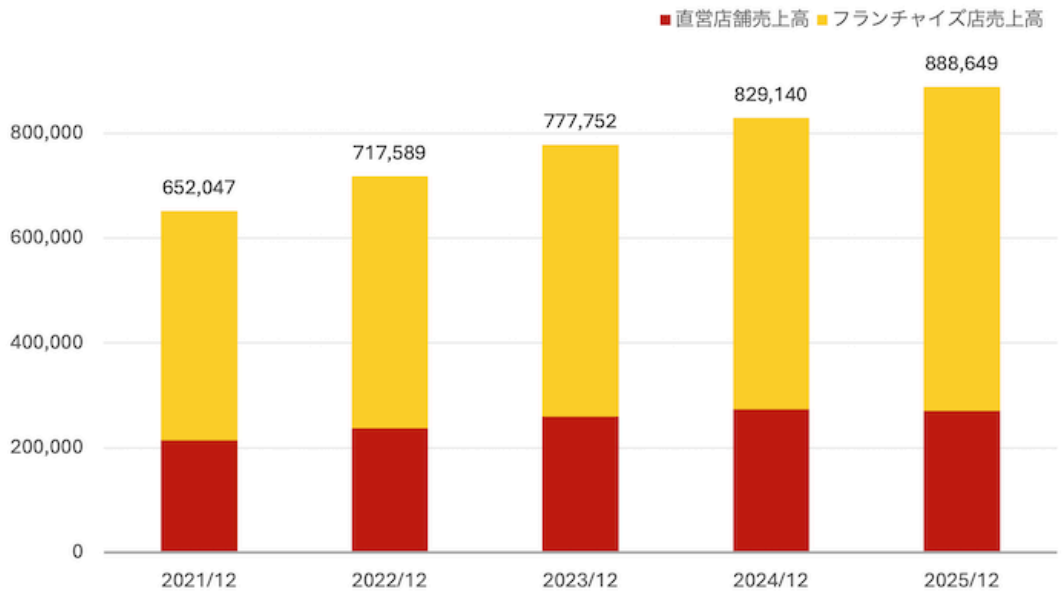



図3:全店売上高（日本マクドナルドホールディングス株式会社,2025）

(2)新型コロナウイルスによる影響

新型コロナウイルスの影響で外食業界は大きく打撃を受けた。しかし、東洋経済オンラインの記事によるとマクドナルドは、2021年12学期の第一四半期（1～3学期）は、売上高758億円（前年同期比5.0%増）、営業益92億円（同19.7%増）と好スタートを切った。

コロナの影響でイートインスペースの利用率が低下したマクドナルドは、ドライブスルーの整備を強化し、その結果パンデミック中の売上の70%をドライブスルーが占めた(Spider AF,2025)。また、マクドナルド専用アプリによるクーポン配布、ポイント付与や提供スピードに圧倒的速さを持つデリバリーなどの政策は、2020年9月、マクドナルド社が投資家に向けて発表した新たな事業戦略「Accelerating the Arches」に書かれている物でパンデミックに対応するための「3つのD」(Delivery, Drive Thru, Degital)を加速させるものだった。顧客のニーズに答えるための重要な戦略になっている。

(3)環境配慮

マクドナルドは「2050年ネットゼロ・エミッション達成」という目標を掲げ、世界的な気候変動や環境課題に取り組んでいる。店舗の消費電力効率化で省エネ、提供用容器包装の素材変更、また、ハッピーセットのおもちゃリサイクルも行なっていて、2024年12月時点で約2280万個のおもちゃを回収している。また、サスティナビリティへの取り組みも行なっていて、マクドナルドが注力するSDGs 目標を以下の表にまとめた。

| SDGs目標 | 具体的な取り組み |
|---|---|
| 目標2「飢餓をゼロに」 | 持続可能な食材調達 |
| 目標8「働きがいも経済成長も」 | 従業員満足度84%以上の維持、ハンバーガー大学での人材育成 |
| 目標12「つくる責任つかう責任」 | 食品ロス削減、プラスチック削減(紙ストロー導入→環境配慮プラスチックへ) |

| | |
|---|---|
| 目標13「気候変動に具体的な対策を」 | CO2削減、省エネ活動の推進 |
| 目標15「陸の豊かさを守ろう」 | 森林保全、持続可能な農業支援 |
| 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」 | 地域保全との連携、サプライヤーとの協働 |

(4) 人材育成

マクドナルドの創設者であるレイ・A・クロックが残した「ピープルビジネス」の考え方は今でもマクドナルドの根幹として根付いている。その姿勢を実践する取り組みの一つとして専門教育機関「ハンバーガー大学」がある。ハンバーガー大学は世界9カ国に存在していてそのうちの一つに東京があり、現在日本では，社員，クルーを合わせて、毎年一万人以上がハンバーガー大学の授業を受けています。ハンバーガー大学の取り組みには以下の３つがある。

・生涯にわたって活用できるリーダーシップスキルの提供
・ブランドのミッションを実現するための一人ひとりの能力向上
・Our Values(私たちの価値観）の浸透

これら３つに焦点を当て、変化するビジネス環境と、お客様一人ひとりのニーズに対応することができるビジネスパーソンを育成するために、最新の教育理論と手法に基づいたカリキュラムをグローバルに開発している。

## 4. 3 調査資料の整理・分析・考察

【経営学的視点：経営戦略の分析】

○コストリーダーシップ戦略

マクドナルドは、大量仕入れによる原材料コストの削減や、業務を細かく分け標準化されたオペレーションを行っている。また、効率的なサプライチェーンを構築することで、無駄なコストを抑えている。これらの取り組みにより、低価格でありながら安定した品質の商品提供が可能となっている。これは価格競争が激しい飲食業界において、他社よりも優位に立つ大きな要因であると考えられる。

○差別化戦略の分析

マクドナルドは、モバイルオーダーやセルフレジなどのデジタル技術を積極的に導入している。これにより、注文の簡便化や待ち時間の短縮が実現され、顧客体験の向上につながっている。さらに、長年にわたって築いてきたブランド力も強みである。デジタル技術の活用とブランド力の組み合わせにより、「早く・便利で・安心できる」という他社にはない価値を提供している点が差別化につながっている。

○集中戦略の分析

マクドナルドは、ファミリー層を中心とした幅広い年代を主要なターゲットとしている。また、駅前やロードサイドなど、人が集まりやすい立地を重視した店舗展開を行っている。このように、ターゲット層と立地を明確にすることで、安定した来店客数を確保しやすい経営構造を作り出していると考えられる。

○DX（デジタルトランスフォーメーション）の分析

マクドナルドは2019年頃から計画的にデジタル化を進めており、コロナ禍以前から基盤を整えていた。そのため、感染症拡大による非接触需要の増加にも迅速に対応することができた。また、技術導入だけでなく、従業員がデジタル技術を使いこなせるよう教育を行っている点も重要である。これ

により、人とデジタルを融合させた効率的な店舗運営が可能となり、顧客満足度の向上と業務効率化の両立が実現されている。

以上の分析から、マクドナルドは複数の経営戦略とDXを組み合わせることで、外部環境の変化に強い持続可能な経営を実現している。

【社会学的視点:消費者構造と消費者行動の変化】
○新型コロナウイルスの影響
　人々の間で非接触や時間短縮へのニーズが急速に高まった。これに対しマクドナルドは、モバイルオーダーやセルフレジ、ドライブスルー、デリバリーを強化し、対面接触を減らしながらも利用しやすい環境を整えた。これは、感染リスクへの不安を抱える消費者の行動変化に対応した社会的な取り組みであるといえる。
○デジタル化の加速
　スマートフォンの普及により、消費者は「待たない」「簡単に注文できる」サービスを求めるようになった。マクドナルドはデジタル技術を活用し、注文の効率化や待ち時間の短縮を実現することで、時間価値を重視する現代人のニーズに応えている。
○物価高騰
　物価高騰が進む現代社会で消費者は価格に対して敏感になっている。そのような状況において、マクドナルドは比較的手頃な価格の商品を提供し続けており、家計への負担を抑えたい人々にとって利用しやすい存在となっている。これは、社会全体の節約志向に対応した役割であると考えられる。
○少子高齢化とライフスタイルの多様化
　単身世帯や共働き世帯の増加により、テイクアウトやデリバリーの需要が高まっている一方、高齢者の増加により、誰でも利用しやすい店舗環境が求められている。マクドナルドは、テイクアウトやモバイルオーダーの充実に加え、スロープなどのバリアフリー対応で幅広い世代に対応している。
○環境問題
　マクドナルドは紙ストロー、再生可能プラスチックなど環境配慮型の包材の使用やSDGsへの取り組み、多様な人材の活用を進めている。これは、企業が社会的責任を果たす存在として求められている現代社会の価値観を反映した対応であるといえる。

　このようにマクドナルドは現代社会の変化に対応しながら人々の生活を支える役割を果たし、社会の中で必要とされ続ける企業であるといえる。

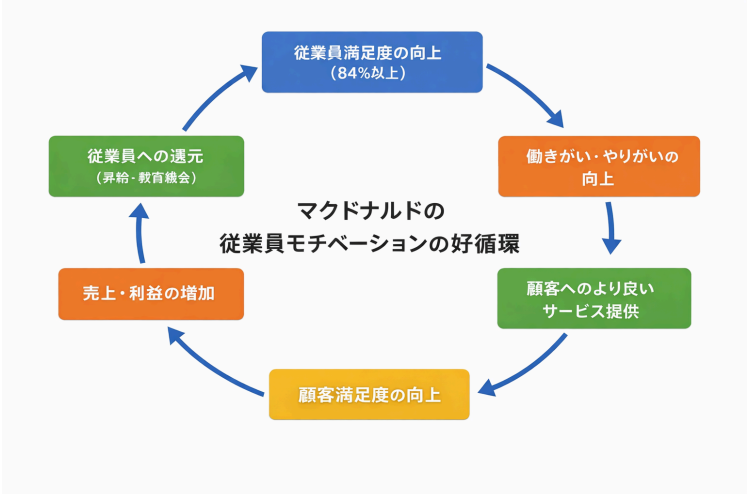
【心理学的視点:顧客と従業員の行動・意識】
○顧客心理への理解と対応
・利便性の追求
待ち時間は顧客にとって大きなストレスとなるが、モバイルオーダーの導入により注文から受け取りまでの待ち時間が短縮され、心理的負担が軽減されている。また、店内飲食・テイクアウト・デリバリーといった複数の選択肢を用意することで、顧客は自分の生活スタイルに合った利用方法を選ぶことができる。さらに、キャッシュレス決済への対応は、支払いの手間を減らし、スムーズな体験につながっている。
・安心感の提供

マクドナルドでは、どの店舗でも一定の品質の商品が提供されるよう管理されており、顧客は「どこで食べても同じ味」という安心感を持つことができる。また、衛生管理の徹底やカロリー表示などの情報開示により、食の安全に対する不安を減らしている点も、顧客心理への配慮といえる。

さらに、マクドナルドは所属感や愛着の醸成にも力を入れている。公式アプリを通じたクーポン配信や情報発信、期間限定商品の販売は、顧客に「特別感」や「楽しみ」を与える。また、地域と連携したイベントなどを行うことで、単なる飲食店以上の存在として人々の生活に溶け込んでいる。

○従業員心理とモチベーション

マクドナルドの特徴として、従業員の心理や働きがいを重視した経営が挙げられる。心理学的に見ると、従業員の満足度が高いほど、顧客へのサービスの質が向上する傾向がある。そこで以下のような好循環が生まれていると考えられる。




その背景には、いくつかの心理的工夫があると考える。

・承認と成長機会の提供

ハンバーガー大学をはじめとした体系的な教育制度により、従業員は自分の成長を実感しやすい。これは、自己効力感や達成感を高める要因となっている。

・公正な評価制度

能力や努力に応じて昇進や昇給が行われる仕組みは従業員の納得感を高め、仕事への意欲を維持することにつながっている。

・働きやすさの配慮

柔軟なシフト制度や多様性を尊重した職場環境により、学生や高齢者など、さまざまな立場の人が安心して働けるようになっている。さらに、店舗ごとのチームワークを重視することで、一体感が生まれ、職場への愛着が高まっている。

以上より、マクドナルドは顧客の不安やストレスを減らし、安心感や楽しさを提供すると同時に、従業員のやる気や満足度を高める仕組みが整っていることがわかる。心理学的視点から見ると、顧客満足度と従業員満足の両立こそが、マクドナルドが長く支持され続ける大きな要因であるといえる。

## 4. 考察

本研究では、マクドナルドの事例分析を通して、飲食店が長く経営を続けていくために重要な7つの特徴を明らかにした。これらは大企業だけでなく、中小規模の飲食店にも応用可能であると考える。

(1) デジタル技術の戦略的活用

モバイルオーダーやアプリの活用により、顧客の利便性を高めると同時に、業務の効率化やデータに基づく経営判断が可能となる。中小規模の飲食店でも、予約システムやキャッシュレス決済の導入により、同様の効果が期待できる。

(2) 従業員エンゲージメントの重視

マクドナルドでは教育制度や明確なキャリアパスにより、従業員の満足度と働きがいを高めている。人手不足が深刻な現代社会において、従業員を大切にする姿勢は、店舗の安定した運営につながる。

(3) 多様な販売手段の確保

店内店舗だけでなく、テイクアウトやデリバリーなど複数の方法を用意することで、社会環境の変化によるリスクを分散できる。これはコロナ禍で特に重要性が明らかになった点である。

(4) 価格戦略の柔軟性

物価高騰の中でも、適性な値上げと品質維持を行い、顧客に丁寧に説明することで、信頼を保ちながら経営を続けることができる。

(5) サスティナビリティへの取り組み

環境問題や地域社会への配慮は、企業イメージの向上だけでなく、顧客からの共感や支持につながる。規模に応じた取り組みでも十分に効果が考えられる。

(6) 標準化と効率化の追求

オペレーションやレシピを標準化することで、誰でも安定した品質を提供でき、教育コストや無駄を減らすことができる。

(7) 環境変化への迅速な適応力

社会や消費者のニーズの変化をいち早く捉え、小さな改善を積み重ねる姿勢が、持続可能な経営を支えている。

以上の7つの特徴から、飲食店が長く続くためには、「技術」「人」「変化への対応」をバランスよく重視することが重要であるといえる。

また、本研究から、他の飲食店にも応用可能な点として以下の点が考えられる。

・従業員満足度と顧客満足度には強い相関があること
・デジタル化は事務効率化だけでなく顧客体験の向上にも有効であること
・店内飲食・テイクアウト・デリバリーなど複数チャンネルの確保がリスク分散につながること

一方で、一般化には限界も存在する。マクドナルドは高い資本力と規模、強いブランディング力を持つ企業であり、価格転嫁の成功や大規模投資は中小飲食店では困難な場合がある。さらにフランチャイズモデルの特有の仕組みも、すべての飲食店に当てはまるわけではない。

今後、飲食業界では労働人口の減少、AI・ロボット技術の進展、環境規制の強化、消費者価値観の多様化といったさらなる環境変化が予想される。こうした変化に対応するためにも柔軟な力が必要だと考える。

## 5.結論

本研究の目的は、日本マクドナルドの経営戦略を分析することを通して、持続可能な飲食店経営の特徴を明らかにすることであった。そのために、経営学的・社会学的・心理学的な視点から、マクドナルドの取り組みを多角的に検討した。

調査の結果、マクドナルドの持続的成長を支えている要因として、①デジタル技術の戦略的活用、②従業員エンゲージメントの重視、③多様な販売チャネルの確保、④柔軟な価格戦略、⑤サステナビリティへの取り組み、⑥オペレーションの標準化と効率化、⑦社会環境の変化への迅速な適応力、という七つの特徴が確認された。これらはそれぞれ独立した要因ではなく、相互に作用し合うことで好循環を生み出している。特に、従業員満足度の向上が顧客満足度を高め、最終的に企業の業績向上につながる構造は、マクドナルドの経営を支える重要な基盤であることが明らかになった。また、コロナ禍や物価高騰といった社会環境の変化に対しても、デジタル化や多様な提供形態によって対応してきた点が、継続的な成長を可能にしているといえる。

以上の結果から、マクドナルドの成功は規模の大きさだけによるものではなく、調査で明らかにした七つの特徴を一貫して実践してきた点にあると結論づけられる。本研究は、持続可能な飲食店経営を考える上で、これらの要素が重要であることを示した。

今後、日本の飲食業界は2030年問題とされるさらなる労働人口の減少や、環境規制の強化、消費者価値観の多様化といった新たな課題に直面する。しかし、本研究で明らかにした持続可能な経営の七つの特徴を実践することで、多くの飲食店がこれらの課題を乗り越え、地域社会に貢献しながら長く続く経営を実現できると考える。

## 参考文献


・帝国データバンク(2025).「飲食店の倒産動向」.
https://www.tdb.co.jp/report/industry/20260113-insyokuten2025/. 2025年12月.
・帝国データバンク(2024).「人手不足に対する企業の動向調査」.
https://www.tdb.co.jp/report/economic/36b_1n7eo81t/. 2025年12月.
・株式会社シンクロ・フード(2022).「原材料の価格高騰についてアンケート調査」
https://www.synchro-food.co.jp/news/press/3993. 2026年2月.
・内閣府(2024).「コロナ禍以降の外食消費の動向について」.
https://www5.cao.go.jp/keizai3/shihyo/2024/0802/1353.pdf. 2025年12月.
・sogotcha(2021).「ポーターの3つの基本戦略｜コストリーダーシップ戦略・差別化・集中戦略」
https://sogotcha.com/porters-three-generic-strategies/. 2026年2月.
・日経食糧新聞(2026).「日本マクドナルドHD・2025年12月期 全店売上高は過去最高更新:
//news.nissyoku.co.jp/news/motoyoshi20260210020957562. 2026年2月.
・日本マクドナルドホールディングス株式会社(2025).「財務指標サマリー（通期)| IR情報」
https://www.mcd-holdings.co.jp/ir/summary/#hd_summary_02. 2026年2月.
・東洋経済オンライン(2021).「コロナ禍でも快走！マックが店外で圧倒する真因
https://toyokeizai.net/articles/-/433772?page=2. 2026年2月.
・SPIDER AF(2025).「『コロナでも黒字経営』マクドナルドに学ぶマーケティング手法」
https://jp.spideraf.com/articles/marketing-macdonalds. 2026年2月.
・wedhit(2025).「マクドナルドのマーケティング戦略を完全解説−４P・3つのD・成功要因」
https://fly-edge.co.jp/webhit/listing-ads/marketing-strategy-mcdonalds/#index_id2.2026年2月.

・劉 暁穎(2009).「ファスト・フード業のイノベーション−マクドナルドを中心に−」
・ITmediaビジネスonline(2024).「マクドナルドの戦略はどうなの？国内ハンバーガ業界を分析」https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2403/28/news012.html. 2026年2月.
・マクドナルド公式サイト.https://www.mcdonalds.co.jp/recruit/staff_recruiting/work/nurturing/.2026年2月.
・日本マクドナルド株式会社(2022).「『挑戦の変革』の経営-“スマイル”と共に歩んだ50年」.東洋経済新報社.
・阿部川勝義(2021).「フードサービス経営戦略論-繁盛店の仕組みと作り方」.中央経済社.
・齋藤義美(2021).「負けない飲食店経営の教科書」.セルバ出版.
・三ツ井創太郎(2022).「あたらしい飲食店経営35の繁盛法則V字回復を実現する！」.同文舘出版.

# 桃太郎の生存戦略

## ～昔話を語り継ぐにはどのようなアプローチが必要か～

**1 研究背景**

昔話とは子供に語って聞かせるたぐいの、空想的な世界を内容とする話。「桃太郎」、「舌切り雀」、「カチカチ山」などである。(デジタル大辞泉、むかし-ばなしより)古くから日本にあり、最古では平安時代前期に成立した「竹取物語」がある。竹取物語は今でも知名度があり、中学校の教科書にも題材として登場する。(光村図書ホームページより)以上のことから昔話は古くに成立したにもかかわらず今でも多くの人に読まれていることがわかる。

**2 研究目的、意義**

本研究では昔話の内容がどのように変化してきたかを調査して、昔話をこれから語り継ぐにあたり、どのようなアプローチが必要かを明らかにする。昔話の内容で変化がない点、変化した点をまとめることで、現代まで昔話が語り継がれてきた理由を知ることができると考えた。

**3 研究方法**

調査内容、調査範囲は以下の通りである。

①国際情報高校2年生、35名を対象にした昔話の知名度と人気度のアンケート

②①で1番人気だった昔話絵本を長岡市立中央図書館で借り(16冊)、ネットに公開されている古代のものまで(2冊)内容、セリフの変化をまとめた(1804年～2025年まで)

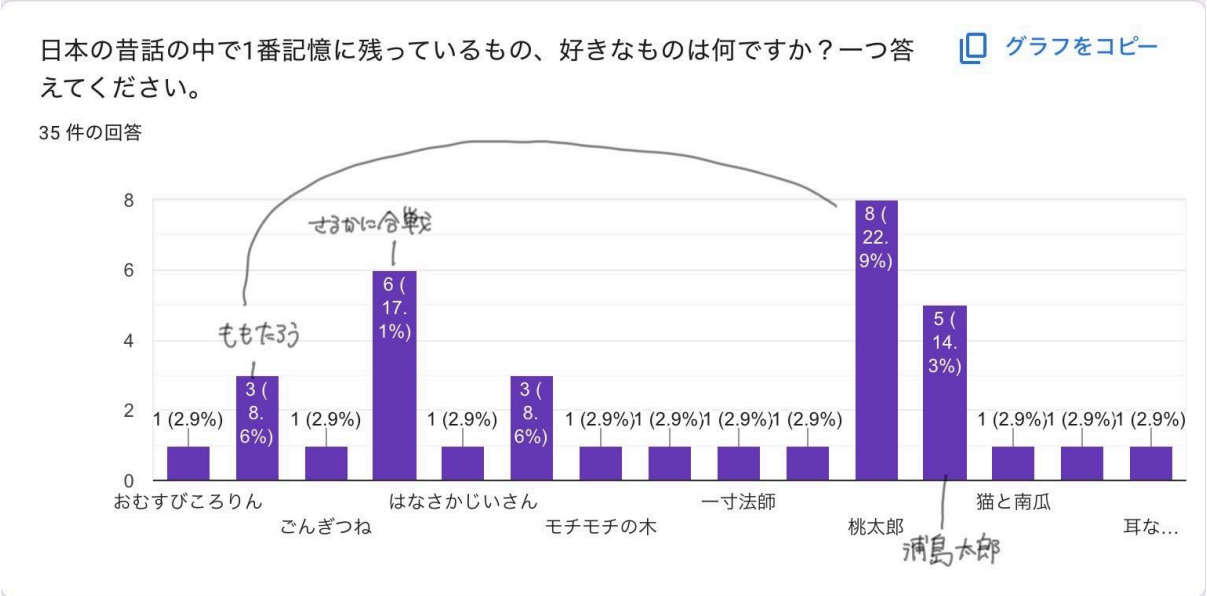
**4 実験結果**

① 昔話の認知度と人気度のアンケート

Googleフォームにて以下の質問をした。

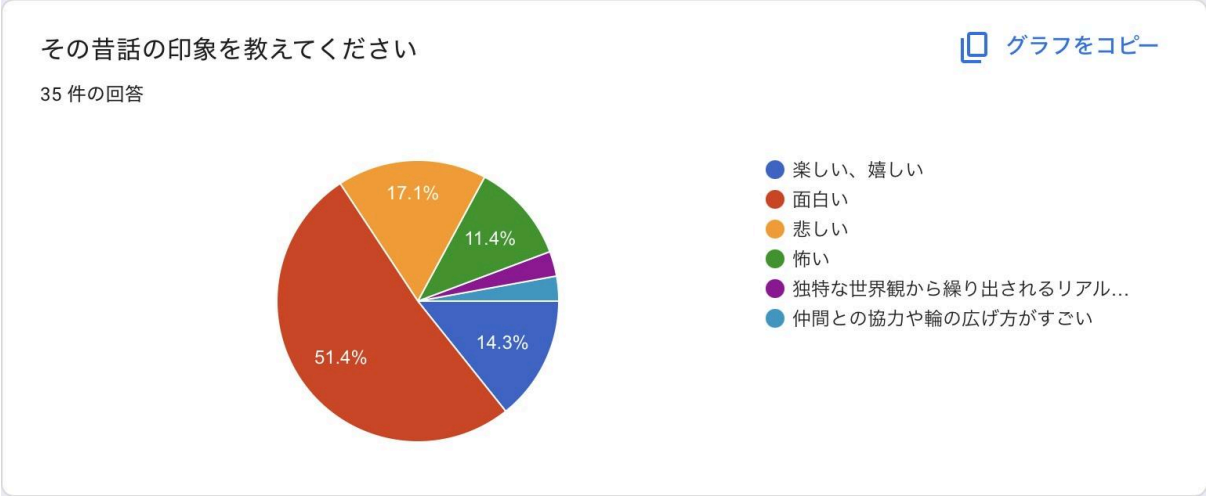
1、日本の昔話の中で1番記憶に残っているもの、好きなものは何ですか？一つ答えてください。

1番多かったのが「桃太郎」で11票(28%)、2番目に「さるかに合戦」で6票(17.1%)、その次に「浦島太郎」で5票(22.9%)であった。




2、なぜその昔話が記憶に残っているのですか？一文で構いません。
　よく書かれていた意見は「小さい頃によく親に読み聞かせしてもらった」というものだった。また、「お遊戯会で披露したことがある。」「学校の授業で習った」などの意見があった。

3、その昔話の印象を教えてください
　面白いが51.4%をしめ、次に悲しいが17.1%、楽しい、嬉しいが14.3%という結果だった。




4、その話の特に印象的な部分、もしくはセリフを教えてください。
　ここは自由に記述できるようにした。様々な意見がみられたが、セリフを書いている人が半数以上いた。

②図書館、ネットで集めた本を使って行った文献調査

アンケートにて1番票数が多かった「桃太郎」が掲載されている本を長岡市立中央図書館で借りれるだけ借り(16冊)、国立国会図書館のホームページから著作権が切れた古い「桃太郎」の絵本も調べた(2冊)。なお、借りた桃太郎の本の条件は以下の通りである。

・絵本(物語であること)
・昔話をパロディーしたものでないこと。
また比べたセリフ、物語、設定はひと通り絵本を読んでみて以下の通りに設定した。
・桃が流れてくる時の効果音
・桃太郎の性格、人柄
・鬼退治に行くきっかけ
・きびだんごをあげる時のセリフ
・結末

これらをスプレットシートにまとめた。(以下の表は年代順にまとめている。)

| 題名 | 作者 | 年代 | どんぶらこ | 桃太郎の性格、人柄 | 鬼退治に行くきっかけ | きびだんご | 結末 | ※ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 桃太郎宝蔵入 | 作者不明 | 約1804年 | なし | 文武に優れていた | 宝物を奪い取るため | いくつ上げたかの記載はない | 宝を手に入れてお爺さんお婆さんの元へ帰る。家が栄えた | |
| 日本昔噺　第一編　桃太郎 | 巌谷小波 | 1894年 | ドンブリコッコスッコッコ | 礼儀正しく、忠誠心が高い | 日本政府に逆らい、人を食って宝を奪うから | 半分だけあげた。※ただし、もらう前の犬、猿、雉は攻撃的だった | 折れた鬼のツノ、宝を持って家に帰る。おじいさんとおばあさんが喜ぶ。 | |

| 題名 | 作者 | 年代 | どんぶらこ | 桃太郎の性格、人柄 | 鬼退治に行くきっかけ | きびだんご | 結末 | ※ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ももたろう | 松井直 | 1965年2月20日 | つんぶくかんぶく | 力持ち。賢い。 | カラスが教えてきた | 一つあげた | お姫様を取り戻し、財宝を手に入れる。お姫様と結婚する。 | |
| ももたろう | 代田昇 | 1978年9月10日 | とんこらとんこらとん | 力持ち。怠け者。 | カラスが教えてきた。 | 半分だけあげた。 | 村の娘、しお、こめ、あわを取り戻す。お気に入りの娘と結婚。 | |
| 日本昔ばなし1 | 寺村輝夫 | 1979年12月 | トンブクツンブクツン | 力持ち。怠け者。 | 急に桃太郎が行きたいと言い出した。 | 半分だけあげた。 | 宝物を取り戻す。 | |
| ももたろう | 香山美子 | 1988年2月 | ツンブラツンブラ | 自信家。(鬼に絶対勝てると思ってる。) | 鬼が人を食べていると聞いたため。 | 一つあげた。 | 許す代わりに宝物をもらう。村の人と山分け。 | |
| 日本名作絵本4 | 小澤俊夫 | 1993年1月 | なし | 勇敢 | 鬼が子供を攫っていると聞いたため。 | 一つあげた。※ | 許す代わりに宝物をもらう。みんなで幸せに暮らす。 | 桃太郎は最大四つまであげれた。(ひとつ食えばうまいもの。ふたつ食えばにがいもの。３つ食えばからいもの。4つ食えば、頭のはち、ざるになる) |
| 日本の昔話③ももたろう | 小澤俊夫 | 1995年10月1日 | ぶいこぶいこ | 力持ち、怠け者。 | 急に桃太郎が行きたいと言い出した。 | 一つあげた。※ | 許す代わりに宝物をもらう。みんなで幸せに暮らす。 | 桃太郎は最大四つまであげれた。(ひとつ食えばうまいもの。ふたつ食えばにがいもの。３つ食えばからいもの。4つ食えば、頭のはち、ざるになる) |
| むかしむかしあるところに | 楠山正雄 | 1996年6月24日 | ドンブラコッコ、スッ | 力持ち。親孝行。外国へ出かけたい。※ | 急に桃太郎が行きたいと言い出した。 | 一つあげた。 | 許す代わりに宝物をもらう。 | この桃太郎では鬼ヶ島は外国にあり、様々な国から財宝を奪っているという設定だった。 |
| ももたろう　ぱけくらべ | 松谷みよ子 | 1998年1月20日 | つんぶくかんぶく | 力持ち。怠け者。 | 寝ている間に村が襲われてた。 | 半分だけあげた。 | 攫われた娘と子供を取り返し、宝物も得た。 | |
| 新訂・子供に聞かせる日本 | 大川悦生 | 1998年3月31日 | （一般型）ツンブラツンブラ　（寝太郎型）どんぶりこんぶり | (一般型)自信家。力持ち。(寝太郎型)怠け者。力持ち。 | (一般型)トンビが教えてきた。(寝太郎型)村の人たちが頼んできた。 | (一般型)一つあげた。(寝太郎型)半分あげた。 | (一般型) (寝太郎型)娘と宝を取り返す。 | |
| ワールド冒険ツアー | 岩崎京子 | 1999年11月20日 | ツンブラカンブラ | 元気。いたずら好き。親 | トビが教えてきた。 | 一つあげた。 | 娘と宝を取り返した。 | |
| ももたろう | 馬場のぼる | 1999年12月5日 | ツンブカンブ | 力持ち。怠け者。 | とのさまが鬼退治を頼む。 | 一つあげた。 | 宝物を取り戻す。 | |
| ももたろう　にほんむかし | 松谷みよ子 | 2002年12月 | どんぶりかっしりつっ | 力持ち。怠け者。 | 急に桃太郎が行きたいと言い出した。 | 半分だけあげた。 | 宝物を取り戻す。 | |
| ももたろう　くっちゃねく | 竹崎有斐 | 改訂2004年1月　初版 | どんぶらこっこすっこ | 力持ち。怠け者。 | とのさまが鬼退治を頼む。 | 半分だけあげた。 | 許す代わりに宝物をもらう。 | |
| ももたろう | 山下明生 | 2009年10月20日 | どんぶらこっこざんぶ | 頭がいい。運動ができる | 鬼が畑を荒らしたり、娘を攫ったり、宝物を盗むから。 | 1つじゃ足りないと思い２つあげた。 | 娘と宝を取り返した。 | |
| ももたろう　いまむかし | 広松由希子 | 2009年12月31日 | どんぶらこっこどんぶ | 力持ち。怠け者。 | とのさまが鬼退治を頼む。 | 半分だけあげた。 | 攫われた子供と盗まれた宝を取り返す。 | |
| 名作よんでよんで日本の昔 | 西本鶏介 | 2011年9月7日 | どんぶらこどんぶらこ | 立派な若者。 | 急に桃太郎が行きたいと言い出 | 一つあげた。 | 許す代わりに宝物をもらう。 | |
| よりぬき日本の昔話　もも | 小澤俊夫 | 2025年1月10日 | ぶいこぶいこ | 力持ち。怠け者。 | 急に桃太郎が行きたいと言い出 | 一つあげた。※ | 許す代わりに宝物をもらう。 | 桃太郎は最大四つまであげれた。(ひとつ食えばうまいもの。ふたつ食えばにがいもの。３つ食えばからいもの。4つ食えば、頭のはち、ざるになる) |

補足1

約1804年に発行された「桃太郎宝蔵入」は現代で一般的な桃から桃太郎が生まれるタイプではなく、桃をお婆さんとお爺さんが食べた結果若返り、桃太郎を産んだというストーリーであった。

補足2

きびだんごをあげる時のセリフとして何冊かの本で確認できた「ひとつ食えばうまいもの。ふたつ食えばにがいもの。３つ食えばからいもの。4つ食えばあたまのはちざるになる」はどういう意味なのかという解説は見つけることができなかった。
頭の鉢→①頭のてっぺんの皿状の部分のこと。②かっぱの頭にあるという皿状のもの(ウェブ版デジタル大辞泉　あたまの-さら)

**5 結果のまとめと考察**

①昔話の認知度と人気度のアンケート

アンケートから自分の記憶に残っている昔話、好きな昔話は小さい頃にその昔話に触れている場合が多いとわかった。アンケートをとった人の好きな昔話の印象は「面白い」「楽しい、嬉しい」が約6割を占めており、比較的明るい昔話の方が好まれることがわかった。また、好きな部分、セリフを聞いた質問で、セリフを書いている人が多かったのはセリフの方が記憶に残りやすかったのではないか。→セリフに個性が見られる話は好まれるのではないかと考察した。

②図書館、ネットで集めた本を使って行った文献調査

様々な年代の昔話絵本を読み、四つの時代に分類することができると考えた。

1、桃太郎成立時代(約1804年～)

「桃太郎宝蔵入」が当てはまる。桃太郎で特徴的である桃が流れる時の音やきびだんごについての記載がなく、まだ物語が定着していない段階の物語。現代と大きく違うところは桃太郎が桃からではなく、若返ったおばあさんから生まれてくるという点である。また、鬼退治に行く理由が人助けではなく宝を手に入れるため、その宝を使って家が栄えたという点も違っていた。このことからこの時代の桃太郎は利己的だったと言えるだろう。

2、桃太郎愛国時代(1894年～)

「日本昔噺　第一編桃太郎」が当てはまる。この時代あたりから桃太郎は桃から生まれるストーリーが定着してきた。この時代の桃太郎の特に印象的な部分は桃太郎の性格と鬼退治に行くきっかけである。桃太郎が十五歳になった場面で「さて阿父(おとつ。ここでは父のように尊敬する年長者の意。)さんふとした御縁で親子となり～何と御礼の申様もございません。」と桃太郎が言う場面がある。これはこの時代の昔話絵本にしか見られないセリフであり、桃太郎のおじいさんへの深い感謝が読み取れる。また、鬼退治に行くきっかけを桃太郎は「日本の国に寇(あだ)をなし～」という言葉から始めており、自国の日本をとても愛していることがわかる。加えて、この時代の桃太郎は仲間の動物たちに「邪魔を致せば～頭から真っ二つに切って棄てるぞ。」などの乱暴な言葉遣いを使っていた。この絵本が発行された1894年は明治時代であり、富国強兵を国家目標に掲げていたため、この様な物語になったと考えた。子供がよく触れる昔話を使い筆者は子供たちの愛国心を育てたかったのではないかと考察した。

3、桃太郎優位性時代(1965～1978年)

「松井直　ももたろう」「依田昇　ももたろう」がこれに当てはまる。この時代の桃太郎はこの後の4、で紹介する現代の桃太郎と大まかなストーリーはほぼ変わらないが、結末の部分で少し違う点が見られた。それは、桃太郎が鬼によって連れ去られた娘と最終的に結婚するものである。私が調べた中でこの結末になる絵本はこの時代の二冊にしか見られなかった。例えば、「依田昇　ももたろう」の結末にある“お気に入り”の娘と結婚するという文章は非常に男性優位的なものである。このことから、男女平等を目指す現代社会にそぐわないこの時代の結末は現代に受け継がれなかったと考察した。

4、桃太郎現代(1979～)
　3以降の年代の桃太郎がこれに当てはまる。この時代の桃太郎はほとんどの現代人が想像する桃太郎と変わらないストーリーである。唯一の特徴は桃太郎の性格が二極化していることである。桃太郎は親を大切にする立派な若者として書かれるものと、全く家の手伝いをせずに食って寝る生活を送るだらしない若者として書かれる二つのタイプが存在した。この怠け者型は2009年、2025年の絵本にも見られることから年代は関係がないことがわかった。

　ここまで、時代ごとに桃太郎の内容が違うことをまとめてきたが変わらない点も存在した。それは、桃が川から流れてくる効果音が文字は違っても大体のニュアンスは似ているというものである。効果音の記載がない絵本も二冊存在したが、そのほかのものは全て独特の擬音語を二回繰り返すパターンであった。よって、桃太郎が人気の理由の一つがこの繰り返される擬音語なのではないかと考えた。独特な効果音を物語の間に挟むことで物語に面白みを加え、読者を惹きつけていると考察した。

**6今後昔話を語り継ぐために必要なアプローチとは**
　考察を経て、私が考えた昔話を未来へ語り継ぐためのアプローチは以下のものである。
①内容が明るく、独特な擬音語が含まれていること
　アンケートから一般的に暗い話よりも明るい話の方が好まれることがわかった。また、独特な擬音語を使うことで読者に印象を与え、記憶に残りやすくする。

②フィクションとして楽しめて、子供にもわかりやすいもの。
　おばあさんとおじいさんが若返り子供を産むストーリーよりも桃から赤ちゃんが産まれた話の方が現代に定着した点から、オリジナリティーを含み非現実的な話の方が受け継がれると考察した。また、桃から赤ちゃんが産まれるという短い文章で内容がわかりやすい展開が好まれると考えた。

③言葉遣いが乱暴でないもの。
　子供の目に触れやすい絵本で乱暴な言葉遣いを使っていると子供の教育に影響するため、親がその絵本を読み聞かせる機会が減ると考えた。

④登場人物の価値観が現代の価値観と一致しているもの
　「お気に入りの娘と結婚した。」という文章はジェンダーレスの時代である現代にそぐわない。このような現代と価値観が違う文章は大衆に受けず読まれづらいと考察した。

　この条件を満たしていれば昔話は未来へ語り継げると言えるだろう。もしかしたら、「日本昔噺　第一編　桃太郎」のようにその時代の風潮を取り入れた内容の絵本が発売されるかもしれない。桃太郎が平和を訴え、鬼と戦わない話が出てくる可能性もないとは限らない。

**7参考文献**

(1)ウェブ版デジタル大辞泉(2025).「むかし-ばなし」「あたまの-はち」.2026年1月.
(2)光村図書ホームページ.　https://www.mitsumura-tosho.co.jp/ .2026年2月.
(3)「桃太郎宝蔵入」(1804).国立国会図書館デジタルコレクション.
https://dl.ndl.go.jp/ .
(4)巌谷小波.(1894).「日本昔噺　第一編　桃太郎」.国立国会図書館デジタルコレクション、
(5)松井直(1965).「ももたろう」.福音館書店.
(6)代田昇(1978).「ももたろう」.講談社.
(7)寺村輝夫(1979).「日本昔ばなし1 」.あかね書房.
(8)香山美子(1988).「ももたろう」.教育画劇.
(9)小澤俊夫(1993).「日本名作絵本4 」.福音館書店
(10)小澤俊夫(1995).「日本の昔話③ ももたろう」.福音館書店.
(11)楠山正雄(1996).「むかしむかしあるところに」.童話屋.
(12)松谷みよ子(1998).「ももたろうばけくらべほか」.講談社.
(13)大川悦生(1998).「新訂・子供に聞かせる日本の民話」.実業之日本社.
(14)岩崎京子(1999).「ワールド冒険ツアー」.童心社.
(15)馬場のぼる(1999).「ももたろう」.こぐま社.
(16)松谷みよ子(2002).「ももたろう にほんむかしばなし」.講談社.
(17)竹崎有斐(2004).「ももたろうくっちゃねのねたろう」.偕成社.
(18)山下明生(2009).「ももたろう」.あかね書房.
(19)広松由希子(2009).「ももたろう いまむかしえほん」.岩崎書店.
(20)西本鶏介(2011).「名作よんでよんで日本の昔ばなし20話」.Gakken.
(21)小澤俊夫(2025).「よりぬき日本の昔話ももたろうほか」.福音館書店.

(22)皆川晶(2023).「日本昔話の結末についての一考察―『さるかに合戦』について、保育科学生の思いを中心に―」.https://lib.kjc.kindai.ac.jp/pdf/2023-04.pdf. 2025年12月.

(23)田口明美(2019).「昔話にみる日本的心情」.
https://www.keiwa-c.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/vt026-7.pdf .2025年9月.

(24)沼賀美奈子(2001).「江戸期から現代までの「カチカチ山」絵本の変遷」.
sk0600506.pdf.　2025年8月.

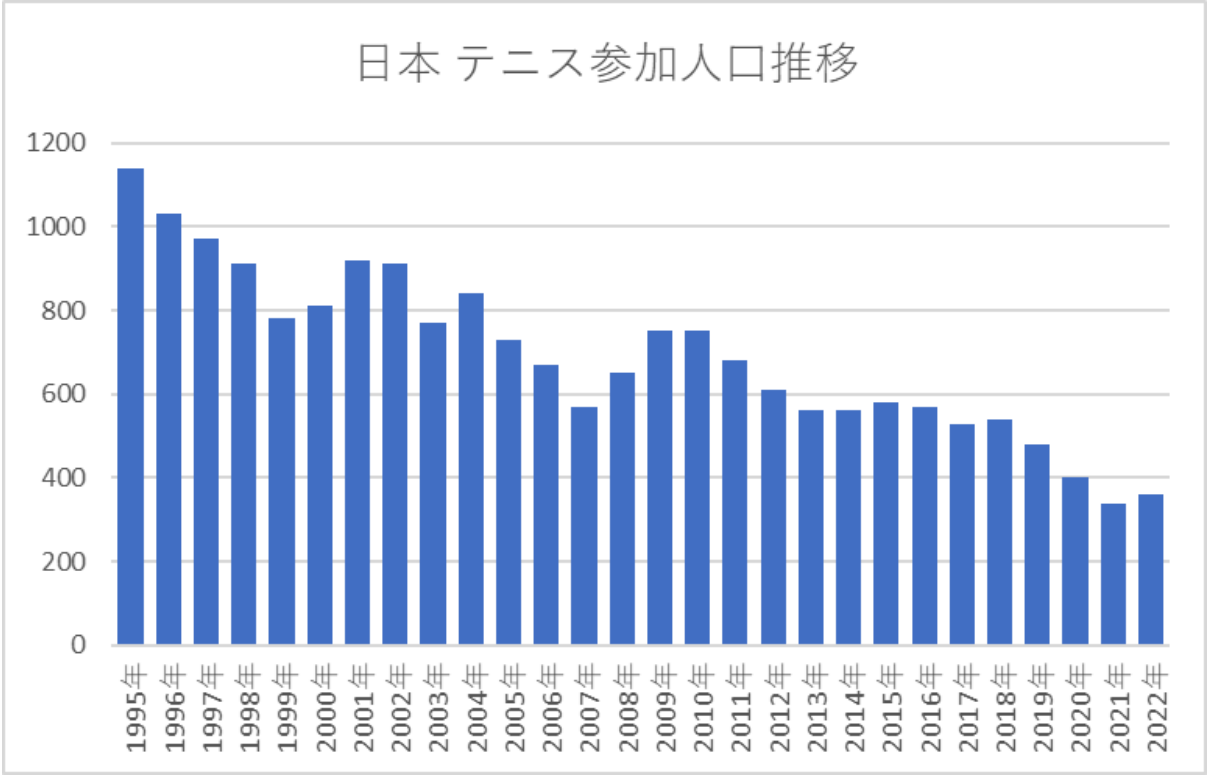
# テニスの持続可能性について

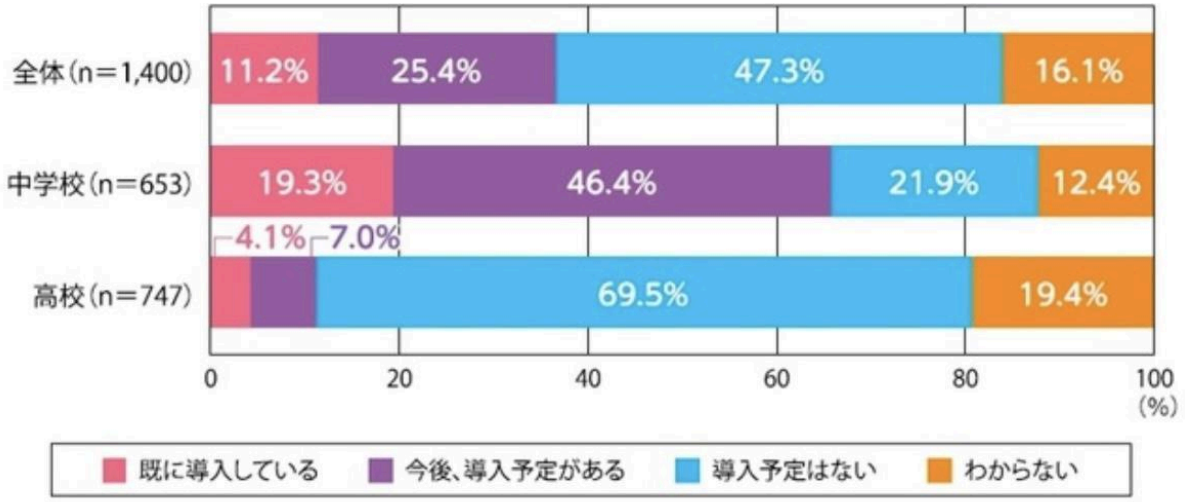
## 1.研究背景

日本では今、テニスが衰退して来ている。以下のグラフは1993年からプレイ人口が三分の一ほどに減っている。自分が小さい頃から続けてきたテニスがなぜ今日本で衰退しているのか知りたくなった。

運動離れしていく子供が多いからテニスが衰退していると考えた。その運動離れしていく子供の増加の原因は部活動の地域移が進んできているのが問題ではないかと考えた。

https://rutenzanmai.com/statistical-data/tennis-player/（逆転三昧2024年1/25）

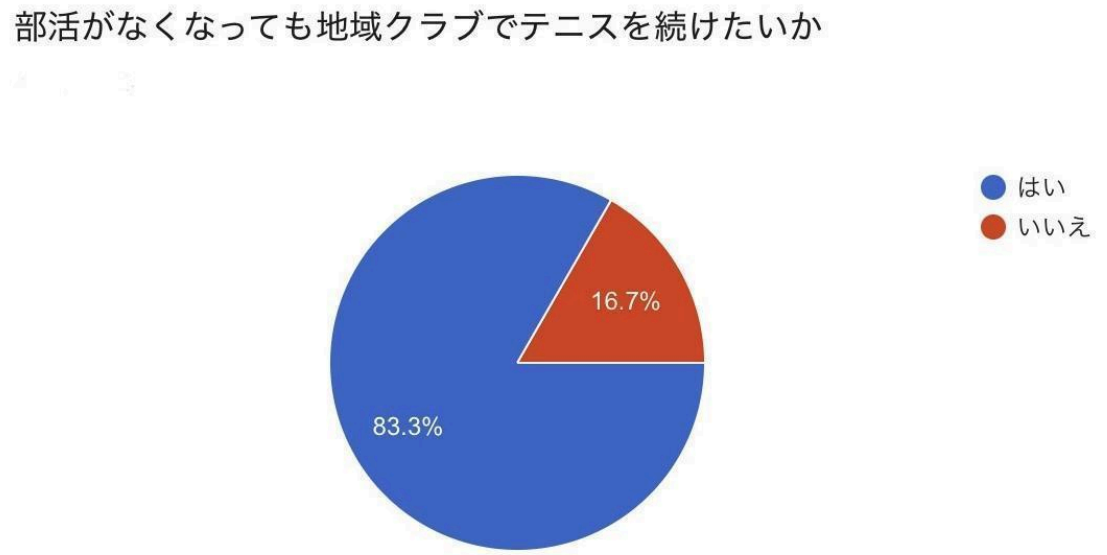


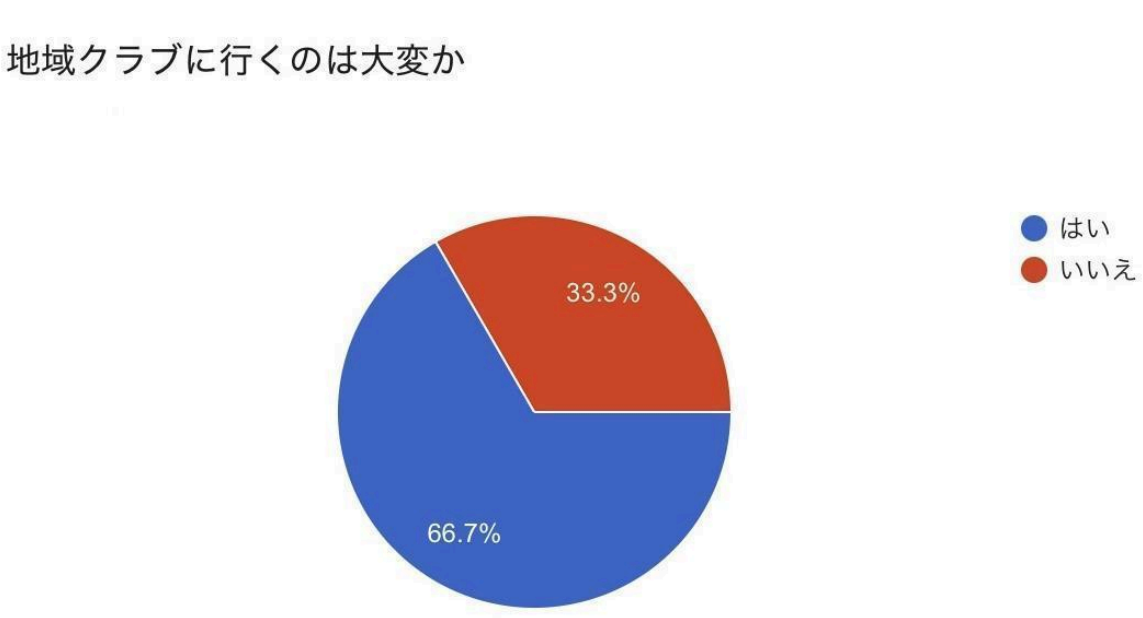




https://news.mynavi.jp/article/20230629-2714685/（マイナビニュース2023年　閲覧日1/25）

上のグラフは既に導入している、今後導入予定があるの割合が中学では半分を占め、高校でも約一割が地域移行している。しかし部活動の地域移行が進められても地域でテニスを続ける人がほとんどで、直接テニスの人口減少につながらないかもしれない。そこでアンケートをとることにした。アンケートの対象は国際情報高校テ

ニス部に所属している6人だ。アンケートの内容は「部活がなくなっても地域でテニスを続けたいか」「地域クラブに行くのは大変か」「費用がかかるのはならやめか」をアンケート調査する。
　アンケートの結果以下のようになった。




　このような結果から部活が無くなってもテニスを続けたい人の割合が多いが、その一方で地域クラブに行くのは大変という人も多数いる。このことより部活動がなくなるとテニスが好きでテニスを続けたくても辞めざるを得ない状況になってしまうことがわかった。
　　またテニスの持続可能性について、環境の面でも持続可能性の方法を見ていきたいと思った。今、世界ではテニスに対する環境配慮が進んで来ている。例えば4大大会の1つのウィンブルドンでは、2030年までの脱炭素の目標を掲げ、プラスチック使用量や廃棄物削減などのサテナビリティ戦略を推進している。テニスの聖地と呼ばれるウィンブルドンは、これまで伝統を重視してきたが、近年では環境意識の高まりを受け、持続可能性を重視した大会　運営へと大きく変わった。ウィンブルドンは「2030年までのネットゼロ（温室効果ガスの排出実質ゼロ）」の達成を目標に掲げ、さまざまな施策を展開している。代表的な取り組みとしては、次のものがある。

## •電力は100%再生可能エネルギー

会場で使用する電力は100%再生可能エネルギーに切り替えられており、太陽光や風力エネルギーが活用されている。

## •生物多様性を尊重

植樹をはじめ、緑の屋根、緑の壁などの導入で、生物の生息地をつくり、地域の生物多様性の向上に配慮。将来のウィンブルドン・パーク・プロジェクト全体で生物多様性を10%増加させることを目指している。

## •プラスチック使用量を削減

使い捨てプラスチックはほぼ廃止され、再利用可能なカップの利用や、給水ステーションの設置も行われている。

## 廃棄物の削減とリサイクル強化

地元の農産物を使ったケータリングや、ベジタリアン・ヴィーガン対応メニューの導入など、食に関する取り組みも強化。約1,000kgのあまった食品は地元の慈善団体に寄付され、それ以外の食品廃棄物は堆肥化。使用済みのテニスボールは再利用または寄付され、ラケットのガットは回収されてリサイクルされている。

こうした活動は持続可能なスポーツイベントの未来像として注目されている。ウィンブルドンのブランド価値を高めるだけでなく、他の大会やスポーツイベントにもプラスの影響を与えているとみられる。実際、オーストラリアの「スポーツ環境アライアンス（SEA）」も、ウィンブルドンの取り組みを模範例として紹介している。持続可能性を重視することは、単なるイメージ戦略ではない。実際、イギリスはとても暑く、、、ウィンブルドンは猛暑のなかでの開催となり、気候変動はスポーツ開催そのものを脅かすリスクとなりつつある。未来の世代にもスポーツを楽しんでもらうためには、地球環境そのものを守ることが欠かせない。

このように世界では環境に配慮したテニス産業が進められている。日本も環境のことを考えたテニス産業をしていくべきだと思った。テニスが環境に良い、スポーツになれば自ずと日本でテニスが活発的になると考えた。

2.リサーチクエスチョン

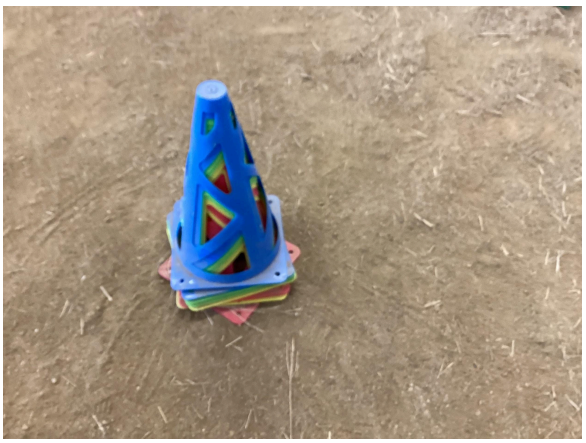
どうすれば、テニスの人口を増やしていけるのか

3.仮説

テニスにおける環境配慮がテニスに対するイメージを良くし、やってみようと考える人を増やすのではないか？

4.研究方法

そこでまずは日本全体ではなく小さい範囲のKjの部活動で環境の点で何か問題はないかを調べていく。まずKjの部活動で考えることでテニスのどこが改善できて、どこが問題なのかを考える。使っているボールの数、捨てているボールの数、ボール間のゴミ、ラケット、電気の使用時間などを調べる。



調べる方法としてKjの部活動のことをよく知っているテニス部部長にインタビューをした。

| | |
|---|---|
| Q一回の部活動でどれくらいのボールを使いますか？ | A,120個 |
| Qどれくらい使ったらボールを新しくしますか？ | A,1.5 |
| Qテニス部でボール以外に他のゴミは出ますか？ | A,でない。 |
| Q電気の使用時間はどれくらいですか？ | A1.5時間くらい。 |
| Q上の写真のラケットは使っていますか？ | A,使ってない。 |
| Q古いボールはどうしてますか？ | A,廃棄している。 |

5.結果、考察

インタビューの結果から多くのボールが使われ、計算すると一ヶ月約80個のボールが捨てられていることがわかった。これは、テニスボールが消耗品であり、一定期間使用すると弾みが悪くなり、試合や練習で使えなくなるためだと考えられる。

このことから、テニスの部活動では多くのボールが廃棄されており、環境への負荷が大きい可能性があると考えられる。電気の使用時間が1日あたり1.5時間使われている。これは一ヶ月で45時間使われている。解決策として、テニスボールはゴムや化学繊維でできており、自然に分解されにくいため、そのまま廃棄すると環境への負

担が大きくなると考えられる。したがって、テニスを持続可能なものにするためには、ボールの使用方法や処理方法を見直す必要があると考えた。まず、廃棄されるボールを再利用する仕組みを作ることが重要である。例えば、試合では使用できなくなったボールでも、基礎練習では十分に使用できる可能性がある。また、学校内で椅子や机の脚に取り付けて床の傷を防ぐ用途など、スポーツ以外の場面でも再利用できる。

さらに、地域の学校や施設と協力し、不要になったボールを回収して共有する仕組みを作れば、廃棄量を減らすことができる。次に、電力消費の削減も必要である。本調査ではナイター照明を約1.5時間使用していることが分かったが、使用する照明の範囲を限定したりすることで電力の使用量を抑えることができる。また、省エネルギー性能の高いLED照明に変更することも長期的な解決策として考えられる。以上のことから、ボールの再利用や回収、照明の使用方法の見直しなどの取り組みを行うことで、テニス活動による環境への負担を減らすことができると考えられる。テニスを将来にわたって続けていくためには、競技の楽しさだけでなく、環境への配慮も同時に進めていくことが重要である。

6.今後の展望

テニスにおける環境に配慮する取り組みが人々の共感を得て、社会から支持されるスポーツとして持続していくと思う。

参考文献


https://www.ecobrain.co.jp/news/news.php?id=644（エコ•ブレイン2024年　閲覧日2/16）

https://www.ec.kagawa-u.ac.jp/~tetsuta/jeps/no2/tsutsui.pdf（日本におけるゴミ問題とその対策2006年　閲覧日2/16）189〜192

https://seikatsu-lab.net/archives/202（生活Labo2025年2/16）

https://www.mext.go.jp/content/20220727-mxt_kyoiku02-000023590_2-1.pdf

（部活動の地域移行について2022年　閲覧日2/3）

https://eleminist.com/article/4220（ELEMINIST2025年閲覧日2/16）

https://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid1307.html（JSPA2021 年閲覧日2/15）

https://benesse.jp/educational_terms/28.html（ベネッセ教育情報閲覧日2/5）

https://www.jtia-tennis.com/（日本テニス事業協会2/1）

# 小・中・高校生年代における隊員離脱から考える
# ーボーイスカウトの持続可能性向上に向けてー

## Considering Member Attrition Among Elementary, Middle, and High School Students —Toward Enhancing the Sustainability of Boy Scouts—

## 1. 研究背景

まずはじめに、この研究のテーマにある「ボーイスカウト」の説明と自身の活動内容を説明しようと思う。私は小学2年生から今日までの約10年間に渡って所属・活動している。「ボーイスカウト」は、約120年の歴史があり世界170以上の国と地域で展開され、約5700万人の仲間がいる青少年教育活動である。ボーイスカウト日本連盟によると「ボーイスカウトは野外活動を中心とした各種プログラムを通じて、青少年が知識や技能を身につけ、自主性や協調性を育むことで成長を支援します。」とあり、子供が主体的に参加する活動である。

しかしながら、徐々に活動の勢いが衰えている。我が国では「少子高齢化」が深刻な課題の1つであり、子供が主役の活動において大きな問題となっている。また子供を指導する指導者の数も減少傾向にあり、自隊でも指導者が高齢化している。内閣府によれば、65歳以上が総人口に占める割合を示す高齢化率が令和6年時点で29.3%となり、平成6年の14%と比べると30年ほどで数値が倍以上に上昇している。(図1) また、こども家庭庁によれば、最高の出生数は戦後すぐの1949年では約270万人を越える子供が産まれていたが、2022年は約77万人となっており、明らかに子供の数は減っていることが言える。

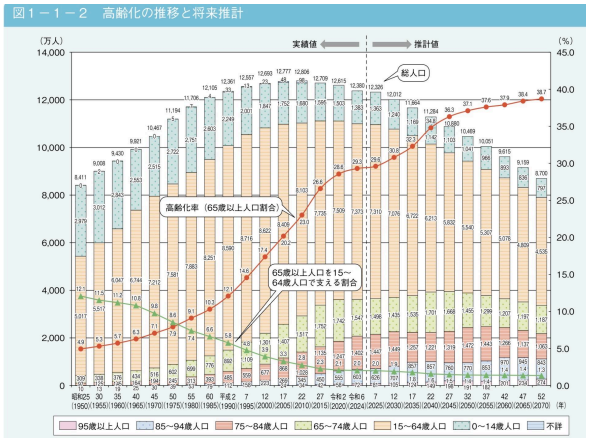



図1:高齢化の推移と将来推計　(内閣府　2025年)

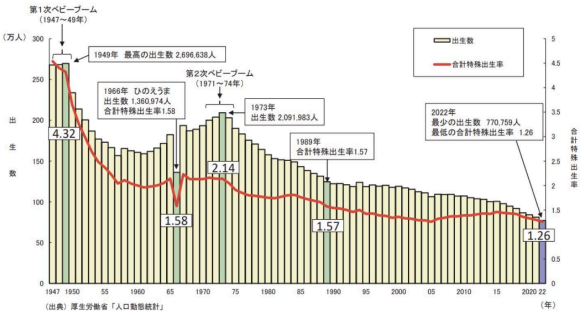



図2: 出生数と合計特殊出生率の推移　(こども家庭庁　2022年)

# 2. 研究の意義

本探究及び研究では、ボーイスカウトの課題である隊員の著しい減少に焦点を当て、原因は何か、自身の隊ではどのような課題があり他の地区、都道府県での状況を知ることで未来に向けたボーイスカウト活動の活性化及び持続可能性を見出す。近年(1～5年)では新規加入者が同年代でほとんど見られないことから、Z世代(1995～2010序盤生まれ)・α世代(2010年序盤～2020年生まれ)での知名度の低下により継続性が失われつつあることが予想される。このような隊員数の減少は、活動規模の縮小や実施回数の減少を招き、組織の継続的発展に影響を及ぼしている。この現状を踏まえ、自身と同じ高校生年代における隊員減少の要因を分析し、ボーイスカウトの持続可能性を高めるために考察する。

# 3. 研究方法

本研究ではテーマの問題解決に繋げるため、調査を行った。文献調査(参考文献欄に記載)、アンケート調査を行い、アンケート調査(I、II)以下の方法で実施し、回答を得た。

I、「ボーイスカウト」の認知度調査 → 新潟県立国際情報高等学校2年生を対象に
1月12日～19日の1週間、2学年クラスルームに投稿を行い、調査した。

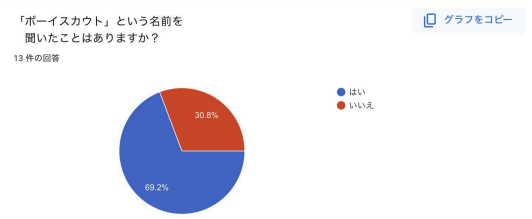
II、「ボーイスカウト」の隊員減少の現状調査 → “世界スカウトジャンボリー2025(参1)”
“全国スカウトフォーラムアフターフォーラムアフター(参2)“で出会った全国のスカウトにアンケート調査を行った。
(参1・参2 参考文献に記載)

III、「ボーイスカウト日本連盟」ホームページ内の報告書を中心に調査を行った。

# 4. 結果と考察

I、「ボーイスカウト」の認知度調査

この調査では以下の回答が得られた。



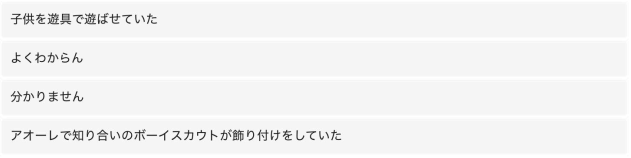
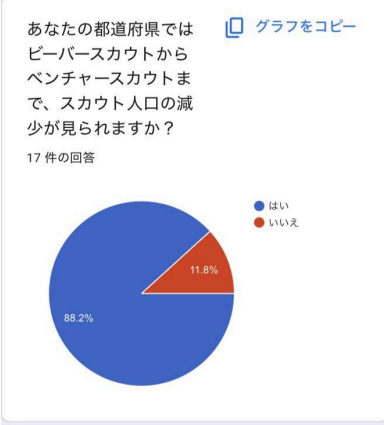




図1　　図2

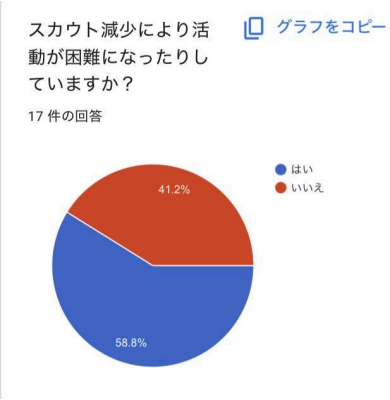
アンケート調査によれば、名前を聞いたことがあるという割合が約7割で予想以上に数値が高かった(図1)。
一方で、活動内容については、自身が知人に活動を話したことがあると推測される回答以外は、ほとんど活動内容を知らないことがわかった。(図2 )<複数から四つ抜粋>

II、「ボーイスカウト」の隊員減少の現状調査

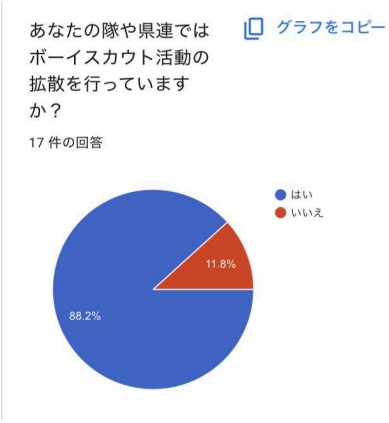
この調査では以下の回答を得ることができた。



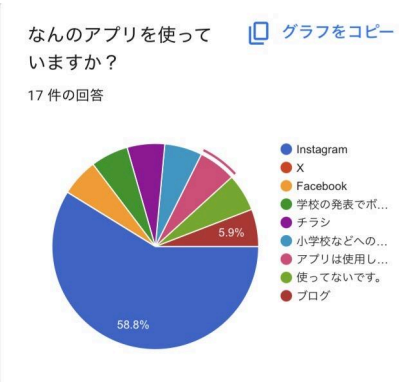

グラフ①




グラフ②




グラフ③




グラフ④

グラフ①からはボーイスカウトの人口が減ったか聞いたところ、88%が減ったと回答しており確実に少子化の影響がボーイスカウトにも及んでいることが分かった。具体的には「毎年2〜5人ずつ辞めていく」「進学による勉学や部活動を優先」など理由はさまざまである。

グラフ②では活動自体に影響が出ている割合が58%にとどまり、スカウトの減少によって活動の縮小が多くは見られないことがわかった。

グラフ③では、アンケート調査対象者の隊で実際にSNSを活用した情報発信にて、活動の広報を行なっているかを聞いたところ、89%が行なっていると回答し、主なSNSは Instagram(Meta)・X((XCorp)が主に使われており、地域の隊でアカウントを作成し、活動内容をアップしている。SNS以外にも、小学校でのボーイスカウト(ビーバースカウト・カブスカウトが主)活動のポスターの掲示、学校での発表を通じてボーイスカウトへの理解を促進していたという事実も明らかになった。

III, 文献調査の結果

この調査では以下の文献を参照した。

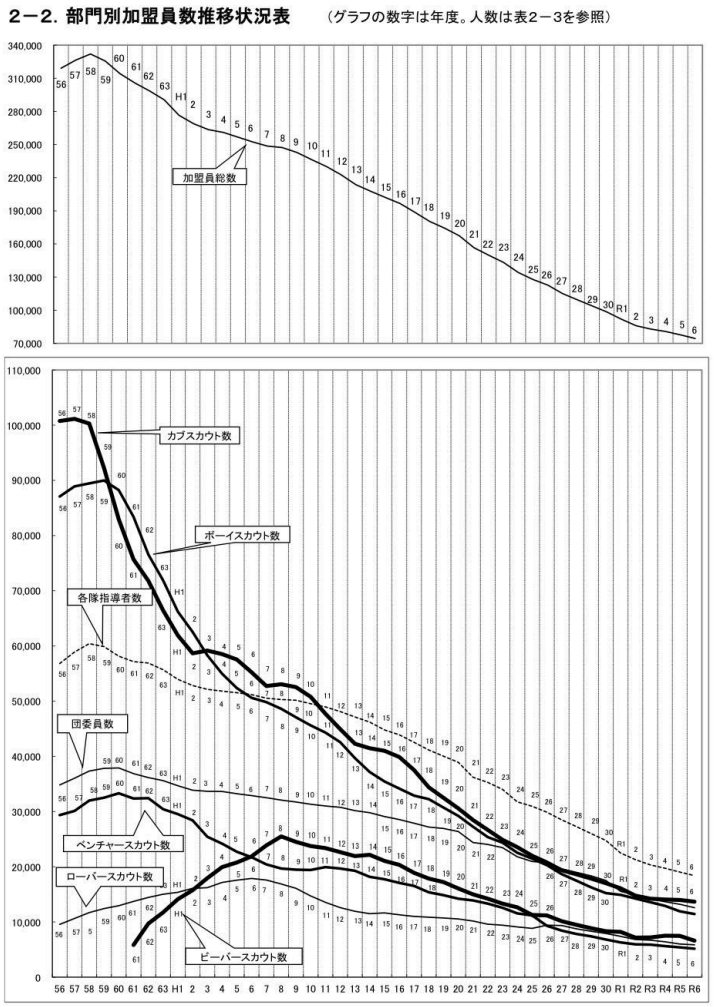



図1: 加盟員数推移状況(ボーイスカウト日本連盟、2024年度事業報告)

注1、 加盟員: ボーイスカウト日本連盟に登録しているスカウト、指導者を含む
注2、 団委員:地区の団の活動方針を決める人
注3、 ビーバースカウト:小学1～2年生を対象に「みんなとともに仲良く遊ぶ」「自然に 親しむ」「楽しみや喜びを分かちあう」などをねらいとし、さまざまなことにチャレンジします。
注4、 カブスカウト: 小学3年生～5年生を対象に「自分のことは自分でする」「みんなでルールを作って仲良く遊ぶ」「自然や社会とふれあうこと」といった目標を通じ、自立心や創造力を身につけます。
注5、 ボーイスカウト:小学6年生～中学3年を対象に「班」というグループの中で、それぞれが自分の役割をもち、協力して活動します。キャンプやハイキングなどの野外活動の中で「リーダーシップ」「協調性」「社会性」などを育み、奉仕活動を積極的に行うことで「役に立つことの大切さ」を学びます。
注6、 ベンチャースカウト:中学3年9月～18才までを対象の「高度な野外活動」への挑戦のほか、関心をもったさまざまな課題や問題について個人やチームで考えて行動している

**【注1～6】**ボーイスカウト日本連盟より

## 5. スカウト数と県別対象人口比較表

### 5－2. ビーバースカウト隊

| 県連盟 | ビーバースカウト隊 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男子 | | | 女子 | | | A | B | A/B |
| | BVS人数（男子）（人） | BVS該当数（小1～小2）（人） | 該当者100人に対するBV男子(人) | BVS人数（女子）（人） | BVS該当数（小1～小2）（人） | 該当者100人に対するBV女子(人) | BVS人数（男女計）（人） | BVS該当数（小1～小2男女計）（人） | 該当者100人に対するBVS（人） |
| 北海道 | 43 | 34,603 | 0.12 | 28 | 33,349 | 0.08 | 71 | 67,952 | 0.10 |
| 青森県 | 3 | 8,232 | 0.04 | 2 | 8,021 | 0.02 | 5 | 16,253 | 0.03 |
| 岩手 | 11 | 8,235 | 0.13 | 8 | 7,866 | 0.10 | 19 | 16,101 | 0.12 |
| 宮城県 | 28 | 16,987 | 0.16 | 16 | 16,394 | 0.10 | 44 | 33,381 | 0.13 |
| 秋田県 | 7 | 5,479 | 0.13 | 4 | 5,341 | 0.07 | 11 | 10,820 | 0.10 |
| 山形県 | 4 | 7,289 | 0.05 | 3 | 6,994 | 0.04 | 7 | 14,283 | 0.05 |
| 福島 | 30 | 13,096 | 0.23 | 19 | 12,793 | 0.15 | 49 | 25,889 | 0.19 |
| 茨城県 | 83 | 20,815 | 0.40 | 47 | 19,875 | 0.24 | 130 | 40,690 | 0.32 |
| 栃木県 | 42 | 14,513 | 0.29 | 28 | 13,536 | 0.21 | 70 | 28,049 | 0.25 |
| 群馬県 | 54 | 14,218 | 0.38 | 20 | 13,465 | 0.15 | 74 | 27,683 | 0.27 |
| 埼玉県 | 358 | 57,435 | 0.62 | 163 | 54,922 | 0.30 | 521 | 112,357 | 0.46 |
| 千葉県 | 243 | 48,353 | 0.50 | 122 | 46,410 | 0.26 | 365 | 94,763 | 0.39 |
| 神奈川 | 389 | 70,860 | 0.55 | 203 | 67,531 | 0.30 | 592 | 138,391 | 0.43 |
| 山梨 | 43 | 5,889 | 0.73 | 13 | 5,857 | 0.22 | 56 | 11,746 | 0.48 |
| 東京 | 720 | 103,241 | 0.70 | 310 | 99,400 | 0.31 | 1,030 | 202,641 | 0.51 |
| 新潟 | 31 | 15,488 | 0.20 | 16 | 14,626 | 0.11 | 47 | 30,114 | 0.16 |
| 富山県 | 54 | 7,358 | 0.73 | 29 | 7,089 | 0.41 | 83 | 14,447 | 0.57 |
| 石川県 | 49 | 8,924 | 0.55 | 33 | 8,340 | 0.40 | 82 | 17,264 | 0.47 |
| 福井 | 21 | 6,014 | 0.35 | 8 | 5,744 | 0.14 | 29 | 11,758 | 0.25 |
| 長野県 | 48 | 15,540 | 0.31 | 18 | 14,784 | 0.12 | 66 | 30,324 | 0.22 |

図2:ビーバースカウト



### 5－3. カブスカウト隊

| 県連盟 | カブスカウト隊 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男子 | | | 女子 | | | A | B | A/B |
| | CS人数（男子）（人） | CS該当数（小3～小5）（人） | 該当者100人に対するCS男子(人) | CS人数（女子）（人） | CS該当数（小3～小5）（人） | 該当者100人に対するCS女子(人) | CS人数（男女計）（人） | CS該当数（小3～小5男女計）（人） | 該当者100人に対するCS（人） |
| 北海道 | 105 | 56,450 | 0.19 | 37 | 53,899 | 0.07 | 142 | 110,349 | 0.13 |
| 青森県 | 12 | 13,227 | 0.09 | 2 | 12,732 | 0.02 | 14 | 25,959 | 0.05 |
| 岩手 | 37 | 13,415 | 0.28 | 20 | 12,909 | 0.15 | 57 | 26,324 | 0.22 |
| 宮城県 | 82 | 28,018 | 0.29 | 42 | 26,337 | 0.16 | 124 | 54,355 | 0.23 |
| 秋田県 | 20 | 9,144 | 0.22 | 5 | 8,831 | 0.06 | 25 | 17,975 | 0.14 |
| 山形県 | 14 | 11,871 | 0.12 | 9 | 11,460 | 0.08 | 23 | 23,331 | 0.10 |
| 福島 | 55 | 21,480 | 0.26 | 34 | 20,859 | 0.16 | 89 | 42,339 | 0.21 |
| 茨城県 | 208 | 33,277 | 0.63 | 84 | 31,696 | 0.27 | 292 | 64,973 | 0.45 |
| 栃木県 | 87 | 23,204 | 0.37 | 57 | 22,151 | 0.26 | 144 | 45,355 | 0.32 |
| 群馬県 | 122 | 22,765 | 0.54 | 60 | 21,904 | 0.27 | 182 | 44,669 | 0.41 |
| 埼玉県 | 704 | 91,322 | 0.77 | 318 | 87,462 | 0.36 | 1,022 | 178,784 | 0.57 |
| 千葉県 | 486 | 76,904 | 0.63 | 253 | 73,307 | 0.35 | 739 | 150,211 | 0.49 |
| 神奈川 | 860 | 112,663 | 0.76 | 386 | 107,169 | 0.36 | 1,246 | 219,832 | 0.57 |
| 山梨 | 69 | 9,567 | 0.72 | 12 | 9,150 | 0.13 | 81 | 18,717 | 0.43 |
| 東京 | 1,451 | 160,436 | 0.90 | 583 | 154,553 | 0.38 | 2,034 | 314,989 | 0.65 |
| 新潟 | 48 | 25,164 | 0.19 | 29 | 24,143 | 0.12 | 77 | 49,307 | 0.16 |
| 富山県 | 77 | 11,709 | 0.66 | 47 | 11,237 | 0.42 | 124 | 22,946 | 0.54 |
| 石川県 | 113 | 14,009 | 0.81 | 57 | 13,351 | 0.43 | 170 | 27,360 | 0.62 |
| 福井 | 59 | 9,537 | 0.62 | 23 | 8,997 | 0.26 | 82 | 18,534 | 0.44 |

図3:カブスカウト

### 5－4. ボーイスカウト隊

| 県連盟 | ボーイスカウト隊 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男子 | | | 女子 | | | A | B | A/B |
| | BS人数（男子）（人） | BS該当数（小6～中3）（人） | 該当者100人に対するBS男子(人) | BS人数（女子）（人） | BS該当数（小6～中3）（人） | 該当者100人に対するBS女子(人) | BS人数（男女計）（人） | BS該当数（小6～中3男女計）（人） | 該当者100人に対するBS（人） |
| 北海道 | 79 | 79,278 | 0.10 | 29 | 75,704 | 0.04 | 108 | 154,982 | 0.07 |
| 青森県 | 6 | 18,677 | 0.03 | 3 | 18,041 | 0.02 | 9 | 36,718 | 0.02 |
| 岩手 | 52 | 19,150 | 0.27 | 23 | 18,389 | 0.13 | 75 | 37,539 | 0.20 |
| 宮城県 | 72 | 38,062 | 0.19 | 34 | 36,723 | 0.09 | 106 | 74,785 | 0.14 |
| 秋田県 | 20 | 13,413 | 0.15 | 9 | 13,036 | 0.07 | 29 | 26,449 | 0.11 |
| 山形県 | 23 | 17,036 | 0.14 | 10 | 16,209 | 0.06 | 33 | 33,245 | 0.10 |
| 福島 | 50 | 29,140 | 0.17 | 26 | 27,412 | 0.09 | 76 | 56,552 | 0.13 |
| 茨城県 | 151 | 46,565 | 0.32 | 52 | 44,385 | 0.12 | 203 | 90,950 | 0.22 |
| 栃木県 | 105 | 32,580 | 0.32 | 42 | 31,039 | 0.14 | 147 | 63,619 | 0.23 |
| 群馬県 | 93 | 32,229 | 0.29 | 47 | 30,839 | 0.15 | 140 | 63,068 | 0.22 |
| 埼玉県 | 581 | 124,676 | 0.47 | 257 | 117,969 | 0.22 | 838 | 242,645 | 0.35 |
| 千葉県 | 401 | 105,209 | 0.38 | 162 | 99,325 | 0.16 | 563 | 204,534 | 0.28 |
| 神奈川 | 693 | 151,560 | 0.46 | 277 | 145,176 | 0.19 | 970 | 296,736 | 0.33 |
| 山梨 | 68 | 13,460 | 0.51 | 8 | 12,734 | 0.06 | 76 | 26,194 | 0.29 |
| 東京 | 1,172 | 212,539 | 0.55 | 358 | 204,399 | 0.18 | 1,530 | 416,938 | 0.37 |
| 新潟 | 54 | 35,179 | 0.15 | 21 | 33,299 | 0.06 | 75 | 68,478 | 0.11 |
| 富山県 | 93 | 16,582 | 0.56 | 23 | 15,679 | 0.15 | 116 | 32,261 | 0.36 |
| 石川県 | 114 | 19,495 | 0.58 | 48 | 18,619 | 0.26 | 162 | 38,114 | 0.43 |

図4:ボーイスカウト

### 5－5. ベンチャースカウト隊

| 県連盟 | ベンチャースカウト隊 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男子 | | | 女子 | | | A | B | A/B |
| | VS人数（男子）（人） | VS該当数（高1～高3）（人） | 該当者100人に対するVS男子(人) | VS人数（女子）（人） | VS該当数（高1～高3）（人） | 該当者100人に対するVS女子(人) | VS人数（男女計）（人） | VS該当数（高1～高3男女計）（人） | 該当者100人に対するVS（人） |
| 北海道 | 36 | 54,779 | 0.07 | 15 | 52,338 | 0.03 | 51 | 107,117 | 0.05 |
| 青森県 | 7 | 14,144 | 0.05 | 3 | 13,343 | 0.02 | 10 | 27,487 | 0.04 |
| 岩手 | 21 | 14,542 | 0.14 | 12 | 13,482 | 0.09 | 33 | 28,024 | 0.12 |
| 宮城県 | 34 | 27,137 | 0.13 | 14 | 25,826 | 0.05 | 48 | 52,963 | 0.09 |
| 秋田県 | 4 | 10,194 | 0.04 | 2 | 9,786 | 0.02 | 6 | 19,980 | 0.03 |
| 山形県 | 8 | 13,194 | 0.06 | 6 | 12,288 | 0.05 | 14 | 25,482 | 0.05 |
| 福島 | 24 | 21,328 | 0.11 | 8 | 20,107 | 0.04 | 32 | 41,435 | 0.08 |
| 茨城県 | 68 | 35,278 | 0.19 | 22 | 32,659 | 0.07 | 90 | 67,937 | 0.13 |
| 栃木県 | 50 | 24,154 | 0.21 | 16 | 21,968 | 0.07 | 66 | 46,122 | 0.14 |
| 群馬県 | 38 | 23,291 | 0.16 | 12 | 21,767 | 0.06 | 50 | 45,058 | 0.11 |
| 埼玉県 | 213 | 83,130 | 0.26 | 97 | 75,854 | 0.13 | 310 | 158,984 | 0.19 |
| 千葉県 | 222 | 69,871 | 0.32 | 65 | 66,443 | 0.10 | 287 | 136,314 | 0.21 |
| 神奈川 | 307 | 96,833 | 0.32 | 119 | 93,737 | 0.13 | 426 | 190,570 | 0.22 |
| 山梨 | 40 | 11,083 | 0.36 | 4 | 9,852 | 0.04 | 44 | 20,935 | 0.21 |
| 東京 | 587 | 150,358 | 0.39 | 143 | 150,740 | 0.09 | 730 | 301,098 | 0.24 |
| 新潟 | 33 | 25,325 | 0.13 | 7 | 23,070 | 0.03 | 40 | 48,395 | 0.08 |
| 富山県 | 43 | 12,132 | 0.35 | 13 | 11,640 | 0.11 | 56 | 23,772 | 0.24 |
| 石川県 | 52 | 14,691 | 0.35 | 35 | 14,038 | 0.25 | 87 | 28,729 | 0.30 |
| 福井 | 28 | 10,168 | 0.28 | 8 | 9,900 | 0.08 | 36 | 20,068 | 0.18 |

図5:ベンチャースカウト(所属中)

## 6. 各種グラフ

### 6－1. 加盟員、スカウト、指導者数および隊数の内訳

注:「主登録」の人数により作成

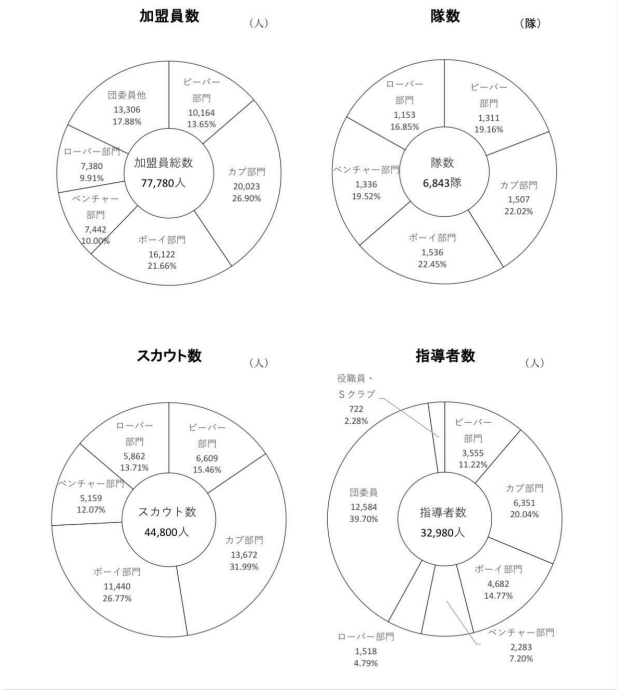



図6:加盟数・隊数・スカウト数・指導者数の内訳

図2～図5まで、ボーイスカウト新潟連盟に所属するビーバースカウト～ベンチャースカウトまでの人数などを示している。

これらの調査で明らかになったことは、大前提として単なる少子化だけでは説明できない構造的課題があったことである。まず、県別対象人口比（図2～図5）を見ると、対象年齢人口が多い都県でも必ずしもスカウト比率が高いとは限らないことが分かる。これは「子どもの数が減っているから隊員が減っている」という単純な因果関係ではなく、地域ごとの広報力や活動体制の差が影響している可能性を示している。つまり、人口減少は前提条件ではあるが、組織の取り組み次第で比率は改善できる余地がある。

次に、加盟員数の内訳（図6）を見ると、スカウト数44,880人に対して指導者数は32,980人と、比較的多くの大人が関わっていることが分かる。これは組織としての支援体制が整っている一方で、スカウト数自体が伸び悩んでいる構造を示している。また、部門別ではカブ・ボーイ部門の割合が高く、ベンチャー・ローバー部門で人数が減少している傾向が見られる。これはアンケートで示された「進学や部活動優先」といった中高生年代での離脱傾向と一致している。

さらに、隊数6,843隊に対し、スカウト数との比率を考えると、1隊あたりの人数が少規模化していることが推測される。隊員数の減少は活動の多様性や活気の低下につながり、結果として新規入団者の魅力低下を招くという悪循環を生む可能性がある。

以上のことから、ボーイスカウトの課題は単なる少子化ではなく、

① 地域間での普及率の差

② 中高生年代での継続率の低下

③ 小規模化による活動魅力の低下

という三つの構造的問題にあると考えられる。

今後は、対象人口比が高い地域の成功事例を分析し、広報方法や活動設計を全国で共有することが有効である。また、ベンチャー年代においては、学業や部活動と両立可能な柔軟な活動形態の導入や、探究活動・社会課題解決型プログラムの強化が持続可能性向上につながると考える。

# ・参考文献


【1】内閣府（2025年）令和7年版高齢社会白書(全体版)：令和6年高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況　第1章　高齢化の状況　第1節　高齢化の状況　1、高齢化の現状と将来　https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2025/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf

【2】こども家庭庁（2023）令和5年度　少子化の現状　第1章　我が国および各地域における少子化の現状
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/b1f489bb-4ead-4f24-a749-bda926d7637d/aabac68e/20240422_policies_shoushika_koufukin_taisaku-r05-research_15.pdf

【3】ボーイスカウト日本連盟（2025）2024(令和6)年度事業報告　https://www.scout.or.jp/wp-content/uploads/2025/06/2024report_sokaku.pdf

【4】ボーイスカウト日本連盟（2025）2024(令和6)年度事業報告　事業報告各種資料
https://www.scout.or.jp/wp-content/uploads/2025/06/2024report_data.pdf

【5】ボーイスカウト日本連盟（2025）年代別プログラム　https://www.scout.or.jp/

【6】ボーイスカウト日本連盟（2025）ビーバースカウト　https://www.scout.or.jp/bvs

【7】ボーイスカウト日本連盟（2025）　カブスカウト　https://www.scout.or.jp/cs

【8】ボーイスカウト日本連盟　（2025）ボーイスカウト　https://www.scout.or.jp/bs

【9】ボーイスカウト日本連盟　(2025)　ベンチャースカウト　https://www.scout.or.jp/vs

【10】ロバート・ベーデン=パウエル　ボーイスカウト日本連盟訳　(1908)「スカウティング・フォア・ボーイズ」 ボーイスカウト日本連盟
https://www.scoutshop.jp/view/item/000000001116?category_page_id=ventures

【11】J -Stage(国際研究開発法人科学技術振興機構)　https://www.jstage.jst.go.jp/article/hcs/2018/28/2018_428/_article/-char/ja/

【12】日本ボーイスカウト大阪第87団　(2024)「ボーイスカウトとは」 https://bs87.eddv-k.jp/boyscout

【13】参1(p1) 世界スカウトジャンボリー　→ボーイスカウト日本連盟によると「 世界スカウト機構（WOSM）に正式加盟している172の国と地域を代表するスカウトと野営生活を共にしながら親善交歓をはかり、様々なプログラムへの参加を通じて世界友情を築き、多くの国の参加者との国際交流と国際理解を深めると共に日本への関心と理解の高揚に努める。」https://www.scout.or.jp/wp-content/uploads/2021/11/25WSJ-Boshuyoko-20211125.pdf

【14】参2(p2)全国スカウトフォーラムアフターフォーラムアフター　→ ボーイスカウト日本連盟によると、

【全国スカウトフォーラム】: スカウト運動の原点である「スカウトたちの声に耳を傾け、その意見をスカウト運動に反映させていくこと」を実践し、「青少年の意思決定への参画」を、より推進していくことを願い、全国スカウトフォーラムを開催します。スカウトフォーラムでは、スカウト個々が自己の成長をはかり、幅広い社会性を身につけ、相互の理解を深めるための貴重な機会が提供されるように開催します。各地域（地区や県連盟）でのスカウトフォーラムを経て、全国から選出された代表スカウトが集い、テーマについて討議します。そのうえで、フォーラムでの討議が参加者のみならず広く共有されるよう、参加スカウトの気運を高め、各県連盟へフィードバックができることを目指します。

【アフターフォーラムアフター】: 全国スカウトフォーラムでは、各県連盟の代表スカウトが持ち寄った県連盟フォーラムで話し合われた課題への取り組みから、スカウト自らが取り組む可能性を集約し、課題への取り組み方針を採択します。

採択されたスカウトフォーラム宣言の趣旨や意図を所属地域のスカウトに伝えていくために、代表スカウトが主体となり、全国スカウトフォーラムの報告の場としてアフターフォーラムを実施して、検討した背景や採択された経緯などの説明のほか、アクションプランへの取り組みに繋げていくことを期待しています。

今年度は、昨年度のスカウトフォーラムの提言文に基づき、スカウトの所属する県連盟や地区、団などそれぞれの地域で具現化された活動内容や実施されたプロジェクトの成果を共有・講評することを通じて、スカウトの地域貢献意識の向上を図り、来年度の全国スカウトフォーラムへの気運を高めることを目指します。
https://www.scout.or.jp/member/25sf-afa

# 日本社会における犯罪減少の持続可能性について

## 序論

・研究背景

人はおおかた感情型と論理型2種類に分けることができ、種類ごとに犯罪動機が違う傾向が見られる。また、犯罪白書によると2022年は前年比増加、2023年も前年比増加、2024年は約73万7000件と言うように2022年以降(コロナ禍が緩和された後)3年連続で犯罪件数が増えている。犯罪例としては窃盗や詐欺(特殊詐欺含む)、性犯罪、殺人などの危険犯罪、サイバー関連犯罪、少年非行がある(犯罪白書　2022年～2024年)。

・研究目的、意義

本研究の目的は、犯罪動機を「感情型」と「論理型」に分類する枠組みを用い、犯罪減少がどのタイプの犯罪動機に対して達成されているのかを分析することで、犯罪減少の持続可能性を検討することである。特に、各動機類型に対する抑止要因の違いに着目し、長期的に犯罪を抑制し得る条件を明らかにすることを目的とする。

・仮説

感情型は衝動的な動機で犯罪を犯し、論理型は計画的で合理的な動機で犯罪を犯しているのではないか？

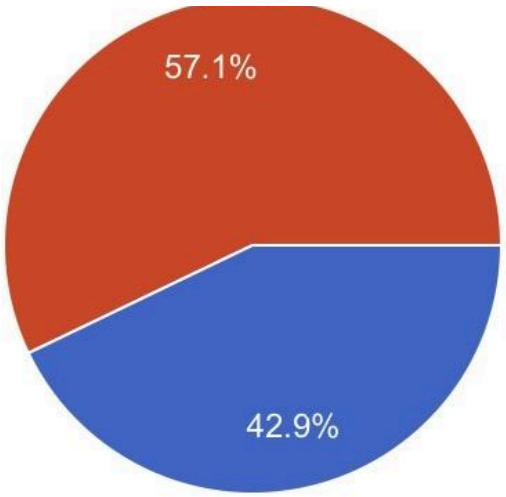
ここでは感情型犯罪動機の定義を外部からの刺激(挑発、拒絶、裏切りなど)に対し、瞬時に「怒り」「喜び」「悲しみ」「不安」「恐怖」などの感情が爆発し、抑制が効かなくなった状態で引き起こされる犯罪とする。
また論理型犯罪動機の定義を理性的計算: 犯行前に行動の利益とコストを秤にかける。計画性: 成功確率を高め、検挙リスクを下げるために、事前に準備や下見を行う。目的志向: 報酬(金銭、性的な満足、権力など)が明確である犯罪とする。

研究方法

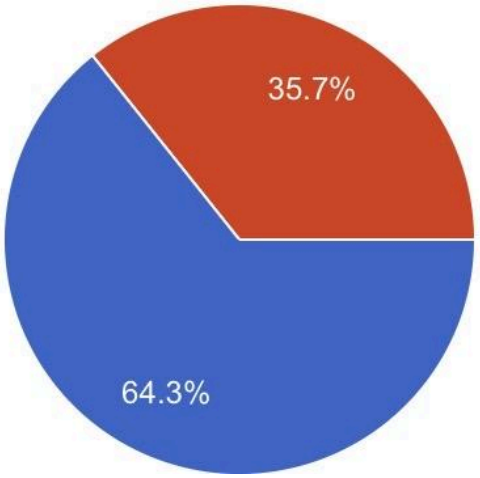
新潟県立国際情報高校の2学年生を対象にアンケートを実施

・アンケート結果

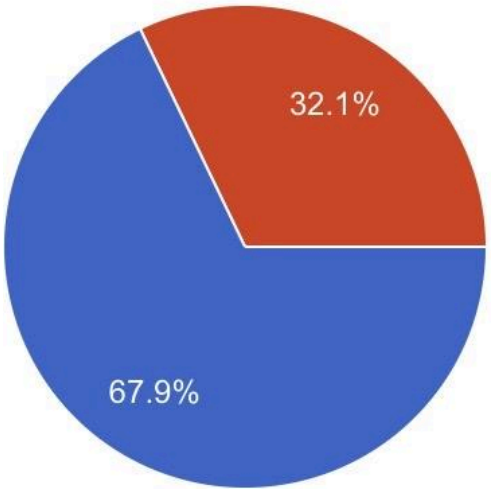
Q1 性別はなんですか？



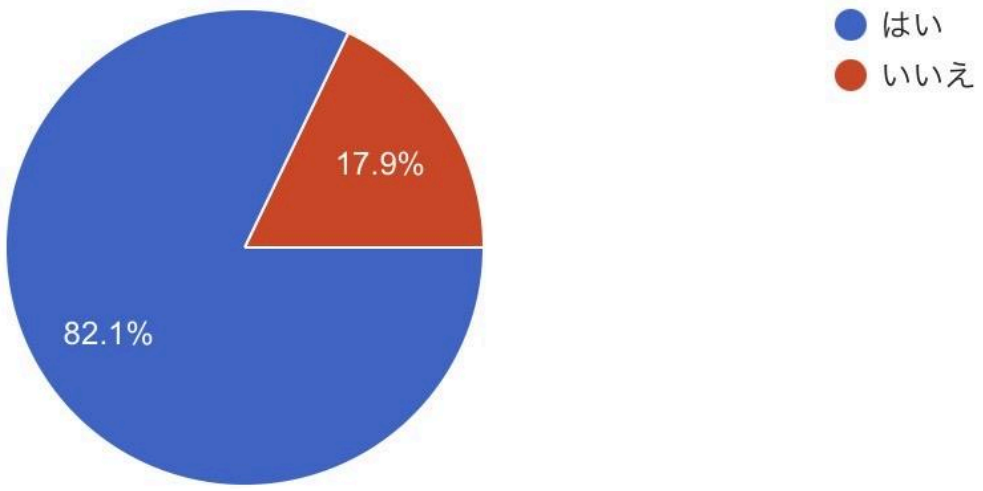

Q2 気持ちが行動に反映しやすい



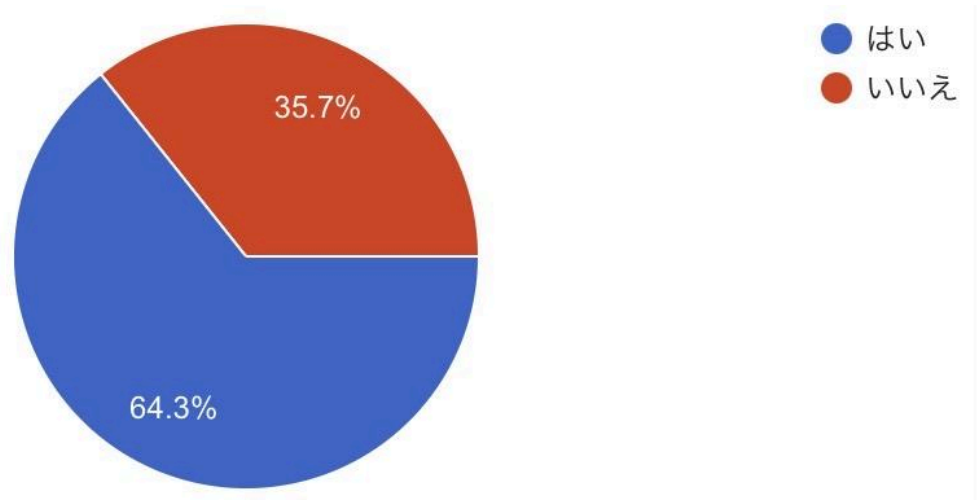

Q3 思いついたことをすぐ行動してしまう



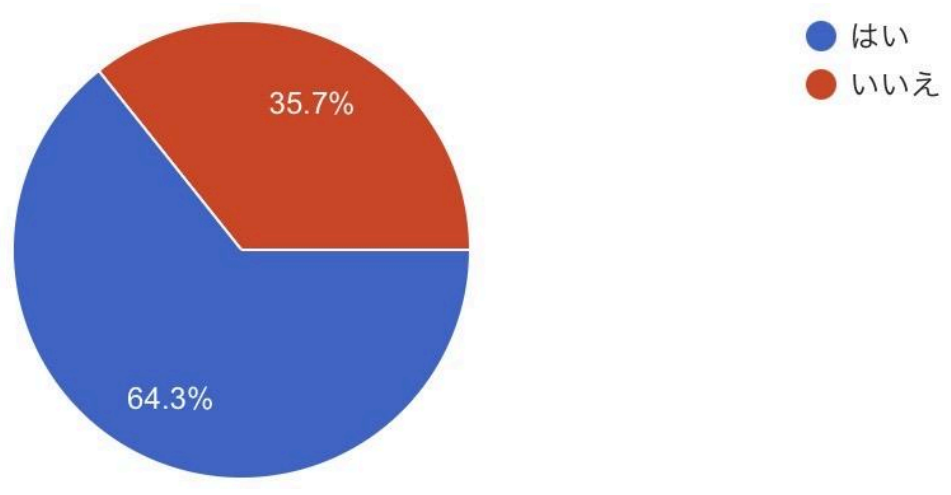

Q4 困ったことはまず感情より状況整理する




Q5 行動するとき、計画を立てると安心する




Q6 感情より結果や効率を重視しがち




Q7 人と関わる中で、相手を避けてしまったり、きつい態度をとってしまうことがあるとしたら、どのような気持ちや状況が影響していると思いますか？

ただ単に嫌い、そもそも分かり合えない

うざい

あまり好きじゃない

何らかの被害を被っている状況。

自分の気持ちを優先してる

何か隠したい気持ちがあるから

marui

罪悪感

相手から何か嫌なことをされた時に思う辛い気持

悲しい気持ち、怒っている気持ち

嫌悪感

疲れてる

気まずさ

怒ってる気持ち

その相手のことが苦手であるという気持ち。

不安

相手に改善してほしいという気持ち、過度な期待

相手のことがまだ許せないから。

相手が苦手

ストレス

日頃の印象や、何らかの結果などによって満足で

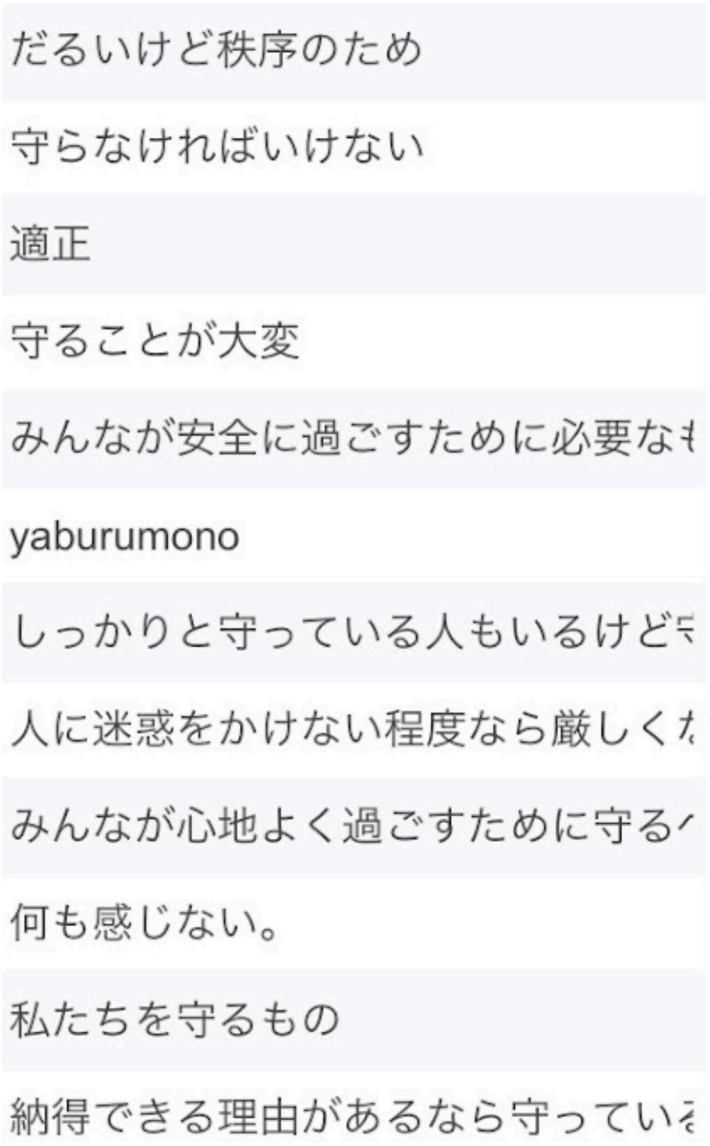
うざい

自分には非がないと思う気持ち

寂しい

怒り、嫉妬

Q8 日常生活の中で、ルールやマナーについてどのように感じていますか？




このアンケートでは、はいが多いと感情型、いいえが多いと論理型に近い傾向にある。つまり新潟県立国際情報高校では感情型の人が多いと考えることができる。

・考察
まず大前提として、人が感情的であることが直接「犯罪者になる」という単純な因果関係を意味するわけではない。しかし、性格特性や感情反応は、犯罪行動のリスク要因の一部として検討されている。本研究では、感情型と論理型という枠組みを用いて若年層の傾向を分析した。
アンケート結果から、「気持ちが行動に反映しやすい」「思いついたことをすぐ行動してしまう」と回答した者が6割以上を占め、感情が行動に影響を与えやすい傾向が確認された。一方で、「困ったときはまず状況を整理する」「計画を立てると安心する」「結果や効率を重視する」と回答した者も一定数存在し、論理的に判断しようとする傾向も同時に見られた。すなわち、多くの若者は感情的側面と論理的側面の両方を併せ持っていると考えられる。　感情型の犯罪（怒りや悲しみなどの強い感情に起因する衝動的行動）を抑制するためには、感情のコントロール能力や対人関係スキルの向上が重要である。内閣府（2024）『子ども・若者白書』においても、若者の悩みとして人間関係や将来不安が上位に挙げられており、心理的支援や相談体制の充実が重要であると示されている。したがっ

て、若年層の心理的安定を支える教育的支援は、感情型犯罪の予防に寄与すると考えられる。
また、論理型の犯罪（利益や効率を重視し計画的に行われる犯罪）については、合理的判断の結果として実行される可能性がある。そのため、検挙率の向上や罰の確実性を高め、「利益よりもリスクが上回る」社会環境を維持することが抑止力となる。
さらに、日本社会における犯罪減少を考える際には、犯罪の実態と人々の認識の差にも注目する必要がある。浜井・芹沢（2006）は、犯罪件数が減少しているにもかかわらず、犯罪不安が必ずしも減少していないことを指摘している。また、河合（2004）も、治安悪化のイメージが社会的に拡大する背景にはメディア報道の影響があると論じている。つまり、犯罪減少の持続可能性は、統計上の減少だけでなく、社会心理的な安心感の形成とも関係していると考えられる。
以上より、日本社会における犯罪減少の持続可能性は、①若年層への感情教育や心理的支援、②制度的抑止の強化、③社会的不安の適切な情報発信による是正、という三つの要素の相互作用によって支えられると考えられる。本研究は高校生を対象とした限定的な調査であり一般化には課題があるが、若年層の心理傾向から犯罪抑止の可能性を検討した点に意義がある。

・参考文献

1 令和7年版犯罪白書　https://www.moj.go.jp/content/001451875.pdf

2 緒方康介（2025）．トピックモデルによる本邦犯罪心理学研究の推移−過去60年に及ぶ大会発表抄録の時系列分析−．『犯罪心理学研究（Japanese Journal of Criminal Psychology）』https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjcp/62/2/62_620206/_article/-char/ja?utm_source=chatgpt.com

3 中村 國則（2013）. A closer look at moral dilemmas: latent dimensions of morality and the difference between the trolley and footbridge dilemmas. Thinking and Reasoning, 19, 178-204. https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-24730507/?utm_source=chatgpt.com

4 菊池 武剋（2011）．日本における犯罪心理学研究の歴史的動向――『犯罪心理学研究』誌を中心として――．『犯罪心理学研究』50S，105-117．https://doi.org/10.20754/jjcp.50S.0_105

5 浜井浩一・芹沢一也（2006）『犯罪不安社会――誰もが「不審者」？』光文社新書。　2026年　1月29日

6 河合幹雄（2004）『安全神話崩壊のパラドックス――治安の悪化と報道の影響』岩波書店。　2026年　1月29日

7 内閣府（2024）『令和6年版 子ども・若者白書』。https://www.shugiin.go.jp/...pdf

# 音楽プラットフォームの持続可能性について

# The Sustainability of Music Platforms

**1.**研究背景

地理的・経済的要因による音楽体験機会の格差の現状

経済産業省の統計によると、「コロナ禍で落ち込んだ娯楽業は回復傾向にあり、『娯楽業』とその内訳の『音楽・芸術等興行』に注目すると、コロナ禍で落ち込んだ娯楽業は、第3次産業活動指数（現行の2020年基準は2019-2020年平均=100とした指数）の指数値が2020年に79.9と最低値を記録し、2024年には122.7と、コロナ禍前と同水準となった。特にその中でもライブ・演劇などを含む『音楽・芸術等興行』は大きな成長を遂げている。2024年には指数値が196.6まで上昇し、娯楽業全体を上回る伸びを示した。」（経済産業省,2025）また、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会のライブ市場調査によれば、「2024年のライブ総動員数は約5,940万人、総売上額は約6,122億円と、いずれも過去最多を記録している。」（一般社団法人コンサートプロモーターズ協会,2024）これらのデータから、ライブ需要は非常に高まっており、音楽イベントが人々に強く求められていることが分かる。

しかし、このように音楽ライブ市場が拡大している一方で、すべての人がその音楽体験に参加できているわけではない。特に地方在住者や学生にとっては、会場までの距離や交通費・宿泊費、チケット代などの経済的負担が大きく、参加を断念せざるを得ない場合がある。

実際に私自身も、都心部で開催されているライブやVRコンサートに興味を持ちながら、地理的・経済的理由から参加できなかった経験がある。さらに、インターネット上のブログやQ&Aサイトにおいても、同様の理由で音楽イベントへの参加を諦めたという声が複数見られる。

これらのことから、ライブ市場が成長する一方で、地理的・経済的要因による音楽体験機会の格差が存在している現状が明らかである。このような現状を受け、この格差をどうすれば縮小できるのかを目的として探求を行う。

**2.** 研究目的・意義

本研究では、リサーチクエスチョンを「地理的・経済的要因によって生じる音楽体験機会の格差に対し、音楽プラットフォームはどのような解決策を提示できるのか。」と設定した。（音楽プラットフォームとは、音楽の制作・配信・体験・収益化をつなぐ仕組みやサービスの総称であり、アーティスト、運営者、リスナーが音楽を通じて関わる場を提供するものを指す。）

本研究の目的は、地理的・経済的要因によって生じている音楽体験機会の格差が、どのような理由によって主に引き起こされているのかを明らかにすることである。

具体的には、アンケート調査などを通して、地方在住者や学生が音楽ライブや関連イベントに参加できない要因をより細かく把握し、その結果をもとに、より多くの人が音楽体験に平等に参加できる方法について考察する。

本研究の意義は、音楽ライブ市場が成長を続けている一方で、その機会が必ずしもすべての人に平等に行き渡っていないという点に着目していることにある。地方在住者や学生の立場から音楽体験機会の格差を捉えることで、これまであまり注目されてこなかった「参加できない側」の課題を可視化することができる。

さらに、その課題を踏まえ、音楽体験への参加のハードルを下げる新たな仕組みや支援の在り方を検討することで、音楽業界における持続可能で、誰もが音楽体験に参加しやすいプラットフォーム作りに貢献できる点にも意義がある。

**3.**仮説とその根拠

以上の現状分析および本探究の目的・意義を踏まえ、私は音楽イベント参加の障壁を下げるための解決策として、以下の三つの施策を提案し、それらを本探究の仮説とする。

一つ目は、チケットに学割制度や地方割制度を導入することである。私の通っている学校の学生のように、校則などの理由からアルバイトができない学生や、地方在住であるがゆえに交通費や宿泊費がかかる人にとって、これらの費用は音楽イベント参加の大きな経済的障壁となっている。このような状況は、都心部に住む人々と比較して明確な格差が生じており、不平等であると考えられる。そこで、チケット価格に差を設けることで、経済的に自立している大人とそうでない学生、また都心部在住者と地方在住者との間の負担の差を緩和できるのではないかと考えた。この制度により、参加機会の公平性を高めることが可能になると仮定する。

二つ目は、VR・AR・MRといった技術革新を活用したライブ体験を普及させることである。実際に、私の好きなアーティストがVRライブを実施した際、参加者から非常に高い評価を得ていたことが印象的であった。当初、私は「直接アーティストに会えないこと」が音楽体験の価値を下げるのではないかと考えていた。しかし、参加者の満足度や感想を見ると、視覚・聴覚・心理的な臨場感が高く、リアルライブに近い体験が提供されていることが分かった。このことから、VRなどの技術を活用することで、物理的な距離に左右されることなく、地方に住む人々にも高い価値を保った音楽体験を提供できると考えた。また、同時に多くのファンが参加することで、一体感を感じられる点も重要な要素である。

三つ目は、行動貢献型のポイ活アプリを導入することである。近年、Music Video（以下MV）の再生回数やSNSでの拡散は、アーティストが音楽番組に出演したり、賞を受賞したりする際の重要な指標となっている。そこで、金銭的な支出を前提とする従来のポイ活ではなく、MVの視聴、SNSでのシェア、オンラインイベントへの参加など、ファンが楽しみながら行える行動によってポイントを獲得できる仕組みを提案する。そのポイントをチケット割引や限定グッズ、デジタルコンテンツなどと交換可能にすることで、「ライブ参加へのチケット代補助」として機能させることができると考えた。実際に、歩数やアプリ利用、学習活動などを通じてポイントを得るポイ活は若者の間で広く普及しており、この仕組みは十分に実現可能であると考えられる。

以上の三つの施策を組み合わせることで、経済的・地理的な制約によって音楽ライブへの参加を諦めている人々の参加機会を拡大し、音楽体験の持続可能性を高めることができるのではないか、という仮説を立てた。

**2.**研究方法

本研究では、文献調査、アンケート調査、企業への一次調査という三つの方法を用いて分析を行った。

（1）文献調査

本と論文から文献調査を行った。

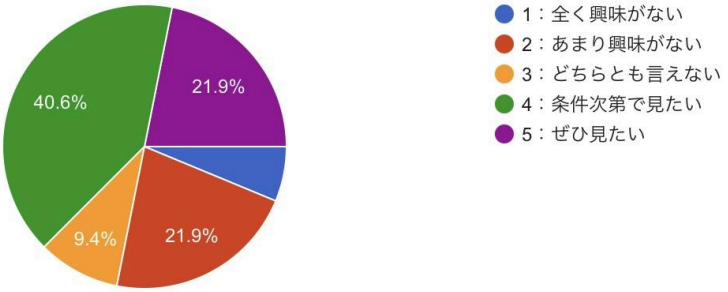
（2）アンケート調査

全校生徒を対象に2025年12月20日（土）～12月24日（水）の期間、匿名でアンケート調査を行い、32人から回答を得た。
アンケートでは、
「学年」
「ライブやコンサートに参加したいと思うか」
1:全く思わない
2:あまり思わない
3:どちらとも言えない
4:少し思う
5:とても思う　の五つからの選択式
「ライブや音楽イベントに参加しにくい点、または参加しない理由」
1:音楽やライブにあまり興味がない
2:チケット代が高い
3:交通費・移動が大変
4:毎回都合が合わない（テスト期間と被るなど）
5:一緒に行く人がいない
6:行っても楽しめるか分からない
7:オンラインで十分だと思う
8:特に当てはまる理由はない
9:その他　の九つからの複数選択可能式
「オンラインライブに対する興味度」
1:全く興味がない
2:あまり興味がない
3:どちらとも言えない
4:条件次第で見たい
5:ぜひ見たい　の五つからの選択式
「ライブや音楽体験イベントに参加しやすくなると感じる条件」を
1: チケットが無料、または安ければ
2: 友達に誘われたら
3:オンラインで気軽に視聴できたら
4:アニメ・映画・推しなど、自分の興味と関係していれば
5:特に条件が揃っても参加したいとは思わない
6:その他　の五つの項目からの複数選択可能式にして調査した。

オンラインライブに対するあなたの考えに最も近いものを選んでください。（オンラインライブとは…スマホでの生配信・映画館でのライブビューイング・ゴーグルを使って、まるでライブ会場にいるような体験ができるVRライブなど）

グラフをコピー

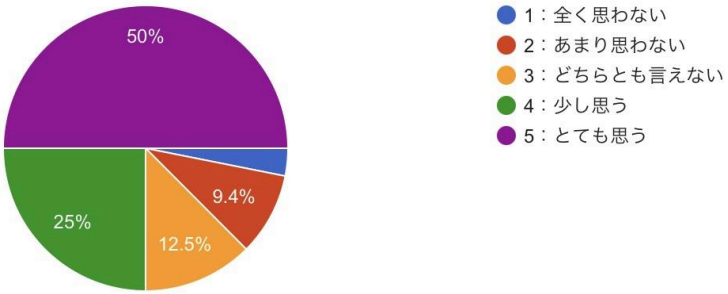
32 件の回答




ライブやコンサートに参加したいと思いますか？

グラフをコピー

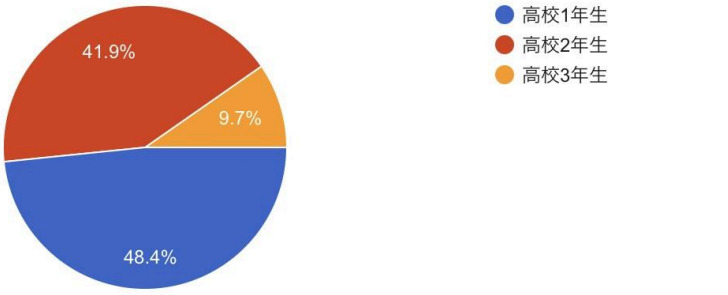
32 件の回答

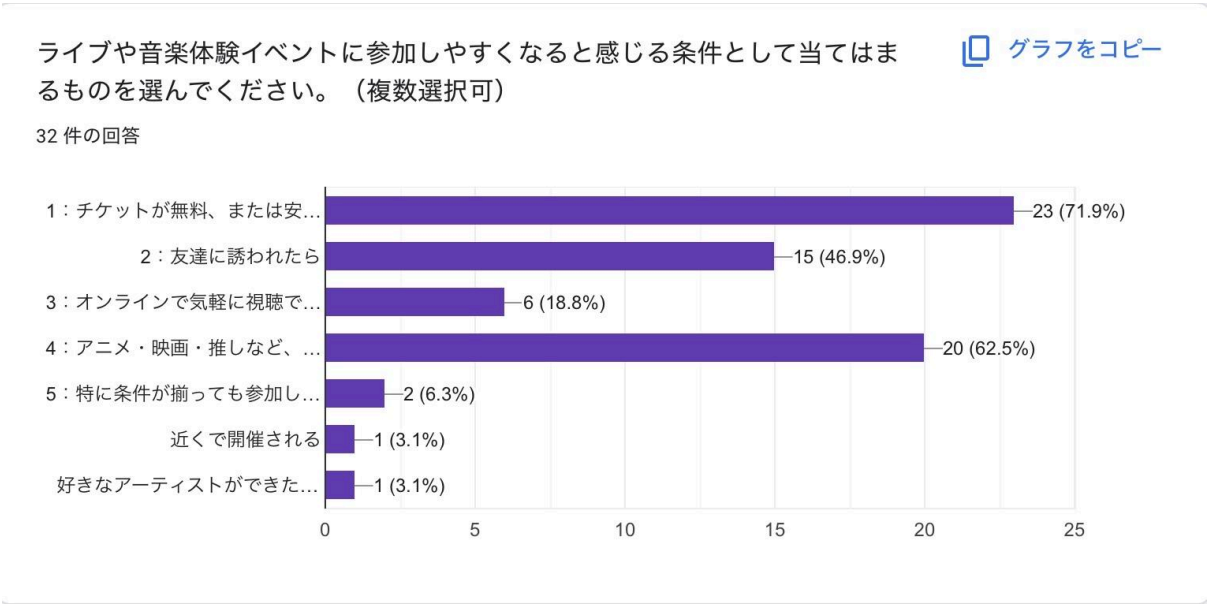


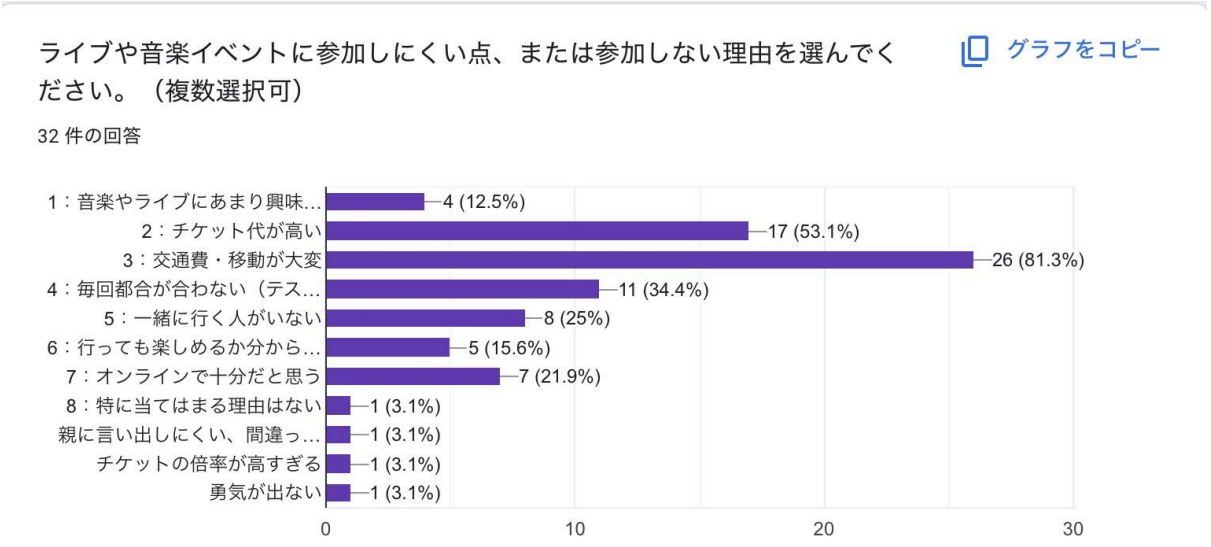

学年を教えてください。

グラフをコピー

31 件の回答






(3) 企業への一次調査

チケットエージェンシーを運営する会社である「チケットぴあ」と、VRコンサート制作・流通会社である「AMAZE VR」、ポイントサイト“モッピー”を運営する「株式会社セレス」の計三社に一次調査を行った。

3.結果・考察

(1) 大規模ライブ、とりわけ東京ドーム公演におけるチケット価格や割引制度の持続可能性を検討するためには、コンサート事業全体の収益構造および費用構造を把握する必要がある。本探究では、公開されている業界報道、企業決算資料、音楽業界に関する分析記事をもとに、東京ドーム公演を想定した一般的な収益モデルを整理した。

まず、会場費についてである。「東京ドームの1日使用料は、コンサートや大規模イベントの場合、設営日および撤去日を含めて約2,420万円以上」とされている。実際の公演では、複数日にわたる準備・撤収が必要となるため、会場使用料は固定費として高い割合を占める。(東京ドームグループレポート,2020)

次に制作費についてである。「東京ドーム規模の大規模ライブでは、会場レンタル費に加え、ステージセット、照明、音響、映像演出、特殊効果、技術スタッフや運営スタッフの人件費などが発生する。これらを合算した総制作費は数億円から、場合によっては10億円規模に達することも珍しくない。特にK-POP公演では、演出や映像技術への投資額が大きく、制作費が高額化する傾向が指摘されている。」（株式会社Relic,2023）

アーティストの取り分については、詳細な契約内容が非公開であるため正確な数値は不明であるが、一般的にはチケット収入およびグッズ収入などから、会場費・制作費・人件費・プロモーター費用を差し引いた純利益を基準として比例配分される構造であるとされる。

収益源について見ると、コンサート事業は単なるチケット収入だけで成り立っているわけではない。主な収入源は、①チケット代、②オリジナルグッズ販売、③ライブビューイングや配信収入である。特にグッズ販売は利益率が高く、アーティスト側にとって重要な収益源とされている。

（2）アンケートの結果、下記のことが分かった。

・全体の音楽関与度の分布
全体のうちの75%がライブやコンサートに参加したいと思っていることから、 興味がゼロというより、「行きたいけど行けない」という層が中心であると分かった。
→音楽ライブの需要はまだしっかりとあるかつ、地方に住んでいるかつ学生ならではの視点からは都心部で主に開催される音楽イベント参加に何かしらの 障壁を感じているということが言える。

・参加を拒んでいる主要な要因は何か
1 交通費・距離
2 チケット代が高い
3 日程が合わない
→内容よりも「コスト・アクセス」の問題が支配的

・オンラインライブは“代替”になりうるか
「条件次第で見たい」「ぜひ見たい」が62.5%（一定数）いる。
一方で「全く興味がない」層も存在 3.1%
オンラインは“万能な解決策ではないが、一定の層には有効”
→ハイブリッド型（現地＋オンライン）が持続可能性を高める可能性を示唆できる。

・どんな条件があれば参加意欲が高まるか
特に重要なのは、チケットが安い、アニメ・映画・推しなど既存の関心との接続、友達に誘われるなどのきっかけ
→「音楽そのもの」より「入り口の設計」が重要である。

（3）企業への一次調査の結果、「株式会社モッピー」、「チケットぴあ」からは返答を受けられなかったものの、「AMAZE VR」、「株式会社セレス」の2社から返答を受けることができた。

◯AMAZE VR
l've added our Head of Product, CJ, to this email thread and shared his responses to your questions below.

1. In the future, to what level of region (country, city, or even individual homes) do you expect VR/XR music experiences to realistically reach?
> I believe VR headsets will achieve a level of adoption similar to the iPad for individual users, as they offer high performance, large immersive displays, and strong privacy protection. As input interfaces such as voice control and virtual keyboards continue to evolve, wearable devices will become far more practical and accessible. In the future, people will increasingly seek to expand their entertainment experiences — especially in music —and AMAZE will enable them to experience this evolution through VR devices.
2. Do you think AR or MR technologies that combine digital content with the real world will become more important than VR alone in the future?> Separating AR or MR from VR is largely meaningless. The fundamental difference between smart glasses and VR headsets lies in whether the device fully covers the user's eyes.
Since VR headsets must completely block the user's vision, they should provide a view of the external world through onboard cameras. By combining this pass-through view with overlayed information, the resulting vision can be clearer, richer, and more informative than natural sight alone.
3. To what extent do you think VR concerts can serve as an alternative to real live concerts for regional fans?
> Fully replacing live concerts is not realistic, as in-person performances have their own unique value. However, in my opinion, VR concerts can emerge as a new medium for music fans around the world, offering a distinct and surreal way to experience music.

（和訳）

1. 将来的に、VR/XR音楽体験はどの地域レベル（国・都市・個人の家庭など）　まで現実的に広がるとお考えですか？
　私は、VRヘッドセットは個人向けデバイスとして、iPadと同程度の普及率に達すると考えています。高い性能、大画面で没入感のあるディスプレイ、そして強力なプライバシー保護機能を備えているためです。音声操作や仮想キーボードなどの入力インターフェースが進化すれば、ウェアラブルデバイスはさらに実用的で身近なものになるでしょう。将来的には、人々は特に音楽分野において、エンターテインメント体験を拡張することを求めるようになります。そしてAMAZEは、VRデバイスを通じてその進化を体験できるようにしていきます。

2. デジタルコンテンツを現実世界と組み合わせるARやMR技術は、将来的にVR 単体より重要になりますか？
　ARやMRをVRと分けて考えること自体、あまり意味がありません。スマートグラスとVRヘッドセットの本質的な違いは、デバイスが目を完全に覆うかどうかにあります。VRヘッドセットは視界を完全に遮る必要があるため、外部カメラを通して現実世界を映し出します。その映像に情報を重ね合わせることで、自然な視界よりも、より鮮明で豊かで情報量の多い視覚体験を提供できます。

3. VRコンサートは、地方のファンにとってリアルライブの代替になり得ます　　か？
　リアルライブを完全に置き換えることは現実的ではありません。対面の公演には独自の価値があるからです。しかし、私の考えでは、VRコンサートは世界中の音楽ファンにとって新しいメディアとして発展し、独特で非現実的な音楽体験を提供できると考えています。

AMAZE社からの回答から、VRは将来的にiPadのように広く普及する可能性があると考えられていることが分かった。また、ARやMRとVRは大きく分けて考えるものではなく、現実を拡張する技術として発展していくという見方が示されていた。
一方で、VRコンサートがリアルライブを完全に置き換えることは現実的ではないとも述べられている。リアルにはその場ならではの価値があるからである。
以上のことから、VRはリアルライブの代替というよりも、新しい形の音楽体験　として広がっていく可能性が高いと考えられる。

◯株式会社セレス
>>1.MVの視聴、アプリ利用、広告視聴などの行動を、ライブチケットや配チケットの割引・還元につなげる仕組みは、技術的・ビジネス的に実現可能だとお考えでしょうか？
一部のサービスはポイントサイトで実施（掲載）させていただいております。ポイントインカムで言えば「チケットぴあ」などの掲載がございますし、「U-NEXT」など、音楽ライブ配信が活発なサブスクリプションサービスの初回登録時にポイント還元などを行っております。ただ、ポイントサイトサービスとしては、音楽体験を希望されるお客様に強いニーズがないため、特別なキャンペーンを設けている状況ではないのが実情ではございます。なかなか実際に運営している立場としては見つけられない視点でございますので、音楽がお好きなユーザー様向けにできる今後の展望を検討させていただきます。

◯チケットぴあ
→会社から回答を得ることはできなかった。

これらの内容を踏まえて仮説に対する考察を立てた。

1.チケットに学割制度や地方割制度を導入すること。

文献調査を踏まえ、東京ドーム公演（約5万人動員）を想定し、J-POPとK-POPの収益構造を比較したうえで、学割制度導入の持続可能性について検討した。

まず前提として、東京ドーム規模の公演は多額の固定費を必要とする。東京ドームの収容規模は「最大約55,000人」とされている。また、東京ドームの使用料はコンサート利用の場合「1日あたり約2,420万円以上」とされており、設営・撤去日を含めると会場費は大きな固定費となる。さらに、ドーム公演ではステージセット、照明、音響、映像演出、特殊効果、技術スタッフおよび運営スタッフの人件費などが発生し、総制作費は数億円規模に達することが一般的である。（東京ドーム, 2020）本研究では制作費を6.5億円と仮定した。

まずSnow Man公演について検討する。ファンクラブ会員チケット価格は10,500円（チケットぴあ販売情報参照,2025）。これを平均価格と仮定し、5万人動員とすると、チケット売上は約5億2,500万円となる。さらに、ぴあ総合研究所の調査によると、ライブ関連の年間消費額は「約2.2万円」である（ぴあ総合研究所, 2019）。本研究では来場者の40％がライブ当日に6,000円を消費すると仮定すると、グッズ売上は約1億2,000万円となる。したがって総売上は約6億4,500万円となる。制作費6.5億円を差し引くと、営業利益はほぼゼロに近く、損益分岐点付近であることが分かった。

一方、SEVENTEEN公演では、アリーナ指定席25,000円、スタンド指定席17,000円とする。アリーナ席を12,500席、スタンド席を32,500席と仮定すると、チケット売上は約8億6,500万円となる。さらに、K-POPライブにおけるグッズ購入額は「1万円～3万円程度が相場」とされている（旅色,2025）。本研究では一度の東京ドームライブでの1人当たりのグッズ購入金額を保守的に1万円、購入率

40%と仮定すると、グッズ売上は約2億円となる。したがって総売上は約10億6,500万円となる。制作費6.5億円を差し引いた場合、営業利益は約4億円となり、利益率は約39%に達する。

以上の結果から、J-POP公演はチケット価格が比較的均一であるため利益率が低く、割引制度を導入すると直ちに赤字に転じる可能性が高い。一方、K-POP公演は座席価格が階層化されており、高価格帯席の存在によって全体の利益率が高く維持されている。そのため、仮に1万人に対して1人あたり3,000円の学割を導入した場合（減収3,000万円）、SEVENTEEN公演では十分黒字を維持できるが、Snow Man公演では赤字となる可能性が高い。

このことから、学割や地方割といった制度の導入可能性は、単なる人気の差ではなく、「価格構造の階層化」と「グッズ収益の規模」に大きく依存していることが明らかになった。特にグッズ販売は単なる付随収入ではなく、割引制度を支える重要な収益源であると考えられる。本研究は一定の仮定に基づく試算であるが、大規模ライブにおける価格設計と社会的配慮の両立可能性を示すモデルケースとして意義があるといえる。

このように、価格に大きな差を設ける構造では、全体として高い利益率を確保しやすく、その分、割引制度を導入できる余裕も大きいことが分かった。

以上のことから、座席価格が階層化されている公演ほど、学割や地方割といった制度を導入しやすい可能性があると考えられる。また、グッズ販売は単なる追加収入ではなく、割引制度を支える重要な収益源になっていることが分かった。

2.VR・AR・MRといった技術革新を活用したライブ体験を普及させること。

本研究では、VR（仮想現実）技術の発展により、音楽ライブ体験が将来的にリアルライブの代替となり得るのではないかという仮説について検討した。AMAZE社の回答によると、VRヘッドセットは将来的にiPadのような普及率に達する可能性があり、入力技術や表示性能の向上により、より実用的で身近なデバイスになると考えられている。また、ARやMRといった技術との区別は本質的ではなく、外部カメラを通した映像にデジタル情報を重ねることで、現実以上に豊かな視覚体験が可能になると述べられている。

これらの意見から、技術的な面では、VRは今後さらに進化し、より自然で高品　質な音楽体験を提供できる可能性が高いと考えられる。特に、地理的な制約を受けない点は大きな利点であり、地方や海外に住むファンにとっては、移動費や時間の制限を受けずにライブに参加できる手段となる。

この点において、VRコンサートは「物理的制約の代替」として大きな可能性を持っている。

しかし一方で、AMAZE社も述べているように、VRが完全にリアルライブを置き換えることは現実的ではないと考えられる。リアルライブには、会場の空気感、観客同士の一体感、実際に同じ空間にアーティストが存在しているという感覚など、デジタルでは再現が難しい価値がある。これらは単なる映像や音響の問題ではなく、「その場にいる」という身体的体験そのものに関係している。

したがって、VRはリアルライブの「完全な代替」ではなく、「補完的な新しい音楽体験」として発展する可能性が高いと考えられる。例えば、リアルライブに行けない地域のファンにとっての代替手段、またはリアルライブとは異なる演出や視点を楽しむための別の体験として機能することが考えられる。

さらに経済的観点から見ると、VRコンサートは会場費や設営費などの物理的コストを大幅に削減できる可能性がある。そのため、価格を抑えたり、より多くの人にアクセス可能な仕組みを作ったりすることができるかもしれない。この点では、音楽体験の公平性を高める手段としても注目できる。

以上のことから、本研究では、VRコンサートはリアルライブを完全に代替するものではないが、地域格差や経済的格差を縮小する新しい選択肢として重要な役割を果たす可能性があると結論

づける。今後は、技術の進歩だけでなく、人々がどのような体験に価値を感じるのかという心理的・社会的側面についても検討する必要がある。

3.行動貢献型のポイ活アプリを導入すること。

今回の企業からの回答を通して、MVの視聴やアプリ利用、広告視聴などの行動をポイント化し、チケットの割引につなげる仕組みは、すでに一部では実施されていることが分かった。例えば、チケット販売サイトや動画配信サービスの初回登録時にポイント還元が行われている。

しかし、音楽体験に特化した強いニーズは今のところ大きくないため、特別なキャンペーンは行われていないという現状も分かった。

私は、この仕組み自体は十分実現可能だと思う。MV視聴や広告視聴はもともと運営側の利益にもつながる行動なので、その一部をポイントとして還元することはそこまで難しくないと感じた。ただし、それを継続できる形にするには、需要やコスト面も考える必要がある。

この制度があれば、学生や地方在住の人でも、日常的な応援の積み重ねでライブに近づくことができる。単なる値下げよりも、「応援が形になる」という点で意味のある仕組みだと思う。

一方で、不正利用の問題や、割引分を誰が負担するのかといった課題もある。そのため、導入する場合は仕組みづくりを慎重に考える必要がある。

以上のことから、行動貢献型ポイ活アプリは可能性のある仕組みだが、実現にはファンのニーズと収益のバランスを取る工夫が重要だと考えた。

**5.**結論及び今後の展望

本研究では、東京ドーム公演を例にライブの収益構造を分析し、学割や地方割の導入可能性を検討した。また、行動貢献型ポイ活アプリやVRコンサートの可能性についても考察した。

分析を通して分かったのは、コンサートは多くの費用がかかる大きな経済活動である一方で、座席価格の工夫やグッズ販売、配信収益などを組み合わせることで、一定の割引制度を導入できる可能性があるということである。特に価格が階層化されている公演では、利益の一部を再分配する形で学割などを設ける余地があると考えられた。

また、行動貢献型ポイ活アプリのように、MV視聴や広告視聴といった日常的な応援行動をポイント化し、チケット割引につなげる仕組みも、技術的には実現可能であることが分かった。これが実現すれば、「応援が形になる仕組み」として、新しい参加型の音楽のあり方につながる可能性がある。

さらに、VRコンサートはリアルライブを完全に置き換えるものではないが、地域的な制約を受けるファンにとって新しい選択肢となり得る。地方在住者や海外ファンにとっては、移動の負担を減らしながら音楽体験に参加できる方法になると考えられる。

しかし、探究を進めていく中で「公平」と「平等」は同じではないということに気が付いた。例えば、地方在住者は交通費などの負担が大きいが、一方で都市部に住んでいる人は普段から家賃や生活費が高いという現実もある。単純に地方割を導入すればよいという問題ではなく、それぞれの立場の負担をどのように考えるかという視点が必要だと感じた。

したがって、これら三要素を相互に補完させることで、単独施策では到達できなかった層へのアプローチが可能となり、音楽体験の参加人口の拡大につながると結論づけられる。

今後は、収益性だけでなく、このような公平性と平等性の違いも踏まえながら、より多くの人が納得できる制度設計を考えていきたい。音楽体験を広げることと、経済的な持続可能性をどう両立させるかが、これからの大きな課題であると考える。

**6.**参考文献


[1]経済産業省（2025）「推し活」が消費活性化の鍵となるか？ライブ・エンタメ市場の盛り上がりをみる　2025年12月
https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20251126hitokoto.html
[2]井手口彰典（2023）音楽サブスクリプションが社会に与える影響とその可能性について-＜既知＞・＜未知＞から見た現代的音楽文化の様相-　2025年12月
https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/record/22817/files/AN00026486_65_01.pdf
[3] 佐々木瑛捺・仙波優衣（2022）エンタメ企業の生き残り戦略-HYBE JAPANの事例に基づいて-
https://www.jc.u-aizu.ac.jp/news/management/gr/2022/20.pdf
[4]イ・ジヒャン（2025）熱狂的なファンを生み出す「世界観」のつくり方
[5]足立千夏　エンターテイメントにおける細部へのこだわりは確実に感動を生むのか。2025年12月
https://www.komazawa-u.ac.jp/~knakano/NakanoSeminar/wp-content/uploads/2018/08/%E8%B6%B3%E7%AB%8B%E5%8D%83%E5%A4%8F%E3%80%8C%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%86%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E7%B4%B0%E9%83%A8%E3%81%B8%E3%81%AE%E3%81%93%E3%81%A0%E3%82%8F%E3%82%8A%E3%81%AF%E7%A2%BA%E5%AE%9F%E3%81%AB%E6%84%9F%E5%8B%95%E3%82%92%E7%94%9F%E3%82%80%E3%81%AE%E3%81%8B%E3%80%82%E6%B6%88%E8%B2%BB%E8%80%85%E3%81%8C%E5%8F%97%E3%81%91%E5%8F%96%E3%82%8B%E6%84%9F%E5%8B%95%E3%81%A8%E5%88%B6%E4%BD%9C%E8%80%85%E3%81%8C%E4%B8%8E%E3%81%88%E3%82%8B%E6%84%9F%E5%8B%95%E3%81%AB%E7%84%A6%E7%82%B9%E3%82%92%E5%BD%93%E3%81%A6%E3%81%A6%E3%80%8D.pdf
[6]中村晃・相良陽一郎（2014）ライブ演奏と録音された演奏が聴取者に与える印象の差異　2026年1月　https://cir.nii.ac.jp/crid/1390282680275207296
[7]環境省（2023）日本の気候変動対策　2026年1月
https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20250625.html
[8] 小坂真太郎・高橋秀智（2023) 音楽ライブの観客が「同期」するメカニズム
　ー 音楽知覚認知システムの解明ー　2026年1月
https://conference.vrsj.org/ac2023/program/doc/3B2-02.pdf
[9]浅田風太・南澤孝太（2020）演奏者と鑑賞者の身体性を接続するオンライン音楽ライブ空間のデザイン　2026年1月
https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/download.php/KO40001001-00002020-0832.pdf?file_id=160566
[10]松岡ひかり（2016）松岡ひかりライブによるストレス緩和の影響について　2026年2月
http://www.soc.shukutoku.ac.jp/chiba/5thesis/GT2023/05%E6%9D%BE%E5%B2%A1%20%E3%82%BB%E3%82%99%E3%83%9F%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A%E9%9B%86.pdf
[11]東京ドームグループ（2020）東京ドームグループレポート2020 2026年
https://www.tokyo-dome.jp/upload/20200818094343918s.pdf
[12]HYBE（2026）HYBE JAPAN、2025年決算を発表
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000647.000045862.html
[13]経済産業省（2025）「推し活」が消費活性化の鍵となるか？ライブ・エンタメ市場の盛り上がりをみる
https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20251126hitokoto.html
[14]加 藤 里 美　加 藤 瑠 玖　(2022)　K-POPの人気の要因を探るー 日韓の若者の意識比較も含めてー

http://repository.aitech.ac.jp/dspace/bitstream/11133/4071/3/%E7%B5%8C%E5%96%B6%E6%83%85%E5%A0%B1%E7%A7%91%E5%AD%A6%E8%AA%8C%E7%AC%AC17%E5%B7%BB%E7%AC%AC1%E5%8F%B7%28p46-p63%29.pdf
[15] 本田一晟（2023）なぜ K－POP は日本で受け入れられるのか 。
https://kanazawa-u.repo.nii.ac.jp/record/62889/files/AA1271664X-18_65-87.pdf
[16]大貫 紫温　牛尼 剛聡（2021) サブスクリプションサービスにおける音楽体験価値を向上させるインタフェースhttps://proceedings-of-deim.github.io/DEIM2022/papers/K41-3.pdf
[17]ぴあ総研（2019）ライブ・エンタテインメント参加者の年間チケット費＋グッズ購入費は 8 万円超！～「ライブグッズ」に関する調査結果を発表～
https://corporate.pia.jp/news/files/201905%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%96%E3%82%B0%E3%83%83%E3%82%BA%E3%81%AE%E8%B3%BC%E5%85%A5%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%B5%90%E6%9E%9C_%E3%81%B4%E3%81%82%E7%B7%8F%E7%A0%94%E8%AA%BF%E3%81%B9.pdf
[18]ぴあ総研（2025）調査結果一覧　集客ライブ・エンタテインメント市場データ2026年2月
https://corporate.pia.jp/csr/pia-soken/result/index.html?utm_source=chatgpt.com
[19]
[20]STARTO ENTERTAINMENT（2025）【snowman東京ドームツアー2025-2026】2026年2月
https://ticketjam.jp/magazine/music/johnnys/127095
[21]旅色編集部 なかやま（2025）東京ドームの座席攻略！ゲート・アリーナ・スタンドからの見え方を調査！　2026年2月
https://tabiiro.jp/higaeri/article/ - /
[22]ぴあ総研（2025）ライブ・エンタテインメント参加者の年間チケット費＋グッズ購入費は 8 万円超！～「ライブグッズ」に関する調査結果を発表～　2026年2月
https://corporate.pia.jp/news/files/201905%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%96%E3%82%B0%E3%83%83%E3%82%BA%E3%81%AE%E8%B3%BC%E5%85%A5%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E7%B5%90%E6%9E%9C_%E3%81%B4%E3%81%82%E7%B7%8F%E7%A0%94%E8%AA%BF%E3%81%B9.pdf
[23]株式会社Relic（2023）初めてのライブ開催！開催までの方法や費用を抑えておこう！　2026年2月
https://relic.co.jp/battery/cf/5695#:~:text=%E3%81%9F%E3%81%A8%E3%81%88%E3%81%B0%E3%80%81%E6%97%A5%E7%94%A3%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%83%A0%E3%81%A7%E3%81%AF144,%E5%86%86%E3%81%BB%E3%81%A9%E3%81%8B%E3%81%8B%E3%82%8B%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82

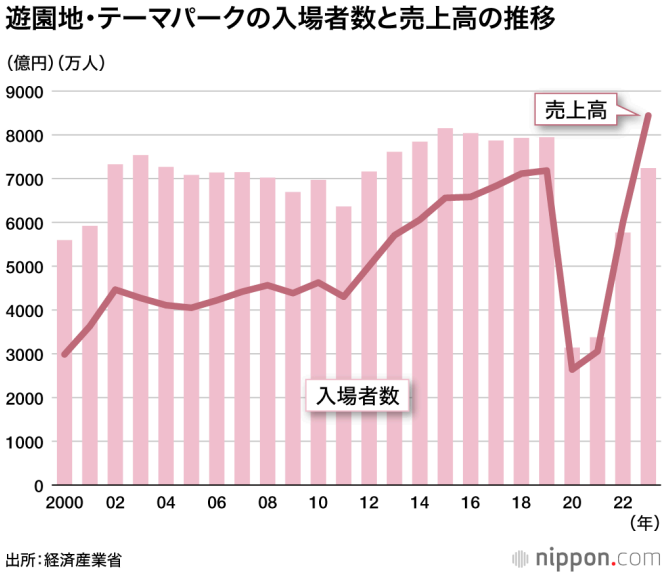
# 見た目やテーマからジェットコースターの持続可能性を考える

**Considering the Sustainability of Roller Coasters Based on Appearance and Theme**

## 1.研究背景

近年では、全国各地の様々な方々が遊園地を訪問し、楽しんでいる。又、昨年の2025年度の7月25日には沖縄でもジャングリア沖縄という遊園地がオープンしたり（阪急交通社）、それと呼応するかのように、サウジアラビアが新しい産業として遊園地が開発されるように、遊園地業界は、入場者数や売上高が盛り上がりを見せている図1（nippon.com）。しかしながらその一方、一部の遊園地は衰退し、廃業などもされてしまうが、その一方で遊園地は新たなる産業として、より一層盛り上がりを見せている。それらの遊園地にはどういった相違点が存在し、特徴が存在するのかを明確にしていこうとする。

図1




パンデミック以降から市場成長をし続けている遊園地の中でも、今回は目玉アトラクションや遊園地の顔の一つとも言えるジェットコースターの印象、仕組み、心理的理由で着目して行きたい。

## 2.研究目的・意義

本研究では以下の点を明確にすることを目的にした。

1. 人気ジェットコースターの特徴
2. 人々がジェットコースターに対してどのような印象（感情）をい抱いているのか
3. 好きな人と嫌いな人の差
4. 今後のジェットコースターの在り方

これらにより今後の遊園地の市場の発展する条件を考察する。

## 3.研究方法

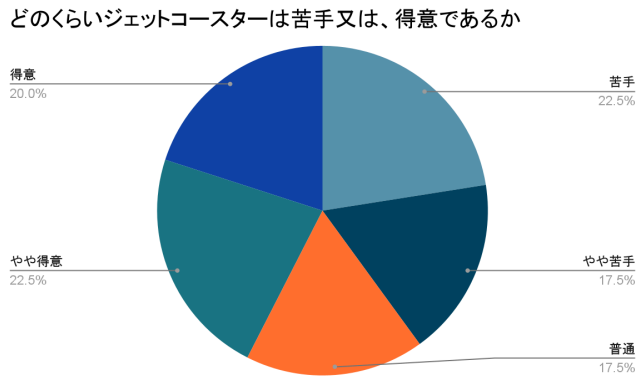
本研究では、以下に控えている方法を用いて研究した。

**1.**（文献調査）：人気テーマパークの公式サイト、ランキングサイト、人気ジェットコースターの乗車動画、様々な文を参考にし、情報を収集した。

**2.**インタビュー：新潟県立国際情報高等学校33期生にアンケートをとってもらい、それをまとめてみた。

# 4.結果

試しに33期生40人から意見をとってみた所このようであった。




と全体的にバランスよく分布していた。だが、全体の内訳としては、得意な人の方に寄っているといったところか。調査した方々の意見を見たところ、どちら側の意見でも「浮遊感」や「速さ」「高さ」と「ジェットコースターそのものが楽しい・怖い」というのが大半の意見として占めていた。しかしながらその一方、苦手な人の意見では、主な4つの理由に加えて、それらの意見の延長線上で、「死を感じる」「体に悪い」などが含まれており、ジェットコースターが得意、不得意な人達にには紙一重な印象や経験があるのでしょう。

人気ジェットコースターを作るにあたって、この意見を全体的にバランスよくまとめる必要がありそうだ。

次の着眼点として、印象的な遊園地とそこでのアトラクションをうかがってみたところ。その結果、USJ（ユニバーサル・スタジオ・オブ・ジャパン）とディズニーランド・シーが大半であった。両方の遊園地は、雰囲気やお客様へ思い出を提供する理念に重きを置いている遊園地だ。加えて、アトラクションでも、それらの遊園地の目玉アトラクションである、USJのフライング・ダイナソー、ハリウッド・ドリーム・ザ・ライドや、ハリー・ポッターのアトラクションや、ディズニーのスプラッシュ・マウンテンなどのアトラクションが大部分を占めていた。これらに共通することは、視覚的演出、レイアウト、テーマ（モチーフ）を売りにしているアトラクションであった。そして、調査結果でも、乗って

みたいアトラクションとしても、視覚的情報による意見が多かった。例えば、CGによるもの、景色が変化するもの等

なのでそれを確かめるべく、マニアたちによるランキング(Captain Coaster) を拝見したところ、トップ10までのジェットコースターでは、圧倒的スペックに加え、印象的なレイアウトや一環としたテーマがあった。以下の表がトップ10である。

1. サウジアラビア、ファルコンズ・フライト、シックスフラッグス・キディヤ
2. アメリカ、スティール・ヴェンジェンス、シダー・ポイント
3. アメリカ、アイアン・グワジ、ブッシュ・ガーデン・タンパベイ
4. アメリカ、ヴェロキコースター、ユニバーサルアイランド・オブ・アドベンチャー
5. ポーランド、ザドラ、エナジーランディア
6. ベルギー、ライド・トゥ・ハピネス、プロプザランド
7. 日本、ええじゃないか、富士急ハイランド
8. 日本、白鯨、長島スパーランド
9. アメリカ、エアリー・フォース・ワン、ファンスポット・アメリカ・アトランタ
10. フィンランド、タイガ、リンナンマキ遊園地

以上の結果から読み取れることには、いずれにせよ、どの遊園地もテーマや雰囲気が特徴的なジェットコースターだ。例えば、人気作品や神話のキャラクターが元ネタ、みんなが知ってるような動物などが元ネタであったのが大部分を占めていた。

人気ジェットコースターの要素の一つとしての印象、雰囲気などが判明したので、仕組みを知ってみよう。

仕組みの一つとして、発射方法が挙げられる。チェーンによって、高くまで巻き上げられ、位置エネルギーを蓄えたのを下り坂で運動エネルギーに変換して動かしている(日本機械学会誌)。ましてゆっくりと高くまで持ち上げて一気に下ろすのは、非常にエネルギー効率が良いとのこと(EMIRA)。しかし近年の新しいスタイルで、カタパルト発車式というものも乱立した。従来のチェーンで高いところまで巻き上げておろすのより、短時間で運動エネルギーに変換させる必要がある。howstuffworks? 曰く、大まかに2種類あって、 リニアモーター式と回転するタイヤを使い発進されるとのこと。第一に、リニアモーター式では、電磁石を用いてレールと列車底にある磁石が互いに引き合う二つの磁場を形成し、電動機が軌道上の磁場を移動させ、列車を高速で後方へ牽引する。もう一方では、数十個の回転するタイヤを用いて列車を発進させるものです。ホイールはレールにに沿って隣接する2列に配置され、列車の底部（または上部）を挟み込むようにして前方に押し出します。これらが主なカタパルト式、発車システムである。発車方法以外にも特徴があり、レイアウトでもある。回転と言っても様々な名称や形状があり、三重県志摩スペイン村の人気アトラクションの一つでもある、「インバーテッドコースター ピレネー」、USJの「フライング・ダイナソー」等がこれにあたる。これ等のジェットコースターは、従来のと違い頭上のレールに沿って進むのである、いわば搭乗者が宙づりになって走るコースターだ。それらのような変わり種ともいえるジェットコースターが近年人気になりつつある。

次のポイントとして、搭乗者の心理的状況についても考察していきたい。前のグラフにもあったように、苦手な人の印象としても怖いなど分負の感情を抱いている者も多かった。ケンブリッ

ジ大学曰く、ジェットコースターの様な危険な経験を犯すとき、脳内には神経物質の一つであるドーパミンが放出され快楽だと感じる、そして又ドーパミンは報酬として働く、よって、一部の人が回答した、好きな理由として「スリルを感じる」といった理由があったが、それは、ジェットコースターに乗った時に放出されたドーパミン影響であろう。かつ、ジェットコースターを乗った時に楽しむ傾向がある人の方がドーパミンの放出が多いとのこと。

よって、人気ジェットコースターには、様々な要因がバランスよく噛み合い出来上がっていると言えるだろう。

# 結論及び今後の展開

本研究のアンケート結果や文献を通してジェットコースターの持続可能性を検討した。その結果、ジェットコースターは数多くの物理法則に従い動くことや、より一層発展を遂げ、開発され続けていたり、脳内に放出される物質などで好き好みが分かれる事が判明した。人気ジェットコースター、特定のテーマパークの目玉アトラクションでは、スリルやレイアウト等を巧くバランスをとり作られたのである。

# 参考文献


1. EMIRA by TEPCO（2018）「実は超省エネマシン！ジェットコースターが秘めたポテンシャル　ジェットコースターの位置エネルギーに学ぶ省エネ移動の未来」https://emira-t.jp/special/7154/（2026年1月）
2. Harris.T&Threewitt.C. 2007, How RollerCoaster Work. How Stuff Works https://science.howstuffworks.com/engineering/structural/roller-coaster.htm
3. Michael. Allen. 2021, Physics World, https://physicsworld.com/a/twists-turns-thrills-and-spills-the-physics-of-rollercoasters/
4. Richard, Stephen. 2018, Scientific American, https://www.scientificamerican.com/article/the-psychology-of-roller-_coasters/
5. SixFlags, 2025, https://www.sixflags.com/blog/how-to-get-over-your-fear-of-roller-coasters
6. University of Cambridge, 2016, https://www.cam.ac.uk/research/news/opinion-why-danger-is-exciting-but-only-to-some-people#:~:text=Many%2C%20but%20not%20all%2C%20studies,are%20feeling%20down%20or%20stressed.
7. Joseph Pine, James Gilmore, 1998, Harvard Business Review, https://hbr.org/1998/07/welcome-to-the-experience-economy
8. Neuroscience News, 2016, https://neurosciencenews.com/danger-excitement-neuroscience-4974/
9. Captain Coaster, 2026, https://captaincoaster.com/en/ranking/
10. SixFlags, 2019, https://www.sixflags.com/

# 農業の持続可能性

## 研究背景

近年、農業の持続可能性は世界的に重要な研究課題となっている。その背景には、気候変動の進行、人口増加、資源制約の深刻化、そして農村社会の衰退といった複合的な問題がある。たとえば、国連の推計によると2015年の世界の人口（年央推計）は73億人で、2010年から2015年まで年率1.2パーセントの増加であった。2030年までに世界の人口は85億人に達し、2050年には97億人に増加するものと予測されている。（国際連合広報センター）安定的な食料供給体制の確立は喫緊の課題である。一方で、農業生産の拡大は森林破壊や水資源の枯渇、土壌劣化、生物多様性の損失を招く可能性があり、環境負荷の低減と生産性向上を両立させる必要がある。また、化学肥料や農薬への過度な依存は、土壌や水質の悪化を引き起こし、長期的な農地の生産力を低下させる要因となっている。こうした課題に対応するため、環境保全型農業や有機農業、スマート農業などの新たな取り組みが注目されている。特にICTやAIを活用した精密農業は、必要な量だけ肥料や水を供給することで資源利用効率を高め、環境負荷の軽減に貢献すると期待されている。

さらに、日本においては少子高齢化の進行により農業従事者の減少と高齢化が深刻化している。農林水産省の統計によれば、基幹的農業従事者の平均年齢は年々上昇しており、担い手不足が地域農業の存続を脅かしている。このような社会的課題に対しても、労働負担を軽減する技術革新や新規就農者支援策の充実が求められている。

国際的には、国際連合が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の中でも「飢餓をゼロに」や「つくる責任 つかう責任」など、農業と密接に関連する目標が設定されている。農業の持続可能性は、単に食料生産の問題にとどまらず、環境保全、地域経済の活性化、社会的公正の実現といった多面的な意義を持つ。したがって、環境・経済・社会の三側面を統合的に捉えた研究が不可欠であり、地域特性に応じた実践的なモデルの構築が今後の重要な課題となっている。

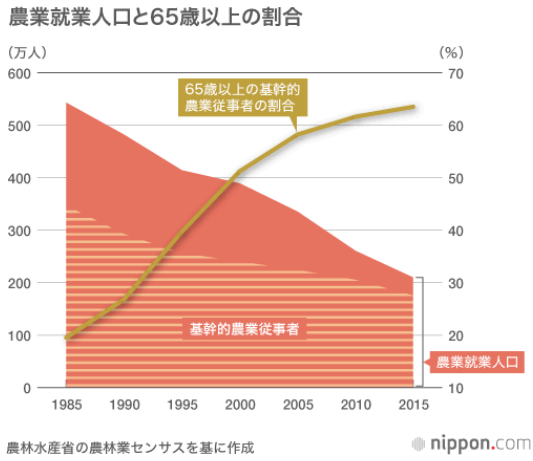



図1農業就業人口と65歳以上の割合

図1 出典　nippon.com　(2018)農業人口と65歳以上の割合
https://www.nippon.com/ja/features/h00227/ 2026/02/17

# 予想

これからの農業の持続可能性は、環境保全、経済的持続性、社会的責任にかかっている。地球温暖化で気温が上がったり、大雨や干ばつが増えたりすると、作物が育ちにくくなる可能性がある。しかし、機械やAIを使った新しい農業の方法が広がれば、少ない人手でも効率よく作れるようになるだろう。また、地元でとれたものを地元で消費する取り組みが進めば、輸送による環境負担も減らせる。これからは、環境と農家の生活の両方を大切にする工夫がますます必要になると考える。

# 調査方法

農業の持続可能性を調べるために、インターネットを利用して国際連合や論文を調べる。

# 考察・結果

まず、最初に環境保全について考えていきたい。環境保全の例として以下の事が挙げられる。

・土壌の劣化を防ぎ、健康な土壌を維持する。
・水資源を効率的に利用し、汚染を防止する。
・生物多様性を保護する。
・化学肥料や農薬の使用を削減、または有機農法を導入する。1)Smart Agri Solution(2025)

実際の佐渡での環境保全型の農業について見ていく。佐渡では朱鷺認証制度と呼ばれるシステムがある。佐渡市（2021）によると「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度は、安全でおいしい佐渡米を認証する制度だ。農薬や化学肥料を減らし、「生きものを育む農法」で栽培されたお米を対象としている。

朱鷺認証制度がもたらした最大の成果は以上のような特徴(要因)によって環境保全型稲作の取組みの 普及を強く促したことである。認証面積=環境保全型稲作取組面積は 2008 年度 以降急激かつ飛躍的に拡大した。その広範性・迅速性 は、佐渡と同様に水田における野生鳥類保護の取組み が展開する他地域と比較すれば明白である。桑原 考史(2015)

竹内（1994）によると、現在の都市は水の浪費や水質汚染によって発展の限界に直面している。そのため、適切な負担や規制を設け、都市の産業発展が土地や水の汚染を代償として成り立つことのないようにすべきであると指摘している。また、農業生産や農村への水供給の在り方についても重要である。農業は食料を生産するだけでなく、節水を進め、限られた水資源を他の目的にも回せるようにしなければならない。そのためには、節水を促す技術の開発や制度などの誘導策が大切であるとしている。

荒幡克己（1993）は、持続可能性を考える際には、まずある特定の生産水準を設定し、それを長期的に維持できるかどうかを前提として検討する必要があると述べている。そして、その生産水準を安定して保つことが可能かどうかによって、当該システムの持続可能性の可否を論じることができるとしている。

佐藤正衛・南石晃明・亀屋隆志（2011）は、化学合成農薬の使用を削減し、環境負荷を低減するためには、複数の段階での取り組みが必要であると指摘している。具体的には、農薬の選定、使用する技術体系の選択、さらには作付体系の転換といった多段階の場面において、農業生産者が相対的に環境負荷の少ない選択肢を選べるようにすることが重要であると述べている。

西村武司・松下京平・藤栄剛（2012）は、生物多様性に配慮した水田農業の普及要因について分析している。まず、この農業によって生産された農産物に対して高水準の価格プレミアムが実現すれば、より多くの農家が当該農業に取り組むようになることを示している。具体的には、現状で約132%の価格プレミアムを281%に高めることで、取組農家率は56.4%から80.0%へと上昇

することが明らかになった。第一に、当該農業に関する情報を消費者へ提供することは、農産物の需要拡大につながる。本稿では、消費者に対して当該農業の取組内容を周知することが、当該農業によって生産された農産物に対する購買確率を高めることが示された。さらに第二に、自治会行事への参加を促進し、集落内の人間関係を豊かにすることも重要である。こうした取組は、当該農業に取り組む農家の現状や社会的背景に関する情報の伝達を通じて、消費者の購買意志を強める効果を持つとされる。以上のことから、社会関係資本は当該農業の展開に寄与しうることが示唆されている。

次に経済的持続性について考えていきたい経済的持続性の例として以下の事が挙げられる。

経済的持続性
農業経営の収益性を確保し、農家が経済的に安定した生活を送れるよう支援する。
地域経済を活性化し、地域全体の経済基盤を強化する。

農林水産省（2024a）によると、農業の担い手不足や高齢化が深刻化する中で、農業現場では従来のような農業者同士の互助を目的とした地域内での農作業の受委託が次第に困難になりつつあると指摘している。その一方で、ドローンやICTなどの先端技術を活用し、新たなビジネスとして農業者を多方面から支援する「農業支援サービス」が登場している。政府は、こうしたサービスの育成・創出を推進することで、農業現場の課題解決を図ろうとしている。

図2

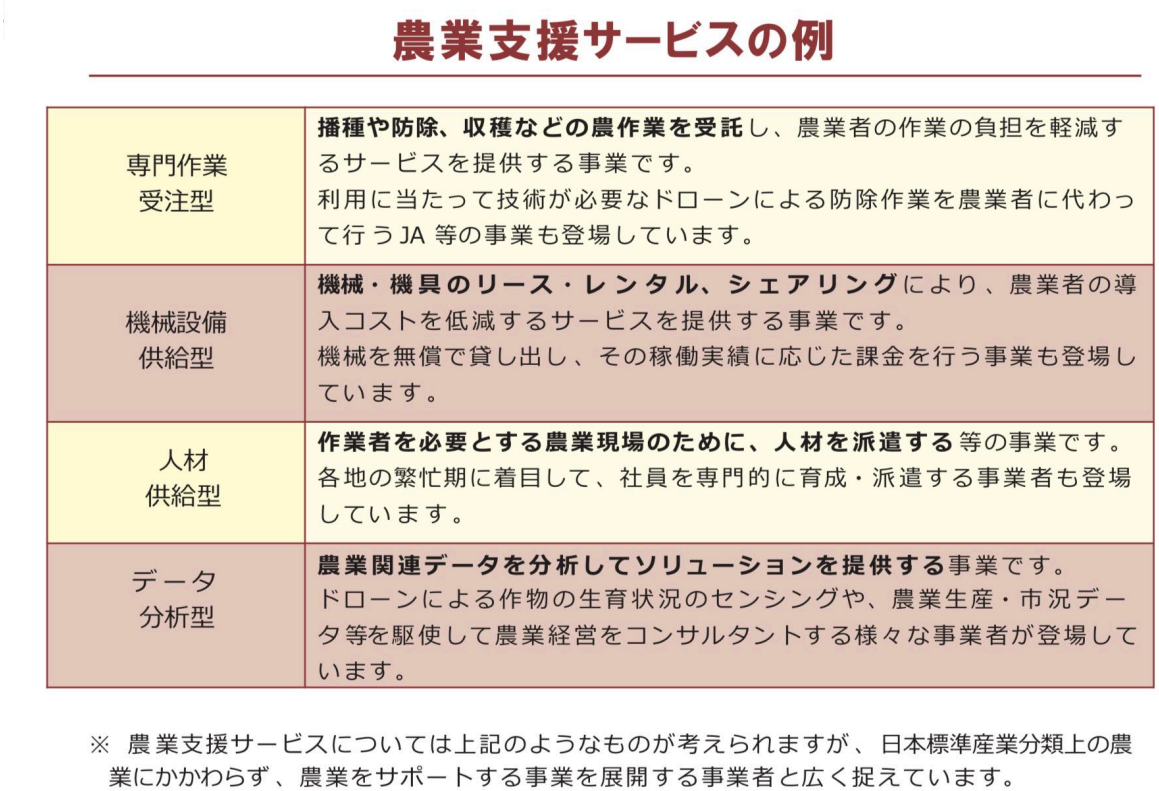



図2 出典　農林水産省（2024）　農業支援サービス関連施策パンフレット（ver5. 0）

日本総研（2009）は、持続的な農業の在り方について、従来の成功モデルを再検討する必要性を指摘している。これまで、アメリカのように広大な農地で機械や資源を多用し、一戸当たりの収益性を追求する大規模農業が代表的な成功モデルとされてきた。しかし、持続的な農業を構築するためには、農業

の効率性の概念そのものを見直すことが求められる。単純化すれば、大規模農業は農家一人当たりの収入を重視し、ヨーロッパ農業は単位農地面積当たりの収穫量を重視し、アジア農業は収穫量当たりの資源・エネルギー投入量を重視してきたと整理できる。ところが、土地制約の顕在化や資源価格の高騰は、大規模農業の成功要因を揺るがす可能性がある。そのため、規模の適正化や輪作によって高い単収を実現してきたヨーロッパ農業の特徴や、資源循環や生態系を活かして環境に配慮した農業を営んできたアジアの伝統農業の長所を、改めて再認識すべきであると述べている。

大江靖雄（2008）は、持続的な経済活動として市場が成立する条件を評価するために、労働の生産弾力性および地域資源を活用した内発的資源利用の革新効果について計測を行った。その結果、常勤・非常勤のいずれにおいても統計的に有意な結果が得られたのは、保健休養機能に関連する直販、宿泊、飲食の三大活動であった。これらの活動は、地域に対して一定の雇用創出効果を有しているといえる。一方で、教育機能に関わる体験活動については、地域社会に対して外部性を有しているものの、経済的に十分自立した活動であるとは言いがたいことが示された。このように、地域資源を活用した活動の中でも、雇用や経済的自立性の面で成果に差があることが明らかになった。

社会的責任
農業従事者や労働者の権利と安全を確保する。
地域社会と調和し、共生する仕組みを構築する。

社会情勢の変化に応じて、農業分野では関連する法改正や新たな立法が繰り返されている。例えば、2020年には和牛などの家畜遺伝資源を知的財産として保護することを目的に「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律」が成立し、一定の遺伝資源が知的財産権として明確に位置づけられた。このように、多様な知的財産権を効果的に活用して他の事業者の農産品との差別化を図り、市場における独自性を確保することは、農業経営において自らの農産品の価値を高め、収益力の向上につなげる重要な手段である。（SMART AGRI, 2021）さらに、農業の持続的発展のためには、地域社会との調和や共生の仕組みづくりも欠かせない。その具体例として、上越市の取組が挙げられる。上越市では、県や庁内関係部署、上越市農村地域生活アドバイザー連絡会、上越生活改善グループ連絡会などと連携し、新規就農者を対象とした就農イベントに参加している。これにより、上越市の魅力ある農業を発信するとともに、農業大学校等を訪問して新規就農に関する制度の周知を行い、新規就農者の確保を図っている。（新潟県上越市, 2025）

このように、法制度の整備による農産物の付加価値向上と、地域ぐるみでの人材確保の取組は、持続可能な農業の実現に向けた重要な柱となった。

取組内容
＜令和7年度の取組内容＞
上越市担い手育成総合支援協議会と連携し、協議会内に設置している経営継承コーディネーターと共に、新規就農者を対象とした就農イベントへ出展し、新規就農PRパンフレットを活用して、当市での就農へ勧誘する。市農業ポータルサイトに新規就農者の確保に向けた「おためし農業体験」「市の農業施策」、「子育てやくらし」などの情報を掲載する。スマート農業技術を身近に感じてもらうため、「見て・触れられる」実演体験会を開催するとともに、スマート農業の実証結果に基づく効果や国・県の補助事業を紹介し、スマート農業の普及を推進する。スマート農業の実演見学会を実施する。国や県等の補助制度を活用し、スマート農業機械の導入を支援する。スマート農業の更なる普及に向け、先端技術により農作業の負担軽減を図るドローンの導入と飛行技術の習得を支援する。 新潟県上越市（2025）

農林水産省（2024b）は、雇用就農者の確保および育成を推進するための施策を講じている。具体的には、就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付し、人材の受け入れを支援している。さらに、農業法人等が自らの職員を次世代の経営者として育成できるよう、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して行う研修についても支援を行っている。

# 結論

持続可能な農業の実現に向けて、国や地方自治体が一体となって取り組んでいることが分かった。たとえば、農林水産省は環境に配慮した農業の推進や、スマート農業の普及支援などの政策を進めている。また、各地の自治体でも地産地消の推進や新規就農者への補助制度を整え、地域全体で農業を支える体制づくりが行われている。このように、行政が中心となって支援を続けていることは、持続可能な農業を進めるうえで大きな力になると感じた。さらに、これから高齢化が進み、農業の担い手不足が深刻になると考えられるが、AIやロボット、無人トラクターなどの技術が発達すれば、人手不足の問題は少しずつ解消されていく。作業の自動化が進めば、高齢の農家でも負担を減らしながら農業を続けることができる。また、若い世代も新しい技術に魅力を感じて農業に関わる可能性が高まるだろう。これらのことから、私は環境への配慮と技術の進歩、そして国や地域の協力があれば、持続的な農業はこれからも十分に実現できると確信している。今後も多くの人が協力し合いながら、未来につながる農業を築いていくことが大切だ。

# 参考文献


Smart Agri Solution(2025)持続的な農業とはhttps://agri.fjtex.co.jp/colmun/jizoku_kanou 2026/02/17

nippon.com (2018)農業人口と65歳以上の割合https://www.nippon.com/ja/features/h00227/ 2026/02/17

佐渡市（2021）「朱鷺と暮らす郷づくり」認証制度のご案内 https://www.city.sado.niigata.jp/site/giahs/4573.html 2026/02/17

桑原 考史 （2015）佐渡における環境保全型農業の到達点と課題 J STAGE 46(2) 8-19

荒幡 克己 (1993) 農業における持続可能性の概念規定とその農法史解釈への適用 J-STAGE65(1)1-11

佐藤 正衛, 南石 晃明, 亀屋 隆志(2011)農薬使用に関する環境指標間の関連性分析J-STAGE24(1)35-48

竹内 邦良 (1994）持続的開発と水資源J-STAGE7(5) 463-442

西村 武司 松下 京平 藤栄 剛(2012) 生物多様性に配慮した水田農業の経済的成立条件 J-STAGE31(3)514-520

日本総研(2009)特集 環境制約下での新しい経済・社会 持続可能性に立脚した日本農業の再構築 https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=9190 2026/02/17

大江 靖雄（2008） 多角的資源利用と農村経済の持続性J-STAGE43（4）345-354

SMART AGRI （2021）農作業に「知的財産権」があるってどういうこと？ 営農技術を保護する方法【連載・農家が知っておきたい「知的財産」のハナシ vol.1 https://smartagri-jp.com/management/2316 2026/02/18

国際連合広報センター（2014）人口と開発 https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/social_development/population/ 2026/02/18

新潟県上越市（2025）令和7年度上越市食料・農業・農村アクションプラン https://www.city.joetsu.niigata.jp/uploaded/attachment/269217.pdf 2026/02/18

農林水産省（2024a）農業支援サービス関連パンフレット（ver5. 0）

農林水産省（2024b) 雇用就農資金 https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/shikin.html 2026/02/17

# フェイクニュースの持続可能性

・研究背景

近年、技術の進歩により生成AIはさまざまな分野で利用されるようになっている。その結果、利便性が高まる一方で、いくつかの問題も生じている。例えば、肖像権の侵害、フェイク動画（画像）の拡散、レポートの代筆などが挙げられる。

実際に、内閣官房の記録によると、生成AIで作成された画像を用いて「X国で発生した自然災害は、同国による気象兵器の実験が原因である」とする投稿がSNS上で拡散した事例が報告されている。

また、国際情報高校令和7年度2年生を対象にAIの活用について調査（図1）を行ったところ、「よくある」または「たまにある」と回答した人は64.8%にのぼり、半数以上の生徒が作文にAIを利用していることが分かった。さらに、「実際にAIを用いた課題は何か」という質問では、AIを使用したことがある64.8%のうち、42.9%が評価に関わる課題にもAIを使用していたことが明らかになった。

このように、AIの作文能力や写真を作る能力は、素人が扱っても十分な精度で文章を作成できるほどであり、今後もフェイクニュースの存在は人類に混乱を引き起こすと考えられる。

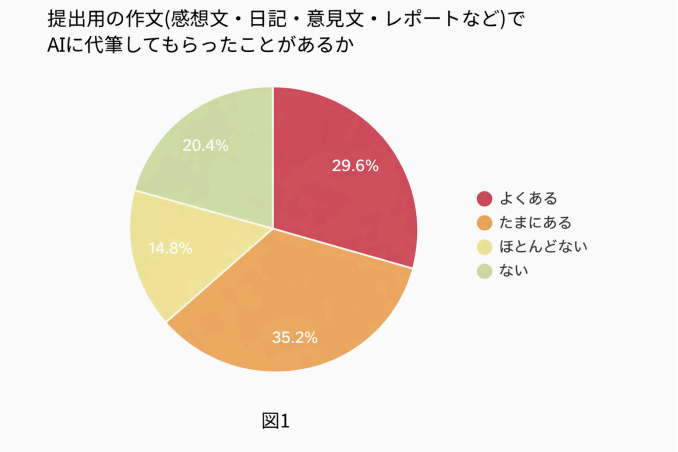



図1

・研究意義

日本の今の現状を踏まえ、人間のAIに作られたものに対してどれほど敏感であるかを調べ、フェイクニュースへの対策の必要性とその方法を考える。

生成AIは、LLM（大規模言語モデル）を用いて文章を生成している。そのため、LLM通りの文字列と一致している割合から、その文章が生成AIによって作られたものかどうかを判別できる可能性がある。

また、この判別機能を情報の発信者と受信者の間に導入することで、誤情報や偽情報が拡散する前に検出できると考えられる。

そこで本研究では、実際に利用されているAIチェッカー（文章が「AIによって作られたもの」か「人間によって作られたもの」かを判別するツール）を使用し、その判定の正確性について検証する。

LLM(大規模言語モデル): 大量の文章データを学習し、文の流れや言葉の使い方の規則を統計的に理解するAIの仕組みである。このモデルは、「次にどの単語が来やすいか」を計算しながら文章を作ることで、人間が書いたような自然な文章を生成できる。

・研究方法

○実験1
ChatGPTでフェイクニュース(写真、本文、題名)を作る
→3つのフェイクニュースと本物のニュース2つを混ぜ、人間とAI (ChatGPT)に見せ判別可能か調べる
このとき、「フェイクニュースを作るChatGPT」と「実験対象とするChatGPT」は完全に区別する。

○実験2
人間とAIで文章(100字×4 200字×3 300字×3 400字×2)を作る。
人間3人(国際情報高校令和7年度2年生　十分な作文能力があると見なせる)と生成AI3種類(ChatGPT、Gemini、Copilot)を用いる。

これら72本の文章をランダムでAIチェッカーに入力し判別できるかを調べる。
AIチェッカーには、生成AIチェッカー、GPTzero、Neural Writerを用いる
また、人間に対しても同様に行う。
→人間とAIどちらがより、AIの文章を見極められるか調べる

機能の限度上、GPTzeroについては、300字以上にのみ用いる。

・仮説
実験1について
ChatGPTは膨大な情報量を持つため、ニュースの真偽については過不足なくフェイクニュースを選べると考える。
実験2について
本研究では、文章の作成者が人間かAIかを判別する能力について、AIの方が人間よりも高いという仮説を立てる。その根拠は、本研究の意義で示したように、AIは膨大な学習データに基づき、文章の特徴を客観的に分析できる点にある。また、文字数が増えるごとによりせい正確な判定を示せるのではないかと考える。

・結果
○実験1について
5枚のニュースについて7人の人に実験を行ったところ60%正しく判断できていた。また、フェイクニュースを本物と答えたのは11%であった。

ChatGPTはフェイクニュース1枚を正しく判断し、それ以外は本物であるとした。

○実験2について
3つのAIチェッカーの答え方が「○○% (AI or 人間)である」という形式であったため、人間にも同じような答え方で実験を行った。また、ここで使う点数は次のように計算する。
「AI or 人間」が当たっているとき→○○
「AI or 人間」が外れているとき→(100-○○)
例)AIの文章について、
「80%AIである」と答えたとき→80
「60%人間である」と答えたとき→40

図2は、人間とそれぞれのAIチェッカーの文字数ごとの平均得点推移

人間、生成AIチェッカー、Neural Writerについてはほぼ同じ値であり、多い文字数では人間が劣っている。また、ChatGPTzeroに関しては30本全てを100%完璧に判別した。

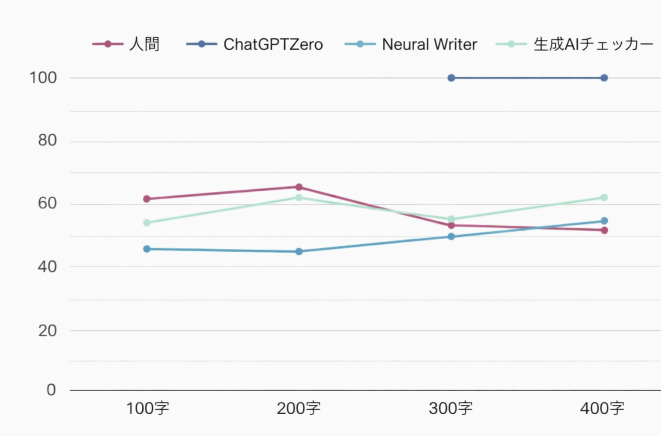
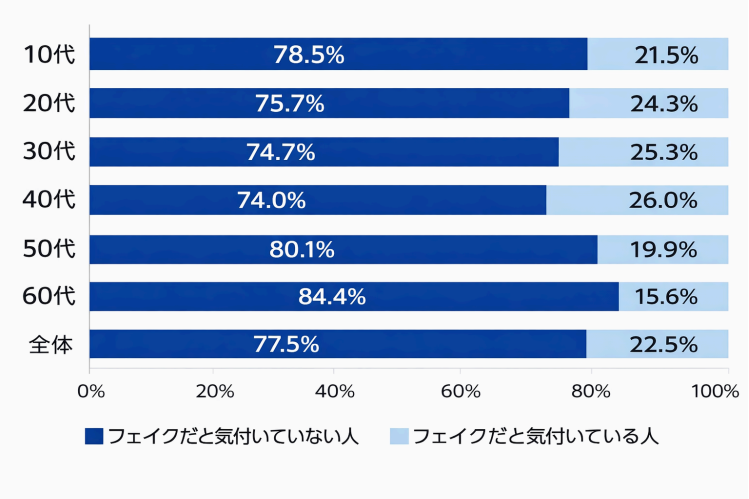



図2

・考察
実験1については、仮説の「ChatGPTは膨大な情報量を持つため、ニュースの真偽については過不足なくフェイクニュースを選べると考える。」それに対し、確かに人間よりも正解率は高かったが完全に判別することはできなかった。だが、判別できたフェイクニュースは本文に含まれる地名が架空のものであったため、ChatGPTの情報量という強みが活かされた結果であった。人間については、フェイクニュースを本物と答えたのは11%であったが一度もフェイクニュースを本物と答えなかった人を考えると7人中3人と完璧に惑わされなかった人は半分以下であった。さらに、図3のグラフ(山口真一　東京くらしねっと)によると10代～60代どの世代であっても、7.5割程度の人はフェイクであることに気付けないという結果がでている。これは、フェイクニュースを偽物と認識できる人の割合は高くないことを裏付けている。
また、この研究の直後にどこに注目したかと聞くと7人中5人は画像と答えた。つまり、フェイクニュースに惑わされるか否かは人間については写真の精度が大きく関わっていると考えられる。

図3




実験2については、ChatGPTzeroを除いてはほとんど同じ値となったが、AIチェッカーについては少しの増加傾向が見られた。また実際、仮説で考えた方法を用いても判別の精度は50%程度であり仮説とは相反する結果となった。考えられる理由としては、文字の量が考えられる。さらに文字数を多くすると仮説のようにより高い精度で判別できるのではないかと考える。
また、ChatGPTzeroが驚異的な結果を出したことについては、さらにChatGPTzeroについて調べていくことでフェイクニュースなどの偽情報を検出する機能を完成させるきっかけになると考える。

・今後の展望

今回用いたAIチェッカーは文章を対象としたもののみであった。しかし実際、フェイクニュースが話題となった事例では画像や動画が人を惑わす原因となることが多いと分かる(内閣官房の記録と本研究の結果より)。そこで、画像や動画についても人とAI認識の違いを調べていきたい。また、ChatGPTzeroの仕組みを応用した偽情報を検出する機能の可能性についても考えていきたい。

・謝辞

本研究において、アンケートにご協力いただいた皆様に感謝いたします。また、本研究の実施にあたり、より直接的に協力してくださった皆様にも、心より感謝申し上げます。

・参考文献

1内閣官房 「外国による偽情報の事例」.
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/nisejouhou_portal/jirei.html 2026年2月10日

2杉崎 光一　阿部 雅人　全 邦釘(2023).「大規模言語モデルの専門領域への適用に関する検討」. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsceiii/4/3/4_474/_pdf/-char/ja 2026年月24日.

3中橋 雄　水越 敏行(2003).「メディア・リテラシーの構成要素と実践事例分析 」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jmet/27/suppl/27_KJ00003905718/_pdf/-char/ja 2026年1月24日.

4耳塚 佳代(2020).『「フェイクニュース」時代におけるメディアリテラシー教育のあり方』
https://www.ssi.or.jp/journal/pdf/Vol8No3_3.pdf 2026年1月24日.

5仁谷 安里　鑓分 花梨　山本 皓太　町田 比奈子　須藤 修 「GPT-4と人間の生成した文章の読者認識の違い—因子分析による信頼性評価—」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/ssiproceedings/2023/0/2023_120/_pdf 2026年1月24日.

6九州大学 数理・データサイエンス教育研究センター(2024) .「生成AI」.
https://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/pdf/GenAI.pdf 2026年1月24日.

7美馬 のゆり(2025) .「AIの社会的影響と教育の転換」.
https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp/publication/journal/img/no25/02.pdf 2026年1月25日.

8保本 正芳(2025) .「小学校における 生成AI リテラシー教育の実践」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/rrie/6/1/6_14/_pdf/-char/ja 2026年1月25日.

9多摩大学インターゼミ DX 班(2023) .「生成 AI による社会への影響　～ 文章生成 AI：ChatGPT による実践～」
https://www.tama.ac.jp/guide/inter_seminar/2023/2023_dx.pdf#page69 2026年1月25日.

10向田 識弘(2022).「AIリテラシー教育におけるAIとの向き合い方を考える授業の検討」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/esae/5/0/5_9/_pdf/-char/ja 2026年2月3日.

11栗林樹生　大関洋平　TimothyBaldwin.(2024).「大規模言語モデルの文処理は人間らしいのか？」.https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2024/pdf_dir/E10-1.pdf 2026年2月3日.

12山口真一.(2022).「東京くらしねっと」
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/2201_02/wadai.html 2026年2月17日.

13小塚荘一郎　(2019).『AIと時代の法』.岩波新書.

14清水亮　(2023).『教養としての生成AI』.幻冬舎新書.

薬剤師の持続可能性

1、研究背景

近年、少子高齢化の進行により医療を必要とする人が増加しており、医療現場では深刻な人材不足が大きな課題となっている。そのような状況がある中で、薬剤師の数は全国的に増加傾向にある。しかし、都市部と地方の間で大きな偏りが見られ、また病院と薬局でも偏りが見られている。(図1,図2,厚生労働省,2023)。このような薬剤師不足の問題は、地域医療の維持や医療の質にも影響を及ぼす可能性がある。

こうした状況を受け、薬剤師不足の対策の一つとして、薬剤師業務の機械化が進められている。現在では、調剤業務の自動化や電子薬歴の導入など、AI やICT を活用した業務を行なっている薬局が多くあり、業務の効率化や薬剤師の負担軽減が期待されている(厚生労働省,2024)。しかしその一方、機械化が進む中で、薬剤師の仕事をどこまで機械やAI が代替できるのか、人にしかできない薬剤師の役割は何であるのかについては、十分に明らかになっていない。

さらに、薬剤師の業務は単に薬を調剤、処方するだけでなく、患者への説明や相談対応など、患者のニーズと深く関わっていると考えられる。そのため、患者のニーズを踏まえた上で、人が行う薬剤師の業務が今後も社会に必要とされ続けるのかを考えていく必要がある。

病院薬剤師偏在指標

| 全都道府県ベースの偏在指標 | 全都道府県の調整薬剤師労働時間の合計値 | 全都道府県の推計業務量の合計値 |
|---|---|---|
| 0.80 | 7467804.8 | 9338997.6 |

| 都道府県コード | 都道府県名 | 病院薬剤師偏在指標 | 調整薬剤師労働時間 | 薬剤師の推計業務量 |
|---|---|---|---|---|
| 都道府県別 | | | | |
| 26 | 京都府 | 0.95 | 182012.4 | 192289.4 |
| 36 | 徳島県 | 0.94 | 67793.5 | 71879.9 |
| 13 | 東京都 | 0.94 | 821311.7 | 872887.8 |
| 40 | 福岡県 | 0.93 | 366454.8 | 394047.5 |
| 27 | 大阪府 | 0.92 | 582116.0 | 629835.9 |
| 47 | 沖縄県 | 0.91 | 85054.5 | 93385.6 |
| 28 | 兵庫県 | 0.89 | 356617.5 | 399776.3 |
| 17 | 石川県 | 0.87 | 79155.2 | 90476.4 |
| 29 | 奈良県 | 0.86 | 84889.2 | 98895.3 |
| 1 | 北海道 | 0.86 | 385641.5 | 450441.5 |
| 43 | 熊本県 | 0.85 | 132931.0 | 156144.3 |
| 33 | 岡山県 | 0.85 | 131070.1 | 154512.8 |
| 39 | 高知県 | 0.82 | 60930.2 | 74592.0 |
| 25 | 滋賀県 | 0.81 | 72606.0 | 89188.6 |
| 34 | 広島県 | 0.81 | 182419.9 | 225150.0 |
| 14 | 神奈川県 | 0.80 | 452421.9 | 565363.5 |
| 30 | 和歌山県 | 0.80 | 63748.9 | 79754.4 |
| 12 | 千葉県 | 0.79 | 338566.1 | 431083.9 |
| 37 | 香川県 | 0.78 | 62886.3 | 80690.3 |
| 35 | 山口県 | 0.77 | 94436.3 | 122216.5 |
| 4 | 宮城県 | 0.76 | 127616.6 | 167981.4 |
| 11 | 埼玉県 | 0.76 | 355161.3 | 469032.4 |
| 23 | 愛知県 | 0.76 | 371388.3 | 490500.5 |
| 18 | 福井県 | 0.76 | 47740.8 | 63158.5 |
| 42 | 長崎県 | 0.75 | 88730.2 | 118559.6 |
| 16 | 富山県 | 0.75 | 67809.8 | 90608.6 |
| 46 | 鹿児島県 | 0.74 | 114479.4 | 153898.4 |
| 38 | 愛媛県 | 0.74 | 87864.4 | 118868.8 |
| 10 | 群馬県 | 0.74 | 112551.6 | 152555.7 |
| 20 | 長野県 | 0.73 | 123097.8 | 167492.7 |
| 31 | 鳥取県 | 0.73 | 36127.5 | 49225.6 |
| 44 | 大分県 | 0.73 | 77215.9 | 105763.1 |
| 19 | 山梨県 | 0.72 | 45914.6 | 64028.5 |
| 32 | 島根県 | 0.70 | 40168.6 | 57096.0 |
| 9 | 栃木県 | 0.69 | 100874.4 | 145189.0 |
| 21 | 岐阜県 | 0.69 | 98108.2 | 141830.3 |
| 41 | 佐賀県 | 0.69 | 50439.6 | 73059.7 |
| 15 | 新潟県 | 0.67 | 120752.2 | 179714.2 |
| 8 | 茨城県 | 0.67 | 142398.2 | 213164.7 |
| 22 | 静岡県 | 0.66 | 179019.8 | 269715.9 |
| 7 | 福島県 | 0.65 | 96778.6 | 148826.3 |
| 45 | 宮崎県 | 0.65 | 64809.7 | 99888.5 |
| 3 | 岩手県 | 0.65 | 68114.1 | 105375.2 |
| 24 | 三重県 | 0.63 | 82580.9 | 131173.1 |
| 6 | 山形県 | 0.60 | 55738.7 | 92474.0 |
| 5 | 秋田県 | 0.56 | 49455.9 | 88732.8 |
| 2 | 青森県 | 0.55 | 59804.8 | 108472.2 |

薬局薬剤師偏在指標

| 全都道府県ベースの偏在指標 | 全都道府県の調整薬剤師労働時間の合計値 | 全都道府県の推計業務量の合計値 |
|---|---|---|
| 1.08 | 23535351.0 | 21877590.9 |

| 都道府県コード | 都道府県名 | 薬局薬剤師偏在指標 | 調整薬剤師労働時間 | 薬剤師の推計業務量 |
|---|---|---|---|---|
| 都道府県別 | | | | |
| 13 | 東京都 | 1.42 | 3124766.9 | 2200768.2 |
| 14 | 神奈川県 | 1.25 | 1871356.8 | 1502254.6 |
| 34 | 広島県 | 1.19 | 591484.2 | 498667.7 |
| 28 | 兵庫県 | 1.19 | 1143149.0 | 963972.3 |
| 40 | 福岡県 | 1.17 | 1034782.4 | 881674.4 |
| 4 | 宮城県 | 1.16 | 459394.4 | 395568.7 |
| 27 | 大阪府 | 1.12 | 1687268.6 | 1502736.8 |
| 41 | 佐賀県 | 1.10 | 164380.9 | 149234.4 |
| 37 | 香川県 | 1.09 | 194886.1 | 178033.3 |
| 11 | 埼玉県 | 1.08 | 1308558.7 | 1209829.6 |
| 12 | 千葉県 | 1.07 | 1120861.3 | 1044579.3 |
| 35 | 山口県 | 1.04 | 272159.7 | 261327.0 |
| 9 | 栃木県 | 1.04 | 348688.0 | 336661.1 |
| 25 | 滋賀県 | 1.03 | 240643.1 | 233998.0 |
| 36 | 徳島県 | 1.03 | 142025.8 | 138515.6 |
| 22 | 静岡県 | 1.01 | 664016.8 | 654856.1 |
| 1 | 北海道 | 1.01 | 954723.1 | 948797.8 |
| 19 | 山梨県 | 1.01 | 151096.1 | 150309.0 |
| 23 | 愛知県 | 1.00 | 1229135.8 | 1232028.2 |
| 8 | 茨城県 | 0.99 | 500430.7 | 502956.2 |
| 31 | 鳥取県 | 0.97 | 99959.9 | 102777.4 |
| 33 | 岡山県 | 0.97 | 325189.8 | 334638.1 |
| 3 | 岩手県 | 0.97 | 224987.6 | 232780.3 |
| 5 | 秋田県 | 0.96 | 189172.0 | 196216.9 |
| 17 | 石川県 | 0.96 | 191308.4 | 199831.2 |
| 7 | 福島県 | 0.95 | 323414.2 | 339757.5 |
| 26 | 京都府 | 0.95 | 418620.4 | 440930.8 |
| 20 | 長野県 | 0.95 | 360887.4 | 380460.2 |
| 15 | 新潟県 | 0.94 | 391732.7 | 414873.0 |
| 42 | 長崎県 | 0.93 | 235572.9 | 252169.9 |
| 43 | 熊本県 | 0.93 | 298183.8 | 320770.8 |
| 39 | 高知県 | 0.93 | 127675.5 | 137365.2 |
| 32 | 島根県 | 0.93 | 119381.6 | 128912.7 |
| 38 | 愛媛県 | 0.92 | 231967.5 | 251431.3 |
| 29 | 奈良県 | 0.92 | 220878.6 | 239956.3 |
| 10 | 群馬県 | 0.92 | 315961.4 | 345134.3 |
| 21 | 岐阜県 | 0.91 | 328374.3 | 359862.9 |
| 6 | 山形県 | 0.91 | 187668.5 | 205895.6 |
| 45 | 宮崎県 | 0.91 | 182983.5 | 202054.0 |
| 47 | 沖縄県 | 0.90 | 203596.2 | 226421.7 |
| 24 | 三重県 | 0.90 | 285430.8 | 318757.7 |
| 2 | 青森県 | 0.88 | 210915.6 | 238365.8 |
| 44 | 大分県 | 0.87 | 185678.6 | 212401.4 |
| 30 | 和歌山県 | 0.87 | 155419.8 | 178032.7 |
| 46 | 鹿児島県 | 0.86 | 258307.2 | 301921.2 |
| 16 | 富山県 | 0.82 | 157867.0 | 192150.3 |
| 18 | 福井県 | 0.73 | 100407.3 | 136953.4 |

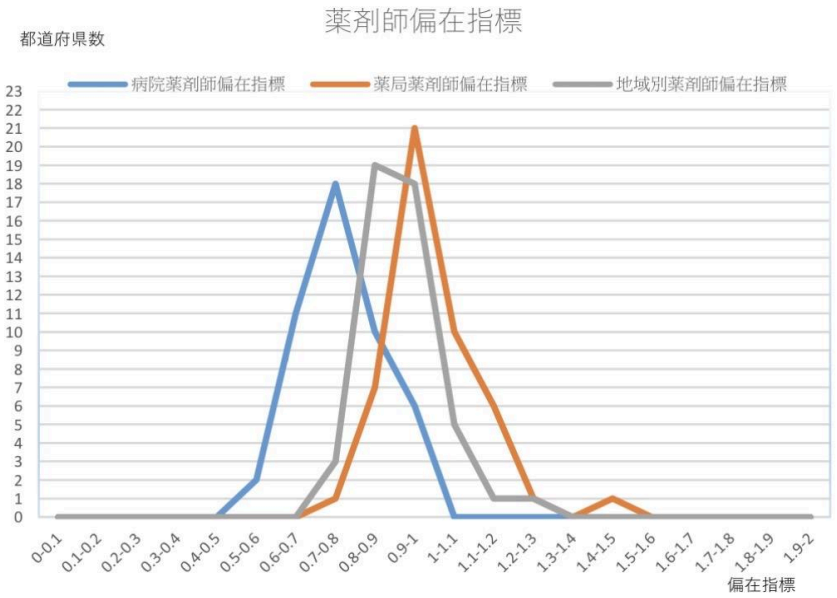
地域別薬剤師偏在指標

| 全都道府県ベースの偏在指標 | 全都道府県の調整薬剤師労働時間の合計値 | 全都道府県の推計業務量の合計値 |
|---|---|---|
| 0.99 | 31003155.8 | 31216588.5 |

| 都道府県コード | 都道府県名 | 地域別薬剤師偏在指標 | 調整薬剤師労働時間 | 薬剤師の推計業務量 |
|---|---|---|---|---|
| 都道府県別 | | | | |
| 13 | 東京都 | 1.28 | 3946078.6 | 3073656.0 |
| 14 | 神奈川県 | 1.12 | 2323778.6 | 2067618.1 |
| 28 | 兵庫県 | 1.10 | 1499766.4 | 1363748.6 |
| 40 | 福岡県 | 1.10 | 1401237.2 | 1275721.9 |
| 34 | 広島県 | 1.07 | 773904.1 | 723817.7 |
| 27 | 大阪府 | 1.06 | 2269384.6 | 2132572.7 |
| 4 | 宮城県 | 1.04 | 587011.0 | 563550.1 |
| 36 | 徳島県 | 1.00 | 209819.3 | 210395.5 |
| 37 | 香川県 | 1.00 | 257772.4 | 258723.6 |
| 11 | 埼玉県 | 0.99 | 1663720.0 | 1678862.0 |
| 12 | 千葉県 | 0.99 | 1459427.5 | 1475663.2 |
| 25 | 滋賀県 | 0.97 | 313249.1 | 323186.6 |
| 41 | 佐賀県 | 0.97 | 214820.5 | 222294.1 |
| 1 | 北海道 | 0.96 | 1340364.6 | 1399239.3 |
| 35 | 山口県 | 0.96 | 366596.0 | 383543.5 |
| 26 | 京都府 | 0.95 | 600632.9 | 633220.2 |
| 9 | 栃木県 | 0.93 | 449562.4 | 481850.1 |
| 33 | 岡山県 | 0.93 | 456259.9 | 489150.8 |
| 17 | 石川県 | 0.93 | 270463.6 | 290307.6 |
| 23 | 愛知県 | 0.93 | 1600524.1 | 1722528.7 |
| 19 | 山梨県 | 0.92 | 197010.7 | 214337.5 |
| 22 | 静岡県 | 0.91 | 843036.6 | 924572.1 |
| 43 | 熊本県 | 0.90 | 431114.8 | 476915.1 |
| 47 | 沖縄県 | 0.90 | 288650.7 | 319807.3 |
| 29 | 奈良県 | 0.90 | 305767.8 | 338851.5 |
| 8 | 茨城県 | 0.90 | 642828.9 | 716120.9 |
| 31 | 鳥取県 | 0.90 | 136087.4 | 152003.0 |
| 39 | 高知県 | 0.89 | 188605.8 | 211957.2 |
| 20 | 長野県 | 0.88 | 483985.2 | 547952.9 |
| 42 | 長崎県 | 0.87 | 324303.2 | 370729.5 |
| 3 | 岩手県 | 0.87 | 293101.7 | 338155.5 |
| 38 | 愛媛県 | 0.86 | 319831.9 | 370300.2 |
| 15 | 新潟県 | 0.86 | 512485.0 | 594587.2 |
| 10 | 群馬県 | 0.86 | 428513.0 | 497690.0 |
| 7 | 福島県 | 0.86 | 420192.8 | 488583.8 |
| 32 | 島根県 | 0.86 | 159550.1 | 186008.7 |
| 30 | 和歌山県 | 0.85 | 219168.7 | 257787.1 |
| 21 | 岐阜県 | 0.85 | 426482.5 | 501693.2 |
| 5 | 秋田県 | 0.84 | 238627.9 | 284949.7 |
| 44 | 大分県 | 0.83 | 262894.5 | 318164.4 |
| 45 | 宮崎県 | 0.82 | 247793.2 | 301942.4 |
| 24 | 三重県 | 0.82 | 368011.7 | 449930.8 |
| 46 | 鹿児島県 | 0.82 | 372786.7 | 455819.6 |
| 6 | 山形県 | 0.82 | 243407.2 | 298369.5 |
| 16 | 富山県 | 0.80 | 225676.8 | 282758.9 |
| 2 | 青森県 | 0.78 | 270720.4 | 346838.0 |
| 18 | 福井県 | 0.74 | 148148.1 | 200111.9 |

(図1,厚生労働省,2023)

偏在指標の全国値は、病院0.80＜薬局1.08




(図2,厚生労働省,2023)

2、研究意義・研究目的

本研究の目的は、地方における薬剤師不足と、AI ・ICT による業務の機械化が進む中で、人にしかできない薬剤師の仕事とは何かを明らかにすることである。薬剤師不足への対応として機械化が進められている一方で、機械では対応が難しい業務も存在すると考えられる。

2011年に東日本大震災が発生した際には、薬剤師が患者から服薬情報を聞き取り、推定調剤を行った事例が報告されている(日本薬剤師会,2012)。このような災害時には、電力の供給や通信環境が十分でない場合が多く、機械やAI を使用することは困難となる。そのため、このような状況下では、状況に応じて判断したり、患者と直接向き合って対応したりする薬剤師の役割は、人にしか担うことのできない重要な仕事であるといえる。この事例から、人にしかできない薬剤師の仕事は他にも多く存在するのではないかと考えた。

人にしかできない薬剤師の役割を明らかにすることは、今後の医療の効率と質を両立させ、薬剤師という職業を持続可能なものとするために重要である。本研究では、文献調査に加え、薬剤師および患者へのアンケート調査を行い、薬剤師業務の現状と患者のニーズを把握することで、両者の視点から薬剤師の持続可能性について考察する。

3、仮説

業務の機械化が進む中で、人にしかできない薬剤師業務は患者と直接関わる部分であるという仮説を立てた。既に手順が決められている一定の作業については、機械やAI が行う方が人間よりも効率的かつ正確である。そのため、調剤や薬歴管理などの「既に作業の手順が決まっている」かつ、「効率と正確さ」が求められる業務は、今後さらに機械化が進む可能性があると考えた。

一方で、近年のAI 技術の発展により、AI が患者と会話を行い、対応をすることも可能になってきている。しかし、日本では少子高齢化が進行しており、医療機関を利用する高齢者の割合は今後も高くなると考えられる。そのため、デジタル機器に不慣れな人も一定数存在すると予想される。また、年齢に関わらず、病気や怪我によって身体的・精神的に不安を抱えている患者にとっては、機械との会話よりも人による対面での対応の方が安心感を与える可能性が高いと考えられる。

これらのことから、薬剤師業務の中でも患者とのコミュニケーションを伴う対人業務は機械による代替が困難なものであり、薬剤師の持続可能性はこの対人業務と深く関わっているのではないかと仮定した。

4、研究方法

(1)文献調査

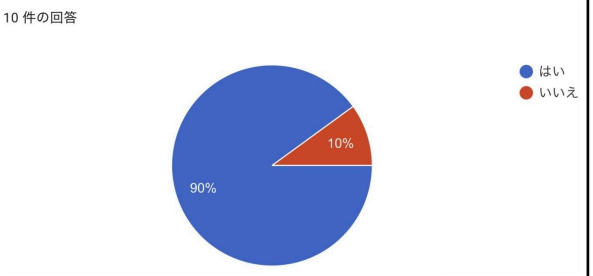
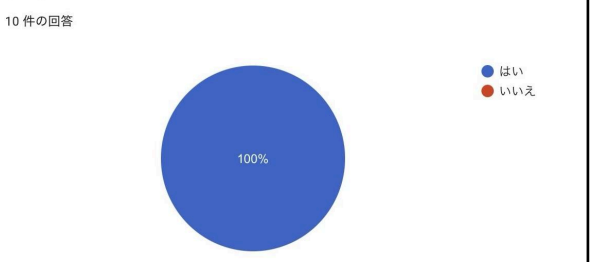
調査概要･･･今の医療の人手不足の現状と機械化について明らかにする
調査対象･･･厚生労働省、日本薬剤師会　他

(2)アンケート調査

調査概要･･･機械化の現状と患者のニーズについて明らかにする
調査対象･･･薬剤師(10名) 、家族･親戚(6名)

5、結果･考察

始めに、薬剤師を対象としたアンケートの結果を分析した。結果は以下の通りである。

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| ①薬剤師の仕事が機械化されていると聞いたのですが、実際、機械化は進んでいますか？ |  |
| ②実際にはどのような薬剤師の仕事が機械化されていますか？ | ･自動分包機　･監査システム<br>･軟膏混合機　･AI薬歴<br>･自動発注 |
| ③仕事が機械化され、感じたメリットを教えてください | ･時間短縮　･ミス軽減　･負担の軽減<br>･ヒューマンエラーを減らせる<br>･対人業務に時間が使える |
| ④逆に仕事が機械化され、デメリットを感じたことがあれば教えてください | ･機械トラブルが起きた時の対策<br>･機械のメンテナンス<br>･操作方法を間違えると倍の時間がかかる<br>･災害時や停電時の業務の滞り |
| ⑤人でなければいけないと思う薬剤師の仕事はありますか？ |  |

| | |
|---|---|
| ⑥人でなければいけないと思う薬剤師の仕事を教えてください。 | ・対人業務(服薬指導、初回面談など)<br>・患者さんへの気遣い<br>・在宅医療<br>・患者さんとのコミュニケーション |
| ⑦薬剤師の考える患者のニーズを教えてください。 | ・早く正確に薬を渡すこと<br>・薬使用の意義<br>・自分の体調などを分かってくれる人<br>・薬に限らず医療、体、健康に関する相談に　応えてくれる対応力<br>・お薬を安全にそして安心して飲めるように　飲み合わせの確認やお薬の相談<br>・悩み事、不安な事を聞いてもらいたい<br>・薬の飲み合わせについての指導 |

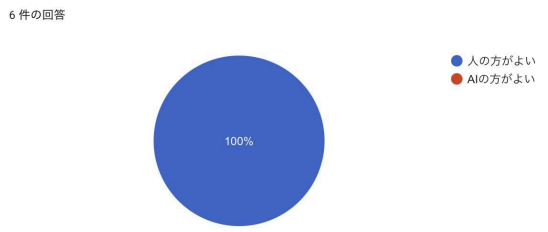
①、②の問いは文献調査で得られたものと同じ結果となった。よって実際に機械化が進んでいることに加え、機械化されている業務は定型的な業務のみであるとわかった。

また、③で得られた回答により、業務の機械化は薬剤師の負担軽減、時間の短縮、ミス軽減に繋がっていることが分かった。これは「正確さと効率」という機械のメリットが現れているものであり、業務を機械化することには意義があると考える。しかし、デメリットも存在することが分かった。④の回答によると、機械トラブルや機械のメンテナンスが薬剤師の負担になり得ることがあるとわかった。また、災害時や停電時には業務が滞るという、文献調査で得られていた「災害時」という課題と同じ結果が得られた。

⑤では回答者全員が「人にしかできない薬剤師の仕事がある」と答える結果となった。⑥によると「対人業務」、「患者とのコミュニケーション」、「在宅医療」という、患者と関わる場面での人であることの必要性が見えてきた。

また⑦では、「早く正確に薬を渡すこと」、「自分の体調を理解してくれる人」、「悩み事、不安なことを聞いてもらいたい」という回答が得られた。「早く正確に薬を渡す」という薬剤師の考える患者のニーズは「薬剤師業務の機械化」のメリットと一致すると考えられる。このことから、「薬剤師業務の機械化」には持続可能性があると考えられる。また、「悩み事、不安なことを聞いてもらいたい」という回答については、AI でもよいのか、人でないとだめなのかということがはっきりしないため、患者のアンケート結果を分析しながら検討する必要がある。

次に患者のアンケート結果を分析した。アンケートは10代から60代まで行った。結果は以下の通りである。

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| ①薬剤師に求めること、ニーズを教えてください。 | ・薬の説明や薬について相談にのってほしい<br>・アフターフォローをしてほしい<br>・薬の飲み合わせや飲み方を教えてほしい<br>・薬の違いを説明してほしい<br>・待ち時間を少なくしてほしい |
| ②患者に対応するのは人かAI、どちらの方がよいですか。 |  |
| ③②の回答の理由を教えてください。 | ・表情や仕草、反応など、多方面から患者を観察し、対応や処置をするべきだと考えるから<br>・AIは自分が聞きたい細かなニュアンスが伝わりにくいと思うから<br>・相談者のニーズをくみ取り、その人にあった回答をくれそうだから<br>・感情面を理解し寄り添ってくれそうだから |

①の回答については、薬剤師が想定していた「患者は早く正確に薬を受け取りたいと考えている」というニーズと概ね一致することが明らかとなった。このことから、業務の機械化によって正確性や効率性を高めることは、薬剤師の負担が減るだけでなく、患者側のニーズとも一致することが明らかとなった。

また、②では回答者全員が「人に対応してもらいたい」と回答する結果となった。③を見ると、「表情や仕草など多方面を見た上で対応してほしい」「AI では細かなニュアンスが伝わりにくいと思う」といった意見が挙げられていた。このことから、薬剤師は薬の説明をする以上に、「真に寄り添った態度を示す」ということが患者に求められていると考えられる。

これらのことから、薬剤師業務の機械化は効率性や正確性の向上という面では有効であるが、患者が求めている「安心感」や「寄り添い」といった部分については、人が担う必要があることが示された。したがって、薬剤師業務の持続可能性は、対人業務の質を向上させていくことにあると考えられる。

## 6、結論・今後の展望

本研究では、薬剤師業務の機械化は定型的業務において正確性や効率性を高め、薬剤師の負担軽減や患者の「早く正確に薬を受け取りたい」というニーズに応えるものであることが明らかとなった。一方で、患者アンケートの結果からは、「表情や仕草を見て対応してほしい」「悩みや不安を聞いてほしい」といった意見が多くあり、薬剤師は単に薬を処方する以上に、患者に安心感を与え、患者の不安を取り除く存在であることが求められていると明らかになった。このことから、薬剤師の持続可能性は、機械化による「正確性と効率」、人による「寄り添った対人業務」を両立させることにあると考えられる。

「人に寄り添う」という点の具体例として、「ひなた薬局(新潟市秋葉区)」の取り組みが挙げられる。ひなた薬局は薬局内に、地域住民が交流できる「交流スペース」と子ども食堂である「ひなたカフェ」が存在する。これは「地域コミュニティの活性化」を目的とした活動である。地域コミュニティの活性化は、「安心感」や「信頼関係を築く」という心理的面において、大きな効果があり、患者の「感情面を理解して寄り添ってほしい」というニーズにも一致する活動である。また、少子高齢化社会の中で「患者が満足する質の高い医療」を提供し続けるためにも重要な活動なのではないかと考える。

このような取り組みは、患者の生活背景や心理的側面に寄り添うものであり、現段階のAI では代替することが難しいと考えられる。今後は、調剤や在庫管理などの定型業務は積極的に機械化を進め、短縮できた時間を対人業務や地域活動に使い、患者のニーズに応えていくことが重要である。

機械化によって仕事が無くなることを恐れるのではなく、機械を上手く活用し、人にしかできない価値を高めていくことが、今後、どの職業においても持続可能なものとするために必要になることだと考える。

## 7、引用文献・参考文献


[1]厚生労働省(2023).「薬剤師偏在指標の算定について」.
https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001082413.pdf.
2025年8月3日.
[2]厚生労働省(2022).「薬剤師の需給推移」. https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000979704.pdf.
2025年8月3日.
[3]日本病院薬剤師会(2023).「薬剤師偏在指標等について」.
https://www.jshp.or.jp/content/2023/0612-4.pdf.
2025年8月3日.
[4]厚生労働省(2024).「医療におけるAIの普及とその影響について」.
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/001194483.pdf.
2025年8月3日.
[5]新潟市市民活動支援センター(2021).「一般社団法人新潟メディカルプラン　ひな　　た薬局地域交流委員会」. https://www.shimin-ouen.com/author/22548/?from=%2Fteam%2Fpage%2F4%2F.
2026年1月10日.
[6]新潟メディカルプラン(2025).「新潟メディカルプラン」.
http://www.medicalplan.co.jp/medical/index.html.
2026年1月10日.
[7]二井將光　(2015).「薬学教室へようこそ」.ブルーバックス.
[8]佐藤岳詩　(2021).「心と体の倫理学ーエンハンスメントから考える」. 筑摩書房.
[9]丹野佳郎　(2014).「大規模自然災害における薬剤師の役割　ー被災地,石巻からの報告ー」.

『YAKUGAKU ZASSHI 』,134(1). 19-23.
[10]小井土雄、近藤久禎、市原正行、小早川義貴、辺見弘(2012).「東日本大震災における活動報告書」.
『保健医療科学』,60(6), 495-501 .
[11]望月眞弓(2014).「薬剤師の今後」.
『ファルマシア』,50(12), 1225-1227.
[12]名倉弘哲(2022).「薬学部における災害教育」.
『薬学教育』,6.
[13]日本肺癌学会(2020).「病理診断におけるデジタル化とAI の現状」.
『肺癌』,60(2),81-89.
American pharmacist association.(2005). Impact of Community Pharmacy Automation on Workflow, Workload, and Patient Interaction.
[14]狭間研至(2013).「社会構造の変化と今後の薬剤師のあるべき姿」.
『YAKUGAKU ZASSHI 』,133(3),331-336.
[15]日本医療薬学会(2022).「ロボット・Iot 技術による薬剤師業務の安全性と効率化の向上への取り組み」.
[16]染谷文洋、詫間浩樹、泉澤恵、白神誠(2009).「患者の薬剤師への相談ニーズ」.
『YAKUGAKU ZASSHI 』,129(9),1137-1140

# 医療現場におけるAIの医師代替可能性に関する研究

1 研究背景

近年、医療現場では医師不足や地域医療の格差などが深刻化している。特に、離島やへき地での医師不足、高齢化は深刻であり、医療アクセスの困難な状態が続いている。このような地域では、高齢者がオンラン診療に不慣れであり、医療従事者のITリテラシーに差がある。また、医師の確保が非常に難しく、専門の医師の診断を受けることも難しい。([6][7])一方で、AIなどの技術発展によって医療現場でのAI活用が急速に進んでいる。問診支援、手術支援、画像診断支援など、AIを用いた医療サービスやAI搭載医療機器などが次々と開発されている。これにより、医師や看護師などの業務負担削減や医療の質の向上につながっている。しかし、日本での医療AIの導入率は低く、AIの判断過程を人間が理解できない「ブラックボックス問題」、誤診が発生したときに責任の所在が不明確であること、そして医師法17条によりAIが医寮行為を担うことが法的に制限されていることなどが課題となっいる。
([1][4][11][13])医療AIの具体的な活用例として、問診支援システムは患者の伝えづらさを軽減し、医師が患者と向き合う時間の確保につながっている。また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」は術者の技能の不足を補い、精密な操作を可能にしているが、完全自動化には至っていない。さらに、AIを解剖作業で活用する研究も進んでおり、医療教育での導入が検討されている。([2][3][8][9][10])しかし、AIにはブラックボックス問題やデータの偏りによる誤診のリスクなどの課題が多くある。これらの技術課題や医師法17条の法的観点からAIが医師を完全に代替することは難しいとされている。これまでの研究は、AIの性能評価や各分野における実際の活用方法が中心であり、AIがどこまで医師の代替が可能なのかを示した研究は少ない。そこで、本研究ではAIが医師の代替可能な範囲を明らかにすることを目的とする。

2 研究仮説

もし医師の仕事のほとんどがデータ作業であるなら、その業務をAIが代替することができるはずである。一方で、患者とのコミュニケーションなどの非データ的作業は代替できないはずだ。その理由として、AIは画像診断、問診システム、がんの再発予測など典型的なデータ作業では医師の部分的な代替を可能とするが、患者の価値観や家族の意向など非データ的要素を理解できないことや表情やしぐさなどの非言語情報、患者の不安を受け止めるなどの高度なコミュニケーションは理解できない。また、医師法17条により法的観点からも法的責任が伴う医療行為を行うことができないからである。以上のことから、AIは医師の業務の一部は代替できるが、すべてを代替することはできないと仮定する。

3 研究意義

本研究は、医療AIが医師をどこまで代替できるのかという範囲を明確にする点にある。今までの医療AIに関する研究では、個別分野での研究が多く、医療のどの範囲まで医療AIで代替可能なのかがはっきりと分かっている研究は少ないと感じた。特に私は、離島やへき地医療の現状に注目している。医師不足が続く地域では、すべてを人間だけで支えることは難しくなっている。その中で、AIが代替できる部分が明確になれば、医師の負担を減らし、本来大切にすべき「患者と向き合う時間」を増やすことができるのではないかと考えた。一方で、医療は単なるデータ処理ではなく、人の命や感情に深く関わる分野である。患者の不安や家族の思いに寄り添うことは、現時点のAIには難しい。だからこそ、AIにできることとできないことをはっきりさせることには意味があると思う。本研究は、「AIか人間か」という対立ではなく、「AIと医師がどう協力できるのか」を考えるための基礎になる研究である。私は、AIが医師を奪う存在ではなく、医療をより良くするための支援技術として活用される未来にしたいと考えている。

## 4 結果

本研究では、医師の業務をデータ的作業と非データ的作業に分類し、それぞれについてAIがどこまで代替できるのかを検討した。その結果、AIは医師のすべてを代替することはできないが、業務の一部については高い可能性を持っていることが分かった。

まず、画像診断や問診支援、がんの再発予測のように、大量のデータを分析し、一定のパターンを見つける業務については、AIは非常に高い精度を発揮することが確認できた。特に画像診断では、人間の目では見落とす可能性のある微細な変化を検出できる場合もあり、診断補助としての役割は今後さらに拡大すると考えられる。また、問診支援システムは、患者がうまく言葉にできない症状を整理する助けとなり、診察時間の効率化にもつながる。このように、データ処理を中心とする業務では、AIは医師の「補助」だけでなく、部分的な代替が可能であると感じた。一方で、患者の表情や声のトーン、沈黙の意味などをくみ取ること、家族の不安や葛藤を理解すること、そして最終的に責任を持って判断を下すことは、現時点のAIには難しいと考えられる。医療は単なるデータ処理ではなく、人の人生や価値観と深く結びついている。例えば、同じ病状であっても、患者の年齢や生活背景、将来の希望によって治療方針は変わる。そのような複雑な判断を行うには、数値化できない要素を含めて総合的に考える力が必要であり、これは人間の医師だからこそできる部分だと感じた。また、医師法17条により、医療行為は医師のみが行うことができると定められている。この法的枠組みの存在は、AIが完全に医師を代替することが現実的ではないことを示している。仮にAIが高精度で診断できたとしても、最終的な判断と責任は医師にある。この点からも、AIは「代替者」ではなく「支援者」として位置づけられるべきであると考えた。

以上の結果から、AIは医師の業務のうち、データ処理を中心とする領域では大きな可能性を持つが、患者との信頼関係の構築や倫理的判断、責任を伴う意思決定といった領域では代替が困難であることが明らかになった。私は、この結果は「AIが医師に勝つかどうか」という問題ではなく、「医師がより医師らしい仕事に集中できる環境をつくれるかどうか」という問題なのではないかと感じた。本研究を通して、AIは医療の主役になる存在ではなく、医師の専門性を支え、医療の質を高めるための重要なパートナーになり得るという結論に至った。

## 5　参考文献・引用文献


［1］金容大.「AI導入による今後の医療への提言」.東京大学.
cbel-report_01_01_13_kin.pdf

［2］金崎珠久.（2025）.「問診における患者の伝えづらさ解消に向けた新たな問診方法の提案」.
https://www.cri.ehime-u.ac.jp/cri_k5m4gn7/wp-content/uploads/2025/06/af32a93b4c1d39ee083191cc91a0bc21.pd

［3］大堀理.（2016）.「術者から見たダヴィンチの実力］.J-stage.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjmi/86/4/86_369/_pdf/-char/ja

［4］松本隆二.（2022）.「人工知能（AI）の医療分野への応用：その現状と将来に向けた戦略」.国立がん研究センター研究　　所医療AI研究開発分野.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arerugi/71/2/71_107/_pdf

［5］平山貴仁.（2024）.「医療AIと医師法17条」.東京大学法科大学院.
https://www.sllr.j.u-tokyo.ac.jp/19/papers/LR19_hirayama.pdf

［6］辻野彰.立石洋平.大塚寛郎.宮崎.他4名.（2024）.「長崎県離島における遠隔医療の現状と展望」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsnt/41/4/41_499/_pdf/-char/ja

［7］長島公之.（2022）.「離島:へき地における遠隔医療の未来を」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/chiikiigaku/36/12/36_19/_pdf/-char/en

［8］熊津雄太.（2023）.「AIが解剖に使われる研究］.横浜市立大学大学院医学研究科.
https://share.google/8JmFiDKwHiCBEV5aT

［9］Ubie 株式会社（2017）.「超高齢化社会の離島だからこそ、未来を見据えた業務改革に繋げられる」.
https://ubie.app/interview/case/afww_ro3nc2. 2025年12月.

［10］Ubie 株式会社（2017）.「医師が患者と向き合う時間を創出事前問診システム「AI問診ユビー」」.
https://service-award.jp/result_case03/dl/labor02.pdf. 2025年12月.
［11］medimo.（2025）.「AI医療機器とは？承認済み機器の一覧や活用例、保険適用について解説」.
https://medimo.ai/column/ai-medicaldevice. 2025年2月.
［12］株式会社日本総合研究所（2024）.「医療機器のグローバル発展・プログラム医療機器開発に向けての視座」.
https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/pdf/20250924_nagumo.pdf. 2025年2月.
［13］株式会社ヒューマンサイエンス（2025）.「医療AIの導入が進んでいない現状～データからひも解く医療AIの導入率と　課題、解決への動向～」.
https://www.science.co.jp/annotation_blog/42367/#:~:text=日本ではAI技術を,急務となっています%E3%80%82 2025年2月.
［14］日本医師会学術推進会議.（2018）.「第XI次学術推進会議報告書「人工知能(AI)と医療」」.
https://www.med.or.jp/dl-med/teireikaiken/20180620_3.pdf
［15］藤本修平.松尾豊.（2023）.「医療におけるAIの活用」.第120回日本内科学会講演会.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/naika/112/9/112_1489/_pdf
［16］厚生労働省（2007）.「医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について」.
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb2895&dataType=1&pageNo=1 2025年2月.
［17］豊川智之.村上慶子.兼任千恵.小林廉毅.（2022）.「医療サービスへのアクセスと水平的公平性」.J-stage.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/iken/22/1/22_1_69/_pdf/-char/ja
［18］山本陽一郎（2025）.「AIは未知のがんの兆候を見つけ出し、医師の再発予測精度を上回った」.松田洋太郎.『AI科　学革命　土はすごい』.株式会社ニュートンプレス.
［19］小林雅一（2015）.「AIの衝撃－人工知能は人類の敵か」.株式会社講談社.
［20］Ubie 株式会社（2017）.「AI問診とは？」.
https://ubie.app/about-ai-monshin.　2025年12月.

# 現代人のテレビ視聴減少に対する考察

## 1 序論

総務省(2019)は「2000年から2015年の我が国におけるテレビ視聴時間（平日1日あたり）の推移をみると、全体では緩やかな減少傾向にある。年代別では、60代では横ばい傾向にあるが、50代以下は減少傾向にあり、特に10代及び20代の減少が著しい」と述べている。また、斉藤(2020)は「現在の20代はテレビ視聴の多様性・自在性が高まる中で育った世代であるといえるのではないか。だとすれば、彼らの視聴行動についてのデータを丁寧にみていくことで、現代の若者にとってのテレビそのものやテレビ番組（コンテンツ）の存在感や距離感がみえてくるのではないか。また，それは，これまでの20代とは違っているのではないかと考えた。」という考えのもとに20代を軸に図2より「約3割がリアルタイムのテレビを見ない」と述べている。これらのことから、10代から20代にかけてテレビの視聴率が減少していることが分かる。

以上のことから、本論文では次の問いを設定する。

若者を中心にテレビ離れがなぜ起きているのか。

本論文では、若者のテレビ離れは、スマートフォンの普及によってインターネット利用が拡大し、情報取得や娯楽の役割がテレビからインターネットへと代替されたことによって生じているという仮説を立てる。その理由として、スマホの所持率が上昇していることが挙げられる。欲しい情報がネットで簡単にいつでも獲得できるようになったこと。インターネットの利用時間が関係していると考えられる。平井(2023)は若者のテレビ離れが進んでいる要因として「スマートフォンの普及により、テレビよりもスマートフォンを使用していることがわかった。このことからニュースはインターネットで観る時代になっていると言えるのではないだろうか。」と述べ、モバイル社会研究所(2024)は「インターネットの利用時間の推移をみると、利用時間は増加傾向にある。特に10代と20代は、2015年には1日あたり100分以上利用するようになり、テレビ視聴時間と逆転している」と述べている。これらの事実から、スマートフォンの所持、情報が簡単に手に入る環境、インターネットの利用時間が関係している可能性が高いと考えられる。

本論文では情報通信機器としてスマートフォンに注目し、関連する文献および統計資料を分析し、仮説の妥当性を検証する。

図表1-4-1-1　テレビ視聴時間推移（2000年～2015年、平日1日あたり、全体・年代別）

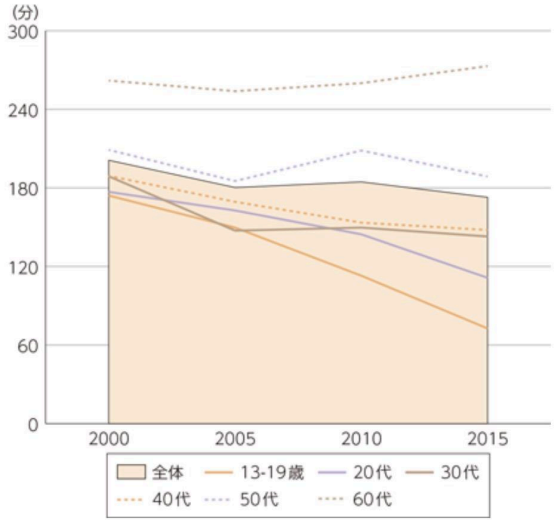


図1【1】より引用

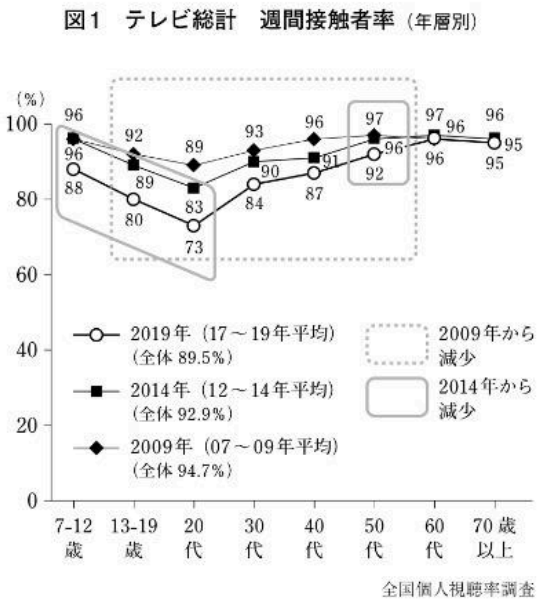



図2【5】より引用

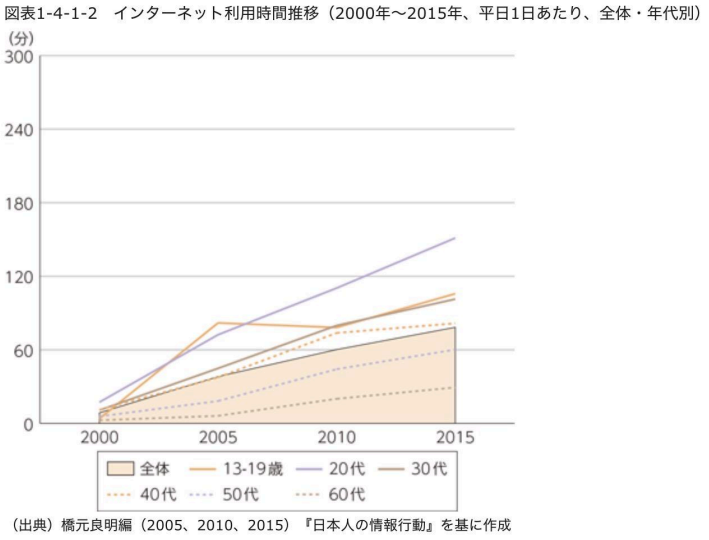



図3【4】より引用

## 2 研究方法

本論文では2000年代から2024年の公的統計資料および先行研究中心に比較分析し、メディア利用時間の変化と若年層の行動特性の関連性を検討した。

検討を行うにあたって、先行調査より主に4つの傾向が考えられるため、それらを基に検証していく。

①テレビ視聴時間とインターネット利用時間
②スマートフォン所持の増加
③テレビではなくインターネットで情報を得ている
④メディアに対する信頼度と選択傾向

# 3 結果・考察

①テレビ視聴時間とインターネット利用時間

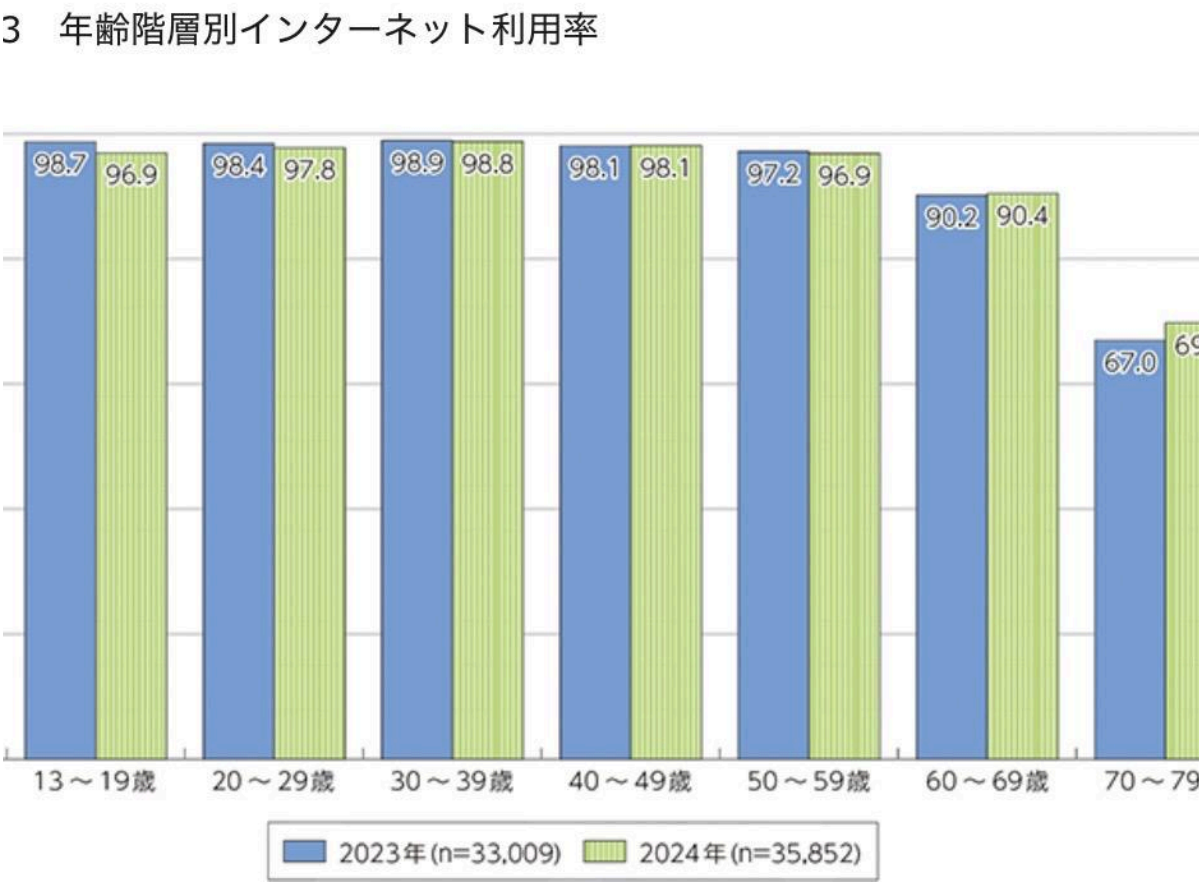



図4【3】より引用

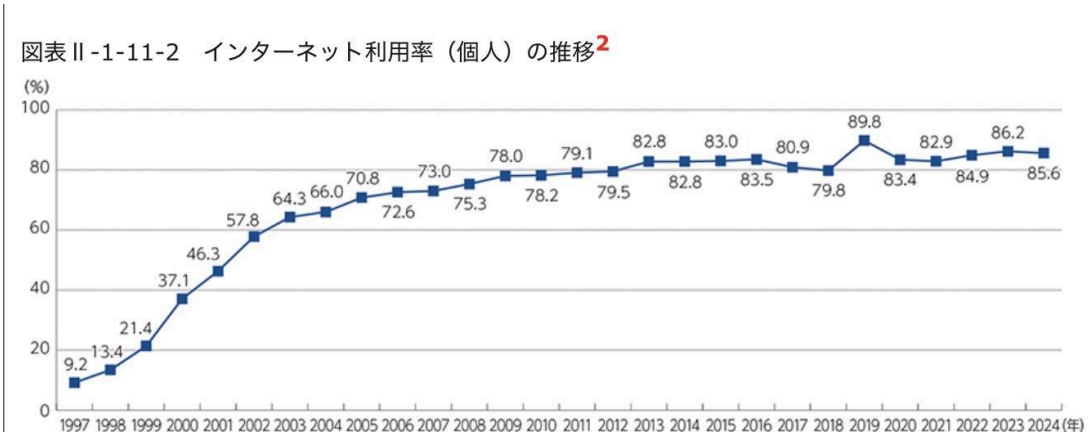



図5【4】より引用

図5によると、1997年から2024年にかけてインターネット利用率が増加していることが確認できる。総務省(2025)は「2024年のインターネット利用率（個人）は85.6%となっており、端末別のインターネット利用率（個人）は、「スマートフォン」（74.4%）が「パソコン」（46.8%）を27.6ポイント上回っている。」と述べている。また、総務省(2025)では「主なメディアの平均利用時間について、全年代では、平日、休日ともに、「インターネット利用」の平均利用時間が最も長く、「テレビ（リアルタイム）視聴」がこれに続く傾向が継続している。」と述べている。

図4によると、2023年から2024年にかけてインターネット利用率が90%を超える年齢が13歳から69歳となっていることが確認できる。問いとして注目していた10代から20代が最も多いのではなく、幅広くインターネットは利用されている。

図1と図3より、対照的な傾向から、若者のメディア利用の中心がテレビからインターネットへ移行していることが読み取れるとともに、図4と図5からテレビ視聴が減少した代わりにインターネット利用が増加したと読み取れる。そして、これらは同時期に生じている。このことから、テレビ離れにはインターネットの利用増加が代替関係していることが示唆される。したがって、本論文の仮説であるインターネットの利用時間が関係していることを支持する結果であると考えられる。

②スマートフォン所持の増加

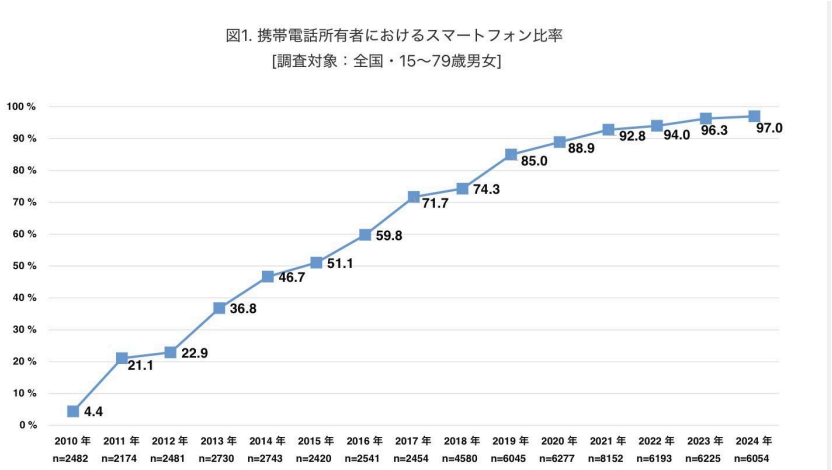



図6【4】より引用

モバイル社会研究所(2024)は「2015年にスマートフォンの比率は5割を突破し、2017年に7割、2019年に8割、2021年には9割を超え、2024年に97%になりました」と述べている。(参考　図6)

このことより、図3のグラフの傾向と似ているため、インターネット利用時間が増えたのはスマートフォン所持率が増加したことが関係していると考えられる。

③テレビではなくインターネットで情報を得ている

【令和5年度】[平日]インターネットの利用項目別の平均利用時間
（全年代・年代別・男女別）

| 単位:分 | 全年代 (N=3000) | 10代 (N=280) | 20代 (N=434) | 30代 (N=482) | 40代 (N=626) | 50代 (N=638) | 60代 (N=540) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メールを読む・書く | 44.7 | 15.6 | 37.4 | 44.4 | 45.2 | 55.9 | 52.1 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 26.2 | 16.9 | 26.0 | 30.3 | 30.4 | 29.7 | 18.5 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 38.9 | 56.0 | 79.4 | 45.3 | 31.9 | 27.3 | 13.8 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 54.0 | 112.1 | 101.4 | 54.9 | 41.1 | 30.4 | 27.9 |
| VODを見る | 16.7 | 26.4 | 29.9 | 23.1 | 10.0 | 10.9 | 10.0 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 24.2 | 66.6 | 41.4 | 27.4 | 20.9 | 10.2 | 5.7 |
| 印刷物の電子版を見る | 5.3 | 4.9 | 9.8 | 7.0 | 5.4 | 4.6 | 1.4 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 8.9 | 9.0 | 7.6 | 14.3 | 10.9 | 6.6 | 5.3 |
| | 男性 (N=1520) | 男性10代 (N=144) | 男性20代 (N=222) | 男性30代 (N=246) | 男性40代 (N=320) | 男性50代 (N=322) | 男性60代 (N=266) |
| メールを読む・書く | 54.8 | 8.6 | 35.5 | 55.3 | 51.0 | 82.4 | 66.6 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 33.3 | 15.7 | 33.0 | 42.1 | 30.8 | 41.5 | 28.2 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 35.2 | 55.9 | 71.5 | 40.4 | 24.5 | 24.4 | 15.0 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 63.8 | 131.7 | 121.9 | 65.9 | 44.9 | 32.6 | 36.9 |
| VODを見る | 14.8 | 26.0 | 27.7 | 22.2 | 3.7 | 9.9 | 10.2 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 35.0 | 98.1 | 63.1 | 40.8 | 31.4 | 12.0 | 4.4 |
| 印刷物の電子版を見る | 5.9 | 5.6 | 10.9 | 9.8 | 3.1 | 5.3 | 2.3 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 14.4 | 15.1 | 10.6 | 24.7 | 17.3 | 10.1 | 9.3 |
| | 女性 (N=1480) | 女性10代 (N=136) | 女性20代 (N=212) | 女性30代 (N=236) | 女性40代 (N=306) | 女性50代 (N=316) | 女性60代 (N=274) |
| メールを読む・書く | 34.3 | 23.1 | 39.4 | 33.0 | 39.1 | 28.8 | 38.0 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 18.9 | 18.2 | 18.7 | 18.1 | 30.1 | 17.6 | 9.1 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 42.7 | 56.0 | 87.8 | 50.3 | 39.5 | 30.3 | 12.7 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 44.0 | 91.3 | 80.0 | 43.5 | 37.0 | 28.1 | 19.2 |
| VODを見る | 18.7 | 26.8 | 32.1 | 24.0 | 16.6 | 11.9 | 9.8 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 13.0 | 33.2 | 18.7 | 13.4 | 9.9 | 8.3 | 6.9 |
| 印刷物の電子版を見る | 4.8 | 4.1 | 8.8 | 4.0 | 7.7 | 3.8 | 0.5 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 3.2 | 2.4 | 4.5 | 3.5 | 4.2 | 3.1 | 1.4 |

【令和5年度】[休日]インターネットの利用項目別の平均利用時間
（全年代・年代別・男女別）

| 単位:分 | 全年代 (N=1500) | 10代 (N=140) | 20代 (N=217) | 30代 (N=241) | 40代 (N=313) | 50代 (N=319) | 60代 (N=270) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メールを読む・書く | 20.5 | 12.6 | 17.0 | 18.2 | 19.5 | 23.6 | 26.8 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 27.4 | 12.3 | 19.2 | 31.9 | 37.9 | 34.1 | 17.6 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 47.4 | 80.3 | 108.4 | 55.2 | 35.1 | 27.2 | 12.6 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 79.6 | 174.0 | 134.9 | 79.6 | 68.6 | 43.0 | 42.2 |
| VODを見る | 23.7 | 34.1 | 44.7 | 28.1 | 18.5 | 18.8 | 9.3 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 34.0 | 91.2 | 56.7 | 47.1 | 26.6 | 11.5 | 9.5 |
| 印刷物の電子版を見る | 7.3 | 3.6 | 5.8 | 12.8 | 10.1 | 6.8 | 2.9 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 1.2 | 0.6 | 2.0 | 1.6 | 0.1 | 1.5 | 1.5 |
| | 男性 (N=760) | 男性10代 (N=72) | 男性20代 (N=111) | 男性30代 (N=123) | 男性40代 (N=160) | 男性50代 (N=161) | 男性60代 (N=133) |
| メールを読む・書く | 18.3 | 10.9 | 21.7 | 14.4 | 14.3 | 25.5 | 19.3 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 36.1 | 19.0 | 24.4 | 47.3 | 37.8 | 51.2 | 24.4 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 46.1 | 88.8 | 96.0 | 58.3 | 29.9 | 26.4 | 13.5 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 95.8 | 162.9 | 164.5 | 108.9 | 85.1 | 53.2 | 54.5 |
| VODを見る | 22.1 | 34.6 | 43.0 | 34.2 | 8.2 | 18.4 | 8.0 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 50.3 | 136.8 | 85.8 | 72.0 | 36.6 | 18.9 | 8.4 |
| 印刷物の電子版を見る | 7.4 | 3.1 | 4.9 | 15.1 | 7.1 | 8.8 | 3.4 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 1.1 | 1.3 | 0.7 | 1.0 | 0.1 | 2.9 | 0.8 |
| | 女性 (N=740) | 女性10代 (N=68) | 女性20代 (N=106) | 女性30代 (N=118) | 女性40代 (N=153) | 女性50代 (N=158) | 女性60代 (N=137) |
| メールを読む・書く | 22.7 | 14.4 | 12.1 | 22.2 | 24.8 | 21.6 | 34.2 |
| ブログやウェブサイトを見る・書く | 18.4 | 5.1 | 13.6 | 15.8 | 38.0 | 16.7 | 11.1 |
| ソーシャルメディアを見る・書く | 48.7 | 71.3 | 121.5 | 51.9 | 40.4 | 27.9 | 11.7 |
| 動画投稿・共有サービスを見る | 62.9 | 185.8 | 104.0 | 49.0 | 51.3 | 32.5 | 30.2 |
| VODを見る | 25.3 | 33.5 | 46.5 | 21.7 | 29.2 | 19.3 | 10.5 |
| オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする | 17.2 | 42.9 | 26.3 | 21.1 | 16.1 | 3.9 | 10.6 |
| 印刷物の電子版を見る | 7.2 | 4.1 | 6.8 | 10.4 | 13.2 | 4.8 | 2.4 |
| 遠隔会議システムやビデオ通話利用 | 1.3 | 0.0 | 3.4 | 2.2 | 0.1 | 0.0 | 2.2 |

図7【18】より引用

図表Ⅰ-1-1-4　インターネットを利用した動画・ラジオサービスの利用率の推移[4]

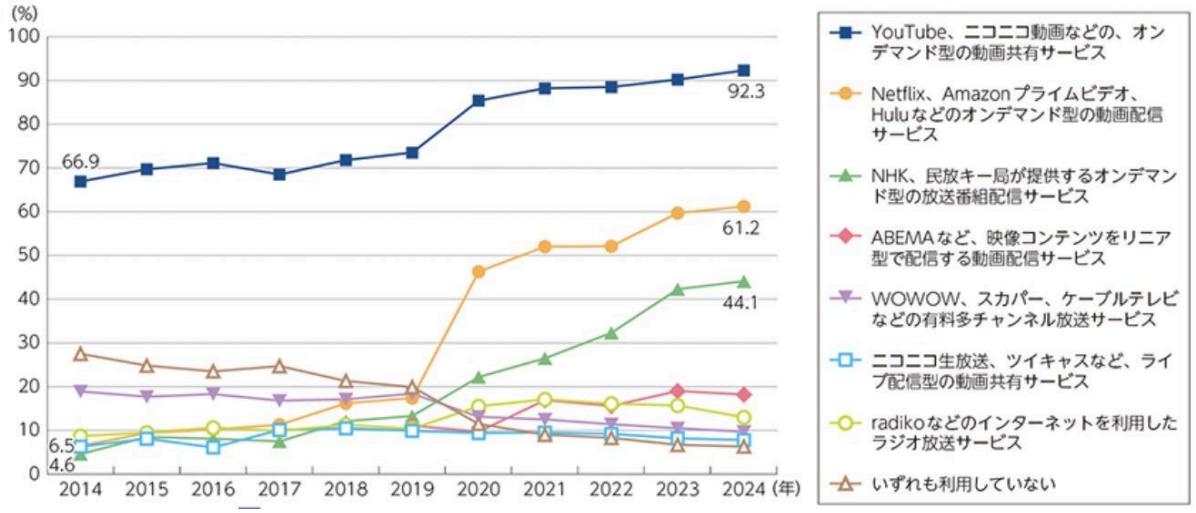



図8【20】より引用

図7によると、インターネットの利用で最も多く利用される理由が「動画投稿・共有サービスを見る」という項目が平日休日同様に割合が多く、特に10代から20代がその理由で多くが利用していることがわかる。また図8より、インターネットを利用したYouTubeやニコニコ動画などの動画共有サービスを利用している割合が2014年から2024年を通して上昇傾向にあり、次に2019年から急激に割合を増加させているNetflix、AmazonプライムHuluなどのオンデマンド型の動画配信サービスが増加している。

これらのことから、スマートフォンの普及により、テレビ視聴の代わりとして、インターネットの動画サービスで動画を視聴している可能性を示唆している。これは、テレビ離れの一つの理由になるのではないかと考える。

④メディアに対する信頼度と選択傾向

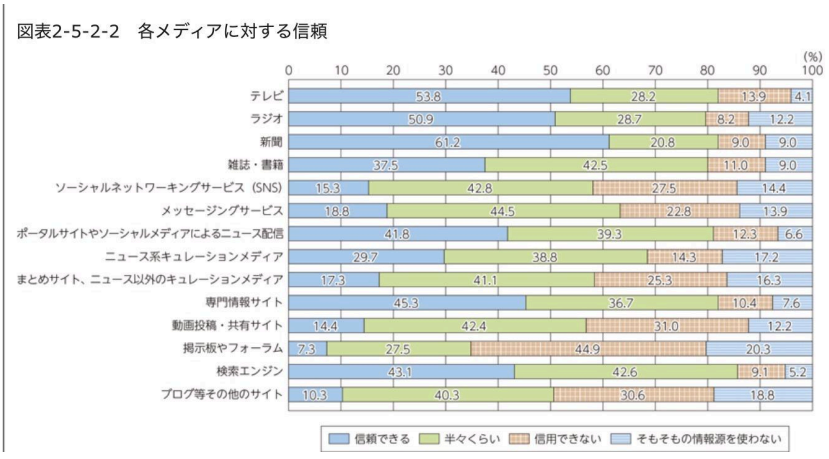



図9【2】より引用

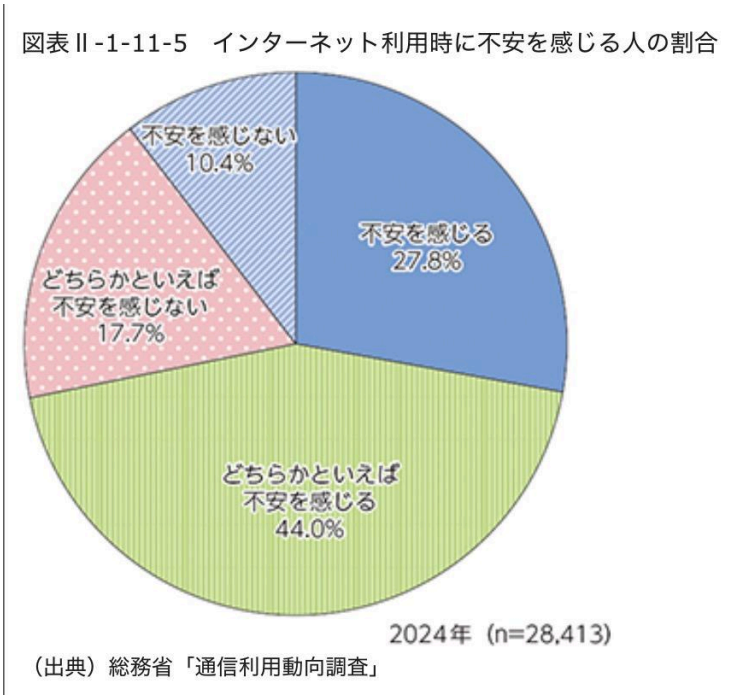



図10【3】より引用

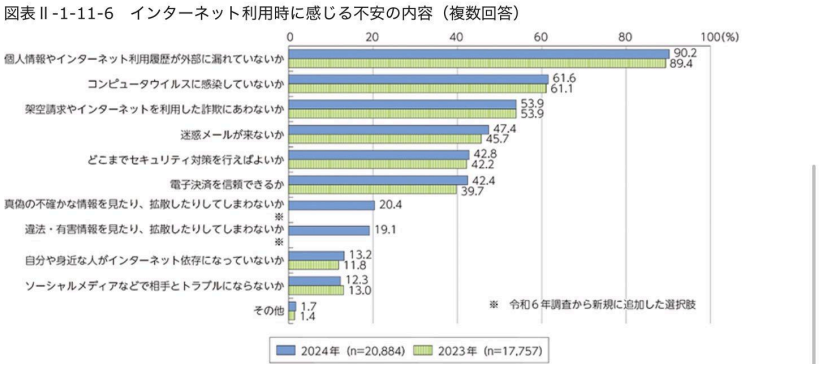



図11【3】より引用

図9より、新聞がグラフの中で最も高い割合である50.9%を占めているため、最も信頼度が高いことが分かる。一方で、図10ではインターネット利用しているのにも関わらず、不安を感じながらも利用していることがある割合が全体の71.8%を占めている。

これは、人々が必ずしも信頼性のみでメディアを選択しているわけではないことを意味している。特に若者は、渡辺(2019)によると「SNSを多く利用する若年層では，情報接触が個人の関心に傾きがち」という傾向があり、「SNSや動画共有・配信サービスなど個人の関心に沿ったコンテンツに触れやすいメディアに日常的に接している。」ということから、テレビや新聞よりも手軽に情報を得られるインターネットを選択していると考えられる。

# 4 結論

本論文では10代から20代の若者を中心にテレビ離れが何故起きているのかについて検討してきた。その結果、テレビ離れが起きている原因はスマートフォンの普及によってテレビの代わりにインターネットや動画サービスを利用するようになっていることが関係していることがわかった。

特に、インターネット利用時間の増加とテレビ視聴時間の減少が同時期に進行していることから、テレビの役割がインターネットへと代替されていることが示唆された。また、動画共有サービ

スやオンデマンド型配信サービスの利用増加は、若者がリアルタイム視聴よりも、自分の興味関心のある分野に触れられる選択をする視聴スタイルを重視していることを示唆している。さらに、インターネットに対して不安を感じながらも利用が続いている点から、若者は信頼性よりも興味関心を重視してメディアを選択している傾向があると考えられる。

以上より、若者のテレビ離れは単なるテレビへの関心低下ではなく、メディア環境の変化に適応し、動画共有サービスやSNSなど、若者の興味関心を引きつける選択できる環境が整った結果であると結論づけられる。今後は、テレビとインターネットの対立ではなく、両者の共存や新たな役割分担のあり方についても検討する必要があるのではないか。

## 5 引用文献

【1】総務省(2019).「令和元年　情報通信白書　第1部　特集　進化するデジタル経済とSociety 5.0 」.
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r01/html/nd114110.html
2026年2月18日

【2】総務省(2021).「令和3年　情報通信白書　第1部　特集　デジタルで支える暮らしと経済」.
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd125220.html
2026年2月18日

【3】総務省(2025).「令和7年　情報通信白書　第Ⅱ部　特集　情報通信分野の現状と課題」
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd21b120.html
2026年2月18日

【4】モバイル社会研究所(2024).「2024年調査　スマートフォン比率97%:2010年は約4%」.
https://www.moba-ken.jp/project/mobile/20240415.html
2026年2月18日

【5】斉藤孝信(2020).「メディア多様化時代と20代」.
『放送研究と調査』,70(2),2-15.

【6】平井啓吾(2023)「テレビ離れに関する研究-若者のテレビ離れ-」
https://www.soc.daito.ac.jp/thesis/23-148.pdf.

【7】鈴木祥平　森本祥一(2012年)「日本におけるインターネットテレビの現状と課題」
『第74回全国大会講演論文集』2012 (1), 733-734

【8】鈴木祥平　森本祥一(2012)「テレビ離れ解決に向けたテレビとインターネットの共存に関する一考察」
『情報科学技術フォーラム講演論文集』 11 (3), 523-526,

【9】内堀涼平　渡辺洋子(2022)「テレビと動画の利用状況の変化,その背景にある人々の意識とは～「全国メディア意識調査・2021」の結果から～」
NHK放送文化研究所 編 72 (8), 2-35, 東京 : NHK出版

【10】木村邦彦(2006)「深刻化する新聞・テレビへの信頼度低下−インターネットに頼る学生−」
『岡山大学理科大学紀要　第42号B』51-59

【11】山口仁(2018)「ニュースメディアの信頼性の構築に関する問題提起」
『ジャーナリズム&メディア：新聞学研究所紀要 / 日本大学法学部新聞学研究所 編』(11), 103-109, 東京：日本大学法学部新聞学研究所

【12】松下慶太(2010)「デジタルネイティブ世代のテレビ視聴に関する実証研究」
『実践女子大学人間社会学部紀要』1−8

【13】平松恵一郎(2014)「テレビというビジネスモデルのこれから−民放テレビの現在・過去・未来から考察するメディア論−」
『立教ビジネスデザイン研究』11 119-135,

【14】志岐裕子　テー・シャオブン　村山洋　萩原滋(2010)「多様化する若者のテレビ視聴スタイル:大学生の質問紙調査から」
https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1121824X-20100300-0049.

【15】渡辺洋子(2019)「SNSを情報ツールとして使う若者たち〜「情報とメディア利用」世論調査の結果から②〜」
『研究報告書・技術報告書』69 巻 5 号 p. 38-56

【16】斉藤孝信　平田明信　内堀涼太(2021)「多メディア時代における人々のメディア利用と意識〜「全国メディア意識世論調査・2020」の結果から〜」
『放送研究と調査 = The NHK monthly report on broadcast research / NHK放送文化研究所 編 71(9)=845:2021.9』71(9),2-41,

【17】和田正人(2017)「若者のテレビ番組接触における接触行動の要因分析−19l5年と2016年の比較−」
『東京学芸大学紀要. 総合教育科学系 』68 (2), 411-420,

【18】総務省情報通信政策研究所(2024).「令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書〈概要〉」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000953019.pdf.

【19】総務省(2025) 「報道資料 「令和6年度情報メディアの利用時間と情報行動に関する報告書」の公表」
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01iicp01_02000125.html.

【20】総務省(2025)「情報通信白書　第1部　特集　広がりゆく「社会基盤」としてのデジタル」
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd111130.html.

# 生活習慣病予防から考える医療費の持続可能性

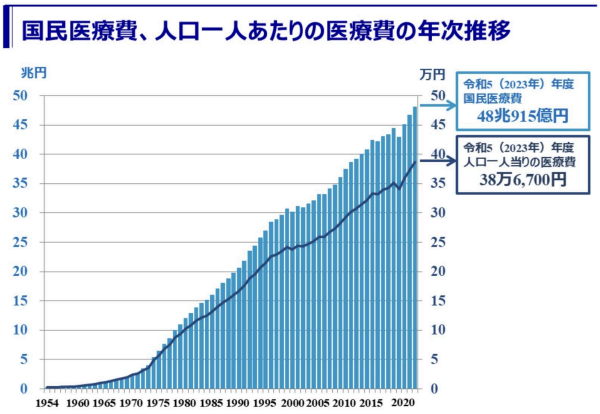
## ー健康的な食習慣が医療費に与える影響ー

## 1.　研究背景・目的

### 1.1 医療と健康を取り巻く現状

日本では近年、国民医療費が増加を続けており、令和5年度の国民医療費は48兆915億円と、統計開始以来過去最高水準となっている。（図１:厚生労働省）2000年代以降、医療費は一貫して増加傾向にあり、今後も高齢化の進行により、さらなる拡大が予測されている。また、死亡者数も増加傾向にあり、令和6年度の死亡者数は約160万5,298人と、前年より約3万人以上増加している。このような背景には、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧疾患などの生活習慣病の増加が大きく関与していると考えられる。生活習慣病は国民医療費の約3割を占め、死亡原因の約6割を占めており、日本の医療費増大と国民の健康に深刻な影響を与えている。（図2）生活習慣病とは、日常的な生活習慣の積み重ねによって発症・進行する疾患の総称である。中でも食生活は生活習慣病と深く関係しており、食習慣の乱れは、生活習慣病の発症リスクを高めることが指摘されている。毎日継続される食習慣が健康や疾病発症に与える影響については、十分に理解・実践されていない現状がある。国民医療費の増加を抑制し、将来にわたって医療制度を維持していくためには、「治す医療」から「病気にならない医療」へと重点を移すことが重要である。本研究では、生活習慣病の予防という視点から、健康的な食習慣が人の健康状態や医療費に与える影響について考察する。食生活の改善を通じて生活習慣病を予防することが、死亡者数の減少や健康寿命の延伸につながり、結果として医療費・介護費の抑制、さらには医療費の持続可能性の向上に寄与する可能性を明らかにすることを目的とする。

図１



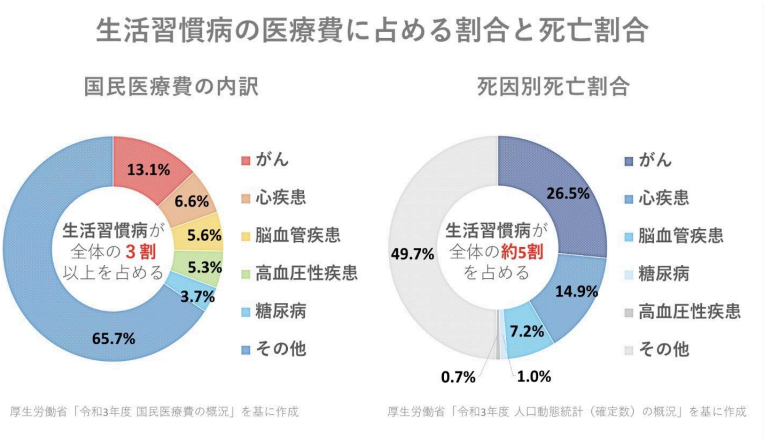



図2

図1．国民医療費･人口1人当たりの医療費の年次推移　healthy-life21.com（1954年度から2023年度　厚生労働省　令和5年度国民医療費の概況 ）
図2．生活習慣病の医療費に占める割合と死亡割合.嘉麻市（右．厚生労働省「令和3年度　国民医療費の概況」を基に作成）（左．厚生労働省「令和3年度　人口動態統計（確定数）の概況」を基に作成）

## 1.2 研究意義

本研究では、「生活習慣病予防のための健康的な食習慣は、医療費の抑制という観点からどのような効果を持つのか」をリサーチクエスチョンとして設定する。健康的な食習慣は生活習慣病予防に有効であると多くの研究で示されている一方で、実際の食行動との間には大きな乖離が存在している。健康的な食事を「取りたい」「意識している」と考える人は全体の九割以上にのぼるものの、（図2）実際に食習慣を改善し、健康的な食事を継続できている人は全体の約二割（図3）にとどまっている。このように、健康に対する意識は高いにもかかわらず、行動に結びついていない現状が、生活習慣病患者増加や医療費の拡大を招いている一因であると考えられる。生活習慣病は、発症後の治療に多くの医療費を要する一方で、日常の生活習慣、とくに食生活の改善によって予防できる可能性が高い疾患である。本研究に取り組むことで、健康的な食習慣が生活習慣病の予防につながるだけでなく、将来的な医療費の抑制につながる可能性を示すことができると考えられる。これは、「治療中心の医療」から「予防を重視した医療」への意識転換を促し、医療費の持続可能性を高める一助となる。本研究では、「栄養バランスの取れた健康的な食習慣を継続することで、生活習慣病の発症リスクが低下し、結果として医療費の抑制につながる」という仮説を立てる。食習慣の改善は生活習慣病予防に有効であり、生活習慣病患者を減少させ、医療費の抑制につながると考えられる。(図1)

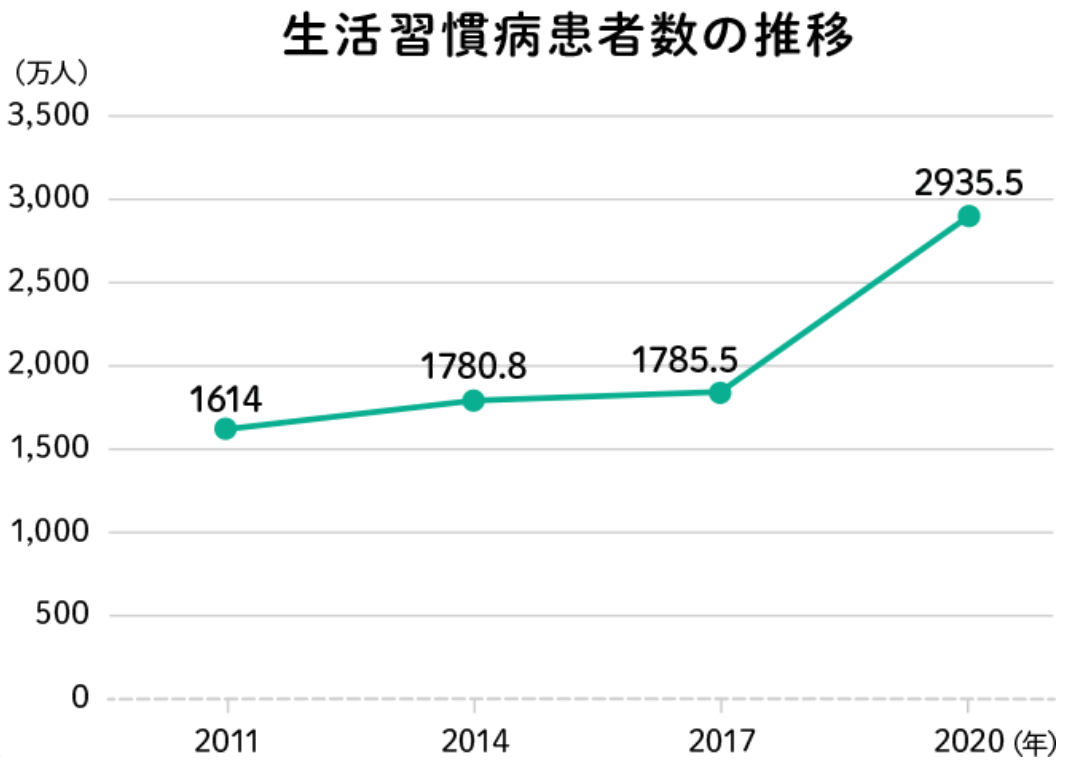



図1

図2

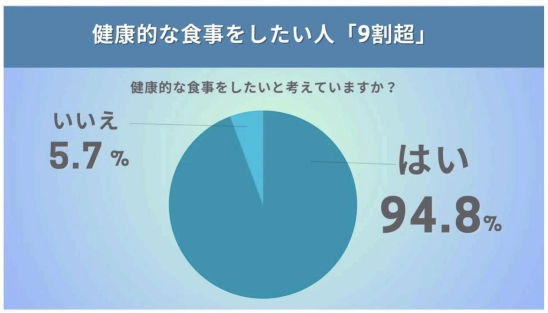



図3

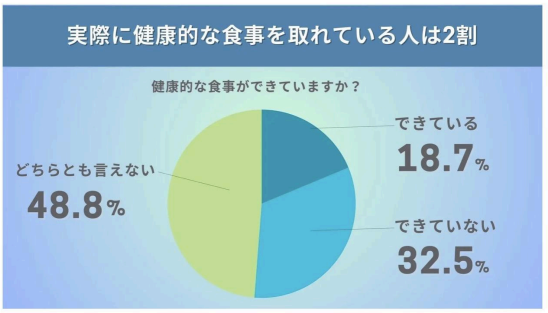



図1. 生活習慣病とは？種類・原因・予防法と備えるための保険　りそなグループ
　　（厚生労働省「令和2年 患者調査 傷病分類編（傷病別年次推移表）より著者が作成）
図2. 健康的な食事をしたい人の割合　　株式会社ティップネス
図3. 実際に健康的な食事を取れている人の割合　　株式会社ティップネス

# 2. 研究方法

## 2.1 研究目的

本研究では、生活習慣病のことを詳しく調査し、現代の食生活が生活習慣病の増加を通して医療費にどのような影響を与えているのかを明らかにし、食習慣の改善が医療費の持続可能性にどのように貢献できるのかを考察することを目的とする。特に、生活習慣病がなぜ発症すると長期的な治療を必要とし、個人だけでなく社会全体の医療費負担を増大させてしまうのかという点に着目し、摂取すると良い栄養素を調査し、日常的な食習慣との関係を具体的に捉えることを目指した。

## 2.2. 研究方法

### 2.2.1 文献調査

研究方法として、まず文献調査を行い、国民医療費の推移、食習慣と健康の関係、生活習慣病の特性について整理した。これにより、生活習慣病が重症化しやすく、継続的な医療を必要とする疾患であること、またその多くが日々の食生活と深く関係していることを科学的根拠に基づいて理解することができる。この文献調査は、本研究全体の土台となり、以降の調査結果を客観的に解釈するための重要な役割を果たしている。

### 2.2.2 専門学生へのアンケート・インタビュー

次に、健康や栄養について専門的な知識を学んでいる北里大学保健衛生学院管理栄養科の専門学生を対象にアンケート調査を実施し、日常の食習慣に対する意識や、食習慣の改善法、健康のために必要な栄養素、生活習慣病予防のために重視した方が良い点などについて調査した。さらに、一部の学生にインタビュー調査を行い、アンケートだけでは把握しきれない考え方や、実生活における工夫、食習慣について詳しく聞き取った。このような調査方法で食習慣に関する意識と実態をより立体的に捉えることができると考えた。調査対象を管理栄養科の専門学生とした理由は、専門的知識を持つ立場からの意見を得ることで、生活習慣病予防において重要とされる食事の考え方を、より正確かつ実践的に把握できると考えたからである。

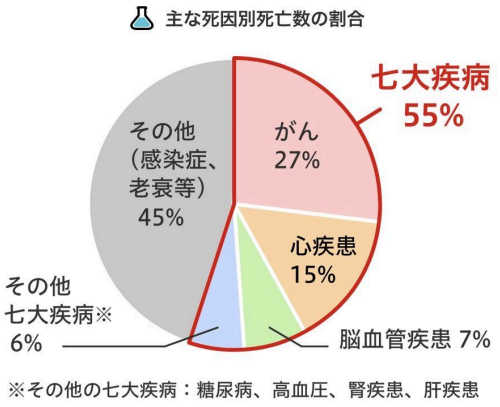
# 3.　結果・考察

## 3.1 文献調査

### 3.1.1 生活習慣病が占める死因別死亡数割合の現状

　生活習慣病とは食生活や運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣が原因となって引き起こされる疾患の総称である。主に、がん（悪性新生物）・心疾患・脳血管疾患、加えて、糖尿病・高血圧症・腎疾患・肝疾患などがあり「7大疾病」と呼ばれている。井林（2025）は、「以下のグラフを見てみると、7大疾病だけでも日本人の死因の約55%を占めているのが分かります。つまり日本人の2人に1人以上が生活習慣病で亡くなっているのです。現在、日本人の平均寿命は世界一の水準です。しかし、日常生活に制限のない期間を指す「健康寿命（平均70～74歳）」と「平均寿命（平均80～86歳）」とでは、約10年程度の差があるといわれています。その大きな原因の一つが生活習慣病です。」としている。つまり、図 1 のグラフより、七大疫病と呼ばれる生活習慣病が死因別死亡数の割合55%を占め、単に死亡原因の多くを占めるだけでなく、健康に生活できる期間を短くし、長期的な通院や介護を必要とする状態を引き起こす要因となっていると分かる。

図 1




- 出典：厚生労働省「令和3年（2021）人口動態統計（確定数）の概況」より作成

### 3.1.2 具体的な様々な生活習慣病について

　次に、生活習慣病に含まれる各疾患について、種類や分類の違いに加え、それぞれの特徴や発症の要因について詳細に整理した。

がんは、細胞の一部が傷付いて異常な分裂・増殖を繰り返した結果、腫瘍が形成される疾患だ。血管やリンパ管の通る深部まで染み出て広がり、あらゆる場所に転移し、胃がん・肺がん・乳がんなど、発生箇所によって名称が異なるのが特徴だ。

心・血管疾患は、心臓や心筋の異常によって血流の循環不全が起こる疾患の総称だ。具体的には、急性心筋梗塞、狭心症、心不全などが挙げられる。

日常的な喫煙や肥満、メタボリックシンドロームなどによって動脈硬化が進行すると、心疾患を引き起こすおそれがある。なお、メタボリックシンドロームは、内臓脂肪の蓄積があり、高血圧・高血糖・脂質異常のうち2つ以上に該当するという条件を満たしている状態のことを指す。

脳血管疾患は、脳の血管の異常によって起こる疾患の総称だ。具体的には、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などが挙げられる。発症すると、重度の障害を起こす危険性が極めて高い疾患であり、後遺症を軽くするためには、早期の治療が必要になる。

糖尿病は、血液中のブドウ糖が過剰に増えて高血糖状態が続く疾患だ。初期症状はほとんど見られないが、治療せずに放置していると動脈硬化が進行し、心疾患や脳血管疾患のリスクが高まる。糖尿病はⅠ型糖尿病とⅡ型糖尿病に大きく分けられ、このうち生活習慣が影響するのはⅡ型糖尿病だ。また、糖尿病は一度発症すると完治することは困難だ。

最高血圧が140㎜Hg以上、最低血圧が90㎜Hg以上と、基準値よりも高い数値が繰り返し記録された状態を、高血圧と呼ぶ。そして、高血圧状態が慢性的に続く場合に診断されるのが、高血圧症だ。高血圧状態が続くと動脈硬化が起こり、糖尿病と同様に心疾患や脳血管疾患のリスクが高まる。

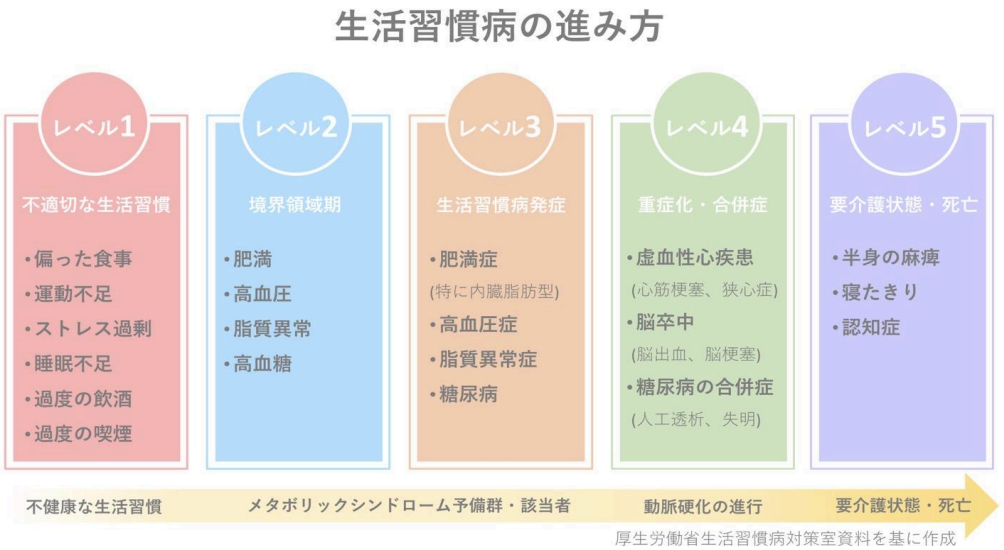
肝臓は、栄養素の加工やアルコールの無毒化、薬剤の分解、胆汁の生成といった重要な役割を担う臓器だ。しかし、アルコールの過剰摂取やウイルス感染などによって肝機能が低下すると、肝疾患を引き起こすリスクがある。

膵臓は、消化液の分泌や血糖値を下げるホルモンの分泌を担う臓器だ。膵臓の機能が低下すると、急性膵炎や慢性膵炎、膵臓がんなどの膵疾患を発症するおそれがある。

腎臓は、血液をろ過し、老廃物を尿として排出する役割を果たす臓器だ。腎臓の機能が低下すると、急性腎不全や慢性腎不全のような腎疾患を発症するリスクが高まる。腎臓の機能を回復させることは難しく、慢性腎不全になると完治はできない。しかし、早期に治療を始めれば、機能低下の予防が期待できる。(りそなグループ,2024)

また生活習慣病は発症しても自覚症状のないことが多く、気付いた頃には病状が進み、合併症を引き起こしているケースも少なくない。図２のグラフのように、生活習慣病はレベルが上がるにつれて症状が悪化し、元の健康な状態に戻ることが困難とされている。

図２

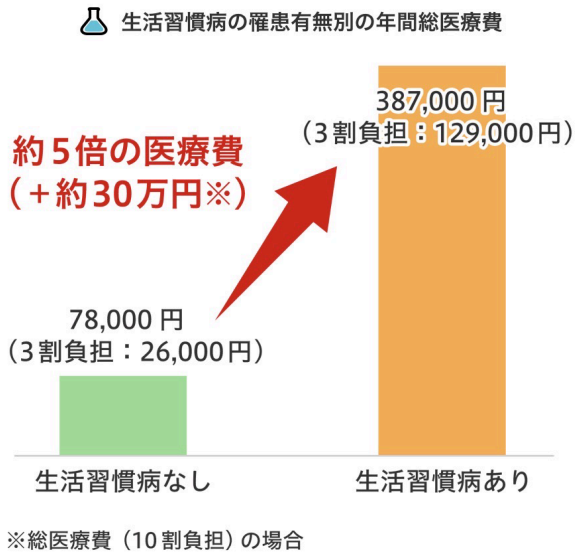


3.1.3 生活習慣病患者の医療費

多くの方が、自覚症状はもちろん、日常生活に支障がなければ病院には行かないという選択をしてしまう。しかし、生活習慣病は自覚症状が出にくいのが一番の特徴だ。症状がないまま放置しておくと、知らず知らずのうちに動脈硬化などが進行していき、ある日突然、胸の痛みや麻痺（心疾患や脳血管疾患）などで病院に運ばれるケースもある。

井林（2025）は、「大きな病気を抱えて入院したり、一度治療をしても後遺症が残ったりすれば、日々の暮らしはおろか、その医療費も高額になります。生活習慣病にかかると、疾患のない場合と比べて医療費総額は約５倍に増えることが以下のグラフからも分かっています。」としている。よって図３のグラフより医療費総額の明らかな差が読み取れる。

図３

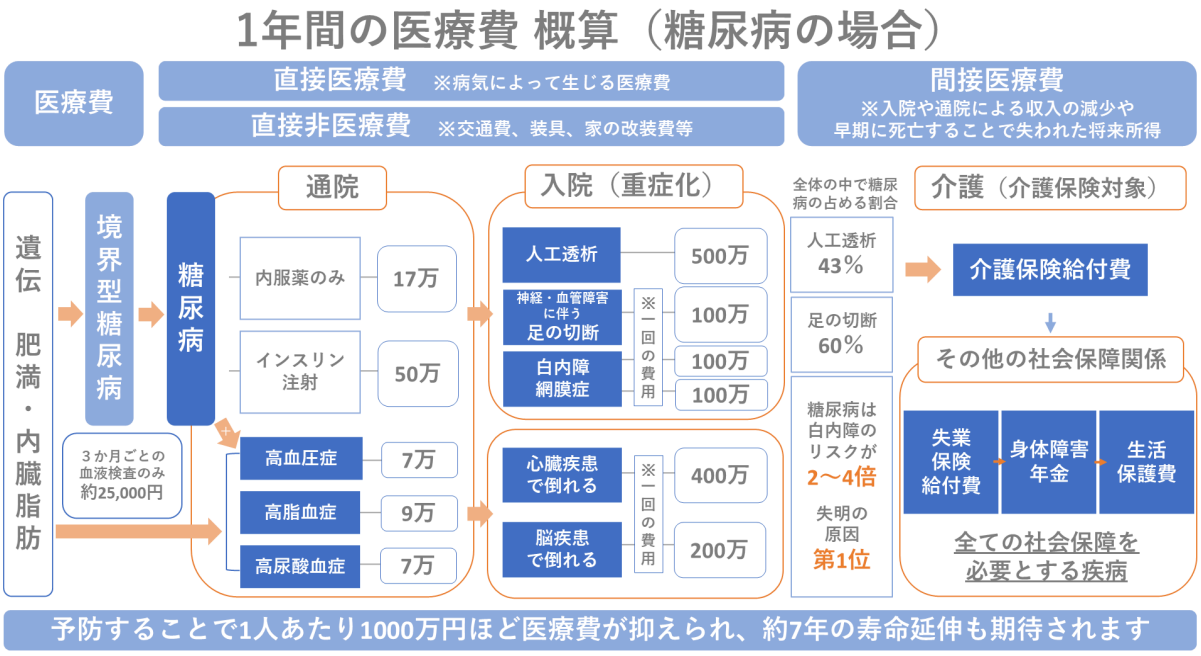



- 出典：株式会社JMDCが保有する診療報酬明細書データを基に、生活習慣病の罹患有無別の年間医療費総額を算出

実際に生活習慣病にかかった場合、疾患のない人と比較して医療費総額は約5倍になるという背景には、生活習慣病が一度発症すると完治が難しく、長期間にわたって薬物療法や定期的な検査・通院が必要になることが挙げられる。また、症状が進行した場合には入院や手術が必要となるケースもあり、その分医療費はさらに増加する。

つまり、生活習慣病は発症した時点で医療費の負担が大きくなるだけでなく、その後も継続的に費用がかかり続ける特徴を持つ。生涯治らない病気もあるため、そのような病気の患者が増えれば医療費はさらに増え続ける。このことから、生活習慣病は「治療する病気」というよりも、「発症を防ぐことが重要な病気」であるといえる。日常の生活習慣を見直すことが、将来的な医療費の増加を抑えるうえで重要であると考えられる。

図４




第1回　医療経済賞　柿原浩明氏（元立命館大学経済学部教授・医師）の研究データを基に作成

図４より、仮に糖尿病になった場合の経済的な影響を見てみると、その生涯医療費は1人あたり約1億円必要とされている。このことから、完治することが難しく、生涯に渡って治療が必要な生活習慣病は多額の医療費がかかり、経済的に大きな影響を与えることがわかる。そしてもしそのような患者がこれからも増え続けていくとすると国民医療費は今よりも増え、さらに過去最高水準を上回ってしまうことが予想できる。

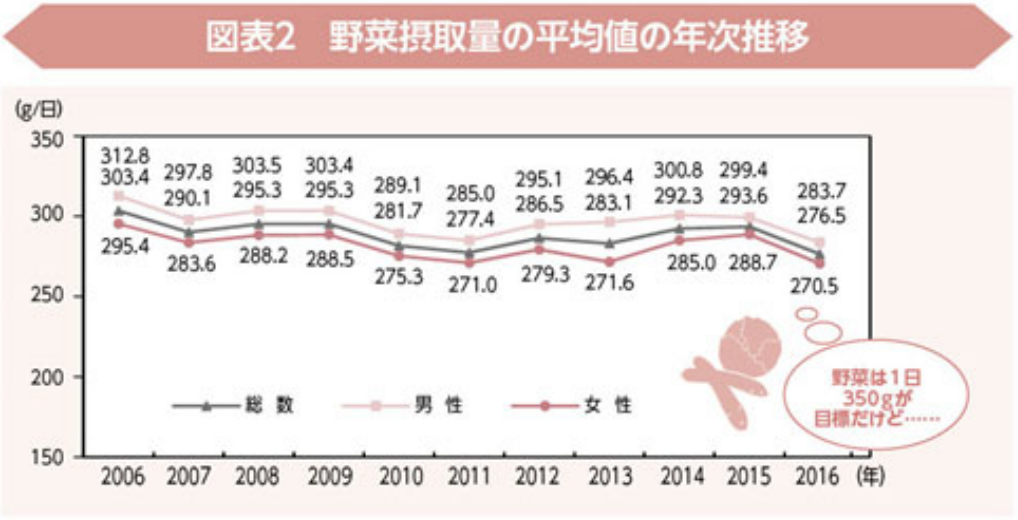
### 3.1.4 食習慣・栄養素について

生活習慣病との関連が報告されている生活習慣の一つとして、食生活が挙げられる。これまでの疫学研究において、野菜および果物の摂取は、がんや循環器疾患、肥満などの生活習慣病の予防に有効である可能性が示されている。我が国では、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸を目的として、「健康日本21」および「健康日本21（第2次）」が推進されており、日本人の野菜摂取量の目標は1日350gと定められている。しかし、国民健康・栄養調査の結果では、平均摂取量は目標に達しておらず、平成29年時点でも288gにとどまっていることが報告されている。また、年代別にみると、20歳代から50歳代の勤労世代は、60歳以上と比較して野菜摂取量が少ないことが示されている。さらに先行研究では、勤労世代において野菜摂取量が少ない要因として、野菜摂取への関心の低さや、自身の摂取量の認識不足、実際には不足しているにもかかわらず十分に摂取していると誤認していること、さらに調理などの手間を負担に感じていることが指摘されている。（信田・前田・曽根・衛藤，2020）

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事と食物・栄養素摂取との関連については、これらを組み合わせた食事の回数が多い人ほど、たんぱく質エネルギー比率が高く、ビタミンやミネラルの摂取量が多いことが示されている。また、日本人の食事摂取基準における推奨量や目安量、推定平均必要量、目標量を満たす者の割合も高いことが報告されている。

さらに、健康・栄養状態との関連については、高齢者において、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が、残存歯数の多さや血清アルブミン値の高さと関連していることが示されている。また、2015年に厚生労働省は「健康な食事」の普及に関する通知を発表し、栄養バランスのとれた食生活を継続することの重要性を示した。その中で、主食・主菜・副菜を組み合わせて食べることが重要であるとされている。(黒谷・瀧本，2018)

図5




出典：平成28年国民健康・栄養調査結果の概要

図５より、野菜摂取量は十分に増加しておらず、目標には全く届いていないことが分かる。その要因として、350gという数値が具体的にイメージしにくく、日常生活の中で実践につながりにくい可能性が指摘されている。その課題を踏まえ、近年では「いつもの食事に野菜を1皿追加する」や「食事の最初に野菜から食べる（ベジファースト）」といった、より具体的で実践しやすい方法が提案されている。例えば、東京都足立区では、飲食店に対して最初に野菜料理を提供する取り組みが行われており、行動を変えるための工夫が進められている。

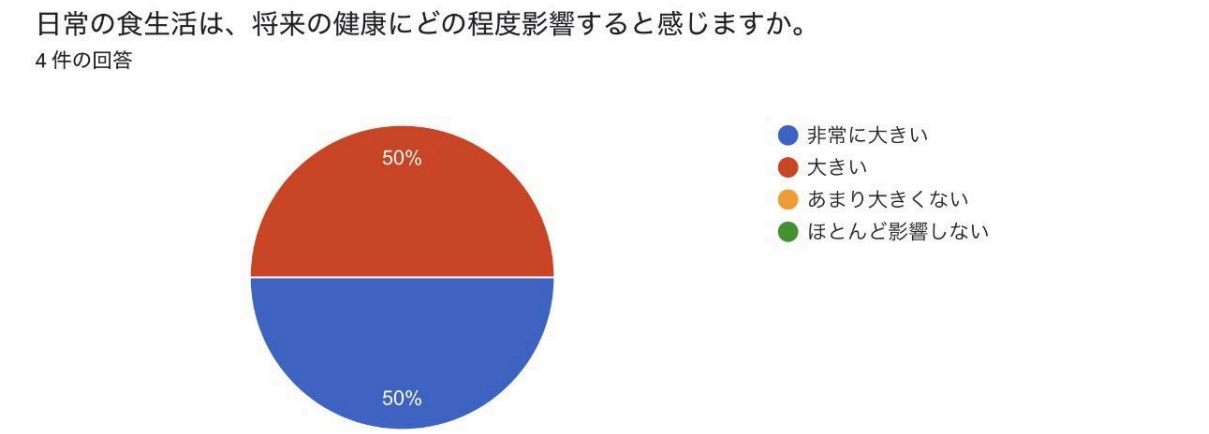
一方で、野菜の摂取量を増やすことだけに注目すると、調理方法によっては食塩の過剰摂取につながる可能性もある。そのため、野菜本来の味を活かした調理を行い、過度な調味料の使用を控えることも重要である。さらに、食生活は性別や年齢、生活環境によって大きく異なるため、一律の方法ではなく、それぞれの生活に合った形で食習慣を見直すことが求められる。つまり、生活習慣病予防のためには「何をどれだけ食べるか」という知識だけでなく、「どのようにすれば日常生活の中で無理なく実践できるか」という視点が重要であると考えられる。(武見，2025)

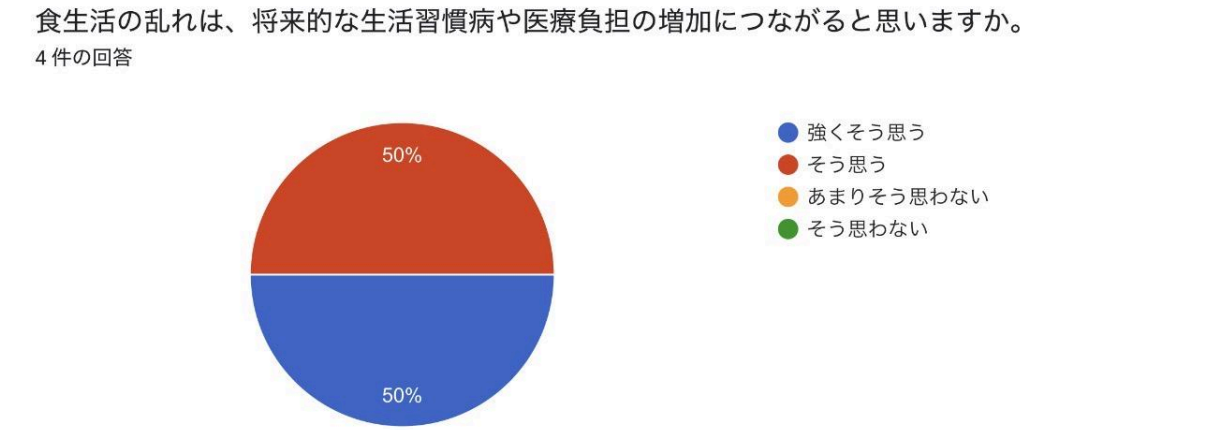
図１:井林雄太 かんぽ生命　すこやか健康ラボ（2025).「実はあなたも生活習慣病予備軍！？」.
　　厚生労働省「令和3年(2021)人口動態統計（確定数）の概況」より著者が作成。
図２:嘉麻市（2025).「特定健診を受診しましょう」.
　　厚生労働省生活習慣病対策室資料を基に著者が作成。
図３:井林雄太 かんぽ生命　すこやか健康ラボ（2025).「実はあなたも生活習慣病予備軍！？」.
株式会社JMDCが保有する診療報酬明細書データを基に著者が生活習慣病の罹患有無別の年間医療費総額を算出。
図４:嘉麻市（2025).「特定健診を受診しましょう」.
第1回　医療経済賞　柿原浩明氏の研究データを基に著者が作成。
図５:武見ゆかり　厚生労働省（2025).「自分で守り・つくるヒントがある！　考えてみよう　私自身の健康生活.平成28年国民健康・栄養調査結果の概要を基に著者が作成。

3.2

3.2.1アンケート調査

　本研究では、健康的な食習慣と生活習慣病予防に対する意識を把握するためにアンケート調査を実施した。対象は栄養・健康分野を学ぶ北里大学保健衛生専門学院管理栄養科の学生4名である。



「日常の食生活は将来の健康にどの程度影響すると感じるか」という質問に対しては、「非常に大きい」と回答した者が50%、「大きい」と回答した者が50%であり、全回答者が食生活と健康の関連を強く認識していることが分かった。また、「食生活の乱れは将来的な生活習慣病や医療負担の増加につながると思うか」という質問に対しても、「非常に大きい」が50%、「大きい」が50%という結果となり、食習慣と疾病・医療費との関係についても高い問題意識が共有されていることが確認された。

自由記述形式の回答では、健康的な食事のポイントとして「栄養バランス」を重視する意見が多く見られた。具体的には、主菜・副菜・汁物・果物を組み合わせること、三食を規則正しく摂取すること、毎食野菜を取り入れること、特定の食品群に偏らないことなどが挙げられた。特に、野菜摂取の重要性と食事回数の安定が共通して指摘されていた。なお、回答者はいずれも健康・栄養分野を学ぶ学生であり、専門的な基礎知識を持つ立場からの意見である点も特徴である。一方、健康によくないと考えられている食事スタイルとしては、揚げ物の頻度が高い食事、ファストフード中心の食生活、食事回数が少ない生活、コンビニ食品への過度な依存などが挙げられた。また、麺類のスープを飲み干す行為など、塩分過多につながる具体的な食行動も指摘されており、脂質や塩分の過剰摂取への注意意識が確認された。さらに、回答者自身が実践している食習慣としては、外食や中食でも野菜や海藻を含むメニューを選ぶ工夫、朝食を抜かないようにする意識、主菜と副菜または汁物をそろえるようにする取り組みなどが報告された。これらの回答から、健康的な食事に対する知識だけでなく、日常生活の中で実践しようとする行動意識も一定程度存在することが示された。

### 3.2.2インタビュー調査

本研究では、生活習慣病予防のための具体的な食習慣のあり方について専門的な視点を得るため、栄養・健康分野を学ぶ専門学生2名にインタビュー調査を実施した。

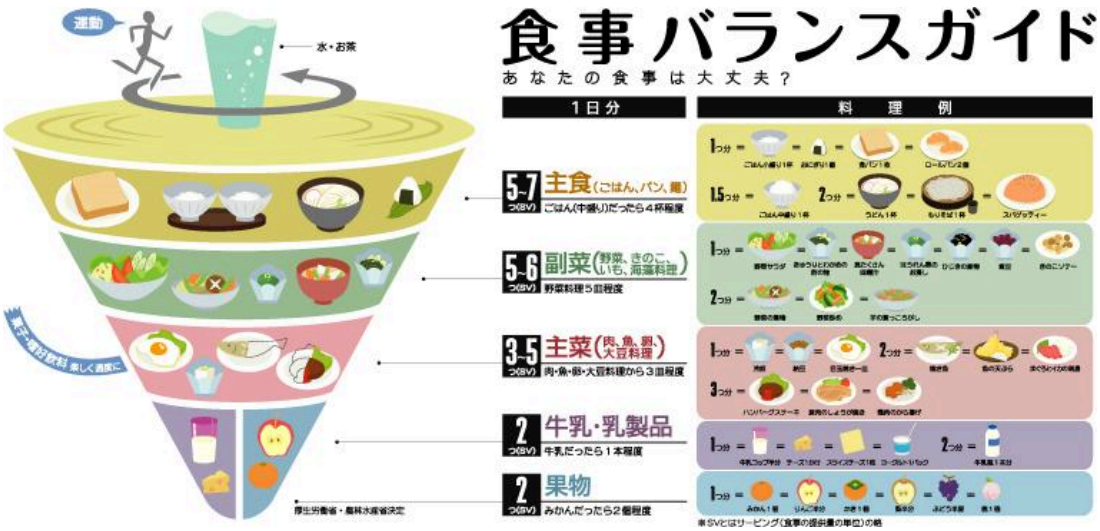
インタビューでは、健康維持のために重要な栄養の取り方について質問したところ、両名とも、ビタミンやミネラルなど特定の栄養素を意識して多く摂取することよりも、炭水化物・たんぱく質・脂質の三大栄養素を適切な割合でバランスよく摂取し、摂り過ぎを防ぐことが最も重要であると回答した。特に、近年は「特定の栄養素だけを強化する食品」や「極端な制限食」に注目が集まりやすいが、そのような偏った方法は長期的に継続しにくく、かえって栄養バランスを崩す可能性があるという指摘があった。また、適切な食事モデルとして、学校給食のように主食・主菜・副菜・汁物を組み合わせた献立形式が理想に近いという意見が共通していた。この形式は自然に栄養素の種類と量が分散され、エネルギー・たんぱく質・脂質・ビタミン・ミネラルを過不足なく摂取しやすい構成になっているためである。さらに、量の調整がしやすく、食べ過ぎの防止にもつながるという利点も挙げられた。加えて、「何を食べるか」だけでなく「食べ過ぎないこと」「毎日継続できること」が重要であるという点も強調された。これは、生活習慣病が日々の積み重ねによって影響を受ける性質を持つため、短期的な改善ではなく、無理なく続けられる食習慣が予防には有効であるという考えに基づいている。

以上のインタビュー結果から、生活習慣病予防のための食習慣改善においては、特定の栄養素への注目よりも、食事全体のバランス・適量・継続性を重視することが実践的かつ効果的であることが示唆された。

### 3.3 追加調査

何か特定の栄養素を多く摂るのではなく、栄養バランスの取れた食事が重要だという考えに変わったため、追加調査として栄養バランスの取れた食事について調べた。様々な記事や文献を読んだところ、多くで推奨されていたのが厚生労働省と農林水産省が決定した食事バランスガイドを基にした食事だった。食事バランスガイドとは、1日に、「何を」、「どれだけ」食べたらよいかを考える際の参考にしてもらえるように、食事の望ましい組み合わせとおおよその量をイラストでわかりやすく示したものだ。農林水産省は、「この「食事バランスガイド」は、健康な方々の健康づくりを目的に作られたものです。糖尿病、高血圧などで医師または管理栄養士から食事指導を受けている方は、その指導に従ってください。」としている。本研究では生活習慣病患者が生活習慣病を治すためではなく、現在健康な人が生活習慣病にかからないための予防が目的なので、図 1 に示した、この食事バランスガイドをぜひとも多くの人々に知って貰いたいと思った。

図 1




またバランスの取れた健康的な食事を作るコツを考えた。栄養バランスの取れた食事を継続するための方法として、1週間単位で献立を立てることが有効であるとされており、あらかじめ1週間分の食事を計画することで、栄養バランスを全体として調整しやすくなるだけでなく、毎日献立を考える負担を軽減することにもつながる。また、必要な食材をまとめて購入できるため、食品ロスの削減にも寄与する点が利点である。献立を作成する際の基本的な考え方として、「1食ごとではなく、1日全体で栄養バランスが取れていればよい」という視点が重要である。この視点により、日常生活の中でも無理なく継続することが可能となる。一方で、継続的に献立を考えることは負担となる場合もあるため、栄養バランスを考慮した献立を簡単に作成できるツールやアプリの活用も必要だと考えられる。(金丸, 2024)

　また、栄養バランスを意識した食事では、特定の栄養素に偏るのではなく、不足しがちな栄養素を多様な食材から補うことが重要であるとされている。そのためには、主食・主菜・副菜を基本としながら、食品の種類を増やすことが有効である。そして、食品は図２のように３つのグループに分けられていて各項目をバランス良く食べるのが大切だ。

図２

| グループ | 体内での効果 | 食品例 |
|---|---|---|
| 黄色のグループ | エネルギー源となり、体を動かす力になる | ごはん・パン・麺類・いも類・砂糖・油 |
| 赤色のグループ | 血や骨、筋肉を作るもとになる | 肉・魚・卵・大豆製品・乳製品・海藻 |
| 緑色のグループ | 体の調子を整え、病気に対する抵抗力を高める | 野菜・果物・きのこ類 |

しかし、バランスを意識していても不足しがちな栄養素がいくつかある。まず、穀物の摂取は食生活を見直すうえで重要な要素の一つである。穀物の摂取不足は、食物繊維やビタミン、ミネラルの不足につながり、便秘や生活習慣病のリスクを高めるとされている。特に白米や白いパンなどの精製された穀物に偏ると、食物繊維が不足しやすい。これに対し、玄米やオートミールなどの全粒穀物は食物繊維を多く含み、腸内環境の改善や血糖値の急上昇の抑制に寄与するため、生活習慣病予防への効果が期待される。

次に、野菜や果物の摂取も重要である。これらにはビタミン、食物繊維、抗酸化物質が豊富に含まれており、生活習慣病の予防に寄与するとされている。野菜不足の改善に向けては、厚生労働省が「毎日プラス一皿の野菜」を推奨しており、日常の食事に副菜や果物を意識的に取り入れることが求められている。

さらに、乳製品の摂取も見直すべき点である。カルシウムは骨や歯の形成だけでなく、神経伝達や筋肉の収縮など生命維持に重要な役割を担っている。しかし、実際の摂取量は推奨量を下回っていることが報告されており、慢性的な不足が課題となっている。乳製品を日常的に取り入れることで、カルシウム不足の改善が期待される。

最後に本研究では、五大栄養素の役割とその不足による影響について整理した。栄養バランスの重要性を明らかにするためには、各栄養素が人体にどのような働きを持つのかを理解する必要があるからだ。

・炭水化物

身体を動かし、生命を維持するためには、食べ物から得られるエネルギーが必要だ。主にエネルギーのもとになる栄養素が炭水化物、脂質である。1ｇあたり約4kcalのエネルギーを産生し主に脳や筋肉など、通常はぶどう糖(グルコース)しかエネルギー源として利用できない組織にぶどう糖を供給する。脂質と比較して消化吸収にかかる時間が短いので、すぐにエネルギーとなる。不足すると、エネルギー不足によって疲れやすくなり、集中力がなくなるといった状態になる。エネルギー源となる糖質、脂質が不足すると、身体は不足分を補うために、筋肉を分解してたんぱく質をエネルギー源として利用する。

・糖質

すぐにエネルギーとして使われなかった糖質は、インスリンの働きによって肝臓、筋肉に取り込まれ、グリコーゲンとして蓄えられるが、その量には限りがあるため、余った糖質は中性脂肪として蓄えられる。これは人類の長い歴史において飢餓に備えた仕組みだが、摂りすぎが続くと、肥満や生活習慣病の原因になる。糖質を効率よくエネルギーに変えるにはビタミンB群が必要であり、余分な糖を蓄えないためにも一緒に摂ることが大切だ。

・食物繊維

食物繊維は、人の消化酵素で消化できない栄養素で、水に溶けない不溶性食物繊維と水に溶ける水溶性食物繊維に分類することができる。小腸で消化吸収されずに大腸まで到達し、大腸の環境を整える腸内細菌のエサとなり、菌を増やす。便秘予防などの整腸効果だけではなく、血糖値上昇の抑制、血中コレステロール濃度の低下など、多くの生理機能が明らかになっている。

・脂質

脂質は、1ｇあたり約9kcalのエネルギーを産生し、炭水化物やたんぱく質よりも多いエネルギーを産み出すことができるため、身体は優先的に、脂質をエネルギーとして蓄えると考えられている。神経組織、細胞膜、ホルモンなどを作るのに欠かせない栄養素であり、脂溶性ビタミン（A、D、E、K）の吸収を助ける働きもある。
主に小腸で消化され、種類によっていろいろな代謝経路を経て、効率の良いエネルギー源として利用されるほか様々な働きをする。余った脂質は、中性脂肪として蓄えられるが、過剰な摂取は、肥満や生活習慣病の原因になる。脂質が多く含まれる食品は、肉類・魚類の脂身、食用油脂（サラダ油、オリーブ油、ごま油など）、バターなどだ。

・たんぱく質

たんぱく質は、炭水化物、脂質と同じく、エネルギー産生栄養素に含まれる。20種類のアミノ酸が結合した化合物で、アミノ酸の数、種類、結合の順番によって、約10万種類のたんぱ

く質になる。体内で消化によりアミノ酸に分解され、筋肉や臓器、皮膚などの身体を構成する材料になったり、身体を調整するホルモン、酵素などの材料になったりする。また、神経伝達物質のもとにもなる。 不足すると、筋肉量の低下、免疫力の低下や、疲れやすい、集中力が落ちる、などの状態に陥る。たんぱく質を構成するアミノ酸は20種類だが、そのうち、体内で作ることができず、食べ物からとらなければならない9種類のアミノ酸を「必須アミノ酸」、体内で作ることができるアミノ酸を「非必須アミノ酸」と呼ぶ。

・ミネラル

ミネラルは無機質とも呼ばれ、身体を構成する主要な4元素（酸素・炭素・水素・窒素）以外のものの総称だ。骨や血液などの身体を作る材料であり、水分調整や、神経・筋肉の興奮性を調整するなど、身体のあらゆる機能を調整する役割もあるため、生きていく上で重要な栄養素となる。ミネラルも体内で作ることができないため、食べ物から摂る必要がある。不足した場合は様々な不調があらわれるが、摂りすぎた場合も過剰症や中毒を起こすものがある。

・カルシウム

カルシウムは身体に最も多く含まれるミネラルで、骨や歯の材料になる。体内ではほとんどが骨や歯に蓄えられているが、ごく一部はカルシウムイオンとして、血液や筋肉、神経内にあり、血管や筋肉の収縮調整、神経の伝達、ホルモン分泌のために使われている。したがって、身体をつくるものになるとともに、調子を整えてくれる働きもある。不足すると骨が十分に成長せず、骨粗鬆症の原因になる。カルシウムが十分であってもビタミンＤが不足するとカルシウムの吸収が悪くなるため、骨の成長のためには、どちらも一緒に摂ることが重要だ。

・鉄

鉄は、血液中の赤血球のヘモグロビンに多く存在する栄養素だ。体内では多くが赤血球や筋肉のミオグロビンに存在し、残りは肝臓や骨髄、筋肉に貯蔵鉄としてストックされている。鉄が不足すると、鉄欠乏性貧血になり、集中力の低下、頭痛、食欲不振、筋力低下や疲れやすいなどの状態に陥る。鉄には動物性食品に含まれるヘム鉄と、植物性食品に含まれる非ヘム鉄があり、ヘム鉄の方が吸収がよいと言われているが、動物性食品ばかりとっていると、同時に脂質の摂取が高くなるため、バランスよく摂ることが大切だ。またビタミンＣを一緒に摂ると吸収しやすくなる。

・ビタミン

ビタミンは、身体の機能を正常に保つために必要な栄養素で、体内ではほとんど合成することができないため、食べ物から摂る必要がある。ビタミンは水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンに分類できる。水溶性ビタミンは、血液などの体液に溶け込んでいるビタミンのことだ。ビタミンB群（B1、B2、B6、B12、ナイアシン、パントテン酸、葉酸、ビオチン）、ビタミンＣがこれに当たり、体内の様々な代謝に関わる。脂溶性ビタミンは、水に溶けない性質で主に脂肪や肝臓に蓄えられている。ビタミンＡ、ビタミンＤ、ビタミンＥ、ビタミンＫがこれ

にあたり、身体の機能を正常に保つ働きがあるが、摂り過ぎると過剰症を起こすこともある。脂溶性ビタミンを多く含む食品は、緑黄色野菜、うなぎ、さけ、いわし、ナッツ、ごま、大豆製品、きのこなどだ。

・ナトリウム

ナトリウムは、体内では多くが細胞の外の体液に存在し、身体の中の水分量を調整している。また、筋肉の収縮や、神経の情報伝達、栄養素の吸収・輸送などにも関与している。食べ物からは、主に食塩（塩化ナトリウム）として摂取され、通常の食事で足りなくなることはなく、とりすぎに注意する必要がある。

・カリウム

カリウムは、体内では多くが細胞内に存在し、ナトリウムと同じく、身体の中の水分量や、神経の興奮、筋肉の調整などに関わっている。ナトリウムを身体の外に出しやすくする作用があるため、食塩の摂りすぎを調整するのに役立つ。カリウムはあらゆる細胞の中に存在することから広く食品に含まれている。（味の素株式会社）

以上の調査から、五大栄養素は人が健康に生きていくうえで欠かすことのできない重要な要素であることが分かった。それぞれの栄養素は異なる働きを持ち、主に多く含まれる食品も異なるため、特定の栄養素に偏った食事では十分な健康維持は難しい。したがって、いずれの栄養素もバランスよく摂取することが重要であり、そのためには特定の食品に偏らず、多様な食品を組み合わせた食事を意識する必要がある。これらの追加調査により、栄養バランスのとれた食事の大切さを理解することができた。

図１:農林水産省(2010).「食事バランスガイド」について.

図２:金丸利恵　　未来献立献立提案サービス　味の素株式会社(2024).

## 3.4 考察

本研究では、生活習慣病予防と医療費抑制の関係を明らかにするために、文献調査、アンケート調査、専門分野の学生へのインタビュー、追加の文献調査を行った。その結果、健康的な食習慣は生活習慣病の発症リスク低下に関係している可能性が高く、さらにその実践が医療費の抑制につながる可能性があることが多面的に確認された。

文献調査では国民医療費の増加や生活習慣病になった場合の生涯医療費、生活習慣病の種類など、生活習慣病や医療費の関係を詳しく調査し、また、食習慣について当初の考えであった、野菜の摂取について調査した。

アンケート調査では、回答者全員が「日常の食生活は将来の健康に大きく影響する」と認識しており、食習慣の乱れが将来的な病気や医療負担の増加につながるという意識も共通していた。また、自由記述回答では、栄養バランス、三食の規則性、野菜摂取、偏食の回避などが重要視されており、健康的な食事の基本は特別な食品ではなく、日常的なバランスであることが示された。

インタビュー調査において、栄養を専門的に学ぶ学生からは、「特定の栄養素を多く摂取すること」を意識するよりも、炭水化物・たんぱく質・脂質の三大栄養素や五大栄養素を適切に組み合わせ、過剰摂取を避けることが重要であるとの見解が一致して示された。単に「〇〇を多く摂る」といった考え方ではなく、日々の食事全体の構成を整えることが健康維持の基本であるという意見であった。さらに、両名から共通して挙げられたのが、「学校給食のような食事構成が理想的である」という点である。学校給食は、主食・主菜・副菜・汁物などが組み合わされ、自然と栄養バランスが整うよう設計されている。また、量も適切に管理されているため、過不足を防ぎやすい。このような構成は特別な知識がなくても実践しやすく、継続可能な食事モデルであると評価された。

インタビュー後の追加調査で、様々な栄養素の働きを知り、それらをバランスよく摂取することが重要であり、そのためには特定の食品に偏らず、多様な食品を組み合わせた食事を意識する必要があることがわかった。栄養バランスのとれた食事の大切さを理解できた。

当初は、特定の栄養素を多く含むレシピを発信することが生活習慣病予防につながるのではないかと考えていた。しかし、インタビューや追加調査を通して、重要なのは「どの栄養素を強化するか」ではなく、「三大栄養素また五大栄養素を偏りなく摂り、1日3食を規則正しく続けること」であるという認識へと変化した。つまり、生活習慣病予防において重要なのは、栄養素単体への注目ではなく、食習慣全体のバランスと継続性であると考えられる。学校給食のような構成を一つのモデルとしながら、日常生活の中で無理なく実践できる食事設計を意識することが、将来的な健康維持につながる可能性がある。

以上の結果から、健康的な食習慣の普及と実践は、生活習慣病の予防を通じて受診頻度や重症化リスクを下げ、将来的には医療費の抑制につながる可能性が高いと考察される。特別な制限食ではなく、栄養バランス・適量・継続性を重視した日常的な食事改善こそが、個人の健康維持と社会全体の医療費負担軽減の両方に寄与する現実的な方法であると結論づけられる。

## 4.　結論

本研究では、生活習慣病予防の観点から健康的な食習慣が医療費に与える影響について検討した。文献調査、アンケート調査、専門分野の学生へのインタビュー調査を通して、生活習慣病は日常の食習慣と強く関係しており、栄養バランスの取れた食事を継続することが発症リスクの低下につながる可能性が高いことが確認できた。特に、特定の栄養素を過剰に意識するのではなく、様々な栄養素を摂るための五大栄養素のバランス、野菜や魚介類の摂取、食べ過ぎの防止、継続可能な食事スタイルが重要であることが、先行研究と実地調査の両方から共通して示された。生活習慣病は発症後に長期的な治療や管理を必要とする場合が多いため、予防段階での食習慣改善は、結果として受診機会や治療負担の減少につながると考えられる。

以上により、健康的な食習慣の普及と実践は、生活習慣病予防を通じて将来的な医療費の抑制に寄与する可能性が高く、医療費の持続可能性を高める有効なアプローチであると結論づける。

## 5.　展望

今後は、本研究で得られた知見をもとに作成した栄養バランスの良い食事メニューをより多くの人が実践できる形で発信していくことが重要であると考える。学校教育や地域の健康活動、家庭での食生活改善に活用できる資料として整理することで、実際の行動変容につなげることが期待できる。

また、今回の調査は小規模であったため、今後は対象人数を増やしたアンケート調査や、実際の食習慣改善前後での体調変化や検査値の比較など、より客観的なデータに基づく検証も必要である。さらに、食習慣だけでなく運動や睡眠など他の生活要因と組み合わせた総合的な予防モデルについても研究を深めることで、より実用的な生活習慣病予防策の提案が可能になると考えられる。健康的な食習慣を「特別なもの」ではなく「日常の標準」にしていくことが、個人の健康寿命の延伸と社会全体の医療負担軽減の両立につながると期待される。

## 6.　謝辞

本研究を進めるにあたり、アンケート調査およびインタビュー調査にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。特に、北里大学保健衛生学院学生　管理栄養科の学生の方々には、専門的な視点から貴重なご意見をいただき、本研究の内容を深めるうえで大きな助けとなりました。

# 参考文献

・厚生労働省（2025）.
「令和5年度の国民医療費は48兆915億円、1人あたりでは38万6,700円で過去最高。」.
healthy-life21.com.
https://healthy-life21.com/2025/10/10/20251010-2/

・株式会社ティップネス（2024）.
「健康的な食事をしたい人は9割超だが実際にできている人は2割以下…。関心のある食事「1位グルテンフリー食事法」健康的な食生活を求めるトレンド」.
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000316.000009907.html

・りそなグループ（2024）.
「生活習慣病とは？種類・原因・予防法と備えるための保険」.
https://www.resonabank.co.jp/kojin/column/hoken/column_0013.html

・嘉麻市（2025）.
「特定健診を受診しましょう」.
https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/9/27471.html

・公益社団法人　千葉県栄養士会（2025）.
「健康を考える皆さまへ」.
https://www.eiyou-chiba.or.jp/commons/shokuji-kou/preventive/seikatusyukan/

・日本薬科大学薬学科　医療経済研究（2022）.
「薬剤師の判断による薬剤費削減方法の提案-メトホルミン塩酸塩錠を例として- 」.
https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202302214885705137&e=reference/article

・昭和大学医学部公衆衛生学教室（2003）.
「生活習慣と医療費との関連に関する研究」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsma1939/63/4/63_4_415/_pdf/-char/ja

・カゴメ株式会社健康事業部 女子栄養大学国際協力学研究室　（2020）.
「勤労者を対象とした栄養教育プログラムが野菜摂取行動に及ぼす効果」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/eiyogakuzashi/78/5/78_210/_pdf

・早渕 仁美　公立大学法人福岡女子大学大学院　人間環境科学研究科 栄養健康科学専攻教授（2015年1月1日）.
「和食文化の継承と健康づくりー減塩食の取り組みー」.
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/attach/pdf/haifu-4.pdf

・黒谷 佳代、中出麻紀子、瀧本 秀美（2018）.
「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事と健康・栄養状態ならびに食物・栄養素摂取状況との関連」.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/eiyogakuzashi/76/4/76_77/_pdf/-char/ja

・武見ゆかり　厚生労働省（2025).「自分で守り・つくるヒントがある！　考えてみよう　私自身の健康生活.広報誌「厚生労働」特集.
https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/2018/03_01.html

・井林雄太 かんぽ生命　すこやか健康ラボ（2025).
「実はあなたも生活習慣病予備軍！？」.
https://www.jp-life.japanpost.jp/health/column/health-lab_024.html

・農林水産省　（2010).
「食事バランスガイドについて」.
https://www.maff.go.jp/j/balance_guide/index.html

・金丸利恵　　未来献立献立提案サービス　味の素株式会社(2024).
「【管理栄養士監修】1週間分の栄養バランスの良い献立を立てるコツは？節約方法や献立例も紹介」.
https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/rd/miraikondate/column/article_019/

・味の素株式会社.「五大栄養素とは？健康寿命の延伸に役立つ栄養素を解説」.
https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/nutrition/myhealth/nutrition/five_major/

# ヴィーガン、ベジタリアンの持続可能性

新潟県立国際情報高校

## 1. 研究背景

近年、欧米諸国を中心に日本においてもヴィーガン人口は増加傾向にあり、食の選択として社会的な注目を集めている(観光庁,2025)。ヴィーガンが広がる背景には、生活習慣病の予防を目的とした健康志向の高まり、動物福祉への配慮、さらには畜産業が環境に与える負荷への懸念など、複数の要因が存在するとされている(工藤柊,2020)。一方で、ヴィーガン食が本当に健康に良いのか、また環境負荷の低減にどの程度寄与しているのかについては、一般的なイメージが先行しており、科学的根拠に基づいた十分な検討がなされているとは言い難い。そこで本研究では、ヴィーガンに関する既存の複数の学術論文を精読し、健康面および環境面における影響を整理・比較することで、ヴィーガン食の有効性と課題を明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

本研究では、ヴィーガン食が環境面および健康面に及ぼす影響を明らかにすることを目的として、文献研究を行った。文献検索には、医学・栄養学分野の学術論文を幅広く収録しているPubMedを用いた。検索式として「vegan diet AND environmental impact」を使用し、検索結果を過去5年以内に発表された論文に限定した。その結果、合計135件の論文が検索ヒットした。次に、検索ヒットした論文のタイトルおよび要旨を確認し、ヴィーガン食と環境影響との関連を直接的に扱っていない論文や、本研究の目的と関連性が低いものを除外した。さらに、査読付き学術誌に掲載されている論文を対象として精査を行い、最終的に本研究に関係のある30本の論文を分析対象として選定し、これらをDeepLを用いてAbstract, Conclusionなどを日本語に翻訳したものを読んだ。

健康面の評価に関しては、生活習慣病との関連、体格指数（BMI）、血中コレステロール値、栄養素摂取状況などに関する記述を中心に分析を行った。具体的には、ヴィーガン食が心血管疾患や糖尿病などの疾患リスクに与える影響、ならびにたんぱく質、ビタミンB12、鉄分などの栄養素の充足状況について各論文の結果を整理し、利点および課題の観点から比較・検討し、正の影響、負の影響を表(1)にまとめた。

一方、環境面の評価にあたっては、各論文に記載されている温室効果ガス排出量、土地利用、水資源消費などの指標に着目し、ヴィーガン食が環境負荷に及ぼす影響について整理・比較を行い、それらが与える正の影響、負の影響を表(2)にまとめた。以上の方法により、近年の学術論文を体系的に整理・比較することで、ヴィーガン食が健康面および環境面に及ぼす影響について多角的に検討した。

## 3.結果

表(1)には健康関連項目、関連論文数、ヴィーガンと健康の正負の影響を示した。各項目は対象論文のAbstractおよびConclusionをDeepLで翻訳し、その内容を基に要約したものである。

表(1)

| 健康関連項目 | 関連論文数 | ヴィーガンと健康の正の影響 | ヴィーガンと健康の負の影響 |
|---|---|---|---|
| 心血管疾患 | 10本 | LDLコレステロール、BMI、血圧の低下。心疾患リスクの低下が示唆される | EPA・DHA不足の可能性。長期的影響は不明な点が多い |
| 糖尿病（2型） | 6本 | インスリン感受性の改善、発症リスク低下 | 炭水化物中心の食事では血糖管理が不十分になる可能性 |
| がん | 7本 | 前立腺がん・消化器がんのリスク低下が示唆 | 一部のがんでは明確な関連が確認されていない |
| 栄養状態 | 12本 | 食物繊維、抗酸化物質の摂取量増加 | ビタミンB12、鉄、カルシウム、亜鉛不足のリスク |
| 骨健康 | 4本 | 体重減少による関節負担の軽減 | カルシウム・ビタミンD不足による骨密度低下の可能 |
| 神経・認知機能 | 3本 | 抗炎症作用により神経保護効果の可能性 | DHA・EPA不足が神経機能に影響する可能性 |
| 腸内環境 | 5本 | 腸内細菌多様性の向上、炎症低下 | 極端な食事制限で栄養バランスが崩れる可能性 |
| メンタルヘルス | 3本 | 生活習慣改善と生活の質向上 | 精神健康との直接的関連は一貫した結果がない |
| 妊娠・成長 | 2本 | 適切管理下では健康維持可能 | B12・鉄不足が胎児発育に影響する可能性 |

心血管疾患に関する論文は10本、糖尿病（2型）に関する論文は6本、がんに関する論文は7本、栄養状態に関する論文は12本、骨健康に関する論文は4本、神経・認知機能に関する論文は3本、腸内環境に関する論文は5本、メンタルヘルスに関する論文は3本、妊娠や成長に関する論文は2本であった。この結果から、ヴィーガン食と健康の関係については、心血管疾患や栄養状態など一部の分野では比較的多くの研究が行われている一方で、神経・認知機能、メンタルヘルス、妊娠・成長といった分野では研究数が限られていることが分かる。以上を踏まえ、本研究では、比較的多くの論文が存在し、一定の傾向を把握できる健康関連項目を中心に分析を行い、その結果を本研究の結果として考察した。

また、本研究で対象とした環境に関する論文は全10本あり、これらの論文では主に温室効果ガス排出量、土地利用、水使用量などの環境指標が用いられていた。表(2)には環境評価指数、関連論文数、ヴィーガン食と環境の正負の影響を示した。各項目は対象論文のAbstractおよびConclusionをDeepLで翻訳し、その内容を基に要約したものである。

表(2)

| 環境評価指数 | 関連論文数 | ヴィーガン食と環境の正の影響 | ヴィーガン食と環境の負の環境 |
|---|---|---|---|
| 温室効果ガス排出量 | 8 | 畜産由来食品の削減によりGHG排出量が大幅に低下する傾向が示された | 食品の加工度や輸入依存が高い場合、削減効果が限定的となる可能性 |
| 土地利用 | 6 | 動物性食品を植物性食品に置き換えることで、土地使用量が減少 | 特定作物への需要集中による土地利用の偏り |
| 水使用量 | 5 | 牛肉など水集約型食品の削減により水使用量が低下 | ナッツ類など一部作物は水使用量が多い |
| エネルギー使用量 | 4 | 全体として一次生産段階のエネルギー負荷は低い | 加工食品中心の食事ではエネルギー消費が増加 |
| 生物多様性 | 3 | 畜産縮小により生態系保全につながる可能性 | 単一作物栽培の拡大による生物多様性低下の懸念 |
| 富栄養化 | 3 | 窒素・リン排出の抑制が期待される | 作物生産における化学肥料使用の影響 |

環境に関する論文は全10本であり、多くの研究において、ヴィーガン食または植物性食品中心の食事は、温室効果ガス排出量や土地利用、水使用量の削減と関連していることが示された。特に、畜産由来食品の削減による温室効果ガス排出量の低下は、複数の研究で一貫して報告された。一方で、すべての研究が環境負荷の低減を示しているわけではなく、食品の加工度が高い場合や、特定の作物への依存が高い場合には、エネルギー使用量の増加や水資源への負荷、生物多様性への影響が指摘されていた。このことから、ヴィーガン食は環境面において一定の利点を持つ可能性があるものの、その効果は食事内容や評価指標によって異なることが示唆された。

## 4. 考察

本研究では、ヴィーガン食と健康および環境に関する複数の論文を整理・比較し、その研究傾向と内容を検討した。その結果、健康面では心血管疾患や栄養状態など、客観的指標を用いた評価が可能な分野に研究が集中している一方で、メンタルヘルスや妊娠・成長といった分野では研究数が限られていることが明らかになった。このことから、ヴィーガン食と健康の関係は分野によって研究の蓄積に偏りがあると考えられる。また、多くの研究において正の影響と負の影響が同時に示されており、ヴィーガン食が一様な健康効果をもたらすわけではないことが示唆された。特に、ビタミンB12やDHA、カルシウムなどの栄養素の不足は繰り返し指摘されており、適切な栄養管理の有無が健康への影響を大きく左右すると考えられる。

一方、環境面においては、ヴィーガン食や植物性食品中心の食事が温室効果ガス排出量の削減と関連していることが多くの論文で報告されており、畜産由来食品の削減が環境負荷軽減に寄与する可能性が示されていた。しかし、すべてのヴィーガン食が環境にとって望ましいとは限らず、特定作物への依存や加工度の高い植物性食品の大量生産は、水資源の過剰利用や生態系の変化、生物多様性への影響を引き起こすリスクも指摘されていた。このことから、ヴィーガン食は健康面・環境面の双方において利点を持つ可能性がある一方で、その影響は食事内容や生産・消費のあり方によって大きく異なり、単純に「良い」と評価できるものではないと考えられる。

## 5. 結論

本研究では、ヴィーガン食と健康および環境に関する既存の論文を整理・比較することで、その影響の特徴を明らかにした。その結果、健康面では分野によって研究の蓄積に偏りがあり、正の影響と負の影響が同時に報告されていることが分かった。また、環境面では温室効果ガス排

出量の削減と関連する可能性が示される一方で、生態系や資源利用への新たな負荷が生じる可能性も示唆された。これらのことから、ヴィーガン食は健康・環境の両面において利点と課題を併せ持つ食事形態であり、その評価には多角的な視点が必要であると結論づけられる。

6.参考文献


国土交通省 (2025)「ベジタリアン・ヴィーガン／ムスリム旅行者おもてなしガイド」. https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001740444.pdf

工藤柊 (2020 年 5 月 15 日).「「今日からお肉やめるよ。」若者からヴィーガンが広まる理由」. 毎日新聞.https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20200514/pol/00m/010/007000c

Łuszczki, E.(2023). Vegan diet: nutritional components, implementation, and effects on adults' health. Front Nutr, 10, 1294497.https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10665534/

Tian Wang.(2023). Vegetarian and vegan diets: benefits and drawbacks. Eur Heart J, 44(36), 3423-3439.https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10665534/

Giulia Viroli.(2023). Exploring Benefits and Barriers of Plant-Based Diets: Health, Environmental Impact, Food Accessibility and Acceptability. Nutrients,15(22),4723.https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10675717/

Nicole Neufingerl.(2021). Nutrient Intake and Status in Adults Consuming Plant-Based Diets Compared to Meat-Eaters: A Systematic Review. Nutrients,14(1),29.https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8746448/

Giulia Marrone.(2021). Vegan Diet Health Benefits in Metabolic Syndrome. Nutrients, 13(3), 817.https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC7999488/

Timothy J Key.(2022). Plant-based diets and long-term health: findings from the EPIC-Oxford study. Proc Nurt Soc, 81(2), 190-198. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC7613518/

Vicente Javier Clemente-Suárez.(2025). Impact of Vegan and Vegetarian Diets on Neurological Health: A Critical Review. Nutrients, 17(5), 884. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11901473/

Winston J Craig.(2021). The Safe and Effective Use of Plant-Based Diets with Guidelines for Health Professionals. Nutrients, 13(11), 4144. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8623061/

Denise Filipino.(2023). Environmental Impact of Two Plant-Based, Isocaloric and Isoproteic Diets: The Vegan Diet vs. the Mediterranean Diet. Int J Environ Res Public Health, 20(5), 3797. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10001513/

Stacy Loeb.(2021). Association of plant-based diet index with prostate cancer risk. Am J Nutr, 115(3), 662-670. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8895206/

Emmanuel O Mensah.(2024). Exploring the effect of different diet types on ageing and age-related diseases. Nutrition, 129,112596. https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0899900724002454?via%3Dihub

Ogita Palma.(2023). The Effects of Vegan Diet on Fetus and Maternal Health: A Review. Cureus,15(10),e47971. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10685994/

Sávio Fernandes.(2024). Exploring Vitamin B12 Supplementation in the Vegan Population: A Scoping Review of the Evidence. Nutrients, 16(10), 1442. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11124153/

Natasha Gupta.(2025). Systematic review of the impact of a plant-based diet on prostate cancer incidence and outcomes. Prostate Cancer Prostatic Dis, 25(3), 444-452. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC12522196/

Gabrielle Viscardi.(2024). Effect of Soy Isoflavones on Measures of Estrogenicity: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials. Adv Nutr, 16(1), 100327. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11784794/

Andrew Knight.(2023). The relative benefits for environmental sustainability of vegan diets for dogs, cats and people. PLoS One, 18(10), e0291791. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10550159/

Michail Koutentakis.(2023). The Effect of a Vegan Diet on the Cardiovascular System. J Cardiovascular Dev Dis, 10(3), 94. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC10052889/

Berill Takacs.(2025). Menu Dilemmas: An Integrated Assessment of the Nutritional Quality, Environmental Impact, and Cost of Vegan, Vegetarian, and Meat-Based Versions of Meals. Nutrients, 17(9), 1569. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC12073478/

Guliyeerke Jigeer.(2025). Vegetarian diet and healthy aging among Chinese older adults: a prospective study. NPR Aging, 11(1), 25. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11961757/

Elizabeth Brits.(2025). Influence of a Vegan Diet on Child Health and Development: A Scoping Review. Nutr Rev, 00(00), 1-26. https://academic.oup.com/nutritionreviews/advance-article/doi/10.1093/nutrit/nuaf070/8145562

Kasper Yde Jensen.(2025). Effects of vegetarian and vegan diets on disease activity, pain, fatigue, and physical function in patients with rheumatoid arthritis: A systematic review and meta-analysis. Joint Bone Spine, 92(6), 105958. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1297319X25001204?via%3Dihub

Wear Al-Refai.(2025). The Influence of Vegan, Vegetarian, and Omnivorous Diets on Protein Metabolism: A Role for the Gut–Muscle Axis?. Nutrients, 17(7), 1142. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11990293/

Bryan D Badal.(2024). Substitution of One Meat-Based Meal With Vegetarian and Vegan Alternatives Generates Lower Ammonia and Alters Metabolites in Cirrhosis: A Randomized Clinical Trial. Clin Transl Gastroenterol, 15(6), e1. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11196077/

Luis A Moreno.(2021). Perspective: Striking a Balance between Planetary and Human Health—Is There a Path Forward?. Adv Nutr, 13(2), 355-375. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8970843/

Verena Rossa-Roccor.(2021). The association between diet and mental health and wellbeing in young adults within a biopsychosocial framework. PLoS One, 16(6), e0252358. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8174719/

Catarina Carvalho.(2025). Health and environmental impacts of shifting to plant-based analogues: a risk-benefit assessment. Eur J Nutr, 64(5), 234. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC12228673/

Kristof Dhont.(2024). Similarities and differences between vegetarians and vegans in motives for meat-free and plant-based diets. Appetite, 195, 107232. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0195666324000333?via%3Dihub

Tzyy-Ling Chuang.(2020). Effects of vegetarian diet on bone mineral density. Tzu Chi Med J, 33(2), 128-134. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC8059457/

Laura Harrison.(2024). Effects of a cafeteria-based sustainable diet intervention on the adherence to the EAT-Lancet planetary health diet and greenhouse gas emissions of consumers: a quasi-experimental study at a large German hospital. Nutr J, 23, 80. https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11256364/

Rachel Mazac.(2023). Environmental and nutritional Life Cycle Assessment of novel foods in meals as transformative food for the future. Sci Total Environ, 876, 162796. https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0048969723014122?via%3Dihub

# 地域社会から考える環境対策の持続可能性について

## 1.研究背景・仮説

日常生活の中で節電や節水、ゴミの分別など環境に配慮した行動を行う時、それらの行動が具体的にどのような環境問題の解決につながっているのか、また社会全体として十分な対策が取られているのかについては、あまり意識していない人が多数なのではないだろうか。ニュースでは地球温暖化や海洋プラスチック問題、森林破壊などが取り上げられているが、自分たちの住む地域でどのような環境対策が行われているのかを知る機会は少ないと感じた。

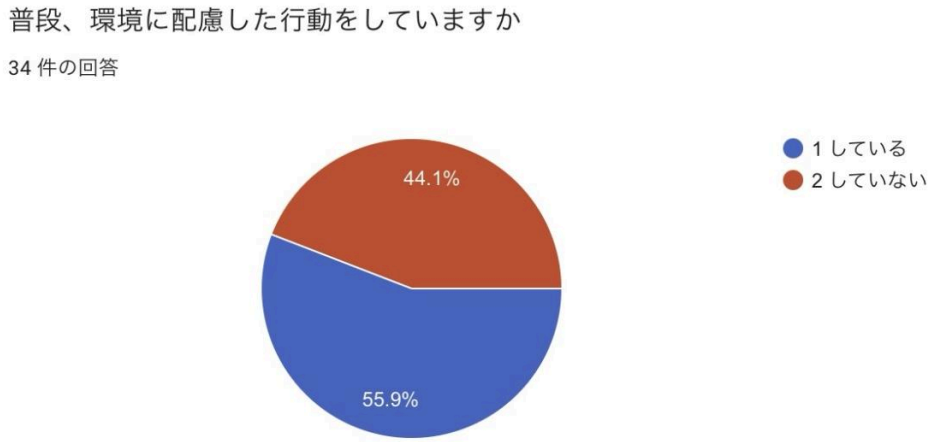
環境省が公表した「令和7年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」によれば、日本は制度や政策の面では環境問題への対応を進めているものの、実行のスピードや実効性には課題があり、地域との連携強化が求められている。また、鈴木潤の「日本の環境技術の国際競争力に関する再考」では、日本は高い環境技術を有している一方で、水素インフラ整備の遅れや政策との連携不足により、その技術を十分に活かしきれていないと指摘されている。さらに、柳下正治教授の「韓国の廃棄物管理・循環型社会政策（日韓の政策比較）」では、日本は行政主導の傾向が強く、地域住民の主体的参加が制度的・文化的に弱いことが課題として示されている。仁科信春は、市民参加には時間的制約などのバリアがあり、特に子育て世代の参加が難しい現状を指摘している。加えて、OECDの「Environmental Performance Reviews: Japan」でも、日本は省エネルギーや廃棄物処理技術で高い水準を維持していると評価される一方、再生可能エネルギーの導入や地域主導の気候変動対策、市民参加の促進には改善の余地があるとされている。

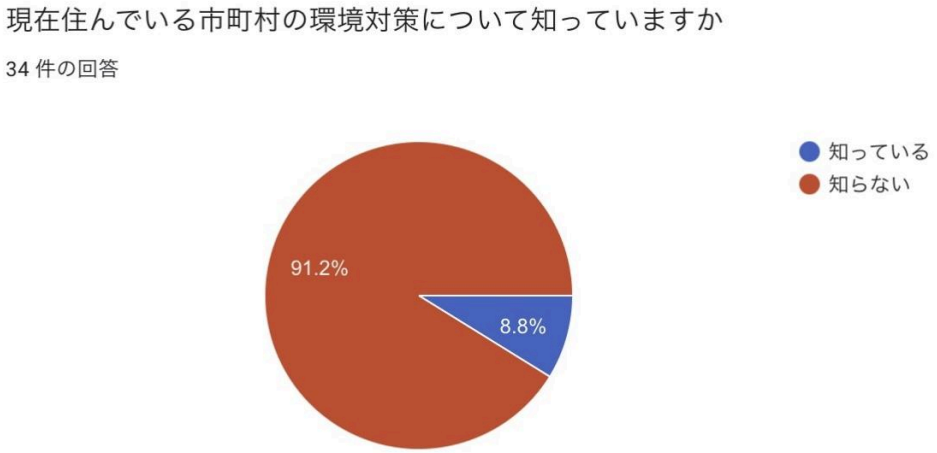
以上のことから、日本は制度や技術の面では一定の成果を上げているものの、それを地域レベルで十分に活かしきれておらず、住民参加や情報共有の不足が課題であると考えられる。そこで本研究では、「地域が行っている環境対策が住民に十分に知られていないため、住民の環境意識や行動の向上につながりにくいのではないか」という仮説を立てた。また、「環境に良いと理解していても、日常生活の中で継続して実践することは難しいのではないか」という点についても検討したい。

## 2.研究方法

この研究では、同学年の生徒を対象としてアンケート調査を実施した。年齢や生活環境が比較的近いため、意識の傾向を調べるには適していると考えた。
アンケートは無記名で行い、質問内容として次の2つの質問を行った。
質問1 ：普段、環境に配慮した行動をしていますか。
選択肢：「している」「していない」
質問2 ：現在住んでいる市町村の環境対策について知っていますか。
選択肢：「知っている」「知らない」
数値の比較を中心に、傾向を把握することを重視した。

## 3.実験結果




本研究ではアンケートの結果のみでは研究結果として不十分であると感じたため、より研究目的に近づくための研究内容に関する文献調査を行った。

〈アンケートによる調査結果〉

質問1「普段、環境に配慮した行動をしていますか」では、「している」と答えた人が55.9%、「していない」と答えた人が44.1%であった。この結果から、半数以上の生徒が何らかの形で環境に配慮した行動をしていると自覚している一方で、約半数は特に意識して行動していないことが分かる。割合としては大きな差がなく、環境に配慮した行動がまだ習慣として定着していない生徒も多いと考えられる。

次に、質問2「現在住んでいる市町村の環境対策について知っていますか」では、「知っている」と答えた人が8.8%、「知らない」と答えた人が91.2%であった。この結果から、ほとんどの生徒が自分の住んでいる地域でどのような環境対策が行われているのかを知らないことが明らかになり、質問1では半数以上が環境に配慮していると答えているにもかかわらず、質問二では地域の取り組みについてはほとんど知られていないという点が大きな特徴であるといえる。

〈文献による調査〉
　環境省（2025年）の調査によると、環境問題に関心があると答えた人は多数を占めている。しかし、日常的に環境配慮行動を継続して実践している人の割合は、それよりも低いことが明らかになっている。 例えば、省エネやごみ削減などの行動を習慣化している人は限られている。その背景には、手間や費用、利便性の問題などがあると考えられる。
このことから、環境意識と実際の行動との間にはギャップが存在しているといえる。
　また、SDGs（持続可能な開発目標）の認知は約82％と高いものの、日常生活で環境に配慮した行動（例えば省エネ・エコ商品選択など）を実践している人はそれほど多くないという傾向が確認されている。

**4.考察**

　本研究では、環境配慮行動を「している」と答えた生徒は半数を超えた一方で、地域の環境対策を「知らない」と答えた生徒が9割以上にのぼった。この結果から、個人の行動と地域政策が十分に結びついていない可能性が示された。

　実際に、横浜市は「ヨコハマ3R夢プラン」によりごみ排出量を大幅に削減したが、その背景には市民への継続的な広報と成果の数値化があった。また、ソウルでは食品廃棄物の重量制課金制度を導入し、排出量削減を実現している。どちらも、行動の成果を「見える化」し、市民の参加を制度的に支えている点が共通している。

　これらの事例と比較すると、本研究で明らかになった「地域対策の認知不足」は、環境意識向上の妨げになっていると考えられる。今後は、成果の可視化や学校と自治体の連携強化などにより、個人の行動と地域政策を結びつける工夫が必要である。

**5参考文献**

・　令和7年版 環境・循環型社会・生物多様性白書　環境省　（2025年）
https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r07/index.html

・日本の環境技術の国際競争力に関する再考　鈴木潤　（2021年）
https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001204641578752

・韓国の廃棄物管理・循環型社会政策（日韓の政策比較）　柳下正治（2027年）
https://www.oecc.or.jp/cms/wp-content/uploads/2017/05/62p15.pdf#

・「環境まちづくりに向けた実践的な市民参加の方法論」 仁科信春 （2018年）
http://gku-repository.gku.ac.jp/bitstream/11207/2204/1/ronshu 56%282%29_087_nishina.pdf

・「Environmental Performance Reviews: Japan」 OECD（2025年）
https://www.oecd.org/en/publications/oecd-environmental-performance-reviews-japan-2025_583cab4c-en.html

・「ヨコハマ3R夢プラン」 横浜市 （閲覧日2025年2月18日）
https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/shigen/sonota/hoshin/3r-plan/3rm.html

・韓国環境部(MOE)プレリリース 「海外ニュース」環境展望台 （閲覧日2025年2月18日）
https://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=8844

・ASUENE MEDIA　アスエネ株式会社 （閲覧日2025年2月18日）
https://asuene.com/media/45/

・2050年カーボンニュートラルに向けた我が国の課題と取組　資源エネルギー庁
（閲覧日2025年2月19日）
https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2021/html/1-2-3.html

・環境問題の現状と原因　EARTH NOTE（閲覧日2025年2月19日）
https://www.yoridori.jp/earth-note/environmental-issues/

・「地球温暖化の現状と未来予測」～その原因と対策　株式会社エネテク
（閲覧日2025年2月19日）https://enetech.co.jp/guide/global-warming/

# リニア型経済から循環型経済への持続可能性

## 1.研究背景

近年、地球温暖化や生物多様性の損失・資源枯渇といった環境問題が深刻化している。その背景には大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とする従来の経済活動があり、資源を一方向的に採掘・生産・廃棄する「線形経済(リニア型経済)」が環境への大きな負荷を生んできたことが指摘されている。(環境省,2024a)

こうした状況を受け、日本では「循環型社会形成推進基本法」(環境省, 2000)に基づき「循環型社会形成推進基本計画」(環境省,2024a)を策定し循環経済への移行を国家戦略として進めてきた。第六次環境基本計画(環境省, 2024b)では資源やエネルギーの利用において天然資源の消費を抑制し資源を効率的かつ循環的に活用することで環境負荷の低減と経済成長さらには国民一人一人のウェルビーイングの向上を同時に実現する「循環共生型社会」を目指すことが示されている。また国連環境計画国際資源パネル(UNEP IRP)の「世界資源アウトルック2024」(UNEP IRP, 2024)によれば世界の天然資源の採取および加工は地球全体の温室効果ガス排出量の55%以上、陸域の生物多様性の損失や水ストレスの90%以上の要因となっている。このことから資源効率性や循環性を高め天然資源の利用を削減することは気候変動対策や生物多様性保全といった複数の環境問題を同時に解決する上で極めて重要であるとされている。

しかし循環経済への転換は進められているものの現状では完全な移行には至っていない。循環利用率は近年横ばい、あるいは減少傾向にあり、企業や自治体による取組だけでなく消費者の意識や行動が循環型社会の実現に大きく影響していると考えられる。さらに企業が環境に配慮した取組を行うことが実際に売上の成長や企業価値の向上につながっているのかまた環境配慮商品を購入する主体である若年層がそれらをどのように捉え行動に結びつけているのかについては十分に明らかにされていない。(環境省, 2024a)

## 2.研究目的・意義

本研究の目的は企業が行っている環境配慮の取組が売上の推移とどのような関係にあるのかを明らかにするとともに、環境配慮商品を購入する主体である若年層がそれらの商品をどのように捉え、購買行動に結びつけているのかを把握することである。循環経済や環境配慮の重要性が指摘される一方で、企業の取り組みが必ずしも売上の成長につながっているとは限らず、また消費者の環境意識が実際の購買行動に十分反映されていない可能性がある。本研究では企業の売上データの分析と高校生へのアンケート調査を組み合わせることで循環経済への移行が進みにくい要因を企業側と消費者側の両面から明らかにすることを目指す。このことは今後の企業の環境配慮型製品の開発や、若年層への効果的な情報発信の在り方を考える上で意義がある。

## 3.仮説

本研究ではリニア型経済は環境負荷というデメリットを持つ一方で、売上の確保や経済成長という点において依然として大きなメリットを有しているという仮説を立てた。

従来の大量生産・大量消費を前提とするリニア型経済は環境への悪影響が指摘されている(環境省, 2024a)ものの、低コストで商品を供給できるため消費者にとって価格面で選びやすく結果として企業の売上を安定的に伸ばしやすい構造を持っていると考えられる。特に価格を重視する

傾向の強い消費者が多い場合環境への配慮が不十分であっても安価な商品は選ばれ続ける可能性が高い。

また企業側においても環境配慮への取り組みは中長期的には重要であるものの短期的にはコスト増加につながる場合があり必ずしも売上の増加に直結するとは限らない。そのため現状では環境負荷が大きいとされるリニア型の生産・販売モデルであっても経済的合理性の観点から採用され続けていると考えられる。

以上より本研究では消費者が価格を重視する傾向を持ち企業が売上の安定を優先する現状においては環境面の課題を抱えながらもリニア型経済の方が総合的なメリットが大きいと判断されやすいという仮説のもと消費者アンケートと企業の売上データ分析を通して検証を行う。

**4.**研究方法

消費者側の意識や行動を把握するため県内の公立高校に通う高校2年生45名を対象にアンケート調査を実施した。本調査では環境配慮商品に対する価格意識や購買判断の基準に着目し飲料を例とした設問を設定した。

①アンケート調査(消費者側)

Q1.150円の通常のペットボトル飲料と150円のリサイクル素材ボトル飲料のどちらを購入したいか

Q2.150円の通常のペットボトル飲料と180円のリサイクル素材ボトル飲料のどちらを購入したいか

Q3.180円の通常のペットボトル飲料と150円のリサイクル素材ボトル飲料のどちらを購入したいか

Q4.今回の飲料を想定した場合環境配慮商品に対していくらまでなら追加で支払えると思うか

Q5.普段環境に配慮した商品を購入する頻度

またQ1からQ3については選択理由もあわせて回答してもらい、価格・環境への配慮・品質などのどの要因が購買判断に影響しているのかを分析した。理由を5つに分類し割合を示した。

②文献調査・公開データ分析

企業側の環境配慮の取組と経済的成果の関係を明らかにするため企業の売上データの分析を行った。分析対象には環境省が公開している「大企業の取組事例データベース」に掲載されている環境問題対策に取り組んでいるとされる企業を用いた。(環境省, 2025)本研究では同データベースに掲載されている企業のうち日本経済新聞において2021年度から2025年度までの売上データを確認することができた企業について、可能な限り網羅的に分析を行った。(日本経済新聞, 2026)分析には各企業の2021年度から2025年度までの5年間の売上高を用いた。企業間での比較をしやすくするため2021年度を基準年100とする指数に変換し売上推移をグラフ化した。その後企業を13の業界に分類し業界ごとに売上推移の平均値を算出することで業界別の傾向を比較・分析した。なお本研究で用いた環境省の事例データベースは大企業の取組事例を対象としており、中小企業については同一条件で売上データを継続的に取得することが困難であった。そのためデータの比較可能性を確保する観点から本研究では分析対象を大企業に限定した。

**5.**結果・考察

①アンケート調査

価格が同じ条件を想定したQ1およびQ3では「条件付きで環境に配慮する層」と「環境を重視する層」が多数を占めた。一方で価格のみを重視する回答は少数であり、価格条件に大きな差がない場合には環境への配慮を意識した選択がなされやすいことが示された。これに対し価格差が生じる条件を想定したQ2では、価格を最優先する回答が最も多くなり環境を重視する回答は大きく減少した。このことから価格差の有無が購買行動に強く影響していることが確認された。以上より環境配慮に対する意識は一定程度存在するものの、実際の購買行動は価格条件によって大きく左右されることが明らかとなった。

環境配慮商品に対して追加で支払える金額については少額であれば受け入れられると考える人が多い一方、金額が高くなるにつれて回答は減少する傾向が見られた。特に「10円以内であれば許容できる」とする回答が中心であり環境配慮への関心はあるものの価格に対しては依然として慎重な姿勢が取られていることが分かる。

普段の購買行動については「たまに環境に配慮した商品を購入する」と回答した人が大半を占めた。一方で常に環境配慮商品を選んでいるとする回答はほとんど見られなかった。この結果から環境に配慮した購買行動は一定程度行われているものの日常的な習慣として定着しているとは言い難い状況であることが示された。

②文献調査・公開データ分析

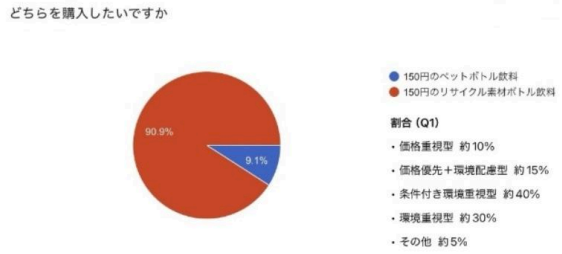
文献および企業データの分析からはほぼすべての業界において2021年度以降売上指数が上昇する傾向が確認された。特に自動車・輸送機器、医薬品・バイオ、機械・産業機械などの業界では継続的な成長が見られた。一方で業界ごとに売上推移には差があり、エネルギー・電力業界など一部の業界では年度によって増減が見られるなど売上の変動が確認された。

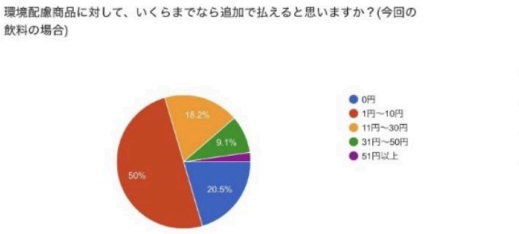
本研究ではアンケート調査と文献・データ分析を通して消費者の意識と企業の動向を比較した。その結果両者の間には必ずしも単純な一致が見られないことが明らかとなった。

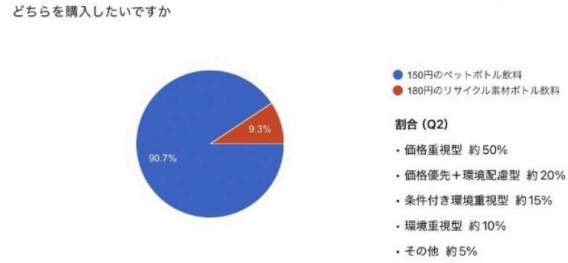
まずアンケート調査の結果から高校生は環境問題に対する関心を一定程度持っているものの実際の購買行動においては価格を重視する傾向が強いことが分かった。特に価格差が生じる場合には環境配慮よりも安さを優先する回答が多く、環境意識があっても行動に移すには経済的な制約が大きく影響していると考えられる。また少額であれば追加支払いを受け入れる回答も多く環境配慮を完全に否定しているわけではない点が特徴的である。一方文献・データ分析では、多くの業界において売上指数が年々上昇しており、特に大企業を中心に環境配慮や持続可能性への取り組みが進んでいることが確認された。この結果だけを見ると「環境配慮を行っている企業ほど売上が伸びている」と解釈することも可能である。

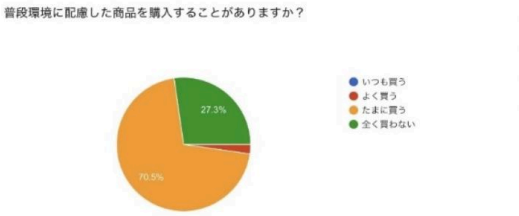
しかしここで注意すべき点として売上の増加が必ずしも環境配慮そのものによる影響とは限らないという点が挙げられる。大企業はもともと知名度や資本力、流通網を持っており、環境配慮を行っていなくても一定の売上を確保できる立場にある。そのため「環境に配慮しているから売れている」のではなく「大企業だから売れている」可能性も否定できない。また逆に大企業であるからこそ社会的責任が求められ環境配慮に取り組まざるを得ないという側面も考えられる。近年では企業の環境対応が評価や信頼に直結する場面が増えており、環境配慮は売上を直接伸ばす要因というよりも企業が社会から選ばれ続けるための前提条件になりつつあると考えられる。

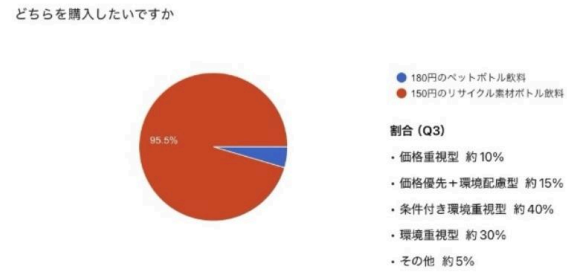
以上のことから消費者である高校生は価格を重視する傾向が強い一方で企業側では将来を見据えて環境配慮を進めているという構図が見えてくる。この意識と行動のギャップを埋めるためには環境配慮商品を「高いもの」ではなく「無理なく選べるもの」として提供する工夫が今後ますます重要になると考えられる。

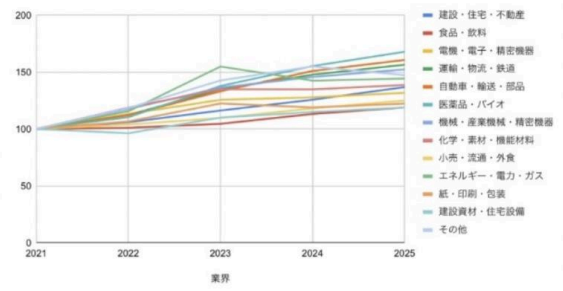



①アンケート結果 / ②文献調査・公開データ分析

**6.結論及び今後の展望**

本研究の結果から消費者側と企業側の環境配慮に対する意識や行動には明確なギャップが存在することが示された。高校生を対象としたアンケート調査では環境問題に対する関心は一定程度認められるものの実際の購買行動では価格を重視する傾向が強く、特に価格差がある場合には環境配慮よりも経済的な要因が優先されることが明らかとなった。加えて少額であれば追加支払いを受け入れる傾向がある一方で、日常的に環境配慮商品を選ぶ習慣はまだ定着していないことも確認された。一方で企業側のデータ分析ではほぼすべての業界で売上指数が年々上昇しており、特に自動車・輸送機器、医薬品・バイオ、機械・産業機械の分野では顕著な成長が見られた。このことから大企業を中心に環境配慮や持続可能性への取り組みは進展していると考えられる。しかし、売上の増加が直接的に環境配慮によるものとは限らず、企業規模や既存の市場優位性も影響していることに留意する必要がある。

以上を踏まえると現状では消費者の環境意識と企業の環境配慮の取り組みの間に乖離があることが明らかとなった。高校生などの若年層は環境配慮商品を選ぶ意識を持ちながらも価格や利便性などの経済的制約によって実際の行動が制限されており企業の取り組みが直接的に購買行動につながるわけではない。一方で企業は将来的な市場の持続性や社会的評価を見据え

て環境配慮を進めており環境配慮は売上増加の直接要因というよりも社会から選ばれ続けるための条件として重要性を増している。

以上の結果を踏まえ、本研究を通して私は環境問題に対する意識があっても実際の行動には価格などの現実的な制約が大きく影響することを実感した。特に自分自身も普段の購買行動において価格を優先してしまうことがあり意識と行動の間にギャップがあることに気づいた。この経験から人々の行動を変えるためには単に意識を高めるだけでなく無理なく選択できる仕組みづくりが重要であると考えるようになった。今後は高校3年生として進路を考える中で人々の健康や生活に関わる分野に関心を持ち続けたいと考えている。大学では医薬品や健康に関する知識を学ぶとともに人々がより良い選択をできるよう支援する方法についても考えていきたい。将来的には、薬学の知識を活かしながら情報提供や仕組みづくりを通して、人々の行動変容を支える役割を担いたい。

**7.**参考文献


環境省(2024a).「循環型社会形成推進基本計画 ～循環経済を国家戦略に～ 令和6年8月」.

https://www.env.go.jp/content/000242999.pdf 2026年3月17日.

環境省(2024b).「第六次環境基本計画 概要」.
https://www.env.go.jp/council/content/i_01/000225216.pdf 2026年3月17日.

UNEP International Resource Panel. (2024). *Global Resources Outlook 2024*.
https://wedocs.unep.org/handle/20.500.11822/44917 2026年3月17日.

環境省(2025).「大企業 取り組み事例」.
https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/net/jirei_db_00503.html 2026年3月17日.

環境省(2025).「中小企業 取り組み事例」.
https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/net/jirei_db_00524.html 2026年3月17日.

経済産業省(2025).「サーキュラーエコノミーに関するサイト」.
https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/shigenjunkan/circular_economy/action/index.html 2026年3月17日.

環境省(2025).「国家戦略としての循環経済(サーキュラーエコノミー)の実現」.
https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001845567.pdf 2026年3月17日.

日本経済新聞(2026).「売上高ランキング」.
https://www.nikkei.com/marketdata/ranking-jp/net-sales/ 2026年3月17日.

環境省(2012).「消費者が購買行動の際に必要とする情報について」.
https://www.env.go.jp/policy/hozen/eco_shopping/conf02/01/mat03.pdf 2026年3月17日.

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(2025).「サーキュラーエコノミー戦略ガイドサーキュラーエコノミーにおいてインパクト志向の企業を目指すための段階的ガイド」.

https://www.ww.or.jp/activities/data/20251023ocean00.pdf 2026年3月17日.

野田由美子(2025).『サーキュラーエコノミー』日本経済新聞出版.

梅田靖(2021).『サーキュラーエコノミー：循環経済がビジネスを変える』草書房.

中石和良(2020).『サーキュラーエコノミー：企業がやるべきSDGs実践の書』ポプラ社.

ピーター・レイシー(2020).『サーキュラー・エコノミー・ハンドブック競争優位を実現する』日本経済新聞出版.

磯貝友紀(2024).『必然としてのサーキュラービジネス「利益」と「環境」を両立させる究極のSX』日経BP.

白野圭(2023).『サーキュラーエコノミーで何が起きる』日経BOOK.

トーマス・ラウ(2025).『マテリアル循環革命サーキュラーエコノミーが拓くビジネスと社会の未来』彰国社.

水野大二郎(2022).『サーキュラーデザイン：持続可能な社会をつくる製品・サービス・ビジネス』学芸出版社.

笹尾明(2023).『循環経済入門廃棄物から考える新しい経済』岩波書店.

# 読書の持続可能性について

## 1、研究背景

「活字離れ」という言葉を耳にしたことはあるだろうか。Weblio辞書では、活字離れを次のように定義している。

> 一般に識字率（文字を読み書きする能力を有する者の全体に対する割合）が上昇すると、活字媒体の利用率も上昇する。しかし、識字率が非常に高い値を維持し続けている国や地域においては、インターネットなど他メディアの躍進などによって書籍や新聞などの活字媒体の利用率がある程度低下する場合があり、この現象を「活字離れ」という。

活字離れは、しばしば近年の出版不況の原因として、社会問題の一つとされている。

日本の出版業界は、1990年代末から不況が続いている。日本出版学会によれば、出版物の売り上げは、1996年の2兆6563億円をピークとして、2017年には1兆3701億円と約1兆3000億円減少している。このことから、読書というコンテンツは衰退してきているのではないだろうか。このような現状を踏まえて、本研究では、読書の持続可能性や、デジタル化社会における読書形態の変化について考察していく。

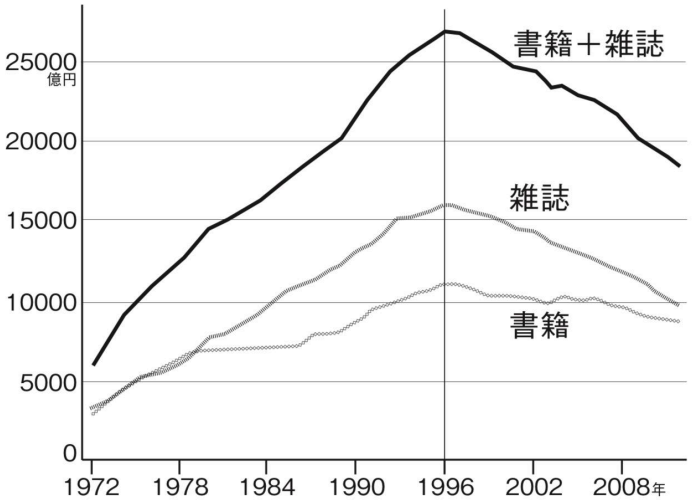



図1 本の売り上げの変遷（日本出版学会）

# 2、研究方法

本研究では、文献調査を中心として読書の持続可能性について考察していく。事前に行ったアンケートでは、本校の生徒の読書の実態について調査を行ったが、十分な結果を得られなかった上に、先行調査をしていく中で、「学生の活字離れは虚実である」という意見が数多く見受けられたため、途中から文献調査に切り替えて研究を行った。

# 3、文献調査

### 3-1 活字・読書離れ

出版産業がピークアウトした1990年代半ばより、読書離れは大きな社会問題として取り上げられるようになった。読書離れを「日本語の乱れ」や「考える力の減退」といった様々な他の現象と関連付ける言論が目立つ。「活字離れは若者の問題」という意識も強い。

社団法人の全国学校図書館協議会は毎日新聞と共同で、1968年（昭和43年）より毎年1回、「5月中に読んだ本の冊数」という調査を行っている。

高校生の調査結果を見ると、1970年代（昭和45年 - 昭和54年）の平均4.5冊から1980年代（昭和55年 - 平成元年）に上昇し、平均7.4冊（1984年（昭和59年）と1988年（昭和63年））まで達した。1990年代（平成2年 - 平成11年）には低下傾向となったが、2000年代（平成12年 - 平成21年）に入って急上昇し、波はあるものの2003年（平成15年）には平均8冊、2004年（平成16年）にも7.7冊という高水準を記録した。

小学校・中学校の児童・生徒の調査結果は長らく平均1 - 3冊の水準（小学生で1.5冊未満、中学生で2冊前後）だったが、2000年代（平成12年 - 平成21年）になると高校生と同じく急上昇し、2004年（平成16年）調査では小学生で1.8冊、中学生で3.3冊という調査開始以来の高水準に達した。

逆に「5月中、全く本を読まなかった」いわゆる無読率は高年齢層ほど高く、1980年代（昭和55年 - 平成元年）後半から1990年代（平成2年 - 平成11年）にかけては、高校生の約60%、中学生の約50%、小学生の約15%であった。しかし2004年（平成16年）調査での無読率は高校生42.6%、中学生18.8%、小学生7%と減少している。

このような結果から、「読書離れは若者の問題」という意見と同時に、「若者の読書離れは嘘である」という意見も数多く存在する。

ただし、「読書離れ」や「活字離れ」を議論するときに、インターネットは巨大な活字媒体であるという視点からの発言は少ない。インターネット上での情報伝達の多くは（YouTubeなどの動画を除けば）活字である。また、若年層には無料媒体（BookLiveや bookwalker等）を利用する者も少なからずいるだろう。また、「活字を読む側」だけだった立場から、作家や編集者、ライターと同様の立場で「活字を発信する側」に立つ人が、ブログやEメールといった「デジタル活字」の出現によって格段に増えたのは、活字を通じた多様な文化形成に貢献しているといえるだろう。このようなことも踏まえると、また今とは違った意見や結論が出るかもしれない。

「活字」＝「文字媒体」としたときに、紙媒体に載っている文字だけが「活字」だとするならば、「活字離れ」の議論も「（新聞・書籍などに限定された）狭義の論争」と言わざるを得ない。

### 3-2 電子書籍

先述した、電子書籍や無料媒体など、デジタル化社会の中で生まれた新たな読書形態についても、文献調査を行った。

『電子書籍端末が普及するための条件』（矢口博之 著）では、2010年1月に首都圏および関西圏居住者に対して、読書傾向と電子書籍端末に関する意識調査を行った。電子書籍の利用に対して、積極的な人、否定的な人は少なく、多数を占める共存派は電子書籍の利便性は認めながらも紙の書籍を好み、電子書籍には消極的だったと報告された。さらに翌年、サンプル数を増やした調査では、電子書籍の必要性を否定したり、電子書籍の問題点を指摘したりする回答が多かった。一方で、「本がデジタル化されるのは時代の流れで仕方ない」という消極的肯定が支持された。

『電子書籍利用者と紙書籍利用者の意識や行動の差異に関する研究』（渡部和雄 著）では、電子書籍利用者と紙書籍利用に消費者調査を行なった。有効回答数887のうち、電子書籍機器で電子書籍を利用している人は355人（40.0％）であった。この調査によって両者の間には、「電子書籍は実用的だ」「電子書籍は使いやすい」「画面で読むのは目が疲れる」などといった認識に差があることが分かった。

# 4、考察

### 4-1 活字・読書離れ

学校読書調査によると、近年の高校生の1か月の読書冊は横ばいである。小中学生より少ないと言われるが、かける時間で比べるとほぼ変わらない。大人と比べるとむしろ多いくらいである。『高

校生の読書に関する意識調査』によると、6割以上の生徒が「読書は好き」と答えている。さらに文献調査で述べたデータも照らし合わせ、私は学生世帯では読書離れは発生していないのではないかと考察する。また、近年では、映像化やSNSを通じて、特定の本が人気を得ることもしばしばある。SNSや、その他のコンテンツの発達が必ずしも読書の衰退に繋がるわけではないのだろう。

### 4-2 電子書籍

文献調査の結果から、紙書籍と電子書籍、両方が一定の需要を保っていると考えられる。紙の書籍と電子書籍の間で、それぞれの持続可能性にそこまで差異はないだろう。

最近の電子書籍のサービスには、書き込みや付箋機能などもある。例えば大学生は、資料や論文を使った学習をする機会があるだろう。そのような場合にはおそらく、紙書籍よりも電子書籍の方が扱いやすいのではないだろうか。利用者のニーズや利用目的によって、好まれる媒体は異なると考える。紙書籍と電子書籍、どちらかが優位に立ち、一方の持続可能性に大きな影響を及ぼすことはないだろう。

# 5、引用・参考文献


1) Weblio辞書『活字離れとは？ わかりやすく解説』
https://www.weblio.jp/content/活字離れ
2) Wikipedia『活字離れ』
https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B4%BB%E5%AD%97%E9%9B%A2%E3%82%8C
3) 読売新聞『読書週間 本社世論調査 本離れ懸念 世代で差』 2004年
https://web.archive.org/web/20041028220425/http://www.yomiuri.co.jp/book/news/20041028bf01.htm
4) 清水一彦『「若者の読書離れ」という“常識”の構成と受容』 出版研究, 2015年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jshuppan/45/0/45_117/_pdf
5) 高見京子『Ⅳ, 高校生と読書―読書離れは本当か―』 全国大学国語教育学会国語科教育研究, 2016年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jtsjs/130/0/130_401/_pdf
6) 平山祐一郎『大学生の読書の変化 2006 年調査と 2012 年調査の比較より』 読書科学, 2015年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/sor/56/2/56_55/_pdf
7) 日本経済新聞 『「ひとり出版社」、出版不況でも急増のワケ ベストセラーも続々』 2026年
https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC2305W0T20C26A1000000/
8) 文化通信『〝出版不況〟は終わった？ いよいよ明確になった市場構造の変化』 2026年
https://www.bunkanews.jp/article/213501/
9) 長谷川秀記『日本の電子出版 30 年の軌跡: 電子辞書・電子書籍の黎明期から現在まで』 2016年
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/59/9/59_587/_pdf

10) 植村八潮『電子書籍がもたらす出版･図書館･著作権の変化 現状分析と今後のあり方の検討』 2013年
https://www.istage.jst.go.jp/article/johokanri/56/7/56_403/_pdf
11) 渡部和雄『電子書籍利用者と紙書籍利用者の意識や行動の差異に関する研究』 日本印刷学会誌, 2015年
https://www.istage.jst.go.jp/article/nig/52/1/52_061/_pdf
12) 矢口博之, 植村八潮『電子書籍ユーザ意識調査による普及要因分析の試み』 出版研究, 2013年
13) 矢口博之『電子書籍端末が普及するための条件』 印刷雑誌, 2010年
14) 消費行動研究室『本と電子書籍の利用実態調査第1号, 第2号』 2012年
http://biz.toppan.co.jp/mrl/report/digital/post_
15) 楽天リサーチ『電子書籍に関する調査』
http://research.rakuten.co.jp/report/20120625/
16) 村田文生『読書の有用性についての一考察』 埼玉純真短期大学研究論文集, 2010年
https://www.sai-junshin.ac.jp/junshin/wp-content/uploads/2018/03/no.3_pp.67-73.pdf
17) 浜島幸司『読書習慣のない大学生の特性と傾向』 武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要 2019年
https://mu.repo.nii.ac.jp/record/1019/files/TheBasis9_06.pdf

モチベーションの持続可能性

**1**序論

私たちは普段物事を持続して行うためにモチベーション(動機づけ)を必要とする。つまりモチベーションはいわば行動の原動力である。そのモチベーションが無ければ勉強や仕事を続けることができず、生きるモチベーションまで失いやがて死ぬかもしれない。また私たち高校生は学校に行き続けたり、勉強をし続けたりするためになおさらモチベーションは必要となる。そんなモチベーションだが、個人に関するモチベーションは大きく二つに分けることができる。

一つ目は「外的動機づけ(外発的動機づけ)」である。外発的動機づけは成功すれば報酬が得られ、失敗すれば罰を受けるといったものばかりではない。Deci & Ryan(1985)が提唱した自己決定理論では、内発的動機づけと外発的動機づけを自己決定性という観点から一次元上の両極として捉え、連続性を持つものとされている（岡田・中谷,2006）。また櫻井(2012)によると、自己決定理論における有機的統合理論では、外発的動機づけを自律性の高さで4つに分類しており、自律性の低いものから順に「外的調整」「取り入れ的調整」「同一化的調整」「統合的調整」と呼ばれる。報酬と罰による動機づけは「外的調整」に含まれ、最も自律性が低いものであることがわかる。その他の動機づけについては、「取り入れ的調整」は罪や恥の回避、自己・他者承認への関心に基づくもの、「同一化的調整」は自分にとって重要だからといった 価値の内在化に基づくもの、「統合的調整」は自分の価値観と一致した状態であり、青年期以降に現れるものだという（高山,2009）。(外発的動機づけの分類)

二つ目は「内的動機づけ(内発的動機づけ)」である。「内発的動機づけ理論」は、行動は一次的動因を低減させるように解発されるという「動因低減説」への反証として登場した。Young（1961）はこれを「基本的欲求の充足を目的としない、能動的な動機づけ」と定義した。また Hunt（1965）、Berlyne（1971）等は、「認知的動機づけ」理論の中で、「心理的不適合の最適水準」を仮定し、人間には刺激入力と順応水準との間に体験されるズレを低減するよう行動するという「特殊的（specific）探索」と、刺激作用を新たに獲得しようとする「拡散的（diversive）探索」が存在する、とした。ここでは「内発的動機づけ」は「情報収集とその体制化を目標」とする、行動過程内での動的な概念として捉えられるようになった。(内的動機づけが研究に関する一考察)

そこで私は勉強を長時間するために、どのようなモチベーションが必要なのかやモチベーションを妨げるものはなんなのか、外的動機づけと内的動機づけのどちらが大切なのかを明らかにするために3つの方法で調査を行った。

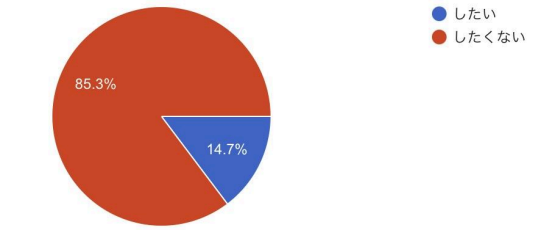
**2**研究方法

⑴

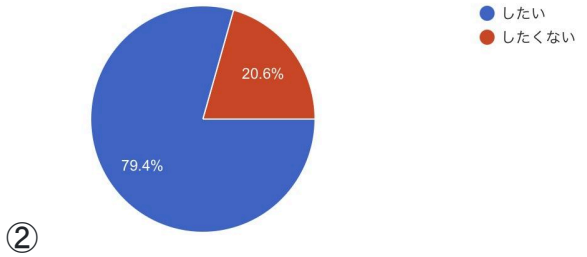
まずは2学年の国際情報生(34人)を対象にモチベーションの働きかけについて調べることにした。手順は糸を1時間ほどき続けることに対して「したい」、「したくない」という選択をベースに7つの質問をした。

①そのまま
②千円もらえる
③一万円もらえる
④友達と勝負をしながら
⑤友達と勝負しながら一万円もらえる
⑥糸ほどきではなく好きなことをする
⑦糸ほどきではなく好きなことをし、一万円もらえる

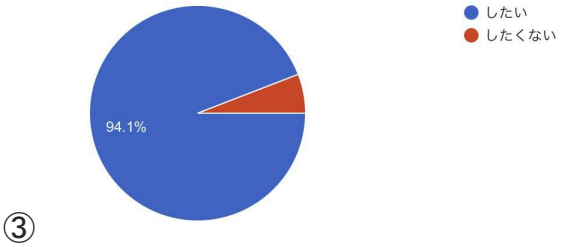
の7つである。したいと答えた人の割合は



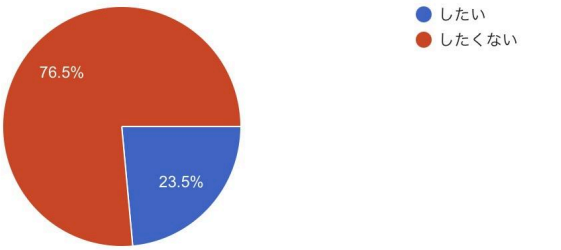

①



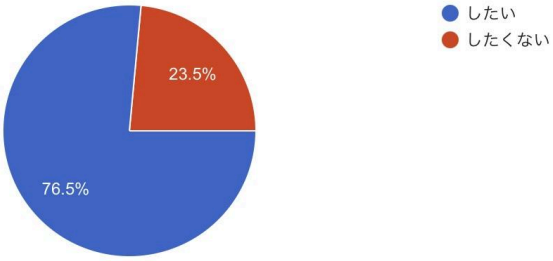

②




③




④




⑤




⑥




⑦

となり、当たり前の結果となった。しかし変化の仕方を見てみるとお金がもらえるかどうかで大きく変わり、勝負ごとを入れただけでは8.8%しか増えていないことがわかった。また好きなことという内的動機づけが絡むと100%となることもわかった。このことから、外的動機づけよりも内的動機づけの方が大きく影響するが、勝負ごとに関することはあまり影響しないというように考察する。しかし好きなことである内的動機づけがどうして大きな影響を及ぼすのかわからない。

⑵

そのため二つ目の調査を行った。友達を対象に好きなことへの好きな理由をインタビュー形式で聞いた。その結果、「他者を喜ばせたい」や「集めることが好き」といった回答があった。論文を調べてみたところ、他者を喜ばせたいというのは個人だけではなく他者も関係しているため社会的動機づけと言える。社会動機づけとは、認められたいといった親和動機としかいしをしてやるといった攻撃動機などがある。(適応限界辞典)また、他者と関係を深める中、人は時に快適な相互作用を志向し時に不快な相互作用を回避しようとする。(社会

的動機は個人を超えて影響を持つか？)今回の好きなことの理由としては親和動機が関係している。集めるのが好きといったことは人の本能であるため、内的動機づけである。
しかし、一つ目の調査で好きなことをするのが100%だったのは1時間という時間が短かっただけで、もっと長い時間だったら100%ではないのかもしれない。私もいくら好きなことでも飽きることがある。

⑶
なぜ飽きてモチベーションが続かないのか。モチベーションを妨げるものを調べるために3つ目の調査をした。方法はいくつかの論文を読んで調べた。そしておもに3つのことを見つけた。
一つ目は、「学習性無力感」である。1960年代にセリグマンという研究者はベルを鳴らした後に餌の代わりに電気ショックを与えるという実験を行った。犬は、電気ショックから逃げられないように拘束された状態であるため、ベルが鳴らされ電気ショックが与えられることがわかっていても逃げられない状態であった。この逃げられない状態での条件づけを繰り返した後に、犬の拘束をとき、ベルを鳴らしても、犬はじっとして電気ショックをそのまま受けたと報告している。これは、犬が拘束されて電気ショックを受けている間に「逃げようとしても無駄だ」という無力感を学習したためではないかと考えられている。このように、過度に失敗を体験してしまうと、自分が無力であることを学習してしまい、学習性無力感に陥ってしまう可能性が高まる。(適応限界辞典)
二つ目は、「燃え尽き症候群(バーンアウト)」である。これは、過大な情緒的資源が要求される職務で発生しやすいことになるが、ヒューマンサービス職はこの条件に合致する代表的な職務であると言える。{バーンアウト(燃え尽き症候群)}
三つ目は、「うつ病」である。うつ病とは、気分の落ち込み、活力の減退や疲労感の増加、不眠、抑うつ状態が続く症状のことをいう。治療法としては、休養をとることや、抗うつ剤などの薬による治療があげられる。うつ症状を軽減する薬として抗うつ剤がある。抗うつ剤の中には、選択的セロトニン再取り込み阻害剤と呼ばれる種類の薬がある。セロトニンと呼ばれる物質はうつ症状の軽減に貢献することがわかっており、脳の神経（シナプス）の軸索の末端（軸索終末）から放出され、次の神経へ情報を伝達している．抗うつ剤は、シナプス間のセロトニンの量を増やすことができる。シナプス間のセロトニンの量を増やすことによってセロトニンの働きを活性化し、うつ症状を改善できるものと考えられている。(適応限界辞典)

**3**考察
これら三つの調査結果から、外的動機づけ・内的動機づけ・社会的動機づけはいずれも物事を継続するうえで大きな影響を与えることが分かった。特に、内的動機づけと社会的動機づけが関係する「好きなこと」は最も強い影響を持つと考えられる。しかし、モチベーションを妨げる要因も存在するため、永続的に続けることは容易ではない。そのため、継続するためには、自分への報酬を設定することや、苦手なことでも好きなことと結びつけて捉え直す工夫が有効であると考える。また、適度に休憩を挟むことで、より持続的に物事へ取り組むことが可能になると考察した。
さらに、内的動機づけと外的動機づけのどちらがより重要かという問いについては、内的動機づけは強い持続力を持つ一方で適用範囲が限られる傾向がある。外的動機づけは幅広い場面に対応できるが、内的動機づけほどの強さはない。このことから、どちらがより重要であるかを一概に判断することはできないと結論づけた。

**4**今後の展望

今後は、学習性無力感に陥らないよう、小さな成功体験を積み重ねることを意識したい。テストで思うような結果が出なかった場合でも復習を行い、学習時間に応じて自分への報酬を設定するなど、動機づけを工夫しながら学習を継続していきたい。

また、本研究では三種類の動機づけに着目したが、他にも多様な動機づけ理論が存在する。今後はより細かな分類を取り入れたアンケート調査を行い、より精度の高い分析を行いたい。

**5**参考文献

〔1〕小谷泰則.人間の許容・適応限界辞典.ジャパンナレッジschool.2022.
https://school.japanknowledge.com/jks/display/?lid=58100C03-05
(2026-1-29)
〔2〕吉田統子.内的動機づけが研究に関する一考察.大阪大学教育学年報.1996.
https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/10194/aes01-087.pdf
(2026-1-29)
〔3〕内田雅哉.モチベーション向上の要因について.スポーツコミュニケーションゼミナール.2016.
https://www.juntendo.ac.jp/assets/maneka_20161313014.pdf
(2026-1-29)
〔4〕水野基樹.モチベーション研究における動機概念に関する理論的整理.千葉経済大学短期大学部.2008.
https://lib.cku.repo.nii.ac.jp/record/924/files/KJ00004947284.pdf
(2026-1-29)
〔5〕梅田正博.従業員のモチベーション向上のための一考察.東京海上日動リスクコンサルティング.2006.
https://www.tokio-dr.jp/publication/report/trc-eye/pdf/pdf-trc-eye-110.pdf
(2026-1-29)
〔6〕有吉美恵.社会貢献感がワークモチベーションに及ぼす影響の研究.九州大学学術情報リポジトリ.2018
https://api.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/2236007/hues0402.pdf
(2026-1-29)
〔7〕吉川雅也.モチベーション理論における主体性概念の探求. CORE.2015.
https://files01.core.ac.uk/download/pdf/143638768.pdf
(2026-2-17)
〔8〕池田浩.我が国における多側面ワークモチベーション尺度の開発.九州大学.2017.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jaiop/30/2/30_171/_pdf
(2026-2-17)
〔9〕深山元良.体育・スポーツにおける動機づけ研究の展望.城西国際大学.2012.
https://www.jiu.ac.jp/files/user/education/books/pdf/835-20.pdf
(2026-2-17)
〔10〕永井佐和.テレワークとモチベーションの関係について富山大学.2022.
https://www.hmt.u-toyama.ac.jp/socio/lab/sotsuron/21/nagai.pdf
(2026-2-17)

〔11〕吉田統子.内発的動機づけ研究に関する一考察.大阪大学.1996.
https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/10194/aes01-087.pdf
(2026-2-17)
〔12〕森沢知之.学習者の内発的動機づけを高める教育実践介入.兵庫医療大学.2017.
https://huhs.repo.nii.ac.jp/record/48/files/5%282%2939-43.pdf
(2026-2-17)
〔13〕桜井茂男.内発的動機づけに及ぼす言語的報酬 と物質的報酬の影響の比較.
J-Stage.2024.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/32/4/32_286/_pdf
(2026-2-17)
〔14〕村山航.労働の動機づけにおける 金銭的報酬と非金銭的報酬の役割.独立行政法人.2020.
https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2020/06/pdf/046-055.pdf
(2026-2-17)
〔15〕福田加菜美.内発的動機づけと外的報酬の関係性.web-cache.2006.
http://web-cache.stream.ne.jp/www11/nikkeibpw/business/academic/inner11/80.chuo.watanabe.bocchi.pdf
(2026-2-17)
〔16〕久保真人.バーンアウト(燃え尽き症候群).同志社大学.2007.
https://www.jil.go.jp/institute/zassi/backnumber/2007/01/pdf/054-064.pdf
(2026-2-19)
〔17〕相馬敏彦.社会的動機は個人を超えて影響をもつか？.広島大学.2016.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjesp/56/2/56_si3-5/_pdf
(2026-2-19)

# 日本漫画の海外進出の持続可能性

## 1、研究背景

近年、日本の漫画はアニメ化やデジタル配信、SNSの普及などを背景に、世界中で高い人気を集めている(学習院大学学術成果レポート2023)。翻訳配信や電子書籍の拡大により、日本国外でも日本漫画を読む環境が整いつつある。また、日本漫画は文化的な価値だけでなく、経済的な面でも日本を支える重要な存在となっている。漫画を原作としたアニメ、映画、ゲーム、グッズ販売などのクロスメディア展開は、国内外で大きな市場を生み出しており、日本のコンテンツ産業の成長に大きく貢献している。海外での人気の高まりは、出版業界だけでなく観光や関連産業にも影響を与えている。一方で、海外における日本漫画の普及には課題も存在する。違法サイトによる無断閲覧に加え、国や地域による配信環境の差や翻訳の質の問題が挙げられる。特に海外では、輸送費や流通コストの影響により、日本国内よりも高い価格で販売されている場合もあり、経済的負担が読者にとって大きいことがある(Alibaba2026)。また、翻訳が文化的背景やニュアンスを十分に伝えきれていない場合、作品本来の魅力が正確に伝わらない可能性もある(日本翻訳者協会2024)。これらの要因は、作者や出版社の収益を減少させるだけでなく、日本漫画産業の持続的な発展を妨げる可能性がある。このように、日本漫画は文化・経済の両面で重要な役割を果たしている一方で、価格や翻訳、違法サイトなどの課題により、海外進出が今後も安定して続くとは限らない。そこで、日本漫画の海外での認知度や人気度、SNSの活用に注目し、どうすればより日本漫画が海外進出できるのかという問いを立て、海外進出の持続可能性について探究する。

## 2、研究目的

研究の目的は、日本漫画が海外でどの程度認知され、どのようなきっかけや理由によって読まれているのかを明らかにすること。また、海外における日本漫画の普及を支えている要因や課題を整理し、日本漫画の海外進出が今後も継続的に発展していくための条件について考察することを目的とする。特に本研究では、デジタル配信やSNSの活用、違法サイトへの対策、アニメや映画などのクロスメディア展開、日本漫画特有のストーリー性やキャラクター表現に注目する。これらの要素が海外の読者にどのような影響を与えているのかを、アンケート調査やインターネット調査を通して分析し、日本漫画の海外進出の持続可能性を高めるための方策を探ることを目的とする。

## 3、仮説

日本漫画の海外進出の持続可能性を高める要因として、主に四つの点が重要であると考えた。

第一に、公式のデジタル配信やSNSを活用した情報発信が充実することで、海外の読者が日本漫画に触れる機会が増え、認知度の向上につながると考えられる。特にスマートフォンを利用した閲覧環境の整備や、SNS上での作品紹介は、新規読者の獲得に効果的であり、長期的な人気を支える要因になると仮説を立てた。

第二に、違法サイトへの対策と同時に、安価で利用しやすい公式サービスを提供することが、海外での正規利用の促進につながると考えられる。違法サイトが日本漫画に出会うきっかけとなっている一方で、公式サービスが十分に整備されていれば、読者は正規の方法を選択しやすくなり、結果として作者や出版社の安定した収益につながると予想する。

第三に、アニメや映画、ゲームなどのクロスメディア展開は、日本漫画を知る重要なきっかけとなり、原作漫画への関心を高めると考えられる。これにより、一時的な流行にとどまらず、継続的に作品を読む読者が増え、海外進出の持続可能性が高まると仮説を立てた。

第四に、日本漫画特有のストーリー性やキャラクター表現、感情描写の豊かさが、海外の読者に長期的な支持を受ける理由になっていると考えられる。これらの特徴が他国の漫画との差別化につながり、日本漫画の人気を持続させる重要な要因になっていると推測される。

これらの要因をもとに、日本漫画の海外進出の持続可能性は、デジタル技術の活用、適切な違法対策、クロスメディア展開、そして日本漫画独自の表現力によって支えられているのではないかと考え、研究を行う。

## 4、研究方法

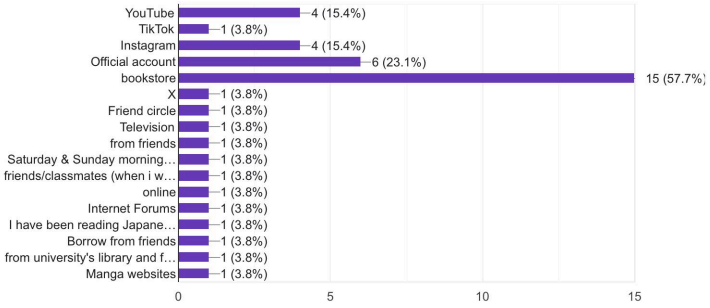
日本漫画の海外進出の持続可能性について明らかにするため、二つの方法を用いて調査を行う。まず、インターネット検索を通して、日本漫画の海外展開に関する記事や先行研究、公式サイトの情報を調べ、現在の状況や課題を整理する。これにより、日本漫画が海外でどのように受け入れられているのかを把握する。次に、IUJの留学生53人にアンケート調査を実施し、日本漫画の認知度や閲覧方法、日本漫画に対する評価、今後の普及に関する意見を収集する。アンケート結果を分析し、インターネット調査で得た情報と比較することで、日本漫画の海外進出が今後も持続可能であるために必要な要素について考察する。

## 5、結果・考察

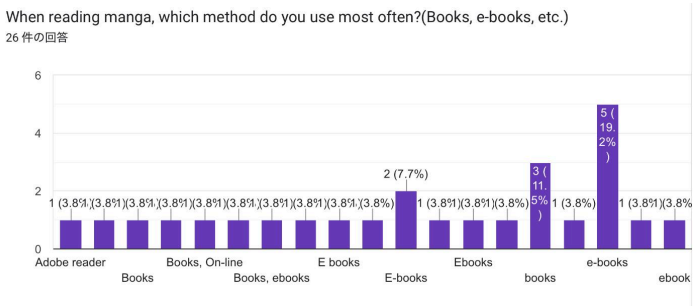
アンケートから次のことがわかった。回答者はアジア圏を中心に様々な国の留学生に答えてもらった。初めに日本の漫画を読んだことがあるかという質問に対し、47.3%がはいと答え52.7% がいいえと答えた。いいえと答えた国は主に中央アジア、南アジア、アフリカ地域が多かった。共通点として発展途上国・新興国が多い、翻訳市場がまだ大きくない国が多い、書店流通よりもデジタル依存が高そうな地域、 海外向け公式展開がまだ十分でない地域である。このことから経済規模が比較的小さい国に未読者が集中している、地理的には「中央アジア・南アジア・アフリカ」に偏りがあることから日本漫画の海外進出は地域差が大きい可能性があると考察できる。

逆にはいと答えた国はインドや中国が多く共通点として人口が多い大国、近年経済成長が著しく、デジタル配信との相性がいい、特に両国では日本アニメが配信サービスで視聴可能で、SNSを通じたファンコミュニティが活発、海外配信サービスが利用しやすい。このことから、日本漫画の海外進出は、文化的要因だけでなく、経済的・社会的条件にも強く影響を受けていると考えられる。

また、アンケートで「どのように日本漫画を知りましたか」という質問では、SNSや公式アカウントを通じて知ったという回答が一定数見られた(図1)。これは、SNSが日本漫画の認知拡大に重要な役割を果たしていることを示している。特に若年層にとって、SNSは主要な情報源であり、公式アカウントや投稿を通じて新たな読者を獲得できる可能性が高い。さらに、どのような方法で漫画を読むかという質問に、電子書籍を利用している人が最も多いという結果になり、このことからデジタル配信の充実は海外展開において欠かせない要素であると考えられる(図2)。紙媒体は輸送費や在庫管理などの課題があるが、電子書籍であればコストを抑えながら迅速に配信できるため、価格差の問題の軽減にもつながる。また、多言語翻訳版を同時に配信することで、より多くの国や地域の読者に平等に作品を届けることが可能となる。このように、SNSによる情報拡散とデジタル配信の強化を組み合わせることが、日本漫画の海外進出を持続的に発展させる鍵であるといえる。




(図1)

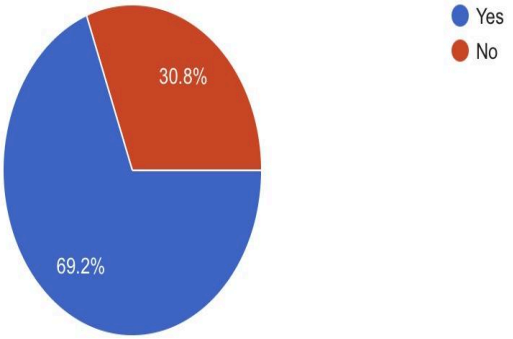



(図2)

しかしその一方で、アンケートでは多くの回答者が違法サイトを利用した経験があることも明らかになった（図3）。これは、日本漫画が海外で広く認知されている一方で、正規の方法で読まれていない現状があることを示している。違法サイトは無料で手軽に利用できるため、特に公式サービスが十分に整備されていない地域では利用されやすいと考えられる。しかし、違法サイトの利用が拡大すれば、作者や出版社の収益が減少し、新たな作品の制作や海外展開への投資が難しくなる可能性がある。

結果として、日本漫画の海外進出の持続可能性が損なわれる恐れがある。そのため、違法サイトへの対策は非常に重要である。出版社や配信会社による法的措置やサイトの削除対応だけでなく、安価で利用しやすい公式サービスを充実させることが必要である。また、私たち読者自身も、違法サイトを利用しないという意識を持ち、正規サービスを選択することが重要である。さらに、SNSなどを通じて公式サービスの情報を共有し、正規利用を広めていくことも私たちにできる対策の一つである。

以上のことから、日本漫画の海外進出の持続可能性を高めるためには、SNSの活用による認知拡大、デジタル配信の普及と同時に、違法サイトへの対策を強化し、正規利用を促進する取り組みが最も重要であると考えられる。




(図3)

## 6、参考文献・引用文献

[1]文化庁(2014)「マンガ・アニメ等のメディア芸術に関する資料」2025年12月
https://macc.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2023/01/82bcd7eb0c8aa3e033c5d42081901735.pdf

[2]学習院大学学術成果レポート(2023)「日本文化・マンガに関する研究論文」2025年12月
https://glim-re.repo.nii.ac.jp/record/5581/files/joshidaigaku_25_43_54.pdf

[3]国立大学法人 群馬大学(2023)「海外におけるアニメの影響」2025年12月
https://www.guic.gunma-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2017/03/海外におけるアニメの影響.pdf

[4]日本翻訳者協会（JAT)「翻訳の質や課題について」2026年1月
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000143535.html?utm_source=chatgpt.com

[5]Alibaba(2026)Why Are Physical Manga Volumes So Expensive Right Now Supply Chain Explained 2026年1月
https://www.alibaba.com/product-insights/why-are-physical-manga-volumes-so-expensive-right-now-supply-chain-explained.html?utm_source=chatgpt.com

[6]Shopee Japan コラム(2024)「海外における漫画市場・人気について」2025年12月
https://shopee.jp/column/comics/

[7]講談社 C-station」(2024)「日本漫画の海外展開に関する記事」2025年11月
https://cstation.kodansha.co.jp/article/2296

[8]note(2025)「日本キャラクター・漫画の海外展開について」2025年12月
https://note.com/chara_abroad/n/nc0aa47daa552

[9]PcW(2025)「海外展開　日本が苦戦してきた理由」2025年12月
https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/journal/develop-contents-business-abroad.html

[10]Forbes JAPAN(2025) 「次なる米国市場での戦略」2025年12月https://forbesjapan.com/articles/detail/86188

[11]通訳翻訳研究への招待(2021)文学翻訳における言語問題2025年12月
http://honyakukenkyu.sakura.ne.jp/shotai_vol23/No_23_009-Lu.pdf

[12]立命館大学(2023)コンテンツのマルチ展開2025年
https://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/ss/2013degital2/documents/131213siraisensei.pdf

# フェアトレードの理想と現実

## ― 日本の企業と当事者に近い立場から考える ―

### １．はじめに

現在、世界では貧困や不公正な労働環境といった問題が深刻化している。こうした課題に対する取り組みの一つとして、フェアトレードが注目されている。フェアトレードとは、途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に取引することで、生産者の生活向上や自立を支援する仕組みである。日本においてもフェアトレード認証製品は徐々に広がりを見せているが、その認知度や購入者は依然として限定的である。本研究では、日本におけるフェアトレードの現状と課題について、具体的な企業の取り組みを通して考察する。

### ２.研究背景

近年、日本のフェアトレード市場は拡大傾向にあり、2024年の推計市場規模は前年比2.2%増の215億円で2014年から10年間で2倍以上に成長するなどのフェアトレード認証製品に注目が集まりつつある（図1）。また、国民一人当たりの国際フェアトレード認証製品の年間推定購入額は174円となり、10年間でちょうど100円増える結果となった(Fairtrade America,2025)。しかしながら、フェアトレード商品を積極的に購入する層は依然として限定的であり、フェアトレードの認知度についてのインターネット調査では、全体の約40%程度にとどまり、過半数を下回る結果となっている(図2)(VANILLABEANS,2025）。この調査において、性別や年代によって大きな差は見られなかった（図2）。

以上のように、フェアトレードは社会的意義も高いにも関わらず、日本では十分に認知・普及しているとは言えない現状がある。その背景には、価格の高さや認証取得にかかるコスト、小規模生産者が排除されやすい点、品質が不安定になりやすい点など、さまざまな課題が存在している。一方で、日本にはこれらの課題に向き合いながら、独自の工夫によってフェアトレードを身近なものとして発信している

企業も存在する。例えば、シサム工房や小川珈琲は、フェアトレード商品を扱いながら品質やデザイン性にも配慮した商品展開を行っている。このような企業の取り組みにより、フェアトレードの理念が生産者や社会へと還元されていると考えられる。では、これらの企業はどのような工夫によってフェアトレードを継続・発展させているのだろうか。この点を明らかにすることが、本研究における重要な課題である。

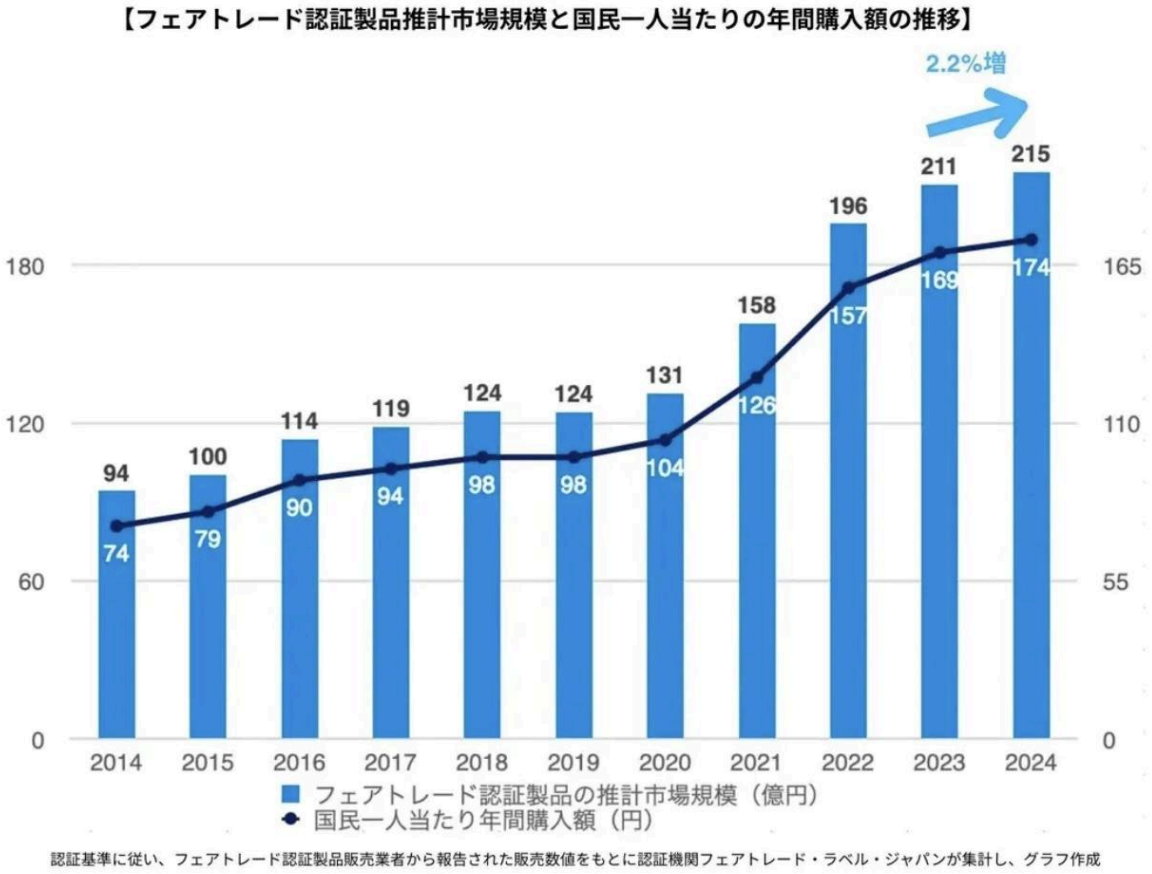



図1：フェアトレード認証製品推計市場規模と国民一人当たりの年間購入額の推移（Fairtrade America,2025）




図2：フェアトレードについて「よく知っている」+「少し知っている」の合計（VANILLABEANS,2025）

## ３.研究目的

本研究の目的は、日本においてフェアトレード商品を扱いながら継続的な販売を実現している企業の取り組みに注目し、フェアトレードがどのような工夫や企業戦略によって継続・発展しているのかを明らかにすることである。特に、商品価値の伝え方や販売方法といった企業の実践事例を通して、フェアトレードの価値と課題を考察する。また、フェアトレード商品を扱う企業には、商品価値の伝え方や販売方法において独自の工夫があり、それが継続的な販売につながっているのではないかという仮説を立てる。さらに、こうした企業戦略によって得られた利潤が、生産者の生活向上にどのようにつながっているのかを考える。

## ４.研究意義

フェアトレードは社会的意義が高い一方で、日本では認知度が低く、購入者が限定されているという課題のもと、本研究では、フェアトレード商品を扱う企業の具体的な取り組みに着目することで、フェアトレードの価値や課題を身近な視点から捉えることができる。企業の工夫や戦略を明らかにすることは、フェアトレード商品の魅力への理解を深め、今後の認知度向上や普及の可能性を考える上で意義がある。

## ５.研究方法

本研究では、フェアトレードの持続可能性を明らかにするため、文献調査、企業事例の分析、ならびにインタビュー調査を組み合わせた方法で研究を行った。

(1)フェアトレードの定義や目的、日本における市場規模や認知度に関する先行研究や統計資料をもとに、フェアトレードを取り巻く現状と課題を整理した。

これにより、日本においてフェアトレードは市場規模が拡大している一方で、認知度や購入者が限定的であるという課題があることを把握した。

(2)フェアトレード商品を扱う日本の企業の中から、シサム工房および 小川珈琲を研究対象として選定した。

シサム工房は、日本において早くからフェアトレードに取り組み、衣料品や雑貨を中心に、生産者との継続的な関係を重視した商品づくりを行っている企業である。一方、小川珈琲は、フェアトレード認証コーヒーを扱い、日常的に消費される食品を通してフェアトレードを社会に広めている点に特徴がある。両社は、フェアトレードに継続的に取り組んでいる点で共通している一方、扱う商品分野が異なるため、商品価値の伝え方や販売方法の違いを比較・分析できると考え、本研究の対象として適していると判断した。修学旅行の自由時間を利用して実際に両企業の店舗を訪問し、商品の特徴や価格帯、店内展示、フェアトレードに関する説明方法などについて観察を行った。これにより、企業がどのようにしてフェアトレードの価値を消費者に伝えているのかを、実体験を通して調査した。

(3)シサム工房について理解を深めるため、後日SNSを通じてインタビューを依頼したが、企業の方針により個別のインタビューには応じられないとの回答を得た。

その際、探究活動を進める上での助言を受けたことから、本研究では企業の公式ウェブサイト、パンフレット、公開資料、SNS上の発信内容を補足資料として用い、企業の理念やフェアトレードの価値の伝え方について分析を行った。

(4)フェアトレード理念に基づく支援が実際にどのように受け止められているのかを明らかにするため、国際大学の学生であるロヒンギャ出身の方にインタビューを行った。

フェアトレードや支援に対する率直な考えや、現地の人の立場から見た課題について話を聞くことで、企業側の視点だけでなく、支援を受ける側に近い視点を取り入れた分析を行った。以上の調査を通して、企業の取り組みと消費者、さらに支援を受ける側に近い立場の視点を比較・整理し、商品価値の伝え方や販売方法といった企業戦略が、フェアトレードの持続可能性や生産者・支援対象者への還元にどのように関係しているのかを考察した。

## 6.結果・考察

店舗調査の結果、シサム工房では、さまざまな工夫が行われていることが分かった。大阪・なんばパークス店では、商品の背景や生産者について丁寧な説明がなされており、フェアトレードの考え方が分かりやすく伝えられていた。(写真1)また、Instagramでは商品を細かく紹介する投稿が多く見られ、実店舗に来られない人に対しても情報発信が行われている。さらに、オンラインストアを開設することで、購入のしやすさにも配慮している点が確認できた。一方、小川珈琲では、フェアトレード認証コーヒー豆を通してフェアトレードについて学べる工夫が見られた。店舗では、フェアトレードに関する紹介カードのような資料を無料で受け取ることができ、コーヒーという身近な商品を通してフェアトレードの仕組みを知ることができるようになっていた。また、日本在住のロヒンギャ出身者へのインタビューでは、「フェアトレードの活動がすぐに現地の生活の安定に直結しているわけではないが、重要な取り組みであると考えている」という意見が聞かれた。このことから、フェアトレードは即効性のある支援ではないものの、意義のある仕組みとして受け止められていることが分かった。








(写真1)実際に大阪なんばパークス店へ行き撮影した写真

## 7.結論

本研究では、フェアトレード市場が拡大しているにもかかわらず、購入者が限定的である理由について、シサム工房と小川珈琲の事例調査およびロヒンギャ出身者へのインタビューを通して考察した。その結果、両企業は商品説明や情報発信、身近な商品を通じた学習機会の提供など、フェアトレードを消費者に伝えるための工夫を行っていることが分かった。しかし、ロヒンギャ出身者の意見から、フェアト

レードは現地の生活安定に即座に結びつくものではなく、効果が見えにくい側面を持つことも明らかになった。このことから、フェアトレードの購入者が限定的である要因は、価格や認知度だけでなく、「支援の成果が実感しにくい」という構造的な課題にもあると考えられる。一方で、即効性がなくてもフェアトレードが重要であると当事者自身が捉えている点は、フェアトレードの本質的な価値を示している。以上より、フェアトレードを持続的に広げていくためには、商品を売る工夫だけでなく、支援の長期的な意義や現地の声を継続的に伝える取り組みが必要であると結論づけた。そうした取り組みが、消費者の理解を深め、フェアトレードを「特別な選択」から「日常的な選択」へと変えていく鍵になると考える。

さらに、本研究を通して、私はフェアトレードの持続可能性を高めるためには、商品を通じた支援だけでなく、発展途上国の人々と直接声を交わす機会や関わり合いの場を増やすことが重要だと考えた。ロヒンギャ出身者へのインタビューから、フェアトレードの意義は理解されている一方で、その効果が見えにくい現状も明らかになった。だからこそ、現地の人の考えや実際の生活について知る機会が増えることで、消費者はフェアトレードをより身近なものとして捉えられるようになると考える。このような人と人とのつながりを意識した取り組みが、フェアトレードの理解と参加の広がりにつながるのではないだろうか。

## 参考文献


[1] 財津庸子(2011). 「日本のフェアトレードの現状と課題ー消費者教育の視点からの検討ー」. 『消費者教育』, 31(0), 31-40.
[2] 山畑泉「日本におけるフェアトレードの普及と今後のあり方」. 1-20.
[3] 山畑泉「日本におけるフェアトレードの普及と今後のあり方」. 『東北大学経済学部・大学院 経済学研究科 卒業論文集(ゼミ論文)』, 1-20.
[4] 阿部顕三(2021). 「フェアトレードとその経済分析」. 『問題と研究』, 50(4), 1-28.
[5] 松田理沙(2023). 「日本におけるフェアトレードをより一層拡大するためにー消費者と企業の視点からー」. 『早稲田大学 商学部 卒業論文集／ゼミ資料』, 1-55.
[6] 岡林由里子(2022). 「フェアトレードを通した社会的弱者支援とその消費者ニーズの可能性」. 『経済政策研究』, (18), 65-83.
[7] 渡辺龍他(2009). 「フェアトレードの拡大と深化:経済・社会・政治領域からの考察」.『現代法学』, (17), 89-124.
[8] 小坂真里(2020).「フェアトレードによるSDGsへの相乗効果」.『環境情報科学論文集』, 34(0), 19-24.
[9] 辻幸恵(2021). 「フェアトレード商品に対する大学生の意識」. 『神戸学院大学経営学論集』, 17(2), 1-10.

［10］認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン(Fairtrade Japan)（2025年5月3日).「Fairtrade Japan｜フェアトレード・ジャパン」.
https://www.fairtrade.net/jp-jp/get-involved/news/2025-05-03.html.2025年10月
［11］ELEMINIST Editor／エレミニスト編集部(2023年12月4日).「ELEMINIST」.
https://eleminist.com/article/3079. 2025年10月
［12］中條聖子(2024年5月17日).「WOODONE マガジン」.
https://www.woodone.co.jp/media/cat01/2795/.2025年10月
［13］一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム（Fair Trade Forum Japan）(2026年).「Fair Trade Forum Japan」.
https://fairtrade-forum-japan.org/overview/resource.2025年11月
［14］独立行政法人 国民生活センター(2023年).「国民生活」.
https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202310_04.pdf.2025年11月
［15］Social Act Career 編集部(2024年).「Social Act Career」.
https://socialactcareer.com/magazine/626/.2025年11月
［16］有限会社シサム工房「シサム工房　フェアトレードとエシカルファッション・手仕事のお店」.https://sisam.jp/social-action/.2026年1月
［17］国際フェアトレード認証機構「Fairtrade Japan（フェアトレード・ジャパン） － 「フェアトレードとは？」」.
https://www.fairtrade.net/jp-jp/why-fairtrade/what-we-do/what-is-fairtrade.html.2026年1月
［18］VANILLABEANS(2025年11月10日)「VANILLABEANS 横浜｜公式ニュース」.
https://www.vanillabeans.yokohama/view/news/20251110094959?srsltid=AfmBOop5pFQl634ema7P7d6krzJEk9g3erVaKf5MhM264SAnlGfAeXh4.2026年2月
［19］株式会社トプコン(2026年2月13日).「TOPCON STORY MEDIA」.
https://www.topcon.co.jp/media/others/japan_fairtrade/.2026年2月
［20］Fairtrade International「Fairtrade Japan」.
https://www.fairtrade.net/jp-jp/why-fairtrade/what-we-do/what-is-fairtrade.html.2026年2月
［21］国際フェアトレード認証機構「Fairtrade Japan（フェアトレード・ジャパン） － 「フェアトレードと持続可能な開発目標（SDGs）」」.
https://www.fairtrade.net/jp-jp/why-fairtrade/why-we-do-it/fairtrade-and-the-sustainable-development-goals-.html.2026年2月
［22］難民を助ける会（AAR Japan）(2024年2月7日).「AAR Japan［難民を助ける会］公式サイト―インタビュー」.
https://aarjapan.gr.jp/interview/13537/.2026年2月
［23］小川珈琲株式会社(2026年).「小川珈琲（OGAWA COFFEE） - 京都のコーヒー専門メーカー公式サイト」.https://www.oc-ogawa.co.jp.2026年2月

［24］小川珈琲株式会社「小川珈琲 SDGs への取り組み」.
https://www.oc-ogawa.co.jp/sdgs/.2026年2月
［25］フェアトレード・ミリオンアクションキャンペーン（認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン主催）(2025年).「Fairtrade – MILLION ACTION CAMPAIGN」.https://fairtrade-campaign.com/partners/shop.html.2026年2月
［26］有限会社シサム工房(2019年2月18日).「SISAM COFFEEをえらぶ3つの理由」.
https://shop.sisam.jp/column/3307/.2026年2月
［27］AWAKE&「AWAKE&」.
https://awake-and.com/blog/ethicallife/fairtrade/.2026年2月

# 仮面ライダーバイクの持続可能性

## 研究背景

1971年～2025年まで続いている仮面ライダーには誰もがバイクがあることを知っているだろう。しかし昭和、平成、令和になるにつれてCGが発達しているためバイクのシーンが減り大胆なシーンが多くなっている(Reddit r/ KamenRider)ため自分がバイクになったりバイクがロボットに変形するなどのCGを主に使っていることによって仮面ライダーファンからは色々な声が上がっています。例(バイクシーンを増やして欲しい、2号ライダーのバイクも作って欲しい、おもちゃとして商品化して欲しいなど)バイクが無くなってしまうと仮面“ライダー”のライダーが無くなってしまうと言った声も上がっています、そのことから僕は仮面ライダーのバイクが無くならないようにしようと考えます。

## なぜバイクに乗らなくなったのか？

特撮作品においてバイクを登場させ続けることは、近年ますます難しくなっています。最近では公道でのバイク追跡シーンよりも、密閉された空間やセット内での戦闘シーンが増えているため、バイクの出番そのものが減少しています。さらに、変身アイテムや武器などの商品展開が増え、玩具としてのバイクの優先度が下がり、バンダイやトイザらスによると売れにくくなっているという事情もあります。そして、道路交通法が厳しくなり、公道での撮影許可が下りにくい点も大きな課題だと服部祐哉氏が言ってます。安全面への配慮も年々重視されており、内田勝喜氏のインタビューDVD(2012年販売) の話からいろんな人がマネをして足などの骨折が多く、そのことから特に子ども向け番組では危険な走行シーンを控える傾向が強まっています。その結果、派手なバイクアションを描きにくい状況が生まれ、さらに、作品のモチーフとバイクのデザインが必ずしも噛み合わない場合もあり、世界観に合った魅力的なバイクを作ることが難しいケースもあります。こうした複数の要因が重なり、バイクの活躍の場は以前よりも減少しています。

## 研究方法：文献(DVD)調査

映画作品を実際に観て、迫力あるバイクシーンの魅力を語り合うことも効果的です。スクリーンで描かれるスピード感やスタントアクションのかっこよさを共有することで、「バイクってこんなにすごいんだ」と感じてもらうきっかけになります。さらに、バイクをモチーフにしたライダーの存在を知ってもらうことも重要です。たとえば原点である仮面ライダー1号はバイクアクションの象徴的存在であり、マシンと一体になって戦う姿が多くのファンを魅了してきました。こうした歴史や魅力を伝えることで、作品の世界観とバイクの関係性をより深く理解してもらうことです。例えば仮面ライダー平成ジェネレーションズForeverでは20人のライダーがバイクに乗り、ド派手なアクションをしています。

## 吉村紘斗氏の説明

吉村紘斗さんは50年以上ライダーのバイクの制作、改造をしてきました。しかし最近ではバイクには150億円と膨大な費用がかかり、しかも、車体のベース車両の確保から専用パーツの制作、スタント用の安全対策まで、多くの予算と時間(約45時間)が必要になる。そのうえ、作品ごとに仮面ライダーのモチーフに合ったデザインを用意しなければならないが、近年はスケジュールの都

合などもあり、デザイン制作が追いつかないケースもある。また、物語構成の変化も影響していると言っています。

## バイクシーンの大切さ

仮面ライダーを知らない人にこそ、まずはバイクの魅力を伝えることが大切です。仮面ライダーにおけるバイクは、単なる移動手段ではなく、ヒーローの象徴であり、戦う意志や疾走感を表す重要な存在であります。その魅力を分かりやすく伝えて、興味を持ってもらうことができれば、その人からさらに別の人へと関心が広がり、やがてバイクの存在感復活へと近づいていくはずです。市場の動向として、おもちゃ売り場などでバイク関連商品の売り上げを調べてみることも一つの指標になります。売り上げ状況を把握して、どのような商品が求められているのかを分析することで、今後の展開や復活のヒントが見えてくるかもしれません。バイクは子供の想像に期待を持たせ続けるものになります。さらに仮面ライダークウガがド派手なバイクアクションをしてくれたため、平成ライダーが誕生しました。つまりバイクは仮面ライダーの復活に役立つためのものです。

## 結論

特撮作品においてバイクの存在感が薄れているのは、単なる人気の低下ではなく、「制作環境・安全意識・ビジネス構造・作品表現」のすべてが同時に変化した結果であると言える。かつてはヒーローの象徴として欠かせない存在だったバイクは、公道でのダイナミックな追跡やスタントと強く結びついていたが、現在では撮影許可の厳格化や道路交通法の制約、安全面への配慮の強化によって、そのような演出自体が難しくなっている。さらに、子どもへの影響を考慮し、危険な走行シーンを避ける傾向が強まったことで、表現の幅も大きく制限されている。加えて、玩具展開の中心が変身アイテムや武器へと移行したことにより、商品としてのバイクの優先度が低下し、商業的な観点からも積極的に登場させる理由が弱まっている。このような市場の変化は制作側の判断にも影響を与え、結果として作品内でのバイクの扱いが縮小している。また、作品ごとに設定される独自の世界観やモチーフと、現実的な乗り物であるバイクとを両立させる難しさもあり、無理に登場させることでかえって作品の統一感を損なうリスクも生まれている。しかしこれは、バイクという要素が不要になったことを意味するわけではない。むしろ、従来のように「頻繁に活躍する必須装備」から、「作品の世界観や演出に応じて選択的に使われる象徴的存在」へと役割が変化していると捉えるべきである。今後は、CGやVFXの活用によって安全性を確保しつつ迫力あるシーンを再現したり、屋内セットや特殊空間での演出に適応した新しいバイクアクションを模索したりすることで、別の形での活躍が期待される。また、デザイン面においても、単なる乗り物ではなくキャラクター性や物語性を持たせることで、再び魅力を高める可能性がある。したがって、特撮におけるバイクの減少は「衰退」ではなく、「時代に合わせた役割の再定義」であると言える。今後は量的な登場頻度ではなく、質的なインパクトや物語との結びつきによって、その価値が問われていくことになるだろう。仮面ライダーにおけるバイクの存在は、単なる乗り物にとどまらず、商品展開や演出面でも大きな可能性を持っています。近年では「おもちゃのバイクはアイテムにすることでベルトと連動して楽しむことができる」という工夫が見られます。変身ベルトと連動するギミックを搭載することで、バイクが単体商品ではなく、遊びの幅を広げる拡張アイテムとして機能するようになりました。また、「バイクとアイテムが合体するおもちゃなどによって売り上げが良くなった」という例もあり、合体・変形要素を取り入れることで子どもたちの購買意欲を高めています。映像面においても、「映画ではバイクを使うことが多い」と言われるように、劇場版ではスケールの大きなアクションが展開されることが多いです。特に「高速で移動する敵に関してはバイクが有効」であり、スピード感あふれる追跡シーンはヒーローの魅力をより一層引き立てます。さ

らに、「CGを使って自分がバイクになる」という演出も登場しており、最新技術によって従来にはなかった斬新な表現が可能になっています。玩具として遊ぶだけでなく、「プラモデルとして飾る人も多い」という点も見逃せないです。精巧な造形のマシンはコレクション性が高く、大人のファンにも支持されています。撮影面では公道での制限がある一方で、「道路ではないところでは派手にバイク使っている」というように、採石場や広大な敷地などを活用した大胆なアクションも展開されています。こうした工夫によって、バイクは今なお作品の重要な要素として活躍しているのです。

## 参考文献


note「仮面ライダーがバイクにならない理由」

https://note.com

モーサイ「バイク乗らない仮面ライダーはライダーと言えるのか」

https://mc-wed.jp

Reddit r/ Kamen Rider「仮面ライダーのバイク離れ」

https://www.kr753.com

Reddit r/ Kamen Rider「仮面ライダーのバイクの危険性」

https://dic.pixiv.net

Reddit r/ Kamen Rider「バイクの売り上げを伸ばすために」

https://toy.bandai.co.jp

Reddit r/ Kamen Rider「バイクの価格が上がらない理由」

https://search,kakaku.com

Reddit r/ KamenRider「外国人からの魅力」

https://english.tamashiiwed.com

Reddit r/ Kamen Rider「バイクの魅力クウガ～ディケイドまで」

https://Kamen-rider-official.com

Reddit r/ Kamen Rider「東映特撮魅力」

https://tokuhero.info

内田勝喜さんのインタビューDVD「2012年販売」



# 塩沢紬の持続可能性

観光資源化への展望

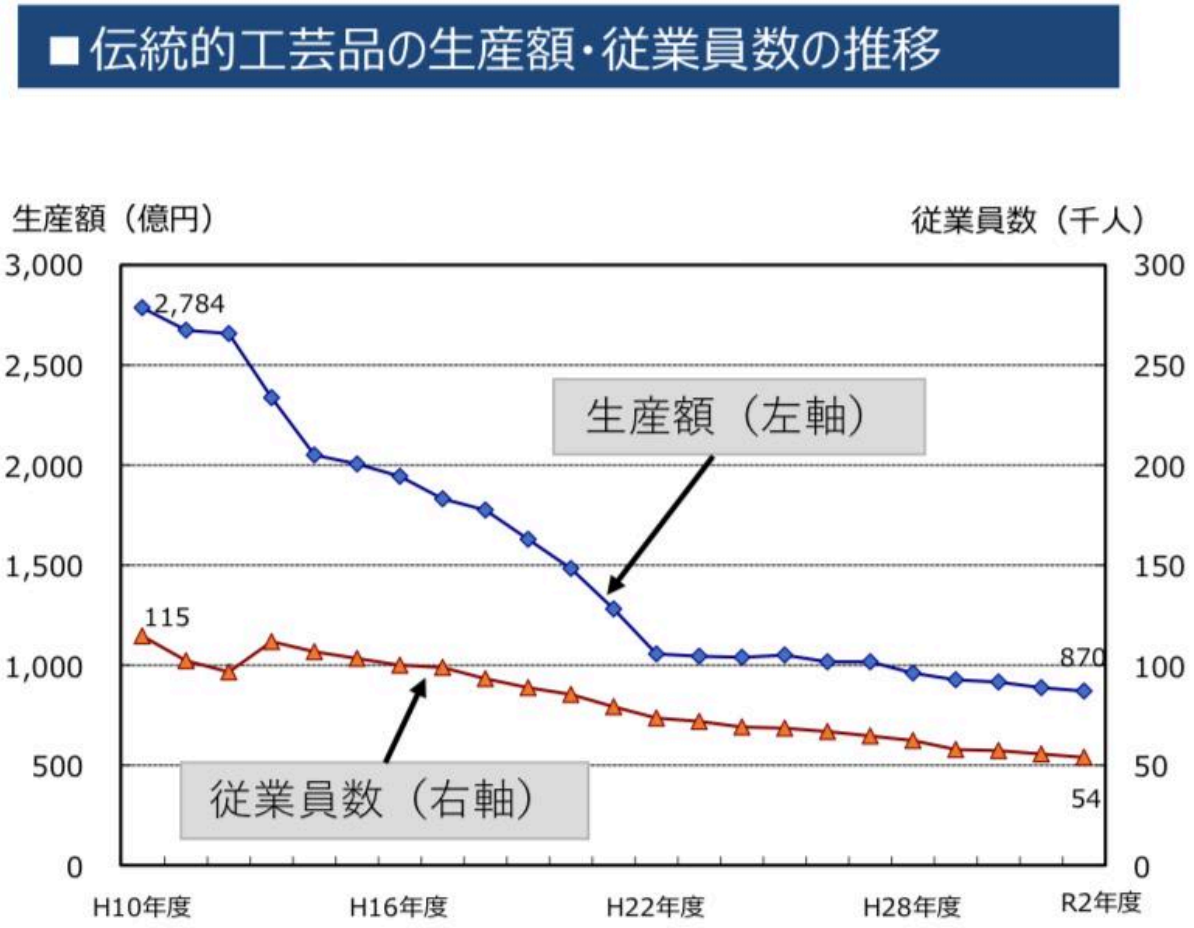
## 研究背景

私が本研究を志した原点は、幼少期から親しんできた「塩沢つむぎ記念館」を運営する株式会社南雲織物工場の廃業という衝撃的な出来事にある（織の文化館　塩沢つむぎ記念館「新着情報」2025.12.1[1]）。代表者の高齢化という一企業の課題が、地域全体の文化消失へと直結する現状は、伝統産業における事業承継の脆弱性、および属人的な経営基盤に依存した構造的限界を如実に物語っている。

伝統的工芸品の生産額は平成10年度から令和2年度の22年間で約1/3に激減、また従業員数は約1/2に減少し、原材料費の価格上昇に伴い、価格改訂する必要があるが、販売不振のために製品価格に反映できないという声も上がっている（経済産業省,令和４年[2]）。この縮小は単なる需要減だけではなく、低収益性と担い手不足が招く「負の循環」の結果であり、これに強い危機感を抱いた。

[1] 織の文化館　塩沢つむぎ記念館「新着情報」
https://www.tsumugi-kan.jp/news/?id=955&ym=2025/12

[2] 経済産業省「経済産業省説明資料」p.4
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunkazai/kikaku/r03/09/pdf/93743201_06.pdf




（経済産業省，令和4年度）

当初、先行研究では、若年層や海外への認知度向上を目指し、アニメや漫画を活用したPR（コンテンツツーリズム）を検討した。しかし、PRなどのメディア露出は強力な「きっかけ」にはなるものの、メディア露出によるブームは一時的な「消費」に留まりやすい（山村高淑著　コンテンツツーリズム入門等[3]）。南魚沼のような地域において、技術継承や雇用という「持続可能性」を担保するには、表面的なPRを超えた構造改革が必要であるとの結論に至った。

行政情報ポータル等の資料[4]に基づくと、伝統文化の持続可能性には、以下の三要素の有機的な結合が必要である。

**1.** デジタル革新

[3] 山村高淑（2011）.『コンテンツツーリズム入門：理論と実践』.古今書院.

[4] 行政情報ポータル「伝統文化・民俗芸能の継承・振興ー支援策の全体像と優先順位」
https://ai-government-portal.com/伝統文化・民俗芸能の継承・振興/

今回の事例では、M&Aによってデジタル支援会社が介入したことで、旧来の「品質を維持する」組織風土から、デジタル技術を用いて「自律的に価値を創造する」組織風土へと変革が始まっている。これにより、若者が「働きたい」と思える現代的な職場環境が構築される。

**2.** 担い手不足の解消

デジタル変革による作業効率の向上と、観光資源化による収益性の向上が、適正な賃金とキャリアパスを生み出し、次世代の担い手を呼び込む。

**3.** 活用促進（観光資源化による体験価値の提供）

Susan J. Napier氏（2007）[5]が提唱する「異世界体験（癒しと啓示）」を応用する。塩沢紬を単なる衣類（モノ）としてではなく、雪国特有の雁木通りという空間的装置と一体化させた「日常から乖離した没入型体験」としてパッケージ化し、高付加価値化を図る。つまり、「高価な反物」という製品販売だけでなく、紬を着用しての街歩きやワークショップ、歴史的背景を学ぶガイドツアーなど、「世界観に入り込めるコト消費」を提供することで、消費者の裾野を広げる。

この三要素をもとに、塩沢紬の持続可能性に着目していったところ、本研究では、単なる広報活動を超え、地域住民が主体となり、伝統工芸が経済的に自立するための「観光資源化」に注目することとした。

# 意義

本研究の意義は、伝統工芸を守るべき骨董品（保護対象）から、自律的に収益を生む、稼げる地域資産（経済基盤）へと転換させる点にある。

南魚沼市観光戦略（令和7年9月）[6]は、「本市を訪れる観光客の約3割が冬季のスキー観光を目的に来訪しています。スキー観光は積雪量や気象条件の影響を受けやすく、近年の暖冬少雪の傾向から、将来的に積雪量の減少が見込まれ、これまでのようなスキー観光による観光客数の増加が難しくなる可能性もあります。」と現状を分析し、かつ本市の来訪者数はシーズン別では4～11月のグリーンシーズンが多く、月別では12～3月のウィンターシーズンが多いと述べている。

---

[5] Susan J Napier（2007）From impressionism to Anime: Japan as Fantasy as Fan Cult in the mind of the West, Palgrave Macmillan

[6] 南魚沼市（令和7年9月）「南魚沼市観光戦略」
https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/fs/2/7/8/3/5/3/_/%E5%88%A5%E6%B7%BB_%E5%8D%97%E9%AD%9A%E6%B2%BC%E5%B8%82%E8%A6%B3%E5%85%89%E6%88%A6%E7%95%A5.pdf.
補足:おでかけウォッチャーとは人流データの分析ツールである。

図表 ３　来訪者数の推移




出典：九州経済調査協会・ブログウォッチャー「おでかけウォッチャー」[2]

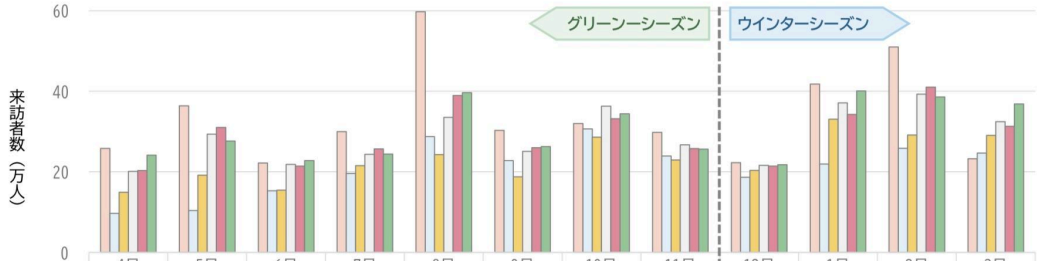
図表 ４　シーズン別来訪者数の推移（令和元年度から令和６年度）

| | 合計（万人） | | 割合 | | 月当たり（万人/月） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | グリーンシーズン | ウインターシーズン | グリーンシーズン | ウインターシーズン | グリーンシーズン | ウインターシーズン | 差 |
| 令和元年度 | 266.2 | 138.4 | 65.8% | 34.2% | 33.3 | 34.6 | 1.3 |
| 令和2年度 | 161.1 | 91.1 | 63.9% | 36.1% | 20.1 | 22.8 | 2.7 |
| 令和3年度 | 165.7 | 111.6 | 59.8% | 40.2% | 20.7 | 27.9 | 7.2 |
| 令和4年度 | 217.2 | 130.4 | 62.5% | 37.5% | 27.2 | 32.6 | 5.4 |
| 令和5年度 | 222.3 | 128.0 | 63.5% | 36.5% | 27.8 | 32.0 | 4.2 |
| 令和6年度 | 225.0 | 137.3 | 62.1% | 37.9% | 28.1 | 34.3 | 6.2 |

コロナ禍

出典：九州経済調査協会・ブログウォッチャー「おでかけウォッチャー」

図表 ５　月別来訪者数の推移（令和元年度から令和６年度）




| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和元年度 | 25.8 | 36.4 | 22.2 | 30.0 | 59.7 | 30.3 | 32.0 | 29.8 | 22.3 | 41.8 | 51.0 | 23.3 |
| 令和2年度 | 9.7 | 10.4 | 15.3 | 19.6 | 28.8 | 22.8 | 30.7 | 23.9 | 18.6 | 21.9 | 25.9 | 24.7 |
| 令和3年度 | 14.9 | 19.2 | 15.5 | 21.5 | 24.3 | 18.8 | 28.6 | 23.0 | 20.4 | 33.1 | 29.1 | 29.1 |
| 令和4年度 | 20.1 | 29.4 | 21.8 | 24.4 | 33.5 | 25.1 | 36.3 | 26.7 | 21.6 | 37.1 | 39.3 | 32.5 |
| 令和5年度 | 20.3 | 31.0 | 21.4 | 25.7 | 39.0 | 26.0 | 33.2 | 25.8 | 21.4 | 34.3 | 41.0 | 31.3 |
| 令和6年度 | 24.1 | 27.6 | 22.8 | 24.4 | 39.7 | 26.3 | 34.4 | 25.7 | 21.8 | 40.1 | 38.6 | 36.8 |

出典：九州経済調査協会・ブログウォッチャー「おでかけウォッチャー」

（南魚沼市観光戦略,令和7年）

この偏りは、閑散期における宿泊施設の低稼働や雇用の不安定化を招いている。近年の暖冬少雪によりスキー観光が不安定化する中、天候不問の「通年型・全天候型」コンテンツである塩

沢紬を資源化することは、観光需要の平準化（シーズンによる偏りの解消）を実現し、地域経済に安定的な基盤をもたらす極めて有効な戦略である。

# 仮説

デジタル技術による内部構造の改革が完了しつつある現状（【研究背景】1.デジタル改革を参照）において、外部との接点である『観光資源化』を徹底することで、伝統工芸の持続可能性は飛躍的に高まると仮説を立てる。

・牧之通りを中心とした既存の観光資源と塩沢紬を融合させ、冬のスキー客や秋の新米客といった季節限定の観光動線を、通年型の文化体験客へと転換させる可能性（具体モデル提示など）を探る。例) 着物で街歩き

# 研究方法

本研究では、塩沢紬の持続可能性と観光資源化の可能性を検証するため、以下の2つの手法を用いる。

**1.** 文献調査

• 南魚沼市の公式サイトや行政資料を活用し、地域の観光および伝統文化の現状を詳細に把握する。

**2.**インタビュー調査 （フィールドワーク）

• 現場の専門家の知見を得るため、以下の通り聞き取り調査を実施した。

【調査概要】

• 実施日: 2026年3月19日（木）

• 場所: 南魚沼市役所 北分館 会議室

• 対象者:

• 南魚沼市観光協会：中島勝氏、寺口正隆氏

• 南魚沼市商工観光課：廣田義仁氏

• 南魚沼市社会教育課：新田実穂氏

• 目的: 伝統工芸の現状認識、既存コンテンツの有無、および観光資源化に向けた物理的・構造的課題の抽出。

# 調査結果

インタビューを通じて伝統工芸が直面している「保存」と「再生」の分岐点ともいえる極めて切実な現状が浮き彫りとなった。また、得られた現場のリアルな声は、当初の仮説を修正・補強し、文化の継承が文字通り「時間との戦い」であることを示唆している。

Q1. 観光のプロの視点から、現在の「塩沢紬」をどう捉えているか。

A. 中高年のファンが中心のジャンルであり、若い世代が関心を持つことは非常に喜ばしいこと。市民レベルでのムーブメントは、行政の施策に新たな動き（さざなみ）を起こすきっかけとして期待がある。

Q2. 紬に着目した具体的な観光コンテンツや仕掛けは現在あるか。

A.現時点では具体的な展開はなし。

Q3. 伝統工芸の資源化における「成功」の定義とは何でしょうか？

A. 以下の4点が重要だと考える。

1. 経済的自立: 職人が育成され、正当に「稼げるシステム」が成立すること。

2. 市民の誇り: 住民がなんとなくではなく、知識に基づいて魅力を理解し、誇りに思うこと。

3. 産業の定着: 万人が満足できる観光コンテンツとして産業が根付くこと。

4. 文化の統合: 市への来訪者が増え、観光の枠組みに「文化」というジャンルが組み込まれること。

Q4. 観光資源化に向けた物理的なハードルや課題は何か。

A. 職人不足が深刻で、もはや「手遅れ」に近い危機的状況にある。かつて20～30社あった機屋は現在7社にまで減少し、紬を完遂できるのはわずか1～2社である。在庫が作れないため、需要があっても供給が追いつかず、価格が跳ね上がる悪循環にある。

【調査から得られた知見（追加知識）】

インタビューを通じて、単なる広報活動では解決できない構造的な実態が明らかになった。

歴史とブランドの変遷

• 奈良時代からの歴史を持つ「越後上布（麻）」に対し、「塩沢紬（絹）」は江戸時代後期に自家用として始まった。

• バブル崩壊後、多くの嗜好品が衰退する中で、塩沢は熱狂的なファンやマニアに支えられ生き残ってきた。

活用の新しい兆し

• 現代的アレンジ:

従来の「着物」の形に固執せず、スーツ、スニーカーの刺し子、キャラクター衣装など、現代の生活に馴染む形への転換が求められている。

• 異文化との融合:

「ゆきぐにランタン」イベントでは、留学生（IUJ）がパーカーの上に着物を羽織るなど、自由なスタイルでの発信が注目を集める。

M&Aによる変革:

2026年4月より「塩沢つむぎ記念館」はデジタル支援会社によるM&Aを経て「織りの戸」として再始動し、若者向けの体験型施設を目指している。

供給力の限界

需要はあるものの、職人の高齢化により在庫が作れず、製品価格が跳ね上がっている（本塩沢で軽自動車並み、希少な紬は一反500～1,000万円）

行政の課題

縦割り行政や年度ごとの人事異動により、文化振興に関する認識の継続的な共有が困難な側面がある。

観光資源化への障壁

• 地域住民の意識:

観光拠点である「牧之通り」は、住民の生活維持が優先されており、京都や浅草のような積極的な観光客の受け入れや滞在型コンテンツの拡充には至っていない。滞在型観光に必要な飲食店や「映え」るコンテンツが不足しており、積極的な観光受け入れの枷となっている側面がある。

• コンテンツの欠如:

紬に着目した具体的な観光仕掛けは現状存在せず、スキー客などの季節動線と文化体験が切り離されている。

# 考察と今後の展望

インタビューにより、職人不足が「手遅れ」に近いという深刻な供給側の限界が浮き彫りとなった。これを踏まえ、本研究では当初の仮説を以下の通り再定義する。

再定義

• 「本物」への階段設計：

いきなり数百万円の反物を訴求するのではなく、中古品や現代的アレンジ（スニーカー等）を用いたエントリー層向けの体験を先行させる。

(例)

• ステップ1: インバウンドや若者向けに、模造品や中古品を活用した「着物でスキー」や「街歩き」で世界観を体験してもらう。

• ステップ2: 体験を通じて魅力を再発見した層を、希少価値の高い「本物」のストーリー（雪さらし、植物由来のエコ性）へと誘導する。

• 評価の逆輸入：

インバウンド層（海外富裕層）による「エコ・サステナブル」な文脈での評価を可視化し、それを地域住民のシビック・プライド（誇り）へ転換する。インバウンドによる評価を逆輸入することで、地元住民や若い世代が伝統の価値を再発見するきっかけを作る。

新たな事業案：教育と雇用を繋ぐ「地域貢献型」ビジネスモデル

地域の課題（英語教育への苦手意識、伝統知識の不足）とインバウンド需要を掛け合わせた事業を提案する。

• 学生ガイド育成: 地元の若者が伝統工芸の知識を学び、それを英語で説明するスクリプトを習得。

• 効果: 店主の英語対応不安を解消し、若者には地元への愛着と国際交流の機会を提供する。

地元の学生が伝統工芸の「語り手」として英語でのガイドを担う「次世代型インターンシップ・モデル」を提案したい。これにより、職人の負担軽減、若者の郷土愛醸成、そしてインバウンド消費の拡大という、持続可能な「三方良し」のサイクルが構築される。

研究の次なるステップ

• 事例比較: 結城紬などの先行事例をさらに深掘りし、具体的なニーズ（年代、所得層、居住地）を数値化する。

• ターゲットの精査: 「越後上布」と「塩沢紬」のどちらに焦点を当てるべきか、市場性と希少性の観点から再検討する。

結びに代えて

本研究の最終目的は、伝統工芸を守るべき「保護対象」から、自律的に収益を生む「経済基盤」へと転換させることにある。今後は他産地の成功事例を深掘りし、数値的な裏付けを行うとともに、自身の将来（医師としての地域貢献）とも結びつけた多角的な視点で研究を深化させていきたい。

# 参考文献


山村高淑（2011）.『コンテンツツーリズム入門：理論と実践』.古今書院.

木村美紀、元雄良治(2017)『皇帝の漢方薬図鑑』

文学部国文科教授　早野慎吾『異なるコンテンツを活用した国語教育』

因京子（2011).『マンガで学ぶ日本語：日本語教育でのストーリー・マンガ利用の可能性』凡人社

橋本和也（2011）「地域文化論:新たな観光学への展望」『世界思想社』

井口貢　編（2011）『観光文化の振興と地域社会』

早野慎吾（2019）.「異なるコンテンツを活用した国語教育:日本語学の視点から」.『月刊国語教育研究』日本国語教育学会，(565), 4-9.

Susan J Napier（2007）From impressionism to Anime: Japan as Fantasy as Fan Cult in the mind of the West, Palgrave Macmillan

小峰書店編集部　(2018/04)『キャリア教育に活きる！仕事ファイル13 伝統文化の仕事』小峰書店

南魚沼市（令和7年9月）「南魚沼市観光戦略」
https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/fs/2/7/8/3/5/3/_/%E5%88%A5%E6%B7%BB_%E5%8D%97%E9%AD%9A%E6%B2%BC%E5%B8%82%E8%A6%B3%E5%85%89%E6%88%A6%E7%95%A5.pdf.(2026年2月17日閲覧)

南魚沼市観光協会「見る　遊ぶ　スキー場」
https://m-uonuma.jp/visit/.(2026年2月17日閲覧)

南魚沼市「商工観光課」
https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/soshiki/s040/s040-20/.
(2026年2月17日閲覧)

文化庁「文化に関する世論調査 」および「伝統工芸品の保護・継承に関する調査研究」
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/r1393020_01.pdf
（2025年12月3日閲覧）

行政情報ポータル「伝統文化・民俗芸能の継承・振興」
https://ai-government-portal.com/伝統文化・民俗芸能の継承・振興/
(2025年12月3日閲覧)

- 東京都「文化活動に関する住民意識調査」令和五年度
- 文化庁「継承の危機に瀕す文化財保護の緊急強化」
- 文化庁「無形の文化財の継承実態調査」令和四年度
- 東京都教育委員会「東京都文化財情報データベース」
- 一般法人サステナブル芸術創造機構「渋谷の落書き問題解決と若手アーティスト支援を行うアートプロジェクト『シブヤキャンバス』を企画・制作」
- 観光庁「観光立国推進閣僚会議（第26回）資料」観光
- 観光経済新聞「【2024年インバウンド】過去最高の3687万人、消費額八兆円」
- 文化庁「令和6年度文部科学白書」

総務省「伝統工芸の地域資源としての活用」
https://www.soumu.go.jp/main_content/000818479.pdf
（2025年12月3日閲覧）

経済産業省「経済産業省説明資料」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunkazai/kikaku/r03/09/pdf/93743201_06.pdf
（2025年12月3日閲覧）

Co-Evolution 株式会社「事例・実績」
https://www.co-evo.jp/
（2025年12月3日閲覧）

織の文化館　塩沢つむぎ記念館「新着情報」
https://www.tsumugi-kan.jp/news/?id=955&ym=2025/12
（2025年12月3日閲覧）

InsideJapan Tours「InsideJapan — Cultural & Experiential Travel in Japan」
https://visitinsidejapan.com/

日本経済新聞社「日経ブックプラス」
https://bookplus.nikkei.co.jp/

公益財団法人 音楽文化創造(2024)「活動事例 2024」
https://ongakunouso.jp/activity/2024/

観光庁「訪日外国人消費動向調査」
https://www.mlit.go.jp/kankocho/

観光庁「高付加価値旅行者の誘致に向けたアクションプラン」
https://www.mlit.go.jp/kankocho/

中小企業庁「中小企業白書（事業承継と経営革新）」
https://www.chusho.meti.go.jp/

総務省「伝統工芸の地域資源としての活用報告書」
https://www.soumu.go.jp/

Bunkamura・大阪芸術大学／吉良俊彦「マンガデザインで文化ツーリズム」
https://www.bunkamura.co.jp/sp/openvillage/mdbt/

文部科学省「教育白書 」
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab202001/mext_02820.html

国土交通省(2019)「日本人の価値を形成するもの
https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h30/hakusho/r01/pdf/np101300.pdf

Nikkei「ディスカバー・ニッケイ | 日系人の歴史・文化・体験を伝えるジャーナル」
https://discovernikkei.org/ja/

公益財団法人 音楽文化創造(2024)「活動事例 | 公益財団法人 音楽文化創造」
https://www.onbunso.or.jp/activity-events/activity-example/

# 自家風力発電機

## 研究背景

JCLP(2022.7.11)は、「気候変動への対応は、近年の主要7ヶ国首脳会議(G7)で最重要課題として議論されています。」「IPCC第6次報告書では、ただちに温室効果ガスの排出を削減することが必要であり、そのためには、化石燃料から太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーへの転換を進めなければならない、としています。」と記載されている。これらの記述からわかるとおり、現在、この世界は脱炭素社会を目指している。そこで本研究では、変動する風を動力源とする風力発電に着目したいと考え、この研究をする動機となった。

Green & Circular(2025.5.26)は「風力発電は再生可能エネルギーに位置づけられ、エネルギー資源となる風は、枯渇する心配がありません。さらに、発電時に二酸化炭素や有害物質を排出しないクリーンエネルギーでもあり、環境負荷が小さいことがメリットとして挙げられます。」と記載しており、風力発電機は環境負荷が小さいという点も理由の一つである。 また、中学2年生の頃に、風力に興味があり、牛乳パックをさまざまなプロペラの形状にくり抜いて、どの形状が最も効率よく回転するかの実験をした事も重なり、実際に制作し、どの程度の発電量を発電できるのか、どこまでの生活上の電気量をまかなうことができるか、を確かめたいと考えたからである。

## 仮説

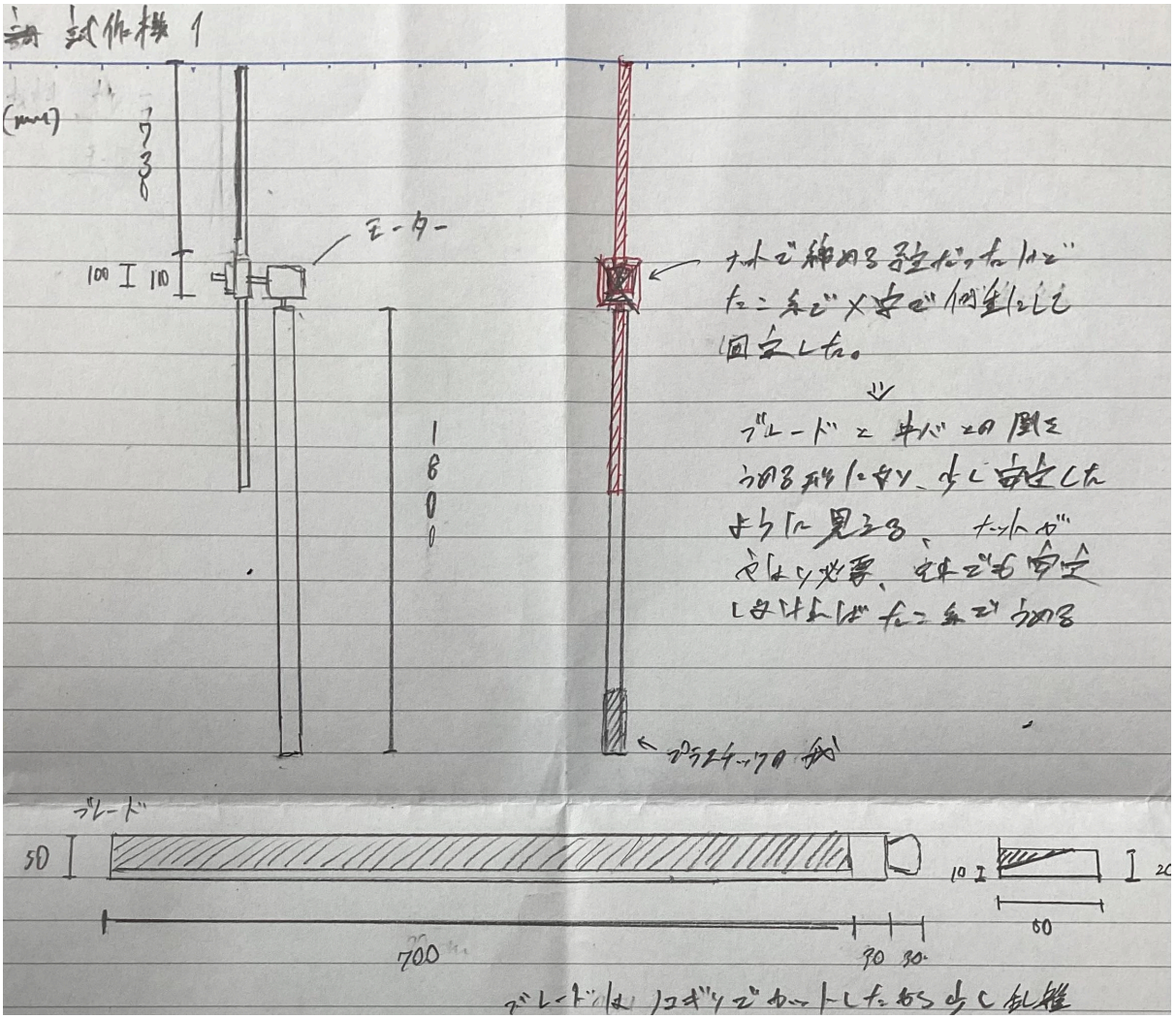
この研究で作成する発電機は、一般の風力発電機より少ないプロペラ2枚だが、それと比べると作成した発電機は小さく、弱い風でも、ゆっくりと回ると予想した。

## 実験方法

一般的な風力発電機は、大きくそびえ立っていて、大きな3枚のプロペラがついている風力発電機を想起させる。その一般的な風力発電機をモデルにして、風力発電機の形を作成し、最終的に設計図に落とし込む。風力発電機で大事なモーターは、家庭にあった故障した扇風機を分解し、そのモーターを使う。材料や必要な道具は、ホームセンターから購入した。脱炭素化、地球環境の事も考えたかったので、材料は主に木材を使って作った。作成した風力発電機を屋外に設置して、実際に機能するか、その結果をもとに改良して、実験を行った。

今回、作成した風力発電機は、柱の長さは1800mm、プロペラ一枚の長さは730mm、プロペラの傾きは23.25°、プロペラの直径は1570mm、プロペラの総重量は約500グラムである。プロペラは2枚で、それぞれ独立した部品で構成されている。それらは、はめ込み式で固定されている。電気系統は設けていない。

(図)




## 結果

風力発電機の回転は、確認できなかった。

今回、冬季の時に実験したため雪を土台にして固定した。その重みで支えられていたため、安定して設置できた。プロペラが分解することもなかった。

## 考察

風が持つエネルギーは物理学において、風が持つエネルギー＝1/2x空気密度x受風面積x風速の3乗 と表せる。計算すると今回作成したプロペラは、弱くて3m/s以上の風力が必要だということがわかった。回らなかった理由は、住宅の前に設置して実験したためプロペラが回転に必要な十分な風速が吹かなかったこと、プロペラの傾きが大きすぎると失速する可能性があり今回作成したプロペラも仰角が大きく風を捉えられなかったと考えられる。また、扇風機のモーターを力の調節・回る速度の調節する歯車・ギアを間に入れずプロペラで直接繋げたこと、その結果、強い風を必要とした可能性がある。

## 結論

本研究で作成した風力発電機は、高さ約2m、プロペラの直径約1.5mの大きさ、プロペラ2枚と少なく、杉材で作成したため、重量が大きく、仰角も大きかったため回転しにくいことが明らかになった。また、扇風機のモーターとプロペラを直接繋がずにギアなどで力を調節した方が良い事が明らかになった。

最初から大きいのを作ったのも適切ではなかったと考えられる。その解決策として、手頃な小さいモーターを使ったミニチュアサイズを作り、様々な試行を重ねていくことが重要であることが考えられる。

これからは、今回作った風力発電機の改良点を見直し作り直すこと、小さいサイズでいろんなアイデアを試し、その倍の大きさにしたとき、実際にどうなるかを調べていきたいと考えている。プロペラの形やその角度でどれくらい回転力が変わるかを本などで学ぶ必要がある。次の実験は、原因を追求するためにプロペラのみで外に設置したときに回るか、仰角を15°にしたプロペラ2枚は今回作成したプロペラと、どう変化するのか調べたい。

## 参考文献


・JCLP (2022.7.11) 脱炭素社会とは？ ～求められる理由と、実施すべき取り組み・課題～ (https://japan-clp.jp/archives/11006) 2026年1月3日閲覧

・Green & Circular (2025.5.26)
風力発電の仕組みをメリット・デメリットと合わせてわかりやすく解説
(https://www.mitsui.com/solution/contents/solutions/re/60) 2026年1月3日閲覧

・東京電力 (不明) 風力発電のしくみ
(https://www.tepco.co.jp/rp/business/wind_power/mechanism/) 2025年12月31日閲覧

・三菱電機デジタルイノベーション株式会社(2018.10.16)きちんと使い分けできていますか？「話し言葉」と「書き言葉」(https://www.mdsol.co.jp/column/column_122_1081.html) 2026年2月19日閲覧

・安田 陽 (2017) 日本が知らない風力発電の実力 インプレスR&D

・MITUI & CO (2024.10.13)デンマークに学ぶ最新の再生エネルギー事情。今、日本に求められる対応とは
(https://www.mitsui.com/solution/contents/solutions/re/renewable-energy-in-Denmark) 2025年11月28日閲覧

・日本気象株式会社 (不明)デンマークの洋上風力発電力と風力発電普及への取り組み
（https://n-kishou.com/corp/pdf/tec170314.pdf ）2025年12月5日閲覧

・渋谷 正信 (2021) 地域や漁業と共存共栄する洋上風力発電づくり PHP研究所

・田口 理穂 (2015) なぜドイツはエネルギーシフトが進むのか 学芸出版所

・千葉 恒久 (2025) ドイツでは風力発電をどうコントロールしているのか：ゾーニング制度と実務 Independently published

・一般社団法人ターボ機械協会(不明) ターボ機械を知ろう！・・・風車
(https://www.turbo-so.jp/turbo-kids6.html)2026年2月23日閲覧

・NEDO (2008.2) 風力発電導入ガイドブック
(https://www.nedo.go.jp/content/100079735.pdf) 2026年2月23日閲覧

・Note (2026.2.6)風車の性能計算（4. 翼型特性：揚力・抗力と迎角の関係）
(https://note.com/weit_windenergy/n/n9e6f85e193fc) 2026年2月23日閲覧

# 同音異義語から考える漢字の持続可能性について

## 1.研究背景・研究目的

日本語は、漢字や仮名（ひらがな・カタカナ）、アルファベットなどの複数の文字体系（文字種）を有し、「漢字仮名交じり文」によってこれらの文字を使い分けながら語や文を記すという、独特な表記法を用いる言語である。このように、常に複数の文字種の使い分けがなされ、表記選択の余地のある日本語では「表記論」という特有の問題が生じている（中野，2022）。日常生活では本来漢字を使って表記されるような語が省略されたり、かなの語に言い換えられたりしていることも少なくない。吉村（1982）は「漢字は重要視されている反面、片かなに代行されているというのが現実である。」としている。（気持ち悪い/きもい）（本気/マジ）（可愛い/カワイイ）などはこの例である。

また、日本語には同音異義語が多く存在する。「雨／飴」「機械／機会」のように、同じ読みでありながら意味が異なる語は数多い。山崎（2022）は「テキストに出現する同じ読みを持つ二字漢語の組み合わせを調べると、少なくとも約6割のサンプルに同音二字漢語の同音異義語が現れていることがわかった。」と述べている。

では、同音異義語がかなに代行されていった場合、何をもとに人は同音異義語の語彙判断を行うのだろうか。水野、松井（2015）は、「Hall（1976）は、言語利用時の文脈依存度は文化によって異なり、欧米は比較的低い（low context）が、日本を始めとするアジアは極めて高い（highcontext）と指摘し、文脈依存度が言語の語彙，統語、そして音韻を変化させると述べている。またNisbett （2003）は、英語の理解には文脈は必要なく、中流階級の親はむしろこどもに対して文脈がなくても理解できるような言葉使いに努めるが、アジアの言語の理解には文脈が不可欠で、文脈を重んじると指摘している。日本語に同音異義語の種類や仲間が多いという特性は高文脈依存だからこそ発生・存続したもので、通常は文脈が非常に明確なため、支障なく処理できるのではないかと考えられる。」としている。このことから、同音異義語を語彙判断する際は、文脈の強度にかなり影響されることが分かる。

では、文脈がない文章に同音異義語が含まれる場合や、どちらの意味でも判断できる同音異義語が含まれる文章では何をもとに語彙判断を行うのだろうか。例えば「コウショウする。」という文章のみ表示されている際はどうであろうか。コウショウには40種類以上の同音異義語があるが、大抵の人は「交渉」の語彙で判断するのではないだろうか。このような語彙判断に至る要素として、私は「同音異義語の使用頻度/語彙経験」が関係していると仮説をたてた。これまでの文献では、同音異義語の意味理解において「文脈」の役割に注目した研究がいくつか見られる。しかし、本研究では文脈だけでなく、「同音異義語の使用頻度」に着目する。すなわち、使用頻度の高い語と低い語とで、漢字表記が語彙判断に与える影響に差があるのかを調べる。本研究の目的は、同音異義語と使用頻度との関係を

分析することを通して、漢字が意味理解においてどの程度不可欠な役割を果たしているのかを明らかにし、漢字の持続可能性を検討することである。

# 2. 研究調査

## 2.1 研究対象

本研究では、同音異義語を含む文章における意味理解の過程を対象とする。読み手の語彙経験が語彙判断に与える影響と、それを補助する漢字の役割について検討する。

## 2.2 研究方法

本研究では漢字と使用頻度の関係を調べ、文章で伝えたい内容を正しく伝える上で漢字が必ず必要であるのかを考察するためにアンケート調査を実施した。

【アンケートの内容】

文脈を工夫することでどちらの同音異義語の意味でも成り立つように作った文章を用いて、どちらの同音異義語の意味で文章を捉えたかを聞いた。これにより、各漢字の使用頻度の差が意味理解に差を及ぼすのかを検討する。

※今回用いた漢字の使用頻度の差はあくまで私自身の経験上でのものであったため、アンケート内で使用頻度の差が影響しているかも聞くか、語彙の使用率のようなものを調べるかした方が良いと後から気づいた。もし、これ以降調査を行う時は改善したい。このことを念頭に置いてこの先を読んでいただきたい。

調査は12月19日から12月25日までの7日間で行い、国際情報高校の2年生30名を対象とした。アンケートは全15問で構成し、Googleフォームを用いて回収した。

## 2.3 結果

【(1)設問1】 葡萄の方が使用頻度が高いと考えられる文章

用いた例文:私はブドウ(葡萄、武道)が好きだ。

・葡萄の意味で捉えた人→30人中27人

・武道の意味で捉えた人→30人中3人

【設問2】解答の方が使用頻度が高いと考えられる文章

用いた例文:なかなか解けず、カイトウ(解答、解凍)に悩む。

・解答の意味で捉えた人→30人中27人

・解凍の意味で捉えた人→30人中3人

【設問3】自信の方が使用頻度が高いと考えられる文章

用いた例文:占い師の彼は、「ジシン(自信、地震)があるよ。」と言った。

・自信の意味で捉えた人→30人中23人

・地震の意味で捉えた人→30人中7人

【設問4】糖分の方が使用頻度が高いと考えられる文章

用いた例文:砂糖が入った物を食べすぎたので、もうトウブン(糖分、当分)は摂取しない。

・糖分の意味で捉えた人→30人中21人
・当分の意味で捉えた人→30人中9人
【設問5】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:金運の上がる神社に行ったのに、私の財布にはコウカ(効果、硬貨)が無い。
・効果の意味で捉えた人→30人中19人
・硬貨の意味で捉えた人→30人中11人
【設問6】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:この通販アプリはハッソウ(発送、発想)の仕方が画期的だ。
・発送の意味で捉えた人→30人中21人
・発想の意味で捉えた人→30人中9人
【設問7】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:地図で地域のキョウカイ(教会、境界)を探す。
・教会の意味で捉えた人→30人中14人
・境界の意味で捉えた人→30人中16人
【設問8】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:お気に入りの問題集をスス(進、勧)める。
・進めるの意味で捉えた人→30人中6人
・勧めるの意味で捉えた人→30人中24人
【設問9】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:今までに無い新しい何かをソウゾウ(想像、創造)する。
・想像の意味で捉えた人→30人中11人
・創造の意味で捉えた人→30人中19人
【設問10】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:コロナで隔離されていた子供をカイホウ(解放、介抱)する。
・解放の意味で捉えた人→30人中16人
・介抱の意味で捉えた人→30人中14人
【設問11】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:いつも使っているハシ(橋、箸)が今日は使えない。
・橋の意味で捉えた人→30人中13人
・箸の意味で捉えた人→30人中17人
【設問12】使用頻度が同程度だと考えられる文章
用いた例文:アジ(鯵、味)をシ(締、占)めた。
・鯵を締めたの意味で捉えた人→30人中14人
・味を占めたの意味で捉えた人→30人中16人
【⑵設問1】
どちらの文章でも理解できましたか？
・できたと答えた人→30人中12人
・どちらかといえばできたと答えた人→30人中16人

・どちらかといえばできなかったと答えた人→30人中1人
・できなかったと答えた人→30人中1人

【設問2】

問1は何の脈絡もない文章であり、どちらの意味で回答するか悩んだと思います。
漢字が無くなることで本来伝えたい内容に齟齬が生まれてしまうと感じますか？

・思うと答えた人→30人中25人
・どちらかといえば思うと答えた人→30人中3人人
・どちらかといえば思わないと答えた人→30人中1人
・思わないと答えた人→30人中1人

【設問3】

漢字が無くなることで考えられる不便を教えてください。

（一部抜粋）

・同じ読み方の違う文字と勘違いしてしまう。
・文章作成にかかる時間が増加する。
・ひらがなとカタカナだけになると文字数がとても多くなる。
・手紙などの改まった場面で、意図せず失礼な印象を与えてしまう。

## 3.考察

※研究方法でも記載した通り、ここでの使用頻度の差はあくまで私個人が日常的に経験してきたものであることを念頭に置いていただきたい。

今回行ったアンケートでは回答が一つに偏る設問がいくつか見られた。一方で、回答がほぼ二分された設問も存在した。本研究では使用頻度を客観的に測定していないため断定はできないが、この違いは単に文脈の強弱によるものだけでなく、回答者の語彙経験や日常的な使用頻度の差によって生じた可能性がある。例えば、「葡萄」や「解答」のように日常的に目にする機会の多い語は、文脈が弱くても多数が同じ意味を選択した。一方で、「教会／境界」「解放／介抱」など、使用頻度が近いと考えられる語では回答が分かれた。

ただ、使用頻度が近いと考えられるが票数に差が生まれたものもあった。ここで文脈の強さが関係してくるのではないかと考えられる。例えば「勧める／進める」の文章では「お気に入りの」という語が「勧める」の意味に近づけ、「発送/発想」の文章では「通販アプリ」という語が「発送」の意味に近づけた可能性がある。

このことから、意味理解は読み手の経験と文脈に基づいた読者の推測によって大きく左右されることが示唆される。

さらに、多くの回答者が漢字が無くなることで意味の齟齬が生じたり、文章作成にかかる時間が増加するだろうと感じていたことから、効率的な意思疎通を行う上でも重要な役割を担っていると言えるのではないか。

したがって、漢字は意味理解そのものに必須の要素であるとは言えないが、個人の経験差による解釈の幅を抑え、意味を固定する機能を持つと考えられる。

本研究の範囲では、文章理解の面において、漢字の役割は意味を一意に決める必須要素ではなく、読解を助ける補助要素であるということが示唆された。したがって、かな表記が増加する現代においても、同音異義語が存在する限り、漢字は意味の固定装置として一定の役割を持ち続けると考えられる。

## 4.今後の展望

本研究では、同音異義語の使用頻度が語彙判断に影響を与える可能性について考察したが、使用頻度を客観的なデータで示すことができなかったという課題が残った。今後は、実際の文章データや辞書などを用いて語の使用頻度を調べ、より根拠のある形で分析を行いたい。

また、今回は同じ学年の高校生のみを対象としたが、世代によって語彙経験には差があると考えられる。対象を広げて調査を行うことで、漢字がどの世代にとってより重要な役割を果たしているのかを明らかにしたい。

さらに、SNSなど漢字が少なくなる傾向にある場面で同様の調査を行うことで、現代における漢字の役割の変化についても検討していきたい。

これらの研究は、情報の整理や伝達の仕組みを研究する分野と関わっている。将来は、知識情報を学べる学校で言語と情報の関係や、人がどのように情報を理解・処理しているのかについて学び、本研究で得た視点をさらに発展させていきたい。

## 5.参考文献


吉村弓子 （1982年）.「現代日本語における漢字の表意性」.
（https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/record/23935/files/3.pdf）

笹原宏之 （2022年）.「漢字に求められる役割と教育」
（https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kyogikai/pdf/93751501_04.pdf）

陳鑫 （2018年）.「日本における漢字廃止論とその背景」
（https://www.akita-u.ac.jp/honbu/global/ja/abroad/inbound/pdf/report_2018_03.pdf）

水野りか 松井孝雄（2015年）.「日本の同音異義語処理への文脈の影響」
（https://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2015/proceedings/pdf/JCSS2015_P2-2.pdf）

水野りか　松井孝雄(2016年).「日本語の同音異義語処理に対する仲間の数と文脈の影響」(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcogpsy/15/2/15_31/_pdf)

水野りか　松井孝雄(2016年).「日本語の同音異義語の語彙判断時間への音韻的親近性の影響」(https://cir.nii.ac.jp/crid/1390001205675668480)

国立国語研究所学術情報リポジトリ(2021年).「テキストにおける同音異義語の分布」(https://share.google/XEop5CCtQnNWIXj0H)

新納浩幸(1998年)「間違えやすい同音異義語の収集」(http://nlp.dse.ibaraki.ac.jp/~shinnou/papers/download/IPSJ-NL98126001.pdf)

吉田敬(2022年)「現代日本語表記の機能に関する考察」(https://share.google/UNcj20lPoNRU9AUBj)

中野真樹(2019年)「現代日本語表記に漢字は不可欠なのか」(https://www.kanto-gakuen.ac.jp/junir/info/pdf/bulletin_613029.pdf)

藤田千夏(1993年)「文字表記に関する研究:日本語の文字の使い分け」(https://cir.nii.ac.jp/crid/1050001337658512128)

篠塚勝正　窪田三嬉夫(年代不明)「日本語文字形態(漢字、ひらがな、カタカナ)による認知言語処理の差異」(https://www.seijo.ac.jp/pdf/falit/221/221-03.pdf)

大人の学び直し国語塾「一番多い同音異義語『こうしょう』とは？意味や違いを1分マスター」(https://mainichi-nihongo.jp/kanji-062/)

ウィクショナリー日本語版「こうしょう」(https://ja.wiktionary.org/wiki/%E3%81%93%E3%81%86%E3%81%97%E3%82%87%E3%81%86)

# 「日本における中華料理の持続可能性」

Sustainability of Chinese Cuisine in Japan

## 1. 初めに

本研究では、日本における中華料理の持続可能性について考察する。なお、本研究ではラーメンは中華料理に含めないものとする。「ニッポン放送」によると、ラーメンは明治時代の横浜中華街で生まれたとされ、中国の拉麺とは大きく異なる。そのため、中華料理と断定することは難しいからである。

## 2. 研究背景

世界には様々な料理が生まれているが、中でも中国の中華料理は日本では和食に次ぐ、主要な料理ジャンルだと思われる。具体的にいつ頃中国の料理が日本に伝わって来たのかは分かっていないが、1880年頃には中国料理店の「偕楽園」が東京にできている(岩間一弘,2020)。日本人は本来の味から日本人好みの味にアレンジすることで中華料理を食卓に取り入れている。例えば「回鍋肉」は本来ニンニクの芽を使うが、日本人は代用品としてキャベツを使って調理している(佐藤貴子　2021)(写真1)。また誰もが食べたことがあるであろう「中華丼」は元々は八宝菜という料理をご飯にかけたことで日本に生まれた。なので中国に中華丼というメニューはない。中国から伝わって来た文化はこれらの料理のように形は違うかもしれないが、日本の食卓に浸透している(TOMATOPEDIA,2025)。私は中華料理が日本に浸透していった要素やこれからどのように発展していくのかということを調べる為この研究を行った。



写真1　回鍋肉の比較　(中国:左　日本:右)

## 3. 研究目的

日本には多くの料理が中国から伝わっている。今や日本中の食卓で見られるようになった中華料理は幅広い世代から人気を集めている。好きな料理ジャンルを見てみるとどの年代からも10%以上の支持を集めており、特に50代以上の人からは高い支持が見られる(株式会社ファンくる,2022)(図1)。

さらに一般飲食店の事業所数を産業別に小分類したものを見てみると、中華料理は喫茶店、一般食堂に続いて3位の14,5%である。事業所数は約6万店にも上っていた(総務省,2004)。しかし残念なことに、店舗数が近年減少傾向になっていることも事実である。

その一方で近年では冷凍食品やレトルトなどのもので家庭でも中華料理を食べやすい環境になってきている。多くの人が知っているであろう中華料理のレトルト製品である「Cook Do」は1980年代から売り上げは上昇の傾向が続いている(味の素,2018)(図2)。さらに中華炒めメニューの食卓出現回数をみてみると、1日のうち1000世帯あたり焼きそばが47、肉野菜炒めが75と前年と比べても多くなっており、コロナ禍の影響もあり、食卓に出てくる回数は増えている。このように中華料理は今や私たちに欠かせない存在となりつつある。

本研究では日本での中華料理のこれからの発展と展開について、持続可能性を調べることを目的にしている。その為に文献や自らが実験して得たデータを分析し、まとめた。

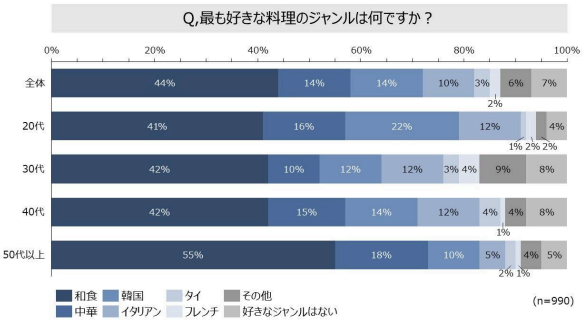



図1 好きな料理ジャンル




図2 中華レトルト「Cook Do」の売り上げ推移グラフ

## 4.研究方法

本研究では文献調査を用いた分析と中華料理についての実習を行った。

[1]文献調査

学校の図書館や南魚沼市図書館で主に中華料理についての本を借りてまとめたり、タブレットなどの電子機器を使ってWebサイトなどから情報を集めた。

[2]実習

実習では麻婆豆腐、回鍋肉、チャーハンを実際に作り、「家庭での中華料理の作りやすさと中華鍋の使いやすさ」という点にポイントを置き、・準備(調理の前まで)　・調理・実食、調理後　という3つの工程に分けて、良い点と良くない点で評価した。

さらに麻婆豆腐は自分で作ったものと、お店で食べた本場の四川に近い麻婆豆腐を比べた。比較対象にした麻婆豆腐は「中華　まーぼー」さんのメニューである土鍋麻婆豆腐定食(1400円)を対象にしている。

## 5.仮説

日本において中華料理が発展してきた要素には、地形的に日本と中国の関わりがあったのではないかと考える。これからの中華料理については日中関係の悪化などから必ずしも楽観視できない状況だと予想する。

## 6.研究結果

[1]文献調査

近代以降における日本での中華料理の定着は西洋料理に比べて遅れをとっていた。そこには西洋の文化を絶対的な見本にしていた一方で中国には蔑視感情があったからである。しかし1930年代からは日本の中国進出とともに日本人の中華料理への関心が高まってきた。NHKで1957年から放送されている「きょうの料理」に頻出する中華料理を年代別に見てみると、近年はチャーハンや餃子が上位を占めていて、中華料理が取り上げられる回数も年々増えている(図3)。また戦前の頃は日本は魚介類が多めの食生活だったので、中華料理は魚介を中心とした料理が27.0%、肉を中心とした料理が45.8%にもかかわらず、日本では同じくらいの割合で紹介されている。これは日本の家庭での中華料理の普及が図られたためだと考えられる。また年が進んでいくにつれて、豆板醤や甜麺醤、オイスターソース、花椒などの中国由来の調味料を使った料理が増えている(図4)。こういった新たな調味料を取り入れていくことで、同一の料理でもバリエーションを増やし、多様な定番化を進行させている。こうして日本に中華料理は日本へ浸透していった（川口幸大,2021）

表4 『きょうの料理』に頻出する中華料理（年代別、上位5）

| | 1960年代 (N=450) | 回数 | 1970年代 (N=1011) | 回数 | 1980年代 (N=1257) | 回数 | 1990年代 (N=1189) | 回数 | 2000年代 (N=1163) | 回数 | 2010年代 (N=1097) | 回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 料理名 | 冷やしそば | 5 | シューマイ | 18 | チャーハン | 22 | チャーハン | 49 | 餃子 | 62 | 餃子 | 67 |
| | 餃子 | 5 | 餃子 | 16 | 餃子 | 20 | 餃子 | 32 | チャーハン | 53 | チャーハン | 48 |
| | 酥魚 | 5 | チャーハン | 11 | シューマイ | 19 | ワンタン | 26 | 春巻き | 34 | 麻婆豆腐 | 32 |
| | チャーハン | 4 | ワンタン | 10 | ワンタン | 11 | 春巻き | 24 | シューマイ | 26 | 春巻き | 29 |
| | 酢豚 ほか | 3 | 焼きビーフン | 9 | 春巻き | 9 | シューマイ | 23 | 麻婆豆腐 | 23 | 酢豚 | 21 |
| | | | | | | | （6麻婆豆腐 | 13） | （6酢豚 | 20） | | |
| | | | | | | | （7酢豚 | 10） | | | | |

表7 調味料の使用率の推移（%）（年代別、上位10）

| 順位* | 調味料名 | 料理の友 1910年代～1940年代通算 | きょうの料理 1950年代 | 1960年代 | 1970年代 | 1980年代 | 1990年代 | 2000年代 | 2010年代 | 1950年代～2010年代通算 | 中国名菜譜 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 塩 | 61.4 | 76.2 | 71.1 | 74.3 | 75.7 | 66.2 | 61.7 | 59.4 | 67.5 | 60.9 |
| 2 | 醤油 | 56.7 | 81.0 | 68.2 | 63.1 | 66.1 | 72.2 | 67.0 | 66.9 | 67.0 | 50.2 |
| 3 | 酒 | 42.4 | 66.7 | 60.4 | 62.5 | 58.6 | 50.7 | 49.0 | 45.9 | 53.6 | 45.3 |
| 4 | 砂糖 | 37.3 | 71.4 | 61.3 | 54.0 | 55.2 | 50.4 | 44.3 | 45.8 | 50.7 | 43.2 |
| 5 | こしょう | 16.0 | 9.5 | 19.8 | 37.9 | 42.4 | 49.4 | 47.2 | 47.9 | 42.7 | 18.1 |
| 6 | 酢 | 16.9 | 16.7 | 18.2 | 21.1 | 22.4 | 22.7 | 26.9 | 29.2 | 23.8 | 13.7 |
| 7 | 豆板醤 | － | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 6.6 | 15.9 | 16.2 | 17.4 | 10.7 | 2.4 |
| 8 | 化学調味料 | 46.8 | 66.7 | 72.7 | 26.0 | 0.0 | 1.6 | 1.0 | 0.2 | 10.5 | 58.7 |
| 9 | オイスターソース | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 5.9 | 13.4 | 14.1 | 15.3 | 9.1 | 1.5 |
| 10 | 紹興酒 | － | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 11.8 | 9.8 | 11.4 | 6.7 | 0.9 |
| 11 | 鶏ガラスープの素 | － | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 4.0 | 4.2 | 5.6 | 8.1 | 5.5 | － |
| 16 | 甜麺醤 | － | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 1.8 | 3.5 | 4.6 | 4.7 | 2.8 | 3.3 |
| 18 | さんしょう | 3.6 | 7.1 | 3.6 | 3.2 | 2.8 | 2.4 | 2.4 | 1.8 | 2.6 | 0.2 |
| 19 | 花椒 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 1.7 | 1.9 | 3.4 | 5.4 | 2.4 | 9.6 |

＊ 順位は『きょうの料理』1950年代～2010年代の通算による

図3 「きょうの料理」で取り扱われた中華料理.

図4 同番組で使われた調味料

現在においての中華料理はというと、近年、本格的な中華料理店(ガチ中華とも呼ばれる)が急増している。日本人好みにはアレンジされず、中国人をターゲットにした料理を提供している。コロナ禍が終わったことで中国からの留学生が増加しており、日本語学校や大学が周りにあるところには留学生が集まりやすく、お店のターゲットとなっている。もちろん日本人の入店も可能である。(TBS NEWS,2023)

一方で、課題も存在する。それが材料費の問題である。中華料理の中でメジャーと言えるチャーハンに使われているお米や卵は近年話題になっている物価上昇の影響を強く受けている。FNNプライムオンラインは米の相対取引価格(60kgあたり)は2024～2025の1年間の間に約1.7倍(卵の卸売価格基準値(Mサイズ1kgあたり)は1.54倍にもなっていると報道した。取材ではチャーハン一皿が1000円を超えてしまうのは…という声が多かった。第一生命経済研究所　主席エコノミスト・永濱利廣氏によると「年度の後半以降ぐらいになれば少し上昇ペースは緩やかになるとは思うが、価格上昇は今後も持続する可能性は高いと見ておいた方がいい。（日本は）食料自給率が非常に低いので、どんどん値上がりしていく食材を輸入しないといけない。町中華も含めて、メニューの価格は今後も上昇が続く可能性が高いと思います」とニュース内で言及した。

また中華料理店に限った問題ではないが、人件費や人手不足なども中華料理店に対して影響している。これらの問題により飲食店の倒産件数は近年増加しており、2025年には過去最多の900件である(図5)。その中でも中華料理店は179店、全体の約20%を占めており、これもまた過去最多となっている(帝国データバンク,2026)(図6)。

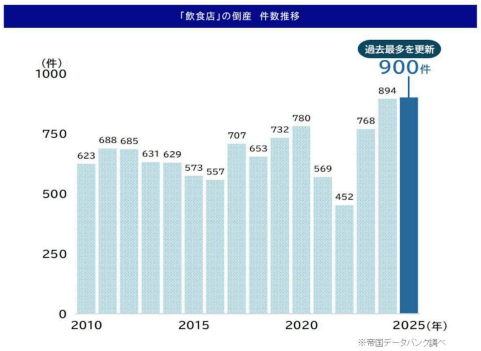



図5　飲食店の倒産件数

(件)

| 飲食店・業態別 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 酒場・ビヤホール | 167 | 142 | 204 | 212 | 204 | -3.8% |
| 中華・東洋料理店 | 81 | 66 | 109 | 158 | 179 | 13.3% |
| 日本料理店 | 51 | 35 | 70 | 77 | 97 | 26.0% |
| バー、キャバレー | 46 | 29 | 58 | 93 | 89 | -4.3% |
| 西洋料理店 | 71 | 49 | 81 | 123 | 87 | -29.3% |
| その他の料理店 | 35 | 26 | 64 | 65 | 69 | 6.2% |
| 喫茶店 | 49 | 34 | 72 | 61 | 61 | 0.0% |
| 一般食堂 | 34 | 37 | 59 | 50 | 65 | 30.0% |
| そば・うどん店 | 7 | 8 | 21 | 27 | 22 | -18.5% |
| すし店 | 18 | 17 | 22 | 22 | 20 | -9.1% |
| 料亭 | 10 | 9 | 8 | 6 | 7 | 16.7% |
| 合計 | 569 | 452 | 768 | 894 | 900 | 0.7% |

※網掛けは過去最多を示す

図6　ジャンル別倒産件数

[2]実験

・3つの工程での評価

　下記のように表にまとめた

| | 良い点 | 良くない点 |
|---|---|---|
| 準備 | ・中華鍋が想像より安いものが多い<br>・IHでも使える中華鍋がある<br>・材料が揃えやすい<br>・レシピの種類が多い | ・中華鍋には主にガスのみ、IHのみ、両方の3種類がある<br>・中華鍋を使う際に初回には油ならし*1(空焼きが必要な場合もある)、毎回使用する始めには油返し*2が必要<br>・油返し用のオイルポットが必要 |
| 調理 | ・特別な工程がない（和食でする事と同じ）<br>・中華鍋が焼く、煮るの両方ができる<br>↪ほぼ全てのことが1つで完結 | ・油を使う量が多い<br>・油が少ないと焦げつく<br>↪火が伝わりにくくなる<br>・鍋が重い（物による） |
| 調理後 | ・調味料などで辛さなどを変えやすく、好みの味にできる<br>・中華鍋を大皿としても使える<br>・中華鍋は汚れが落ちやすい | ・焦げが固まってしまうことがある |

*1 油ならし→鍋に3分の1程度の油を入れ熱し、その後油を取り除いて、ついている油をキッチンペーパーなどで拭くこと。これをすることで鍋に油がコーティングされ、食材がくっつきにくくなり、錆びにくくもなる。

*2 油返し→毎回最初に行う。油を多めに入れ全体に馴染ませる(この油は調理するための油とは別)。

・調理前
今回は中華鍋を購入する所から始めたが、ネットで中華鍋を探していると、意外にもIH対応のものも多く、選択肢は少なくなかった。ガス、IH両対応のものがあり自分はそれを購入した(図5)。最初に油ならしを行わなければならないが、時間は15分程度だったものの、熱した油をポットに戻す作業で油がこぼれたりするなど、料理慣れしていない人には少し怖い部分があった。毎回行う油返しも同様である。料理の材料を買う際に気づいたのは、中国由来の調味料(花椒など)が近所のスーパーにも出回っているということである。種類も豊富であり、興味深い発見深い発見であった。レシピは今回、図書館で借りた「中華料理の基礎知識」(角謙二　2013)を参考にさせて貰ったが、他にもいろいろな中華についての本があったり、YouTubeなどにもたくさん載っているので、料理初心者でも挑戦しやすい環境が整っている。
・調理
和食や他の国の料理と同じく、中華料理だからといって特別な工程は無かった。中華鍋は揚げる、煮る、焼く、蒸す、茹でるの作業が出来てしまうので、1つでなんでもできてしまう。特に麻婆豆腐などの具材を炒めてから水分を加えて煮込む料理の時は非常に有用である。中華鍋だけではないのだが、炒める際に油が少なかったりすると、焦げ付きができ、食材に温度が伝わりにくくなってしまう。中華料理は食材に油を纏わせるということが重要なので、十分な量の油を使用することが重要であると分かった。
・調理後
ほとんど料理初心者の私でも3品全て美味しく作れた。中華料理は辣油や七味、先程出した花椒をかけることでアレンジできる。日本食と比較して、調味による味の調整が容易である。汚なくなったと思った中華鍋も軽くこすると汚れが落ちていき、その便利さが見てとれる。時間が経つと固まってしまうので早めに洗った方が良い。
・麻婆豆腐の比較
自分が作ったもの(写真2)は、豆板醤や甜麺醤といったものをベースに作っているので、全体的にあまり辛くなく、子供から大人まで誰もが食べることのできる味付けだったのに対して、中華まーぼーさんの土鍋麻婆豆腐(写真3)は色がとにかく赤く、強い辛さがあって、舌に強い痺れを感じた。特に辣油の量が凄く、一面が辣油になっているほどかかっていた。また自分は1時間ほど調理時間があったのにもかかわらず、お店の方は10分前後と提供のスピードにも差があった。



写真2 自分が作った麻婆豆腐



写真3 中華まーぼーさんの土鍋麻婆豆腐

以上のことから、日本における中華料理はテレビ番組での紹介、また調味料等の普及により家庭での中華料理は発展してきている。物価上昇や後継者不足といった課題はあるものの、家庭向け商品の普及や本格志向の店舗増加など、新たな形での展開が見られる。したがって、中華料理は形を変えながら持続していく可能性が高いと考えられる。

## 7.考察、今後の展望

今回の研究から中華料理はレトルトや冷凍食品の売り上げなどから、予想以上に日本で愛され、日本人の食卓に根付いていることが分かった。危惧していた日中関係の影響も調べた限りでは見られなかった。その一方で物価上昇による中華料理店の営業困難や、後継不足などによる中華料理店の倒産件数の増加という厳しい現状も見つけられた。そこで後継者問題の対策として調べた中の一つとしてマッチングサイトを使ったものがある。事業を継いでもらいたい人がホームページや仲介者を通して知り合い、事業を継ぐというシステムであり、このシステムにより後継者がいない人が助かるだけでなく、従業員への影響が軽減したり、さらには後継者の人が初期費用を抑えられるなど多大なメリットがある。(Nスタ,2024)

今の時代は飲食店業界全体が不況の状態にある。今ある味を将来に残し、中華料理を発展させていくためには、家庭での中華料理の普及という形を変えた展開が中華料理の発展の鍵となると思われる。その一方でお店においては物価高騰を抑えることや、人手不足、人件費の問題などによる経営困難をどう改善していくかということも重要だと考えられる。

今回の研究で分かったことを踏まえて、中華料理は家庭に優しい料理になっている傾向があることが分かったので、これからもっと中華料理を作り、知識や技術を深めていきたいと思った。

## 8.参考文献


・川口幸大(2021)料理テキストに見る日本の中華料理の受容と展開―『きょうの料理』を中心に―
https://doi.org/10.50859/jfcj.17.0_1.2025年12月.
・中華まーぼー
https://share.google/ddhaIju96NAEd7H7f.2025年12月.
・総務省(2004)統計局ホームページ「一般飲食店」の産業小分類別事業所数及び収入額の構成比
https://www.stat.go.jp/data/service/2004/kakuhou/gaiyou/t1.html#header.2025年12月.
・株式会社ファンくる(2022)【調査結果】好きな料理ジャンルベスト3
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000142.000040075.html.2026年1月.
・慶應義塾大学出版会(2020)日本の中華料理はどこから来たのか
https://www.keio-up.co.jp/kup/tachiyomi/pdf/9784766426434.pdf.2026年1月.
・トーマス・デイヴィッド・デュボワ(2025)中華料理　5000年の文化史　2026年1月.
・食の教科書(2013)中華料理の基礎知識　2026年1月.
・S&B(不明)花椒を使いこなそう　ミニ講座&おすすめレシピ
https://www.sbfoods.co.jp/.2026年1月.
・味の素株式会社(2022)「Cook Do® 炒(チャオ)ソース」のホームページから
https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/presscenter/press/detail/2022_01_06_02.htm.2026年1月.
・味の素株式会社(2018)”中華が家族を熱く”した「Cook Do®」　発売40年周年ストーリー
https://story.ajinomoto.co.jp/report/017.html.2026年1月.
・TOMATOPEDIA(2025)日本の中華料理一覧
https://tomato.international/w/index.php.2026年1月.

・日テレNEWS(2024)【後継者不足で…町のお店消える？】半数が「後継ぎナシ」も“脱ファミリー化”で改善 マッチングの効果は
https://m.youtube.com/watch?v=D4v3NFEIMq8.2026年1月.
・産経新聞(2026)
https://www.sankei.com/article/20260113-V6LQ3P2NO5F5ZBK4PQW3V74GRE/.2026年1月.
・飲食店ドットコム(2019)飲食店M&Aマガジン　個人飲食店の後継者不在問題。廃業しなければならなくなる前にできる対策方法とは？
https://www.inshokuten.com/ma/manual/magazines/4/.2026年1月.
・TBS NEWS DIG Powered by JNN(2023)news23【ガチ中華】池袋に100店舗以上！なぜ急増？背景に中国の“超競争社会”…留学生「日本で再出発したい」
https://m.youtube.com/watch?v=iJAlpuGlwHE.2026年1月.
・農林水産省(2025)農業物価指数－令和2年基準－
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/noubukka/noubukka_m/r7/m10.html.2026年1月.
・FNNプライムオンライン(2025)イット！【苦渋】町中華の厳しい現実…チャーハンにも“1000円の壁”米や卵など材料費高騰が影響「お客さんが通いづらくなってしまう」
https://www.fnn.jp/articles/-/849522.2026年1月.
・東北大学大学院文学研究科・川口幸大(2019)味の素食の文化センター研究成果概要報告書【日本の中華料理の形成と展開についての実証的研究】
https://www.syokubunka.or.jp/assets/data/research/17003.pdf.2026年2月.

# 宇宙に関する研究と技術発展の持続可能性について
## -これまでなぜ発展してきたのかこれからの全体の展望について-

## 1.探究背景

私は宇宙に関して昔から興味があったがそこまで詳しく調べたことがなかったが高校に進学し本格的に大学進学について考えはじめた時，大学で宇宙について学びたいと思った。だが宇宙といっても範囲が広くどのような側面から学びたいかわからなかった。そのため探究の中で宇宙の歴史，これから研究されていく分野について調べて，その中で研究したい分野についても見つけていきたいと思った。

## 2.探究意義・目的

本探究の目的は今までの宇宙に関する研究，技術が発展してくることができた理由，またこれからの宇宙分野の展望について「社会的意義」「教育的意義」「経済的意義」の三つの観点から明らかにすることが目的だ。2022年時点で世界の宇宙産業の規模は約54兆円ほどで，2040年までに140兆円規模になると予測されているほどに発展してきている。また世界的に宇宙開発は政府や行政主体のものから民間企業主体へと切り替わってきている。日本でも同様に今まで日本の宇宙開発は大手重工・電機メーカーを中心に進められてきたが，近年，多くの宇宙ベンチャーが勃興しきている。まさに今特に注目されている分野と言えるだろう。

また技術発展に伴い観測技術が向上し宇宙の研究範囲はとても広くなってきている。宇宙の起源，進化，構造，生命の可能性を化学，物理学，生物学，地学，工学など多くの学問を通して研究される対象となっている。

このような現在急速な発展を遂げている宇宙に関する研究の意義を改めて明らかにして，これからの発展を予測するのに繋げていくことが本探究の意義となる。

## 3.宇宙研究の意義

### 3-1.社会的意義について

まず社会的意義とはなんでしょう。本探究では「宇宙研究が人々の社会生活をより良く促進してくれること」を指す。

宇宙研究は我々の生活から遠いものだと思われやすいが実は身近なものだ。特に代表例としてGPSがある。GPSは人工衛星技術・ロケット技術・原子時計・機動力学などが利用されていて，宇宙研究の成果の集合体と言え，宇宙工学がなければ成立していなかった。元々，GPSは軍事利用のために開発されていた。当時は冷戦時でアメリカが正確な位置把握方法を必要としていたが地上システムでは限界があったため，人工衛星を使った測位システムが構想され開発されたものである。そのGPSは現代では航空・海運・測量・災害対策など幅広い分野で利用され，生活の中でなくてはならないものとなっている。National Research Councilから出された報告書ではGPSは国家と社会全体で共有される公共インフラだと評価されている[a]。

皆さんが特に身近に感じられるGPSが利用された技術は天気予報だと思う。テレビや新聞，またスマートフォンなどから天気を知るために天気予報を日常的に利用しているだろう。天気予報の際にはGPSは大気観測センサーとして利用されている。GPSの衛星の電波が低軌道衛星に届く時に天候条件によって電波が屈折・遅延しこの屈折量を解析されることによって高度ごとの大気状態を得ることができてそれが天気予報に利用されている。

次に少し日常生活から遠くなるが宇宙研究は実は平和利用のために国際協力に繋がる。これは国連の宇宙空間に対する理念で平和利用というのは軍事対立や武力競争の場としてではなく平和的な目的で宇宙空間を利用しようということ[b]だ。国連には国連宇宙空間平和委員会が設立されており宇宙活動の国際協力の促進，平和利用に関する法的・技術的問題の検討などが主な任務となっている。これは毎年開催され多くの加盟国が参加し宇宙活動に関する議論を行っている。これらによって国を超えて共通課題の課題ができ解決に向かって国際協力していくことに繋がっていく。

以上より宇宙研究は社会基盤の一部になっており，国際協力のきっかけに繋がると言える。

### 3-2.教育的意義について

教育的意義とは「宇宙分野が学習者に対して知識や価値観などの多くの点で良い影響を与えること」だ。

宇宙教育は生徒の知的好奇心や探究心を高めてくれると言われている[c]。きっと皆さんも宇宙に関する番組などを見てほんの少しでも興味が出たことがあると思う。それは宇宙という未知で壮大な生活から離れたものについて少し知れたことにより想像をより現実的に膨らませることができたからだ。また宇宙は科学や数学といった多種多様な学問分野と結びついているため別分野に対しても学習意欲を高めてくれる。また、社会的意義で書いたように宇宙研究は国際協力が前提とされており，宇宙研究について学ぶことで生徒は国際的視野や平和利用への理解を深めることができる。

ここでクラーク記念国際高等学校で行われている宇宙教育について紹介したい。東京大学やSpace BD株式会社の協力によって行われたもので人工衛星の開発・打ち上げをプロフェッショナルと共に生徒主体で行うというものだった。その開発後，完成された衛星はJAXAに引き渡されて実際に国際宇宙ステーションに向けてケネディ宇宙センターで打ち上げられた[d]。これは約三年間を通して行われたプロジェクトだった。これらは生徒の主体性や創造性が得られ宇宙分野や科学技術へ関心を持ち進路選択に繋がった。現実的にこのような大規模な宇宙教育を日本全体などで普及していくことは不可能に近いと思うが、実現できた際には宇宙はもちろん他分野についても学習意欲が促進され研究もさらに発展していくことだろう。

以上より宇宙教育は生徒の主体性や創造性を育んでくれ，他分野への興味を持つきっかけを作ってくれ大きな教育的意義を持つことがわかる。

## 3-3.経済的意義について

経済的意義とは「宇宙分野が経済活動に良い影響を与えること」だ。

宇宙開発は社会的意義について言及したように他分野に応用されている[e]。また宇宙研究は科学者や技術者といった高度人材を育成してくれる。これらによって直接的ではなく間接的に何かしらの影響を経済に与えてくれると考えられている。さらに長期的に見たならば経済成長に正の影響を与える可能性が高いとされている。そして宇宙技術は生産性向上と新産業創出を促進してくれるため投資対象となってきている[f]。

探究意義・目的に書いたように宇宙分野の民間企業が増えてきている。それは小型衛星，再使用ロケット，通信・観測サービスの発展によって参入障壁が低下してきているためである。そのためそれらに投資する人たちも増えてきている。特に商業的に収益化しやすい通信や測位といった分野に資金が集中している。トヨタ自動車、三菱重工業、三井物産グループといった大手企業なども宇宙関連企業への資金提供や協業を進めている。また三菱重工業は投資のみではなく実際に宇宙開発を自社事業の一部として進めるケースもある。

以上より宇宙技術は他分野を通して今後長期的に見て経済成長に繋がり、さらに近年の技術発展によって投資対象になっている。

## 3-4.宇宙研究意義についてまとめ

宇宙研究は生活水準の向上に繋がり、もうすでに生活の基盤となっている。また国際協力や平和利用にも寄与し十分な社会的意義が存在している。そして宇宙教育は未知で壮大な点から学生の知的好奇心、探究心を向上させてくれる。多くの学問分野で成り立っているためそれらへの進学に繋がっている。よって教育的意義がある。また宇宙分野は投資対象となっており経済的意義もある。よって多方面から意義がありそのため現代まで研究が続いてきたと言える。

# 4.これから期待される研究について

多くの学問を通して研究されている分野だと紹介した。そのため多く方向からアプローチされ、多くの研究がある。その中で特に私自身が調べた中で特にこれからの社会変化を通じて注目されていくと期待されると考えられる研究、そして私自身が興味を持った研究を紹介したい。

## 4-1.スペースデブリ

### 4-1-1.スペースデブリとは

まずはじめにスペースデブリだ。スペースデブリは地球の軌道上にある不要な人工衛星の総称だ。このように表現すると簡単だが実際はかなり多様なものである。使用済み又は故障した人工衛星・ロケット上段、運用後の残水薬による爆発・衝突により発生した破片、ミッション遂行中に放出された部品といったような多様なゴミが2021年時点で地球軌道上に約22000個[g]あるとされており、それらがおよそ秒速7kmという速さで地球を周回している[h]。

### 4-1-2.スペースデブリの問題・課題

2024年時点で地球周回軌道上で稼働中のインフラ全体の経済価値は約1919億ドル、日本円で約25兆程度[i]とされている。軌道上には衛星及び宇宙ステーションがあるが社会的意義の時に言及した通り、これらは社会基盤サービスに不可欠だ。だがスペースデブリの増加によってデブリ衝突で損傷してしまうリスクが増加しており、安全な衛星の運行が厳しくなってきている。またさらにこれによって保険や衝突回避機動のための燃料や運用コストが上昇してしまう。

またデブリを放置してしまうと、デブリ同士の衝突が新たなデブリを連鎖的に増やしていく「ケスラー・シンドローム」が発生する可能性が懸念されいる。そのため私たちは早急なデブリの除去を目指す必要がある。

### 4-1-3.現在のスペースデブリに関する研究

現在スペースデブリの研究は基礎的な観測はもちろん「追跡・予測」「除去技術」「安全確保・政策提言」と幅広く進展している。世界的にももちろん日本国内でも研究が盛んになってきている。JAXAといった国の宇宙機関もデブリに対して活動しており、多数の企業と連携している。

特に日本国内で注目したいのは民間企業である株式会社アストロスケールホールディングスだ。これは実際にJAXAとパートナーシップ型の契約を締結し協力している企業だ。宇宙空間の持続可能な利用を確保するため、大規模なスペースデブリ除去技術の実証を行うことを目的としているCRD2プロジェクトのPhaseIIの契約相手として選定され[j]、世界初のスペースデブリ近接観測に成功した。現在はスペースデブリに関する状態情報をADRAS-Jを運用して取得している。また捕獲機構やロボットアーム技術によるデブリの除去は進む予定だ。

また世界的にはESAがスイスのスタートアップClearSpace SAに発注した「ClearSpace-1」という初のアクティブデブリ除去ミッションが行われている。

### 4-1-4.注目したい点

私が注目したいのはスペースデブリの除去が月面生活を実現するために必要不可欠という点だ。夢物語のように話されてきた月面生活が近年NASAなどを中心に月面生活のための月面調査や長期滞在が計画されたりしている。一見デブリには関係ないように思えるが実はスペースデブリは一つの課題となる。月面生活のためには定期的な物資輸送が必要となるが、デブリによって安全な輸送が厳しくなってしまう。現在は根本的な月面調査が中心だが、今後、さらに月面生活が現実味を帯びてくると注目が高まると考える。

## 4-2.アストロフォトニクス

### 4-2-1.アストロフォトニクスとは

アストロフォトニクスとは天文学と光工学を融合させ次世代の天文観測装置を小型・高性能化する技術分野だ。天文学では観測が大切となるが従来の光学装置は大型、高コスト、機械的に複雑という課題があった。そこで光をチップ上で制御するというフォトニクス技術が導入することで課題を解決することが目的だ。

### 4-2-2.現在のアストロフォトニクスに関する研究

これまで理論的だったアストロフォトニクスが観測装置として実際に稼働するようになってきており、精度は分野によって違うが数倍、もしくは数十倍向上したとされる。現在は単一光子レベルで光の状態、偏光や位相、時間を正確に制御・検出することや光子の量子状態をそのものを保存し、伝送することができることを目指して研究が続けられている[k]。

### 4-2-3.注目したい点

注目したいのはこの分野の教育的価値だ。多くの高精度な宇宙の画像がこれによって撮影されている。もちろん目的は天文学としての観測という部分が強いが、私たちはインターネットの普及により図鑑などを買わずにこの画像へ簡単にアクセスできるようになっている。理論で宇宙に関して説明されてもイメージができず難しく感じてしまうが視覚的な情報があるとさらに具体的に感じることができるため宇宙に対しての知識欲が向上すると考えられる。教育的意義で言及した通り宇宙はSTEAM分野の興味の入り口であるが、アストロフォトニクスによる観測画像データは宇宙の興味への入り口だと言えると私は考える。

またアストロフォトニクス自体、多くの学問を横断して研究されている。そのため横断している天文学、光科学、工学、情報科学や量子化学などの学問へ進むことも促進してくれると考えられる。

## 5.まとめ

宇宙の技術発展は生活基盤を高めることに寄与し、経済にも間接的に良い影響を与えると考えられる。そして現在、全世界で宇宙研究が発達してきており民間企業も参入してきているのもあり今まで以上に注目が上がってきている。宇宙研究・技術発展は社会的意義、教育的意義、経済的意義全てに十分な意義を持っており、新たな研究も出てきている。改めて認識してほしいのは意外と宇宙とは身近であるということだ。私たちは宇宙に関する研究・技術発展に目を向けてこれから注目していくべきである。

私は本探究、また進路について調べる中で宇宙に関わる方法は多くあり、さらに理系分野のみではなく法学などの文系でも関わることができると認識が改まった。さらに宇宙分野に対しての理解が深まり、さらに興味が出た。論文を読んでいく中、私自身が理論に興味があるとわかったため、今後はさらに物理学の面から学んでいきたいと思った。

## 6.引用文献・参考文献


上の戦い―, IEEJ Journal, 132巻8号, 562-565頁, 2012/ DOI:10.1541/ieejjournal.132.562

[a]National Research Council/ 1995/ The Global Positioning System: A Shared National Asset/ https://www.nationalacademies.org/read/4920/chapter/1 /2026.2.10

[b]United Nations Committee on the Peaceful Uses of Outer Space, Secretariat/ 2022/ International cooperation in the peaceful uses of outer space: activities of Member States

[c]百合田 真樹人/ 2013/ 宇宙教育の目的と意義：学校教育実践としての宇宙教育

[d]Space BD/ 2023/ High school inquiry-based learning in satellite launch & operations Space Education Project jointly run by Clark Memorial International High School, the University of Tokyo, and Space BD/ https://space-bd.com/en/2587//2026.2.10

[e]Radoslav Baltezarević/ 2024/ Space exploration's impact on economic growth/ https://www.researchgate.net/publication/379294965_Space_exploration's_impact_on_economic_growth/2026.2.10

[f]Aras Yolusever/ 2025/ The Space Economy: A New Frontier for Economic Growth and Innovation/ https://www.researchgate.net/publication/390788349_The_Space_Economy_A_New_Frontier_for_Economic_Growth_and_Innovation/2026.2.10

[g]United States Space Surveillance Network/ 2021/ Satellite Catalog Data

[h]皆川拓也, 木嶋龍吉, 高野真宏, 野村健一/ 2012/ 宇宙を濁らすスペースデブリ-衛星軌道

[i]CECD/2024/The Economics of Space Sustainability: Delivering Economic Evidence to Guide Government Action/ https://www.oecd.org/en/publications/the-economics-of-space-sustainability_b2257346-en.html/2026.2.10

[j]Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA)/ 2024/JAXA concludes partnership-type contract for Phase II of its Commercial Removal of Debris Demonstration (CRD2)/ https://global.jaxa.jp/press/2024/08/20240820-1_e.html?utm_source=chatgpt.com/2026.2.10

[k]Simon Charles Ellis, Joss Bland-Hawthorn/ 2024/ Astrophotonics: recent and future developments/ https://arxiv.org/abs/2404.02368/2026.2.10

Wei Cheng, Youping Xu, Zhiwu Deng, and Chunli Gu/ 2018/ GPS Radio Occultation Data Assimilation in the AREM Regional Numerical Weather Prediction Model for Flood Forecasts/

https://www.mendeley.com/catalogue/4cf72e5e-2c29-3047-8055-6ad4ee81d744/?utm_source=chatgpt.com/2026.2.10

Astroscale Japan Inc./ 2024/ Astroscale Successfully Launches World's First Debris Inspection Spacecraft, ADRAS-J/
https://www.astroscale.com/news/astroscale-successfully-launches-worlds-first-debris-inspection-spacecraft-adras-j/2026.2.10

Damien Pine / 2025/ It's time to clean up space junk before orbits become 'unusable,' according to new ESA report/ Live Science/
https://www.livescience.com/space/its-time-to-clean-up-space-junk-before-orbits-become-unusable-according-to-new-esa-report
https://www.astroscale.com/news/astroscale-successfully-launches-worlds-first-debris-inspection-spacecraft-adras-j/2026.2.10

Robert E. Slavin/ 1995/ Peer attention enhances student learning/
https://doi.org/10.3102/0013189X024006028/2026.2.10

Event Horizon Telescope Collaboration/ 2019/First M87 Event Horizon Telescope Results. IV. Imaging the Central Supermassive Black Hole/
https://iopscience.iop.org/article/10.3847/2041-8213/ab0e85/2026.2.10

Tina Highfill, Alexander C. MacDonald/2022/Estimating the United States Space Economy Using Input-Output Frameworks/
https://www.bea.gov/research/papers/2022/estimating-united-states-space-economy-using-input-output-frameworks/2026.2.10

Jennifer DeWitt, Karen Bultitude/2020/Space Science: the View from European School Students
/https://link.springer.com/article/10.1007/s11165-018-9759-y/2026.2.10

# 野良猫と地域共生の持続可能性

## 1.研究背景

イエネコの起源は古代エジプト以前にまで遡るとされており、人類との共生の歴史は非常に古い。猫は農耕の開始とともに発生した穀物貯蔵を荒らすネズミを捕食する存在として人間社会に受け入れられ、次第に家畜化が進んだと考えられている。「日本においては、奈良時代から平安時代にかけて、大陸から伝来した猫が現在のイエネコの祖先であるとする説が有力である。特に、仏教経典や貴重な文書をネズミの食害から守る目的で、猫が遣唐使船や交易船に同乗させられていたことが文献から示唆されている」（岩崎永治 和猫の足跡,2020）。このことから、猫は単なる愛玩動物ではなく、実用的な役割を担う存在として日本社会に受け入れられてきたといえる。その後、猫は日本の温暖湿潤な気候や豊富な食資源といった環境条件に適応し、野生化し、急速に個体数を増加させていった。人間の生活圏と密接に関わりながら繁殖を続けた結果、現在では飼育下にある猫だけでなく、飼い主を持たない野良猫が各地に定着する状況が生じている。

このように、日本における野良猫の存在は、突発的に生まれた社会問題ではなく、人間と猫の長い共生の歴史と密接に関係していると考えられる。

## 2.研究目的、意義

日本において野良猫は、山間部から住宅地に至るまで広く生息しており、その存在は地域住民の生活と密接に関わっている。一方で、糞尿による環境汚染や鳴き声による騒音、繁殖期における個体数増加など、野良猫に起因する生活環境上の問題は各地で継続的に発生している。これらの問題に対処するため、「日本の一部地域ではTNR（Trap-Neuter-Return）と呼ばれる対策が導入されてきた」（公益財団法人　どうぶつ基金）。TNRは繁殖を抑制することで将来的な個体数の減少を目的とした方法であり、やり方によっては結果として地域から野良猫を消滅させる方向性を持つ対策であると考えられる。実際、近年日本での野良猫の個体数は著しく減っている（図1.2.3 環境省，2004）。しかし、このような「被害の解消＝野良猫の絶滅」という考え方が、果たして唯一の解決策であるのかについては、十分に検討されているとは言えない。

本研究では、野良猫による被害を抑制するために個体の絶滅を前提とする対策しか存在しないのかを問い直し、地域社会と野良猫が共存する持続可能な関係性を構築する可能性について検討することを目的とする。

図1　全国の犬･猫の引き取り数の推移

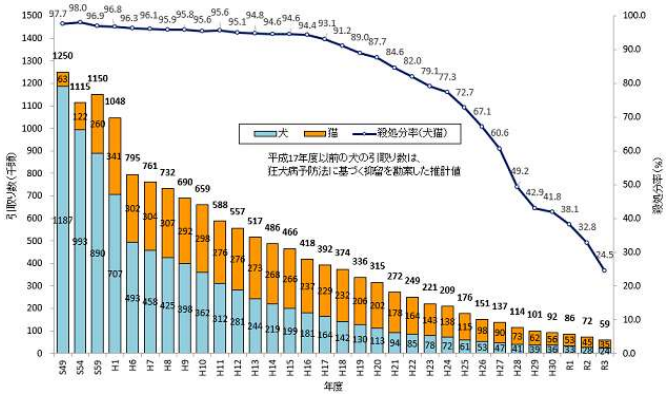



図2　全国の犬・猫の殺処分数の推移

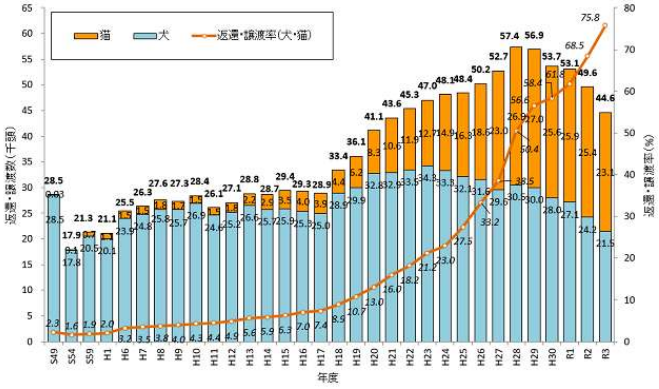
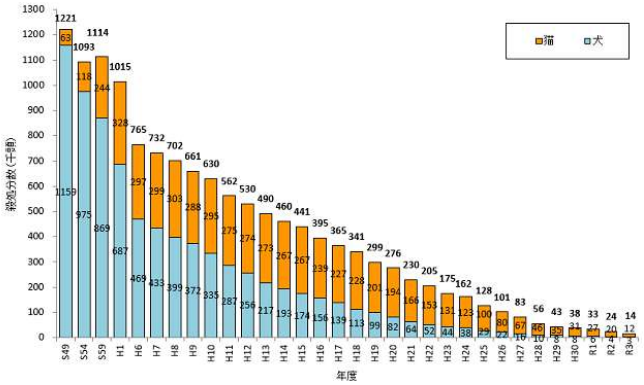



図3　全国の犬・猫の返還数の推移




## 3. 研究方法

本研究では、「地域と野良猫の共生の持続可能性」を検討するため、主に以下の方法を用いて調査・分析を行う。

・文献調査

文献調査を通じて、野良猫問題の歴史的背景や現在までに行われてきた対策、その効果および課題について整理する。具体的には、日本国内における野良猫対策の変遷やTNR活動に関する先行研究、行政資料、学術論文などを参照し、既存の知見を把握する。

・他地域、国との比較

日本以外の国や地域における野良猫への対応策を調査し、日本の取り組みとの比較を行う。海外では、TNR以外にも地域住民との合意形成を重視した管理方法や、野良猫を地域資源として位置づける事例も報告されている。これらの事例を比較することで、日本における野良猫対策の特徴や限界を明らかにする。

以上の調査結果を総合的に分析し、野良猫を排除することを前提としない共生モデルの可能性について考察する。

## 4.研究結果、結果考察

まず、「共生」を定義しておく。この研究の目標でもある「共生」はどのような形で達成されるのか。*Oxford Languages* によると、*共生とは*「いっしょに生きてゆくこと。異種の生物が相手の足りない点を補い合いながら生活する現象。」とされているため、ただ猫が地域住民に世話をされ生きていくだけでは共生をしているとは言えないことがわかる。私としては、猫は存在そのものが人に癒しを与える存在であり、その点において共生が成立していると捉えることもできる。しかしながら野良猫をよく思わない人も少なくないため、この研究の目的である地域と野良猫の共生を達成するには、野良猫を生かすことで地域住民に還元されるメリットを見出すことが必須である。

次に、野良猫による被害の現状を把握する。

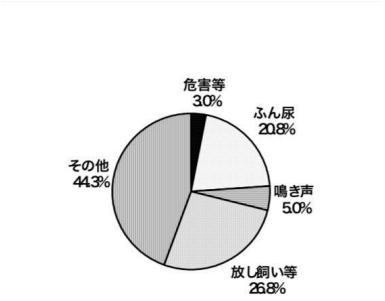



図1　環境省

自治体に寄せられた苦情

| 年度 | 苦情等の件数 |
|---|---|
| H10 | 52,928 |
| H11 | 56,030 |
| H12 | 61,831 |
| H13 | 54,524 |
| H14 | 52,444 |

（東京都・横浜市・大阪市・神戸市の合計）

図2　環境省

図1.2によると、地域住民から寄せられた野良猫に関する苦情には、割合の多い順番に、放し飼い、ふん尿、鳴き声、危害、が挙げられる。また、苦情の件数は徐々に減っているため殺処分やTNRによって日本の野良猫の個体数は着実に減少していることがわかる。東京都社会福祉・公衆衛生局（2011）の調査によると、「かわいそう」と答えた人が37.2%、「問題」と答えた人が38.9%これらを含め、野良猫について肯定的な意見を唱えた人が47%だったのに対し、否定的な意見を唱えた人は119%（回答重複あり）だった

これらの苦情を解決するとともに野良猫を殺処分、TNRをせずに（個体数制限としてのTNRを除く）地域と共生する方法を、他国や日本での共生モデルを元に検討する。

## ・トルコ　イスタンブール

トルコのイスタンブールは猫の街と言われており、道を歩いていれば猫を見るどころか街の至る所に猫がいる。「トルコでの猫は日本と同じく外国から持ち込まれた」（木村菜穂子　猫の猫による猫のための街，2021）その後にその地域の気候、環境に適応し、繁殖したものと思われる。また、トルコでの猫は宗教的観点から住民に愛されていることも、イスタンブールを猫の街たらしめる所以と言える。

ここでトルコと日本の野良猫について各項目で比較してみる

| | 地域住民 | 地域へのメリット | 野良猫への対策 | 今後 |
|---|---|---|---|---|
| トルコ | 宗教的に猫を尊重している。<br>野良猫への餌やりや共生に意欲的。 | 害虫駆除として活躍する他、観光資源としても重宝されている。 | 個体数制限としてのTNR、地域住民からの餌やり、簡易的な小屋の設置など野良猫の保護や生存に意欲的。 | 個体数制限はするが、いなくなる方針ではない。 |
| 日本 | 騒音や悪臭など、野良猫を問題視する声が多くあり、野良猫の存在に否定的である。 | かわいい<br>（諸説あり） | TNR<br>一部の地域での殺処分 | このままの活動で個体数が減少していけばいなくなる。 |

ここから考えられることとしては、日本の野良猫は生かすことで地域に還元されるメリットがない上、騒音や悪臭など様々な問題に対処する方法が野良猫の個体数の減少以外に行われていないことだ。ではなぜ、トルコではここまで野良猫問題に対処する方法が多岐に渡り、野良猫との共生に至ったのか。

一つの理由は地域住民のコンセンサスを得られているためだと考える。トルコでは、イスラム教徒が大部分を占めており、イスラム教の預言者である「ムハンマドが猫好きだった」（宗教情報センター,2011）ことから猫は国民から愛されていると考えられる。また、トルコにおける野良猫は害虫駆除の役割も担っているため、本研究の目的である共生が成立している。言うなれば、トルコには猫

を生かす明確な理由が存在している。つまり日本でも「理由」が見つかれば、野良猫問題に対する対処法が発展し、共生を選ぶ可能性が生まれると推察される。

そこで私が考えた、野良猫を生かす「理由」である野良猫の活用方法は、「野良猫の観光資源としての利用」である。「「ネコノミクス」とは、猫関連の商品やサービスが生みだす経済効果のことだ。」（オリックス銀行，2025）関西大学の宮本名誉教授（2025）によると、「2025 年のネコノミクス（ネコの経済効果）を計算したところ、約2兆9,086億円であり、2021 年の東京五輪の実質的な経済効果は約 3 兆 7,729 億円であったと推定される。つまり『2025 年のネコノミクス』は、2021 年の東京五輪には及ばないもののそれに迫る経済効果をもたらす」ことになる 。「また、2023年は阪神タイガースが18年ぶりにセ・リーグを優勝したが、その際の経済効果は約872億円である。2024年のネコノミクスによる経済効果は、2023年に話題になった阪神タイガースの「アレ（優勝）」に対して約29倍である。つまり、阪神タイガースがネコノミクスの経済効果を上回るには、単純計算で約29回優勝する必要がある。」（ieneko，2024）このように猫が生む経済効果は日本に大きな貢献をしていることが示されている。そのため、野良猫を地方での観光資源として活用することにより、町おこしと、野良猫との持続的な共生が可能であると私は考えられる。

## 5.今後の展望

今回の研究で、日本における野良猫は、現状あまり受け入れられていないどころか大多数の人が野良猫を煙たく思っていることがわかった。それと同時に猫というジャンルが日本経済に重要な貢献をしていることもわかった。この猫に対する意見のギャップの原因は、猫との距離感にあると考える。猫というコンテンツはYouTubeや写真集、また、ぬいぐるみなどのグッズ、猫カフェなどで人気を集めている。しかしそれが日常に現れ、自分たちの生活を阻害した途端に猫は害獣になる。したがって今後は猫というジャンルをうまく観光に落とし込み、人と適切な距離をとった上で「共生」していく方法を見つけていくことが重要だと考えられる。

## 6.参考文献


・岩崎永治　和猫の足跡　（2020）　2026年1月

・柴内晶子　日本における猫の歴史　-近世-（2022）
https://akasaka-ah.com/html/template/akasaka-ah-ec/assets/download/history.pdf　2026年1月

・渡邊暁　渡邊洋子　人と人を繋ぐ地域猫活動 -地域福祉の基盤を耕す-（2016）
https://lib.kjc.kindai.ac.jp/pdf/kiyo2015_5.pdf 2026年2月

・公益財団法人　どうぶつ基金
https://www.doubutukikin.or.jp/activity/sakuraneko-tnr/ 2026年2月

・環境省発表のデータを客観的に見ることで、命を繋ぐ大切な真実が見えます。（2023）
https://readyfor.jp/projects/inuneko-ohyendan/announcements/286383 2026年2月

・犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況（動物愛護管理行政事務提要より作成）
(2025)https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/statistics/dog-cat.html
2026年2月

・環境省　（2004）
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/cat/02.pdf?utm_source=chatgpt.com 2026年2月

・猫の猫による猫のための街－ The city of the cats, by the cats, for the cats (2021)
https://www.newsweekjapan.jp/worldvoice/kimura/2021/05/the-government-of-the-people-by-the-people-for-the.ph 2026年2月

・City of Cats Turkey: Exploring Feline Culture (2025)
https://www.nahf.org/article/city-of-cats-turkey?utm_source=chatgpt.com 2026年2月

・Greece Express 猫と暮らすinギリシャ (2019)
https://www.greece-ex.com/blog/item/12311.html 2026年2月

・*Oxford Languages and Google*.
https://languages.oup.com/google-dictionary-ja/ 2026年2月

・東京都社会福祉・公衆衛生局 (2011)
www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kankyo/aigo/horeishiryou/siryou.files/23tyousa_gaiyou.pdf 2026年2月

・外務省　トルコ共和国　(2025)
https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/turkey/data.html 2026年2月

・宗教情報センター　第九回「イスラームは猫好き、仏教は猫嫌い？」(2011)
https://www.circam.jp/kobore/detail/id=2892 2026年2月

・関西大学　プレスリリース　■ 宮本勝浩 関西大学名誉教授が推定 ■ 2025年のネコノミクス（ネコの経済効果）は約2兆9,086 億円　(2025)
https://www.kansai-u.ac.jp/ja/assets/pdf/about/pr/press_release/2024/No65.pdf 2026年2月

・オリックス銀行　2/22は猫の日！年間2兆円を超える「ネコノミクス」とは　(2021)
https://www.orixbank.co.jp/column/article/071/ 2026年2月

・ieneko https://ieneko.co.jp/shop 2026年2月

# オーバーツーリズムの影響と対策

## 1.研究背景

近年、観光地における観光客の急増によって、地域社会や自然環境に大きな影響が生じる現象が注目されている。2022年10月11日、コロナウイルスで制限された外国人の新規入国が約2年ぶりに解除された。入国制限の解除により、年間24万5900人まで減少していた訪日外国人観光客の数は速い速度で回復している。実際、2023年の同時期(10月以降～)ではコロナ禍前の2019年まで観光客数は回復していることがわかる。(図1)(テレ朝news2022)

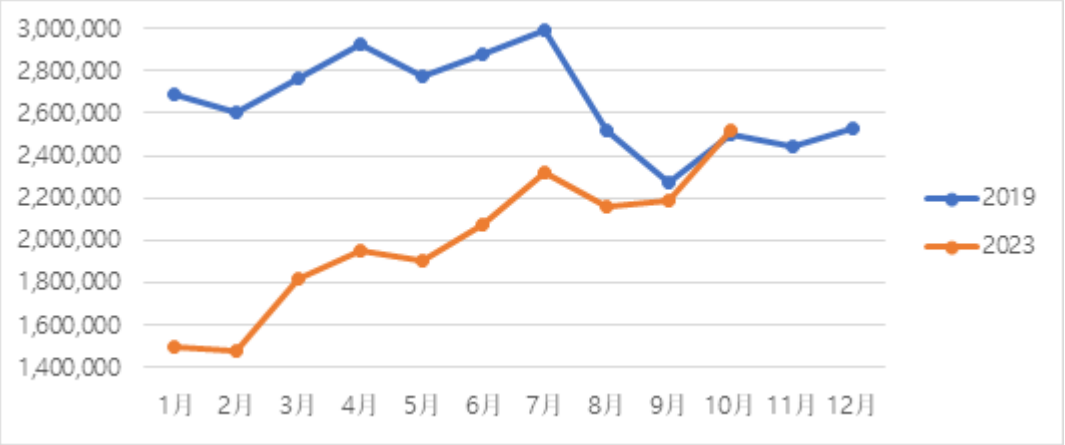



図*1* 「*2023*年訪日外客数・出国日本人数」日本政府観光局*(2023*年*)*

例えば、世界有数の観光都市である京都市では、一方で観光客の増加に伴い、一部の地域・時期・時間帯に観光客が集中し、観光地・道路・路線バスにおいて深刻な混雑が発生している。この問題は、観光客の満足度の低下のみならず、地域住民の生活にも影響を及ぼしている。(国土交通省、2022)

この現象はオーバーツーリズムと呼ばれ、UNWTO（世界観光機関）は、これについて、「観光地やその観光地に暮らす住民の生活の質、及び、もしくは訪れる旅行者の体験の質に対して、観光が過度に与えるネガティブな影響」と定義づけている(UNWTO,2018)

# 研究意義、仮説

本研究では、近年日本や世界で問題となっているオーバーツーリズムについて研究を行う。観光客が増えすぎることで、地域にはさまざまな問題が起こっている。例えば、観光地周辺での交通渋滞や騒音、ごみの増加、マナー違反などにより、住民の生活環境が悪化している。また、家賃や物価の上昇によって、地元の人が住みにくくなる問題もある(NTTドコモビジネス、2025)。さらに、自然環境の破壊や歴史的建造物の劣化といった影響も深刻である(自治体・公共week、2024)。

各地の事例やこれまでの研究をもとに、どのような問題が起きているのか、そしてどのような対策が行われているのかを整理し、効果的な取り組みの特徴を明らかにする。これにより、地域の人々が安心して暮らしながら、観光客も安全で快適に観光できる社会の実現に少しでも貢献したいと考える。

観光は地域経済を支える大切な産業である一方で、このような問題が広がれば、その地域全体に影響が現れる可能性がある。そこで、「オーバーツーリズムによって発生している被害を読み取ることで、オーバーツーリズムへの対策ができるのではないか。」という仮説を立てた。

# 研究方法

本研究では、オーバーツーリズムの事例として、観光客が多い『京都市』を取り上げる。京都市は国内外から多くの観光客が訪れ、観光による影響が大きい地域であるため、研究対象に選んだ。

・京都市は人口約150万人が暮らす大都市であり、1000年以上日本の首都が置かれ、文化の中心地だったことから、現在でも伝統的な日本文化を受け継いでいる。(京都市情報会館、2011年)
また、令和6年の京都府観光入込客数は8,425万人（対前年比112%、令和元年比113%）であり、令和6年の京都府観光消費額は2兆581億円（対前年比124%、令和元年比155%）となっている(京都府、2025)。

Ⅰ　京都市のオーバーツーリズムに関する知識を得るためにインターネットなどで文献調査を行った

Ⅱ　オーバーツーリズムによる被害やその対策についてインターネットを使用して文献調査を行った。

Ⅲ　調べた内容を元にし、京都市がどのような対策をとっているのかを選出、分析し、持続可能な観光産業のあり方について考える。

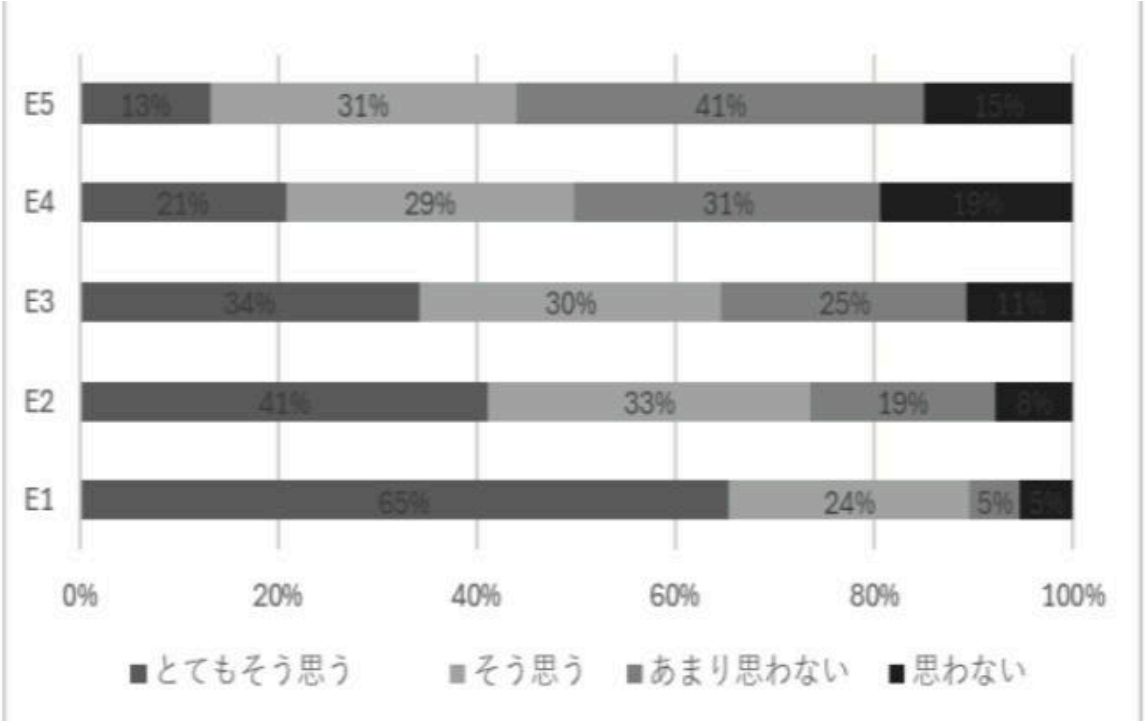
# 結果

調査の結果、オーバーツーリズムは社会的、経済的、環境的に多様な影響をもたらすことが確認できた。まず社会的影響として、京都市嵯峨嵐山を例として挙げる。

・嵯峨嵐山周辺は2025年の11月では約36.4万人が訪れており、観光者総数順位は京都市内で二位となっている(国土交通省、2025)。

まず、「OT(オーバーツーリズム)の影響」は「生活満足度」に対して直接的に負の影響を与えていることが明らかになった。(オーバーツーリズム観光地での 住民の受け入れ意識に関する研究、2025)
「オーバーツーリズムの影響に関するアンケート(1015戸対象)」によれば、
約44%が観光客による騒音被害が大きくなったと感じている。(図2のE5)また、約64%が地元向けの店舗が減少し、生活利便性が低くなったと感じている。(図2のE3)
さらに、約89%が観光客の車やバスで交通渋滞が激しいと感じていることがわかる。

| | | |
|---|---|---|
| OTの影響 | E5 | 観光客による騒音被害が大きくなった |
| | E4 | 観光客のための街の様で疎外感を感じる |
| | E3 | 地元向けの店舗が減少し、生活利便性が低くなった |
| | E2 | 観光客によってゴミが捨てられている |
| | E1 | 観光客の車やバスで交通渋滞が激しい |




また、オーバーツーリズムによる具体的な問題としては、交通機関の混雑・遅 延、ごみ投棄、騒音、自然破壊や景観の悪化、住宅地や農地への侵入による農作物被害な どの観光客の行動による現地住民の生活被害等が挙げられる(戸 部ほか、2023)。

これらの影響に対して、京都市ではさまざまな対策が取られていることが文献調査によって明らかになった。
京都市によれば、❶. 京都駅一極集中の緩和、 ❷. 市バスの混雑対策❸ . タクシー乗り場の滞留対策、❹. 観光地の混雑対策 、❺. 道路の混雑対策 などのオーバーツーリズムが行われている(京都市、2024年)。この中の❶、❹、❺について例としてあげることにする。

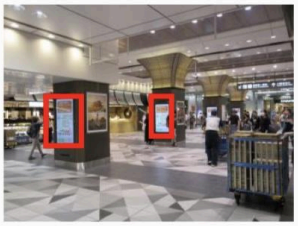
❶では以下のように情報発信を中心とした混雑解消のための対策が行われている。

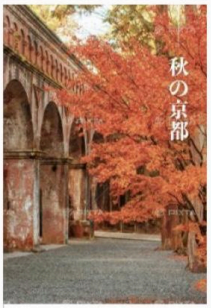
①JR西日本列車運行情報 公式X(旧Twitter) ＜JR西日本との連携＞
②東京駅デジタルサイネージ(多言語発信) ＜JR東海との連携＞
③新幹線駅の改札上モニター. ＜JR東海との連携＞
④京都市観光協会 公式X(旧Twitter). ＜ 京都市観光協会との協力＞
⑤京都市観光協会 ホームページ(京都観光Navi)(京都市、2024年)

*②、③に資料1が対応している

②











③



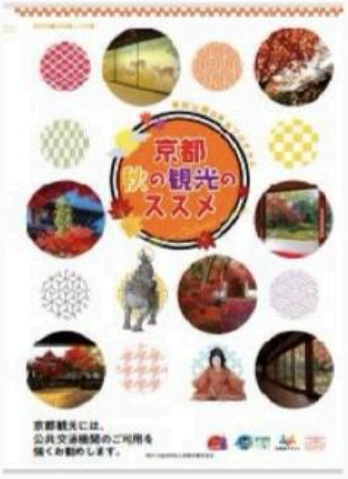



(資料3)京都市、2025年

次に❹、観光地の混雑対策では、以下の対策が行われている。

分散化に係る情報発信
①「京都 秋の観光のススメ」の発行

①







混雑状況・観光快適度の見える化と情報発信等
①「京都観光快適度マップ」混雑予測精度の向上
②ライブカメラ映像へのテロップ表示機能導入
③ライブカメラ映像配信地点の追加

①



②




また、❺、道路の混雑解消では、以下の対策が行われている。

・通勤するときに、自宅から最寄駅まで自家用車を使い、駅の駐車場に自家用車を止めてから公共交通機関に乗り換え、都心や中心市街地の勤務先に行く交通行動のことを「パークアンドライド」 (park and ride system)という(日本民営鉄道協会、2020年)

パークアンドライドの利用促進
①「X（ITwitter）」や特設ホームページにおける情報発信
②高速道路の広告媒体を活用した情報発信
③パークアンドライド駐車場への誘導看板の設置
④無料の臨時パークアンドライド駐車場の開設
⑤イオンモール京都五条と連携したパークアンドライドの利用促進

観光バス路上滞留対策
①観光バス路上滞留解消に向けた啓発活動
②観光バス向けの啓発看板の製作及び設置
③観光バス専用駐車場の再開
④イオンモール京都五条と連携した観光バスの路上混雑対策(京都市、2024年)




(資料2)京都市、2024年

本研究の結果、京都市におけるオーバーツーリズムは、住民の生活に大きな負担を与えていることが分かった。特に嵯峨嵐山では観光客数が非常に多く、交通渋滞や騒音、ごみ問題などが発生し、生活満足度が低下している。アンケート結果からも、多くの住民が生活環境の悪化を実感していることが読み取れる。

一方で京都市は、観光客の集中を和らげるために、情報発信による分散化や観光地・道路の混雑対策、パークアンドライドの推進など、さまざまな取り組みを行っていることが分かった。これらの対策は一定の効果が期待できるが、被害が集中する地域ではさらなる工夫が必要だと考える。オーバーツーリズムの実態を正確に把握し、地域の状況に合った対策を続けることが重要である。

# 考察

今回調べてみて、京都市ではいろいろな対策が行われていることが分かる。しかし、嵯峨嵐山の例を見ると、観光客の集中による混雑や騒音などの問題は、まだ完全には解決していないと感じた。特に、住民の多くが交通渋滞を強く感じているという結果から、今の対策だけでは十分とはいえないのではないかと考える。

現在は、混雑状況を知らせたり分散を呼びかけたりする取り組みが中心である。だが、それだけでは観光客の行動はあまり変わらないのではないかと考える。例えば、特に混雑する観光地では時間帯ごとの予約制を取り入れたり、混んでいる時間の料金を少し高くしたりすれば、自然

と人の流れを分けることができると考察した。また、観光で得た財源をバスの本数を増やすことやごみ対策に使うなど、住民の生活を良くするために使うことをもっと分かりやすく示すことも大切だと考えた。

京都には有名な場所だけでなく、まだあまり知られていない魅力的な場所も多い。そうした場所を積極的に紹介すれば、観光客を無理に減らさなくても分散させることができると考えた。観光と住民の生活のバランスを取ることが、これからの課題だと強く考える。

# 参考文献


テレ朝news(2022.01.19)「訪日外国人旅行者 過去最低の24万5900人 コロナ前よ 99%以上減 観光庁」

https://news.tv-asahi.co.jp/news_economy/articles/000242101.html

自治体・公共week オーバーツーリズムとは？解決策や自治体の対策事例を紹介　2024年10月

https://www.publicweek.jp/ja-jp/blog/article_83.html

京都府　令和6年京都府の観光入込客数及び観光消費額について

https://www.pref.kyoto.jp/kanko/research/6report.html 20225.7月.

国土交通省　秋の観光シーズンにおける取組結果の報告

https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoto/project/kyougikaiiinkai/jyutaitaisaku/kantao00000005cs-att/10_siryo03.pdf

京都市のオーバーツーリズムとその対策が市民の生活に与えた影響

戸部　瞳　中原沙羽　佐久間あさみ市川諒汰郎　豊田暁彦　北原果歩　2023年

国土交通省環境庁　オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた取組

https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkeikaku/jizoku_kankochi/jizokukano_taisei/overtourism.html

京都市　観光シーズンにおける観光課題対策　2024、9月

https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/cmsfiles/contents/0000325/325031/06_siryou5.pdf

世界観光機関アジア太平洋地域事務所 「オーバーツーリズム(観光過剰)」?

都市観光の予測を超える成長に対する 認識と対応　2019、11月

https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2019/11/overtourism_Ex_Summary_low-2.pdf

NTTドコモビジネス　最近よく聞く「オーバーツーリズム」とは？日本国内の対策　事例や解決方法を分かりやすく解説　2025 5月

https://www.ntt.com/bizon/overtourism.html

京都市情報館　観光客の分散化　2023年11月

https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000315511.html

オーバーツーリズム観光地での 住民の受け入れ意識に関する研究 -京都市嵯峨嵐山の観光対策に注目して　坂本佑太・金度源・大窪健之　2020年

国土交通省観光庁 「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」先駆モデル地域型26地域の事例集　2025年7月

https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_00026.html

京都観光Navi

 京都市が実践する「市民と共生する観光振興」とは？　オーバーツーリズム対策から、目指す未来の姿までDMOキーマンに聞いてきた　2023年3月

https://www.travelvoice.jp/20230125-152779

日本民営鉄道協会日本民営鉄道協会 パークアンドライド　2021年11月

https://www.mintetsu.or.jp/knowledge/term/16445.html

# 薬局薬剤師の地域偏在の原因と解決策の提案

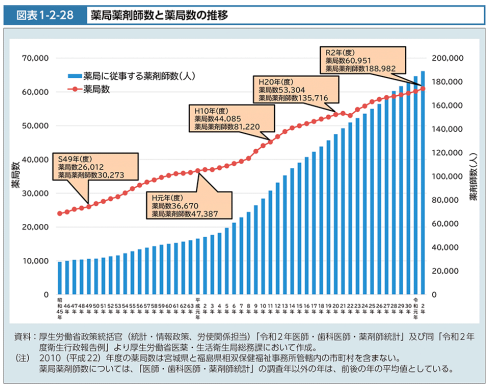
1 研究背景

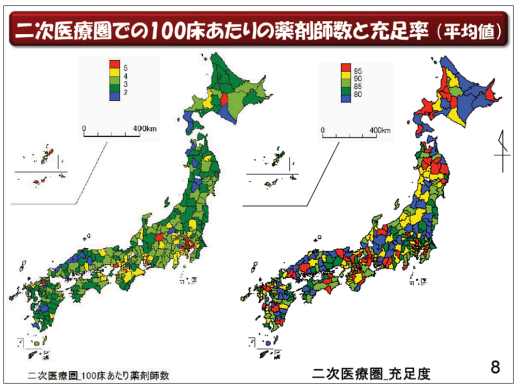
近年、日本では高齢化の進行に伴い、医療需要が増大している。これに対応するため地域包括ケアシステムが推進され（厚生労働省　2015）、病院だけでなく地域の薬局の役割も拡大している(厚生労働省　2015) 。従来の調剤業務に加え、現在では服薬管理や健康相談など、薬局薬剤師が地域医療を支える担い手として期待されている（中井清人　2017）。

一方、薬局薬剤師の人数は全国的には増加している（図1）ものの、都市部への集中と地方での不足が生じている（図2）。その結果、地方では住民が身近な薬剤師に相談できる体制が十分に整っていない地域も存在する（薬事日報　2025）。薬局薬剤師の地域偏在は、医療サービスの質や継続性に影響を及ぼす可能性がある。

また、薬剤師不足により一人当たりの業務負担が増加し、患者対応に十分な時間を確保しにくくなるおそれがある。さらに、労働環境の悪化がさらなる人材流出につながる可能性もある。

このような薬剤師の地域偏在は、主に統計データや制度の観点から議論されてきたが、地方で実際に働く薬局薬剤師の視点は十分に可視化されていない。現場で感じられている課題と外部から見た問題認識との間には差がある可能性があり、現場の声を通して実態を捉える必要があると考えられる。




厚生労働省　2021　　（図1）　NTTデータ経営研究所　2022（図2）

2 研究背景と意義

本研究では、薬局薬剤師の地域偏在について、地方で働く薬局薬剤師の声を通して捉え、統計や制度では見えにくい日常業務の実態や人手不足による影響を把握することを目的とする。あわせて、薬局薬剤師が地域医療の中でどのような役割を担い、どのような課題を抱えているのかを整理し、現場で感じられている課題と外部から指摘されている問題との間にある認識の差に着目する。

これにより、薬局薬剤師の地域偏在を単なる人数の問題として捉えるのではなく、働く環境や求められる役割の在り方という観点から考える視点を得ることを目指す。

3 仮説

薬局薬剤師の地域偏在は、地方の薬局が都市部の薬局や病院などの他の職場と比べて、給与や休みの取りやすさなどの待遇面の制度が十分に整っていないことが大きな要因であると考える。そのため、給与の引き上げや、休暇制度の充実など、働きやすい環境を整備することが、薬局薬剤師の地域偏在の改善につながる。

## 4 研究方法

現場の実態や考えを直接把握するため、十日町市内で働く薬局薬剤師二名と、小千谷市内で働く病院薬剤師一名に対してインタビュー調査を実施した。対象者には、現在勤務している職場での経験をもとに回答してもらった。

調査は一月十八日から三十一日にかけて行い、すべて対面形式で実施した。質問内容は、日常の業務内容、人手不足による影響、地域で働くことの実感、ならびに薬剤師の地域偏在の原因や改善に関する考えである。

## 5 結果

インタビューの結果、両者に共通して「人手不足により業務量が多く、休みが取りにくい」という課題が挙げられた。特に地方では薬剤師数が少ないため、一人あたりの負担が大きくなりやすいことが分かった。

薬局薬剤師からは、地域の患者と継続的に関われることや、多職種連携によって地域医療に貢献できる点がメリットとして挙げられた。一方で、幅広い業務を一人で担う必要があり、精神的・身体的負担が大きいという意見もあった。

病院薬剤師からは、専門性の高い業務に関われることや、在宅医療や服薬管理などを通じて医療の質向上に貢献できる点が挙げられたが、業務の忙しさや待遇面の低さから離職につながる可能性があることが示された。

解決策として、両者ともに給与の増額や福利厚生の制度を整えることが挙げられた。しかし、地方の薬局と都市部の薬局の給与を比べると、初任給は地方の薬局の方が高くなっていることが分かった。

さらに、地方の薬局薬剤師数を増やすことはかなり難しいという意見があった。そこで、地方の薬局に薬剤師が定着することを目標とするのではなく、都市部の薬局と連携して都市部から地方へ薬剤師の派遣を行ったり、反対に都市部の薬剤師を研修として地方の薬局に受け入れたりすることが挙げられた。

また、人手不足を解消するためにAIやICTを活用した経営については、業務に導入したいが、費用面を考えた時に経営が成り立つのかといった不安や、そもそもAIやICTの導入が人手不足解消にならないという意見もあった。

## 6 考察

本研究では、薬局薬剤師の地域偏在の一因として、地方の薬局における待遇面の制度の不十分さを仮説として設定した。インタビューの結果、人手不足により業務量が多く、休みが取りにくいという点は、薬局薬剤師・病院薬剤師の双方に共通しており、労働環境が人材確保に影響している可能性が示された。この点において、本研究の仮説は一定程度支持されたといえる。

一方で、地方の薬局の初任給は都市部より高い場合もあり、給与の低さのみが地域偏在の主な要因とは言い切れないことも明らかとなった。むしろ、業務負担の大きさや休暇の取りにくさ、キャリア形成への不安など、複数の要因が重なって地域偏在が生じていると考えられる。

さらに、インタビューでは地方の薬局薬剤師数を増やすこと自体が現実的に困難であるという意見もあり、単純な待遇改善だけでは十分な効果を得ることは難しい可能性が示唆された。そのため、都市部との連携による薬剤師の派遣や研修交流など、人材を柔軟に活用する仕組みづくりも重要であると考えられる。

## 7 結論

本研究では、薬局薬剤師の地域偏在の原因と解決策について、地方で働く薬局薬剤師および病院薬剤師へのインタビューを通して検討した。その結果、地域偏在の要因として、単に給与の低さではなく、業務量の多さや休暇の取りにくさ、キャリア形成への不安など、労働環境に関わる複数の要因が影響していることが明らかとなった。

また、地方の初任給は必ずしも都市部より低いわけではなく、本研究で立てた「待遇面の不十分さが一因である」という仮説は一部支持されたものの、十分とは言えないことが分かった。

以上より、薬局薬剤師の地域偏在の解決には、給与の改善だけでなく、業務分担の見直しや休暇制度の充実、都市部との人材交流など、働き方そのものを改善する取り組みが重要であると考えられる。

8 参考文献

【1】北村恵子　森井康博　赤沢学　YAKUGAKUZASSI（2022）「薬局業務の変化　　が薬局薬剤師の需要へ与える影響」
【2】京都府立医科大学附属病院薬学部　四方敬介（2021）「薬剤師の役割に関する　　将来展望」
【3】慶應義塾大学薬学部教授　望月眞弓　（2014）「薬剤師の今後」
【4】徳田禎久　（2020）「不足する病院薬剤師の確保−北海道の薬剤師配備の現状　　から見た課題と解決方法の共有」
【5】荒川直子　（2024）「日本の薬剤師の将来：国際的な調査活動を基にした検　　討」
【6】鈴木潤三　仙波ゆかり　海保房夫　（2011）「「かかりつけ薬局」に対する地　　域住民の理解と利用の実態とその地域差」
【7】賀川義之　野口博司　並木徳之　林秀樹　小菅和仁　（2010）「地域医療を　　支え、薬剤師の意欲を高めるリカレント教育と大学の役割」
【8】公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部　鶏内遥　亀井健　　人　西村健二　有澤礼子　徳田衡紀　高柳和伸　（2025）「薬剤部5年生を　　対象としたアケート調査による病院の就職関連情報に関する課題の分析」
【9】厚生労働省（2015）「薬剤師数の推移」
https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000647924.pd（2025年2月16日参照）
【10】厚生労働省（2015）「患者のための薬局ビジョン」
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html（2025年2月16日参照）
【11】中井清人（2017）「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」日本社会　　薬学会
【12】薬事日報（2025）「【中医協議総会】 薬局数は過剰、都市部集中-薬剤師の　　病院シフト必要」https://www.yakuji.co.jp/entry119758.html?utm_source=chatgpt.com（2025年2月16日参照）
【13】NTTデータ経営研究所（2022）「薬剤師の地域偏在の実態とその対応策」
https://www.nttdata-strategy.com/knowledge/reports/2022/0222/（2025年2月16日参照）
【14】厚生労働省（2015）「新たな地域医療機構策定ガイドラインについて」
https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001535056.pdf（2025年2月16日参照）

# 水族館来館者の学習を促す展示の条件は何か

## 1.研究背景

日本の水族館は社会教育法および博物館法に基づき、社会教育施設として位置づけられており、「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」などの多様な役割を担っている(AZEC, 2013)(文化庁,20)。実際、多くの水族館で環境保全や教育への取り組みが行われている。

しかし、社会一般からの認識は、水族館は娯楽性と雰囲気を楽しむ施設として捉えられる傾向が強い(谷, 上野, 2018)。その結果、水族館が持つ教育的価値が十分に伝わってない可能性があり、来館者の減少に繋がることも懸念される。

このような状況を改善するためには、来館者が展示を通して主体的に学び、水族館の教育的な側面を実感できるような展示の工夫が必要であると考えられる。

そこで本研究では展示パネルに目を向け、水族館来館者がどのような展示に関心を持っているのか、また説明パネルをどの程度読んでいるのかを調査する。その結果をもとに、学習を促す展示の条件について検討することとした。

## ２.研究目的、研究意義

先行研究では、展示方法の違いが来館者の滞留時間や関心に影響を与えることが明らかになっている。例えば、タッチパネルやプロジェクションマッピングなど、様々な展示手法が工夫されている。

本研究では、来館者が展示を通して生物や環境問題への理解や関心を深めることを「学習」と捉え、学習を促す展示の特徴を明らかにすることを目的とする。

本研究の成果は、水族館における教育的機能をより効果的に発揮するための展示改善への示唆を与える点に意義がある。

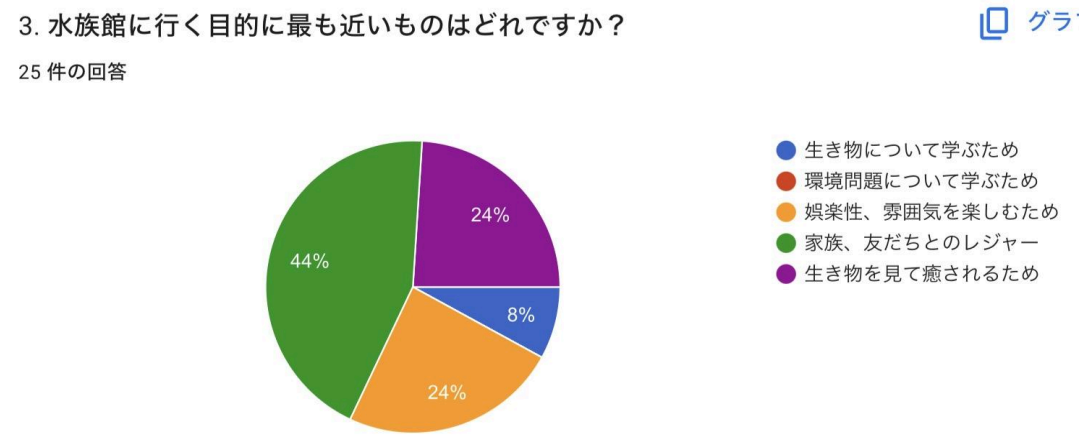
## ３.研究方法

本研究では、「水族館来館者の学習を促す展示の条件は何か」を明らかにするため、国際情報高校２学年の25名を対象にアンケート調査を実施した。

アンケートでは、来館者が水族館を訪れる目的と学びにつながると感じる展示について質問した。回答結果を集計・分析し、来館者の学習意欲と展示内容との関連を検討した。

## ４.結果

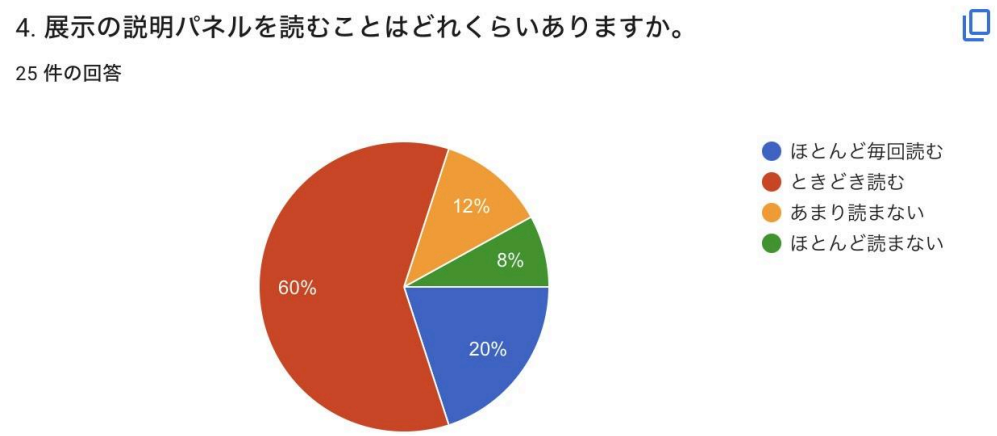
はじめに水族館を訪れる目的を調査・分析する。




水族館を訪れる目的で最も多いものは「家族、友だちとのレジャー」、次点で「娯楽性、雰囲気を楽しむため」と「生き物を見て癒されるため」が同率であった。逆に、「生き物について学ぶため」と回答した人は少数で、「環境問題について学ぶため」と回答した人はいなかった。

これらの結果から、水族館は主に娯楽や癒しの場として認識されており、学習を目的として訪れる人は少ないことが分かった。

次に、展示の説明パネルを読む人の割合について分析する。



「ほとんど毎回読む」「ときどき読む」と回答した人の割合は合わせて8割であった。上記の項目では学習目的で水族館に訪れる人は少数だったものの、8割の人は展示パネルを読んでいることが分かった。

このことから、来館者は学習を目的としていなくても、展示内容には一定の関心を持っている可能性が示唆された。

5. 4で「あまり読まない」「ほとんど読まない」と回答した理由を教えてください。
(例: 時間がない、人が多くて見れない、興味がない)

3 件の回答

見ても意味がない

興味が無い

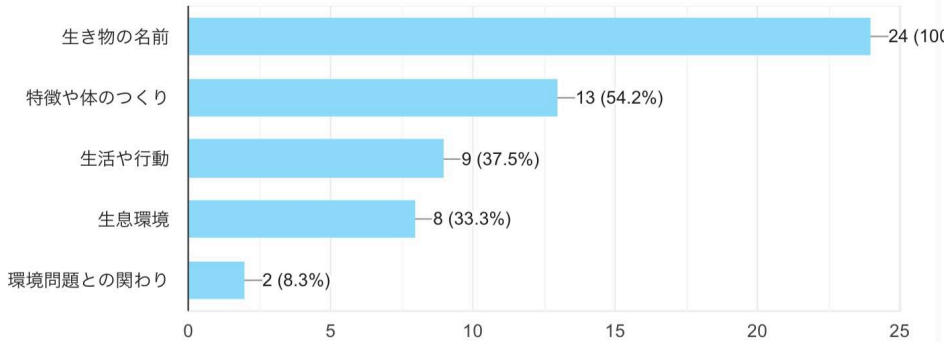
興味ない内容

また、「あまり読まない」「ほとんど読まない」と回答した理由として、見ても意味がない、興味がないなどが挙げられた。内容に興味が持てないことが、説明パネルを読まない主な原因と考えられる。

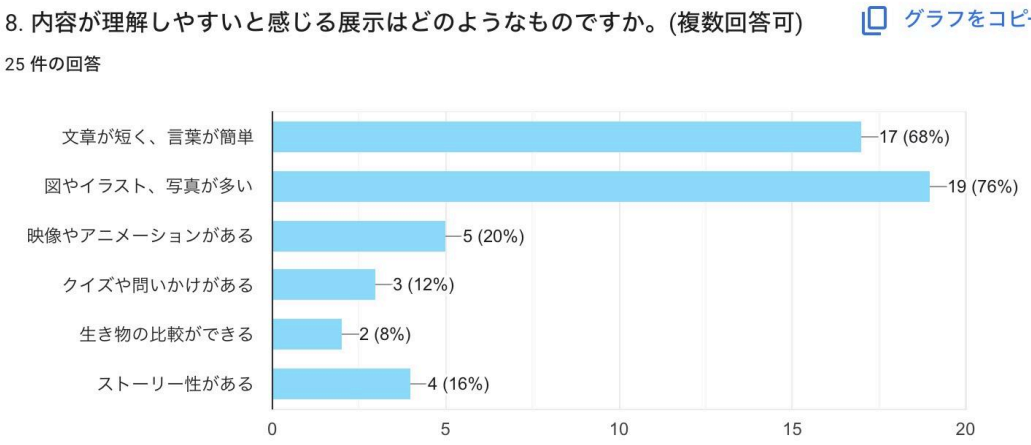
6. 説明パネルを読む場合、どの内容を読むことが多いですか。(複数回答可)

グラフをコ

24 件の回答




最も多く読まれている内容は生き物の名前であった。しかし、特徴や体のつくり、生活などの詳しい内容まで読む人は生き物の名前を読む人の半数以下であった。多くの来館者はまず名前だけを確認し、詳しい情報はあまり読まれていない可能性があることが窺える。




内容が理解しやすい展示の回答は「図やイラスト、写真が多い」が最も多く、次に、「文章が短く、言葉が簡単」であった。このことから、来館者は長い文章よりも視覚的に分かりやすい展示を求めていると考えられる。

## 5. 考察

以上の結果から、水族館は主に娯楽や癒しの場として利用されていることが分かった。しかし、展示自体への関心は一定程度あり、詳しい説明よりも短く視覚的に分かりやすい情報が読まれる傾向が見られた。したがって、説明パネルでは図やイラストを効果的に活用し、簡潔に情報を伝える工夫が重要である。こうした工夫は、来館者の理解を深め、水族館の教育的役割や持続的な発展に繋がると考えられる。

今回の研究では、アンケートの対象者が高校生に限られており、回答数も多いとは言えないため、結果には一定の偏りがある可能性がある。今後は、より広い年齢層を対象に調査を行うことで、より一般的な傾向を明らかにする必要がある。

また、本研究ではアンケート調査を中心に分析を行ったが、実際の水族館における来館者の行動観察などを取り入れることで、より具体的な展示の効果を検証できると考えられる。これらをもとに、学習を促す展示の条件について多角的に検討していきたい。

## 6. 参考文献

日本動物園水族館教育研究会（2013).「博物館としての動物園・水族館－その教育的意義」
https://jzae.jp/azec2013/report_result/report_kouen_02.html#:~:text=%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%A7%E3%81%AF%E3%80%81%E6%B3%95%E5%BE%8B%E4%B8%8A%E3%80%81%

E5%8B%95%E7%89%A9%E5%9C%92,%E4%BD%8D%E7%BD%AE%E3%81%A5%E3%81%91%E3%81%8C%E3%81%AA%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%80%82 2026年1月26日

文化庁「博物館法とは」
https://museum.bunka.go.jp/museum/act/ 2026年2月17日

市立しものせき水族館 海響館(2023).「水族館の役割とは？」
https://www.kaikyokan.com/cms/cp_sealife/230503/ 2026年2月16日

谷綺音、上野裕介(2018).「水族館に対する意識調査の結果」.「広島大学総合博物館研究報告」, 10, 111-120
https://hiroshima.repo.nii.ac.jp/record/2030582/files/BullHiroshimaUnivMuseum_10_111.pdf 2026年2月17日

谷綺音(2016).「水族館の展示から見る自然のイメージ」
https://www.jstage.jst.go.jp/article/hgeog/2016/0/2016_158/_pdf
2026年2月16日

坪山幸王、佐藤信治(1998).「水族館の観覧空間における展示水槽・展示物に対する入館者の観覧行動に関する研究」.「日本建築学会計画系論文集」, 511, 107-114
https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/63/511/63_KJ00004222737/_pdf 2026年2月17日

高田浩二(2020).「博物館としての動物園水族館の在り方」.「日本の博物館のこれからII－博物館の在り方と博物館法を考える－」, 1, 49-57
https://omnh.repo.nii.ac.jp/record/1518/files/18K01115_049_057.pdf
2026年2月17日

中川浩一、山野ひとみ(2019).「水族館展示におけるインタラクションテクノロジーの展開～「楽しく学べる♪」展示方法の開発」, 20-24
https://kusa.repo.nii.ac.jp/record/631/files/kk202025020024.pdf
2026年2月17日

梶明広(2021).「持続可能な地域社会形成のための水族館の役割」.「日本海水学会誌」,128-134
https://www.jstage.jst.go.jp/article/swsj/75/3/75_128/_pdf
2026年2月17日

土井利光(2013).「都市環境における動物園及び水族館の意義と役割」.「観光科学研究」,61-76
https://tokyo-metro-u.repo.nii.ac.jp/record/3560/files/20010-6-007.pdf
2026年2月17日

土井利光(2017).「利用者数からみた日本の動物園、水族館の特性」.「観光科学研究」,39-48
https://tokyo-metro-u.repo.nii.ac.jp/record/5946/files/20010-010-005.pdf
2026年2月17日

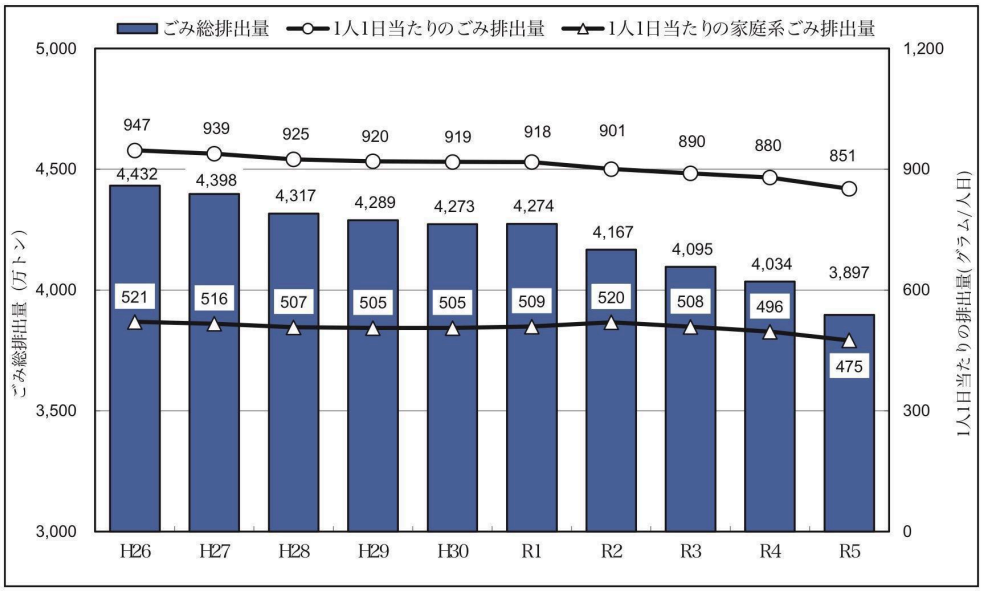
井畔杏里沙(2023).「動物園・水族館の 「教育」 」.「明治大学大学院文学研究科臨床人間学専攻博士前期課程」,53-61
https://meiji.repo.nii.ac.jp/record/17676/files/museumstudy_34_53.pdf
2026年2月17日

# 堆肥化リサイクルの持続可能性について
# ーリサイクル率向上による生ごみ削減は可能かー

## １，研究背景

日本では、毎年約4,000万トンのごみが排出されている。これは東京ドーム約105杯分にも値する。そのうち約５割が家庭形ごみ排出量となっている(環境省報道発表，2025)。環境省では、全国の市町村及び特別地方公共団体(1,741市区町村及び545一部事務組合)に対し、3Rの取り組みを実施した。年々ごみ総排出量が減っていることは図ー１から読み取ることができるが、環境省が目標としている比約９％削減には届いていない現状にある。

以上のように、ごみ問題は今の日本において深刻な社会問題である。1950年代からの高度成長期は、1960年代から1970年代にかけて大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会につながっていった。1980年代に入ると、バブル景気によりますます消費量は増大し、ごみは増え続け、気候変動などの環境問題を引き起こすようになった(SDGｓメディア『Spaceship Earth(スペースシップ・アース)』，2025)。




図－１　ごみ総排出量の推移

（環境省，環境省環境省報道発表. env_press. pdf. 2025）

## ２，研究目的・意義

本研究では、一般廃棄物中の家庭型生ごみを対象として研究を行う。先行研究で示されているごみの削減への取り組みをもとに、堆肥化によるリサイクル率向上においての、生ごみの削減を測る。生ごみ削減の取り組みにおいて成功を果たしている国は、堆肥化に

よって、生ごみを削減しているという仮説を立てる。そこで、生ごみの堆肥化がどの程度の割合で、成功を果たしている国の生ごみの削減に影響をもたらしているのかについて検討する。これにより、日本のごみ問題に好結果を生むと考える。

## 3，研究方法

本研究では、生ごみ削減の成功例として韓国、対象として日本を用いる。選定理由は以下の通りである。

・韓国

先行研究でも示した通り、未だ生ごみの発生量は横ばいであるものの、2005年「生ごみ直接埋立禁止法」制定により、01年に56.8%だった生ごみのリサイクル率が、08年には90.5%へと大きな成果を遂げた(環境省，2012)ため。

・日本

研究目的・意義でも示した通り、日本のごみ問題は深刻な社会問題の一つであるため。

⑴ 二つの国の現状を把握するためにインターネットを用いて文献調査を行った。

⑵ 韓国で実施されている生ごみ削減の取り組み、割合をインターネットを用いて文献調査を行った。

⑶ ⑴で得た日本の現状に、⑵で得た情報を照らし合わせ、理論上の数値を出した。

⑷ ⑶の情報をもとに、生ごみの削減において、堆肥化はどの程度の影響を及ぼしているかを分析し、持続可能な堆肥化においての生ごみの削減について検討する。

## ４，結果・考察

本研究では、年間排出量を再利用された年間総排出量以外とする。

⑴ 現状

〈日本〉(環境省，2025)

（１）ごみ排出の状況

・ ごみ総排出量　 3,897 万トン

・ 家庭系ごみ排出量　 2,175 万トン

（２）ごみ処理の状況

・ 最終処分量　 316 万トン

・ リサイクル率　19.5%

〈韓国〉(環境省，2012)

（１）ごみ排出の状況

| | ごみ総排出量 | 家庭系ごみ排出量 | 最終処分量 | リサイクル率 |
|---|---|---|---|---|
| 韓国 | 17,619万トン | 5万346トン | 318万トン | 57.8% |
| 日本 | 3,897万トン | 2,175万トン | 9,348万トン | 19.5% |

・ごみ総排出量　17,619万トン
・ 家庭系ごみ排出量　5万346トン
（２）ごみ処理の状況
・ 最終処分量　9,348 トン
・ リサイクル率　57.8%
→ごみ総排出量が韓国は日本の約6倍にも関わらず、リサイクル率が約40％も上回っており、最終処分率が日本の約1/300である。

⑵ 韓国で実施されている生ごみの削減の取り組み、割合
〈取り組み〉
１，制度
○有料化
→家庭ごみは1995年から従量制(有料化)を導入し、ごみ処理費用の約70%を賄っている。段階的な値上げで効果をあげている。ソウル市（約 1000 万人）20 リットル、95 年 270 ウォン→04年350ウォン。釜山市（約400万人）95年280ウォン→04年810ウォン（100ウォン8円 ）。生ごみ排出用の黄色の袋は無料になっている。
○使い捨て規制
→1994年に使い捨て製品を規制する「一回用品規制」が制定された。1997 年「レジ袋の有料化制度」導入。レジ袋はデポジット制で、店に戻すと50ウォンが返金 される。レジ袋は50%減少した。ファストフード店、コーヒーチェーン業界は、店内での飲食は 27 リユース容器であるマグカップなどを使用。テークアウトの場合は紙コップなど持ち帰り容器に 50 ウォンのデポジットをかけて、自主規制している。ホテルのハブラシなども禁止。不履行の店 を知らせるとお金が貰えるようにして制度を徹底させようとしている。
○事業者責任制度
→ 2003年にドイツ方式を取り入れた事業者責任制度（EPR制度）を制定した。紙パックやプラスチックなどの容器包装だけではなく、家電や蛍光灯なども含めた18品目に関わる13業 界団体が収集とリサイクル費用をすべて負担し、容器包装は自治体回収、家電は事業者回収している。
○事業系生ごみ減量義務化
→2000 年 廃棄物管理法の執行令改正、店舗面積100 ㎡以上の広さを持つレストランに加え、1日100食以上を供給しているホテル・農場・漁業市場・大規模小売店に対して生ごみの 減量が義務づけられた。すべての区事務所が事業所への検分と監視を実施しており、ごみ減量を 実行していない場合には、罰金を課す体制を取っている。
○生ごみ埋立禁止
→韓国では、2005年に「生ごみ直接埋立禁止法」が制定された。生ごみの分別排出義務を国民に課し、市以上の地域に生ごみの搬入を禁止するもの。
２，生ごみリサイクル
○分別収集・リサイクル率
→1998 年以降生ごみの分別をはじめており、2000年末では、共同住宅の90％以上と個人住宅の50％で分別収集。 2005年「生ごみ直接埋立禁止法」制定により、01年に56.8%だった生ごみのリサイクル率が、08年には90.5%へと大きな成果を遂げた。。
○リサイクル用途

→ 2005 年からは生ごみの直接埋立が禁止されている。収集された生ごみは、ソウル市域内にある牧畜農場に供給され、半分は飼料として利用され、もう半分は堆肥化されている。 ソウルでの生ごみ再活用は、2008年ベースで飼料化が約57%、堆肥化が42%となっている。 ソウル市郊外にはまだ養豚農家も多く飼料化が中心になっている。ソウル市内から出る 1 日3,200トンの生ごみは250カ所の工場で、1,800トンが飼料化、1,200トンが堆肥化されている。

３，生ごみリサイクル施設

〇全国の施設数、処理能力

→1996年、廃棄物埋め立て用地の確保が難しくなったことから、生ごみ減量総合対策がスタートした。2005年から韓国の全人口 の約95%を占める144自治体が生ごみの分別排出義務と埋め立て地への生ごみの搬入を禁止。

〇飼料化プラント例

→韓国では、飼料化プラントは都市から30%の補助金が受けられる。プラントの建設費は15億ウォンだったが、3億ウォンの補助を受けている。

〇釜山市における生ごみの堆肥化・飼料化

→1996 年現在の釜山市の人口は約400 万人、生ごみは1日1411トン発生しており、その7.9%の 111 トンが堆肥化されている。

（環境省，2012）

**韓国の生ごみリサイクルに関する情報**

廃棄物・3R に係る海外情報資料集(H23 年 10 月、財団法人廃棄物研究財団) P21

[情報 61]廃棄物の発生と処理の状況 (単位: ton/day)

| 分類 | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発生 | 46,438 | 48,499 | 49,902 | 50,736 | 50,007 | 48,398 | 48,844 | 50,346 |
| 埋立 | 21,831 (47.0%) | 21,000 (43.3%) | 20,724 (41.5%) | 20,450 (40.3%) | 18,195 (36.4%) | 13,402 (27.7%) | 12,601 (25.8%) | 11,882 (23.6%) |
| 焼却 | 5,441 (11.7%) | 6,577 (13.6%) | 7,229 (14.5%) | 7,348 (14.5%) | 7,224 (14.4%) | 7,753 (16.0%) | 8,321 (17.0%) | 9,348 (18.6%) |
| リサイクル | 19,166 (41.3%) | 20,922 (43.1%) | 21,949 (44.0%) | 21,938 (45.2%) | 24,588 (49.2%) | 27,243 (56.3%) | 27,922 (57.2%) | 29,116 (57.8%) |

（環境省，韓国の生ごみリサイクルに関する情報. 02. pdf. ）

〈割合〉

・韓国でのリサイクル率　56.8%→90.5%　（約35%増）（上記２、生ごみリサイクル）

・年間生ごみ排出量　76,114,080トン→16,738,050トン　（59,376,030トン減）（上記１，現状〈韓国〉、２，生ごみリサイクル）

年間排出量→年間総排出量－年間総排出量×リサイクル率

⑶ ⑵で行った文献調査をもとに、理論上日本で可能なリサイクル後の年間ごみ排出量を出す。

〈日本〉リサイクル率を韓国と同じ値にした場合

・年間生ごみ排出量　3,702,150トン　(35,267,850トン減)
年間排出量→年間総排出量－年間総排出量×〈韓国〉リサイクル率

⑷ ⑶からの考察
日本で韓国のリサイクル率を用いて換算すると、堆肥化実施前よりも35,267,850トンもの年間生ごみ排出量の減少が予測できる。ではなぜ日本は堆肥化を主流としないのか。それは以下の3つの理由だと考える。

1.市民、地方自治体の意見
環境省は、韓国で以上のような生ごみのリサイクル活動が成功したのは、住民の反対によってごみの焼却ができなかったことが大きな理由であると記載している。
一方、日本では、「可燃ごみ」というものがある通り、生ごみを焼却するという前提があるため、一気に堆肥化、再利用という状況は作れないと考察した。

2.コスト、環境の問題
韓国では共同住宅（団地）が多く、その団地の中に生ごみの収集容器を設置しているため、住民の負担が少なく、リサイクルに参加しやすい環境になっている(環境省，2012)。加えて、補助金制度や罰金制度があるため、企業も生ごみリサイクルに取り組むようになり、全体としてリサイクルが活発になったと思われる。
近年では日本でも、フリマアプリや中古品売買サイトなど、不要製品の売買・譲渡を支援するプラットフォームが拡大し、住民がリユースを選択しやすい社会基盤が整いつつある(環境省,2026)。しかし、それらはまだ韓国のように政府が環境を変えるのではなく、住民、市民がするかしないか、という判断による形となっているため、すぐに全体としてリサイクルが活発になる、とは断言できない。

3.生ごみ再利用の種類
韓国では、堆肥、動物飼料、バイオ燃料の３つの再利用が主流となっている一方、日本では、堆肥、動物飼料の２つだけが再利用の主流となっている(地域循環研究所、2000)。
このことから、再利用の種類が少ない=日本の生ごみリサイクルの需要が小さいと考えた。

## 5，結論及び今後の展望
本研究では、生ごみの堆肥化によるリサイクル率向上が、日本の生ごみ削減にどの程度の影響を与えるかを検討した。韓国では、生ごみ直接埋立禁止法の制定や有料化制度、事業者責任制度などを導入したことで、リサイクル率が56.8%から90.5%へと大きく向上した(⑵ 韓国で実施されている生ごみの削減の取り組み、割合)。一方、日本のリサイクル率は19.5%という低い割合にとどまっている。
日本が韓国の取り組みを導入し、同じように成功した場合、論理上、年間約3,526万トンの生ごみ削減が可能であることが分かった(４，結果・考察、⑶で示した年間生ごみ排

出量予想)。このことから、堆肥化を中心としたリサイクルの推進は、日本の生ごみ削減に大きな影響をもたらす可能性があるといえる。

しかし、日本では⑷の考察でも示した通り、焼却処理を前提とした制度や市民意識、再利用用途の少なさなどの課題があると考えられ、すぐに韓国と同様の成果を出すことは難しいと感じた。よって、生ごみ削減のためには制度面・社会面の両方の視点から考えた取り組みが必要であると検討した。

今後は、日本においても生ごみの分別徹底や有料化制度の見直し、事業者への責任強化などを検討する必要があると感じた。また、堆肥だけでなく、バイオ燃料などの再利用の用途選択肢を増やすことによる、生ごみのリサイクルの需要を高めることも重要である。

生ごみの堆肥化による生ごみ削減は、単なる政策実施だけでは向上されないことが分かった。だが、韓国の取り組みの結果を日本に置き換えて考えると、生ごみのリサイクルは資源循環型社会を実現するための重要な方法であるといえる。今後、日本でも持続可能な社会の実現に向けて、生ごみのリサイクルのさらなる発展が期待される。

## 引用文献


［1］環境省(2025年).「環境省報道発表」.
https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/r5/data/env_press.pdf.2026年2月
［2］SDGｓメディア『Spaceship Earth(スペースシップ・アース)』(2025).「ごみ問題をわかりやすく解説！現状や原因はなに？影響や対策も徹底解説！私たちにできることも紹介」.https://spaceshipearth.jp/garbage-problem/ .2026年2月
［3］環境省(2012年).「韓国の生ごみリサイクルに関する情報」.
https://www.env.go.jp/recycle/report/h24-02/02.pdf.2026年2月
［4］環境省(2026年).「環境省、自治体向けリユース促進手引きを改訂」.
https://cehub.jp/news/env-gov-reuse-guidance/.2026年2月
［5］富山和子（2011年).「環境問題とは何か」.株式会社PHP研究所.
［6］橋本淳司（2011年).「日本の「水」がなくなる日」.株式会社主婦の友社.
［7］五味泰平（2022年).「珍道中！ごみ紀行」.東京図書出版.
［8］寄本勝美（2003年).「リサイクル社会への道」.岩波書店.
［9］後藤逸男（2012年).「基本からわかる堆肥の作り方・使い方」.家の光協会.
［10］札幌市（2020年).「ダンボール箱を使った生ごみ堆肥化」.
［11］辻本美貴（1998年).「日本における生ごみリサイクルの現状と課題」.寄本/吉野.
［12］農林水産省(2003年).「廃棄物発生量の推移」.
https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokusan/sousyoku_recycle/10/pdf/ref_data01.pdf.2026年1月
［13］国立研究開発法人国立環境研究所(2025年).「一般廃棄物データビジュアライゼーション（自治体支援ツール）」.
https://www.bing.com/ck/a?!&&p=50f7748272deaafb2dbda8825a31e1dc9c5c3a2be989500ad3e6ef044b3a6d70JmltdHM9MTc3MTIwMDAwMA&ptn=3&ver=2&hsh=4&fclid=27ffb620-c483-6d7a-26fa-a241c5946cc4&psq=%e7%92%b0%e5%a2%83%e7%9c%81+%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e5%bb%83%e6%a3%84%e7%89%a9%e7%99%ba%e7%94%9f%e9%87%8f&u=a1aHR0cHM6Ly93d3ctY3ljbGUubmllcy5nby5qcC9qcC9kYi9maWxlMDEvdmlzdWFsaXplMDEuaHRtbA.2026年2月

［14］政府統計の総合窓口(2023年).「日本の廃棄物処理」.
https://www.bing.com/ck/a?!&&p=63da161785c47ff21564a2766c3c25fa5f6d1fd09e105675053d939d9f874c33JmltdHM9MTc3MTIwMDAwMA&ptn=3&ver=2&hsh=4&fclid=27ffb620-c483-6d7a-26fa-a241c5946cc4&psq=%e7%92%b0%e5%a2%83%e7%9c%81+%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e5%bb%83%e6%a3%84%e7%89%a9%e7%99%ba%e7%94%9f%e9%87%8f&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cuZS1zdGF0LmdvLmpwL3N0YXQtc2VhcmNoL2ZpbGUtZG93bmxvYWQ_c3RhdEluZklkPTAwMDA0MDM2MjI0OCZmaWxlS2luZD0y.2026年2月
［15］産業環境管理協会(2025年).「リサイクルデータブック2025」.
https://www.bing.com/ck/a?!&&p=be0cc509a37cb94cf6fe012fd447f35c65c9f41ac1043d0669cbd65e106b4d61JmltdHM9MTc3MTIwMDAwMA&ptn=3&ver=2&hsh=4&fclid=27ffb620-c483-6d7a-26fa-a241c5946cc4&psq=%e7%92%b0%e5%a2%83%e7%9c%81+%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e5%bb%83%e6%a3%84%e7%89%a9%e7%99%ba%e7%94%9f%e9%87%8f&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cuY2pjLm9yLmpwL2RhdGEvcGRmL2Jvb2syMDI1LnBkZg.2026年2月
［16］環境省(2023年).「日本の廃棄物処理」.
https://www.bing.com/ck/a?!&&p=3941e678db53fa151b640cbc53ea944f22f7b1a3f4f46ba6c212eed543b394c7JmltdHM9MTc3MTIwMDAwMA&ptn=3&ver=2&hsh=4&fclid=27ffb620-c483-6d7a-26fa-a241c5946cc4&psq=%e7%92%b0%e5%a2%83%e7%9c%81+%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e5%bb%83%e6%a3%84%e7%89%a9%e7%99%ba%e7%94%9f%e9%87%8f&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cuZW52LmdvLmpwL3J1Y3ljbGUvd2FzdGVfdGVjaC9pcHBhbi9yNS9kYXRhL2Rpc3Bvc2FsLnBkZg&ntb=1. 2026年1月
［17］産業廃棄物処理事業振興財団(2015年).「産業廃棄物を排出する事業者の方に」.
https://www.bing.com/ck/a?!&&p=4f461e0c152bf9840a3a55f64d6c579bdd11fb2a4b266be3978b96f55cbf6cc6JmltdHM9MTc3MTI4NjQwMA&ptn=3&ver=2&hsh=4&fclid=27ffb620-c483-6d7a-26fa-a241c5946cc4&psq=%e7%92%b0%e5%a2%83%e7%9c%81+%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e5%bb%83%e6%a3%84%e7%89%a9%e7%99%ba%e7%94%9f%e9%87%8f&u=a1aHR0cHM6Ly93d3cuc2FucGFpbmV0Lm9yLmpwL3NlcnZpY2UvZG9jL2hhaXN5dXRzdS1wYW1waGxldDIucGRm.2026年2月

# 日本の住宅が担う持続可能な未来について

# About the Role of Japanese Housing in a Sustainable Future

# 1. 研究背景

## 1.1 日本における住宅の現状

近年、日本の住宅事情は大きく変化している。かつては木造の一戸建て住宅が主流であったが、都市部への人口集中や土地不足、住宅価格の上昇などを背景に、マンションやアパートといった集合住宅が増加している。国土交通省(2025)は，「新設住宅着工戸数のうち、木造住宅の占める割合は、平成21年度以降は横ばいで推移しており、令和６年度の木造率は57.3%となった。」としている。(図1)また、都市部では、限られた土地を有効活用できる点から、高層マンションの建設が進んでいる。しかし、地方では人口減少や少子高齢化の影響により、空き家の増加が深刻な問題となっている。空き家は景観の悪化や防災面での危険性を高める原因となり、地域社会に大きな影響を与えている。このため、空き家の活用や解体を進める政策が求められているのが現状だ。

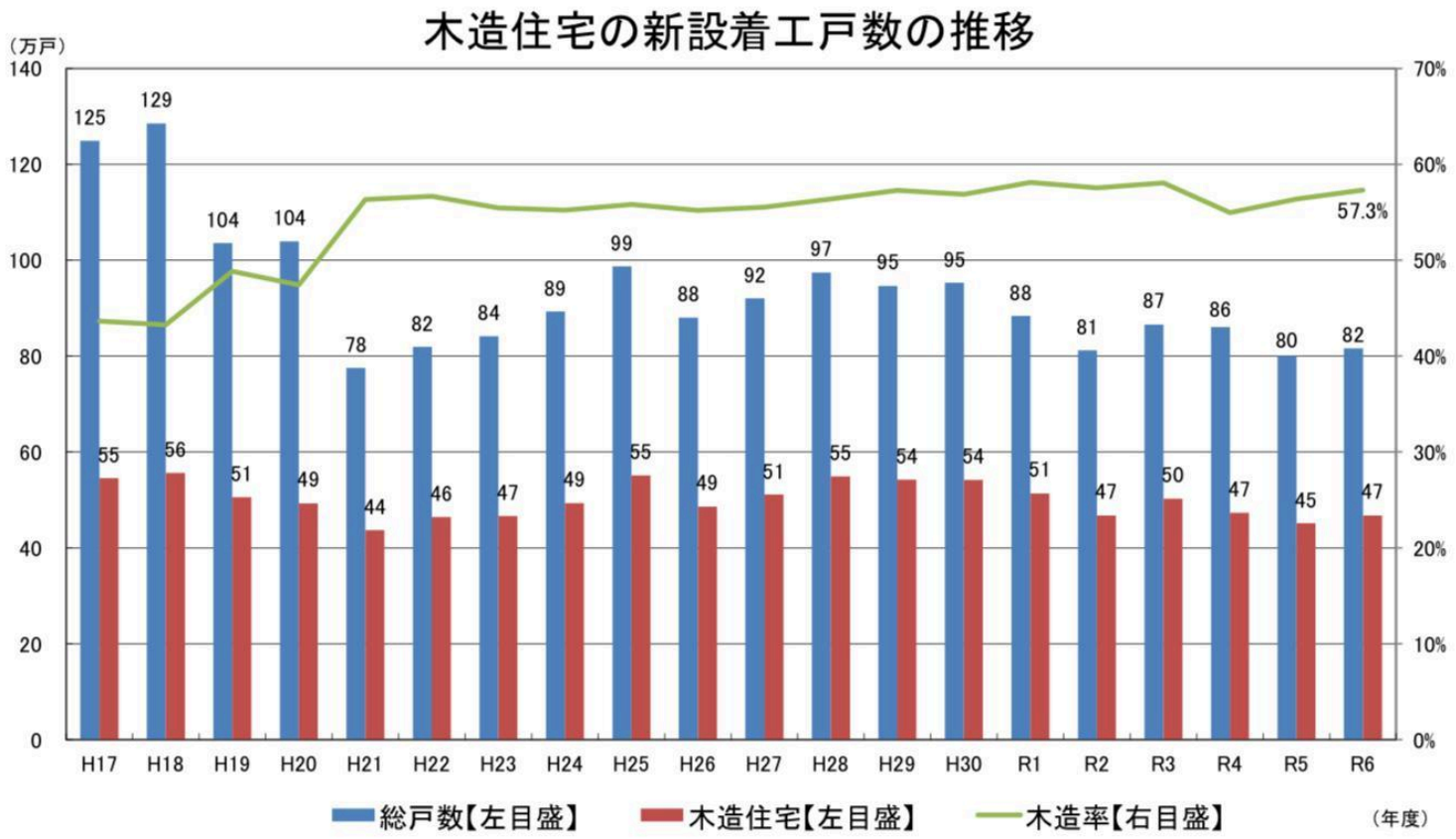



図1. 2005年度から2024年度における日本の木造住宅の新設着工戸数の推移

国土交通省(2024).「木造住宅の新設着工戸数の推移」.

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001858662.pdf.

2026年1月5日.

## 1.2 研究目的

一戸建て住宅の合計戸数は増加傾向にありながら、一戸建て住宅(木造)は減少傾向である。具体的には、一戸建て住宅(木造)は、1960年代から1970年代前半を境に年々減少している。木造住宅は古くから受け継がれてきた歴史ある住宅形態であり、木材には多くの優れた特性がある。さらに、近年問題視されている空き家についての課題を明確にし、その解決策・対策を自分なりに考え見つけ出し提案していく。それにもかかわらず、なぜ減少しているのかを本研究で明らかにしていく。また、近年は都市部を中心に主にマンションなどの集合住宅が増加している。その要因として、都市部への人口集中、狭い土地に多くの住民を収容できる点、交通アクセスの良さなどが挙げられる。一方で、自由度が低いこと、隣人トラブルが発生しやすいこと、管理費が高額であることなどのデメリットも存在する。満足度も決して高いとはいえない。そのような状況の中、なぜマンションを中心とする集合住宅が増加しているのかを本研究で明らかにしていく。以上を踏まえ、本研究のリサーチクエスチョンである、「なぜ一戸建て住宅の合計戸数は増加傾向にありながら一戸建て住宅(木造)が減少傾向している要因、マンションを中心とする集合住宅が年々増加傾向にある理由、一戸建て住宅(木造)の戸数を増やすためにはどうすれば良いか。」を本研究で明らかにしていく。

## 1.3 仮説

本研究では、次のような仮説を立てる。まず、一戸建て住宅の総戸数は増加しているにもかかわらず、木造住宅が減少しているのは、耐震性や耐久性、防火性能などの面で不安を感じる人が増え、鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅を選ぶ人が多くなっているからではないかと考える。また、建築コストやメンテナンスの負担も影響しているのではないかと予想する。次に、木造住宅の戸数を増やすためには、耐震性や断熱性などの性能をさらに向上させることや、補助金制度の充実、木材が環境にやさしいという点を広く伝えることが重要であると考える。さらに、マンションなどの集合住宅が増加しているのは、都市部への人口集中や土地不足により、限られた土地を効率よく使う必要があるからではないかと考える。また、駅に近く利便性が高いことや、防犯面で安心できることも理由の一つではないかと予想する。以上の仮説が正しいかどうかを、統計資料やアンケート結果をもとに検証していく。

# 2. 研究方法

## 2.1 文献調査（先行研究）

インターネット、本を用いて、調査対象となる論文や記事、書籍を検索し、文献調査を行う。本研究の調査対象としては、主に現在と過去における一戸建て住宅とマンションの状況の比較、課題、今現在の取り組み、解決策である。

## 2.2 アンケート調査

本校の2学年の生徒、自分の友人を対象にアンケート調査を行う。調査期間は12月19日から12月25日までの7日間とする。2学年のGoogleClassroomに投稿して実施する。質問内容は以下の5つである。

① 回答者の住宅からの最寄り駅

選択肢は新潟駅、燕三条駅、直江津駅、長岡駅、小出駅、浦佐駅、六日町駅の7つとした。

選択理由は以下の通りである。

新潟駅、燕三条駅、直江津駅、長岡駅、浦佐駅は新幹線が開通しており、利用人口が多いため。小出駅、六日町駅は生徒がその地域から多く通っており、また本校から近いためである。

② 現在住んでいる住宅の種類

選択肢は「一戸建て」「マンション」「アパート」の3つとした。これは、日本における主な住宅形態がこの3種類であるためである。

③ その住宅に対する現在の満足度

現在の住宅の満足度を1から4の中から選んでもらう。

④ 将来住みたい住宅の種類

選択肢は「一戸建て」「マンション」「アパート」の3つとした。これは、日本における主な住宅形態がこの3種類であるためである。

⑤ ④で選んだ住宅形態の理由

④で選んだ住宅形態の理由、良さ、メリットをこの設問で問うことができるためである。

⑥将来、費用が高額であっても環境に配慮した住宅に住みたいか

近年、環境に配慮した住宅の普及を進めるための制度や基準が整備されている。そこで、人々が費用が高くても環境に配慮した住宅を選びたいと考えているかどうかを調査するためである。

これらの結果をもとに、地域別に住宅種類の現状やどのような違いが見られるのかを分析し、回答者の住宅に対する考え方や地域によって将来住みたい住宅種類の違いについて考察する。

# 3. 結果・考察

## 3.1 文献調査(先行研究)

国土交通省住宅局住宅生産課(2009)によると、世界的な人口増加や途上国の経済成長により、資源の枯渇や地球環境問題の深刻化が懸念されている。一方、日本では住宅の平均寿命が約３０年と短く、多くの産業廃棄物を生み出している。そのため、住宅を長期間使用し建替を減らすことは、環境負荷の低減だけでなく、建設や維持管理のコスト削減にもつながり、国民の経済的負担を軽減することが期待されている。

東 真綾(2025)によると、人口が減少している地域ほど空き家率が高く、特に地方や農村部で増加が顕著であることが分かる。若者の都市流出と高齢化により、相続後に住宅が放置されやすくなり、さらに雇用不足や地域経済の停滞も空き家の増加を促している。したがって空き家問題の主な原因は住宅管理ではなく、少子高齢化と地域衰退にあるといえる。

Bowen Yin、清水 陽子(2025)によると、日本の空き家問題の解決策として「ランドバンク」という仕組みの有効性を検討した研究である。ランドバンクとは、放置された空き家や土地を自治体やNPOなどが一度管理下に置き、修繕・解体・再利用を進める制度を指す。複数の地域事例を分析した結果、行政だけで対処するのは限界があり、地域団体や民間主体が関わって空き家を住宅・店舗・公共施設などとして活用することが、荒廃の防止や地域活性化に効果的であると結論づけている。

佐々木 碧人、森崎 優真、藤生 慎(2024)によると、人口減少が進む地域では住宅需要の低下により空き家が発生しやすい一方、観光資源を有する地域では空き家が宿泊施設や店舗などに再利用されている。また、空き家の活用形態は立地条件や観光活動の有無に影響され、空き家は放置住宅にとどまらず地域資源として利用され得ると指摘されている。

平井太郎(2022)によると、東京都の高層分譲住宅において、住民の高齢化と建物の老朽化が同時に進む「ダブルエイジング」が生じていることを明らかにしてい

る。高層住宅では同じ時期に入居した世代が多いため、年月の経過とともに住民が一斉に高齢化し、それに伴って大規模修繕の必要性も同時期に高まる傾向が確認された。また、年齢層によって住宅に対する意識や課題認識が異なり、高齢層は管理や衛生面を重視する一方、比較的若い世代は管理組合の運営負担を問題として捉えていることが示された。さらに、収入の低下により管理費や修繕費への不安が強まることも指摘されており、課題は建物の老朽化だけでなく、住民構成や管理体制のあり方と深く関係していると結論づけている。

## 3.2 アンケート結果

本校の2学年の生徒、自分の友人の計77名を対象にアンケート調査を行った結果を表にまとめて比較する。以下の表を**「表1」「表2」**とする。**「表1」**の比較要素はアンケート調査の質問内容でもある「地域」「現在の住宅」「満足度」「将来住みたい住宅」の4つを用いることとする。**「表2」**の比較要素は地域別ではなく各種住宅の良さ、将来住みたい理由を用いることとする。

| 質問 | 駅名 | 駅名 | 駅名 | 駅名 | 駅名 | 駅名 | 駅名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 住宅から一番近い駅名 | **六日町駅** | **長岡駅** | **浦佐駅** | **小出駅** | **燕三条駅** | **新潟駅** | **直江津駅** |
| 現在の住宅の種類 | 一戸建て:14<br>アパート:2<br>マンション:0 | 一戸建て:33<br>マンション:9<br>アパート:0 | 一戸建て:5<br>マンション:1<br>アパート:0 | 一戸建て:4<br>マンション:0<br>アパート:0 | 一戸建て:4<br>マンション:0<br>アパート:1 | 一戸建て:1<br>マンション:1<br>アパート:0 | 一戸建て:2<br>マンション:0<br>アパート:0 |
| 現在の満足度 | 一戸建て:<br>2.9<br>アパート:<br>2.5 | 一戸建て:<br>3.4<br>マンション:<br>2.8 | 一戸建て:3<br><br>マンション:2 | 一戸建て:4 | 一戸建て:<br>3.5<br>アパート:2 | 一戸建て:4<br>マンション:3 | 一戸建て:<br>3.5 |
| 将来住みたい住宅の種類 | 一戸建て:13<br>マンション:3<br>アパート:0 | 一戸建て:27<br>マンション:<br>14<br>アパート:1 | 一戸建て:5<br>マンション:1<br>アパート:0 | 一戸建て:2<br>マンション:1<br>アパート:1 | 一戸建て:5<br>マンション:0<br>アパート:0 | 一戸建て:2<br>マンション:0<br>アパート:0 | 一戸建て:2<br>マンション:0<br>アパート:0 |

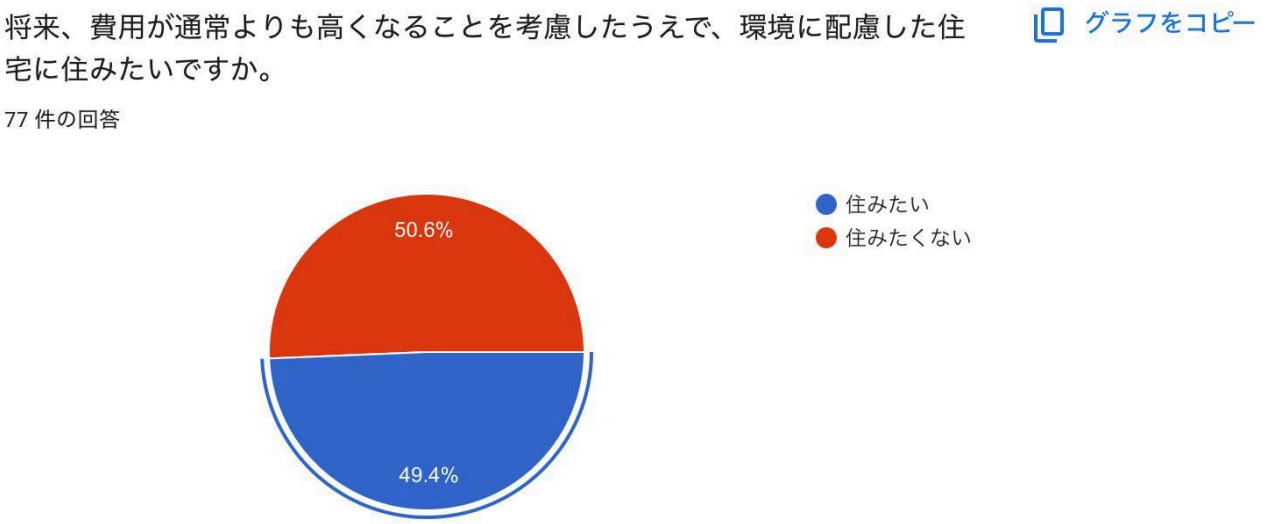
**「表1」**

| 住宅の種類 | 一戸建て | マンション | アパート |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 住みたい理由<br>良さ | ・騒音を気にしなくていい<br>・理想の家を建ててみたい<br>・隣人トラブルがない<br>・間取りやデザインを自分好みにできるから<br>・広い、くつろげる | ・ゴミ出しが便利<br>・眺めがいい<br>・一戸建てより価格が安い<br>・外観や庭の手入れがない<br>・犯罪が発生しにくい<br>・雪かきをする必要がない | ・一人暮らしをするのに一番向いてそう<br>・家賃を抑えられる |

**「表2」**

**「図2」**では、将来金額が高くても環境に配慮した住宅に住みたいと答えた人は49.4%、住みたくないと答えた人は50.6%と住みたくない人の方が約1%だけ多かった。




**「図2」**

アンケート結果（**表1、表2、図2**）をもとに以下の4つにまとめることができる。

（1）回答者の地域について

新潟駅2名、燕三条駅5名、直江津駅2名、長岡駅42名、小出駅4名、浦佐駅6名、六日町駅16名であった。また、新潟駅周辺は新潟市の中心部に位置し、商業施設や交通機関が集中している都市的な地域である。一方、新潟駅以外の6つの駅は、新潟駅周辺と比べると人口規模が小さく、より地方的な特徴をもつ地域である。

（2）地域別の住宅形態について

**新潟駅**: 新潟県内で最も利用者数が多い駅であり、人口規模はとても大きい。多くの人が利用している都市的な地域である。また、駅周辺の地価は約40万円と県内では一番高く敷地面積も限られているためマンションが建設されている。本校の生徒2名のうち1名はマンションに住んでいる。

**長岡駅:** 新潟駅に次いで利用者数は県内2位であり、人口規模も大きい。地価は新潟駅の半分の約20万と高く、他の地域よりマンションの数が多く、やや地方的な地域である。アンケート結果から42名のうち33名は一戸建て、9名はマンションに住んでいる。マンションの回答数が多かった。

**燕三条駅**: 利用者数は県内14位であり、人口規模は小さい。新潟駅、長岡駅に比べて車を使用して移動することが中心であり、また工場地域である。また土地に比較的余裕があるため、マンションは少なく、一戸建てが多くある。地価は約9万円と低く、地方的な地域である。アンケート結果から5名のうち4名は一戸建て、1名はアパートに住んでいる。

**浦佐駅:** 利用者数は県内28位であり、人口規模はとても小さい。地価は約3万円とかなり低く、地方的な地域である。アンケート結果から本校の生徒6名のうち5名は一戸建て、1名はマンションに住んでいる。

**小出駅:** 利用者は県内52位であり、人口規模はものすごく小さい。地価は約8万円とかなり低く、地方的な地域である。アンケート結果から本校の生徒の4名のうち4名が一戸建てに住んでいる。

**六日町駅:** 利用者は県内27位であり、人口規模はとても小さい。地価は約3万とかなり低く、地方的な地域である。アンケート結果から本校の生徒16名のうち14名は一戸建て、2名はアパートに住んでいる。

**直江津駅:** 利用者数は県内11位であり、人口規模はやや小さい。地価は約10万円とやや高く、やや地方的な地域である。アンケート結果から本校の生徒2名のうち2名は一戸建てに住んでいる。

(3) 現在の満足度について

**新潟駅:** 一戸建て;4　マンション;3

新潟駅周辺は商業施設、オフィスビル、公共施設が集中しており、交通の利便性が高いことから満足度は高いと考えられる。また、マンションの数や種類が多いため地方的な地域のマンションより満足度が高いと考えられる。しかし、隣人トラブルや管理費などの面よりも利便性を重視する傾向があると考えられる。

**長岡駅:** 一戸建て; 3.4　マンション; 2.8

新潟駅に次いで駅周辺には商業施設、公共施設があり暮らしやすく、交通の利便性が高いことから一戸建ての満足度は高いと考えられる。しかしマンションの満足度は低く、隣人トラブル、土地に余裕があるため、一戸建てのほうが生活スタイルに合っていると感じる人が多い可能性がある。また回答数は他の地域より圧倒的に多く、この結果はかなり正確であると考えられる。

**燕三条駅:** 一戸建て; 3.5　アパート;2

駅周辺は土地に余裕があり、住宅地が広がっていることが要因の一つであると考えられる。車での移動が中心であり、駐車場付きの住宅や店舗が多く、生活のしやすさが満足度につながっていると推測される。また、マンションが少ないことから地域全体として一戸建て向きの環境であるため満足度が高いと考えられる。

**浦佐駅:** 一戸建て; 3 マンション; 2

駅周辺は日常生活に必要な商業施設や医療機関がある程度整っている。土地もかなり余っている。一方で、新潟駅周辺のような大規模な商業施設の集中はなく、落ち着いた住宅地が広がる地域である。また自然環境が多くある。そのため、利便性は限定的であるものの、静かで安定した住環境が形成されているので一戸建て向きの環境であると考えられる。

**直江津駅:** 一戸建て; 3.5

新潟駅のような大規模な商業施設ではないが、日常生活に必要な施設や飲食店は揃っている。利便性と落ち着いた環境の両方をあわせもつ地域であるといえる。また、一戸建て向きの環境であると考えられる。

**小出駅:** 一戸建て; 4

日常生活に必要な商業施設は一定程度そろっているが、大規模な商業集積は見られない。そのため、都市的な利便性は高くないものの、人口密度が低く落ち着いた住環境が形成されている地域であるといえる。また、一戸建て向きの環境であると考えられる。

**六日町駅:** 一戸建て; 2.9　アパート; 2.5

日常生活に必要な商業施設は一定程度整っているが、新潟駅周辺のような大規模な商業集積は見られない。自然環境に恵まれた落ち着いた住環境が形成されている地域であるといえる。そのため、一戸建て向きの環境でもあり、さらに価格を抑えれるアパートにもいい環境であると考えられる。

(4)将来住みたい住宅の種類について

マンションに住みたいと回答した人が一番多かったのは**長岡駅**であった。長岡駅よりも新潟駅のほうが都市的な地域でマンションも多くあり、マンションの回答数が多いと予想していた。だが、回答数はゼロだった。長岡駅に住んでいる回答者が多く、新潟駅に住んでいる回答者が少ないためだと考えられる。(3)から新潟駅周辺以外の6つの駅周辺は地方的な地域であり、一戸建て向きの環境であるために一戸建ての回答数が多いと考えられる。

## 4. 今後の展望

今後の本探究では、住宅形態と環境面、そしてコスト面の三つを軸に比較を行いたい。これまでに一戸建てとマンションの特徴や課題は整理できたが、アパートに関する分析が十分ではなく、三つの住宅形態を同じ基準で評価できていない点が課題である。そこで今後は、一戸建て・マンション・アパートを「建設時の環境負荷」「居住時のエネルギー消費」「初期費用や維持費」といった具体的な観点から比較したい。特に、環境性能を高めた場合にコストはどの程度増えるのか、長期的に見れば負担は軽減されるのかをデータを用いて検討したいと考えている。また、一般的なイメージだけで判断するのではなく、それぞれの住宅形態がどのような条件のもとで持続可能性を高められるのかを分析したい。住宅の種類そのものに優劣をつけるのではなく、環境面とコスト面をどのように両立させるかという視点から、より実現可能な提案につなげたい。さらに、この探究で得た知識や視点は、将来自分が大人になって住宅を選ぶ際にも活かしたいと考えている。価格や見た目だけで判断するのではなく、環境への影響や長期的なコストも踏まえて選択できるようになりたい。

## 参考文献・引用文献

(1)国土交通省( 2024).日本の木造住宅の新設着工戸数の推移について

(https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001858662.pdf

2025年12月

(2)林野庁 (2024).「令和6年度 建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ等について」.

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/240326.html. 2025年12月.

(3)国土交通省　(2019).「「令和元年空き家所有者実態調査、集計結果」について」.

https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001377049.pdf.2025年12月.

(4)林野庁　(2025)「 脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（通称：都市（まち）の木造化推進法)」.

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/index.html.2026年1月.

(3)JAPANESE　FOREST(2022).「高温多湿な夏に適応する日本の住宅」.

https://excellent-japanese-wood.com/japanese_wood/column02/.2026年1月.

(4)榊原翔子、松岡圭吾、宮沢仁(2003).「仙台都心部マンション居住者の特性と都心居住志向の調査・調査結果」.『研究年報季刊地理学ジャーナル』, 55(0), 87-160.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/tga1992/55/2/55_2_87/_pdf/-char/en.2026年1月.

(5)国土交通省住宅局住宅生産課(2009).「住宅の長寿命化の推進について」.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jwpa/35/2/35_2_52/_pdf/-char/ja.2026年1月.『研究年報』, 35(2), 52-56

(6)崔銀淑、 中山徹、清水陽子、 清水裕子、 森田尋子(2023).「自治体における空き家管理施策の啓発活動の状況」.

https://cir.nii.ac.jp/crid/1050021758113869440.2026年1月. 『研究年報　日本家政学会誌』, 74(10), 582-593.

(7)平井太郎(2022).「東京の超高層集合住宅における『二重の高齢化』について」.

https://www.cogitatiopress.com/urbanplanning/article/view/5696/2924.2026年1月.

(8)総務省(2023). 「土地統計調査住宅及び世帯に関する基本集計（確報集計）結果について」.

https://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2023/pdf/kihon_gaiyou.pdf?utm_source=chatgpt.com.2026年1月.

(9)総務省(2023).「土地統計調査　（参考分析）共同住宅の空き家についての分析について」.

https://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2023/bunseki.html.2026年1月.

(10)Ali Akbar FirooziAli、Asghar Firoozi、D. O. Oyejobi、Siva Avudaiappan、Erick Saavedra Flores(2024).「持続可能な建築材料の新たな動向 ― 技術革新・性能向上・将来展望 ―」.

https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2590123024017729.2026年1月.

(11)林野庁(2020).「木材需給の変遷と木材産業の対応について」.

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/26hakusyo/pdf/6hon1-2.pdf#:~:text=%E4%B8%AD%E5%BF%83%E3%81%AB%E8%BC%B8%E5%85%A5%E3%81%8C%E6%8B%A1%E5%.2026年1月.

(12)SUUMO(2025).「新潟駅（新潟県）の土地価格相場」.

https://suumo.jp/tochi/soba/niigata/ek_56510/.2026年2月15日.

(13)SUUMO(2025).「長岡市の土地価格相場」.

https://suumo.jp/tochi/soba/niigata/ek_56530/.2026年.2月15日.

(14)土地代データ(2025).「燕三条駅の土地価格相場」.

https://tochidai.info/area/tsubame-sanjo/.2026年2月15日.

(15)土地代データ(2025).「浦佐駅の土地価格相場」.
https://tochidai.info/area/urasa/.2026年2月15日.

(16)SUUMO.(2025).「小出駅の土地価格相場」.

https://suumo.jp/tochi/soba/niigata/ek_56860/.2026年2月15日.

(17)土地代データ(2025).「六日町駅の土地価格相場」.

https://tochidai.info/area/muikamachi/.2026年2月15日.

(18)スタディサプリ進路(2025).「新潟県1日の利用者が多いランキング」.

https://shingakunet.com/area/ranking_station-users/niiigata/.2026年2月15日.

(19)SUUMO(2026).「直江津駅の土地価格相場」.

https://suumo.jp/tochi/soba/niigata/ek_60960/.2026年2月15日.

(20)東 真綾(2025).「日本の空き家:人口減少はいかにして空き家増加を引き起こすのか」.
https://journal.the-iyrc.org/jiyrc2025ii66.html?utm source=chatgpt.com.2026.2月21日.

(21)Bowen Yin、清水 陽子(2025).「日本における空き家対策のための革新的なランドバンクモデル」.
https://www.mdpi.com/2073-445X/14/4/674?utm source=chatgpt.com.2026年2月21日.

(22)佐々木 碧人、森崎 優真、藤生 慎(2024).「旅行情報データを用いた空き家利用の分析と地域特性の抽出」.

https://www.mdpi.com/2071-1050/16/16/6824?utm source=chatgpt.com.2026年2月21日.

# 有機農業の持続可能性について

## 1. 研究背景

近年スーパーなどでオーガニック野菜を見かける機会が増えている。私自身自然の多い地域で生活し、農業に少し関わった経験から、有機農業や農薬が生態系に与える影響について関心を持つようになった。慣行農業ではネオニコチノイドなどの浸透以降性殺虫剤の使用が続き、生態系の影響が指摘されている（伊澤ほか 2025）。一方、有機農業は化学合成農薬を使用せず、土壌炭素の増加など環境面での利点も示されている（小松﨑 2018）。では、環境負荷の観点から、有機農業へ転換することは本当に持続可能な選択と言えるのだろうか。

## 2. 研究目的・意義

本研究の目的は、慣行農業と有機農業を環境面及び経済面から比較し、有機農業への転換が持続可能な選択と言えるかを検討することである。特に、生態系への影響と生産コスト・収益性を数値的に整理し、その実現可能性を考察する。

## 3. 研究方法

本研究では、慣行農業と有機農業に関する先行研究や公的統計資料を用いた文献調査を行った。まず、農薬使用量や生態系への影響について整理し、次に有機農業の環境的効果（特に土壌炭素量）を比較した。さらに、収量、生産コスト、販売価格に関する数値データを収集し、両者の経済性を比較検討した。

### 慣行農業における農薬の課題

FAO（国連食糧農業機関）の推計によると、国内での殺虫剤出荷量は全体としては年々減少しているが（図1）、ネオニコチノイドをはじめとする浸透以降生殺虫剤の出荷量は横ばいである。浸透以降生殺虫剤は全国各地の河川、沿岸部の海水などから広く検出されており、国内の水田における殺虫剤の生態系リスクは主に有機リン酸系殺虫剤の使用減により近年減少しているとされている。しかし、欧米では浸透以降生殺虫剤と蜂類の減少との関連が示唆され、国内ではアキアカネの現象に関与していたと報告されている。浸透移行性殺虫剤を含む農薬は基本的に生物毒性を有する。散布された農薬は土壌中、大気中、水系に拡散することから、人の健康被害を引き起こし、また、生態系リスクを免れない。例えば、根から吸収された薬剤が茎、葉、花蜜、花粉、種子など植物全体に移行する。残効性があるため食害した昆虫の神経に作用して殺虫効果を示す（伊澤ほか 2025）。

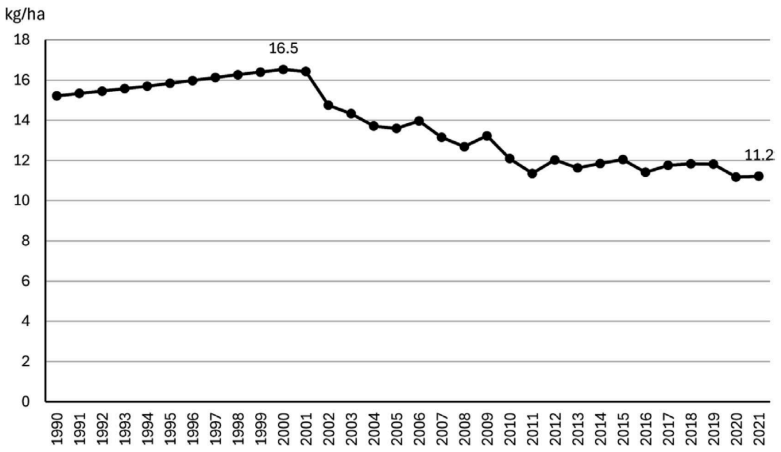



図1. 日本国内の農薬使用量（推計値）推移

有機農業の定義と世界的拡大

有機農業とは、1. 科学的に合成された肥料及び農薬を使用しない。2. 遺伝子組み換え技術を利用しない。3. 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する。という農業生産の方法を用いて行われる農業のこと（農林水産省）であり、世界の有機農業の実施面積は、2000 年では 1500 万 haであったが、2015 年では 5090 万ha に増加するなど、急激に拡大している。世界の有機農産物市場は、816 億 USドルに上り、国別にみると米国（359 億 USドル）、ドイツ（86 億 USドル）および中国（47 億 USドル）の 3 か国の市場の増加が著しい。このような現状をみると、有機農業はいままで一部の“特別な栽培法”から農業市場において一定の地位を築きつつあるまで発展している（小松﨑 2018）。

有機農業の発展段階

IFOAM（国際有機農業運動連盟）では、社会的に有機農業が定義された段階を Organic1.0 とし、有機農業の社会的認知度の広がりとともに国際的な標準化や法制度化が行われた段階を Organic 2.0 としている。さらに、Organic 3.0 では，有機農業を特殊栽培としての市場から次世代の主流となる農業生産システムとして発展させることで，農業が直面している様々な問題（気候変動，持続可能な開発など）の解決策として位置づけられるような有機農業の変革（Regenerative Organic Agriculture）を提起している（小松﨑 2018）。

有機農業と土壌炭素

また、有機農業では土壌に蓄積される有機体炭素量が顕著に増加する。これによって、化石燃料から工業などによって人為的に放出された二酸化炭素を、難分解性の土壌有機物として長期に貯蔵できるので、有機農業は地球温暖化の緩和に貢献することができる。有機農業と慣行圃場での土壌炭素量の長期予測によると、慣行農業では土壌炭素が長期にわたって漸減するのに対し、有機農業では土壌炭素が最初の50年間に比較的急速に増加するが、100年後には長期の実験での経験と合致してほぼ安定レベルに達するとしている。（小松﨑 将一）

有機農業の課題

調査対象である4農家の有機水稲栽培の労働時間は、「米生産費調査」の北海道の販売農家による慣行栽培より、平均値で約1.9倍、10aあたり約20時間も多く要していた。平均値で見ると、慣行栽培よりも、除草で約14時間、ぼかし肥料や自給肥料の生産などに要する間接労働で約4時間多く要し、さらに作業機の洗浄を要する耕起・整地や肥料の散布量の多い基肥などでも作業時間が多くなっていた。4農家の水稲有機栽培の生産費を慣行栽培と比較すると、物財費で約1.3倍、労働費を含めた費用合計で約1.5倍であった（図2）。物財費が高い主因は，価格の高い有機質肥料を用いているための肥料費増であり、この外にも高価な認定資材を用いる諸材料費や、JAS認定に伴う費用や栽培講習等に出席するための公課諸負担や生産管理費も高かった。労働費は、除草作業を始めとした労働時間の増加に伴って大幅に上昇していた。（西尾 2006）

| | 北海道 | | 全国(農林水産省大臣官房統計部,2004) | |
|---|---|---|---|---|
| | 有機（4農家の平均）* | 慣行（生産費調査販売農家） | 有機 | 慣行 |
| 育苗 | 5.33 | 5.68 | 3.28 | 3.18 |
| 耕起・整地 | 2.90 | 2.45 | 3.61 | 3.22 |
| 基肥 | 0.73 | 0.45 | 1.23 | 0.90 |
| 移植 | 2.21 | 3.39 | 3.06 | 3.10 |
| 除草 | 14.77 | 0.74 | 10.01 | 1.57 |
| 追肥 | 0 | 0.03 | 0.42 | 0.62 |
| 防除 | 0.29 | 0.44 | 0.19 | 0.78 |
| 収穫・調製 | 1.74 | 2.81 | 4.15 | 4.36 |
| 生産管理 | 2.45 | 0.86 | 1.72 | 1.10 |
| その他 | 6.05 | 3.99 | 7.01 | 4.13 |
| 間接労働 | 6.34 | 1.92 | 2.79 | 0.67 |
| 合計 | 42.79 | 22.76 | 37.47 | 23.63 |
| 内訳　家族 | 35.33 | 21.45 | | |
| 雇用 | 7.46 | 1.31 | | |
| *平成17年度北海道農業研究成果情報(2005)から計算した値 | | | | |

図2 有機水稲生産の労働時間〈単位：時間/10a〉

| | 北海道 | | 全国（農林水産省大臣官房統計部　2004） | |
|---|---|---|---|---|
| | 有機(4農家の平均)* | 慣行(生産費調査販売農家) | 有機 | 慣行 |
| 種苗費 | 1,199 | 1,455 | 1,829 | 2,081 |
| 肥料費 | 18,084 | 6,729 | 8,518 | 7,010 |
| 薬剤費 | 1,308 | 6,716 | 0 | 6,273 |
| 諸材料費 | 5,967 | 3,260 | 9,443 | 3,001 |
| 光熱動力費 | 2,483 | 3,432 | 7,803 | 3,990 |
| 賃貸料 | 13,585 | 9,594 | 10,220 | 10,946 |
| 土地改良および水利費 | 9,412 | 6,902 | 5,173 | 5,617 |
| 公課諸負担 | 5,115 | 2,137 | | |
| 建物費 | 3,571 | 4,121 | 5,527 | 4,067 |
| 農機具費 | 19,850 | 19,420 | 37,030 | 32,907 |
| 生産管理費 | 937 | 427 | | |
| 販売経費 | | | 6,222 | 2,765 |
| その他 | | | 25,006 | 20,429 |
| 物財費 | 81,508 | 64,193 | 110,549 | 99,086 |
| 家族労賃 | 56,710 | 34,431 | | |
| 雇用労賃 | 8,015 | 8,128 | 13,789 | 4,625 |
| 費用合計 | 146,234 | 99,943 | | |
| *平成18年度北海道試験研究成果(2006)から計算した値 | | | | |

図3 有機水稲生産の費用（単位：円/10a）

有機栽培のプレミアムについては環境科学会誌より、生態系のみに配慮した米を米①、生態系及び環境に配慮した米を米②として、米に対する支払意志額

| 区分 | 慣行農業（指数=100） | 有機農業（指数） | |
|---|---|---|---|
| 世界平均 | 100 | 82 | −18 |
| 日本(米) | 100 | 90 | −10 |
| 全作物平均 | 100 | 75 | −25 |
| 穀物 | 100 | 74 | −26 |
| 野菜 | 100 | 67 | −33 |
| 果実 | 100 | 99 | −1 |

図4 比較対象とする米の特徴

**4.** 結論

以上の比較から有機農業において、慣行農業と比べて収量が10〜20%低い傾向があるが、農薬による生態系への影響が少なく、土壌炭素の蓄積など、環境面で明確な優位性を示している。また、販売価格のプレミアムにより収量が低くても利益面では賄える可能性が示されている。

**5.** 考察

環境負荷の視点からの有機農業の転換は、土壌炭素の蓄積や無農薬にすることで生態系負荷が減ることを考えると、地球温暖化対策ともなるため、持続可能と言えるかもしれないが、しかしやはり、平均労働時間の大幅な増加、化学肥料を使わないことによる害虫被害からの収量減少のことを考えると、プレミア価格により利益面が賄える可能性があるにしても有機農業に転換するのはデメリットが大きく感じる。そこで私は有機栽培へ一律に転換するのではなく、環境負荷の大きい作物から優先的に有機化を進めることや、政府の補助金を活用しながら進めていくことが、今後の農業の持続可能性につながると思う。

参考文献・引用文献

【1】農林水産省(2024).「農業法人の持続可能性と価値創造プロセスの解明」.
https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2024/attach/pdf/241203_01.pdf.2026年2月.
【2】農林水産省(2022).「アジアの水稲作におけるGHG排出削減手法」.
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/project/jisseki/2018/attach/pdf/index-50.pdf.2026年2月.

【3】ヘルシスト(2025).「メタンの排出を抑制しつつ収穫量を上げる技術」.
https://healthist.net/food/3980/.2026年2月.
【4】(2021).『日本のいきものビジュアルガイド はっけん！日本アマガエル』.藤谷 武史， AZ Relief.株式会社緑書房.
【5】秋山 博子(2010).「世界の水田からのメタン発生量とその削減可能量の推定」.『農業食品産業技術総合研究機構』.88.6-7.
https://www.naro.affrc.go.jp/archive/niaes/sinfo/publish/niaesnews/088/08806.pdf.
【6】栃木県小山市(2025).「ふゆみずたんぼ・ホンモロコ」.
https://www.city.oyama.tochigi.jp/sangyou-sigoto/nougyou/page001808.html.
【7】農林水産省(2009).「耕作放棄地の再生利用のために」
https://www.maff.go.jp/j/nousin/tikei/houkiti/pdf/zsankou.pdf.2026年2月.
【8】三浦 吉則 松本 靖 笹川 正樹(2022).「三要素・有機物及び土壌改良資材の長期利用が水稲収量や水田土壌科学性に及ぼす影響」.『福島県農業総合センター』
.13.33-48.https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/501438.pdf.
【9】伊澤 敏 栁澤 和也 浅沼 信治 大浦 栄次 安藤 満(2025).「農薬と生態系ー浸透移行性殺虫剤を中心にー」.『日農医誌』.74(2).92-102.
92−102.https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjrm/74/2/74_92/_pdf.
【10】FiBL(2019).「Organic Agriculture Worldwide 2017:Current Statistics」
https://orgprints.org/id/eprint/33355/5/lernoud-willer-2019-global-stats.pdf.2026年2月.
【11】FiBL(2017)「THE WORLD OF ORGANIC AGRICUTURE」
https://www.fibl.org/fileadmin/documents/shop/3503-organic-world-2017.pdf.2026年 2月.
【12】小松﨑 将一(2018).「有機農業と環境保全:特別栽培から持続可能型農業の本流としての有機農業へ」.『有機農業研究 』.10(1) .56−64.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/joas/10/1/10_56/_pdf/-char/ja.
【13】西尾 道徳(2006年10月10日).「No.57 水稲有機農業の経済的な成立条件」.
https://lib.ruralnet.or.jp/nisio/?p=1339. 2026年2月.
【14】西松 武司 松下京平 藤栄 剛 (2012).「生態系・環境保全方農産物の価格プレミアムの決定要因」.『環境科学会誌』25(3).204−214. https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010832928.pdf.
【15】大森 誉紀 (2015).「水稲無農薬栽培を28年間継続した水田における収量の年次変動とその要因」『愛知県農林水産研究所企画環境部・農業研究部研究報告書』.(7).42-52.
https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010891422.pdf.
【16】株式会社坂ノ途中(2023).「有機農業白書〜有機農業を広げる妥当性と必要な支援〜」.
https://www.on-the-slope.com/corporate/wp-content/uploads/2023/12/OrganicAgricultureWhitePaper_0_20231208.pdf?srsltid=AfmBOorNHwGvypFnApzlzbxO9f5oqzTZtUHVWt3K9x49rEGEM3AV_Lq .2026年2月.
【17】農林水産省(2019).「有機農業をめぐる事情」.
https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kazyu/r01_5/attach/pdf/index-8.pdf. 2025年2月.
【18】金子 信博(2023).「土壌環境から見た持続的な有機農業」.『農村計画学会誌』.
42(1).21-24.https://www.jstage.jst.go.jp/article/arp/42/1/42_21/_pdf/-char/ja.
【19】「Neonicotinoid insecticide toxicity to aquatic organisms: Addressing key knowledge gaps on toxicity thresholds, mixtures and mitigation strategies using buffer zones」
https://www.dfo-mpo.gc.ca/science/partnerships-partenariats/research-recherche/ncag-gncc/projects-projets/013-eng.html.
【20】京都大学大学院.「農薬はなぜ必要か」.
https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenbu/0000103767.pdf.2026年2月.

【21】伊藤 豊彰 秋田 和則(2016).「有機栽培水田で冬期湛水は土壌養分とメタン放出にどんな影響を与えるか」.『農業および園芸』.91(1).167-172.
https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010900916.pdf.
【22】The Royal Society (2014).「Diversification practices reduce organic to conventional yield gap」https://royalsocietypublishing.org/rspb/article-abstract/282/1799/20141396/77494/Diversification-practices-reduce-organic-to?redirectedFrom=fulltext.2026年2月.
【23】Institute on the Environment (2012).「Comparing the yields of organic and conventional agriculture」https://www.nature.com/articles/nature11069.2026年2月.
【24】一般社団法人農山漁村文化協会(2025).「カエルと一緒に育てる有機米 生きもの・動物と一緒に田んぼを守る」https://kikanchiiki.net/archives/5035. 2026年2月.

# 地域医療の持続可能性について

## —南魚沼市における安定した医療を提供するためには—

1、研究目的・背景

1—1研究背景

今後、16～64歳人口が減っていき、65歳以上の人口が増えるとされている。(図1)医師・看護師・薬剤師などの医療従事者については、2030年に18.6万人、2040年に81.6万人の供給不足が見込まれている。2040年の労働需要（467.6万人）に対する不足率は17.5%である。(図2)リクルートワークス研究所(2023)は「今後さらに高齢化が進むなか、否応なく人の力が必要な職種であるが、供給不足が慢性化することで、診察を受けることが難しくなり、救急車を呼んでも受け入れてくれる病院がないなど、私たちの生活に大きな悪影響を及ぼす恐れがある。」と述べている。

意識調査によると、「病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至ると考えたとき」に、最期を迎えたい場所を自宅としている国民は43.8%であるが、それまでの医療・ケアを受けたい場所は、医療機関は54.8%、自宅は 27.3%であり、最期を迎えたい場所と医療・ケアを受けたい場所は必ずしも一致しない（厚生労働省, 2023）。よって今後、医療従事者不足と医療需要の増加が同時に進行すると考えられ、地域における安定した医療提供体制の確保が重要な課題となる。

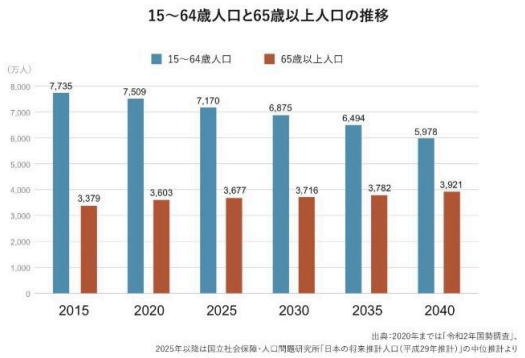



図1　15～64歳人口と65歳以上人口の推移

出典:リクルートワークス研究所




図2　保健医療専門職の需要と供給の状況

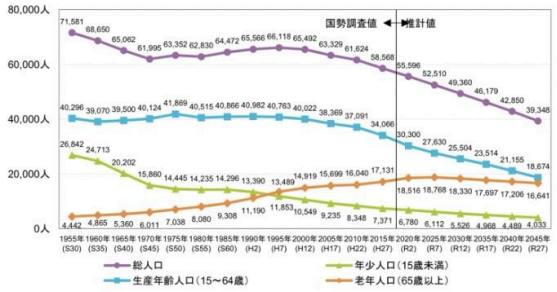
出典:リクルートワークス研究所

1—2研究目的

本研究では「南魚沼市における安定した医療提供をするためには？」を明らかにする。日本では少子高齢化の進行により医療需要が増加している一方で、医療従事者の確保が大きな課題となっている。特に地方では、医療従事者が都市部に集中する傾向があり、地域ごとに医療体制の差が生じていると指摘されている。南魚沼市のような地方地域では、限られた医療資源の中で、地域住民の生活を支える医療を継続的に提供していくことが求められている。このような状況の中で、医療従事者を確保することだけでなく、地域に定着してもらうための環境づくりが重要であると考えられる。医療従事者が就職先を選択する際に重視する点や、働く地域に対して抱く不安や期待を把握することは、地方における医療人材不足の改善につながる可能性がある。

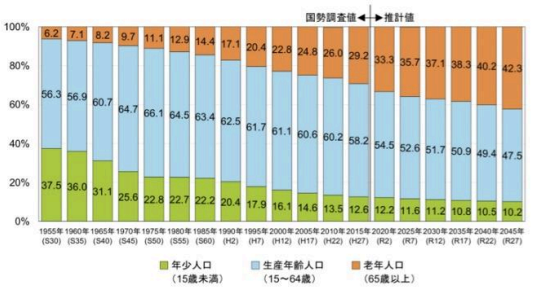
そのため、医療従事者の進路選択の意識に着目することは大きな意義がある。また南魚沼市では高齢化が進んでいる。(図3・図4)よって、在宅医療の需要は今後さらに高まると考えられる。

在宅医療は、患者が住み慣れた地域で生活を続けながら医療を受けることを可能にするだけでなく、病院の負担軽減や医療資源の効率的な活用という点でも重要な役割を担っている。しかし在宅医療を支えるためには、医師や看護師をはじめとする医療従事者の確保や、多職種間の連携体制の整備が不可欠である。特に地方では、限られた人員で広い地域を支える必要があり、在宅医療の体制構築が十分に進んでいないという課題も指摘されている。以上のことから、本研究では南魚沼市浦佐地区を対象として、医療従事者の進路選択に関する意識や在宅医療に対する考えを調査し、地域の実情に即した安定的かつ持続可能な医療提供のあり方について検討することを目的とする。




資料：2015 年（平成 27 年）まで国勢調査、2000 年（平成 12 年）までは旧塩沢町、旧六日町、旧大和町の合計）、推計値は社人研推計

図3　南魚沼市人口推移




資料：2015 年（平成 27 年）まで国勢調査（2000 年（平成 12 年）までは旧塩沢町、旧六日町、旧大和町の合計）、推計値は社人研推計

図4　南魚沼市の人口率の推移

出典:南魚沼市

出典:南魚沼市

2、研究方法

医療従事者確保の問題については、現状や課題を多角的に把握するために、文献調査と大学生へのアンケートを行った。文献調査では、大学生や医療従事者を目指す学生、現役の医療従事者の就職選択に関する先行研究や統計資料、行政の報告書などを収集し、医療従事者が就職先を選ぶ際に重視する要因や、地方医療が抱える人材不足の背景について分析した。これにより、地方と都市部における就職条件や環境の違いを整理し、医療従事者不足が生じる原因を明らかにすることを目的とした。アンケート調査では、将来医療現場で働く看護師および医療検査技師を目指す大学1･2年生を対象に、「就職先を選ぶ際に重視すること」について調査を行った。調査は、Google フォームを用いて実施し、勤務地、給与、勤務体制、職場の雰囲気、地域環境など、就職選択に影響すると考えられる項目について回答を得た。これにより、若い世代の医療系学生が地方就職に対してどのような意識を持っているのかを明らかにし、今後の医療従事者確保の手がかりを得ることを目指した。

また、地域に応じた地域医療の在り方について調べるため、文献調査とインタビュー調査を実施した。文献調査では、「地方が抱える健康問題とその解決策」に焦点を当て、高齢化や医療機関へのアクセス問題、地域医療の役割に関する資料を分析した。インタビュー調査では、実際に地域医療と関わる可能性にある立場からの意見を得ることを目的として、浦佐周辺にある大学に通う看護学生1年生2人に対して対面でインタビューを行った。なお、本調査は少人数を対象としているため、結果は傾向把握を目的とする。浦佐地域における健康課題の原因や、解決策について文献調査だけではわからない学生の率直な考えや現場に近い視点を得ることを目指した。

3、結果･考察

浦佐地域の医療体制を把握するため、地域の中核医療機関である新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院(以下、同病院)を分析対象とした。同病院は浦佐駅に近く新幹線が利用で

きるため、遠方からのアクセスが良好である。また、同病院の理念や運営方針を整理すると、以下の通りである。

| | |
|---|---|
| | 病院方針 |
| 1 | 魚沼地域医療の中核として、高度先進医療、救急医療、災害時医療を担う。 |
| 2 | 総合診療の技能と使命感を持ち、全人的医療を実践する医療人を育成する。 |
| 3 | 「魚沼地域全体でひとつの病院」の実現を目指して、地域医療者・施設と連携する。 |
| 4 | 患者との協働医療のため、患者や家族の価値観に配慮した医療と情報提供を行う。 |
| 5 | 健康増進と疾病予防を目指し、地域に根ざした臨床研究を推進する。 |
| | 行動指針 |
| 6 | 地域住民の安心と信頼を得るよう、誠心誠意職務に専念する。 |
| 7 | 医療の質向上を目指し、常に自己研鑽と次世代教育に努める。 |
| | 経営方針 |
| 8 | 職場環境向上のため、ワークライフバランスを尊重する。 |
| 9 | 地域医療の中核的役割を果たすため、将来を見据えた病院経営を行う。 |
| 10 | 経営視点を備えた医療スタッフを育成し、迅速かつ積極的な病院経営を行う。 |

出典:新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院

さらに、「地域医療・高度医療を担う医療人の育成に向けた教育・研修機能の強化」や、「教育・研修機関としての機能拡大・魅力づくりの推進」といった取り組みも掲げられている。以上より、同病院は高度医療から地域医療まで幅広く対応できる体制を有し、教育・研修環境も整備された、地域医療を支える中核的医療機関であると考えられる。

就職先選択では、全体として、給与・待遇の良さや将来性のある職場が特に重視されていることがわかる。他にも休日・休暇が多いことや福利厚生が充実していることも求められているとわかる。(図5)

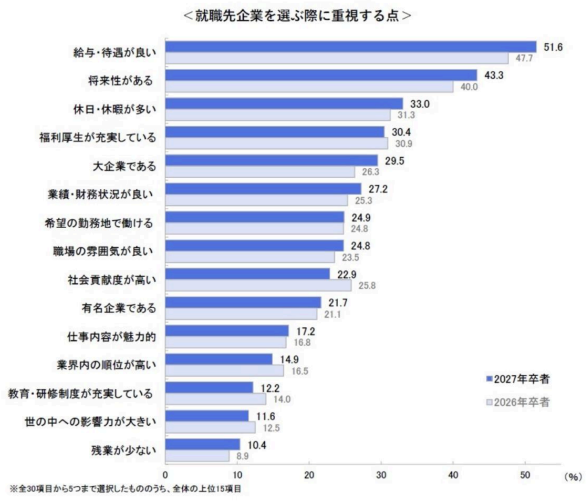



図5　就職企業を選ぶ際に重視する点

出典:キャリタス就活2026

医療従事者の就職先選択に限定し、医師と看護師、診療放射線技師を例に出すと、医師では、給与条件や勤務時間、勤務体制、休暇が上位に挙げられることがわかった。他にも就職先を考える際に病院側に勤務時間や休暇に関する詳しい情報を提示してもらいたい事がわかった。(図6・7)

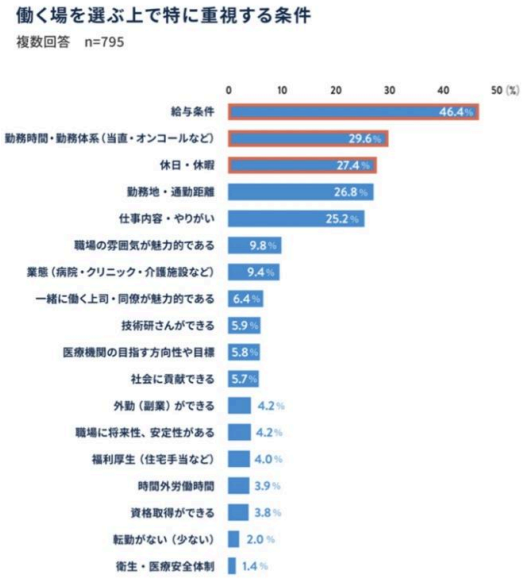



図6　働く場を選ぶ上で特に重視する条件

出典:リクルートドクターズキャリア

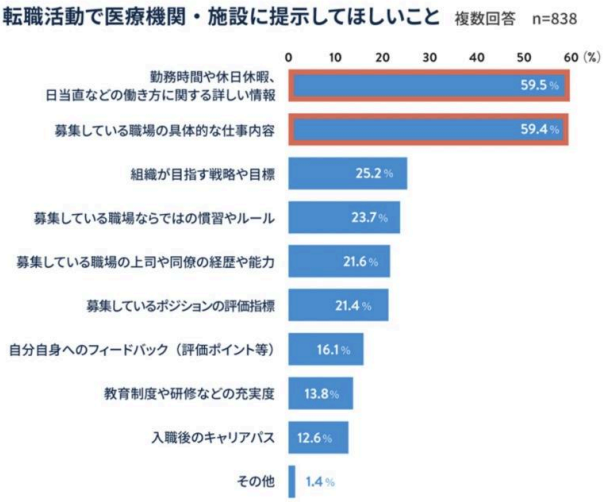



図7　転職活動で医療機関・施設に提示して欲しいこと

出典:リクルートドクターズキャリア

診療放射線技師では、谷川原ら（2020）が「学生の就職先の立地条件において、中小都市から大都市へ変わることの限界効果の符号は正、つまり都市部を好み、逆にへき地へ変わることの符号は負であり、へき地を敬遠するという結果となった。これは、立地以外の就労環境に差がなければ学生は都市規模の大きい方を選択する可能性が高いことを示唆している。給与変化率について、この項目は最も限界効果が大きかった。これは、どの項目よりも金銭的な要因が大きく効いていることを示している。この結果から、学生がへき地の医療機関へ就職を希望するには、報酬を都市部よりも大幅に増やす必要があると考えられる。」と述べている。

看護師では、渡邉ら(2020)は「就職先の選択に重視した項目は、『病棟や看護職の雰囲気が良い』が最も多く、次いで『インターンシップでの対応が良い』、『労働環境が整っている（時間外勤務、離職者が少ない、福利厚生等）』、『病院全体の評判がよい』、『希望する領域での看護実践ができる』であった。」と述べている。このことから労働環境が大いに就職先選択に関わっていると考えられる。大学生に行ったアンケートからは、職場を選ぶ際に重視するものとして、人間関係や雰囲気の良さ、給料を気にしている学生が多いとわかった。(図8)最も重視するものとして人間関係や雰囲気の良さが挙げられることもわかった。(図9)よって病院側には良い人間関係の構築や給料の良さが求められると考えられる。

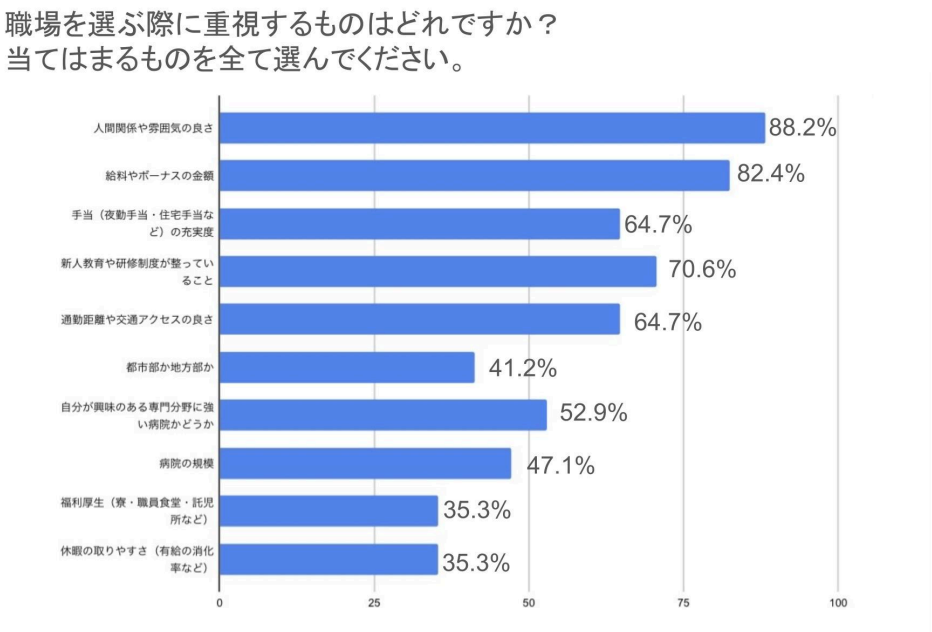



図8　大学生が職場選択で重視する要素(複数選択可)

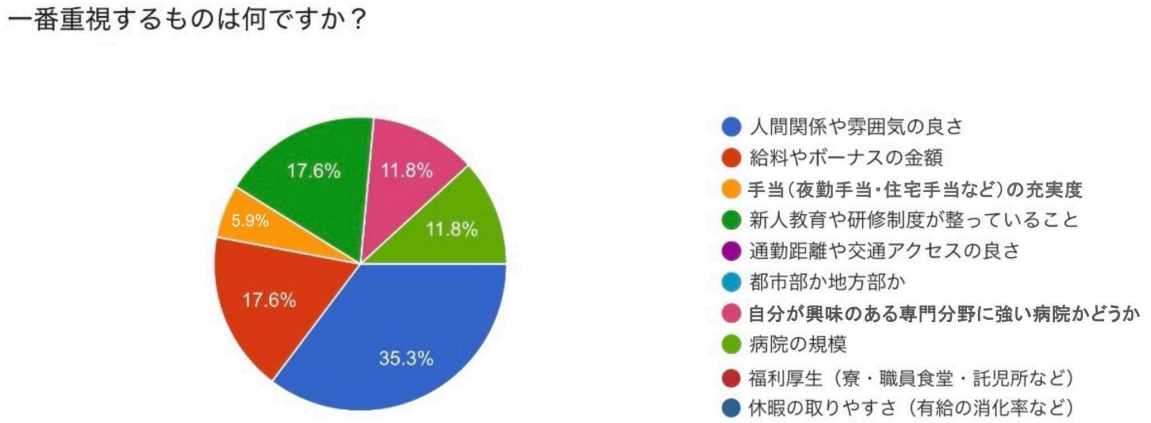



図9　大学生が職場選択で最も重視する要素

病院の規模では大規模な病院で働きたい人の割合が多いことがわかった。都市部・地方部の違いを重視しないと回答した人は35.3%と多かった一方で、就職先としては都市部を選択する学生が47.1%で最も多いことが明らかになった。(図10)都市部・地方部それぞれを選ぶ理由として都市部では、医療が発達していることや、交通アクセスの良さ、暮らしやすさが挙げられた。地方部では、地域医療が学べることや地元で働きたいからという理由が挙げられた。都市部・地方部ではそれぞれの良さがあるものの都市部の方が魅力的な面が多く人が集まると考えられる。よって、地方でも高度医療を学べる環境づくりや交通アクセスの改善が求められると考えられる。

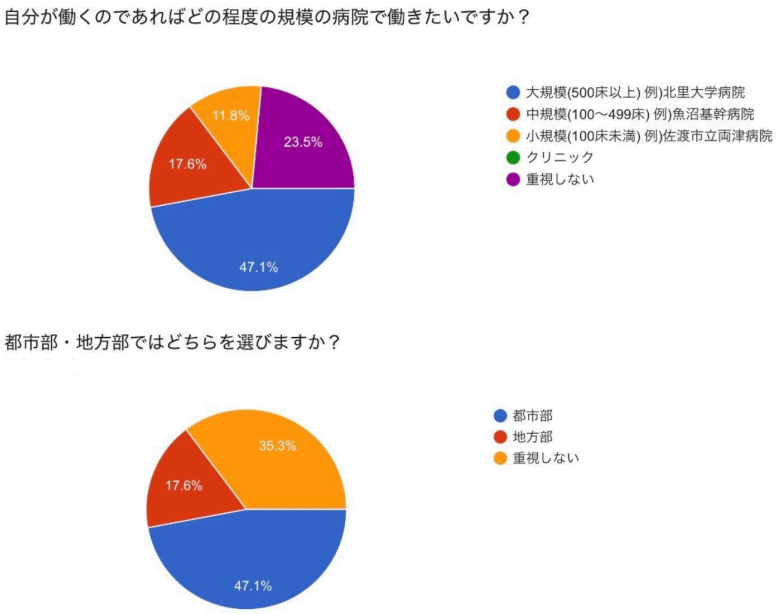



図10　大学生の働きたい病院・希望就職地域

他にも、看護学生は就職説明会やインターンシップで直接職員から話を聞くほか、近年ではSNSなどを通じて様々な方法で情報を手に入れて就職活動を行っており、自分の希望や設定した条件と照らし合わせて就職先を選択できる環境にある。しかし、病院側が幅広い情報を提供することができなければ、就職後思い描いていた職場ではないと感じ、離職するリスクが高まると考えられる。

在宅医療は、通院が困難な患者にとって、電気・ガス・水道と同様に欠くことのできない重要なライフラインとしての役割を担っている。その医療の特徴は、患者の生活背景や価値観を踏まえ、生活の様子を理解した上で、その人にふさわしい医療をともに考え、命の最期まで支える点にある。患者が在宅医療に不安を抱く要因としては、家族への負担に次いで、症状が急変した際の対応が多く挙げられるため、24時間いつでも相談でき、必要に応じて緊急訪問が可能な体制を明示することが重要である。一方で24時間365日の診療責任を個々の医師が担うことは大きな負担となるため、非常勤医師によるバックアップや診療・病院連携、輪番制、グループ診療など複数の医師による診療体制の構築が不可欠である。しかし、これらの体制づくりに関する成功事例や制度的支援は十分とは言えず、今後は診療報酬制度の整備や医師会など専門職集団の取り組みを通じて、持続可能な在宅医療を推進していく必要がある(川越、2014)。

他にも、健康課題に焦点を当てて行った大学生へのインタビューから浦佐地域では、畑仕事をしている人を多く見かけるため運動不足の心配はあまりないと考えられる。一方で、生活習慣病や外出の機会の少なさが課題であるとわかった。その原因として、交通手段の少なさや近隣に店がないことから買いだめをせざるを得ず、限られた食材で生活することによる栄養の偏りが考えられる。解決策としては、栄養について学んだり運動を行ったりするなど社会参加できる場を設けることや、移動販売を増やすことが有効であると考えられる。また、地域の産物であるスイカの栽培に関わるアルバイトが夏に多く募集され、若者と関わる機会が生まれていることから、このような交流の機会は継続的に確保していく必要があると考えられる。

他にも、魚沼医療圏（南魚沼、魚沼、十日町、湯沢、津南の3市2町）の医療機関が診療情報を共有するネットワークシステム「うおぬま・米（まい）ねっと」(図11)に積極的に加入してもらうことによって効率的に安全・安心な医療を提供できるようにすることが求められると考える。

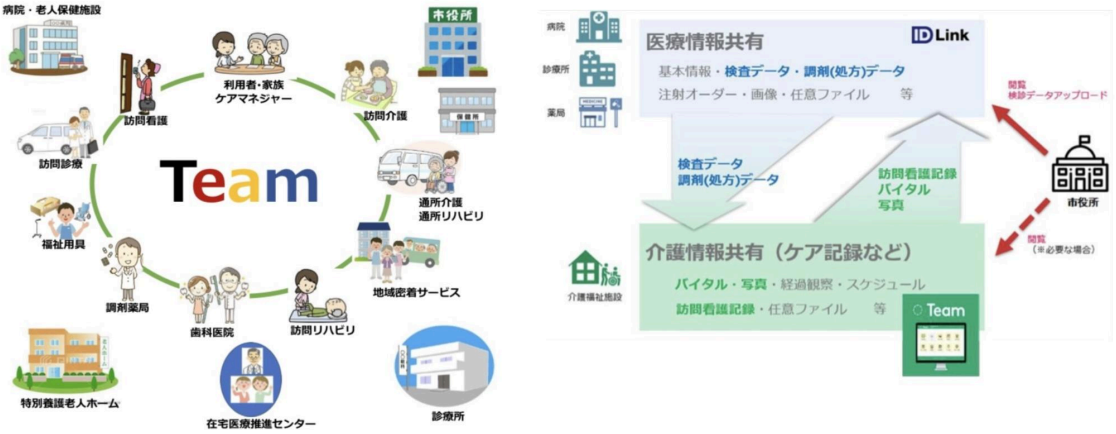



図11　診療情報共有ネットワーク「うおぬま・米ねっと」
出典:うおぬま・米ねっと「Team」魚沼市運用マニュアル

4、結論・展望

結果および考察から、浦佐地域では次のような取り組みが求められると考えられる。医療従事者の確保については、高度医療から地域医療まで幅広く携わることができる点や教育体制の充実、遠方からのアクセスの良さといった強みを、これまで以上に積極的に発信していくことが重要である。また、地域医療の充実に向けては、診療情報共有ネットワークである「うおぬま・米ねっと」への加入を促進し、情報共有の効率化を図るとともに、誰もが参加しやすい健康学習や運動の機会を増やすことで住民の社会参加を促進していく必要がある。以上のことから、医療従事者が働き続けられる環境の整備と、地域全体で医療を支える仕組みづくりを進めることが、浦佐地域における持続可能な医療提供の実現に向けた重要な鍵であると考えられる。

今後は、在宅医療の体制構築についてさらに詳しく調べていく必要がある。特に、高齢化が進む南魚沼地域では通院が困難な住民が増加すると考えられるため、24時間対応の診療体制や多職種連携の具体的な方法、医療従事者の負担を軽減する仕組みについて検討することが重要である。また、実際に在宅医療に関わる医療従事者や地域住民への聞き取り調査を行い、現場の課題や必要とされる支援を明らかにすることで、より実情に即した地域医療のあり方を考えていきたい。これにより、南魚沼市における地域医療の持続可能性に対する具体的な提案につなげたい。

5、謝辞

本研究の実施にあたり、アンケートおよびインタビューにご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

参考文献

[1]リクルートワークス研究所(2023)「未来予測2040労働供給制約社会がやってくる」
https://www.works-i.com/research/report/item/forecast2040.pdf.(参照2026−01−24)
[2]厚生労働省(2022)「在宅医療の現状について」
https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000909712.pdf.(参照2026−01−24)
[3]厚生労働省(2023)「人生の最終段階における医療・介護」
https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/001097991.pdf.(参照2026−01−24)
[4]面野医院(2025)「在宅医療が普及しない理由とは？現状の課題と解決のための取り組み」
https://www.omono-clinic.jp/home-care-challenges.(参照2026−01−24)
[5]南魚沼市(2020)「南魚沼市人口ビジョン」
https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/fs/1/5/2/6/2/3/_/20200522-2bijonn.pdf.

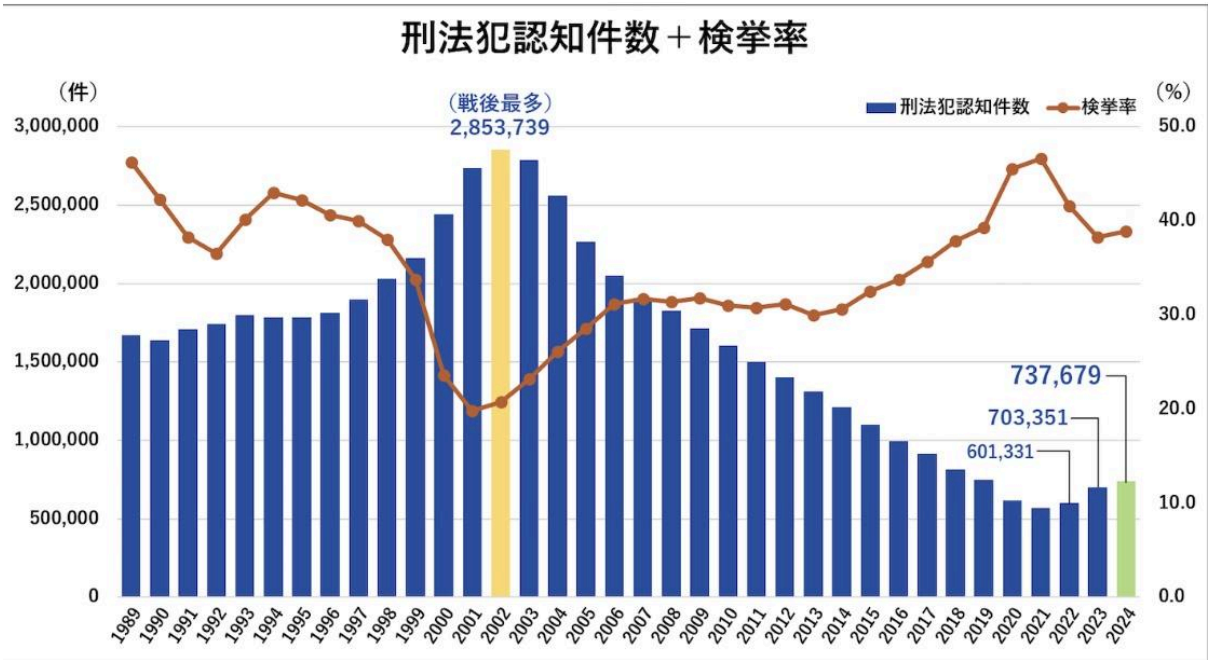
(参照2026−01−24)
[6]キャリタス(2026)「27卒学生の1月1日時点の就職意識調査」
https://www.career-tasu.co.jp/press_release/12138/.(参照2026−02−14)
[7]リクルートドクターズキャリア(2025)「全国の医師838名に聞く転職活動の実態と意識変化」
https://www.recruit-dc.co.jp/contents_survey/actual-and-consciousness/.
(参照2026−01−24)
[8]新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院
https://www.uonuma-kikan-hospital.jp/hospital-info/philosophy-policy.
(参照2026−02−14)
[9]谷川原綾子　藤原健祐　井上 剛　北川 剛　木村 徹　渡邊良晴　小笠原克彦(2020)「診療放射線技師の地理的分布均一性の維持に向けた学生への就職選好調査」
『日本放射線技術学会誌』77 巻 4 号
[10]渡邉光代　及川裕子　堀田涼子　平井佳代　渡邉久美　西出久美(2020)「A大学における看護学生の就職の選択基準に関する調査」,『目白大学健康科学研究』第 13 号
[11]矢島直樹(2022)「看護学生の就職先選択の条件に関する文献検討 :新卒看護師の就業継続への支援への一考察」,『福井県立大学論集』第 57 号
[12]川越正平(2014)在宅医療の現状と課題
[13]三原昌巳　大谷友男　櫛引素夫(2023)「上信越地域における高速交通体系を利用した医療従事者の通勤圏拡大と医療提供体制の変化」,『日本地理学会発表要旨集』
[14]小池康弘　實金栄　名越恵美(2023)「医療従事者の離職意思に関連する要因の検討」,『岡山県立大学保健福祉学部紀要』第30巻1号2023年 25 〜 32頁
[15]三原昌巳　大谷友男　櫛引素夫(2022)「地方総合病院における医療従事者確保の動向―上越および北信医療圏の事例―」,『日本地理学会発表要旨集』
[16]古 田 歩　牛 垣 雄 矢(2022)「三島駅周辺地域における遠距離通勤者の特性と地域が抱える課題」,『東京学芸大学紀要』人文社会科学系Ⅱ 第73集
[17]丹羽 文俊　稲葉 哲士　関本 美穂　四方 哲(2025)「現代の地域医療における課題とヘルスリテラシーの重要性」,『京府医大誌』134（8）, 471〜478
[18]冨尾 淳(2023)「地域における健康危機管理の現状と課題」,『日本健康学会誌』第89 巻 第3号
[19]玉森 祐矢　藤生 慎　中山 晶一朗　高山 純一　西野 辰哉　寒河江 雅彦　柳原 清子　平子紘平(2017)「健康増進に向けた健診の効果と地域の健康課題～国保データベース（KDB）を用いて～」,『第 55 回土木計画学研究発表会・講演集』2 巻 J2 号 p. 841-847
[20]新潟県(2019)「【魚沼・南魚沼・十日町】 魚沼医療圏の医療機関で受診する方は「うおぬま・米（まい）ねっと」に登録してください」
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/uonuma-kenkou/1356776694845.html.
(参照2026−02−14)
[21]一般財団法人魚沼市医療公社(2023)「うおぬま・米ねっと『Team』魚沼市運用マニュアル」
https://uonuma-medical.jp/koide/cmsdir/wp-content/themes/koide/pdf/center2.pdf.
(参照2026−02−14)

# 治安維持の持続可能性について

# 研究背景

多くの人は自分の地域を「安全だ」と感じているが、治安維持のために行われている具体的な取り組みについては十分に知られていない可能性がある。仕組みが知られていないということは、治安維持は意識されないまま成り立っているかもしれない。日本は一般的に「安全で治安が良い国」と評価されている。国際的な比較でも、日本の殺人率は100,000人あたり約0.2件と、アメリカやヨーロッパ諸国に比べて極めて低い数値となっていることが報告されている。さらに刑法犯認知件数は、2002年の約285万件をピークに長期的な減少傾向が続き、戦後初めて100万件を下回った年もあるなど、統計上の治安は改善傾向にあることが分かる。(国際比較で見た日本の「安全」2014.07.29)

しかし、最近の統計では窃盗や詐欺、性犯罪などの犯罪件数が再び増加しているとの報告もあり、治安情勢は単純に「良い」と言い切れない面もある。特に特殊詐欺被害の件数・被害額が過去最多になっているというデータもあり、新たな安全課題が増えていることが示されている。




（全国治安ワーストランキング2025 治安が懸念される都道府県は？2026.01.29）

また、国民の意識調査では「日本は安全だ」と感じる人が多い一方で、ここ10年で治安が悪くなったと感じる人も約半数以上に上るなど、客観的データと体感が必ずしも一致していないという実態も指摘されている。このように、統計上の治安改善と社会の不安感のずれ、犯罪件数の変化などの社会的背景から、現状の治安が「持続可能に維持できる状態」であるかどうか将来的に持続可能とは言えない可能性がある。

# 仮説

多くの人は自分の地域を「安全だ」と感じているが、その実感は主に犯罪発生件数の低さや治安の良さに基づいたイメージによるものであり、治安を維持するための日々の取り組みについて十分に理解していない可能性がある。さらに、統計上の治安改善が続いているとはいえ、犯罪の種類や認知件数には増加傾向が見られる分野も存在しており、また国民の治安に対する不安感が高まっているという意識データもある。これらの状況は、地域住民の意識と実際の治安維持活動の関心が薄まる事態を生み、現在の状況が将来にわたり持続可能とは限らない可能性を示していると考えられる。

# 探究方法

地域の治安に対する主観的な評価と、治安維持の取り組みに対する認知度の関係を明らかにするため、インタビュー調査を実施した。

## 探究方法

調査方法として、身近な人（家族、親戚、知人、教師など）に対してインタビュー形式で聞き取り調査を行った。対象者は複数の地域（長岡市、南魚沼市、上越市など）に住んでいる人とし、地域ごとの違いも見られるようにした。インタビュー形式を選択した理由は、単なる「はい・いいえ」の回答だけでなく、なぜそのように感じるのかという理由や背景を具体的に把握するためである。これにより、統計的なデータだけでは分からない”体感治安”や個人の意識を明らかにすることができるからだ。

## 質問内容

質問は以下の2問にした。

1.あなたの地域は安心安全だと思いますか？

2.あなたは地域で行われている治安維持活動について知っていますか？（パトロールや、見守り活動、警察の活動など）

第1問は、地域の治安に対する「主観的な安心感」を測ることを目的としている第2問は、その安心感がどの程度具体的な知識や理解に基づいているのかを確認するためのものである。

## 分析

回答を以下の観点で整理・分析した。
「安全だ」と感じている人の割合
「取り組みを知っている」と回答した人の割合
両者の関係（安全だと感じているが、取り組みは知らない人の有無）
安全だと感じる理由／不安に感じる理由の内容 これにより、
① 地域の治安に対する体感 ② 治安維持活動への認知度 ③ その間にある意識の差（ギャップ）を明らかにすることを目的にした。

## 結果

まず、Q1「あなたの地域は安心・安全だと思いますか」という質問について 堅理する。
回答を地域別に見ると、
「安全である」と回答した人は合計6件
「安全ではない」と回答した人は4件であった。
全体としては、安全であると感じている人がやや多いという結果になった。安全だと回答した理由としては、
・事件が少ない
・警察がある
・人が少ない
・高齢者が多い といった意見が挙げられた。
これらの理由には共通点が見られる。それは、「現在大きな問題が起きていないこと」や「何となく安心できる環境であること」に基づいた判断であるという点である。つまり、具体的な統計や制度の理解というよりも、日常生活の中での体感や印象に基づいて「安全」と認識している傾向が見られる。

一方、「安全ではない」と回答した人は4件であり、
その理由としては、
・藁を燃やしている人がいる
・ヤクザがいる
・熊が出る
・露出狂が多い

などが挙げられた。こちらは具体的な事例や実体験に基づく不安が中心であり、「実際に目にした危険」や「地域特有の問題」が安全意識に影響していることが分かる。特に熊の出没などは地方特有の課題であり、地域差が安全認識に影響している可能性も考えられる。

次に、Q2「地域で行われている治安維持の取り組みについて知っていますか」という質問について軽理する。
回答を見ると
「知らない」と回答した人は4件、
「知っている」と回答した人は3件であった。
全体としては、治安維持の具体的な取り組みについて十分に知られていない人がやや多い結果となった。「知っている」と回答した内容としては
・警察がパトロールしている
・いじめ見逃しゼロ活動などが挙げられた。
しかし、「知らない」と答えた人の中には、Q1で「安全である」と回答している人も含まれていた。つまり、安全だと感じているにもかかわらず、その安全を支える具体的な取り組みについては理解していないという傾向が確認できた。

## 考察

本研究の仮説は、「多くの人は地域を安全だと感じているが、治安維持の取り組みについては十分に知られていない」というものであった。今回の調査結果では、安全であると感じている人がやや多い一方で、治安維持の取り組みについては「知らない」と回答する人も多く見られた。このことから、仮説は一定程度支持されたと考えられる。特に注目すべき点は、「安全だと感じている理由」が主観的・印象的なものである場合が多かったことである。事件が少ない、人が少ない、高齢者が多い、といった理由は、必ずしも治安維持の仕組みそのものを理解していることを意味しない。つまり、多くの人にとって治安は「意識しなくても保たれているもの」として存在している可能性がある。
しかし実際には、察の活動、防犯パトロール、地域の見守り活動、学校でのいじめ防止活動など、さまざまな取り組みによって治安は支えられている。もし住民がそれらを十分に理解せず、関心も持たないままであれば、将来的に地域の協力体制が弱まる可能性もある。特に、少子高齢化や人口減少が進む地域では、防犯活動に参加できる人が減少する可能性がある。そのような状況において、治安維持が一部の人や組織に依存している状態は、持続可能であるとは言い切れない。また、安全ではないと感じている人の意見からは、地域特有の問題（野生動物、特定の人物、社会的問題など）が安全意識に影響を与えていることが分かった。このことは、治安」と一言で言っても、地域ごとに課題が異なることを示している。以上のことから、治安の持続可能性を高めるためには、・地域の治安維持活動についての情報発信を強化すること・住民が活動に参加しやすい仕組みを作ること・地域ごとの課題に応じた対策を行うことが重要であると考えられる。

## 参考文献


1アルソック（全国治安ワーストランキング2025）
https://www.alsok.co.jp/person/recommend/dangerous-ranking2025/

2 国際比較で見た日本の安全
https://www.nippon.com/ja/features/h00068

3 全国犯罪件数統計
https://www.keibiin.net/hanzaikensu.html?

4 Why Is Japan So Safe Cultural Norms And Crime Rates
https://www.alibaba.com/product-insights/why-is-japan-so-safe-cultural-

5 警視庁
https://www.npa.go.jp/hakusyo/r05/honbun/html/zf112000.html?

6法務省『平成18年版・犯罪白書』
https://hakusyo1.moj.go.jp/ip/52/nfm/n

7 Police Policy Research Center (PPRC), National Police Academy Reports
https://www.npa.go.jp/keidai/english/kikan/kiyou.html?

8経済政策レポート
https://jp-reports.com/ja/articles/tgwJ6WJn9JJdbQB5Hvncta/?

9持続可能な日本を測定する指標
https://www.japanfs.org/ja/404.html

# 南魚沼市の持続可能性

1, 要旨

本研究では、南魚沼市（主に浦佐駅周辺の大和地域）の持続可能性の現状を、文献調査と自治体等が行なっている調査の結果をもとに分析し、その結果からこれからの南魚沼市が活性化や発展のために行った方が良い政策を考察・提案する。

※SDGsコンパス（2024）、NTT東日本（2025）を参考にし、本研究における「活性化状態」とは「地域経済活動，文化活動が活発化し、住民の生活が向上し、将来的に持続可能な状態」のことを言う。[1][2]

2, 研究背景

私は、生まれてから現在まで育ち、将来も住む可能性のある南魚沼市に、これからも持続してほしいという強い思いを抱いている。南魚沼市は豊かな自然環境や四季折々の景観、農産物など多くの魅力を有している地域である。しかし、その一方で人口減少という大きな課題を抱えている。南魚沼市が独自に実施している調査によると、総人口および一世帯あたりの人口はともに減少傾向にあり（図1）（図2）、過疎化が着実に進行していることが示されている。[3] 総人口の減少は地域の労働力不足や経済規模の縮小につながり、一世帯あたりの人口減少は高齢化や単身世帯の増加を意味していると考えられる。これらの変化は、地域社会の活力低下や地域コミュニティの維持にも影響を及ぼす可能性がある。しかしながら、このように人口減少が進んでいる状況にもかかわらず、南魚沼市（2024）が実施した、「2024年南魚沼市まちづくりに関するアンケート調査報告書　1, まちづくりの現状評価」においては、「33 総合的な人口減少対策の推進」の評価が最も低いという結果が示されている。[4] これは、市民が現在の人口減少対策に対して十分な効果や実感を得られていないことを示していると考えられる。また、次いで評価が低いのは「32 共感と共生のまちづくり」であり、地域住民同士のつながりや支え合いの仕組みについても課題が残されていることがうかがえる。地域活性化を進めるためには、単に経済面の対策だけでなく、人と人とのつながりを強化する視点も重要であるといえる。これらの現状を踏まえると、南魚沼市において人口減少が進行している中でも、地域の魅力を活かしながら持続可能なまちづくりを実現するための具体的な方策を検討する必要がある。そこで本探究では、南魚沼市の人口推移や住民意識、来訪者からの評価、さらに市が実施している事業内容に着目する。そして、それぞれの現状を多角的に分析することで、地域活性化を

実現するための課題を明らかにするとともに、今後の南魚沼市に求められる取り組みについて具体的に考察することを目的とする。

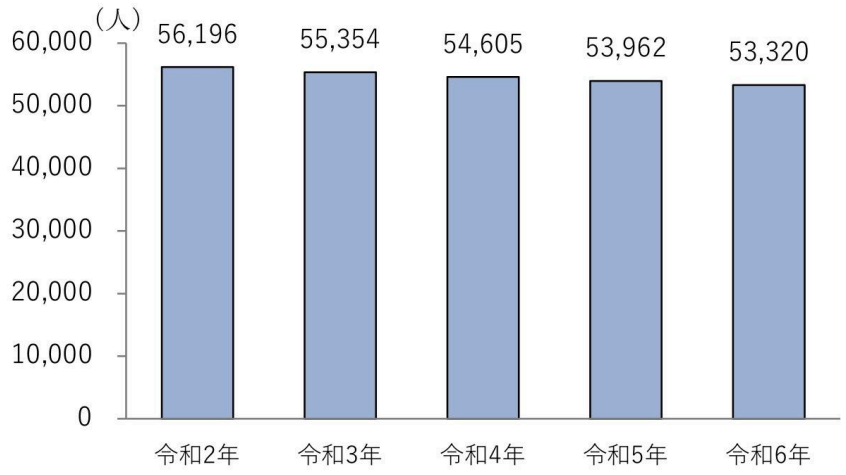



図1，南魚沼市の総人口（住民基本台帳より）

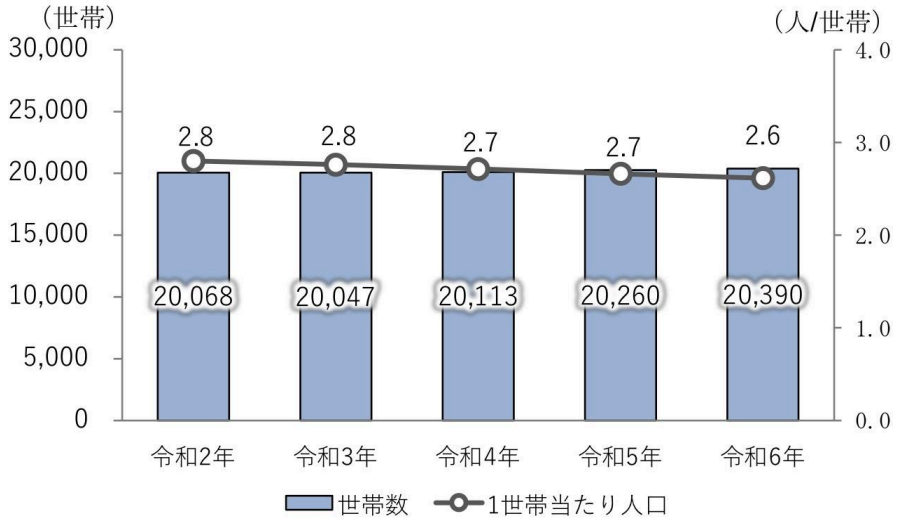



図2，南魚沼市の1世帯当たり人口（住民基本台帳より）

3, 目的・意義

本研究では、リサーチクエスチョンを「南魚沼市を活性化して持続可能化するには何が必要か。」と設定し、現在の南魚沼市の課題点を分析、取り組むべき施策の考察・提案を通して、南魚沼市の少子高齢化や過疎化を軽減し持続可能化することを目的として研究する。そこで南魚沼市（2024）が実施した「令和6年度　南魚沼市　来訪者に対するアンケート調査　報告書」[5]の結果を見て、南魚沼市民だけでなく、南魚沼市への来訪者の印象や訪れた感想を分析し、南魚沼市の強みと課題を客観的に把握する。特に、来訪目的、満足度、再訪意向、地域資源（自然、食、温泉、スキー場など）に対する評価に注目することで、外部から見た南魚沼市の魅力や改善点を明らかにする。さらに、アンケート結果から、観光資源は高く評価されている一方で、交通の利便性や情報発信の不足といった課題が見られるかを検討する。これらを整理した上で、南魚沼市が持つ地域資源をどのように活用すれば地域の経済、文化活動が活性化するかを検討する。また、人口減少や少子高齢化の現状も踏まえ、観光振興だけでなく、移住・定住促進、子育て支援の充実といった観点からも施策を検討する。以上の分析を通して、短期的な観光活性化策だけでなく、長期的に持続可能な地域づくりを実現するための具体的な提案を行う。

4, 仮説

南魚沼市では、来訪者から一定の評価を得ている一方で、市民のまちづくりに対する評価が低いことから、外からの魅力と市民の満足度に差があり、それが持続可能化が進まない要因となっている。よって、リサーチクエスチョンに対する仮説を「南魚沼市ならではの地域資源をこれまで以上に活用し、市外からの継続的な関心を高める必要がある。そして、その取り組みを市民の満足度向上につながる事業にも結びつけ、得られた財源を少子高齢化対策や子育て支援に充てるなど、市民へ還元していくことが重要である。」と設定する。

5, 研究方法

・文献調査

本・論文・報告書などの文献を用いて必要な情報を収集し、南魚沼市の現状を多角的に分析する。特に、住民意識、来訪者の評価、実施されている施策に関する資料を中心に整

理する。さらに、一つの情報については複数の文献を吟味し、内容の信頼性や客観性を確認した上で活用する。

・自治体，企業等による調査の結果の分析

南魚沼市民への意識調査および南魚沼市への来訪者アンケートの結果を分析し、市民満足度や来訪目的、再訪意向などの傾向を整理する。そのうえで、それぞれの結果を比較し、現在の南魚沼市が抱える課題を明らかにするとともに、改善策について考察する。

さらに、市内の人口推移や浦佐駅の利用者数のデータと並行して分析を行い、人口減少や交通利用状況と市民意識・来訪者評価との関連性を検討する。これにより、地域活性化や持続可能性に影響を与えている要因を多角的に分析する。

6，結果

・市外から見た課題点

JR東日本(2024)が出している各駅の利用人員の浦佐駅の利用人員数[6]を2012～2024年でグラフにしたところ、以下のようになった。

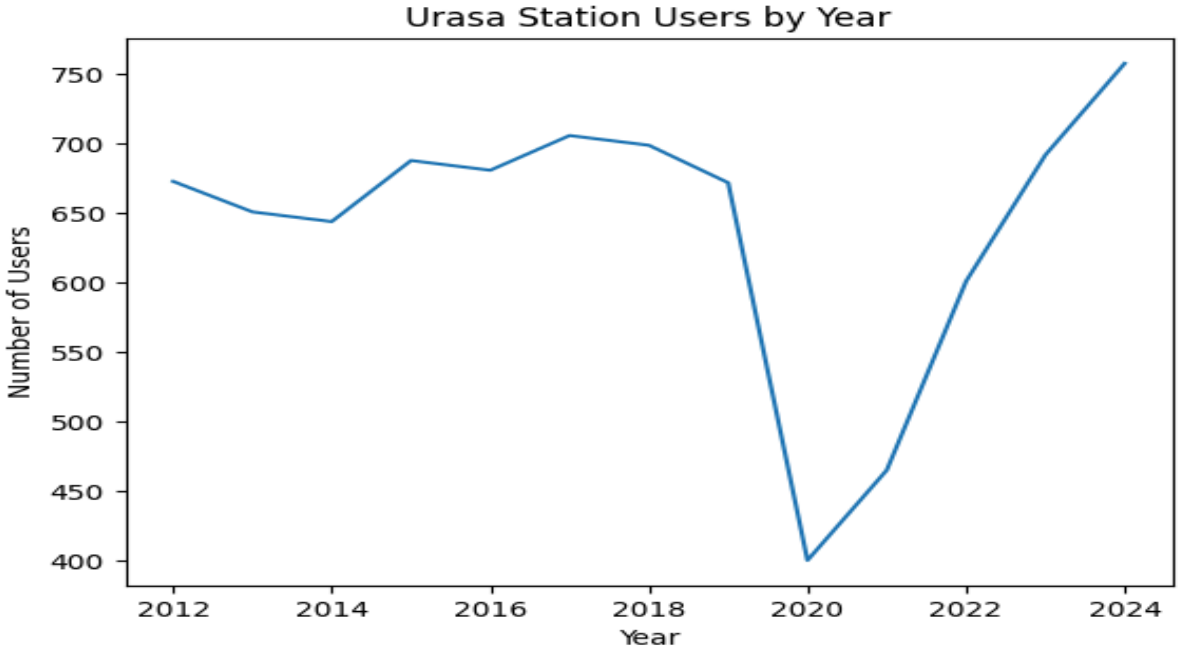



図3，浦佐駅の利用者人員数グラフ(JR東日本より)

＜グラフ分析＞
特徴　2012～2019年までおおむね横ばいに近い形になっている。

原因① 観光が季節依存型になっている
　南魚沼市は冬のウィンタースポーツや一年通しての自然、食（米など）など各シーズンにそれぞれの強みがある一方、通年で安定的に観光客を呼べていない。南魚沼市（2024）によると令和5年度の観光客の中で来訪経験が2回以上の60代の割合は71.5％だったのに対し、令和6年度は80.9％と約10％増加している。一方20歳以下は令和5年度が88.9％なのに対し、令和6年度は68.9％と20％減少している。[5]　このことから将来持続的に来訪、定住が可能な若い世代の再訪者数が減少傾向にあり、逆に高齢者の再訪者数が増加傾向にあり、人口減少の抑止力、少子高齢化の抑止力はともに見られない。

原因② 目的が限定的
　原因①で示したように、南魚沼市は冬のウィンタースポーツや四季折々の自然、地域特有の食文化など、観光地としての魅力は高く評価されている。しかし、それらは主に「訪れる場所」としての魅力であり、継続的に生活する場や働く場としての魅力とは必ずしも一致していない。そのため、観光目的での来訪者は一定数存在するものの、移住や定住、長期的な関わりへと発展しにくい現状がある。

原因③ 情報発信やブランド力の不足
　南魚沼市は豊かな自然や食などの地域資源を有しているが、それらの魅力が県外へ十分に発信されているとはいえない。特に、SNSやデジタル媒体を活用した若者層への効果的な情報発信が弱い場合、若年層にリーチできていない可能性がある。その結果、新規来訪者の獲得が限定的となり、利用者数が横ばいにとどまっている要因の一つになっていると考えられる。

・市民から見た課題点

課題点① 人口減少対策の評価が低い
　南魚沼市は現在人口減少が進んでいる。内閣府（2003）によると、人口減少の主な要因は、若年層の進学・就職に伴う移住と出生率の低下である。[10]　特に高校卒業後に都市部へ進学した若者が、そのまま都市部で就職し定着する傾向が強く、地元へのUターンが限定的であることが影響している。また、雇用の多様性不足や都市部との賃金格差により、生活の場として選ばれにくい構造が形成されている。結果として、転入人口が増えず、

人口減少が加速するという負の循環が生じている。さらに、アンケート結果からは、人口減少対策に対する市民の評価が必ずしも高くないことが明らかになった。このことは、市が実施している施策が市民に十分に伝わっていない、あるいは効果を実感できていない可能性を示している。政策の認知度や実効性への不安がある場合、市民の主体的な協力や定住意欲の向上にもつながりにくい。

課題点② 生活利便性の低下

南魚沼市では高齢化の進行に伴い、生活利便性に対する不安が市民の間で高まっている。特に、公共交通の本数減少、医療機関や買い物施設へのアクセスの困難さ、そして車依存型社会の構造が不安要素として挙げられる（国土交通省総合政策局地域交通課，2019）。[9] 人口減少により公共交通の利用者が減少すると、採算性の問題から路線や本数の縮小が進みやすい（国土交通省，2025）。[8] その結果、交通利便性がさらに低下し、自家用車への依存度が高まるという悪循環が生じている。特に高齢者にとっては、将来的に運転が困難になることで生活の質が大きく低下する可能性がある。また、南魚沼市は市域が広く、居住地が分散しているため、商業施設や医療機関が一部地域に集中しやすい構造となっている。浦佐駅周辺では比較的利便性が確保されている一方で、それ以外の地域では車がなければ日常生活が困難な場所も存在する。このような都市構造は、若年層の定住や子育て世帯の移住を促進しにくい要因にもなっている。したがって、生活利便性への不安は単なる交通問題ではなく、人口減少・少子高齢化に深く関わる重要な問題であると言える。

7，考察

今回の探究で、市外には南魚沼市の四季折々ならではの自然などの観光資源の魅力に関心を持つ人が一定数存在することがわかった。それに対してそこで得られた財源や経済効果を市民に十分に還元できていなく、不満を抱く市民もいることがわかった。この現状を踏まえ、私は以下の政策を提案する。

案① 若年層がUターン、定住しやすいまちづくり

地元企業と高校、大学などの連携を強めることにより就職のために市を出る人数を抑え、IT面などでも働きやすい街を作る。そして今より若年層向けの起業支援制度を重点的に行い、雇用の強化により人口減少、少子高齢化の根本にアプローチする。

案② 公共交通の再設計
　市内全体に今よりもバス運行を普及させ、高齢者でも移動が容易な街をつくる。さらに電車、新幹線向けの広告など、公共交通とまちの結びつきも強化する。

案③ 若年層主体の発信政策
　街の学校と連携してSNS運営を行うなど、市外の若年層の関心を得る。全国的に南魚沼市への興味を高めるためのPR動画コンテストを行う。

参考文献

[1]SDGsコンパス(2024).「地域活性化とは？政府による目標と取り組み、企業にとってのメリットを紹介」.https://sdgs-compass.jp/column/2026.2026年1月28日.

[2]NTT東日本(2025).「地域活性化とは地域の経済・文化を活発化させる取り組み」.https://business.ntt-east.co.jp/column/bizdrive/regionalactivation none.html.2026年1月28日.

[3]南魚沼市地域公共交通協議会(2025).「南魚沼市地域公共交通計画」.https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp.2026年1月28日.

[4]南魚沼市企画政策課(2024).「南魚沼市まちづくりに関するアンケート調査」.https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp.2026年1月28日.

[5]南魚沼市(2024).「令和6年度南魚沼市来訪者に対するアンケート調査報告書」.https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp.2026年1月28日.

[6]JR東日本(2024).「各駅の乗車人員数」.https://www.jreast.co.jp/company/data/passenger/.2026年1月28日.

[7]南魚沼市(2025).「南魚沼市の人口減少の傾向」.https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/fs/2/6/5/6/7/7/_/%E3%80%90%E4%BA%8B%E5%89%8D%E8%B3%87%E6%96%992-2%E3%80%91%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3%E6%9A%AB%E5%AE%9A%E7%89%88.pdf.2026年1月28日.

[8]国土交通省(2025).「地域交通公共の現状」.

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001898150.pdf.2026年2月14日.

[9]国土交通省総合政策局地域交通課(2019).「地域交通をめぐる現状と課題」.https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001311082.pdf.2026年2月14日.

[10]内閣府(2003).「平成15年度　年次経済財政報告書」.https://www5.cao.go.jp/j-j/wp/wp-je03/03-00301.html.2026年2月19日.

・伊部泰弘(2011).『地域活性化における地域ブランドの役割』.新潟経営大学.

・山納洋(2018).『地域プロデュース、はじめの一歩』.河出書房新社.

・除本理史、佐無田光(2020).『きみにまちに未来はあるか？「根っこ」から地域をつくる』.岩波書店.

・高橋フィデル(2013).『イベント運営完全マニュアル』.飯塚書店.

・藤原岳史(2022).『NIPPONIA地域再生ビジネス　古民家再生から始まる持続可能性な暮らしと営み』.プレジデント社.

・増田賀照(2007).『地域活性化成功事例の研究』.共愛学園前橋国際大学.

・江野泰子(2025).『持続可能な地域づくりの価値共創』.北陸先端科学技術大学.

# 咀嚼の持続可能性
## ～主食で見る咀嚼～

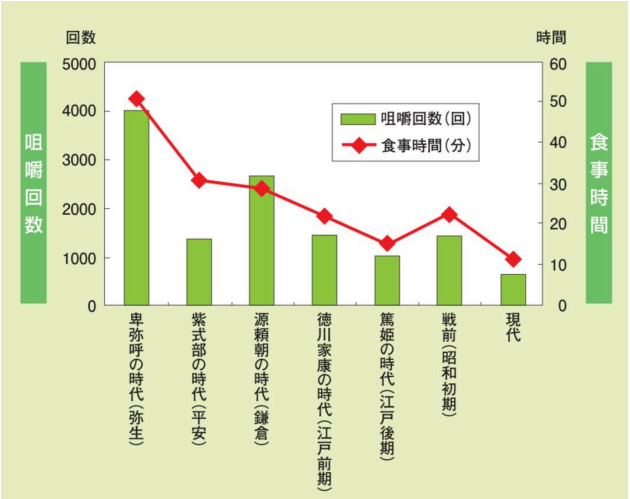
研究背景

近年、子どもから高齢者まで幅の広い年齢において、咀嚼回数の減少が報告されている（安本教傳　1998）。弥生時代には1回の食事あたり、平均3990回咀嚼し、食事所要時間は51分であったと言われていたが、戦後には660回、11分と減少している。戦後から現代に至るまでも咀嚼回数は減少傾向にあり、歯の喪失や咀嚼筋の低下など、高齢者を中心とした多くの人の健康問題となっている(東京都保健医療局　2023 )(図1)。厚生労働省では一口で30回噛むことを目標とする「カミング30」運動を行っているが、十分に認知されているとは言い難い(厚生労働省　2009)。

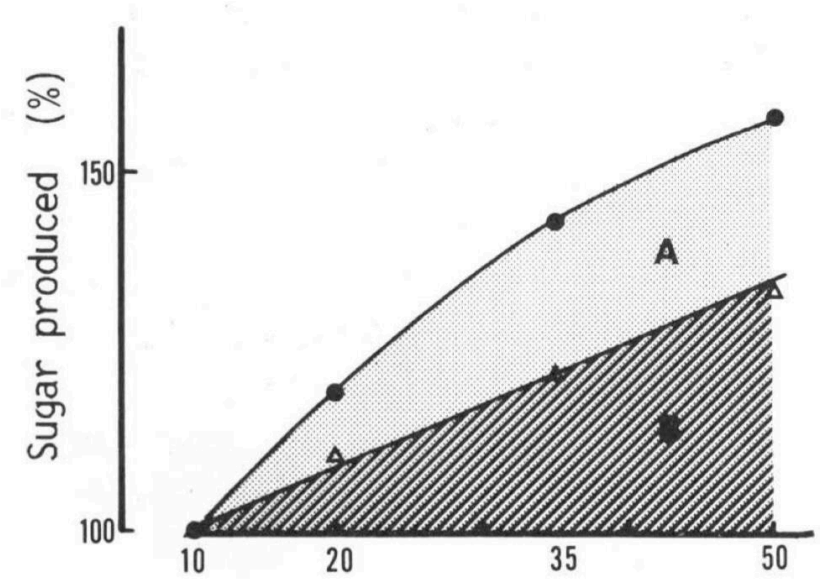
咀嚼回数・咀嚼時間が減少している主な理由として、日本人の食事が植物系食品中心から動物性食品中心へと変化したことが挙げられる。さらに近年では、少量で多くのエネルギーを摂取できるファストフードの増加や、短時間で食事を済ませることが求められる生活習慣、健康補助食品や栄養サプリメントの安易な利用、朝食を欠食する人の増加などが見られる。これらは、咀嚼回数や咀嚼時間が減少する原因の一つである(岸田典子　1995)。

咀嚼回数の減少は、多くの問題を引き起こす可能性がある。消化活動においては、唾液分泌量の低下、咀嚼筋の活動電位の低下により咀嚼回数が減少し、炭水化物を糖に分解するアミラーゼの生成量が減少してしまうことにより、消化作用が促進されにくくなると報告されている(小林義典　2011)。他に、ビタミンなどの吸収も遅くなってしまう(柳沢幸江・若林孝雄　1991)(図2)。さらに、咀嚼による顎の筋力の発達が遅れてしまうため、頬骨弓の後退、上顎前突、後顎後退などのアデノイド顔貌になってしまう。これにより、小児睡眠呼吸障害を引き起こしてしまう可能性がある(二木武　1991)。加えて、咀嚼回数の増加は脳機能に良い影響を与える。咀嚼時に下前頭回及び中前頭回への血液量の増加し、これらは、記憶、注意、学習、行動のモニタリング、及びワーキングメモリー等に関与していることから咀嚼習慣は記憶力や注意力の向上と密接に関わっていると考えられる(佐久間重光　2014)。

咀嚼回数に関わっている作用している要因は多岐にわたるがが、本研究では食品の物性及び水分量に着目する。咀嚼するものが咀嚼可能な範囲で固くなれば、咀嚼運動経路が大きくなり、最大開口速度および最大閉口速度が増加することで、咀嚼活動量が増加すると報告されている（岸田典子，1995）。また、嚥下時期は食品の粉砕程度に加え、水分量の影響も受けることが示唆されている（塩澤光一・神山かおる，1997）。一般に、水分量が少なく粉砕が不十分な場合には咀嚼回数が増加する傾向がある。さらに、唾液分泌量が多い場合には食塊が形成されやすくなり、結果として咀嚼回数は減少する可能性がある(塩澤光一・神山かおる・柳沢慧ニ　1993)。




(図1 東京都保健医療局　2023 )




（A 咀嚼によって生成される糖の量）（B 粒径の減少によって生成される糖の量）
（図2　柳沢幸江・若林孝雄　1991）

研究目的・意義

私は、日常的に食事を行っており、この問題がとても身近に感じられ、気になって調べてみたところ現代人における咀嚼回数の減少が問題となっていることを見つけ、本研究のテーマを設定した。

咀嚼の重要性に関しての研究が多く行われてきたが、どういう食品が咀嚼回数・時間の増加を促進するかについての研究が少ないと感じた。そのため本研究では先行研究でにより明らかにされている咀嚼回数の変化に関わる因子を使い、普段食べる機会が多い主食の食品である米、パン、うどんに着目し、食品の硬さ、水分量、1日における食物の経口摂取回数、唾液量などの観点から咀嚼回数を調べることにした。本研究を通して、咀嚼回数が多くなると考えられる食品を示すことで、意識的な行動変容に頼らず、咀嚼回数を増加させる方法を提案できると考えられる。

研究方法

実験1

先行研究より、咀嚼中の唾液分泌量は食物の味覚刺激によって、大きな影響を受け、摂取する食物の味覚や味の強度によってその分泌量に差が出ることが報告されている(渡部茂　大西峰子　今井香　河野英司　浅香めぐみ　五十嵐清治　1993)。そこで、本研究では味覚刺激が直接的に咀嚼回数に影響を与えるかを検証することを目的とした。

本実験は砂糖の量を変えたグミゼリーを使い、砂糖の量が、咀嚼回数に影響を与えるかを調べた。実験対象者は 機能咬合正常を有する健康女子高校生(16～17歳)6名、グミゼリーはMORINAGA社のクックゼラチンを使用し、水100gに対してゼラチンを15g加え、砂糖の量をそれぞれ0g、25g、40gの3種で作成した。昼食後に実験に参加してもらい、甘味を感じた時点(A)および飲み込む時(B)の咀嚼回数を実験対象者自身に数えてもらい、記録した。

実験2

米、食パン、うどんを使い、複数の観点から咀嚼回数の多くなる主食の検討を行った。弾力、水分量、(砂糖の含有量)、1日における食物の経口摂取行動回数については文献調査を行い、唾液の量に関しては実験により調査した。実験に使用した食品は、米、食パン(ヤマザキロイヤルブレッド6枚切り　耳の部分を切り落としたもの)うどん(アクシアル　冷凍うどん)とした。それぞれ米は、既定水分量、規定時間で炊き、約60℃に保ったもの、食パンは焼いていない耳なしのもの、うどんは規定時間温めたものとした。対象者は10代から50代の機能咬合正常を有する健康男女4名とした。1口量は体積で10cm³に統一した。まず試料の重量を測定し、その後10gの試料を対象者に30回咀嚼してもらい、口腔内の試料を吐き出して回収した。咀嚼後の試料重量から咀嚼前の重量を差し引くことで、唾液付着量を算出し、これを唾液分泌量の指標とした。

これらのデータを全て考慮し、咀嚼回数が多くなると思われる主食を調査した。

結果・考察

実験Ⅰ

結果を図3および、図4に示した。

(A)砂糖の量と嚥下までの咀嚼回数

図3は砂糖の量と嚥下までの咀嚼回数をまとめたものである。点線は個人の推移、実線は平均値を表している。0gと40gで比較すると、咀嚼回数が減ったのは6名中3名だった。増加したのも3名だった。平均値では、砂糖量の増加に伴い咀嚼回数はわずかに減少する傾向が見られた。しかし、変化量は小さく、相関係数もR＝-0.12とほとんど相関が見られないことがわかった。このことから、砂糖量と嚥下までの咀嚼回数との間に明確な相関関係は認められなかった。

(B)砂糖の量と甘味を感じるまでの咀嚼回数

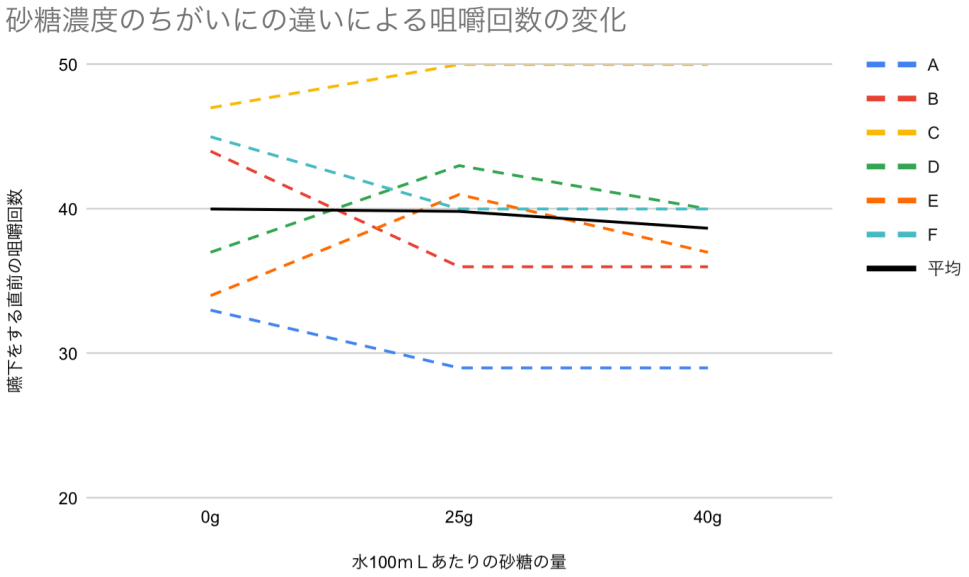
図4は砂糖の量と甘みを感じるまでの咀嚼回数の結果を記録したものである。6名中4名で咀嚼回数の減少が見られた。平均咀嚼回数もやや減少した。この結果から、砂糖量の増加により甘味を感じるタイミングがやや早まる可能性が示唆された。

本実験では、嚥下までの咀嚼回数については砂糖量との明確な相関は確認されなかった。被験者の判断による自由咀嚼であったことや、対象者数が6名と少なかったことが影響した可能性がある。この実験1のAから、砂糖の濃度は咀嚼回数にそこまで影響を与えないことがわかった。さらに、個人別に見ると、個人のばらつきが大きいことがわかった。今回の実験方法では砂糖の濃度より、個人の環境などが関係していると考えることができる。このことから、咀嚼回数には食品の違いだけでなく、個人差が大きく影響していると考えられる。しかし、砂糖の量が0gと25gのグミゼリーのデータを使い比較すると、増減の違いはあるものの、変化している人が多

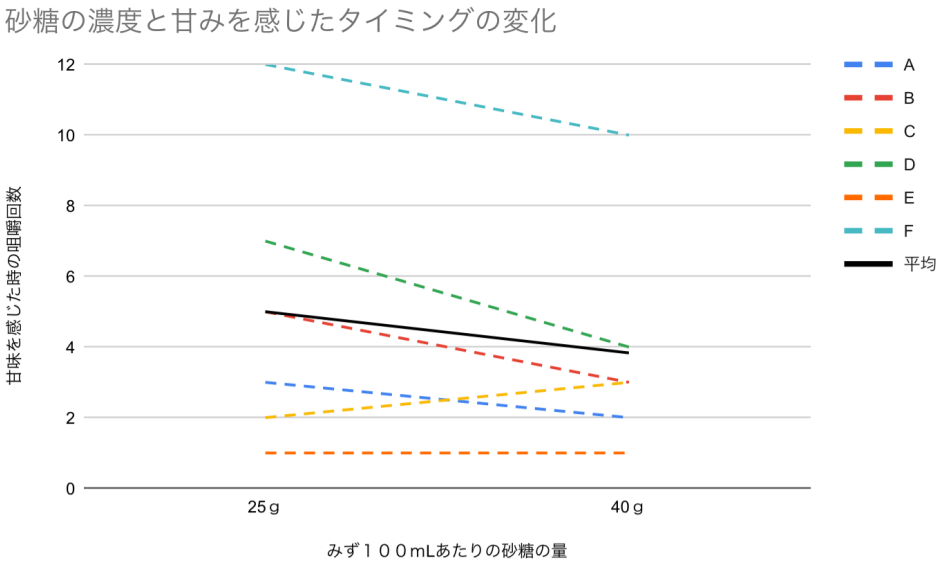
かった。そのため、味覚情報が何らかの形で咀嚼に影響を与えている可能性はあるが、今回の実験ではわからなかった。

実験1のBでは、咀嚼回数の平均が減少傾向にあり、6人中4人が砂糖の量に増加に伴って、甘味を感じるタイミングも早くなった。しかし、咀嚼回数が増加または変化が見られない被験者も存在したことから、砂糖量の増加が必ずしも咀嚼回数の減少につながると正確には断定できない。

以上より、本実験では砂糖濃度と咀嚼回数との直接的な強い関連性は確認できなかった。そのため、実験Ⅱでは砂糖量の項目を除外し、他の要因に焦点を当てて検討することとした。




(図3)




(図4)

実験Ⅱ

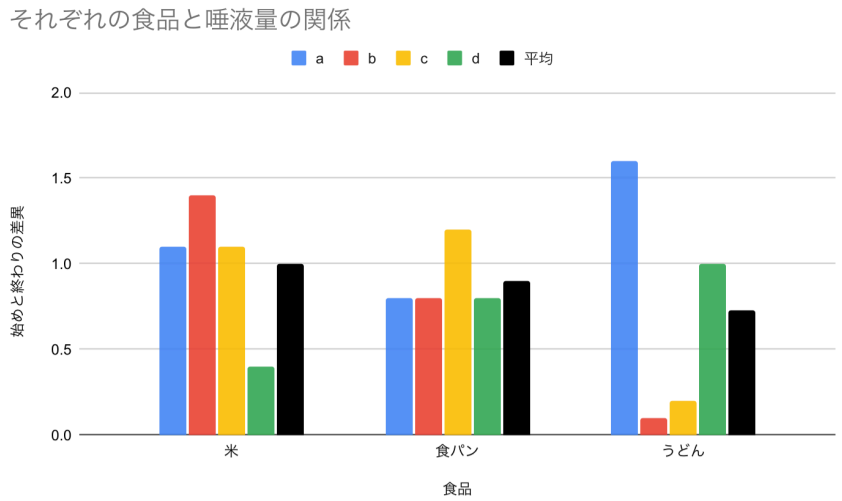
上の研究結果から、2つ目の研究の判断の要素は唾液の量、水分量、1日における食品の経口摂取回数、弾力から調査した。これらの結果は1食品当たり10gで調査した。

[1]唾液の量

各食品における30回咀嚼後の唾液付着量の平均は、米1.0g、食パン0.9g、うどん0.725gであった。平均値から見ると、米が最も唾液と混ざりやすく、次いで食パン、最も少なかったのはうどんであった。個人別に見ると、うどんは個人差が大きく、2名は0.1～0.2gと非常に少ない値を示した。一方、食パンは比較的ばらつきが小さく、全体的に0.8～1.2gの範囲に収まっていた。一般に、唾液量が多いほど食塊が形成されやすくなり、嚥下が促進されると考えられる。そのため、唾液量が多い食品ほど咀嚼回数は少なくなる可能性がある。 本結果から推測すると、唾液量が最も少ないうどんは、嚥下までにより多くの咀嚼を必要とする可能性がある。(図5)(図6)

| | 米 | パン | うどん |
|---|---|---|---|
| a | 1.1 | 0.8 | 1.6 |
| b | 1.4 | 0.8 | 0.1 |
| c | 1.1 | 1.2 | 0.2 |
| d | 0.4 | 0.8 | 1 |
| 平均 | 1 | 0.9 | 0.725 |

(図5)




(図6　食品と唾液の関係　(すべて単位はg))

[2] 水分量の含有量

文献調査より、水分量は米は6g(60%)、食パンは7.5g(75%)、うどんは3.4g(34%)と分かった。(文部科学省　2023)(教育図書編集部　2024)。(図7)一般に、水分量が少ない食品ほど口腔内での湿潤に多くの唾液を必要とし、その結果、嚥下に至るまでの咀嚼回数が増加すると考えられている。(渡部茂　平井敏博　広瀬哲也　五十嵐清治　1993)本調査結果では、うどんの水分量が最も少なかったことから、3食品の中ではうどんが最も咀嚼回数が多くなる可能性があると推察される。

水分量の表

| | 水分量(10gあたり) |
|---|---|
| 米 | 6.0g |

| | |
|---|---|
| 食パン | 7.5g |
| うどん | 3.4g |

(図7)

[3] 弾力

弾力はレオメーター（食べ物を押すことで、弾力がわかる機器）を使用した実験を引用した。数値の中でも物性を押しつぶすまたは切る時の荷重の大きさを数値として使った。結果はパン1.37 米1.86 うどん2.10という結果となった（株式会社イマダ 2020）(Ferdinand P. Beer E. Russell Johnston Jr. John T. DeWolf LeRoy DeForest 1970) 。(図8)この結果よりウドンを断裁する際の力が大きく、咀嚼回数の増加や咀嚼筋の強化が見込まれる。弾力は、米が1ばん大きく、次にパン、うどんという順番になった。うどんの生麺の組織観察から、グルテンの網目構造の形状や方向性のある網目構造が硬さに関与したとされている(岡田久美子、市川朝子、下村道子 2008)

| | 荷重<br>(レオメーターを使った値) |
|---|---|
| 米 | 1.86N |
| パン | 1.37N |
| うどん | 2.10N |

(図8 レオメーターを使った弾力の値)

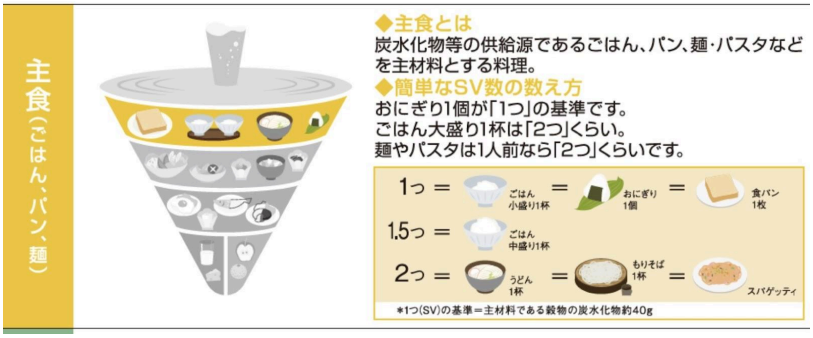



(図9 レオメーター 株式会社イマダ 2020)

[4] 1日の食事体積(1日の食事による経口摂取回数)

1口当たりの体積を一定と仮定し、食品の密度を比べて、大まかな平均経口摂取回数を推定した。まずパンやごはん、うどんの1日の平均摂取量を調べた。成人を対象とした食事バランスガイドによると1日の目安はご飯中盛り（150g）4杯、パン6枚切り（70g）6枚、うどん1杯（200g）を3杯となり、これを重量で統一すると米600g、パン420g、うどん600gとなる。(農林水産省 2004)。(図10)次にそれぞれのかさ比重を用いて体積に換算した。かさ比重は米0.57g/cm^3、パン

1.17g/cm^3 、うどん1.09g/cmとなった。(エンジニアブック　1978)(井上好文　2016)うどんのみ計測値がなかったため水分量から近似値を算出した。(食品データベース2023)。これより大体1日の摂取目安(体積)は米1053cm^3、パン358cm^3、うどん550cm^3となった。1回に口に入れる体積が全て同じだとすると米が1番経口摂取回数が多くなると考えることができる。



(図10　農林水産省　2004)

まとめ

これらの結果を踏まえて、1つ1つの項目で咀嚼回数が多くなると思われる順番に上から2、1、0という得点をつけて比較した。結果は下の表のようになった。(図11)

| | 米 | パン | うどん |
|---|---|---|---|
| 唾液の量 | 0 | 1 | 2 |
| 水分量 | 1 | 0 | 2 |
| 弾力 | 1 | 0 | 2 |
| 1日の食品体積 | 2 | 0 | 1 |
| 合計 | 4 | 1 | 7 |

(図11)

今回の実験した項目で総合的に判断するとうどんが最も咀嚼回数が大きく、次に米、うどんの順番となった。うどんは水分が比較的少なく弾力が大きいため咀嚼回数が大きくなったと考えられる。しかし、うどんは茹で時間や原料の違いによって弾力が大きく変化することが報告されており（佐藤幸子　2013）、煮込みうどんや軟化したうどんでは咀嚼回数の増加は必ずしも期待できないと考えられる。食パンは100gあたりのカロリーが他2食品より高く、少量で多くのエネルギーが摂取できるため咀嚼回数も少なくなると考えられる。また、食パンは内部に空気を多く含んでいるため、少ない咀嚼回数で小さな食塊にしやすいため、咀嚼回数が少なくなる可能性がある。米はある程度弾力があり、カロリーも一定量に対して極端に高くないため咀嚼回数が多くなると考えられるが、パンやうどんに対して1粒あたりの大きさが小さいため咀嚼をたくさんしなくても嚥下できてしまうことも咀嚼回数に関わりが大きいと感じた。

結論及び今後の展望

現在咀嚼回数の減少は、消化や栄養面だけでなく、顔面の形成や脳機能への影響が問題視されている。本研究では、咀嚼回数に影響を与える要因については実験及び文献調査を行った。実験Ⅰより、砂糖の量が多いと咀嚼中に甘味を感じるタイミングが早まりそれに伴い咀嚼回数の

減少も見られた。ただし、嚥下までの咀嚼回数との間には強い相関は認められなかった。実験Ⅱと調査により、今回の項目で判断した項目の範囲ではではうどんが1番咀嚼回数が多くなると考えられた。次に米、パンの順番となった。以上より、咀嚼回数の増減は主食を変化させるだけでも、違いが出るとわかった。さらに、主食品に他の食材を加えると主食品のみに比べ咀嚼回数が多くなることが、先行研究によりわかっている(佐藤菜美　本間和代　2013)。このことから、意識的に「よく噛む」行動を取るだけでなく、食事内容や食品の組み合わせを工夫することも、咀嚼回数の増加につながると考えられる。

一方で、咀嚼に関連していると思われる要因は他にも多く存在する。本研究では、嚥下と密接に関係するとされる粉砕度の測定までは行うことができなかった。さらにどの要素がどのくらい咀嚼に関連しているかの調査までには至らなかった。

本研究の結果を私は、今後の生活や将来に生かしていきたいと考えている。これからは自ら食事内容を考える機会が増えるため、栄養だけでなく咀嚼回数も着目した献立を意識して考えるようにしたい。さらに将来的には、大学等において研究を続けていくことも考えていきたい。その場合粉砕度の測定やより多人数での検証を行い、各要因の影響度をより詳細に明らかにしていきたい。

引用文献・参考文献

[1]安本教傳(1998).「日本人の食生活と健康」.『第9回日本咀嚼学会抄録集』,8巻2号,16-2
[2]厚生労働省(2009年).「歯科保険と食育のあり方に関する検討会報告書（概要）」.
https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/07/dl/s0713-10a.pdf.2026年1月24日.
[3]岸田典子(1995).「咀嚼機能と食生活」.『日本咀嚼学会雑誌』,Vol.5 No.1,7-6
[4]小林義典(2011).「咬合・咀嚼が創る健康長寿」.『日補綴会誌』,1-31
[5]柳沢幸江・若林孝雄(1991).「飯の物理的性状がでんぷんの消化・吸収速度に及ぼす影響」.『日本咀嚼学会雑誌』,Vol.1 No.1,8-8
[6]佐久間重光(2014).「噛むことと前頭前野の活動性と関係」.『健康文化』,49号,5-8
[7]塩澤光一・神山かおる・柳沢慧ニ(1997).「摂取する食品の付着性がヒトの咀嚼行動が与える影響」.『歯科基礎医学会雑誌』,39巻1号,25-33
[8]渡部茂・平井敏博・広瀬哲也・五十嵐清治(1993).「実験的な唾液分泌機能低下が 食物咀嚼時間と嚥下自職階水分量に及ぼす影響」.『日本咀嚼学会雑誌』,Vol.3No.1,37-42
[9]平田和晃・山村千絵(2015).「食物の硬さが咀嚼時の甘味認識へ及ぼす影響について―グミゼリーを用いた研究―」.『新潟リハビリテーション紀要』,第4巻1号
[10]有住和浩(1989).「食品の硬さが咀嚼運動に及ぼす研究に関する実験的研究」.『日本補綴歯科学会雑誌』,33巻6号,1301-1312
[11]福田ひとみ・平川智恵(1991).「咀嚼におよぼす食物の大きさと一口量の影響」.『日本咀嚼学会雑誌』,1巻1号,39-44
[12]塩沢光一、坂西秀樹、柳沢慧ニ(1991).「嚥下までの咀嚼回数に及ぼす摂取食品の大きさの影響」.『日本咀嚼学会雑誌』. Vol,1. No.1
[13]教育図書編集部(2024).『LIFE おとなガイド デジタル＋』.教育図書株式会社
[14]テーブルマーク株式会社.「特別講義 テーブルマークの挑戦[本場に負けない冷凍さぬきうどん]」. https://www.tablemark.co.jp/udon/udon-univ/lecture-tm01/index.html. 2026年2月10日.
[15]東京都保健医療局.「各時代の復元食の咀嚼回数と食事時間」
https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/hokeniryo/06p62-75 2026年2月12日
[16]文部科学省（2023）.「日本食品標準成分表（八訂）増補2023年」.
https://www.mext.go.jp/content/20230428-mxt_kagsei-mext_00001_042.xlsx.2026年2月12日

[17]株式会社パールエース(2020)「砂糖の糖度と甘味度」
https://www.pearlace.co.jp/know-and-fun/tips/post-66.html. 2026年2月12日
[18]二木武(1991)「咀嚼と小児の健康」『日本咀嚼学会雑誌』Vol1,No1
[19]広田直子　曽根良昭（2024）.「炭水化物エネルギー比率の視点からみた中高年者の栄養素摂取ならびに食品群別摂取状況」.『生活科学研究誌』,3巻,33-45
[20]公益財団法人長寿科学振興財団(2024).「三大栄養素の炭水化物の働きと1日の摂取量」.
https://www.tyojyu.or.jp/net/kenkou-tyoju/eiyouso/tansuikabutsu.html.2026年2月12日
[21]長谷川孝子　中島早苗　沼沢忠祐（1989）.「パンの物性と水分活性」.『名古屋文理短期大学紀要』,第14号
[22]佐藤幸子（2013）.「うどんのコシのレオロジー」.『実践女子大学大学院　生活科学研究科　食物栄養学専攻　博士論文』
[23]山崎製パン.BRAND PAGE[ロイヤルブレッド].
https://www.yamazakipan.co.jp/brand/royalbread/. 2026年2月14日
[24]森永製菓株式会社（2020）.「パンのタンパク質を解説。栄養バランスの整え方も紹介」.
https://www.morinaga.co.jp/protein/columns/detail/?id=264&category=beauty . 2026年2月15日
[25]米穀安定供給確保支援機構.「食事バランスガイド～その他のごはん料理の「つ（SV）」サイズ及びエネルギー量～」.https://www.komenet.jp/balance/meyasu_shushoku.html . 2026年2月15日
[26]森永製菓株式会社（2020）.「うどんのタンパク質量・栄養素について解説！タンパク質が補給できるうどんレシピも紹介」.
https://www.morinaga.co.jp/protein/columns/detail/?id=196&category=health.
[27]農林水産省ホームページ（2010）.「食事バランスガイド」.
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/pdf/eiyou-syokuji2.pdf.　2026年2月15日
[28]エンジニアブック（1978）.「食品の比重（食品科学便覧」.
https://www.eng-book.com/pdfs/78ab54d292f07828a575cf03ef668a67.pdf.　2026年2月15日
[29]井上好文（2016）.「パンの食感と気泡構造の関係」.『日本調理科学会誌』,Vol 49 No 4 ,280-284
[30]文部科学省(2023).「食品データベース」.https://fooddb.mext.go.jp.　2026年2月16日
[31]Ferdinand P. Beer　E. Russell Johnston Jr.　John T. DeWolf　LeRoy DeForest (1970).「Mechanics of Materials」.『Cengage Learning』
[32]岡田久美子　市川朝子　下村道子(2008).「手打ちうどんの物性と食性に及ぼす澱粉・活性グルテン添加の影響」.『日本調理科学会誌』,Vol41 No5,327-336
[33]神森秀樹　葭原明弘　安藤雄一(2003).「健常高齢者における咀嚼能力が栄養摂取に及ぼす影響」.『口腔衛生会誌』,53巻1 ,13-22
[34]平田和晃(2012).「食品の硬さが口腔内での味の広がり認識に及ぼす影響」.『新潟リハビリテーション大学紀要』
[35]渡部茂　大西峰子　今井香　河野英司　浅香めぐみ　五十嵐清治(1993).「小児の食物に関する研究　1.異なった食物によって分泌される唾液量」.『小児歯科科学雑誌』,31巻1号, p.81~85
[36]株式会社イマダ(2020).「テクスチャー試験」.
https://www.forcegauge.net/solution/force/texture_test. 2026年2月15日

# 教育の持続可能性について ～教師の理想の労働環境とは～

## *1* 研究背景

近年、日本の教育現場では学習指導要領の改訂やICT活用の推進などにより、教師に求められる役割が拡大している。文部科学省(2017)は、「知識の伝達というこれまでの一般的な指導方法のほか、児童生徒が主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる力や、各教科横断的な視野で指導できる力、学校段階間の円滑な移行を実現する力など、従来の力に加え、新しい指導力が必要となっている」と指摘している。このことからも、教師には従来以上に多様で高度な専門性が求められていることが分かる。それに伴い、授業以外の業務も増加し、教師の負担は量的・質的の両面で拡大している。

教師の長時間労働は長年課題とされており、授業準備や教材研究に加え、部活動指導、保護者対応、事務作業など多岐にわたる業務を担っている(文部科学省　教員勤務実態調査（平成28年度）)。 その結果、十分な休息や教材研究の時間を確保することが難しい状況が続いている。

このような労働環境は、教師の心身の健康だけでなく、教育活動の質にも影響を及ぼす重要な問題である。実際に、教員志望者の減少や教員の離職の増加が見られ（図参照）、教育現場における人材確保は困難になりつつある。また、政府広報オンライン(2024)によれば、精神疾患による病気休職者数は令和5年度（2023年度）に過去最多を更新しており、教師の勤務実態が依然として厳しい状況にあることが示されている。

**過去10年間における普通退職者(教員)の推移**




総務省発表の「地方公務員退職状況等調査（平成25年～令和4年）」より
（注）普通退職者（在職期間の通算を伴う退職者等を除く）

こうした課題に対応するため、国や自治体ではICT活用の推進などを含む働き方改革が進められている。しかし、グラフからもわかるように制度的な改革が現場の労働環境の改善に直結しているとは必ずしも言えない。これまでの調査で、教師の環境については色々な論文があるが教師がどのような環境であれば継続的に働くことができるのかということについては、十分に明らかにされていない。

そこで本研究では、「教師にとっての良い労働環境とは何か」を明らかにすることを目的とし、教育の持続可能性という観点から考察を行う。

## *2* 研究目的

本研究の目的は、教育の持続可能性という観点から、「教師にとっての良い労働環境とは何か」を明らかにすることである。教師の労働環境を改善することは、教師個人の健康や働きやすさを守るだけでなく、生徒の学習環境の質を高め、学校組織の安定した運営にもつながると考えられる。

本研究では、教師の労働環境を単に「労働時間の短さ」や「業務量の少なさ」といった量的側面だけで捉えるのではなく、教師がやりがいや専門性を感じながら働き続けられる環境として多面的に捉えることを目指す。そのため、労働時間、業務内容の配分、校内の人間関係、、裁量の大きさ、外部からの要求への対応など、複数の観点から分析を行う。

具体的には、先行研究の分析を通して、現場の教師が「働きやすい」「続けたい」と感じる条件を明らかにし、現在の教育現場が抱える課題を整理する。また、その結果をもとに、学校や教育行政が今後どのような取り組みを行うべきかについての示唆を得ることを目的とする。

本研究を通して、教師が安心して長期的に働くことのできる労働環境の在り方を考察し、教育の質を将来にわたって支えるための基礎的な知見を得ることを最終的な目的とする。

## *3* 研究方法

本研究では、文献調査を中心として研究を行った。

具体的には、文部科学省、OECD、労働政策研究・研修機構（JILPT）などの公的機関が発表している報告書、および教育学に関する研究論文を対象とした。

また、日本の教員の労働環境と比較するために、OECDのTALIS調査などの国際比較研究を用いて、フィンランドの教員の労働環境についても調査した。なお、論文はディープLで翻訳させたものを読み、抜き出したキーワードをもとにchatGPTに要約させたものである。

文献の内容は原文を確認した上で、chatGPTを用いて要約した。そして、複数の文献を比較することで、日本の教育環境の課題と改善の方向性について考察した。

## *4* 結果

調査したものを以下のようにまとめた

| 論文・報告名 | 要約 | 改善方法 |
| --- | --- | --- |
| 教員勤務実態調査（文部科学省） | 教員は授業以外に部活動、事務作業、会議など多くの業務を担っている。特に中学校で長時間労働が多い。休息時間の確保が難しい。 | 部活動の地域移行や外部指導者の活用が有効である。事務作業を事務職員と分担することも必要である。 |
| 教員の長時間労働の要因分析（JILPT） | 校務分掌、行事準備、部活動など授業外業務が多い。業務量が多く、慢性的な長時間労働が発生している。 | 業務の削減と役割分担の見直しが必要である。学校全体で効率化を進めることが重要である。 |
| 部活動指導の負担に関する研究 | 部活動は放課後や休日に行われ、労働時間増加の原因となっている。中学校教員の負担が特に大きい。 | 外部指導者の活用や活動時間の制限が有効である。地域移行も改善策となる。 |
| 教員のストレス研究 | 長時間労働と業務量の多さがストレスの原因となっている。心身の健康への影響が指摘されている。 | 業務量を減らし、休息時間を確保する必要がある。職場のサポート体制も重要である。 |
| ICT活用と教員の業務 | ICTにより成績処理や連絡業務が効率化できる。一方で導入時の負担も存在する。 | ICT研修を充実させることが必要である。校務のデジタル化を進めることが有効である。 |
| 校務分掌と負担の研究 | 校務分掌により教員の業務量が増加している。特定の教 | 業務分担の見直しが必要である。チームで業務を行う体制が重要である。 |

| | | |
|---|---|---|
| | 員に負担が集中する傾向がある。 | |
| 保護者対応の負担研究 | 保護者対応は時間と精神的負担が大きい業務である。業務時間外の対応も多い。 | 対応ルールの明確化が必要である。学校全体で対応する体制を整えることが重要である。 |
| 新任教員の労働環境研究 | 新任教員は経験不足により業務負担を強く感じやすい。長時間労働になりやすい。 | 研修や指導体制を充実させることが必要である。先輩教員のサポートが重要である。 |
| 小学校教員の労働環境研究 | 授業準備や事務作業に多くの時間が必要である。業務量が多い。 | 事務作業の削減が必要である。ICTの活用が有効である。 |
| 精神疾患と教員労働の研究 | 長時間労働は精神疾患のリスクを高める。休職者増加が問題となっている。 | 労働時間の削減が必要である。メンタルヘルス支援が重要である。 |
| 学校組織と業務負担研究 | 学校組織の構造が業務負担に影響している。個人に依存する業務が多い。 | チーム体制を強化することが必要である。業務の標準化が有効である。 |
| 教員の働き方改革研究 | 働き方改革が進められているが、十分な効果は出ていない。業務量は依然多い。 | 業務削減を具体的に進める必要がある。制度改善が重要である。 |
| 学校行事と教員負担研究 | 学校行事は準備に多くの時間が必要である。業務量増加の要因である。 | 行事の見直しが必要である。準備の効率化が重要である。 |
| 教員の時間管理研究 | 教員は勤務時間の管理が難しい。業務が時間外に及ぶことが多い。 | 勤務時間管理を徹底する必要がある。業務量調整が重要である。 |

| | | |
|---|---|---|
| 若手教員の離職研究 | 労働環境の厳しさが離職の原因となっている。負担の大きさが問題である。 | 労働環境の改善が必要である。サポート体制の強化が重要である。 |
| 教員の業務多忙化研究 | 教員の業務は年々増加している。授業以外の業務が多い。 | 業務削減が必要である。役割分担の見直しが重要である。 |
| 教員の健康と労働研究 | 長時間労働は健康に悪影響を与える。疲労の蓄積が問題である。 | 労働時間削減が必要である。休息確保が重要である。 |

これらの結果から教員は授業だけでなく、部活動指導、事務作業、会議、学校行事の準備、保護者対応など多くの業務を担っており、長時間労働の大きな要因となっていることが明らかになった。特に中学校では部活動指導の負担が大きく、放課後や休日にも業務が発生することで、十分な休息時間を確保することが難しい状況が見られた。

| 論文名 | 要約（**3**～**4**行） |
|---|---|
| 国際比較から見る教員の働き方改革―フィンランドにおける教員の働き方―（西村貴之, 2020） | フィンランドでは教師の業務は授業が中心であり、日本のような部活動指導はほとんど存在しない。そのため、教師は授業準備や生徒指導に十分な時間を確保できる。また、教師の専門性が尊重されており、自律的に授業を行うことができる環境が整っている。このことが教師の満足度の高さにつながっている。 |
| TALIS 2018 Results (OECD, 2019) | フィンランドの教師は他国と比較して仕事への満足度が高いことが示されている。教師同士の協力関係が良好であり、学校環境も働きやすいものとなっている。また、教師は教育活動に集中できる時間が確保されており、ストレスが比較的少ないと報告されている。 |

| | |
|---|---|
| TALIS 2024 Country Note: Finland（OECD, 2024） | フィンランドでは約85%の教師が仕事に満足していると回答している。教師は授業に集中できる環境にあり、業務負担は他国と比較して軽い傾向がある。また、学校内の支援体制も整っており、教師が安心して働くことができる環境が整備されている。 |
| School climate and teacher satisfaction in Finland（2016） | フィンランドでは学校の雰囲気が教師の満足度に大きく影響していることが明らかになっている。協力的な学校環境は教師のストレスを減少させ、働きやすさにつながっている。また、教師は自分の専門性を活かして授業を行うことができるため、仕事への満足度が高い。 |
| Finnish teachers' job satisfaction and working conditions（OECD研究） | フィンランドでは教師は専門職として社会的に高く評価されている。教師は授業内容を自ら設計する自由があり、自律性が高い環境で働いている。また、業務は教育活動が中心であり、教師が教育に専念できる労働環境が整っている。 |

これらの結果から、フィンランドでは教師の業務は授業を中心としており、授業以外の業務は比較的少ない。そのため、教師は授業準備や生徒への対応に十分な時間を確保することができる。また、教師は専門職として高く評価されており、余裕を持って教育活動を行うことができる環境が整っている。このような環境は、教師の仕事への満足度を高め、安定して働き続けることにつながっていると考えられる。

## ***5*考察**

本研究の結果から、日本の教師の労働環境が厳しくなっている最大の要因は、「教師が教育以外の業務を過剰に担っている構造」にあると考えられる。

日本の教師は部活動、保護者対応などの業務に対応しているが、これらの業務の多くが「教師でなければできない業務ではない」という点である。例えば、部活動指導は専門の指導者が担うことが可能であり、事務作業は事務職員が担うことができる業務も多い。しかし、日本ではこれらの業務が教師に集中する構造となっている。この構造そのものが、教師の長時間労働の根本的な原因であると考えられる。

一方で、フィンランドでは教師の業務は授業を中心としており、日本のように部活動指導を教師が担うことは少ない。また、教師の専門性が尊重されており、教師は教育活動に専念できる環境が整っている。このような違いは、教師の仕事満足度や離職率の違いに大きく影響していると考えられる。

これらを総合的に考え、問題の解決策として、「教師がやる仕事」を明確に定義することによって、業務の負担を減らすことができると考えた。具体的には教師を二種類、教える役職と事務職に分けるべきだと考える。そうすることによって前述した教師の負担は大幅に減り、その役職に専念して仕事ができ、また満足のいく仕事ができるようになると考えた。

## ***6*今後の展望**

今後は、教師の業務負担を軽減するための制度的な仕組みについて、より具体的に考えていきたい。特に、日本の教育制度や法律において、教師の業務範囲がどのように定められているのかを調べ、「教師が本来担うべき業務」と「他の職種に分担できる業務」を明確に分類することを目的にさらに調査を行う

また、フィンランドなどの海外の教育制度についてもさらに詳しく調査し、教師と事務職員、部活動指導員などの役割分担がどのように制度として確立されているのかを明らかにしたい。そして、それらの制度の中で、日本の学校にも導入可能な仕組みは何かを検討することで、現実的な改善策を提案したい。

## ***6*参考文献**

[1]稲垣忠「教育の未来」https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/journal/bk2021/pdf/education3_11.pdf (2020)2026年1月

[2]教職員が生き生きと働ける学校環境づくりについて ~「働き方改革」の在り方に関する一考察 ~桑田 洋輔(23015) 2026年1月

https://files.openaiusercontent.com/24a92fb1-0d80-4d14-bca9-eb7a692ffc1a.pdf 2026年1月

[3]日本建築学会（2007）「教師の教室環境評価からみた適正学級規模に関する考察―全国学校・教師アンケート調査から―」『日本建築学会計画系論文集』第72巻，第614号，pp. 437-444.

https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/72/614/72_KJ00004573807/_article/-char/ja/2025年1月

[4]田中希穂（2023）「GIGAスクール構想とその後の課題」『同志社教師教育研究』第1年1号

https://doshisha.repo.nii.ac.jp/records/2000413 2025年10月

[5]政府広報オンライン
https://www.gov-online.go.jp/article/201904/entry-9639.html?utm_source=chatgpt.com 2026年1月

[6]文部科学省

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/002/siryo/attach/1353266.htm?utm_source=chatgpt.com 2026年1月

[7]Benesse教育総合研究所（2016）『教員の多忙化に関する調査研究』

https://berd.benesse.jp/ 2026年1月

[8]国立教育政策研究所（2019）『教員の勤務実態に関する調査』

https://www.nier.go.jp/ 2026年1月

[9]文部科学省（2023）『教員勤務実態調査』

https://www.mext.go.jp/ 2026年1月

[10]労働政策研究・研修機構（JILPT）（2018）『教員の働き方と労働時間に関する研究』

https://www.jil.go.jp/2026年1月

[11]日本教育経営学会（2017）『教員の職場環境とストレスに関する研究』 2026年1月

[12]日本教育工学会（2020）『ICT活用による教員の業務改善』2026年1月

[13]東京大学大学院教育学研究科（2015）『教員の労働負担に関する研究』2026年1月

[14]名古屋大学大学院教育発達科学研究科（2016）『教員の多忙化の要因分析』2026年1月

[15]大阪大学大学院人間科学研究科（2017）『教員の業務構造と改善の可能性』 2026年1月

[16]広島大学大学院教育学研究科（2018）『教員の労働環境とバーンアウト』 2026年1月

[17]北海道大学大学院教育学研究院（2019）『教員の勤務実態と課題』 2026年1月

[18]筑波大学大学院人間総合科学研究科（2020）『教員の労働時間に関する研究』2026年1月

[19]岡山大学大学院教育学研究科（2018）『教員の業務負担と改善策』

https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ 2026年1月

[20]東北大学大学院教育学研究科（2017）『教員の職場環境改善に関する研究』2026年1月

[21]九州大学大学院人間環境学研究院（2016）『教員のストレスと労働環境』2026年1月

[22]日本教育心理学会（2018）『教員の精神的健康と職場環境』2026年1月

[23]中央教育審議会（2019）『教員の働き方改革に関する答申』

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/ 2026年1月

[24]総務省（2022）『地方公務員の勤務状況調査』

https://www.soumu.go.jp/ 2026年1月

[25]OECD（2019）『TALIS（国際教員指導環境調査）』

https://www.oecd.org/ 2026年1月

[26]政府広報オンライン（2023）『教員の働き方改革』

https://www.gov-online.go.jp/

[27]西村貴之（2020）「国際比較から見る教員の働き方改革―フィンランドにおける教員の働き方―」教育行政研究. 2026年1月

[28]OECD (2019) TALIS 2018 Results (Volume I): Teachers and School Leaders as Lifelong Learners. OECD Publishing. https://www.oecd.org/education/talis/ 2026年1月

[29]OECD (2024) TALIS 2024 Results: Country Note Finland. OECD Publishing. https://www.oecd.org/education/talis/ 2026年1月

[30]Simola, H. (2005) The Finnish Miracle of PISA: Historical and Sociological Remarks on Teaching and Teacher Education. Comparative Education, 41(4), 455–470. 2026年1月

[31]Sahlberg, P. (2011) Finnish Lessons: What Can the World Learn from Educational Change in Finland? Teachers College Press. 2026年1月

[32]文部科学省（2017）

[33]教員勤務実態調査（平成28年度）報告書

https://www.mext.go.jp/sports/content/20211202-spt_sseisaku02-000019265_2.pdf

# 睡眠の持続可能性
# ～高校生の睡眠について～

## 1、研究背景

近年、スマートフォンやインターネットの普及により、夜遅くまでSNSや動画視聴を行う人が増えている。その結果、就寝時刻が遅くなり、十分な睡眠時間を確保できない人が増加していると指摘されている(伊熊克己,2016)。特に高校生は、部活動や課題、テスト勉強などによって生活が忙しく、平日は睡眠時間が短くなりやすい。また、平日は早起きを強いられる一方で、休日は遅くまで寝てしまうことが多く、生活リズムが崩れやすい傾向がある(鈴木正泰,2011)。このような睡眠リズムの乱れは、いわゆる「社会的時差ぼけ」とも関連し、心身への負担が大きくなる可能性がある。さらに、睡眠不足は単に眠気を引き起こすだけではなく、集中力や記憶力の低下、疲労の蓄積につながると考えられている。そのため、高校生にとって睡眠は学習効率や日常生活の充実に大きく関係する重要な要素である。自分自身も、平日と土日で睡眠時間が異なり、休日に寝だめをしてしまう生活を送っている。また寝ることは好きであるが、安定した睡眠習慣が身についているとは言い難く、日中の眠気や疲れを感じることもある。このような実体験から、睡眠習慣を改善する必要性を強く感じた。

## 2、研究意義

本研究の意義は、高校生の生活実態に沿った形で無理なく続けられる睡眠習慣について考察できる点にある。睡眠に関する研究は多く存在するが、現代の高校生はスマホやSNSなどの影響を受けやすく、理想的な生活リズムを保つことが難しい。そのため、単に「早く寝るべきだ」と結論づけるのではなく、現実的に継続できる睡眠習慣を考えることが重要である。また、睡眠時間の確保は個人の努力だけでなく、生活環境や習慣の積み重ねによって左右される。そこで「睡眠の持続可能性」という視点を用いることで、短期間の改善ではなく、長期的に安定した睡眠を維持する方法を検討することができる。さらに、睡眠の質が向上すれば、学習効率の向上や日中の活動意欲の増加にもつながり、学校生活の充実にも影響を与えると考えられる。以上のことから、本研究では高校生に多い睡眠リズムの乱れに着目し、睡眠の持続可能性を高めるための要因や課題を明らかにすることを目的とする。この研究は、自分自身の生活改善だけでなく、同世代の睡眠問題を考える上でも意義があるといえる。

## 3、研究方法

①新潟県国際高校2学年の生徒を対象にアンケート調査を行い、平日と休日の睡眠時間、就寝時刻、起床時刻、寝る前の行動（スマホ使用など）について回答を集めた。

②集計結果をグラフ化し、学年全体の睡眠傾向や特徴を分析した。

③得られたデータを、睡眠に関する論文や先行研究の内容、図書館で借りた本と比較し共通点や違いを考察した。

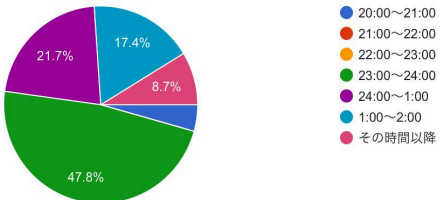
④特に、就寝時刻の遅れや休日の寝だめが睡眠の質に与える影響に注目し、「睡眠の持続可能性」という視点から課題と改善策を検討した。

## 4、仮説

本研究では次のような仮説を立てた。まず一つ目に、スマホの就寝前使用が睡眠の入眠時間を遅らせ、睡眠の質を低下させている可能性があると考える。スマホやSNS、動画視聴は画面の光や刺激によって脳を覚醒させるため、布団に入ってから眠りにつくまでの時間が長くなると予想される。二つ目に、平日と休日の睡眠時間の差が大きい生徒ほど、日中の眠気や疲労感を強く感じる傾向があると考える。これは生活リズムの乱れが、体内時計への負担になり、日中の活動に悪影響を与える可能性があるためである。三つ目に、睡眠時間だけではなく、規則的な睡眠習慣を維持している生徒は学習効率が高く、日常生活の充実度も高いという仮説を立てる。この仮説によって、ただ睡眠時間を増やすだけではなく、持続可能な睡眠パターンを目指す必要があると予想している。これらの仮説を検証することで、高校にとっての実生活に即した睡眠改善の手がかりを見つけることができると期待している。

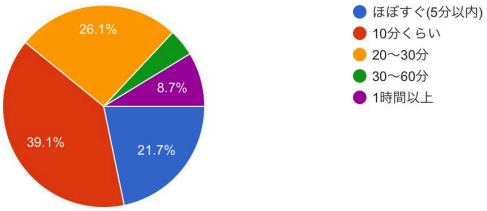
## 5、研究結果

### アンケートの結果(37名が回答)



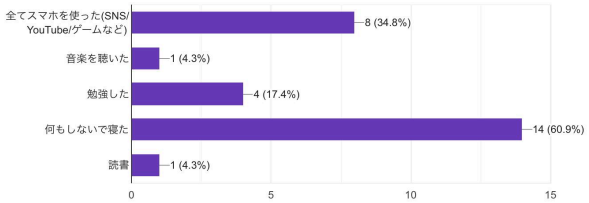

①昨夜、布団(ベッド)に入ったのは何時頃ですか？(おおよそでOK)

・23時以降に布団に入る生徒が多く、特に23時〜24時台が半数近くを占めていた。翌日の学校生活を考えると、やや遅い就寝時刻であり、睡眠不足につながる可能性があると感じた。



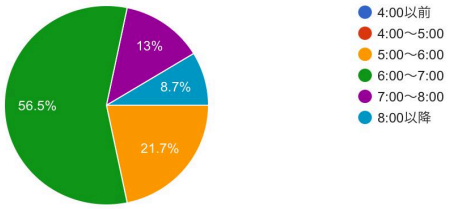

②布団にはいってから、眠りにつくまでどれくらい時間かかりましたか？

・10分程度で眠れる生徒が最も多い一方、30分以上かかる生徒も一定数見られた。入眠に時間がかかる人がいることから、就寝前の過ごし方に課題があると感じた。



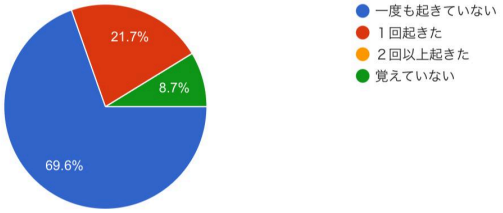

③布団にはいってから寝るまでの間、次のことをしましたか？(複数選択可)

・何もしないで寝た生徒が最も多かったが、スマホを使用した生徒も約3割いた。スマホの使用は入眠を妨げる可能性があり、睡眠の質に影響していると考えられる。



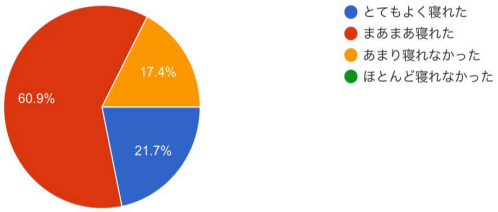

④今朝何時に起きましたか？

・6時〜7時に起きた生徒が半数以上を占めており、学校生活に合わせて早起きしていることが分かった。一方で就寝時刻が遅いため、睡眠時間が不足している生徒もいると感じた。



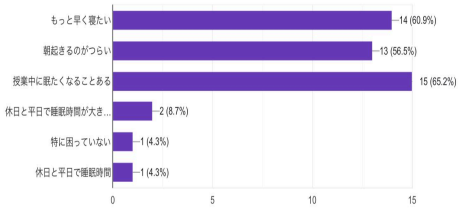

⑤夜中(寝ている途中)に起きましたか？

・約7割が夜中に起きておらず、途中覚醒は少ない結果だった。一方で、少数ながら起きた人や覚えていない人もおり、睡眠の安定度には個人差があると感じた。




⑥昨夜の睡眠の質はどうでしたか？

・「まあまあ寝れた」が最も多く、皆曖昧な意見が多かった。よく眠れた人もいるが、十分とは言えず、質の向上が課題だと感じた。




⑦自分の睡眠当てはまるものを選んでください。(複数選択可)

・授業中に眠くなる、早く寝たい、朝起きるのがつらい人が多く、慢性的な睡眠不足や生活リズムの乱れを感じている人が多い結果。

## 論文で調べた事

近年、睡眠に関する研究は多く行われており、睡眠不足や生活リズムの乱れが心身に与える影響が明らかになってきている。特に現代社会では、スマートフォンやインターネットの普及により夜遅くまで画面を見続ける人が増え、就寝時刻が遅れる傾向がある。伊熊克己(2016)は、学生のスマートフォン使用状況と健康の関係を調査し、スマートフォンの使用が生活習慣に影響を与える可能性を示した。また浜村俊傑(2020)は、スマートフォン依存の問題を教育・医療の観点から述べ、過度な使用が心身に悪影響を及ぼす危険性を指摘している。これらの研究から、スマホの利用は便利である一方、睡眠時間を削りやすい要因になっていると考えられる。

睡眠環境の重要性については北堂真子(2005)が詳しく述べている。北堂は、良質な睡眠には室温・湿度・寝具・静けさなどの環境が大きく関係していると示し、睡眠の質は単に睡眠時間の長さだけでは決まらないことを強調している。また水野康(2009)は、光が睡眠に与える影響について述べ、特に夜間の強い光は眠気を引き起こすホルモンであるメラトニンの分泌を抑える可能性があることを示した。このことから、夜遅くまで明るい光やスマホ画面を見続ける行動は、入眠を妨げる原因になると考えられる。

さらに、睡眠中の身体の動きにも意味があることが研究されている。光本隆司(2009)は寝返りに注目し、寝返りが血流の維持や身体の負担軽減につながり、疲労回復に一定の効果がある可能性を示した。寝返りは睡眠中の自然な動作であり、単に「寝ている間の無意識の動き」と考えられがちだが、疲労回復や睡眠の質に関係していることが分かる。

睡眠不足が学習や生活に及ぼす影響についても、多くの論文で共通した指摘がされている。福田一彦(2008)は睡眠不足が認知機能に影響を与えることを示し、集中力や判断力の低下につながる可能性があると述べている。また内山真(2019)は睡眠障害が社会的な問題にもつながることを述べ、睡眠不足が事故や生産性低下を引き起こす可能性があると指摘している。高校生にとっては授業中の眠気や勉強の効率低下として現れやすく、睡眠不足は学習面にも悪影響を与える重要な課題だといえる。

思春期の睡眠については、鈴木正泰(2011)が思春期に睡眠習慣が変化しやすいことを示している。思春期は体内時計の影響により夜型になりやすいとされ、自然に就寝時刻が遅くなる傾向がある。そのため高校生は平日の睡眠時間が短くなり、休日に寝だめをして生活リズムが乱れることが多い。この点は八木田和弘(2021)が述べる概日リズム（体内時計）とも深く関係しており、睡眠は本人の努力だけではなく生物学的な仕組みとも結びついていると考えられる。

以上の論文をまとめると、睡眠の問題は「睡眠時間が短い」という単純な問題だけではなく、スマホ使用や光、生活習慣、睡眠環境、体内時計の乱れなど複数の要因が重なって生じていることが分かる。また、睡眠不足は集中力や記憶力の低下、疲労の蓄積、日中の眠気などにつながり、高校生活に大きな影響を与える可能性が高い。そのため、睡眠の改善を考える際には、短期的に睡眠時間を増やすだけでなく、無理なく続けられる習慣をつくることが重要である。つまり「睡眠の持続可能性」を意識し、平日と休日の睡眠差を小さくすることや、就寝前のスマホ使用を減らすこと、光や寝室環境を整えることが、安定した睡眠につながると考えられる。

## 6、考察

今回実施した睡眠に関するアンケートから、回答者の多くが睡眠に対して何らかの不満や課題を抱えていることが明らかになった。まず「夜中に起きたか」という問いでは、約7割が夜中に起きないと回答し、途中覚醒が比較的少ない傾向は見られたものの、約3割は1回以上起きた、あるいは覚えていないと答えている。このことは、単純な途中覚醒の頻度だけで睡眠の質を測ることが難しく、本人の自覚や記憶によって評価が左右される可能性を示している。また、夜間の覚醒が睡眠全体の満足度にどの程度影響しているかについても個人差が大きいと推測される。 次に「昨夜の睡眠の質」を尋ねたところ、最も多かった回答は「まあまあ寝れた」であり、「とてもよく寝れた」と答えた人が2割強、「あまり寝れなかった」が一定数いた。この分布からは、回答者全体が理想的な睡眠を取れているとは言えない。主観的評価にもとづくこのデータだけでは、なぜ十分な睡眠が得られていないのか、その要因の特定はできない。睡眠時間や生活リズムとの関連性をもっと分析する必要がある。

「自分の睡眠で当てはまるもの」という自由選択項目では、特に「授業中に眠くなることがある」「もっと早く寝たい」「朝起きるのがつらい」といった回答が上位を占め、いずれも過半数に達している。これは単に夜中の途中覚醒だけでなく、日中の生活機能にも睡眠の質が影響していることを示唆している。特に授業中の眠気は、学業への集中力低下や学習効率の低下につながる可能性があり、学生生活全般のパフォーマンスにも悪影響を及ぼすと考えられる。加えて、休日と平日の睡眠時間の差が大きいと答えた人も一定数おり、平日の睡眠不足を休日に補おうとする不規則な睡眠パターンが存在することが示唆された。

このような結果から、回答者の多くは主観的に睡眠に不満を感じており、その背景には生活リズムの乱れや十分な睡眠時間の確保が困難な状況があると考えられる。特に、日中の疲労感や授業中の眠気を訴える声が多いことから、睡眠の質と量の両方を改善するための対策が必要である。例えば、就寝時間の固定化、スマホやブルーライトの使用制限、昼寝の見直し、規則正しい生活リズムの形成といった基本的な睡眠衛生の改善が有効である可能性がある。また、夜間の途中覚醒については、ストレスやカフェイン摂取、環境要因（騒音・光など）の影響も考慮すべきであり、これらの要因を含めたさらなる詳細調査も必要となる。

このアンケートは回答者の睡眠に関する課題を浮き彫りにしたが、睡眠の実態を正確に把握するためには、睡眠時間や生活行動の具体的データを分析することが重要である。また、得られた結果を基に、睡眠改善のための具体的な提案や教育的な取り組みを検討していくことが求められる。今後は、睡眠時間だけでなく生活習慣やスマホ使用時間などの具体的データも収集し、より客観的な分析を行いたい。また、学校全体で取り組める睡眠改善策の提案へと発展させていきたい。

## 5、参考文献

本

JFAnews(No.499,2025,11月情報号)『睡眠とコンディショニング』(2026年1月)

西野精治(2017/2/27)『スタンフォード式最高の睡眠』(2025年12月)

三橋美穂(2018/6)『驚くほど眠りの質が良くなる睡眠メソッド100』(2026年1月)

柳沢正史(2024/8)『今さら聞けない睡眠の超基本』

松浦健伸(2019/2)『知っておきたい眠りの話』

## 論文

浜村俊傑(2020)『スマートフォン依存の現状と対策を考える:教育、医療産業の観点から』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacjpa/84/0/84_SS-016/_pdf (2025年12月)

北堂真子(2005)『良質な睡眠のための環境作り』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/sobim/29/4/29_4_194/_article/-char/ja/ (2025年12月)

光本隆二(2009)『疲労回復における寝返りの効果』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pacjpa/73/0/73_2AM040/_pdf/-char/ja (2025年12月)

水野康(2009)『眠りに及ぼす光の影響』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/kagakutoseibutsu/46/6/46_6_435/_article/-char/ja/ (2025年12月)

柳沢正史(2021)『睡眠覚醒の謎に挑む』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jpssuppl/95/0/95_1-SL01/_article/-char/ja/ (2025年12月)

一般社団法人日本睡眠学会Japanese Society of Sleep Research『睡眠障害の治療』
https://www.jssr.jp/basicofsleepdisorders4 (2026年1月)

内山真(2019)『睡眠障害の対応と治療ガイドライン第3版』
https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001181265.pdf (2026年1月)

福田一彦(2008)『睡眠中の心理現象と脳波像』https://cir.nii.ac.jp/crid/1390580704332189184 (2026年1月)

白川修一郎(2000)『人間の睡眠・覚醒リズムと光』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jieij1980/84/6/84_6_354/_article/-char/ja/ (2026年1月)

須藤秀紹(2025)『睡眠の質に対する主観的評価と客観的評価のズレへの気づきを促すための定性的フィードバック手法の提案』https://www.jstage.jst.go.jp/article/sicetr/61/5/61_294/_article/-char/ja (2026年1月)

八木田和弘(2021)『環境時間との不適合による恒常性破綻:概日リズム障害の病態生理学』
http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/jkpum/pdf/130/130-8/130.08.521.pdf

鈴木正泰(2011)『10代における睡眠の問題』
https://www.jstage.jst.go.jp/article/numa/79/6/79_345/_pdf/-char/ja